

北小松遺跡

—田尻西部地区ほ場整備事業に係る平成21年度発掘調査報告書—

第一分冊

平成二十六年三月 宮城県教育委員会

北小松遺跡

—田尻西部地区ほ場整備事業に係る平成21年度発掘調査報告書—

第1分冊 本文編

平成26年3月

宮城県教育委員会

北小松遺跡

—田尻西部地区ほ場整備事業に係る平成21年度発掘調査報告書—

第1分冊 本文編



北小松遺跡（平成21年度調査）出土土器



SK44 土坑墓



SK44 土坑墓 埋葬人骨（埋設土器取り上げ後）



埋設土器（右：土坑墓、左：土器埋設遺構）



独鈷石



サメ歯装着具

序 文

平成23年3月11日に発生した東日本大震災から3年がたち、私たちは震災からの地域の復興へ取り組んでおります。復興には、安全で災害に強いまちづくり、産業の振興、人々の暮らしの再生に加えて、先人たちが苦難を克服し築き上げてきた文化を再認識し継承していくことも不可欠です。

地域において守り伝えられてきた文化財は、現代を生きる私たちと過去や未来を生きる人々、そして地域とともに生きる人々を結びつけるものであります。震災以降、自己と他者、そして地域との結びつきが重要視されているなかで、文化財を保存し活用する取り組みにより、身近な地域の個性豊かな風土や歴史的な価値を再発見し、人々と地域がより密接に結びついた、より豊かで魅力ある社会が形成されていくものと期待されます。

本書は、平成21年度に大崎市田尻西部地区におけるほ場整備事業に伴う工事に先立って実施した北小松遺跡の発掘調査報告書です。今回の調査では、埋葬された人骨を伴う墓域や、当時の人々の居住施設、その周間に捨てられた当時の生活道具などを数多く発見し、縄文時代の終わり頃に水辺に営まれたムラの様子をより明確にする貴重な成果が得られました。こうした成果が広く県民の皆様や各地の研究者に活用され、地域の歴史解明の一助になれば幸いです。

最後になりましたが、遺跡の保存に理解を示され、発掘調査に際しては多大なるご協力をいただいた関係機関の方々、さらに実際の調査にあたられた皆様に対し、厚く御礼申し上げる次第です。

平成26年3月

宮城県教育委員会

教育長 高橋 仁

例　　言

1. 本書は、宮城県北部地方振興事務所と江合川沿岸土地改良区との協議に基づき実施した、経営体育基盤整備事業（田尻西部地区）に伴う北小松遺跡の発掘調査のうち、平成21年度に実施した発掘調査の成果をとりまとめたものである。
2. 発掘調査は、宮城県教育委員会が主体となり、宮城県教育庁文化財保護課が担当した。
3. 発掘調査および資料整理・報告書の作成に際しては、以下の方々および機関からご指導・ご協力を賜った（五十音順、敬称略）。

 - 會田容弘 赤田昌倫 阿子島香 足立望 市川健夫 内山幸子 江川達也 太田有香
 - 大場亞弥 岡村道雄 鹿納晴尚 鹿又喜隆 神田和彦 日下和寿 高妻洋成 古賀日香理
 - 小林和貴 小林克 佐川正敏 佐々木理 佐藤信行 菅原弘樹 鈴木敏彦 鈴木三男
 - 須藤隆 早田勉 富岡直人 中沢祐一 中島経夫 西本豊弘 根岸洋 秦昭繁 早瀬亮介
 - 藤沼邦彦 藤原二郎 本多貴之 松本秀明 宮腰哲雄 宮本毅 八木勝枝 柳田俊雄
 - 山田しょう 湯浅健太 吉川純子 吉川昌伸 渡辺丈彦
 - 文化庁 大崎市教育委員会 東北歴史博物館

4. 本書の第2図は、国土交通省国土地理院発行の数値地図25000（地図画像）『荒谷』『高清水』『古川』『小牛田』を使用した。
5. 図版1（第3分冊）は、「国土画像情報（カラー空中写真） 国土交通省」（昭和50年撮影：CTO-75-27, C5C-5-9, C6B-6-9）を一部加工して転載した。
6. 本書で使用した測量原点の座標値は、世界測地系に基づく平面直角座標第X系による。なお、方位は座標北を表している。
7. 本書で使用した遺構略号は以下の通りである。
SA : 柱列跡 SB : 捕立柱建物跡 SD : 溝跡 SE : 戸門跡 SK : 土坑墓（埋葬犬骨を含む）、土坑 SX : 集石遺構、土器埋設遺構、焼け面、自然流路跡 P : 柱穴、小穴
8. 遺構図版にはそれぞれスケールを付しているが、縮尺は原則として以下の通りである。
遺構 : 1/10, 1/20, 1/60 調査区 : 1/100, 1/200
9. 測量データの変換業務は、（株）CUBICに委託して行った。
10. 土色の記述にあたっては、『新版 標準土色帖 1996年版』（小山・竹原 1996）を用いている。
11. 遺物図版にはそれぞれスケールを付しているが、縮尺は原則として以下の通りである。遺物写真図版についても同様の縮尺である。
土器 : 1/3 土製品 : 2/3, 1/3 骨角牙製品 : 2/3 木製品 : 2/3, 1/3, 1/4
12. 石器・石製品の縮尺は原則として以下の通りである。遺物写真図版についても同様の縮尺である。
剥片石器 : 2/3 石斧、板状石器 : 1/2 砕石器、石錘 : 1/3
円盤状石製品、石棒・石刀、石冠、独鉛石 : 1/2 その他石製品 : 2/3
13. 遺物の実測図で、赤色顔料の付着が顕著な部分は赤色、アスファルトまたはタール状の黒色の付

- 着物や炭化物の付着が顕著な部分は灰色または茶色で示した。また、石器・石製品の一部にみられる磨面については、加工の痕跡が明瞭な部分のみ擦痕で表現し、それ以外を白色で示した。
14. 遺物の実測図で、土器および土製品の一部をCUBIC社製「遺物くんCubic」を用いて作成した。また、土製品と石器・石製品の一部の三次元測定および3D処理を(株)CUBICに委託して行った。
15. 遺物の写真撮影は、(株)アートプロフィールに委託して行った。
16. 土器・土製品の観察表で、文様内の充填要素については()で記した。
17. 石器・石製品の観察表で、「被熱」「加熱処理」「変形」「自然面」「付着物」の各項目における「0」は「なし」を意味し、「-」は「判別不能」を意味する。うち、「被熱」「自然面」の各項目においては痕跡のあるものを「1」とした。「付着物」においては赤色顔料の付着を「R」、黒色物質の付着を「B」としている。
18. 石器・石製品の石材鑑定は、一部を東北大学東北アジア研究センターの宮本毅氏に依頼した。
19. 骨角牙製品の素材同定は、岡山理科大学(富岡直人氏)に委託した。
20. 本書の一部は、それぞれ以下の個人・研究機関に依頼し、玉稿を賜った(敬称略)。
- 地形・地質：松本秀明(東北学院大学) 第1分冊付章1
古環境復元：吉川昌伸・吉川純子(古代の森研究舎) 第1分冊付章2
動物遺存体(考察)：富岡直人(岡山理科大学) 第1分冊付章3
サメ歯装着具の本質部の同定：鈴木三男・小林和貴(東北大植物園) 第2分冊第5章
サメ歯装着具の膠着物の分析：宮腰哲雄・本多貴之ほか(明治大学) 第2分冊第6章
遺物付着の黒色物質の分析：高妻洋成ほか(奈良文化財研究所) 第2分冊第7章
遺物のマイクロX線CT撮影：東北大総合学術博物館(佐々木理・柳田俊雄ほか)
第2分冊第8章
- 石器・石製品の機能等分析：鹿又喜隆(東北大) 第2分冊第9章
21. 自然科学的分析について、それぞれ以下の機関・個人に委託して行い、その成果を本書に収録した(敬称略)。
- 埋葬人骨の鑑定：鈴木敏彦(東北大) 第2分冊第1章
動物遺存体：岡山理科大学(富岡直人・中島経夫ほか) 第2分冊第2~4章
花粉・珪藻分析(平成19・20年度発掘調査分を含む)：古代の森研究舎
第2分冊第13・16~19章
- 樹種・種実同定(平成19・20年度発掘調査分を含む)：古代の森研究舎
第2分冊第14・15・18・20・21章
- 放射性炭素年代測定：(株)加速器分析研究所 第2分冊第10~12章
食性分析(人骨)：(株)加速器分析研究所 第2分冊第12章
火山灰分析：(株)火山灰考古学研究所 第2分冊第23章
火山灰分析(平成20年度発掘調査分)：(株)パレオ・ラボ 第2分冊第22章
22. 遺構・遺物の保存処理・復元は、それぞれ以下の機関に委託して行った。

埋葬犬骨（SK55）、漆器の一部：東北歴史博物館

土器の一部：（株）東都文化財研究所

23. 本書の造構・遺物の整理作業は、生田和宏・青山隼人（平成22・23年度）、伊藤啓之・久保井裕之（平成22年度）、小野章太郎（平成23～25年度）、武田裕光・大坂 拓・西村 力（平成24年度）、濱中一道（平成25年度）が主に担当した。
24. 本書の図版は、小野章太郎・濱中一道・生田和宏・大坂 拓・遠藤友美・遠山寛美・中島敦子・古川史佳・湯元文子・浅野明美・熊谷亮介が主に作成した。
25. 本書の執筆・編集は、調査担当者との協議の後に小野章太郎が行った。編集にあたっては、古川史佳（第1分冊）・遠山寛美（第2分冊）・中島敦子（第3分冊）がこれを補助した。
26. 本遺跡の調査成果については、現地説明会や宮城県遺跡調査成果発表会、宮城県文化財調査報告書第226集『北小松遺跡』などでその内容の一部を公表しているが、これらと本書の内容が異なる場合には、本書がこれらに優先する。
27. 発掘調査の記録類や出土遺物は、宮城県教育委員会が保管している。

調査要項

遺跡名：北小松遺跡（宮城県遺跡地名表登載番号No. 38005） 遺跡略号：UO

所在地：宮城県大崎市田尻小松ほか

調査原因：経営体育城基盤整備事業（田尻西部地区）に伴う発掘調査

調査主体：宮城県教育委員会

調査担当：宮城県教育庁文化財保護課

調査員：生田和宏 西村 力 伊藤啓之 青山隼人

天野順陽 佐藤貴志 菊地逸夫 豊村幸宏 久保井裕之 山口淳 尾形祐之

小野章太郎 村上裕次 初鹿野博之 古田和誠

調査期間：平成21年5月11日～12月14日、平成22年2月1・2日

調査面積：約2,170m²

調査協力：宮城県北部地方振興事務所 江合川沿岸土地改良区 大崎市教育委員会

（株）渡辺工務店

目 次

第1分冊 本文編

卷頭写真

序 文

例 言

調査要項

目 次

第1章 遺跡の概要	1
第1節 遺跡の位置と自然環境	1
第2節 歴史的環境	1
第2章 調査に至る経緯と調査方法	5
第1節 調査に至る経緯	5
第2節 調査の方法と経過	6
第3章 周辺の地形と基本層序	11
第1節 発掘調査区周辺の地形	11
第2節 基本層序	11
第3節 VI層（遺物包含層）の分布と区分	12
第4章 縄文時代の遺構と遺物	15
第1節 D区	15
1. C丘陵頂部の遺構群	15
(1) 掘立柱建物跡	15
(2) 柱列跡	30
(3) 埋葬犬骨	33
(4) 土坑	33
(5) 焼け面	33
(6) その他の遺構から出土した遺物	35
2. C丘陵南斜面の遺構群と遺物包含層	39
A. 遺構	39
(1) 柱列跡	39
(2) 集石遺構	42
(3) 土坑墓	69
(4) 埋葬犬骨	94

(5) 土坑、ビット	96
(6) 自然流路跡	96
(7) その他の出土遺物	100
B. 遺物包含層	101
(1) 堆積状況と分布範囲	101
(2) 土器	102
(3) 土製品	153
(4) 石器・石製品	153
(5) 骨角牙製品	189
(6) 木製品	192
C. V層～I層ほかから出土した縄文時代の遺物	193
3. C丘陵北斜面の遺構と遺物包含層	197
A. 遺構	197
(1) 柱列跡	197
(2) 集石遺構	197
(3) 土器埋設遺構	207
(4) 土坑	211
(5) その他の遺構等から出土した遺物	212
B. 遺物包含層	216
(1) 堆積状況と分布範囲	216
(2) 土器	217
(3) 土製品	265
(4) 石器・石製品	271
(5) 骨角牙製品	288
(6) 木製品	290
C. IV層～I層ほかから出土した縄文時代の遺物	292
第2節 G区	295
1. C丘陵北斜面の遺物包含層	295
(1) b包含層	295
(2) c包含層	298
2. B丘陵南斜面の遺構と遺物包含層	306
(1) 自然流路跡	306
(2) 遺物包含層	306
3. その他の地点から出土した遺物	313

第5章 古代以降の遺構と遺物	314
(1) 掘立柱建物跡	314
(2) 柱列跡	314
(3) 井戸跡	318
(4) 土坑	318
(5) 溝跡	319
第6章 総括	321
第1節 C丘陵突端部遺物包含層から出土した遺物	322
1. 土器・土製品	322
(1) 出土土器の分類	322
(2) 遺物包含層出土土器	329
(3) 晩期中葉から末葉の土器の変遷	338
(4) 土製品	346
2. 石器・石製品	350
(1) 出土石器・石製品の分類	351
(2) 石材	362
(3) 素材剥片の生産	368
(4) 剥片石器の製作・使用	370
(5) 磔石器	374
(6) 石製品	376
3. 骨角牙製品	378
(1) 各器種の特徴	378
(2) サメ歯装着具	380
第2節 C丘陵突端部周辺の遺構	384
1. 遺構の時期と特徴	384
(1) 掘立柱建物跡・柱列跡	384
(2) 土坑墓	386
(3) 埋葬犬骨	388
(4) 土器埋設遺構	388
(5) 集石遺構	389
(6) 遺物包含層	393
2. D区（C丘陵突端部）における各時期の集落の様相	395
(1) I期（後期末葉）	395
(2) II期（大洞BC式）	395
(3) III期（大洞C1式～大洞C2式古段階）	395

(4) IV期（大洞C2式新段階）	395
(5) V期（大洞A式）	396
(6) VI期（大洞A式）	396
第3節 まとめ	404
註	
引用文献	
付 表 平成21年度発掘調査状況一覧	
付 章	413
1. 北小松遺跡周辺の地形・地質の特徴と洪水堆積層	松本秀明（東北学院大学） 415
2. 北小松遺跡の古環境復元 一主に縄文時代晩期の植生と食物利用および堆積環境	吉川昌伸・吉川純子（古代の森研究会） 423
3. 北小松遺跡における動物と縄文人	富岡直人（岡山理科大学） 433
報告書抄録	

図 目 次（第1分冊）

第1図 北小松遺跡の位置	1	第19図 SK63埋葬大骨出土遺物	32
第2図 北小松遺跡の位置と周辺の遺跡	2	第20図 D-53区平面図・断面図	34
第3図 経営体育成基盤整備事業（田尻西部地区）に伴う 発掘調査対象範囲	5	第21図 C丘陵頂部上坑出土遺物	35
第4図 経営体育成基盤整備事業（田尻西部地区）調査区 配置図	7	第22図 C丘陵頂部ピット出土遺物	36
第5図 平成21年度調査区の位置と遺物包含層の分布	9	第23図 C丘陵頂部ピット出土遺物（柱材）	37
第6図 基本層序模式図（D-60区、G-12区）	11	第24図 C丘陵頂部造構確認面はか出土遺物	37
第7図 D区南北断面模式図	12	第25図 C丘陵南斜面（西側）平面図	40
第8図 D区（C丘陵突端部）平面図	16	第26図 C丘陵南斜面（東側）平面図	41
第9図 丘陵頂部造構群平面図	17	第27図 D-55区東側（SA42柱列跡）平面図・断面図	42
第10図 D-77区平面図・断面図（SB106A・B建物跡）	19	第28図 SA42柱列跡出土遺物	42
第11図 D-78区平面図・断面図（SB107・108建物跡ほか）	20	第29図 SX43集石造構平面図・断面図	43
第12図 D-79区 平面 図（SB109・110・111・112・113・ 114建物跡ほか）	22	第30図 SX43集石造構出土石器（1）	45
第13図 D-79区断面図	23	第31図 SX43集石造構出土石器（2）	46
第14図 D-80区 平面 図（SB115・116・117・118・119・ 120・201・202・203建物跡）	26	第32図 SX43集石造構出土石器（3）	47
第15図 D-80区断面図	27	第33図 SX43集石造構出土石器（4）	48
第16図 掘立柱建物跡出土遺物	27	第34図 SX43集石造構出土石器（5）	49
第17図 D-59区平面図・断面図	31	第35図 SX43集石造構出土石器（6）	50
第18図 SA204柱列跡出土遺物	32	第36図 SX43集石造構出土石器（7）	51

第45图 SX43集石造構出土石製品 (4)	60	第84图 C丘陵南斜面a包含層(西側)出土土器 (4)	104
第46图 SX43集石造構出土石製品 (5)	61		107
第47图 SX43集石造構出土石製品 (6)	62	第85图 C丘陵南斜面a包含層(西側)出土土器 (5)	108
第48图 SX43集石造構出土土器・土製品 (1)	63		109
第49图 SX43集石造構出土土器 (2)	64	第86图 C丘陵南斜面a包含層(西側)出土土器 (6)	110
第50图 SX50集石造構平面圖・斷面圖	65	第87图 C丘陵南斜面a包含層(西側)出土土器 (7)	111
第51图 SX50集石造構出土遺物 (1)	66		112
第52图 SX50集石造構出土遺物 (2)	67	第88图 C丘陵南斜面a包含層(西側)出土土器 (8)	113
第53图 D-56・57・74・75区平面圖	68	第89图 C丘陵南斜面a包含層(西側)出土土器 (9)	114
第54图 D-57・74区斷面圖	69	第90图 C丘陵南斜面a包含層(西側)出土土器 (10)	115
第55图 SK44土坑墓平面圖	70	第91图 C丘陵南斜面a包含層(西側)出土土器 (11)	116
第56图 SK44土坑墓斷面圖	71	第92图 C丘陵南斜面a包含層(西側)出土土器 (12)	117
第57图 SK44土坑墓埋設土器	72	第93图 C丘陵南斜面a包含層(西側)出土土器 (13)	118
第58图 SK44土坑墓出土遺物	73	第94图 C丘陵南斜面a包含層(西側)出土土器 (14)	119
第59图 SK46土坑墓平面圖・斷面圖	74	第95图 C丘陵南斜面a包含層(西側)出土土器 (15)	120
第60图 SK46土坑墓出土遺物	75	第96图 C丘陵南斜面a包含層(西側)出土土器 (16)	121
第61图 SK44・46・47・48・49土坑墓・SX50集石造構平面圖	76	第97图 C丘陵南斜面a包含層(西側)出土土器 (17)	122
第62图 SK47・48・49土坑墓斷面圖	77	第98图 C丘陵南斜面a包含層(西側)出土土器 (18)	123
第63图 SK47・48土坑墓出土遺物	78	第99图 C丘陵南斜面a包含層(西側)出土土器 (19)	124
第64图 SK51・52・53・55土坑墓平面圖・斷面圖	79	第100图 C丘陵南斜面a包含層(西側)出土土器 (20)	125
第65图 SK51土坑墓出土遺物	80	第101图 C丘陵南斜面a包含層(西側)出土土器 (21)	126
第66图 SK53土坑墓平面圖・斷面圖	81	第102图 C丘陵南斜面a包含層(西側)出土土器 (22)	127
第67图 SK53土坑墓出土遺物	82	第103图 C丘陵南斜面a包含層(西側)出土土器 (23)	128
第68图 SK54土坑墓平面圖・出土遺物	82	第104图 C丘陵南斜面a包含層(西側)出土土器 (24)	129
第69图 SK56・57・58・59土坑墓平面圖	84	第105图 C丘陵南斜面a包含層(西側)出土土器 (25)	130
第70图 SK57土坑墓出土遺物	84	第106图 C丘陵南斜面a包含層(西側)出土土器 (26)	131
第71图 SK60土坑墓平面圖・斷面圖・出土遺物	86		
第72图 SK60・61・76・77・78土坑墓平面圖・斷面圖	87		
第73图 SK67・68・69・70土坑墓平面圖・SK土坑墓斷面圖・出土遺物	90		
第74图 SK71・72・73土坑墓平面圖・出土遺物	92		
第75图 SK75土坑墓平面圖	94		
第76图 SK74土坑墓平面圖	94		
第77图 SK55埋葬大骨平面圖・斷面圖	95		
第78图 D-54区 (SK80埋葬大骨) 平面圖・斷面圖	97		
第79图 D-68区 (SK41・93土坑) 平面圖・斷面圖・SK41土坑出土遺物	99		
第80图 C丘陵南斜面造構群造構確認面上出土遺物	100		
第81图 C丘陵南斜面a包含層(西側)出土土器 (1)	104		
第82图 C丘陵南斜面a包含層(西側)出土土器 (2)	105		
第83图 C丘陵南斜面a包含層(西側)出土土器 (3)	106		

第107図 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（27）	130
第108図 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（28）	131
第109図 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（29）	132
第110図 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（30）	133
第111図 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（31）	134
第112図 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（32）	135
第113図 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（33）	136
第114図 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（34）	137
第115図 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（35）	138
第116図 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（36）	139
第117図 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（37）	140
第118図 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（38）	141
第119図 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（39）	142
第120図 C丘陵南斜面a包含層（東側）出土土器（1）	143
第121図 C丘陵南斜面a包含層（東側）出土土器（2）	144
第122図 C丘陵南斜面a包含層（東側）出土土器（3）	145
第123図 C丘陵南斜面a包含層（東側）出土土器（4）	146
第124図 C丘陵南斜面a包含層（東側）出土土器（5）	147
第125図 C丘陵南斜面a包含層（東側）出土土器（6）	148
第126図 C丘陵南斜面a包含層（東側）出土土器（7）	149
第127図 C丘陵南斜面a包含層（東側）出土土器（8）	150
第128図 C丘陵南斜面a包含層（東側）出土土器（9）	151
第129図 C丘陵南斜面a包含層（東側）出土土器（10）	152
第130図 C丘陵南斜面a包含層出土土製品（1）	154
第131図 C丘陵南斜面a包含層出土土製品（2）	155
第132図 C丘陵南斜面a包含層出土土製品（3）	156
第133図 C丘陵南斜面a包含層出土土製品（4）	157
第134図 C丘陵南斜面a包含層出土土製品（5）	158
第135図 C丘陵南斜面a包含層出土土製品（6）	159
第136図 C丘陵南斜面a包含層出土土製品（7）	160
第137図 C丘陵南斜面a包含層出土土製品（8）	161
第138図 C丘陵南斜面a包含層出土土製品（9）	162
第139図 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土石器・石製品（1）	164
第140図 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土石器・石製品（2）	165
第141図 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土石器・石製品（3）	166
第142図 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土石器・石製品（4）	167
第143図 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土石器・石製品（5）	168
第144図 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土石器・石製品（6）	169
第145図 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土石器・石製品（7）	170
第146図 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土石器・石製品（8）	171
第147図 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土石器・石製品（9）	172
第148図 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土石器・石製品（10）	173
第149図 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土石器・石製品（11）	174
第150図 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土石器・石製品（12）	175
第151図 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土石器・石製品（13）	176
第152図 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土石器・石製品（14）	177
第153図 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土石器・石製品（15）	178
第154図 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土石器・石製品（16）	179
第155図 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土石器・石製品（17）	180
第156図 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土石器・石製品（18）	181
第157図 C丘陵南斜面a包含層（東側）出土石器・石製品（1）	182

第158図 C丘陵南斜面a包含層（東側）出土石器・石製品 (2)	183
第159図 C丘陵南斜面a包含層（東側）出土石器・石製品 (3)	184
第160図 C丘陵南斜面a包含層（東側）出土石器・石製品 (4)	185
第161図 C丘陵南斜面a包含層（東側）出土石器・石製品 (5)	186
第162図 C丘陵南斜面a包含層（東側）出土石器・石製品 (6)	187
第163図 C丘陵南斜面a包含層（東側）出土石器・石製品 (7)	188
第164図 C丘陵南斜面a包含層出土骨角牙製品 (1)	190
第165図 C丘陵南斜面a包含層出土骨角牙製品 (2)	191
第166図 C丘陵突端部南斜面V層、I層ほか出土土器	193
第167図 C丘陵突端部南斜面 I層出土土製品	194
第168図 C丘陵突端部南斜面 I層ほか出土石器・石製品 (1)	195
第169図 C丘陵突端部南斜面 I層ほか出土石器・石製品 (2)	196
第170図 C丘陵北斜面調査区（西側）平面図	198
第171図 C丘陵北斜面調査区（西側）断面図	199
第172図 C丘陵北斜面調査区（東側）平面図・断面図	200
第173図 D-58区（SA206柱跡ほか）平面図・断面図、出土遺物	201
第174図 SX91集石遺構平面図・断面図、遺物組成表	202
第175図 SX91集石遺構出土石器 (1)	203
第176図 SX91集石遺構出土石器 (2)	204
第177図 SX91集石遺構出土石器 (3)	205
第178図 SX91集石遺構出土石器 (4)	206
第179図 SX85・86・87・88・89土器埋設遺構平面図	208
第180図 SX86・87・89土器埋設遺構断面図	209
第181図 SX86・87土器埋設遺構埋設土器、出土遺物	209
.....	209
第182図 SX88・89土器埋設遺構埋設土器	210
第183図 SK92土坑平面図・断面図	212
第184図 SK92土坑出土遺物1	213
第185図 SK92土坑出土遺物2	214
第186図 C丘陵突端部北斜面ピット出土遺物	215
第187図 C丘陵北斜面a包含層（西側）出土土器 (1)	215
.....	219
第188図 C丘陵北斜面a包含層（西側）出土土器 (2)	220
第189図 C丘陵北斜面a包含層（西側）出土土器 (3)	221
第190図 C丘陵北斜面a包含層（西側）出土土器 (4)	222
第191図 C丘陵北斜面a包含層（西側）出土土器 (5)	223
第192図 C丘陵北斜面a包含層（西側）出土土器 (6)	224
第193図 C丘陵北斜面a包含層（西側）出土土器 (7)	225
第194図 C丘陵北斜面a包含層（西側）出土土器 (8)	226
第195図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土土器 (1)	227
第196図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土土器 (2)	228
第197図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土土器 (3)	229
第198図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土土器 (4)	230
第199図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土土器 (5)	231
第200図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土土器 (6)	232
第201図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土土器 (7)	233
第202図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土土器 (8)	234
第203図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土土器 (9)	235
第204図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土土器 (10)	236
第205図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土土器 (11)	237
第206図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土土器 (12)	238
第207図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土土器 (13)	239
第208図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土土器 (14)	240
第209図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土土器 (15)	241
第210図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土土器 (16)	242

第211図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土土器（17）	243
第212図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土土器（18）	244
第213図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土土器（19）	245
第214図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土土器（20）	246
第215図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土土器（21）	247
第216図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土土器（22）	248
第217図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土土器（23）	249
第218図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土土器（24）	250
第219図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土土器（25）	251
第220図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土土器（26）	252
第221図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土土器（27）	253
第222図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土土器（28）	254
第223図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土土器（29）	255
第224図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土土器（30）	256
第225図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土土器（31）	257
第226図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土土器（32）	258
第227図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土土器（33）	259
第228図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土土器（34）	260
第229図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土土器（35）	261
第230図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土土器（36）	262
第231図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土土器（37）	263
第232図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土土器（38）	264
第233図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土土器（39）	265
第234図 C丘陵北斜面a包含層出土土製品（1）	266
第235図 C丘陵北斜面a包含層出土土製品（2）	267
第236図 C丘陵北斜面a包含層出土土製品（3）	268
第237図 C丘陵北斜面a包含層出土土製品（4）	269
第238図 C丘陵北斜面a包含層出土土製品（5）	270
第239図 C丘陵北斜面a包含層出土土製品（6）	271
第240図 C丘陵北斜面a包含層（西側）出土石器・石製品（1）	273
第241図 C丘陵北斜面a包含層（西側）出土石器・石製品（2）	274
第242図 C丘陵北斜面a包含層（西側）出土石器・石製品（3）	275
第243図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土石器・石製品（1）	276
第244図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土石器・石製品（2）	277
第245図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土石器・石製品（3）	278
第246図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土石器・石製品（4）	279
第247図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土石器・石製品（5）	280
第248図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土石器・石製品（6）	281
第249図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土石器・石製品（7）	282
第250図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土石器・石製品（8）	283
第251図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土石器・石製品（9）	284
第252図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土石器・石製品（10）	285
第253図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土石器・石製品（11）	286
第254図 C丘陵北斜面a包含層（東側）出土石器・石製品（12）	287
第255図 C丘陵北斜面a包含層出土骨角牙製品（1）	289
第256図 C丘陵北斜面a包含層出土骨角牙製品（2）	290
第257図 C丘陵北斜面a包含層出土木製品	291
第258図 C丘陵突端部北斜面IV層ほか出土土器・土製品	292
第259図 C丘陵突端部北斜面IV層出土石器・石製品	293
第260図 C丘陵突端部北斜面I層ほか出土石器・石製品	294

第261図 G-28・29区 (C丘陵北斜面b包含層) 平面図・断面図	296
第262図 G-28・29区 (C丘陵北斜面b包含層) 出土土器 (1)	297
(2)・土製品	298
第264図 G-28・29区 (C丘陵北斜面b包含層) 出土石器・石製品	299
第265図 G-20・21区 (C丘陵北斜面c包含層) 平面図・断面図	300
第266図 G-22・34区 (C丘陵北斜面c包含層) 平面図・断面図	301
第267図 G-20・21・22・34区 (C丘陵北斜面c包含層) 出土土器 (1)	302
第268図 G-20・21・22・34区 (C丘陵北斜面c包含層) 出土土器 (2)	303
第269図 G-20・21・22・34区 (C丘陵北斜面c包含層) 出土土器 (3)・土製品	304
第270図 G-20・21・22・34区 (C丘陵北斜面c包含層) 出土石器	305
第271図 G-10・11・12区 (B丘陵南斜面b包含層) 平面図・断面図	307
第272図 G-13・14区 (B丘陵南斜面b包含層) 平面図・断面図	308
第273図 SX209・210自然流路出土遺物	309
第274図 G-10・11・12・13・14区 (B丘陵南斜面b包含層) 出土土器 (1)	310
第275図 G-10・11・12・13・14区 (B丘陵南斜面b包含層) 出土土器 (2)	311
第276図 G-10・11・12・13・14区 (B丘陵南斜面b包含層) 出土土器 (3)・土製品・石器、G-15区出土石器、G-16区出土土製品	312
第277図 D-53・78・79区構配図	315
第278図 SE1054井戸跡、SD1055溝跡断面図	315
第279図 SB1060建物跡、SA1061・1062柱列跡平面図	316
第280図 SA1063・1064柱列跡、SK1052土坑ほか平面図・断面図	317
第281図 土器の分類基準図 (類型1) (1)	324
第282図 土器の分類基準図 (類型1) (2)	325
第283図 土器の分類基準図 (類型2) (1)	326
第284図 土器の分類基準図 (類型2) (2)	327
第285図 D-61区西側深堀区 (C北a包含層) 層位別出土土器 (1) Vlh層、Vlg層	340
第286図 D-61区西側深堀区 (C北a包含層) 層位別出土土器 (2) Vlg層、Vlh層	341
第287図 D-61区西側深堀区 (C北a包含層) 層位別出土土器 (3) Vlh層、Vlc層、Vld層	342
第288図 D-61区西側深堀区 (C北a包含層) 層位別出土土器 (4) Vld層、Vlc層、Vlb層、Via層	343
第289図 時期別の土器の大きさ (深鉢・鉢・浅鉢・皿)	345
第290図 石器の分類基準図 (1)	354
第291図 石器の分類基準図 (2)	355
第292図 C丘陵突端部遺物包含層 器種別石材組成 (1)	366
第293図 C丘陵突端部遺物包含層 器種別石材組成 (2)	367
第294図 D-68区およびD-61区西出土自然石の大別層群石材組成	368
第295図 自然石および石核の石材別重量組成	368
第296図 石礫 大別層群別類型出現頻度	371
第297図 石礫 類型別石材組成	371
第298図 石礫の大きさ・形状	372
第299図 不定形石器 大別層群別類型出現頻度	373
第300図 不定形石器 類型別石材組成	373
第301図 磚石器の大きさ・形状	375
第302図 円盤状石製品の大きさ・形状	376
第303図 サメ歯列の出土事例	381
第304図 サメ歯装着具 (09B141) の復元模式図	382
第305図 土坑墓の方向	387
第306図 SX43集石遺構 遺物組成	390
第307図 SX43集石遺構 器種別石材組成	390
第308図 SX43集石遺構 重量分布	390
第309図 SX43集石遺構 磚石器および自然石の大きさ・形状	391
第310図 SX43集石遺構 円磨度	391
第311図 SX43集石遺構 石棒類の風化差	391
第312図 SX91集石遺構 遺物組成	392
第313図 SX91集石遺構 器種別石材組成	392
第314図 SX91集石遺構 円磨度	392
第315図 SX91集石遺構 重量分布	392
第316図 SX91集石遺構 磚石器および自然石の大きさ・形状	392
第317図 各時期の主な遺構および遺物包含層の分布 I期、II期	397
第318図 各時期の主な遺構および遺物包含層の分布 III期、IV期	398
第319図 各時期の主な遺構および遺物包含層の分布 V期、Via期	399
第320図 各時期の主な遺構および遺物包含層の分布 Vlb期	400
第321図 各時期の主な遺構および遺物包含層の分布 Vlc期	401

表 目 次（第1分冊）

第1表 遺跡地名表	3
第2表 経営体育成基盤整備事業（田尻西部地区）調査年度と調査面積	6
第3表 D区（C丘陵突端部）におけるⅢ層の細分	13
第4表 C丘陵頂部建物跡一覧	30
第5表 D-59区上層觀察表	32
第6表 SX43集石造構 器種組成	44
第7表 SX43集石造構 器種別石材組成	44
第8表 C丘陵頂部・南斜面 土坑墓一覧	98
第9表 土坑一覧	100
第10表 C丘陵南斜面a包含層 大別層群別の各類型出現頻度	330
第11表 C丘陵突端部北斜面遺物包含層 大別層群別の各類型出現頻度	334
第12表 C丘陵突端部遺物包含層の時期	337
第13表 D-61区西側深堀区 層位別の各類型出現頻度	344
第14表 石器・石製品 地区別出土状況	350
第15表 石器・石製品 C丘陵突端部遺物包含層の大別層群別器種組成	351
第16表 石器・石製品 類型別出現頻度（C丘陵突端部遺物包含層のみ）	352
第17表 大別層群別石材組成（トゥール）	362
第18表 大別層群別石材組成（礫石器）	362
第19表 大別層群別石材組成（剥片・石核） 点数	363
第20表 大別層群別石材組成（剥片・石核） 重量(g)	363
第21表 C丘陵突端部遺物包含層 器種別石材組成(1)	364
第22表 C丘陵突端部遺物包含層 器種別石材組成(2)	365
第23表 大別層群別の剥片・石核各属性の出現頻度	369
第24表 加熱処理痕跡のある石器の出現頻度	370
第25表 礫石器の転用	374
第26表 骨角牙製品 大別層群別出土状況	379
第27表 骨角牙製品 器種別素材	379
第28表 掘立柱建物跡の時期	385
第29表 埋葬人骨の頭部の位置	387
第30表 土坑墓の特徴	387
第31表 SX43集石造構 器種組成	390
第32表 SX91集石造構 器種組成	392
第33表 C丘陵突端部における主要造構の変遷	396

第2分冊 分析編

目 次

第1章	北小松遺跡出土人骨について	鈴木敏彦（東北大学）	1
第2章	北小松遺跡平成21年度発掘調査出土動物遺存体の分析	富岡直人・太田有香・足立望・江川達也（岡山理科大学）	13
第3章	北小松遺跡出土イヌ遺存体（埋葬犬）	古賀日香理・富岡直人（岡山理科大学）	73
第4章	北小松遺跡から出土したコイ科魚類咽頭歯遺存体	中島経夫（岡山理科大学）	87
第5章	北小松遺跡から出土したサメ歯装着具の木質部について	小林和貴・鈴木三男（東北大学植物園）	93
第6章	北小松遺跡出土サメ歯装着具の膠着物の科学分析	本多貴之・湯浅健太・宮腰哲雄（明治大学大学院理工学研究科応用科学専攻）	97
第7章	北小松遺跡出土遺物の黒色物質の材料調査	赤田昌倫・高妻洋成（奈良文化財研究所）	103
第8章	マイクロX線CT可視化法による北小松遺跡出土中空動物形土製品およびサメ歯装着具の内部構造	佐々木理・柳田俊雄・鹿納晴尚（東北大学総合学術博物館）	107
第9章	北小松遺跡出土石器の機能と色	鹿又喜隆（東北大学）	111
第10章	北小松遺跡における放射性炭素年代（AMS測定）（1）	（株）加速器分析研究所	131
第11章	北小松遺跡における放射性炭素年代（AMS測定）（2）	（株）加速器分析研究所	135
第12章	北小松遺跡ほかにおける放射性炭素年代（AMS測定）及び炭素・窒素安定同位体分析	（株）加速器分析研究所	141
第13章	北小松遺跡周辺の縄文時代晩期から平安時代の植生史と堆積環境	吉川昌伸（古代の森研究舎）	153
第14章	北小松遺跡周辺より産出した木材及び種実	吉川純子（古代の森研究舎）	165
第15章	北小松遺跡周辺より出土した大型植物化石	吉川純子（古代の森研究舎）	173
第16章	北小松遺跡E-25区の縄文時代晩期の植生と堆積環境	吉川昌伸（古代の森研究舎）	181

第17章 北小松遺跡E-1区とF-10区の縄文時代の花粉と珪藻化石	吉川昌伸（古代の森研究舎）	191
第18章 北小松遺跡の縄文時代の植物化石	吉川昌伸・吉川純子（古代の森研究舎）	199
第19章 北小松遺跡D-58・59・61区の縄文時代後・晚期の花粉・珪藻化石	吉川昌伸（古代の森研究舎）	211
第20章 北小松遺跡（平成21年度調査）から出土した木材と種実（1）	吉川純子（古代の森研究舎）	225
第21章 北小松遺跡（平成21年度調査）から出土した木材と種実（2）	吉川純子（古代の森研究舎）	229
第22章 北小松遺跡E-25区VI層から検出された白色物	藤根 久（パレオ・ラボ）	233
第23章 北小松遺跡出土の火山灰分析	（株）火山灰考古学研究所	235

第3分冊 写真図版編

目 次

写真図版

図版1 北小松遺跡周辺空中写真	1	図版41 C丘陵北斜面土器埋設遺構群 埋設土器	41
図版2 北小松遺跡ほか遠景	2	図版42 C丘陵南斜面a包含層 出土土器	42
図版3 北小松遺跡遠景	3	図版43 C丘陵南斜面a包含層 南3層群、南2B層群出土 土器	43
図版4 遺跡遠景、D-77区	4	図版44 C丘陵南斜面a包含層 南2A層群、南1層群出土 土器	44
図版5 D-78区	5	図版45 C丘陵北斜面a包含層 出土土器	45
図版6 D-79区	6	図版46 C丘陵北斜面a包含層 北5層群、北3層群出土 土器	46
図版7 D-80区	7	図版47 C丘陵北斜面a包含層 北2A層群、北1A層群出土 土器	47
図版8 D-59区	8	図版48 SX43集石遺構 出土遺物	48
図版9 D-53区	9	図版49 SX43集石遺構 石器・礫石器	49
図版10 D-54区	10	図版50 SX43集石遺構 石製品	50
図版11 D-68・69区	11	図版51 SX43集石遺構 剥片・石核・石器石材	51
図版12 D-55区	12	図版52 SX43集石遺構 自然石、土器・土製品	52
図版13 D-56・57・74・75区全景	13	図版53 SX50・91集石遺構 出土石器	53
図版14 D-56区 土坑墓群	14	図版54 C丘陵突端部遺物包含層 出土石器	54
図版15 SK44土坑墓	15	図版55 石製品	55
図版16 SK46土坑墓、D-56区東側全景、SX50集石遺構	16	図版56 土製品・骨角牙製品	56
図版17 SK53土坑墓、SK55埋葬犬骨	17	図版57 C丘陵頂部遺構群 出土遺物（1）	57
図版18 D-57区 土坑墓群、SK60土坑墓	18	図版58 C丘陵頂部遺構群 出土遺物（2）	58
図版19 SK54・56・57・58・59・61・76・77・78上坑墓	19	図版59 SX43集石遺構 出土石器・石製品（1）	59
図版20 D-57区 遺物包含層	20	図版60 SX43集石遺構 出土石器・石製品（2）	60
図版21 SK67・72・73・74・75土坑墓	21	図版61 SX43集石遺構 出土石器・石製品（3）	61
図版22 SK68・69・70・71土坑墓	22	図版62 SX43集石遺構 出土石器・石製品（4）	62
図版23 D-58区	23	図版63 SX43集石遺構 出土石器・石製品（5）	63
図版24 D-58区 土器埋設遺構	24	図版64 SX43集石遺構 出土石器・石製品（6）	64
図版25 SX91集石遺構、SA206柱列跡、D-64区	25	図版65 SX43集石遺構 出土石器・石製品（7）	65
図版26 D-60区	26	図版66 SX43集石遺構 出土石器・石製品（8）	66
図版27 D-61区西V1a、V1b層	27	図版67 SX43集石遺構 出土石器・石製品（9）	67
図版28 D-61区西V1c、V1d層	28	図版68 SX43集石遺構 出土石器・石製品（10）	68
図版29 D-61区西V1e層	29	図版69 SX43集石遺構 出土土器・土製品	69
図版30 D-61区西V1f層	30	図版70 C丘陵南斜面造構群 出土遺物（1）	70
図版31 D-61区西V1g層（1）	31	図版71 C丘陵南斜面造構群 出土遺物（2）	71
図版32 D-61区西V1g層（2）	32	図版72 C丘陵南斜面造構群 出土遺物（3）	72
図版33 D-61区西V1h層	33	図版73 C丘陵南斜面造構群 出土遺物（4）	73
図版34 D-61区西壁、D-61拡張区	34	図版74 C丘陵南斜面造構群 出土遺物（5）	74
図版35 D-62・63・65区	35	図版75 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（1）	75
図版36 G-28・29区	36	図版76 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（2）	76
図版37 G-20・21・22・34区	37		
図版38 G-10・11・12・13区	38		
図版39 G-13・14区	39		
図版40 C丘陵南斜面土坑墓群 埋設土器	40		

国版77 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（3）	100
	77
国版78 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（4）	101
	78
国版79 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（5）	102
	79
国版80 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（6）	103
	80
国版81 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（7）	104
	81
国版82 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（8）	105
	82
国版83 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（9）	106
	83
国版84 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（10）	107
	84
国版85 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（11）	108
	85
国版86 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（12）	109
	86
国版87 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（13）	110
	87
国版88 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（14）	111
	88
国版89 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（15）	112
	89
国版90 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（16）	113
	90
国版91 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（17）	114
	91
国版92 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（18）	115
	92
国版93 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（19）	116
	93
国版94 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（20）	117
	94
国版95 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（21）	118
	95
国版96 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（22）	119
	96
国版97 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（23）	120
	97
国版98 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（24）	121
	98
国版99 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（25）	122
	99
国版100 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（26）	123
国版101 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（27）	100
	101
国版102 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（28）	102
	103
国版103 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（29）	104
	105
国版104 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（30）	105
	106
国版105 C丘陵南斜面a包含層（東側）出土土器（1）	106
	107
国版106 C丘陵南斜面a包含層（東側）出土土器（2）	107
	108
国版107 C丘陵南斜面a包含層（東側）出土土器（3）	108
	109
国版108 C丘陵南斜面a包含層（東側）出土土器（4）	109
	110
国版109 C丘陵南斜面a包含層（東側）出土土器（5）	110
	111
国版110 C丘陵南斜面a包含層（東側）出土土器（6）	111
	112
国版111 C丘陵南斜面a包含層（東側）出土土器（7）	112
	113
国版112 C丘陵南斜面a包含層 出土土製品（1）	113
	114
国版113 C丘陵南斜面a包含層 出土土製品（2）	114
	115
国版114 C丘陵南斜面a包含層 出土土製品（3）	115
	116
国版115 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土石器・石製品（1）	116
	117
国版116 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土石器・石製品（2）	117
	118
国版117 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土石器・石製品（3）	118
	119
国版118 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土石器・石製品（4）	119
	120
国版119 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土石器・石製品（5）	120
	121
国版120 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土石器・石製品（6）	121
	122
国版121 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土石器・石製品（7）	122
	123
国版122 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土石器・石製品（8）	123
国版123 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土石器・石製品（9）	123

図版124 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土石器・石製品 （10）	124
図版125 C丘陵南斜面a包含層（東側）出土石器・石製品 （1）	125
図版126 C丘陵南斜面a包含層（東側）出土石器・石製品 （2）	126
図版127 C丘陵南斜面a包含層（東側）出土石器・石製品 （3）	127
図版128 C丘陵南斜面a包含層 出土骨角牙製品	128
図版129 C丘陵突端部南斜面V層、I層ほか 出土土器・ 土製品	129
図版130 C丘陵南斜面I層ほか 出土石器・石製品	130
図版131 SX91集石遺構 出土石器（1）	131
図版132 SX91集石遺構 出土石器（2）	132
図版133 SX91集石遺構 出土石器（3）	133
図版134 C丘陵北斜面遺構群 出土遺物（1）	134
図版135 C丘陵北斜面遺構群 出土遺物（2）	135
図版136 C丘陵北斜面遺構群 出土遺物（3）	136
図版137 C丘陵北斜面遺構群 出土遺物（4）	137
図版138 C丘陵北斜面a包含層（西側） 出土土器（1）	138
図版139 C丘陵北斜面a包含層（西側） 出土土器（2）	139
図版140 C丘陵北斜面a包含層（西側） 出土土器（3）	140
図版141 C丘陵北斜面a包含層（西側） 出土土器（4）	141
図版142 C丘陵北斜面a包含層（西側） 出土土器（5）	142
図版143 C丘陵北斜面a包含層（西側） 出土土器（6）	143
図版144 C丘陵北斜面a包含層（東側） 出土土器（1）	144
図版145 C丘陵北斜面a包含層（東側） 出土土器（2）	145
図版146 C丘陵北斜面a包含層（東側） 出土土器（3）	146
図版147 C丘陵北斜面a包含層（東側） 出土土器（4）	147
図版148 C丘陵北斜面a包含層（東側） 出土土器（5）	148
図版149 C丘陵北斜面a包含層（東側） 出土土器（6）	149
図版150 C丘陵北斜面a包含層（東側） 出土土器（7）	150
図版151 C丘陵北斜面a包含層（東側） 出土土器（8）	150
	151
図版152 C丘陵北斜面a包含層（東側） 出土土器（9）	152
図版153 C丘陵北斜面a包含層（東側） 出土土器（10）	153
図版154 C丘陵北斜面a包含層（東側） 出土土器（11）	154
図版155 C丘陵北斜面a包含層（東側） 出土土器（12）	155
図版156 C丘陵北斜面a包含層（東側） 出土土器（13）	156
図版157 C丘陵北斜面a包含層（東側） 出土土器（14）	157
	157
図版158 C丘陵北斜面a包含層（東側） 出土土器（15）	158
図版159 C丘陵北斜面a包含層（東側） 出土土器（16）	159
図版160 C丘陵北斜面a包含層（東側） 出土土器（17）	160
図版161 C丘陵北斜面a包含層（東側） 出土土器（18）	161
図版162 C丘陵北斜面a包含層（東側） 出土土器（19）	162
図版163 C丘陵北斜面a包含層（東側） 出土土器（20）	163
図版164 C丘陵北斜面a包含層（東側） 出土土器（21）	164
図版165 C丘陵北斜面a包含層（東側） 出土土器（22）	165
図版166 C丘陵北斜面a包含層（東側） 出土土器（23）	166
図版167 C丘陵北斜面a包含層（東側） 出土土器（24）	167
図版168 C丘陵北斜面a包含層（東側） 出土土器（25）	168
図版169 C丘陵北斜面a包含層（東側） 出土土器（26）	169
図版170 C丘陵北斜面a包含層（東側） 出土土器（27）	170
	170
図版171 C丘陵北斜面a包含層（東側） 出土土器（28）	171
図版172 C丘陵北斜面a包含層（東側） 出土土器（29）	172
図版173 C丘陵北斜面a包含層（東側） 出土土器（30）	173
図版174 C丘陵北斜面a包含層（東側） 出土土器（31）	174

国版175 C丘陵北斜面a包含層 出土土製品 (1)	175
国版176 C丘陵北斜面a包含層 出土土製品 (2)	176
国版177 C丘陵北斜面a包含層 出土土製品 (3)	177
国版178 C丘陵北斜面a包含層 (西側) 出土石器・石製品 (1)	178
国版179 C丘陵北斜面a包含層 (西側) 出土石器・石製品 (2)	179
国版180 C丘陵北斜面a包含層 (東側) 出土石器・石製品 (1)	180
国版181 C丘陵北斜面a包含層 (東側) 出土石器・石製品 (2)	181
国版182 C丘陵北斜面a包含層 (東側) 出土石器・石製品 (3)	182
国版183 C丘陵北斜面a包含層 (東側) 出土石器・石製品 (4)	183
国版184 C丘陵北斜面a包含層 (東側) 出土石器・石製品 (5)	184
国版185 C丘陵北斜面a包含層 (東側) 出土石器・石製品 (6)	185
国版186 C丘陵北斜面a包含層 (東側) 出土石器・石製品 (7)・木製品	186
国版187 C丘陵北斜面a包含層 出土骨角牙製品	187
国版188 C丘陵突端部北斜面Ⅳ・Ⅰ層ほか 出土土器・土製品・石器・石製品	188
国版189 C丘陵北斜面b包含層 出土土器 (1)	189
国版190 C丘陵北斜面b包含層 出土土器 (2)・土製品・石器・石製品	190
国版191 C丘陵北斜面c包含層 出土土器 (1)	191
国版192 C丘陵北斜面c包含層 出土土器 (2)	192
国版193 C丘陵北斜面c包含層 出土土器 (3)・土製品・石器・SX209・210自然流路跡 出土土器・石器	193
国版194 B丘陵南斜面b包含層 出土土器 (1)	194
国版195 B丘陵南斜面b包含層 出土土器 (2)・土製品・石器	195

第1章 遺跡の概要

第1節 遺跡の位置と自然環境

北小松遺跡は、大崎市田尻小松ほかに所在し（第1・2図）、江合川と鳴瀬川の沖積作用で形成された東西約13km、南北約17kmの大崎平野（大崎低地）の北部に位置する。大崎低地を包むように、南は鹿島台丘陵（三本木丘陵）、北は清滝丘陵（築館丘陵）がそれぞれ東へ延びる。遺跡の位置する大崎低地の東縁部は、低い小丘陵が点在しており、北西から延びる清滝丘陵も低くなり、末端部では断続的となっている。大崎低地は、現河道および旧河道沿いに自然堤防が形成され、これらの間に後背湿地が広がっている（宮城県企画部 1989）。

遺跡は、清滝丘陵の末端部近くの樹枝状に延びる低丘陵の裾部と、その西側に広がる後背湿地に位置する。標高は約13.4～49.7mで、現況は宅地や水田・畑地等として利用されている。遺跡の南側は、東流する田尻川によって形成された自然堤防が東西に延びる。また、遺跡の西側に広がる後背湿地は、大崎沼とよばれる沼地があったと伝えられている（田尻町史編さん委員会 1982）など、本遺跡の周辺域にはかつて湖沼域が広がっていたとみられる。

なお、遺跡の位置する清滝丘陵の周辺域に縄文時代の貝塚が出現するのは、海岸線が最も内奥に入り込んだ縄文時代早期末から前期初頭である（須藤・富岡編 1995）。この時期に海岸線は本遺跡から約10km南東にあったとされる。その後、海岸線の後退とともに清滝丘陵周辺の湖沼域が淡水化するとともに、数多くの後背湿地や湖沼が形成されるようになる。本遺跡周辺で多くの集落が営まれるようになる縄文時代晩期には、本遺跡から約20km南東まで海岸線が後退する。

また、遺跡の位置する丘陵には、新第三紀鮮新世の瀬峰層が分布する。瀬峰層は凝灰質砂岩・同質シルト岩・凝灰岩等からなり、箕岳以北の低平丘陵地一帯および、北上川・迫川・江合川・鳴瀬川に沿った沖積平野に残丘状に残された小丘陵を構成しつつ分布する。また、低地には、細粒灰色低地上壤および、細粒グライ土壤、グライ土壤、低位泥炭土壤が分布している（宮城県企画部 前掲）。

第2節 歴史的環境

北小松遺跡は1953年（昭和28）に発見され、「宮城県史1」の遺跡地名表には縄文時代晩期の大洞BC～A'式土器が出土する遺跡として紹介された（伊東 1957）。また1957年（昭和32）の開田工事では、泥炭層や貝層から、抜歯の施された人骨やシジミ・タニシ等の淡水産貝類、多数の縄文土器や石器、動物遺存体が発見されている（興野 1959、田尻町史編さん委員会 1982、高橋 1986）。この地点は、地元の方々からの聞き取りによると、遺跡標柱の西側に位置する微高地の南側



第1図 北小松遺跡の位置



第2図 北小松遺跡の位置と周辺の遺跡

第1表 遺跡地名表（番号は第2図に対応）

番号	遺跡名	立地	種別	時代	番号	遺跡名	立地	種別	時代
1	北小松遺跡	E境、谷合付近	集落・散布地	縄文・弥生・古墳・平安・中世	81	北山遺跡	丘陵裏	散布地	古代
2	愛宕山遺跡	丘陵	散布地	縄文・古代	82	西手取遺跡	段丘	集落・聚落	縄文・草・平安・中世・近世
3	高畠山遺跡	丘陵	散布地	縄文・弥生・古墳	83	城原	丘陵	城原	中世
4	宮道遺跡	丘陵	散布地	縄文・弥生・古墳	84	西横手遺跡	丘陵	散布地	縄文・古墳・中世・近世
5	团子山西遺跡	沖積平原	集落	縄文・古墳・近世	85	外久家跡	丘陵斜面	空庭	平安
6	前田遺跡	丘陵	古墳・城壁・集落	縄文・弥生・古墳・平安・中世	86	引野道跡	段丘	散布地	古代
7	神明遺跡	沖積平原	散布地	古代	87	鶴負山遺跡	丘陵	散布地	古代
8	木本船跡	丘陵	城壁	中世	88	上野・中道遺跡	段丘	塚	不明
9	日向南極穴墓群	丘陵裏	横穴墓群	古墳・平安	89	牛深山遺跡	丘陵斜面	散布地	縄文
10	間水橋穴墓群	丘陵	横穴墓群	古墳	90	馬祖寺遺跡	段丘	散布地	古墳
11	大隅遺跡	丘陵	城壁	中世	91	人輪遺跡	段丘	散布地	縄文・古墳
12	天神山遺跡	丘陵	石室	古代	92	鶴布寺遺跡	段丘	散布地	古代・近世
13	大隅の横穴墓群	丘陵裏	横穴墓群	古墳後	93	二木山遺跡	丘陵	研究	中世
14	小野船跡	丘陵	城壁	中世	94	折木山遺跡	丘陵	寺院?	古代
15	一月令遺跡	丘陵	散布地	奈良	95	一本松遺跡	丘陵	散布地	縄文・古代
16	羽黒山遺跡	丘陵	散布地	古墳	96	高清水遺跡	段丘	古墳・奈良・平安・中世・近世	古墳
17	小御嶽穴墓群(昭和支削)	丘陵裏	横穴墓群	古墳後・奈良	97	高清水城跡	段丘	散布地	古墳・中世
18	小御嶽穴墓群(白川支削)	丘陵裏	横穴墓群	古墳後・奈良	98	栗原遺跡	段丘	集落	孫子・平安
19	小御嶽穴墓群(萬葉支削)	丘陵裏	横穴墓群	古墳後	99	筒の池遺跡	段丘	散布地	縄文
20	小御嶽一里塚	丘陵裏	横穴墓群	古墳後	100	弓之口遺跡	段丘	散布地	縄文・奈良・孫子・平安
21	いもり塚遺跡(豆道跡)	丘陵裏	横穴墓	古墳文	101	別の沢山遺跡	丘陵	集落	奈良
22	椎原山遺跡	丘陵裏	集落・星宿跡	古代・中世	102	新川山遺跡(新川村)	丘陵	城原・散布地	平安・中世
23	新川山遺跡	丘陵	散布地	縄文	103	下木所遺跡	丘陵裏	集落	平安
24	稻荷塚古墳	丘陵	円墳	古墳後	104	垂沢東遺跡	丘陵	集落	縄文・古代
25	二輪田遺跡	丘陵	古墳	寺院・寺跡?	105	町野道跡	丘陵	散布地	古代
26	木舟遺跡	沖積平原	散布地	古代	106	空室道跡	丘陵斜面	空室道跡	縄文
27	弓之口塚穴墓群	丘陵	横穴墓群	古墳後	107	弓之口遺跡	丘陵	集落	古墳・中世
28	史跡・宮尻遺跡	丘陵	古墳	古墳	108	石刀山遺跡	丘陵	集落	孫子・平安
29	小御嶽穴墓群(四ノ井支削)	丘陵裏	横穴墓群	古墳後・奈良	109	櫛穴道跡	丘陵	塚	古代
30	弓輪古墳群	丘陵裏	円墳	古墳	110	羽石山遺跡	丘陵	散布地	縄文
31	新中山遺跡	丘陵	沖積平原	不明	111	船形塚・史跡・苦闘遺跡	丘陵	塚	古世
32	小御嶽の横穴墓群(大根支削)	丘陵裏	横穴墓群	古墳後・奈良	112	舟ノ沢遺跡	丘陵	散布地	古代
33	続人跡遺跡	丘陵	散布地	奈良・平安	113	寺跡	丘陵	散布地	縄文・古墳・古代
34	小御嶽穴墓群	丘陵斜面	横穴墓群	古墳後・古代	114	村ノ増遺跡	丘陵	散布地	縄文・古代・中世
35	小御嶽斜面遺跡	丘陵斜面	古墳後	奈良	115	外沢田A遺跡	段丘	散布地	古代・近世
36	小御嶽穴墓群(小川支削)	丘陵裏	横穴墓群	古墳後・奈良	116	北野山B遺跡	段丘	横穴・古墳・中世・近世	古墳・中世・中世・近世
37	馬場遺跡	丘陵	沖積平原	縄文・古墳	117	中二代遺跡	丘陵	集落	古代
38	新吉古墳群	丘陵	円墳・方墳	古墳	118	代遺跡	丘陵	散布地	古世・中世
39	横穴式古墳	丘陵	墓跡	史跡・荒廃	119	外沢田B遺跡	段丘	古跡・近世	古跡
40	小御嶽穴墓群(首津支削)	丘陵裏	横穴墓群	古墳・古代	120	史跡・土埋遺跡	丘陵	塚・散布地	古跡?・古代
41	嵐山遺跡	丘陵	散布地	縄文	121	長良道跡	丘陵	散布地	古代
42	上蛭沢遺跡	丘陵裏	散布地	縄文	122	瓦町道跡	丘陵	散布地	縄文・古墳・古代・中世
43	若者D遺跡	丘陵裏	散布地	縄文	123	日野道跡	丘陵	集落	古代
44	化女頭遺跡	丘陵裏	散布地	縄文	124	野川道跡	丘陵	散布地	縄文・古墳・古代・中世
45	細谷地遺跡	丘陵	冲積平原	古墳後	125	四ノ原廻遺跡	丘陵	散布地	縄文・古代
46	細谷地遺跡	丘陵尾根	塚	古墳	126	湯跡山遺跡	丘陵	散布地	古世
47	十八ノ里遺跡	丘陵裏	散布地	縄文・古墳	127	瓦町山遺跡	丘陵	散布地	古跡・奈良
48	渡ノ里遺跡	丘陵	古墳	古墳	128	史跡・木ノ瓦室跡	丘陵	集落	古世・古代
49	渡ノ里遺跡	丘陵裏	散布地	奈良・平安	129	木ノ原道跡	丘陵	集落	奈良・古代
50	城内山遺跡	丘陵	史跡	古代	130	木ノ原船跡	丘陵	城原・散布地	古世・中世
51	下原田遺跡	丘陵裏	散布地	奈良	131	良津神遺跡	丘陵	塚	古世・平安
52	ノゾリ遺跡	丘陵裏	散布地	古代	132	日谷台山遺跡	丘陵斜面	散布地	縄文・古代
53	通陽遺跡	丘陵斜面	史跡	近世	133	北久保遺跡	丘陵斜面	散布地	古代
54	下駒川遺跡	丘陵斜面	散布地	生	134	六月坂遺跡	丘陵	散布地	古代
55	下駒川B遺跡	丘陵裏	散布地	生	135	通川城跡	丘陵	集落	古跡・古墳
56	隼島遺跡	丘陵裏	集落	縄文・古代	136	通川山中面遺跡	沖積平原	自然堤防	古代
57	大津遺跡	丘陵	散布地	縄文・中	137	通木山B遺跡	自然堤防	散布地	平安
58	貴賀遺跡	丘陵	古66・道路・上屋	奈良・中世・近世?	138	お椀山遺跡	丘陵	自然堤防	縄文・古墳・古跡・古墳前・古代
59	大久我遺跡	丘陵裏	集落	縄文・奈良・平安	139	百塚山東遺跡	丘陵斜面	散布地	古代
60	大鏡遺跡	丘陵	散布地	平安	140	金寺寺跡	自然堤防	寺院	
61	袋沢遺跡	丘陵	散布地	縄文・古世	141	町道遺跡	自然堤防	散布地	古世
62	北原A遺跡	段丘	散布地	縄文・古代・中世・近世	142	十二神遺跡	自然堤防	散布地	古代・中世
63	北原B遺跡	段丘	散布地	古代	143	中川道跡	自然堤防	散布地	古世
64	寛寅寺遺跡	段丘	寺院・散布地	縄文・古代・中世・近世	144	藤川布川遺跡	自然堤防	散布地	古代
65	中ノ差遺跡	段丘	集落	縄文・古代・中世・近世	145	山ノ道跡	自然堤防	散布地	古世
66	脚ヶ谷・地藏山遺跡	段丘	集落	縄文・古代・中世・近世	146	扇谷院・鹿跡	自然堤防	散布地	古代
67	鶴吉沢遺跡	段丘	集落	縄文・古墳・奈良・中世	147	母母道跡	自然堤防	散布地	古代
68	向日遺跡	段丘	集落・散布地	縄文・古代・中世	148	或川遺跡	自然堤防	散布地	平安
69	台町西遺跡	段丘	集落・塚	古代	149	駄佐A遺跡	沖積平原	散布地	奈良・平安
70	木ノ木田遺跡	段丘	集落・塚	縄文・古代・中世	150	駄佐B遺跡	沖積平原	散布地	古代
71	萩田遺跡	段丘	集落	縄文・古代・中世	151	祐木遺跡	沖積平原	散布地	古世
72	源範舟遺跡	丘陵斜面	散布地	古代	152	体家船跡	自然堤防	威城	中世
73	梅谷遺跡	丘陵斜面	散布地	縄文・古代	153	御船跡	自然堤防	威城	古世
74	市・祇船跡	丘陵	城壁	中世	154	御川城跡	自然堤防	威城	中世
75	北山遺跡	丘陵	散布地・河原・塚	古墳後・古代・近世	155	圓周遺跡	自然堤防	散布地	古墳中
76	新寺斜面遺跡	丘陵斜面	集落	近世	156	上野道跡	沖積平原	散布地	古代
77	駆馬場遺跡	丘陵	散布地	古代	157	季良城跡	自然堤防	城原	中世
78	御屋敷遺跡	丘陵	集落	平安	158	御前船跡	自然堤防	城原	中世
79	長尾遺跡	丘陵裏	散布地	縄文	159	御沼遺跡	自然堤防	集落	古墳前・中

の水田付近にあたるといわれる。最近の発掘調査の結果、この一帯は、縄文時代に湖沼が広がり、その沿岸部にあたる低丘陵や微高地に縄文時代早期から晩期の集落があったこと、特に晩期後葉頃には近接して多くの集落が営まれたことなどが明らかとなっている（宮城県教育委員会 2008・2010・2011）。なお、遺跡の位置する丘陵上には新田柵跡、遺跡西側の丘陵上には愛宕山遺跡や諏訪遺跡、宮沼遺跡など、南を東流する田尻川によって形成された自然堤防上には团子山西遺跡、神明遺跡などが分布する（第2図）。

周辺の遺跡を概観すると、本遺跡と同じ丘陵上には、長根貝塚や国史跡中沢貝塚、国指定重要文化財の遮光器土偶が出土した恵比須田遺跡などが位置する。長根貝塚では、丘陵尾根上で中期後葉の竪穴住居跡を検出し、また、前期から中期にかけての貝層を検出した（伊東ほか 1969）。中沢貝塚では後期末から晩期前葉の貝層を検出し、土器や石器、動物遺存体等の分析から当時の物質文化や生業活動の様相が明らかとなった（須藤編 1984、須藤・富岡編 1995）。

本遺跡の近隣にも縄文時代の遺跡が多く点在し（第2図）、国史跡宮沢遺跡では、1974～1976年（昭和49～51）の東北自動車道建設工事に伴う発掘調査で縄文時代晩期後葉の土坑1基と遺物包含層1箇所を検出している（宮城県教育委員会 1980）。また、本遺跡の西側に隣接する宮沼遺跡では、1996年（平成8）年に町道拡幅工事に伴う発掘調査が行われ、縄文時代晩期の土器がわずかに出土した。

古墳時代以降の遺跡では、本遺跡の西側の丘陵上には日向横穴古墳群があり、1978年（昭和53）の東北新幹線建設工事に伴う発掘調査で多賀城創建以前の横穴古墳を1基検出している（宮城県教育委員会 1981）。また、本遺跡の位置する丘陵上には、「統日本紀」天平9年（737）条に記載のある「新田柵」に推定されている新田柵跡が位置する。新田柵跡は、各種公共事業や国庫補助事業に伴う発掘調査が20年以上にわたって行われてきており、大型の掘立柱建物跡や門跡、材木堆跡、築地・土壘状遺構などを検出し官衙的空間の様相が明らかとなってきている（大崎市教育委員会 2011など）。

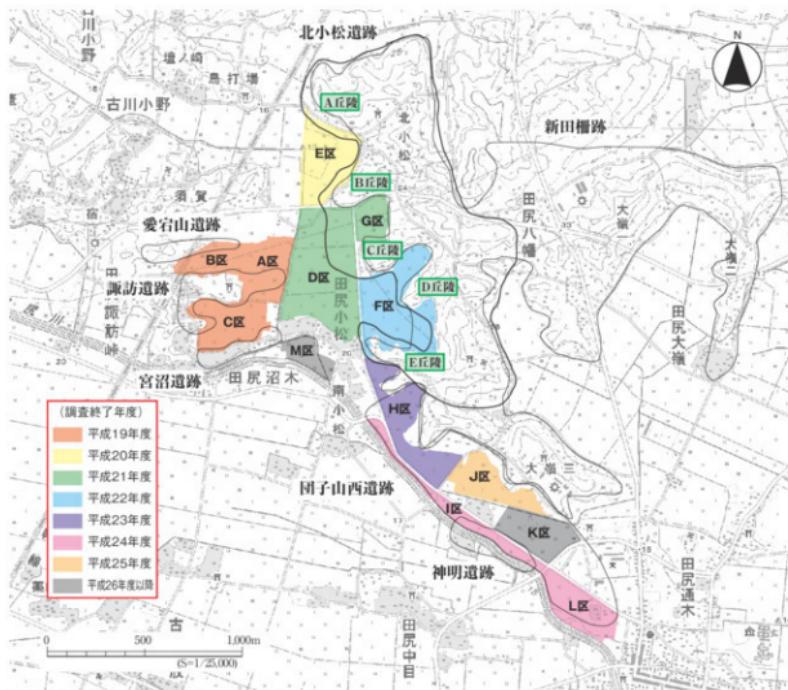
第2章 調査に至る経緯と調査方法

第1節 調査に至る経緯

本調査は、経営体育成基盤整備事業（＝場整備）に伴うものである。遺跡の範囲や遺構面の深度を確認するために、平成16年度に宮城県教育委員会と田尻町教育委員会がそれぞれ、平成17年度に田尻町教育委員会が確認調査を実施した（第2表）。これらの調査の結果、本報告に関わる範囲では、西へ延びる丘陵末端部の微高地の周辺に縄文時代晩期中葉から弥生時代前期の遺物包含層が形成され、微高地には集落が営まれていた可能性が判明した（宮城県教育委員会 2005）。

確認調査の結果をもとに、ほ場整備に伴う工事による遺跡への影響を少なくするため、設計の変更などの協議を経て、平成19年度から本発掘調査を実施することとなった（第3図、第2表）。

本発掘調査は、平成19年度には場整備対象地区的西側丘陵裾部にあたる、愛宕山遺跡・源訪遺跡・宮沼遺跡（A～C区とD区の一部）を調査し、平成20年度に東側丘陵裾部にあたる、北小松遺跡（D区の一部、E区、F区の一部）の調査を実施した。これらの調査の結果、1) 調査対象範囲の大部分を占める丘陵裾部および沖積地の基本層序はI～X層に大別され、うちVI層の黒色粘土層に縄文時代晩



第3図 経営体育成基盤整備事業（田尻西部地区）に伴う発掘調査対象範囲

第2表 経営体育成基盤整備事業（田尻西部地区） 調査年度と調査面積

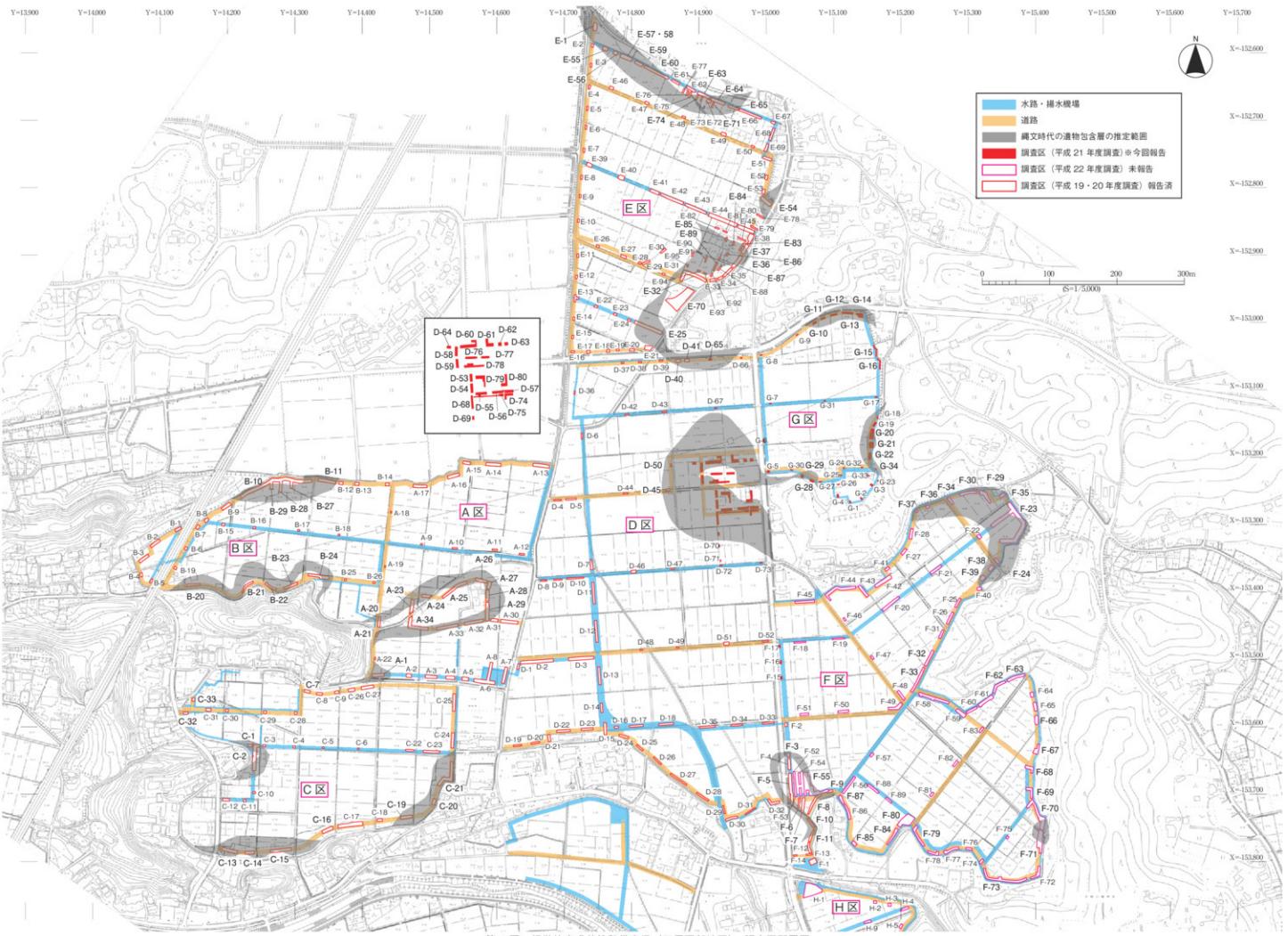
調査年度	調査内容	遺跡名	調査地点	調査面積	調査主体	報告書
平成16年度	範囲確認	北小松遺跡	D区	670m ²	宮城県教育委員会	宮城県教育委員会2005(宮文報第202集)
	範囲確認	北小松遺跡、森山遺跡、前田 楓跡、团子山西遺跡、神明道 跡	A区、B区、C区、F区、H区、J区、K区	5745m ²	田尻町教育委員会	
平成17年度	範囲確認	北小松遺跡、前田楓跡	E区、F区、G区	1,655m ²	田尻町教育委員会	
	本発掘・確認	愛宕山遺跡、森山遺跡、官宿 道跡	A区(1~31区)、B区(1~29区)、C区(1~33区) D区(1~35区)	7,961m ²	宮城県教育委員会 宮文報第216集)、宮城県教育委員会 2010(宮文報第223集)	
平成18年度	本発掘・確認	北小松遺跡	D区(36~52区)、E区(1~95区)、F区(1~14区)	5,472m ²	宮城県教育委員会 宮文報第228集)	
	本発掘・確認	北小松遺跡	D区(53~80区)、F区(15~17区)、G区(1~34区)	2,170m ²	宮城県教育委員会	宮文報第234集)
平成19年度	本発掘・確認	北小松遺跡	F区(18~89区)、H区(1~10区)	7,000m ²	宮城県教育委員会	
	本発掘・確認	团子山西遺跡	H区(32~27区)、I区(1~5区)	8,090m ²	宮城県教育委員会	
平成20年度	本発掘・確認	团子山西遺跡、神明道跡	I区(6~19区)、L区(1~15区)	9,280m ²	宮城県教育委員会	
	本発掘・確認	团子山西遺跡	J区(1~24区)、L区(16~17区)	3,520m ²	宮城県教育委員会	

期を中心とした遺物包含層が形成されること、2) 低丘陵や微高地などの現在の地形は、縄文時代晚期頃の地形をおおよそ反映したものであり、丘陵の周囲には湿地や沼地、湖沼が広がっていたこと、3) 遺構は堅穴状遺構や集石遺構、土器の一括廃棄土坑などを検出し、これらは低丘陵上および丘陵裾部の微高地および緩斜面につくられ、丘陵の突端部に多くみられること、4) 遺物包含層は丘陵裾部から湿地部にかけての斜面に形成され、調査対象範囲の大部分に点在していること、5) 出土した遺物には、縄文土器や土製品、石器・石製品、木製品、骨角牙製品、動植物遺存体などがあること、6) 遺物は、縄文時代早中期葉から弥生時代前期まで多くの時期のものが出土しているが、晚期後葉から末葉のものが主体であること、7) 遺物の出土状況から、縄文時代晚期中葉以前は小規模な集落が点在する状況がみられるが、晚期後葉から末葉にかけて集落の規模と数が増加し広範囲にわたって形成されるようになること、8) 縄文時代の遺物包含層の上層には、砂や植物を部分的に含むグライ化した粘土層(VI層)やスクモ層(II~IV層、V層の一部)が形成され、弥生時代前期以降の大規模洪水の後に湿地化していること、などが判明した(宮城県教育委員会 2008・2010・2011)。

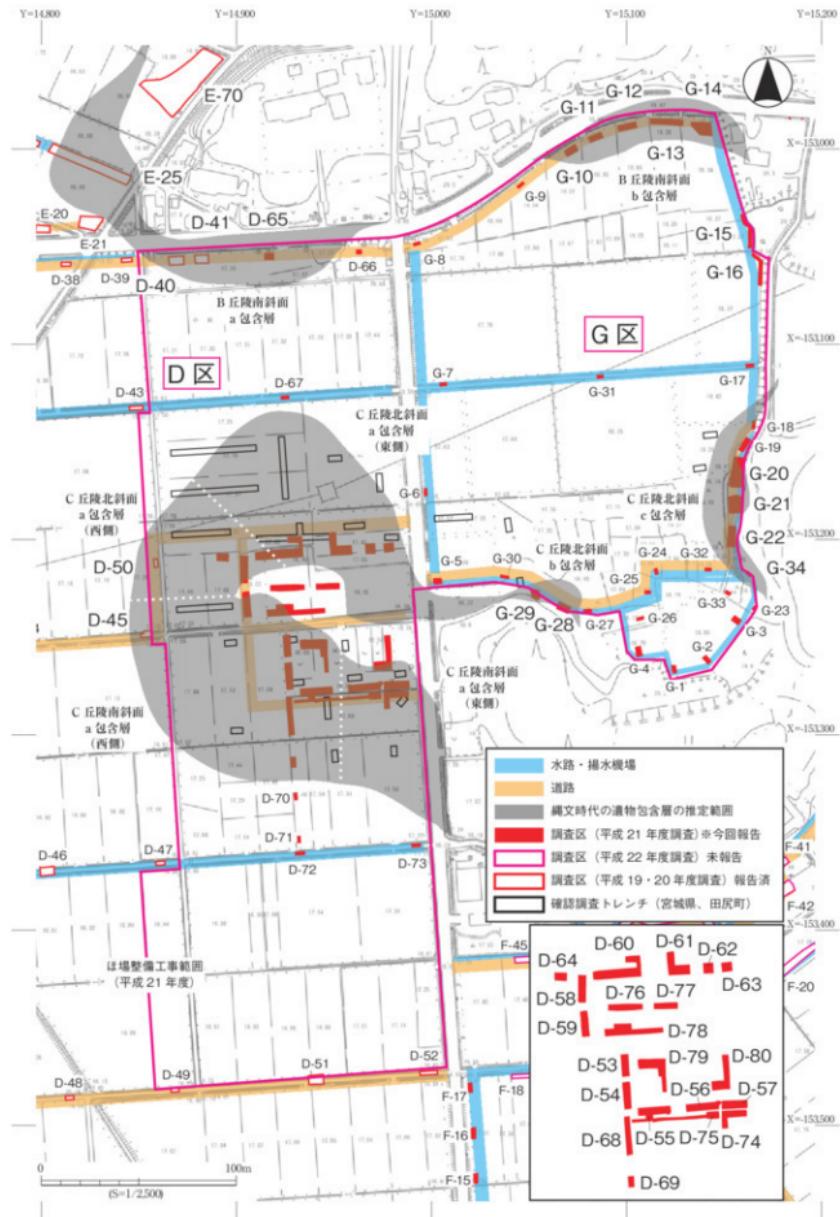
平成21年度は前年度に引き続き、ほ場整備対象地区的東側丘陵裾部にあたる、北小松遺跡が発掘調査の対象となった。D区東側とF区の一部、G区がこれにあたる(第3図)。ほ場整備事業が実施される範囲(約92,400m²)のうち、水路予定地が本発掘調査、農道予定地等が確認調査の対象となつた(第4・5図)。

第2節 調査の方法と経過

発掘調査は、平成21年5月11日から同年12月14日まで、および平成22年2月1・2日に実施した。調査はG区から着手し、3箇所の遺物包含層などを検出した。G区の調査終了後に、6月18日からD区の調査に着手し、柱列や土坑墓(ヒト・イス)、集石遺構、土器埋設遺構、遺物包含層2箇所などを検出した。調査の成果がある程度判明した9月5日には現地説明会を開催し、約210名の参加があった。D区の調査が進展するにつれて、人骨を伴う土坑墓を多く検出し、また遺物包含層が2m以上堆積している箇所が判明するなど、遺跡の重要性が高まってきた。このため、事業者側と遺構の保存について協議を重ねた結果、D区の土坑墓や遺物包含層が厚く堆積している範囲を保護するため、農道およびバイオラインの設計が変更された。これに伴い追加の確認調査を実施するとともに、保護



第4図 経営体育成基盤整備事業(田尻西部地区) 調査区配置図



第5図 平成21年度調査区の位置と遺物包含層の分布

される部分については、遺跡の解明に必要な調査を実施した後に土糞や山砂を用いて慎重に埋め戻し作業を行った。11月16日からは、低丘陵上の集落の様相を解明することを目的として、水田および畑予定地部分の確認調査を実施し、掘立柱建物跡や土坑、遺物包含層などを検出した。12月9日には航空写真撮影を行い、12月14日までにD区の調査を終了した。

その後、田面および水路部分の追加工事および次年度のは場整備対象範囲内における先行工事の必要性が生じたため、工事に先立ち、確認調査を平成22年2月1・2日に実施した。この調査では、G区の南側（G-1～4区）およびF区の西側（F-15～17区）を調査したが、遺構・遺物は検出されなかった。

平成21年度の発掘調査区の総数は64箇所で、調査面積は2,170m²（本発掘調査：60m²、確認調査：2,110m²）である。

これまでの調査結果から、遺構・遺物の検出面は黒色粘土層（VI層）であることが判明しているため、縄文時代の遺構確認作業はVI層を遺構確認面として実施し、遺物包含層の分布や堆積状況、遺構・遺物の分布状況を把握した。また、古代以降の遺構確認作業は、水成堆積層であるV層を遺構確認面として実施した。縄文時代の遺物包含層は、本発掘調査区では原則としてすべて精査し、確認調査区では必要性が認められた場合に一部を掘り下げて内容を確認した。また、VI層の分布状況を把握するために、ハンドオーガーを用いたボーリング調査を適宜実施し、確認深度や層の堆積状況などを記録した。

遺構等の平面図実測に際しては、は場整備事業に伴い設置した2級基準点を測量原点とし、電子平板による測量作業を行った。2級基準点の国家座標（世界測地系第X系）は以下の通りである。

基II-1: X=-152982.635 Y=15149.952 標高値: 19.604m

基II-4: X=-153411.328 Y=15010.645 標高値: 17.798m

測量した遺構等の図化作業は、福井コンピュータ社製の測量計算CADシステム「BLUETREND Field.com」を用いた。なお、平成22年度以降の発掘調査では、遺構等図化作業においてCUBIC社製の遺構実測支援システム「遺構くんCubic」を使用することとなり、前者で作成した測量・図化データのすべてを「遺構くんCubic」で運用可能なデータに変換する作業を実施している。遺構の一部は縮尺1/5および1/10で作図し、断面図は縮尺1/5～1/20で作図した。

遺構等の写真撮影はデジタル一眼レフカメラ（撮像素子サイズ：23.6×15.8mm、有効画素数：123メガピクセル）を用いて撮影し、重要度が高いものについては6×7cm判カラーリバーサル・モノクロフィルムを併用した。

第3章 周辺の地形と基本層序

第1節 発掘調査区周辺の地形

北小松遺跡が位置する丘陵は、大崎平野の北に位置する清滝丘陵の末端部に位置し、低く断続的になっているところの一つである。本遺跡はこの低丘陵の西端部に位置し、小丘陵が西や南に樹枝状に延びる地形となっている。は場整備に伴う北小松遺跡の発掘調査では、西へ延びる小丘陵上および丘陵裾部に集落や遺物包含層が形成されることが判明してきている。これらの西へ延びる小丘陵は大きく5本に分けることができ、北からA丘陵、B丘陵、C丘陵、D丘陵、E丘陵と呼称する（第3図）。

平成21年度における発掘調査対象範囲は、北小松遺跡と新田柵跡が位置する低丘陵から西へ延びる小丘陵のうち、B丘陵の南側およびC丘陵の周囲である（第5図）。現況は、標高16.9～19.0mのほぼ平坦な地形で大部分が水田として利用されており、丘陵裾部や後背湿地で構成される。また、C丘陵の西延長線上は標高18.0～18.6m微高地となっており、畑地として利用されている。この微高地はC丘陵末端部の一部であり、過去の開田工事により一部が削平されている。

第2節 基本層序

平成21年度調査区は、過去の調査と同様に以下のように大別される（第6図）。

第I層：表土層

第II層：スクモ層。主に低地部に分布する。層厚約6～32cm。

第III層：灰白色火山灰（十和田Aテフラ、To-a）層。主に低地部に分布する。層厚約4～16cm。

第IV層：スクモ層。C丘陵北斜面の西側包含層では、この下位に灰黄褐色粘土～シルト層が堆積し、縄文時代の遺物が流れ込んでいる。層厚約8～174cm。

第V層：オリーブ灰色粘土～砂層。水成堆積層。層中にスクモ層が形成される地点があることから、洪水による水位の上昇が複数回繰り返されたものと推測される（付章1）。層厚約11～270cm以上。

第VI層：主に黒色を呈する粘土～砂層。縄文時代～弥生時代前期の遺物包含層はこの層中に形成される。層厚約10～200cm。

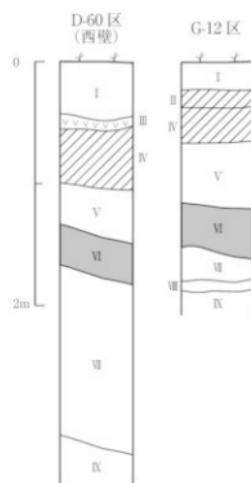
第VII層：主に褐灰色を呈する粘土～砂層。無遺物層。

第VIII層：シルト～砂層。VI・VII層とIX層の漸移層。

第IX層：黄褐色粘土～砂層

第X層：基盤の凝灰岩層

遺構・遺物を多く検出したD区の南北断面について柱状図を

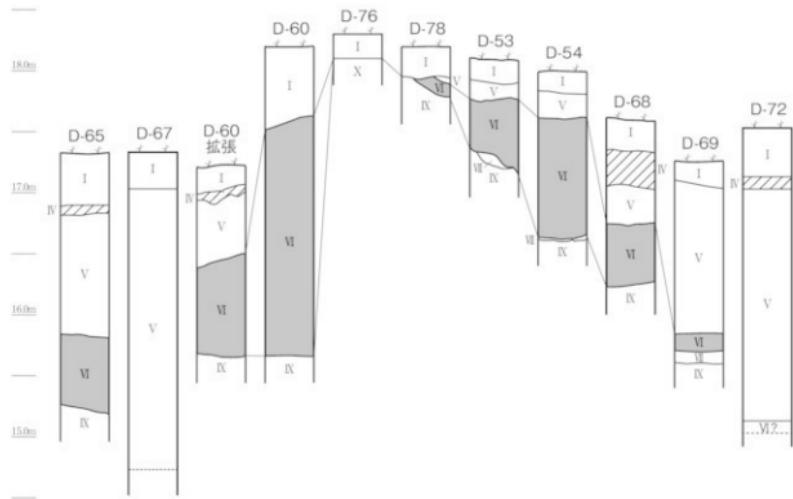


第6図 基本層序模式図
(D-60区、G-12区)

190m

北

南



第7図 D区南北断面模式図

用いて第7図に示した。D区は、B丘陵裾部（南斜面）からC丘陵の南側の低地部（後背湿地）まで広範囲にわたる。北から、D-65区がB丘陵裾部、D-67区が丘陵間の低地部、D-60区がC丘陵裾部（北斜面）、D-76・78区がC丘陵頂部、D-53・54区がC丘陵裾部（南斜面）、D-68・69・72区がC丘陵裾部～低地部におよそ位置づけられる。C丘陵頂部では後世の削平によりX層が露出しているが、丘陵頂部および裾部では、IX層が地山となる。また、C丘陵南斜面ではVII層が確認される。VI層は丘陵裾部に形成され、一部で厚く堆積し微高地状になり、遺構が残される。V層はほぼ全域に確認され、低丘陵をのみ込むほどの大規模な洪水層であったと推定される。IV層は丘陵裾部の末端から低地部にかけて見られる。大規模洪水の後に水位が低下し、湿地になったと考えられる。なお、III層で確認される灰白色火山灰は湿地のなかでも水が集まる場所に集積し、また丘陵頂部でも小規模な窪みに集積する。

第3節 VI層（遺物包含層）の分布と区分

第VI層はおもに黒色を呈する粘土～砂層であり、本遺跡周辺の丘陵裾部に発達する。層厚は10～200cm（平成19～21年度調査）あり、この層の一部に縄文時代の遺物包含層が形成される。これまでの調査成果から、遺物包含層は現水田を埋む丘陵裾部に点在することが判明している（第4図）。

第3表 D区（C丘陵突端部）におけるVI層の細分（⇨: 同一層、≒: 近似層）

C丘陵南斜面								
南斜面（西側）			南斜面（東側）			大別層群		
D-59 IK	D-53 IK	D-54 IK	D-68 IK	D-55 IK	D-56・57・74・75 IK	層名	細分層	特徴
Vl a	⇨	Vl a	⇨	⇨	⇨	Vl a	南1層群	地山駆・ブロックを多く含む黒色～黒褐色を呈する粘土層
Vl b	⇨	Vl b	⇨	Vl a	⇨	Vl b	2A	砂を多く含む黒色～黒褐色を呈する粘土層
Vl a	⇨	⇨	⇨	Vl c	⇨	Vl b	2B	砂・地山駆を含む黒色～黒褐色を呈する粘土層。上層に比べて砂が少くなる
Vl b								
Vl c	≒	Vl c	⇨	Vl d	≒	Vl c	3層群	地山駆・ブロックを含む黒色～黒褐色を呈する粘土層
Vl d						Vl e		
Vl f						Vl f	4層群	IIを含む黒褐色粘土層（東葉のみに堆積する）
Vl g						Vl h		
Vl i						Vl i		
Vl j						Vl j		
Vl k						Vl k		
Vl d						Vl l	5層群	砂が多く混じる黒色～褐灰色を呈する粘土～粘土質シルト層
Vl m	⇨	Vl d	⇨	⇨	⇨	Vl m		
Vl g	⇨	Vl d	⇨	⇨	⇨	Vl n		
								後期未葉

※上記以外の検査IKにおける見層は以下の4別層群に対応する。

南1層群：D-80 IK Vl a層、南2A層群：D-69 IK Vl a層、D-80 IK Vl b・Vl c層

南2B層群：D-79 IK Vl a層、D-79 IK Vl b層、南3層群：D-78 IK Vl b層、D-80 IK Vl d層

C丘陵北斜面

北斜面（西側）			北斜面（東側）			大別層群				
D-64 IK	D-58 IK	D-60 IK（西）	D-60 IK（中東・東）	D-61 IK	D-62 IK	D-63 IK	層名	細分層	特徴	
Vl a	⇨	Vl a	⇨	Vl l	≒	Vl a	1A		Vl aを多く含む黒色～黒褐色を呈する粘土層	
Vl e						Vl b				
Vl f	⇨	Vl d	⇨	⇨	⇨	Vl c				
Vl g						Vl d				
Vl a						Vl b	北1層群		Vl bを多く含む黒色～黒褐色を呈する粘土質シルト層	
Vl b						Vl c				
Vl d						Vl d				
Vl e						Vl e				
Vl a						Vl a	北2層群		地山駆・ブロックを含む黒褐色シルト層（D-60・61 IKの斜面部のみに堆積する）	
Vl b						Vl b				
Vl c	⇨	Vl a				Vl c				
Vl d	⇨	Vl b				Vl d	2B		地山駆・ブロックを含む黒褐色シルト層（D-60・61 IKの斜面部のみに堆積する）	
Vl e	≒	Vl c				Vl e	北3層群		地山駆・ブロックを含む黒色～黒褐色を呈する砂～シルト層（D-60・61 IKの斜面部のみに堆積する）	
Vl f						Vl f				
Vl g	⇨	Vl d				Vl g				
Vl b	⇨	Vl b	≒	Vl h	≒	Vl h	北4層群		砂が混じる黒色～灰褐色を呈するシルト層	
Vl i						Vl i				
Vl j						Vl k				
Vl l						Vl l				
Vl m	≒	Vl f	≒	Vl m	≒	Vl m	北5層群		砂が混じる黒色～黒褐色を呈するシルト～粘土層（D-60・61 IKのみに堆積する）	
Vl n	≒	Vl g	⇨	Vl n	≒	Vl n				
Vl o	≒	Vl h	⇨	Vl o	⇨	Vl o	北6層群		砂が混じる黒褐色～灰褐色を呈するシルト～粘土層（西側のみに堆積する）	
Vl c	⇨	Vl e	⇨							

本遺跡の西側では、愛宕山遺跡の位置する丘陵の南斜面1箇所、諏訪遺跡の位置する丘陵の北斜面1箇所、突端部3箇所、宮沼遺跡の位置する丘陵の北斜面2箇所で検出している。出土遺物は、諏訪遺跡の位置する丘陵突端部1箇所（C-2区周辺）で晩期前葉から中葉が主体となる以外、すべて晩期後葉のものが主体となる（宮城県教育委員会 2010）。

本遺跡では、A丘陵の南斜面1箇所、B丘陵の北斜面2箇所、突端部1箇所、南斜面2箇所、C丘陵の北斜面2箇所、突端部1箇所、C丘陵とD丘陵の間の基部に1箇所、E丘陵の基部に1箇所、突端部に1箇所検出している。出土遺物は、A丘陵南斜面で前期初頭から前期前葉および中期末葉が主体となり、E丘陵突端部で前期初頭から前葉が主体となる以外は、晩期中葉から後葉のものが主体

となる（宮城県教育委員会 2011）。

今回報告する遺物包含層は、B丘陵南斜面2箇所、C丘陵北斜面2箇所、突端部1箇所である。便宜上、それぞれの丘陵突端部からa包含層、b包含層、c包含層と呼称する（第5図）。これらのうち、C丘陵突端部に形成される遺物包含層は、他の遺物包含層に比べて推定面積、層厚、遺物量いずれにおいても本遺跡周辺では最大の遺物包含層と推定される。このように遺構・遺物量が大きいため、遺構・遺物の分布範囲やこれらの内容の把握を十分に行う必要があり、結果として計21調査区を設定し、調査を実施した。

C丘陵突端部の遺物包含層は丘陵頂部に位置するD-76・77区を除く、19調査区で検出した。VI層は土色や土性、含有物などの特徴から1つの調査区で最大16層に細分される。なお、調査区によりVI層の堆積状況が異なるため、各調査区における細分層名（VIA、VIB、VIC、……）は共通の細分層を表しているものではない。また、丘陵先端部をD-58区とD-59区にまたがるように検出し、遺物包含層はこれを基点として南斜面と北斜面に大きく二分される。さらに、VI層の堆積状況からそれぞれの斜面で、便宜上西側包含層と東側包含層の2つに細分した。これらは、土性や土色、含有物などVI層の細分層の特徴から、南斜面で5つ、北斜面で6つの大別層群に分類し、南2・4層群、北1・2層群については含有物の差異などからそれぞれ2層に細分した（第3表）。遺物は、南北斜面ともに後期末葉から晩期末葉までのものが出土しているが、晩期中葉以降に広範囲に出土する傾向が見られる。

なお、B丘陵南斜面1箇所およびC丘陵北斜面2箇所（いずれもG区）では、それぞれ複数の調査区を設定し調査を実施しているが、細分層名はそれぞれの地点で同一である。

第4章 縄文時代の遺構と遺物

平成21年度は、D区の北東側とF区の一部、G区全体を調査し、計65箇所の調査区を設定した（第5図）。各調査区の調査概要については付表にまとめた。

検出した遺構のほとんどが縄文時代晩期のものであり、掘立柱建物跡19棟、柱列跡3条、土坑墓27基、埋葬犬骨3基、土器埋設遺構5基、集石遺構3基、土坑17基、自然流路跡3条、焼け面2箇所、ピットが多数ある。

遺物は、遺物収納箱（長54×幅34×深15cm）で326箱に相当する量が出土している。縄文時代早期末葉から弥生時代前期まで遺物の時期が広範にわたるが、大部分は縄文時代後期末葉から縄文時代晩期末葉で、なかでも晩期中葉から末葉の時期の遺物が特に多く見られる。

本章では、縄文時代に検出した遺構・遺物について、遺物包含層の検出地点ごとに記述する。

第1節 D区

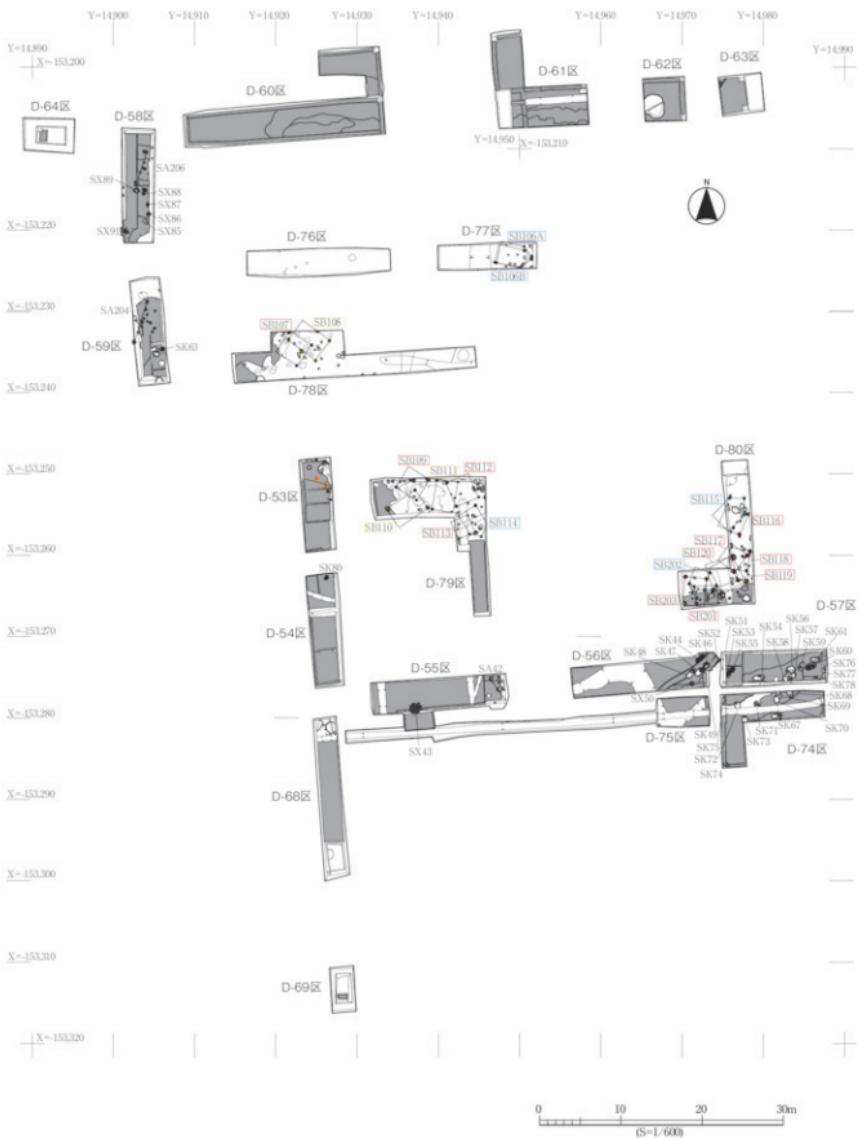
D区は平成19年度から調査を行っており、平成21年度に調査した範囲では、B丘陵南斜面（D-65区）およびC丘陵突端部（D-53区など）の2箇所で遺構や遺物包含層を検出した。うち、D-65区については、遺物包含層のみの検出で遺物量が少なく（2箱）、また同じ包含層に位置する調査区（D-41区）が既に報告されており（宮城県教育委員会 2011）、出土層位や遺物の内容がD-41区と同様であるため、本報告では詳述しない。したがって、本節ではC丘陵突端部のみを対象として、検出した遺構・遺物について記述し、また、地形区分から丘陵頂部と南斜面、北斜面の3箇所に分けて記述する。

1. C丘陵頂部の遺構群

C丘陵突端部付近の丘陵頂部にあたる範囲をD-53（一部）・58（一部）・59・76・77・78・79・80区で検出した。この区域で検出した遺構には、掘立柱建物跡19棟（建て替えを含む）、柱列跡1条、埋葬犬骨（土坑墓）1基、土坑14基、焼け面2箇所の他に、ピット（柱穴や小穴）が多数ある（第8図）。これらのほとんどは縄文時代晩期の遺構である。

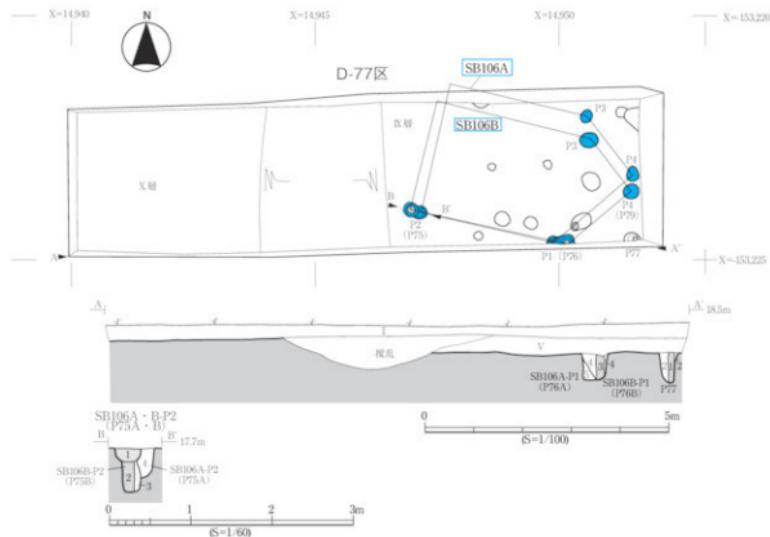
（1）掘立柱建物跡

D-53・59・77～80区で多数の柱穴を検出し、19棟の掘立柱建物跡を確認した（第9図）。柱穴は丘陵頂部で多く検出された。ただし、丘陵頂部にあたる部分は耕作地であり、遺構等の範囲確認のために土地所有者および耕作者の方々のご協力を得て調査を実施したため、広範囲を調査することができなかった。したがって、建物跡については全体の構成を認識できたものは少ない。それぞれの建物跡の柱穴の組み合わせは、柱穴の位置、規模、重複関係、埋土の特徴などを考慮して行った。本遺跡とほぼ同じ時期の遺跡である蔵王町鍛冶沢遺跡で検出した掘立柱建物跡の検出事例（宮城県教育委員会 2010）から、これらの建物跡は4～6本の柱で構成されると考えられるが、調査区の制限から確定的なものではない。なお、個々の建物跡の諸属性については第4表にまとめた。



第8図 D区 (C丘陵突端部) 平面図





第10図 D-77区 平面図・断面図 (SB106A・B建物跡)

【SB106A・B建物跡】

【位置】 D-77区西側（第10図）

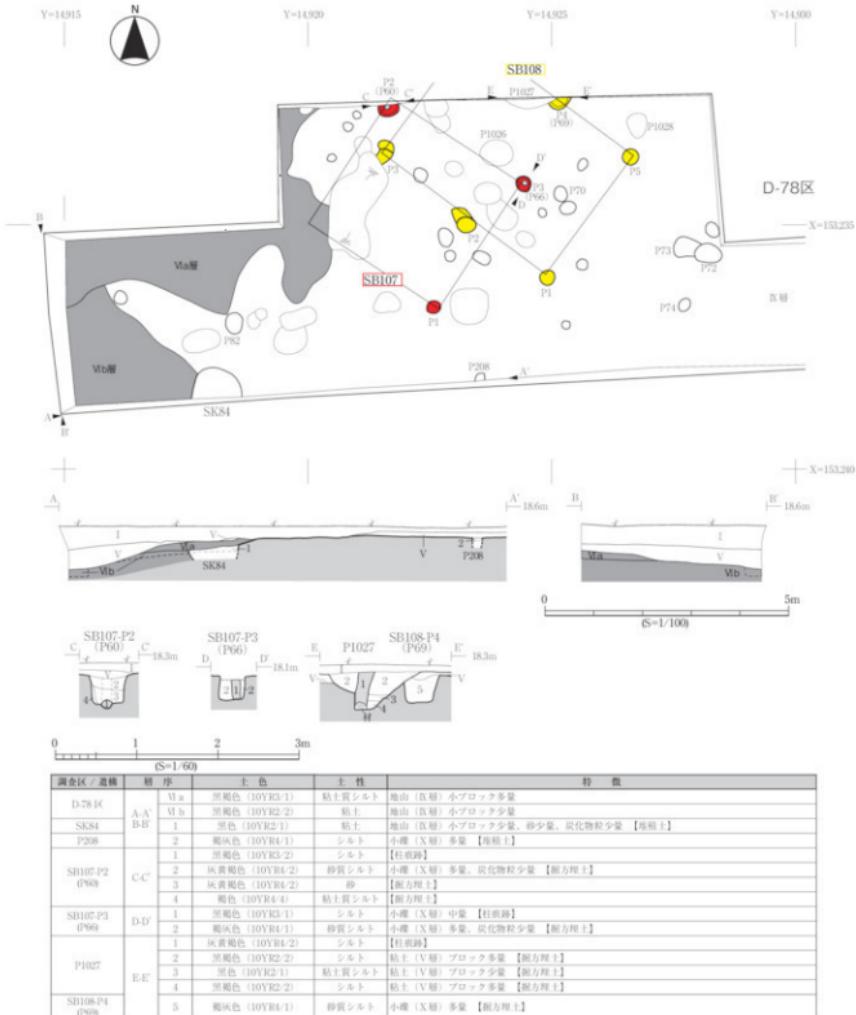
【検出面】 IX層

【重複】 建て替えが一度（A→B）認められる。

【規模・構造】 いずれも5本の柱で構成され、東が張り出す平面五角形を呈する建物跡である。A建物跡は南側柱列で約2.8m、東側柱列で約2.7m、張出部の長さが約1.2mある。B建物跡は南側柱列で3.3m、東側柱列で約2.2m、張出部の長さが約1.1mある。

【方向】 A建物跡は南側柱列で見ると、東で13°南に偏する。B建物跡は南側柱列で見ると、東で12°南に偏する。

【柱穴】 それぞれ4箇所で確認した。A建物跡は直径28~32cmの円形で、残存する深さが35~53cmある。埋土は地山（IX層）ブロックを少量含む黒褐色～褐灰色粘土である（第10図）。B建物跡は直径23~54cmの円形や楕円形で、残存する深さが54cmある。埋土は地山（IX層）ブロックを含む黒褐色～褐灰色粘土で（第10図）、柱痕跡を2箇所、柱抜取穴を1箇所で確認した。柱痕跡



第11図 D-78区 平面図・断面図 (SB107・108建物跡ほか)

は直径16~18cmの円形を呈する。

【出土遺物】B建物跡 (P4) で、雲文形の施された注口土器 (第16図1) などが出土している。

【SB107建物跡】

【位置】D-78区西側 (第11図)

【検出面】 IX層

〔重複〕 SB108建物跡と重複する。新旧関係は不明である。

〔規模・構造〕 4本の柱で構成され、平面正方形を呈する建物跡である。北側柱列で3.2m、東側柱列で約3.2mある。

〔方向〕 北側柱列で見ると、東で29°南に偏する。

〔柱穴〕 3箇所で確認した。残る1箇所はV1a層（南2B層群）に覆われるものとみられる。直径30～46cmの円形で、残存する深さが28～42cmある。埋土はX層起源の小礫を多く含む褐灰色～灰黃褐色シルトで（第11図）、柱痕跡を2箇所で確認した。柱痕跡は直径13～14cmの円形を呈する。

〔出土遺物〕 縄文土器鉢（第16図2）や台部（同図3）、剥片などが出土している。

【SB108建物跡】

〔位置〕 D-78区西側（第11図）

【検出面】 IX層

〔重複〕 SB107建物跡と重複する。新旧関係は不明である。

〔規模・構造〕 桁行2間、梁行1間の、東西に長い平面長方形を呈する建物跡である。桁行は南側柱列で総長約4.2m、梁行は東側柱列で約3.0mある。桁行の柱間寸法は東から約2.0m、約2.2mある。

〔方向〕 南側柱列で見ると、東で37°南に偏する。

〔柱穴〕 5箇所で確認した。直径29～48cmの円形で、残存する深さが33cmある。埋土はX層起源の小礫を多く含む黒褐色～褐灰色砂質シルトである（第11図）。P2、P3で柱穴がほぼ同じ位置で重複しており、建て替えが一度行われた可能性がある。

〔出土遺物〕 縄文土器が出土している。

【SB109建物跡】

〔位置〕 D-79区西側（第12図）

【検出面】 V1b層（南2B層群）

〔重複〕 SB110建物跡と重複する。新旧関係は不明である。

〔規模・構造〕 4本の柱で構成され、平面正方形を呈する建物跡である。南側柱列で3.0m、東側柱列で約3.0mある。

〔方向〕 南側柱列で見ると、東で31°南に偏する。

〔柱穴〕 3箇所で確認した。直径30～64cmの円形や楕円形で、残存する深さが24cmある。埋土はX層起源の小礫を多く含む黒色～黒褐色粘土質シルトで（第13図）、柱痕跡を2箇所で確認した。柱痕跡は直径10～17cmの円形を呈する。

〔出土遺物〕 縄文土器深鉢（第16図4）などが出土している。

【SB110建物跡】



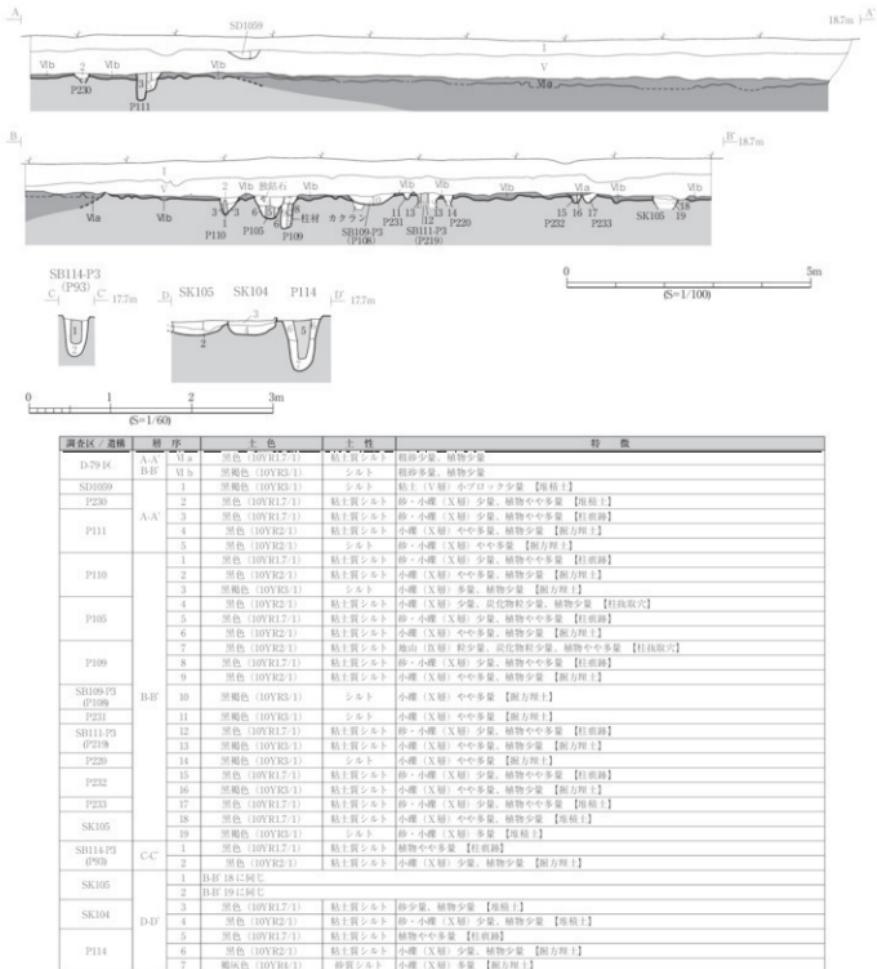
第12図 D-79区 平面図 (SB109・110・111・112・113・114建物跡ほか)

【位置】 D-79区西側（第12図）

【検出面】 Vla層（南2A層群）

【重複】 SB109建物跡と重複する。新旧関係は不明である。

【規模・構造】 桁行推定2間、梁行1間の、東西に長い平面長方形を呈する建物跡である。桁行は北側柱列で総長4.2m、梁行は東側柱列で2.7mある。



第13図 D-79区 断面図

[方向] 北側柱列で見ると、東で36°北に偏する。

[柱穴] 3箇所で確認した。直径34~60cmの円形や楕円形である。埋土はX層起源の小礫や地山（IX層）プロックを多く含む黒色~黒褐色粘土質シルトで、柱痕跡を3箇所で確認した。柱痕跡は直径13~18cmの円形を呈する。

[出土遺物] 繩文土器が出土している。

【SB111建物跡】

〔位置〕 D-79区東側（第12図）

〔検出面〕 VIb層（南2B層群）

〔重複〕 SB112建物跡と重複する。新旧関係は不明である。

〔規模・構造〕 柱行2間、梁行1間の、南北に長い平面長方形を呈する建物跡である。柱行は西側柱列で総長3.7m、梁行は北側柱列で約2.6mある。柱行の柱間寸法は東側柱列で、南から約1.8m、約2.0mある。

〔方向〕 西側柱列で見ると、北で8°東に偏する。

〔柱穴〕 5箇所で確認した。直径20~48cmの円形や楕円形である。埋土はX層起源の小礫や地山（IX層）ブロックを多く含む黒色~黒褐色粘土質シルトで（第13図）、柱痕跡を2箇所で確認した。柱痕跡は直径14~18cmの円形を呈する。

〔出土遺物〕 石棒が出土している。

【SB112建物跡】

〔位置〕 D-79区東側（第12図）

〔検出面〕 IX層

〔重複〕 SB111建物跡と重複する。新旧関係は不明である。

〔規模・構造〕 4本の柱で構成され、平面正方形を呈する建物跡である。西側柱列で約3.1m、南側柱列で3.1mある。

〔方向〕 西側柱列で見ると、北で23°西に偏する。

〔柱穴〕 3箇所で確認した。直径27~40cmの円形や楕円形である。埋土はX層起源の小礫や地山（IX層）ブロックを多く含む黒色~黒褐色粘土質シルトで、柱痕跡を2箇所、柱抜取穴を1箇所で確認した。柱痕跡は直径10~15cmの円形を呈する。

〔出土遺物〕 縄文土器などが出土している。

【SB113建物跡】

〔位置〕 D-79区東側（第12図）

〔検出面〕 IX層

〔重複〕 SB114建物跡と重複する。新旧関係は不明である。

〔規模・構造〕 4本の柱で構成され、平面正方形を呈する建物跡である。南側柱列で約2.3m、東側柱列で約2.3mある。

〔方向〕 南側柱列で見ると、東で23°北に偏する。

〔柱穴〕 3箇所で確認した。直径28~32cmの円形である。埋土はX層起源の小礫や地山（IX層）ブロックを含む黒色粘土質シルトで、柱痕跡を2箇所で確認した。柱痕跡は直径11~15cmの円形を

呈する。

〔出土遺物〕 剥片などが出土している。

【SB114建物跡】

〔位置〕 D-79区東側（第12図）

〔検出面〕 IX層

〔重複〕 SB113建物跡と重複する。新旧関係は不明である。

〔規模・構造〕 5本の柱で構成され、南が張り出す平面五角形を呈する建物跡である。西側柱列で約2.6m、北側柱列で約2.4m、張出部の長さが約1.0mある。

〔方向〕 西側柱列で見ると、北で31°西に偏する。

〔柱穴〕 4箇所で確認した。直径26～35cmの円形で、残存する深さが50cmある。埋土はX層起源の小砾や地山（IX層）ブロックを多く含む黒色～黒褐色粘土質シルトで（第13図）、柱痕跡を3箇所で確認した。柱痕跡は直径9～13cmの円形を呈する。

〔出土遺物〕 剥片などが出土している。

【SB115建物跡】

〔位置〕 D-80区北側（第14図）

〔検出面〕 IX層

〔重複〕 SB116建物跡と重複する。新旧関係は不明である。

〔規模・構造〕 5本の柱で構成され、北が張り出す平面五角形を呈する建物跡である。東側柱列で約2.9m、北側柱列で約2.7m、張出部の長さが約1.3mある。

〔方向〕 東側柱列で見ると、北で39°東に偏する。

〔柱穴〕 4箇所で確認した。直径38～47cmの円形や楕円形を呈する。埋土はX層起源の小砾や地山（IX層）ブロックを多く含む黒色～黒褐色粘土質シルトである。

〔出土遺物〕 繩文土器などが出土している。

【SB116建物跡】

〔位置〕 D-80区北側（第14図）

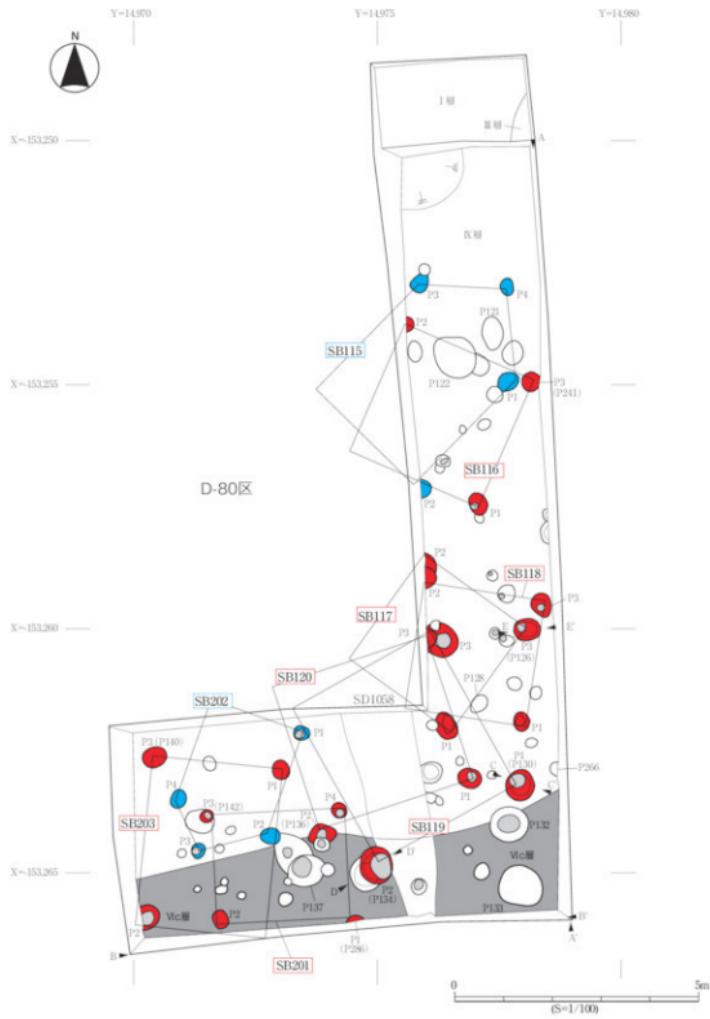
〔検出面〕 IX層

〔重複〕 SB115建物跡と重複する。新旧関係は不明である。

〔規模・構造〕 4本の柱で構成され、平面正方形を呈する建物跡である。南側柱列で約2.8m、東側柱列で約2.8mある。

〔方向〕 東側柱列で見ると、北で25°東に偏する。

〔柱穴〕 3箇所で確認した。直径33～48cmの円形や楕円形である。埋土はX層起源の小砾や地山（IX層）ブロックを含む黒褐色粘土質シルトで、柱痕跡を1箇所で確認した。柱痕跡は直径17cmの



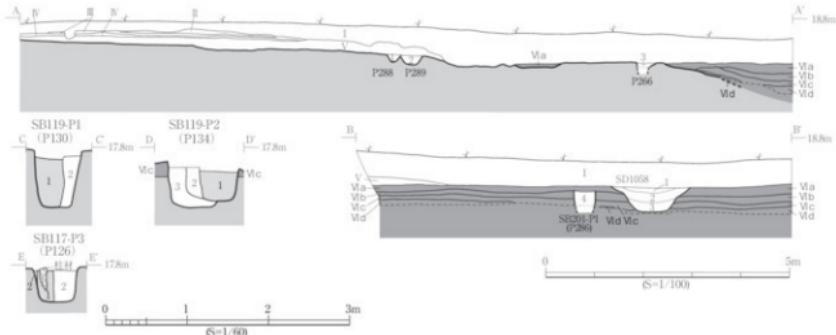
第14図 D-80区 平面図 (SB115・116・117・118・119・120・201・202・203建物跡)

円形を呈する。

【出土遺物】出土していない。

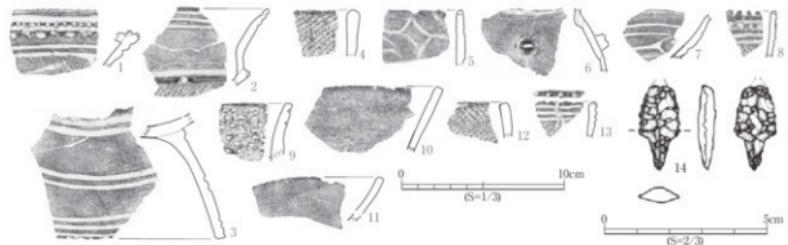
【SB117建物跡】

【位置】D-80区南側（第14図）



調査区 / 道路	層序	土色	特徴
D-80区 A-A'	M.a	黒褐色 (10YR2/2)	シルト質粘土
	M.b	黒褐色 (10YR3/1)	シルト質粘土
	M.c	黒色 (10YR2/1)	シルト質シルト
	M.d	黒色 (10YR2/1)	シルト質粘土
P288	J	黒褐色 (10YR3/3)	砂質シルト
P289	2	黒褐色 (10YR2/2)	砂質シルト
P266	3	黒褐色 (10YR2/2)	シルト質粘土
SD1058 B-B'	1	黒褐色 (10YR3/2)	シルト質粘土
	2	黒褐色 (10YR3/1)	シルト質シルト
	3	黒褐色 (10YR3/1)	粘土質シルト
	4	黒褐色 (10YR3/1)	粘土質シルト
SD1058 P288	1	黒褐色 (25Y2/1)	地山 (瓦層) ブロックや多量、薄 (X層) 中量、炭化物粒少量【掘方壁】
SD1058 P289	2	黒褐色 (25Y2/1)	地山 (瓦層) ブロックや多量、薄 (X層) 【掘方壁】
SD1058 P266	3	黒褐色 (25Y2/1)	地山 (瓦層) ブロックや多量、薄 (X層) 【掘方壁】
SD1058 B-B'	4	黒褐色 (10YR3/1)	地山 (瓦層) ブロックや多量、薄 (X層) 【掘方壁】
SB119-P1 P130	1	黒色 (25Y2/1)	粘土
SB119-P1 P130	2	黒褐色 (25Y2/1)	地山 (瓦層) シルト多量、炭化物粒・粘土中量【掘方壁】
SB119-P2 P134	1	黒色 (10YR2/1)	地山 (瓦層) ブロック少々、粘土小ブロック少量、薄 (X層) 粘土中量【掘方壁】
SB119-P2 P134	2	黒褐色 (10YR2/2)	地山 (瓦層) ブロック少々、粘土小ブロック少量、薄 (X層) 粘土中量【掘方壁】
SB117-P3 P126	1	黒褐色 (25Y2/1)	地山 (瓦層) シルト多量、炭化物粒少量【掘方壁】
SB117-P3 P126	2	黒褐色 (25Y2/1)	地山 (瓦層) シルト少々、粘土中量【掘方壁】

第15図 D-80区 断面図



No.	器種	型態	区・道場・層	特徴	写真図版	登録	
1	浜口上器	-	W	平行沈文+ヘラ削目、ヘラ削目+斜沈文による削目、平行沈文、芸形文(擦り消し跡)、縞文。	37-1	Pad018	
2	鉢	D1	D-77・SB1060-P4 (P130) / 塚積土	平行線、平行沈文。	37-2	Pad005	
3	台部	-	X II x	D-78・SB107-22 (P069) / 塚積土	平行線、平行沈文。	37-3	Pad006
4	深鉢	A1	X II aII	D-78・SB107-22 (P069) / 塚積土	平行沈文。	37-4	Pad029
5	深鉢	A1d	II o	D-79・SB109-72 (P098) / 塚積土	平行線、平行沈文。	37-5	Pad108
6	壺	-	D-80・SB117-23 (P126)	掘方壁上	37-6	Pad123	
7	(注1) 器小	-	III o	D-80・SB119-72 (P134) / 棚削跡	二叉文、平行沈文。	37-7	Pad119
8	鉢	A1d	V	D-80・SB119-72 (P134) / 塚積土	平行線+ヘラ削目、同点文、平行沈文。縞文。	37-8	Pad221
9	鉢小	C1	D-80・SB119-72 (P134) / 塚積土	平行線、刻文。	37-9	Pad120	
10	深鉢	A1	X V	D-80・SB119-72 (P134) / 塚積土	平行線。	37-10	Pad222
11	鉢	A1	X V	D-80・SB119-P1 (P130) / 塚積土	平行線。	37-11	Pad112
12	鉢	A1 X N a2	D-80・SB119-72 (P134) / 塚積土	平行線、羽状沈文(II-LR)	37-12	Pad111	
13	鉢	A1d	X II x	D-80・SB120-22 (P136) / 棚削跡	平行線+ヘラ削目、平行沈文。縞文等不明	37-13	Pad214

No.	器種	型態	区・道場・層	石材	長(mm)	幅(mm)	最大厚(mm)	重量(g)	残存	被熱	加热處理	変形	自然面	付着物	考文	写真図版	登録
14	石器	I-a2A	D-80・SB120-22 (P136) / 塚積土	粘質岩質 A	25.5	12.4	4.6	1.30	3.通透孔,	0	0	0	0	0	B	37-14	SL2034

第16図 捶立柱建物跡 出土遺物

【検出面】 IX層

【重複】 SB118・119・120建物跡と重複し、SB118建物跡より古い。

【規模・構造】 4本の柱で構成され、平面正方形を呈する建物跡である。東側柱列で約2.5m、北側柱列で約2.3mある。

【方向】 東側柱列で見ると、北で37° 東に偏する。

【柱穴】 3箇所で確認した。直径56~58cmの楕円形で、残存する深さが41cmある。埋土はX層起源の小礫や地山（IX層）ブロックを含む黒色～黒褐色粘土質シルトで（第15図）、柱痕跡を1箇所、柱抜取穴を1箇所で確認した。柱痕跡は直径19cmの円形を呈し、P3で柱材が残存していた。この柱材について放射性炭素年代測定を実施したところ、¹⁴C年代が2,390±20yrBPとなり、晩期後葉から弥生時代への移行期に当たる年代値が得られた（分析編第11章）。

【出土遺物】 三叉文の施された深鉢（第16図5）や剥片などが出土している。

【SB118建物跡】

【位置】 D-80区南側（第14図）

【検出面】 IX層

【重複】 SB117・119・120建物跡と重複し、SB117建物跡よりも新しい。

【規模・構造】 4本の柱で構成され、平面正方形を呈する建物跡である。北側柱列で約2.5m、東側柱列で約2.4mある。

【方向】 北側柱列で見ると、東で14° 南に偏する。

【柱穴】 3箇所で確認した。直径43~52cmの円形である。埋土はX層起源の小礫や地山（IX層）ブロックを含む黒色～灰黄褐色粘土質シルトで、柱痕跡を1箇所、柱抜取穴を1箇所で確認した。柱痕跡は直径18cmの円形を呈する。

【出土遺物】 繩文土器などが出土している。

【SB119建物跡】

【位置】 D-80区南側（第14図）

【検出面】 VIc層（南2A層群）

【重複】 SB117・118・120・201・202建物跡と重複し、SB120建物跡より古い。

【規模・構造】 4本の柱で構成され、平面正方形を呈する建物跡である。南側柱列で3.3m、東側柱列で3.3mある。

【方向】 南側柱列で見ると、東で33° 北に偏する。

【柱穴】 3箇所で確認した。直径66~77cmの円形で、残存する深さが48~70cmある。埋土はX層起源の小礫や地山（IX層）ブロックを含む黒褐色粘土質シルトで（第15図）、柱痕跡を3箇所で確認した。柱痕跡は直径30~51cmの円形を呈する。

【出土遺物】 繩文土器深鉢（第16図10）や列点文の施された鉢（同図8）、鉢（同図9・12）、皿（同

図11)、壺(同図6)、三文の施された注口土器(同図7)、磨石、剥片などが出土している。

【SB120建物跡】

〔位置〕 D-80区南側(第14図)

〔検出面〕 VIc層(南2A層群)

〔重複〕 SB117・118・119・201・202建物跡と重複し、SB119建物跡よりも新しい。

〔規模・構造〕 4本の柱で構成され、平面正方形を呈する建物跡である。南側柱列で3.3m、東側柱列で約3.0mある。

〔方向〕 南側柱列で見ると、東で21°北に偏する。

〔柱穴〕 3箇所で確認した。直径40~59cmの円形や楕円形である。埋土はX層起源の小礫や地山(IX層)ブロックを含む黒色~黒褐色粘土質シルトで、柱痕跡を2箇所で確認した。柱痕跡は直径22~23cmの円形を呈する。

〔出土遺物〕 縄文土器鉢(第16図13)などが出土している。

【SB201建物跡】

〔位置〕 D-80区南側(第14図)

〔検出面〕 VIB層(南2A層群)

〔重複〕 SB119・120・202・203建物跡と重複する。新旧関係は不明である。

〔規模・構造〕 4本の柱で構成され、東西に長い平面長方形を呈する建物跡である。北側柱列で2.7m、西側柱列で約2.2mある。

〔方向〕 北側柱列で見ると、東で1°北に偏する。

〔柱穴〕 4箇所で確認した。直径28~37cmの円形や楕円形である。埋土はX層起源の小礫や地山(IX層)ブロックを含む黒色~黒褐色粘土質シルトで(第15図)、柱痕跡を2箇所で確認した。柱痕跡は直径16~17cmの円形を呈する。

〔出土遺物〕 石鏃(第16図14)や剥片などが出土している。

【SB202建物跡】

〔位置〕 D-80区南側(第14図)

〔検出面〕 IX層

〔重複〕 SB119・120・201・203建物跡と重複する。新旧関係は不明である。

〔規模・構造〕 5本の柱で構成され、南が張り出す平面五角形を呈する建物跡である。東側柱列で約2.2m、南側柱列で約2.1m、張出部の長さが約0.8mある。

〔方向〕 東側柱列で見ると、北で26°東に偏する。

〔柱穴〕 4箇所で確認した。直径34~41cmの円形や楕円形を呈する。埋土はX層起源の小礫や地山(IX層)ブロックを多く含む黒色~黒褐色粘土質シルトで、柱痕跡を2箇所で確認した。柱痕跡は

第4表 C丘陵頂部 建物跡一覧

遺構名	面数 柱 並行 並行	平面形	平面範囲				方向		柱穴範囲			柱頭 脚付 底盤 縫合 (幅 深さ (幅)	備考 (出土遺物など)	補圖番号 平面 断面			
			計測 柱列		柱間寸法 (m)	計測 柱列	柱間寸法 (m)	計測 柱列	柱出長 (m)	角度	計測 柱列	規格 (cm)	平面形				
			総長 (m)	柱間寸法 (m)	総長 (m)	柱間寸法 (m)	柱間寸法 (m)	柱間寸法 (m)	柱出長 (m)	直角	直角	深度					
SB106A	1 1	直角形 (直張出)	28	南	28	27	東	27	12	E-13.S	南	28.32	35-53	円形	-	0 説文土器注口土器 縫合	10 10
SB106B	1 1	直角形 (直張出)	33	南	33	22	東	22	11	E-12.S	南	23.54	54	円形、楕円形	16-18	0 説文土器注口土器 縫合	10 10
SB107	1 1	正方形	32	北	32	32	東	32	-	E-29.S	北	30-46	28-42	円形	13-14	0 説文土器縫合・白 付鉢・調片	11 11
SB108	2 1	長方形 (東西側)	42	南	20+2.2	30	東	30	-	E-37.S	南	29-48	33	円形	-	0 建て替え1企 上	11 11
SB109	1 1	正方形	30	南	30	30	東	30	-	E-31.S	南	30.64	24	円形、楕円形	10-17	0 説文土器縫合	12 13
SB110	② 1	長方形 (東西側)	42	北	42	27	東	27	-	E-36.N	北	34.60	-	円形、楕円形	13-18	0 説文土器	12 -
SB111	2 1	長方形 (南北側)	37	西	18+2.0	26	北	26	-	N-8.E	西	20-48	-	円形、楕円形	14-18	0 石棒	12 13
SB112	1 1	正方形	31	西	31	31	南	31	-	N-23.W	西	27-40	-	円形、楕円形	10-15	1 説文土器	12 -
SB113	1 1	正方形	23	南	23	23	東	23	-	E-23.S	南	28.32	-	円形	11-15	0 調片	12 -
SB114	1 1	長方形 (南北側)	26	西	26	24	北	24	1.0	N-31.W	西	26-35	50	円形	9.13	0 調片	12 13
SB115	1 1	直角形 (直張出)	29	東	29	27	北	27	1.3	N-39.E	東	38-47	-	円形、楕円形	-	0 説文土器	14 -
SB116	1 1	正方形	28	東	28	28	北	28	-	N-25.E	東	33-48	-	円形、楕円形	17	0 調片	14 -
SB117	1 1	正方形	25	東	25	23	北	23	-	N-37.E	東	56-58	41	楕円形	19	1 木材1 説文土器縫合・調片	14 15
SB118	1 1	正方形	25	北	25	24	東	24	-	E-14.S	北	43-52	-	円形	18	1 説文土器	14 -
SB119	1 1	正方形	33	南	33	33	東	33	-	E-33.N	南	66.77	48-70	円形	30-51	0 説文土器 縫合・白土器 骨石・調片	14 15
SB120	1 1	正方形	33	南	33	30	東	30	-	E-21.N	南	49-59	-	円形、楕円形	22-23	0 説文土器縫合	14 15
SB201	1 1	長方形	27	北	27	22	南	22	-	E-1.N	北	28-37	-	円形、楕円形	16-17	0 石棒・調片	14 -
SB202	1 1	長方形 (南北側)	22	東	22	21	南	21	0.8	N-26.E	東	34.41	-	円形、楕円形	19-21	0 調片	14 -
SB203	1 1	長方形	33	西	33	26	北	26	-	N-3.E	西	42-54	-	円形、楕円形	32	0 調片	14 -

※四隅の(数値)は概定。

直径19~21cmの円形を呈する。

【出土遺物】縄文土器などが出土している。

【SB203建物跡】

【位置】D-80区南側（第14図）

【検出面】Vlc層（南2A層群）

【重複】SB119・120・201・202建物跡と重複する。新旧関係は不明である。

【規模・構造】4本の柱で構成され、南北に長い平面長方形を呈する建物跡である。西側柱列で約3.3m、北側柱列で約2.6mある。

【方向】西側柱列で見ると、北で3°東に偏する。

【柱穴】3箇所で確認した。直径42~54cmの円形や楕円形である。埋土はX層起源の小礫や地山（IX層）ブロックを含む黒色～黒褐色粘土質シルトで、柱痕跡を1箇所で確認した。柱痕跡は直径32cmの円形を呈する。

【出土遺物】調片などが出土している。

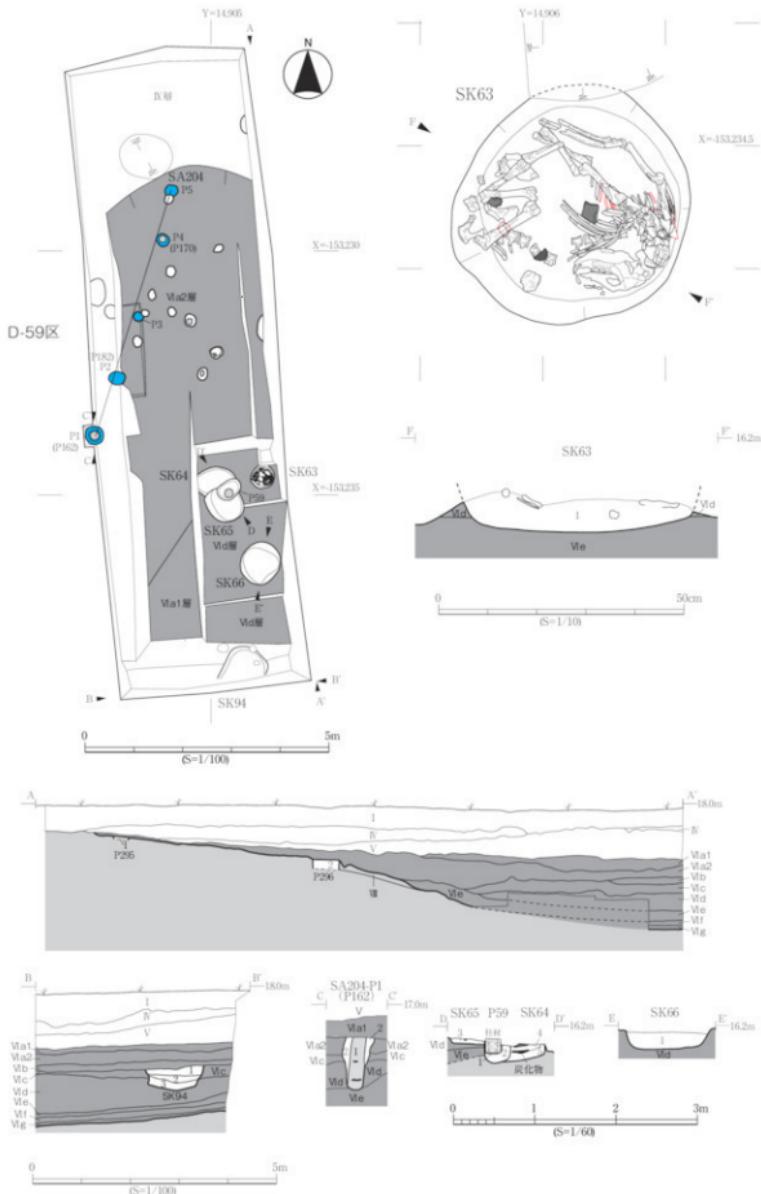
(2) 柱列跡

柱列跡はD-59区の1箇所で確認した。

【SA204柱列跡】

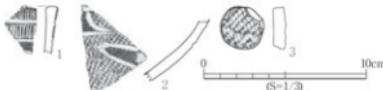
【位置】D-59区北側（第17図）

【検出面】Via2層（南2B層群）



第5表 D-59区 土層観察表

調査区 / 道構	層序	土色	土性	特徴
D-59区 A-B'	V1 a1	黒色 (10YR2/1)	砂質シルト	砂粒少量、炭化物粒わずか、植物や多量
	V1 a2	黒褐色 (10YR3/1)	粘土質シルト	砂粒少量、炭化物粒わずか、植物や多量
	V1 b	灰黒褐色 (10YR4/2)	砂質シルト	砂粒や多量、炭化物粒・植物わずか
	V1 c	黒色 (10YR2/1)	粘土質シルト	炭化物粒・植物わずか
	V1 d	暗灰色 (5Gv5/1)	シルト質粘土	
	V1 e	暗褐色 (10YR3/4)	砂質シルト	スクモ多量、砂粒や多量
	V1 f	暗灰色 (10YR5/1)	砂	
P295	A-A'	黒褐色 (10YR4/2)	砂質シルト	
P296		灰黒褐色 (10YR4/2)	砂質シルト	
SK49	B-B'	1 黑褐色 (10YR2/1) 2 暗褐色 (10YR4/1)	粘土質シルト	炭化物粒や多量 【堆積】
		3 黒色 (10YR2/2)	粘土質シルト	シルト質粘土・(泥炭層) 小ブロック少量、炭化物粒や多量 【堆積】
SA204-PT (P182)	C-C'	1 黒色 (10YR2/1) 2 黑褐色 (10YR3/1)	シルト質シルト	シルト質粘土・(泥炭層) 小ブロック・泥炭少量、炭化物粒中量 【堆積】
P59		1 黒色 (10YR2/1)	粘土質シルト	【柱頭部】
SK65	D-D'	2 黒色 (10YR2/1)	粘土質シルト	地山 (灰層) 大ブロック多量 【堆積】
SK64		3 黒色 (10YR2/1)	粘土質シルト	地山 (灰層) 小ブロック少量 【堆積】
SK66	E-E'	4 黑褐色 (10YR3/1)	粘土質シルト	地山 (灰層) 小ブロック少量、炭化物粒中量 【堆積】
SK63	F-F'	5 黑褐色 (10YR3/1)	粘土質シルト	植物中量 【堆積】
		1 黑褐色 (10YR2/1)	粘土質シルト	植物中量 【堆積】



第18図 SA204柱列跡 出土遺物

No.	跡種	型態1	型態2	区・道構・層	特徴	写真図版	登録
1	深鉢	A-I'	I-e	D-59・SA204-PT(P182) / 堆積土	円錐 + 楔起、雲紋文 (楕円底面)、沈緑文	57-15	Po1304
2	浅鉢	-	四	D-59・SA204-PT(P178) / 堆積土	雲紋文 (斜り消し楕文)、沈緑文	57-16	Po1302
No.	跡種	区・道構・層	特徴	写真図版	登録		
3	円錐状土製品	D-59・SA204-PT(P182) / 堆	長さ26.5mm、幅26.6mm、厚さ7.9mm。純文LR、模様→削痕	57-17	CO1395		

第19図 SK63埋葬犬骨 出土遺物

〔重複〕なし。

〔規模・構造〕南北4間以上の柱列跡である。総長約5.3mあり、柱間寸法は南から約1.3m、約1.3m、約1.7m、約1.0mある。

〔方向〕北で28°東に偏する。

〔柱穴〕5箇所で確認した。直径22~40cmの円形や楕円形で、残存する深さが64cmある。埋土はX層起源の小礫や地山（IX層）ブロックを少量含む黒褐色シルトで（第17図、第5表）、柱痕跡を2箇所で確認した。柱痕跡は直径16~19cmの円形を呈する。

〔出土遺物〕帶状文の施された深鉢（第18図1）や雲文の施された浅鉢（同図2）、円盤状土製品（同図3）などが出土している。

(3) 埋葬犬骨

埋葬犬骨（土坑墓）はD-59区で1基検出した。1体のみ埋葬されている。なお、土坑墓（ヒト、イス）について諸属性を第8表にまとめた。

【SK63埋葬犬骨】

【位置】 D-59区南側（第17図）

【検出面】 VIa層（南5層群）

【重複】 なし。

【規模】 平面形は直径50cmの円形である。残存する深さは8cmある。

【壁・底面】 底面はほぼ平坦で、壁が緩やかに立ち上がる。断面形は浅い皿形である。

【埋土】 1層確認した。土器や動植物遺存体を含む黒褐色粘土質シルトで埋め戻されている（第17図、第5表）。

【埋葬遺体】 老犬が1体埋葬されている。左側を上にした姿勢で、頭部は背側に反転している。頭部は南に位置し東で4°北に偏している。椎骨が東から西へ並ぶ。前肢は後肢に向けて進展している。後肢の状態は不明である（埋葬骨の詳細については分析編第3章を参照）。

【出土遺物】 縄文土器深鉢（第19図2）や三叉文の施された土器（同図1）、磨石、石核、剥片が出土している。

(4) 土坑

土坑はD-53区で7基、D-59区で4基、D-78区で1基、D-79区で2基の、計14基検出した。検出面は14基のうち11基がVI層であり、大別層群別にみると南1層群で4基、南2A層群で1基、南2B層群で1基、南3層群で2基、南5層群で3基検出している。平面形は円形や梢円形、不整円形で、直径0.3mから長径1.0m以上のものまである。断面形は、多くが深さ0.2m以下の浅い皿形である。堆積土はすべて自然堆積土である。なお、諸属性を第9表にまとめ、出土した遺物を第21図に示した。

(5) 焼け面

焼け面はD-53区で2箇所検出した。

【SX99焼け面】

【位置】 D-53区北側（第20図）

【検出面】 VIa層（南1層群）

【重複】 なし。

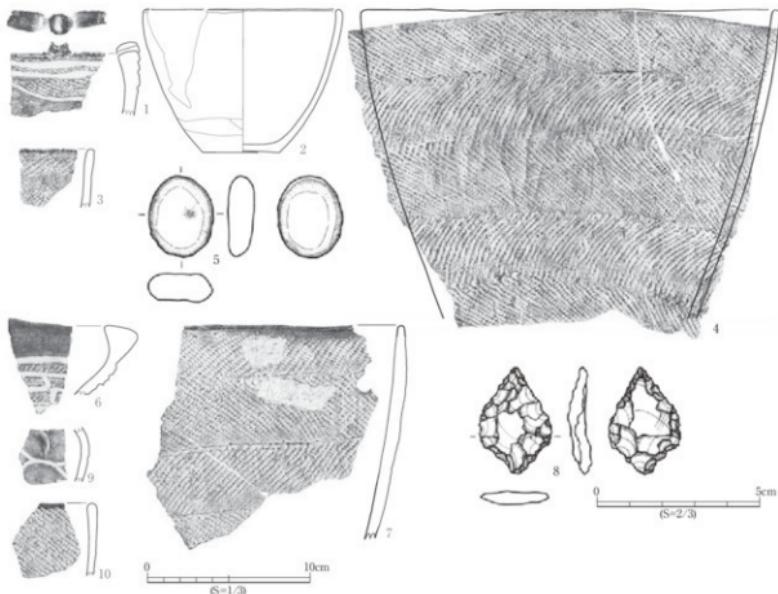
【規模】 平面形は、長径0.6×短径0.4mの梢円形である。

【出土遺物】 遺物は出土していない。



調査区 / 道標	標序	土色	土性	特徴
D-53区	M1-a	黒色 (10YR2/1)	粘土質シルト	地山 (瓦層) 小ブロックわずか、礫灰岩 (玄層) 稼多量、スクモ少量
	M1-b	黒色 (10YR17/1)	粘土	地山 (瓦層) 大ブロックや多量、礫灰岩 (玄層) 稼少量、スクモ多量
	(M1-b1)	黒褐色 (10YR2/2)	粘土質シルト	地山 (瓦層) 小ブロック、スクモ少量
	(M1-b2)	黒褐色 (10YR2/2)	粘土質シルト	地山 (瓦層) 小ブロック・スクモ多量、炭化物鉱多量
	W-t	黒色 (10YR17/1)	シルト質粘土	地山 (瓦層) 小ブロック・スクモ少量
	(M1-c1)	黒褐色 (10YR3/1)	シルト質粘土	地山 (瓦層) 小ブロック多量、植物多量
	(M1-c2)	黒褐色 (10YR3/1)	粘土質シルト	地山 (瓦層) 小ブロック多量、炭化物鉱わずか
	M1-d	黒色 (10YR2/1)	砂質シルト	地山 (瓦層) 小ブロック少量
SD1051	A-A'	1 黒褐色 (10YR2/2) 2 黒褐色 (10YR3/2)	シルト	粘土 (V層) 小ブロック多量 【堆積】
	B-B'	1 A-A' 2に同じ	粘土質シルト	粘土 (V層) 小ブロック少量 【堆積】
SD1051	C-C'	1 黒色 (10YR17/1) 2 黄褐色 (10YR4/2) 3 黑褐色 (10YR3/2) 4 褐灰色 (10YR4/1)	シルト	地山 (瓦層) 小ブロック少量、砂多量、スクモ中量 【堆積】
SK102				地山 (瓦層) 小ブロック多量 【堆積】
SD1051				地山 (瓦層) ブロック多量 【堆積】
P1049				地山 (瓦層) ブロック多量 【堆積】
P1050				地山 (瓦層) 【堆積】
P1051				地山 (瓦層) 【堆積】

第20図 D-53区 平面図・断面図



No.	器種	型別	型別	区・造構・層	特徴	写真図版	登錄
1	鉢	A1e	B a	D-59・SK64 / 堆積土	平縁 + 縦状突起(底部削み)。人面像文(調文)。調文 RL。	57-20	Pot278
2	鉢	A1	XV	D-59・SK64 / 堆積土	口径(12.0cm)。器高 8.8cm。底径 4.7cm。平縁。底部付近ミガキによる無文帯。底 部(?)サザニ状の上上げ底。羽伏調文 LR/RL。	57-22	Pot281
3	深鉢	A1	XW a1	D-59・SK64 / 堆積土	平縁。調文 LR。	57-27	Pot279
4	深鉢	A1	XW a2	D-59・SK64 / 堆積土	口径(25.6cm)。平縁。羽伏調文 RL/LR。外表面化物付着	57-29	Pot290
6	深鉢	B a	XW a	D-59・SK65 / 堆積土	平縁。人面帶羽伏文(調文)。調文 LR。口沿部肥厚	57-26	Pot283
7	深鉢	A1	XW a2	D-59・SK65 / 堆積土 + 第 d + e	平縁。羽伏調文 LR/RL。末端部強調。補修孔 1	57-25	Pot282
9	注口土器か	-	B a	D-59・SK66 / 1	三叉文	57-28	Pot286
10	深鉢	A1	XW a1	D-59・SK66 / 1	平縁。調文 RL。	57-30	Pot284

No.	器種	型別	区・造構・層	石材	長(mm)	幅(mm)	最大厚(mm)	重量(g)	残存	被熱	加热処理	変形	自然面	付着物	備考	写真図版	登錄
5	研石	-	D-59・SK64 / 堆積土	安山岩質凝灰岩	50.6	39.1	17.6	20.87	完形	0	0	0	1	0	57-23	S6274	
8	石器	I 12B	D-59・SK65 / 堆積土	鈍玉 A	32.3	21.5	3.8	2.40	完形	0	0	0	0	0	57-24	S6278	

第21図 C丘陵頂部土坑 出土遺物

[SX100焼け面]

[位置] D-53区北側 (第20図)

[検出面] VIa層 (南1層群)

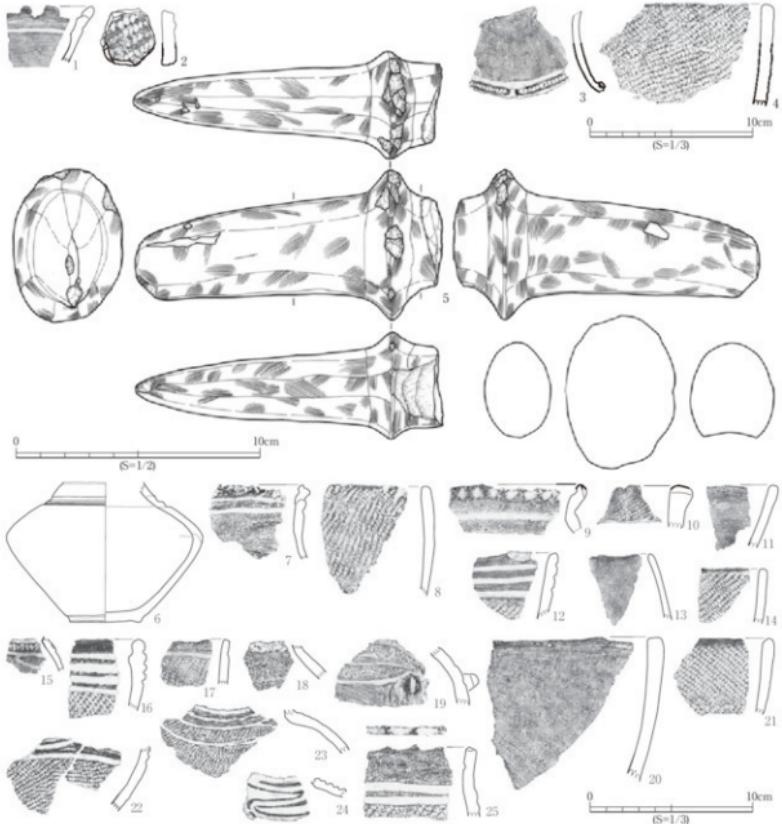
[重複] なし。

[規模] 平面形は、長径0.6×短径0.5mの梢円形である。

[出土遺物] 出土していない。

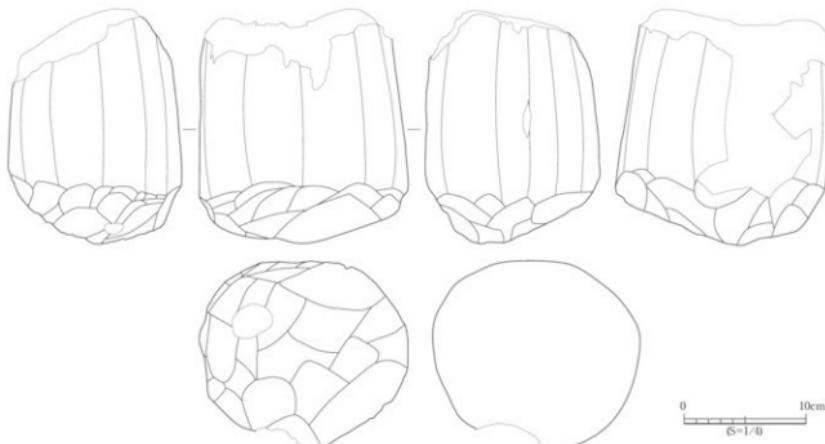
(6) その他の遺構から出土した遺物

C丘陵頂部で確認したピットで、建物や柱列の柱穴として捉えられなかったものから出土した遺物を第22・23図にまとめて提示した。遺物が出土したピットの位置については第10~12・14・



No.	器種	型式	区・遺構・層	特徴	写真図版	図版											
1	浅鉢	A1df	XⅢ D-79-P104 地盤上	平縁+V字切目+二割+対の小突起。沈文義。上縁部内部沈面	57-32	Po037											
3	壺	-	B 6 D-79-P196 地盤上	オヤズキ。二割+対の船腹。柄突起	57-31	Po036											
4	深鉢	A1	XⅢ a D-79-P110 地盤上	平縁。圓文LR	57-34	Po038											
6	壺	-	X Ⅱ a D-80-P122 振方理上	底部扁平。高径1cm。底径42cm。平行沈面。底部付近にギキによる無文帶。底部ナデ。重心上に1升。繩文LR	57-37	Po035											
7	壺	-	X Ⅱ a D-80-P122 振方理上	平縁+山形文切目+U縁端部沈面。平行沈面。口縁部内部沈面	57-36	Po037											
8	深鉢	A1	X Ⅱ a D-80-P122 振方理上	平縁。圓文LR	57-38	Po036											
9	深鉢	B1cd	X Ⅱ a D-80-P128 振方理上	平縁+V字切目+口唇部沈面。平行沈面	57-39	Po039											
10	深鉢	AII	D-80-P132 振方理上	平縁+山形文切目(山形切込み)。沈面。圓文LR	57-40	Po034											
11	鉢	A1	X V D-80-P132 振方理上	平縁	57-41	Po035											
12	深鉢	AII	X Ⅱ a D-80-P133 振方理上	平縁+突起。平行沈面。圓文LR	57-42	Po038											
13	口沿上器	C1	X V D-80-P133 振方理上	平縁	57-43	Po037											
14	深鉢	A1	X Ⅸ a D-80-P133 振方理上	平縁。圓文LR	57-44	Po036											
15	壺	-	V D-59-P56 地盤上	平行沈面+V字切目。直軸形。削り消し縁文。圓文LR	57-45	Po138											
16	浅鉢	A1	X Ⅱ a D-59-P56 地盤上	平縁+V字切目。平行沈面。圓文LR	57-46	Po139											
17	鉢	AII	X Ⅲ D-59-P57 地盤上	平縁+突起。沈面文。圓文LR+直筋田目。外縁炭化物付着	57-47	Po130											
18	鉢か	-	X Ⅷ a D-59-P57 地盤上	擬縄文(オバコ空)	57-48	Po139											
19	壺	-	H a D-59-P59 振方理上	人組目状文(縁文)+貼窓(底部側面)。前2段多条縄文RL	57-49	Po128											
20	浅鉢	A1	X V D-59-P59 振方理上	平縁	57-55	Po126											
21	深鉢	A1	X Ⅸ a D-59-P59 振方理上	平縁。斜状縄文RL/LR	57-50	Po128											
22	鉢	-	H n° D-53南・P21 地盤上	オヤズキ。圓文LR	57-51	Po170											
23	壺	-	X Ⅱ a D-53南・P22 振方理上	平行沈面文。圓文LR	57-52	Po171											
24	壺	-	X D-53北・P23 地盤上	丁字文	57-53	Po173											
25	深鉢	A2	X Ⅱ a D-53北・P23 地盤上	波状縁。平行沈面文。圓文LR。内部沈面	57-54	Po172											
No.	器種	型式	区・遺構・層	特徴	写真図版	図版											
2	円筒状土製品	-	D-79-P109 / 地盤上	長33.4cm、幅23.8cm、厚さ8.7mm。圓文LR。測定	57-33	Co000											
No.	器種	型式	区・遺構・層	石材	長(mm)	幅(mm)	最大厚(mm)	重量(g)	残存	被熱	加热処理	変形	自然面	有紋物	施考	写真図版	図版
5	骨筋石	-	D-79-P105 木箱裏穴	安山岩	61.3	125.5	43.7	270.8	部分	0	0	0	0	0	0	57-35	Si316

第22図 C丘陵頂部ピット出土遺物



No.	器種	型態1	型態2	区・遺構・層	特徴	写真図版	登録
1	柱材	D-39	P-39	坑面傍6.2cm、丸柱、坑面18.9×17.4cm、側面取り		58-1	W04

第23図 C丘陵頂部ピット 出土遺物（柱材）



No.	器種	型態1	型態2	区・遺構・層	特徴	写真図版	登録
1	深鉗	A1d	X-Y	D-79 / 碓臼面	平行×ヘラ削面	58-5	Po1021
2	※	H3	B-a+X	D-79 / 碓臼面	平行、工字文+ヘラ削面+二個一対の船底4単位、π字文（透き表面）2段、平行沈澱文か	58-6	Po1025
3	台形器	-	X	D-79 / 碓臼面	平行沈澱文、π字文	58-7	Po1074
4	深鉗	A1	X-B-a	D-79 / 碓臼面	平行、圓文削面	58-8	Po1084
6	深鉗	B2	X-S-a	D-80 / 碓臼面	波状縁+波状沈澱縁、平行沈澱文+橢圓状削面、口縁部内部沈澱	58-10	Po1113
7	※	C1	X	D-80 / 碓臼面	浅水、π字文	58-11	Po1098
8	漆喰四脚付小	A1e	B-a	D-80 / 碓臼面 (内側斜面) + 壁粘付沈澱、波状縁+沈澱文、π字文、口縁部内部沈澱		58-12	Po102

No.	器種	型態	区・遺構・層	石材	長(mm)/幅(mm)	最大厚(mm)	重量(g)	残存	被熱	加熱処理	変形	自然面	付着物	備考	写真図版	登録
5	磨石	-	D-79-P1020	凝灰岩	31.0	29.9	5.2	736	元形	0	0	0	1	0	58-9	S1213
9	石鑿	I-a2A	S-80	礫岩質頁岩	44.6	167	5.8	355	尖頭部膨大	0	0	0	0	B	58-13	S1220
10	鋸石	-	D-80	礫岩質頁岩	59.0	51.8	5.4	296.65	一部欠	0	0	0	0	立方体に彫刻	58-14	S1227
11	円盤状石盤品	1 b	D-80	礫岩質頁岩	44.9	41.2	16.2	36.44	元形	0	0	0	1	0	58-15	S1228

第24図 C丘陵頂部構造確認面ほか 出土遺物

17・20図に示している。また、丘陵頂部で遺構が多く出土した範囲における、遺構確認面等から出土した遺物についても第24図にまとめて提示した。

主なものを取り上げると、D-79区では、P94からπ字文の施された壺（第22図3）が、P105の柱抜取穴から鉛鉢石（同図5）が出土し、また、遺構確認面で工字文とπ字文の施された壺（第24図2）が出土している。D-80区では、遺構確認面で工字文の施された壺（第24図7）やπ字文の施された鉢（同図8）が出土した。鉢は南斜面の土坑墓に埋設される鉢と類似しており、四脚付きとみられる。また、同じく遺構確認面で石鏡（第24図9）や円盤状石製品（同図11）、立方体に成形された敲石（同図10）が出土している。D-59区では、P56から雲形文の施された壺（第22図15）が、P59の掘方埋土から入組帶状文に貼縫の付く壺（同図19）が出土した。また、P59では柱材（第23図）が残存しており、放射性炭素年代測定を実施したところ、¹⁴C年代が2,840±20yrBPという値が得られ、縄文時代晚期前葉から中葉頃と推定されている（分析編第11章）。D-53区では、P31からπ字文の施された浅鉢（第22図22）が、P33から工字文の施された壺（同図24）が出土した。



写真1 現地説明会のようす

2. C丘陵南斜面の遺構と遺物包含層

C丘陵突端部付近の南斜面は遺物包含層（VI層）が広がっており、このVI層の堆積により丘陵裾部は微高地を形成している。周囲に広がる湖沼の水位の上昇・下降に伴い、この微高地上に遺構が形成される時期が存在する。微高地上の遺構は、D-54・55・56・57・68・74・75区で検出し、柱列跡1条、集石遺構2基、土坑墓27基、埋葬犬骨（土坑墓）2基、土坑2基、自然流路跡1条の他に、ピットが多数ある（第25・26図）。これらは、遺構検出面の層準や堆積土の特徴、および出土遺物から、すべて縄文時代晩期の遺構とみられる。

ここでは、C丘陵南斜面で検出した遺構と、これらの遺構が形成される遺物包含層について記述する。

A. 遺構

(1) 柱列跡

柱列跡はD-55区の1箇所で確認した。



写真2 D-55区東側 作業風景



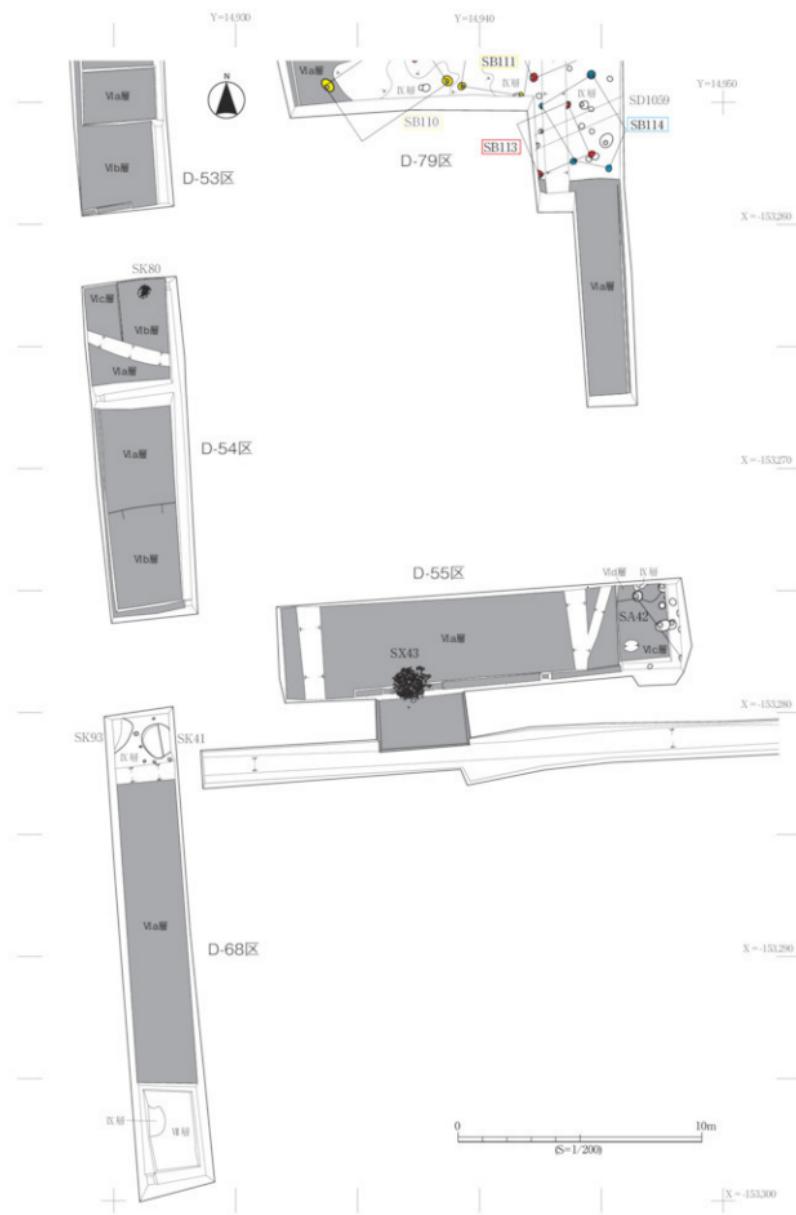
写真3 D-56区東側 作業風景



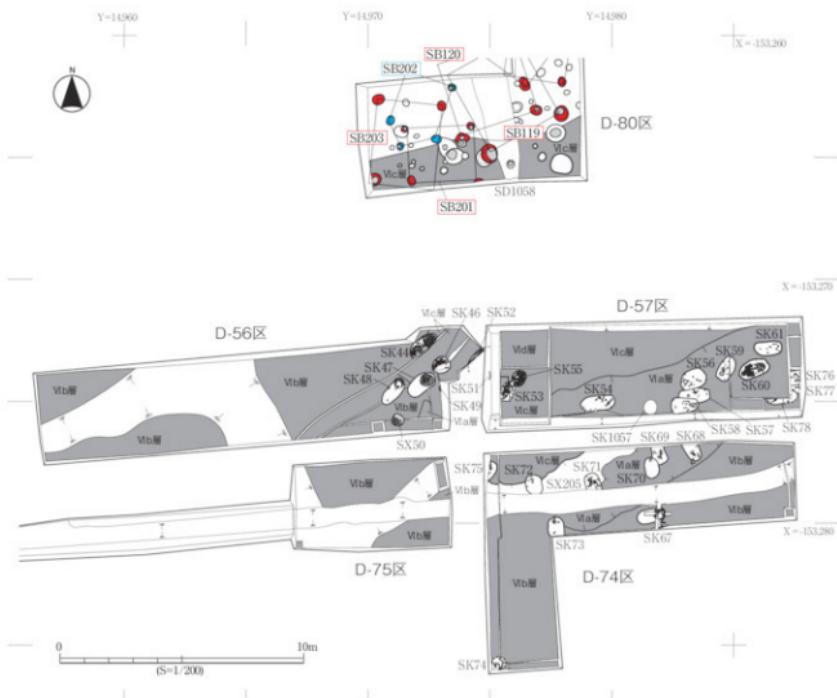
写真4 SK55埋葬犬骨 取り上げ作業風景



写真5 SK60土坑墓 取り上げ作業風景



第25図 C丘陵南斜面（西側） 平面図



第26図 C丘陵南斜面（東側） 平面図

【SA42柱列跡】

【位置】 D-55区東側（第27図）

【検出面】 VtC層（南3層群）

【重複】 なし。

【規模・構造】 南北2間以上の柱列跡である。総長約3.2mあり、柱間寸法は南から約1.6m、1.5mある。

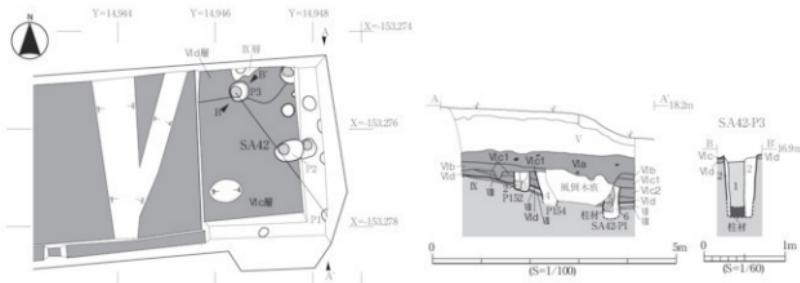
【方向】 北で37°西に偏する。

【柱穴】 2箇所で確認した。直径42~61cmの円形や梢円形で、残存する深さが75~95cmある。

埋土は地山（IX層）ブロックを多く含む黒色~褐灰色粘土質シルトで、柱痕跡を2箇所で確認した。

柱痕跡は直径24~25cmの円形を呈し、2箇所（P1、P3）で柱材が残存する。P3の柱材について放射性炭素年代測定を実施したところ、¹⁴C年代が $2,900 \pm 20$ yrBPとなり、縄文時代晚期前葉頃に当たる年代値が得られた（分析編第11章）。

【出土遺物】 縄文土器浅鉢（第28図2）や雲形文の施された皿（同図1）、剥片が出土している。



調査区 / 遺構	層序	土色	土性	特徴
D-55区	V1 a	黒色 (10YR2/1)	粘土。最上部に粘土。(V層) 中ブロックや多量、粗砂多量、小礫 (X層) 少量、スクモ多量、炭化物わずか	
	V1 b	黒色 (10YR2/1)	粘土。砂多量、スクモわずか、炭化物わずか	
	V1 c1	黒褐色 (2.5Y3/1)	粘土質シルト。地山小ブロック (瓦組)、粗砂少量、炭化物わずか	
	V1 c2	黄褐色 (2.5Y4/1)	粘土質シルト。地山小ブロック多量、炭化物少量、スクモわずか	
P152	V1 d	黒褐色 (10YR2/2)	粘土質シルト。粗砂少量	
	1	黒色 (10YR2/1)	粘土質シルト 地山ブロック (瓦組)、砂少量、炭化物わずか 【柱抜穴】	
P154	2	黒色 (10YR2/1)	粘土質シルト 砂少量、炭化物わずか 【柱抜跡】	
SAX43	3	黒褐色 (2.5Y3/1)	粘土質シルト 地山ブロック (瓦組) 多量、【掘方堆土】	
SA42P1	4	黒色 (10YR1/1)	粘土質シルト 地山小ブロック (瓦組) 少量、炭化物わずか 【掘方堆土】	
	5	黒色 (10YR2/1)	粘土質シルト 地山ブロック (瓦組)、砂少量、炭化物少量 【柱抜跡】	
SA42P3	6	黒色 (10YR2/1)	粘土質シルト 砂少量 【掘方堆土】	
	1	黒色 (10YR1/1)	粘土質シルト 地山ブロック (瓦組) 少量 【柱前跡】	
	2	黄褐色 (10YR4/1)	粘土質シルト 地山ブロック (瓦組) 多量 【掘方堆土】	

第27図 D-55区東側 (SA42柱列跡) 平面図・断面図



第28図 SA42柱列跡 出土遺物

(2) 集石遺構

石器等が人為的に一箇所に集められた遺構を集石遺構と呼称する。D-55区とD-56区でそれぞれ1基ずつ検出した。D-55区で検出したSX43集石遺構では、石器・石製品の他に自然石や土器・土製品、自然木が1,000点以上集積され、D-56区で検出したSX50集石遺構では、石器のみ6点が集積されている。また、SX43では確認できなかった土坑状の掘り込みが見られるなど、両者で集積の方法や、集積された遺物の種類・量に大きな差異が認められる。

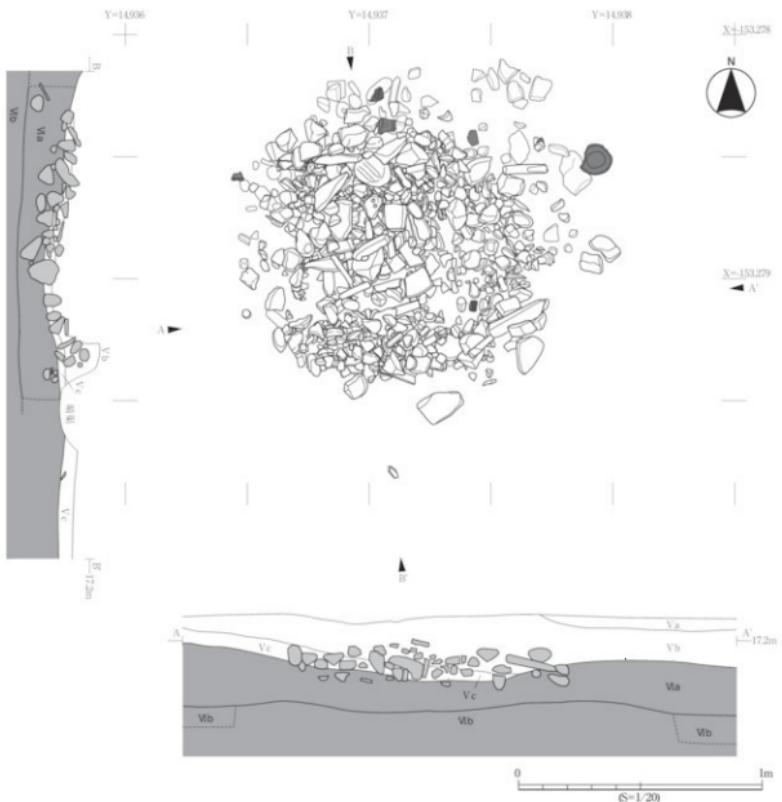
【SX43集石遺構】

【位置】 D-55区西側 (第29・53図)

【検出面】 Vla層 (南2A層群)

【重複】 なし。

【規模・構造】 掘り込みはない。南端部が暗渠でわずかに影響を受けているが、遺物の分布は、長径



調査区 / 遺構	層序	主色	主性	特徴
D-55 (K)	V a	褐色 (10YR6-1)	粘土	
	V b	褐色 (10YR4/1)	粘土	
	V c	灰黃褐色 (10YR6-2)	粘土	
	M a	黒色 (10YR2-1)	粘土 砂多量、スクモわずか	最上部に粘土 (V層) 中プロックや多量、粗砂多量、小理 (X層) 少量、スクモ多量、炭化物わずか
	V b	黒色 (10YR2-1)	粘土	

第29図 SX43集石遺構 平面図・断面図

約1.5m、短径約1.3mの円形を呈する。直上を洪水堆積層であるV層に覆われていることから、洪水の影響により一部の遺物が原位置から離れたものとみられ、本来の範囲よりやや広がっている。

【遺物集積の特徴】 遺物は基本層のVb層下部からVa層にかけて分布する。特にVc層からVa層上面にかけて集中しており、Va層上面に遺構が形成されたと推定される。洪水堆積層と考えられているVc層およびVb層は、遺構の形成後に集積された遺物の間に入り込んだものとみられる。また、遺物は周辺部を除き、重なり合うように集積されている。断面では最大で5重の重なりが確認できた。

第6表 SX43集石遺構 器種組成

種別	器種	三次元分類	その他の取 り扱い	計
石器	石斧	1		1
	打削石斧	1		1
	削刮石斧	9	2	11
	不定形石器	3		3
	刮片	19	35	54
	石核	14	3	17
礫石器	刮片	47	40	87
	石核	52	8	60
	磨石	102	39	141
	凹石	8		8
	砾石	3		3
	燧石	1		1
石製品	計	166	47	213
	円錐状石製品	3		3
	石錐	2		2
	石延	4	2	6
	鉗延石	7		7
	石棒	25	13	38
自然石	石刀	40	35	75
	鉗削器	1		1
	不明石製品	1	5	6
	計	83	55	138
	石材	61	17	78
	離(奇石)	30		30
土器	磚	331	335	666
	計	422	352	774
	漆跡	16	23	39
	跡	9	14	23
	台付跡		1	1
	四脚付跡	1	1	2
土製品	瓦	3	5	8
	壺	1	1	1
	臼土器	2	3	5
	埴生土器残跡	1		1
	器種不明	2	3	5
	計	34	51	85
土製品	土偶	4	1	5
	土版	1	1	2
	有孔土製品	1		1
	計	6	2	8
	自然木	-	1	1
	計	759	547	1306

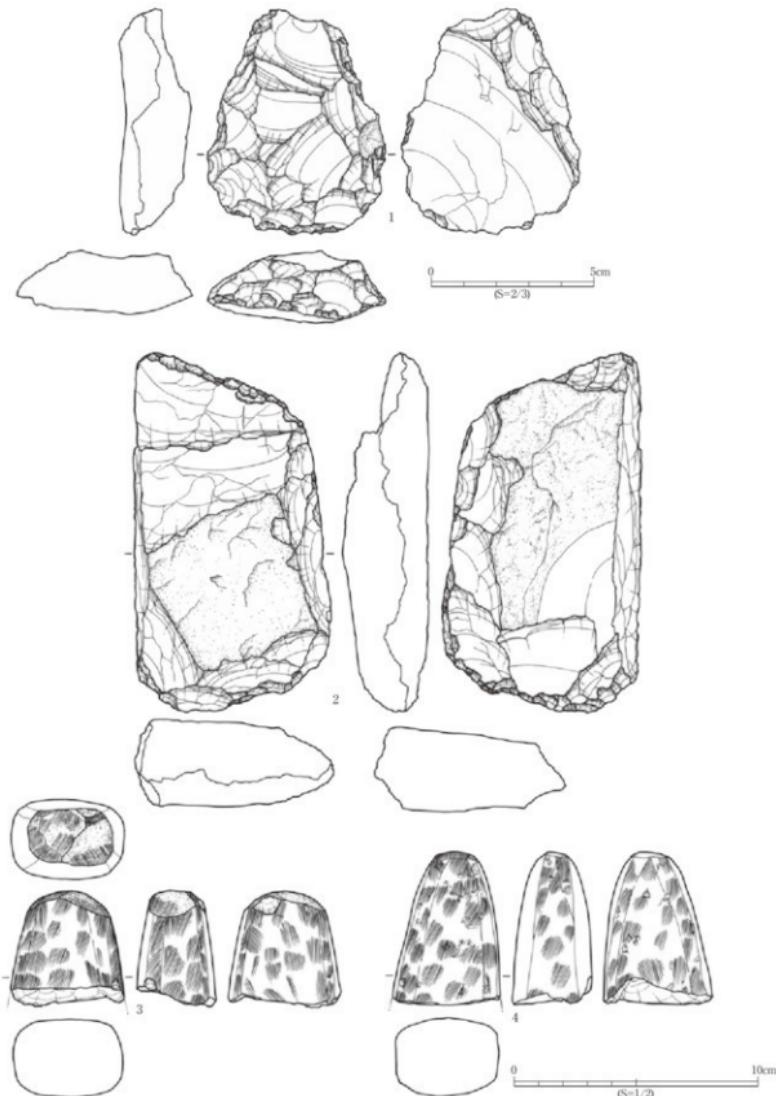
第7表 SX43集石遺構 器種別石材組成

種別	器種	鉢質岩A	珪質岩B	頁岩	片岩	片麻岩	安山岩	花崗岩	玄武岩	粘板岩	千枚岩	安山岩	玄武岩	ホルンブッシュ	花崗岩	斑岩	柱状節理	柱状節理岩	板岩	
石器	石斧			1															1	
	打削石斧																		1	
	削刮石斧			2															1	
	不定形石器	2					1												11	
	刮片	2	1	1	3			2	5										3	
	石核	3	1	2	1	1			8		3								17	
礫石器	計	5	2	5	5	1		3	13		3	40		5	1	2			4	
	石核		1		3	1					12	1	32	1	2	5		1	1	
	磨石					46	7	2			2	1	59	1	14	3	1		141	
	凹石					1						4	1	2					8	
	砾石														1				3	
	燧石																		1	
石製品	計	1																	1	
	円錐状石製品			3															3	
	石錐			2															2	
	石冠											1		3					6	
	鉗延石											3		4					7	
	石棒											33			3				38	
自然石	石棒											73			1				75	
	石刀																		6	
	鉗削器																		1	
	不明石製品											4		1					1	
	計			7								114	1	1	96	2	17	11	1	6
	石材	4	4	4					20	2	3	3	28	1	2		4	5	121	
離(奇石)	離(奇石)	2	1	1	5	1					2	2	1	10	2	1		1	1	
	磚	8	36	6	115	65	30	1	1	1	2	4		290	6	68	7	1	666	
	計	12	42	1	7	120	66	30	21	3	4	2	7	30	1	1	302	6	70	
	離(奇石)	17	6	48	1	32	178	74	32	3	34	2	4	2	198	1	2	1	1212	

これらから、本来は相当の高まりをもつ遺構であったと推定される。なお、V層中に包含される遺物の一部を遺構確認の段階で掘り上げているため、分布がやや希薄になっている箇所がある。

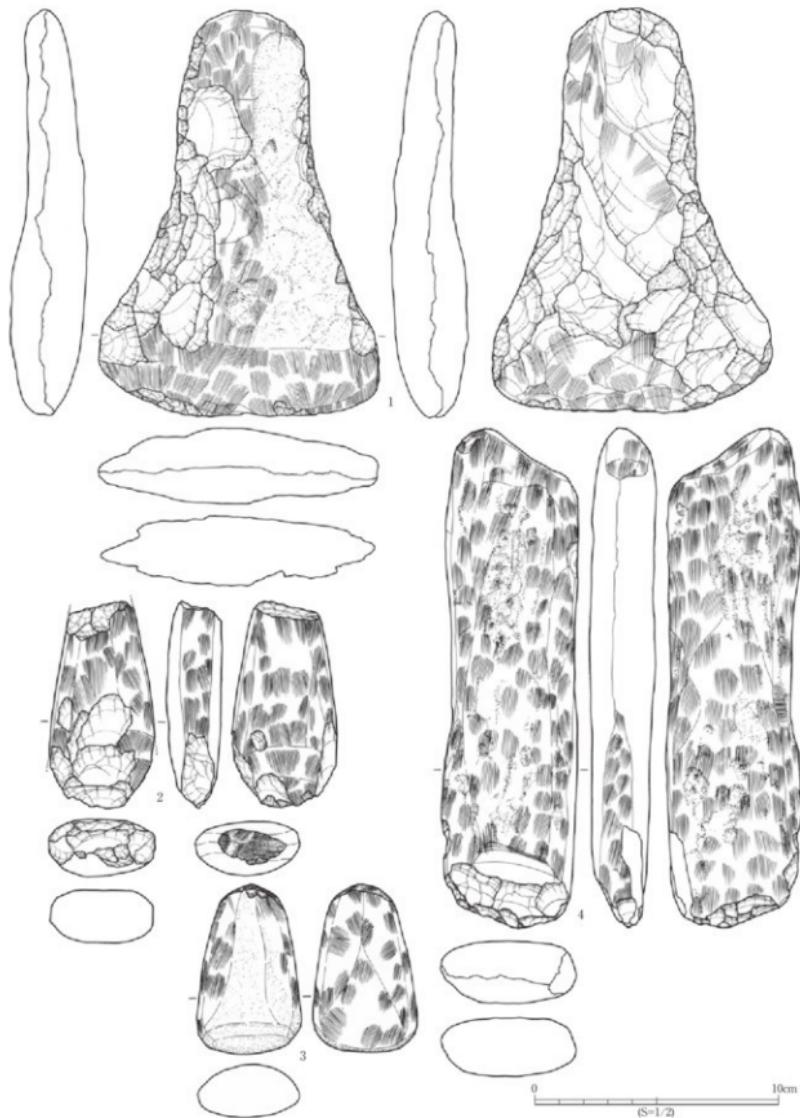
[出土遺物] 出土した位置を記録して取り上げた遺物は、No. 1～770（うち欠番11点）の759点あり、その他に取り上げた遺物が547点ある。

集積された遺物には、石器、礫石器、石製品、自然石、土器、土製品、自然木がある（第30～49図）。これらの内訳を第6表に示した。全体の約6割が自然石で構成され、次いで礫石器が多い。石器類や石製品は完形のものが少なく、破片が主体となる。種類別に見ると、石器ではトゥールが少なく、剥片・石核が多く集積される。トゥールでは磨製石斧が主体となり、遺物包含層等で多く出土する剥片石器はわずかで、石鎌や石錐、石匙などの定形的な剥片石器は石鏡1点のみにとどまる。礫石器では磨石が最も多く、次いで石皿も多く集積される。石製品では石棒類が主体となる。また、独結石（7点）や石冠（6点）が出土しているが、これは遺物包含層等から出土した点数よりも多い。自然石では剥片石器や



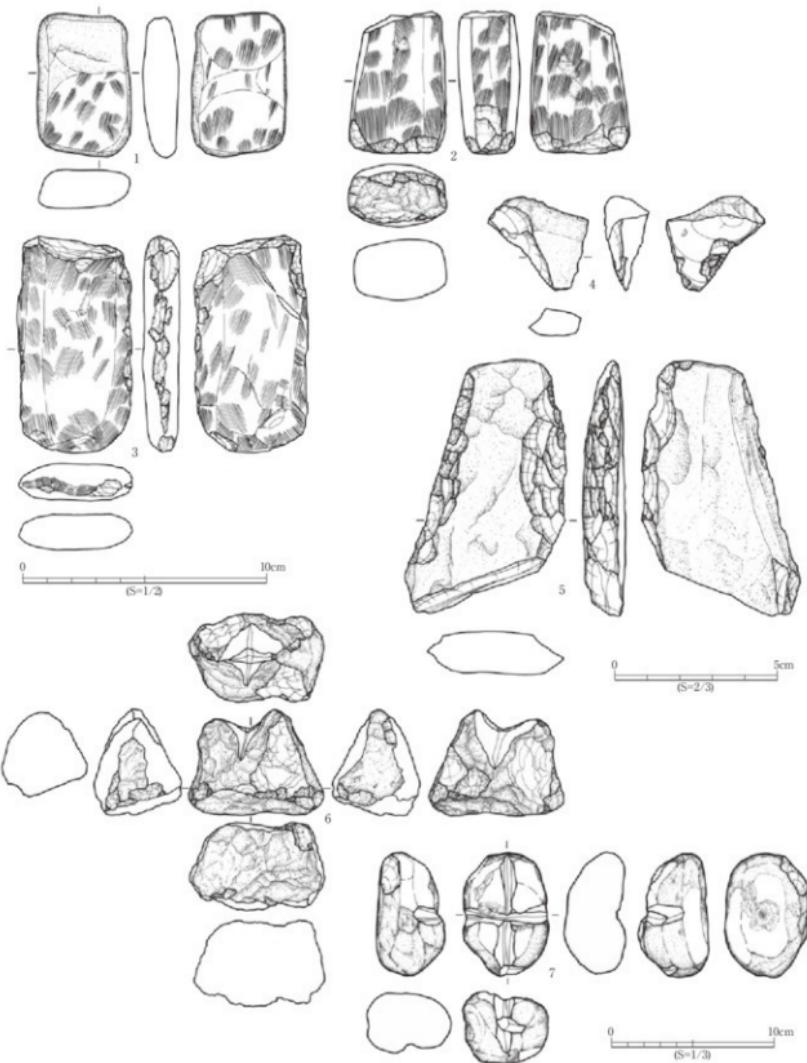
第30図 SX43集石遺構 出土石器 (1)

No.	種別	類型	器種	石材	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	凹面度 区分	風化度	残存	破壊 状態	修理	変形	自然面	有着物	接合	参考	写真図版	登録
1	石器	1 b	石器	珪質凝灰 岩質	69.4	53.7	19.7	78.55	-	-	完形	0	0	0	1	0		59-1	SX43-757	
2	石器	-	打制石器	小セシ フェルス	147.0	78.8	34.0	472.80	-	-	一部欠 け	0	0	石器→	1	0		59-2	SX43-765	
3	石器	1 b1	剥製石器	砂岩	49.2	46.8	32.7	100.25	-	-	基部 欠損	0	0	0	0	0		59-3	SX43-314	
4	石器	1 a1	剥製石器	安山岩	63.7	44.3	32.2	127.43	-	-	基部 欠損	0	0	0	0	0		59-4	SX43-661	



第31図 SX43集石遺構 出土石器 (2)

No.	種別	器種	類型	石材	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	門面度 区分	風化度	残存	破壊 理路	変形	自然面	打削物	接合	備考	写真図版	登録
1	石器	磨製石斧	Ⅲ	砂岩	116.0	114.0	28.8	519.99	-	完形	0	0	1	0			59.5	SX43-1006	
2	石器	磨製石斧	1	砂岩	84.6	43.7	22.5	138.81	-	基部・ 刃部欠	0	0	0	0			59.6	SX43-150	
3	石器	磨製石斧	-	安山岩	69.2	42.6	21.7	96.33	-	完形	0	0	1	0			59.7	SX43-163	
4	石器	磨製石斧	1	粘板岩	204.2	54.6	25.5	451.25	-	完形	0	0	0	0			60.1	SX43-543	



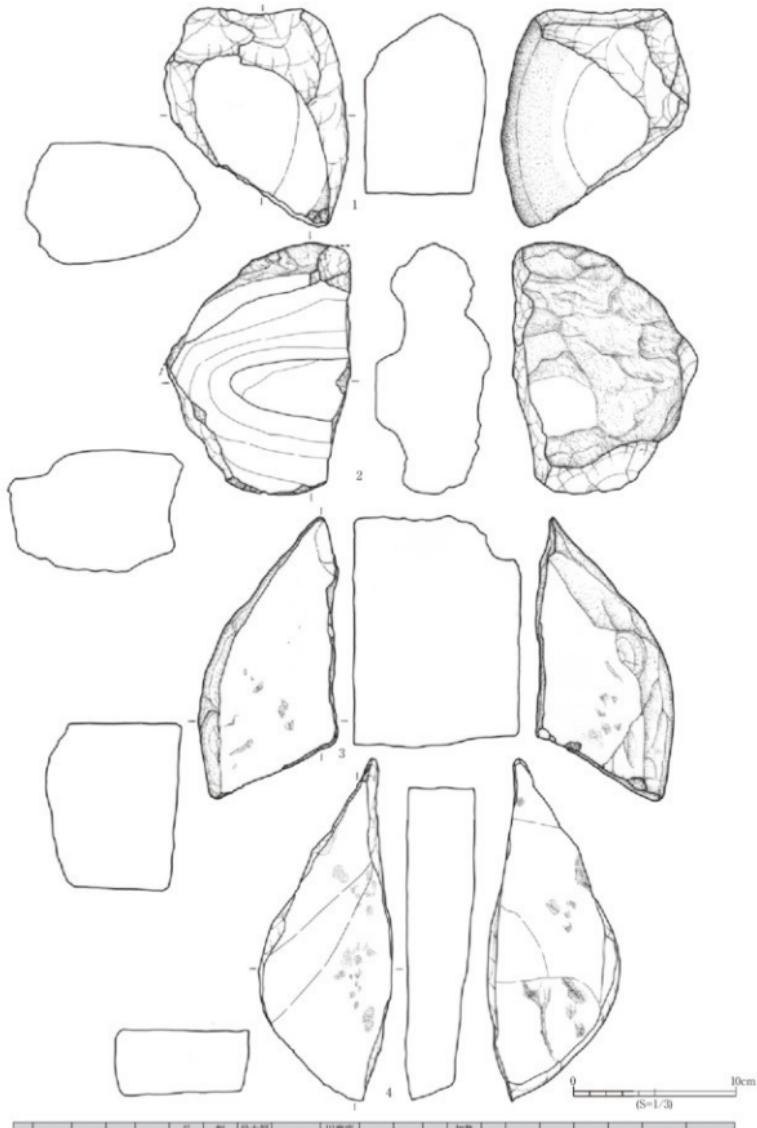
No.	種別	器種	類型	石材	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	円滑度区分	風化度	残存	被熱	変形	自然面	有孔物	接合	備考	写真図版	登録
1	理石器	磨石		安山岩	57.8	37.7	15.5	63.27	粗面	-	完形	0	0	0	1	0	削製石器の核遺品か	60-2	SX43-501
2	理石器	磨石		安山岩	57.2	40.1	25.0	108.80		-	完形	0	0	0	0	0		60-3	SX43-683
3	石製品	不明石製品		粘板岩	87.9	16.4	14.6	100.36		-	一部欠	0	0	0	0	0		60-4	SX43-1011
4	石器	不定形石器	Ⅲ-d 剣玉A	307	30.2	13.5	7.57	-	-	完形	0	0	0	1	0		60-5	SX43-595	
5	石器	不定形石器	Ⅲ-e 直刀	509	31.4	27.0	60.29	-	-	一部欠	0	0	0	1	0		60-6	SX43-650	
6	石製品	石器		凝灰岩	65.1	81.9	52.0	259.61		-	完形	0	0	0	1	0		60-7	SX43-149
7	石製品	石斧		凝灰岩	76.0	53.2	42.5	128.07		-	完形	0	0	→	1	0		60-8	SX43-590

第32回 SX43集石遺構 出土石器 (3)



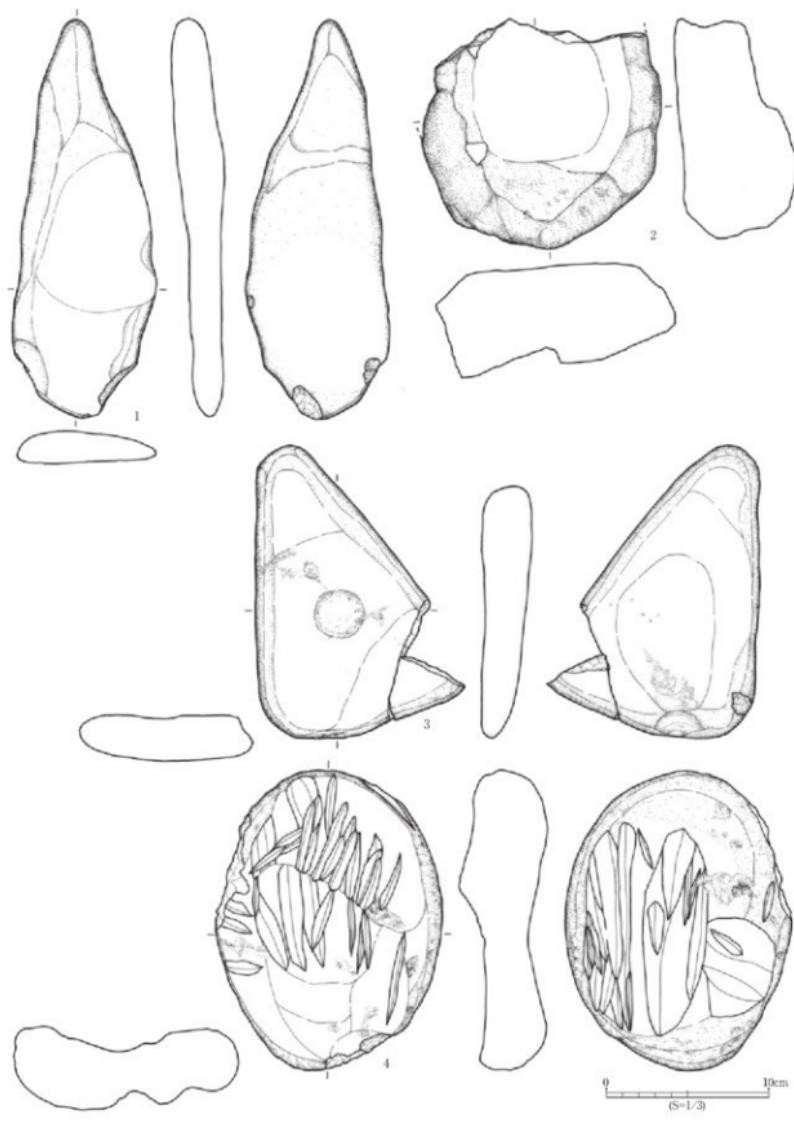
No.	类别	器種	断面	石核	長 (mm)	寬 (mm)	厚度 (mm)	重量(g)	平均厚 度分佈	風化 度	殘存 形狀	敲打 面	刮削 面	白質 面	骨質 面	接合	備考	写真圖版	登錄
1a	砾石器	石核		安山岩	40.0	40.7	42.2	61.95	凹圓	無	破片	0	0	凹圓	→	1	0	609	SX43-174
1b	砾石器	石核		安山岩	57.0	67.6	40.0	130.47	凹圓	無	破片	0	0	凹圓	→	1	0	609	SX43-250
1c	砾石器	石核		安山岩	43.5	57.2	47.1	110.48	凹圓	無	破片	0	0	0	1	0		609	SX43-523
2	砾石器	石核		安山岩	101.2	77.2	72.1	87.900	凹圓	無	破片	0	0	0	1	0		6010	SX43-201
3	砾石器	石核		安山岩	93.0	49.1	32.0	95.31	凹圓	無	破片	0	0	0	1	0		6011	SX43-533
4	砾石器	石核		安山岩	97.8	84.8	36.7	435.60	凹圓	無	破片	0	0	0	1	0		6012	SX43-381
5	砾石器	石核		安山岩	116.2	89.9	41.1	562.78	凹圓	無	破片	0	0	0	1	0		6013	SX43-91
6a	砾石器	石核		安山岩	103.4	37.0	16.1	91.48	凹圓	無	破片	0	0	0	1	0		61-1	SX43-151
6b	砾石器	石核		安山岩	106.5	58.5	16.0	35.49	凹圓	無	破片	0	0	0	1	0		61-1	SX43-153
7	砾石器	石核		砂岩	75.0	59.3	34.0	27.570	凹圓	無	破片	0	0	0	1	0		61-2	SX43-131
8a	砾石器	石核		砾灰岩	52.9	86.1	23.1	112.08	凹圓	無	破片	0	0	0	1	0	凹痕あり	61-3	SX43-247
8b	砾石器	石核		砾灰岩	74.5	61.4	20.7	77.86	凹圓	無	破片	0	0	0	1	0	凹痕あり	61-3	SX43-1004
8c	砾石器	石核		砾灰岩	51.9	44.0	19.5	34.96	凹圓	無	破片	0	0	0	1	0		61-3	SX43-1004

第33圖 SX43集石遺構 出土石器 (4)



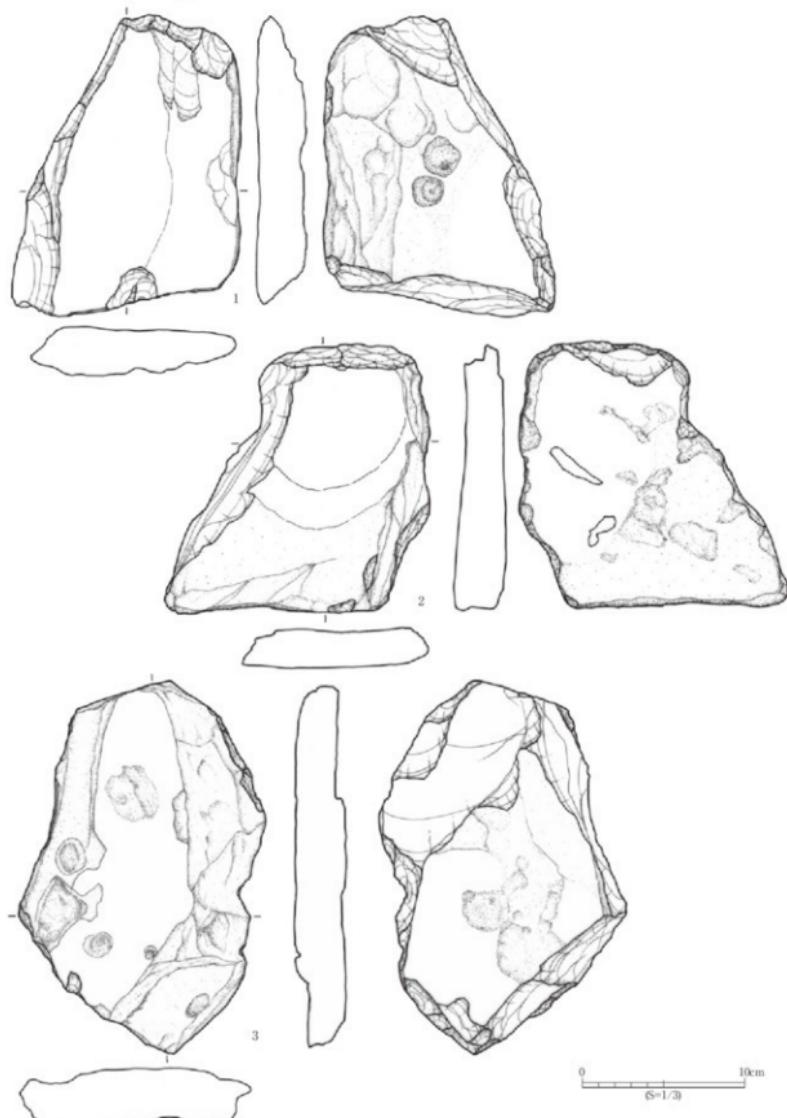
No.	種別	器種	類型	石材	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	円熟度区分	風化度	残存	焼熱	加熱處理	変形	自然面	付着物	接合	編考	写真図版	登録
1	標石器	石器	-	安山岩	121.5	109.6	75.8	1.3220kg	粗刃理	極弱	0	0	0	1	0			61-4	SX43-173	
2	標石器	石器	-	安山岩	161.0	119.9	74.5	1.4250kg	粗刃理	極弱	0	0	0	1	0			61-5	SX43-120	
3	標石器	石器	-	安山岩	136.9	84.8	113.9	2.1600kg	刃理	極弱	0	0	0	1	0			61-6	SX43-124	
4	標石器	石器	-	安山岩	213.0	84.1	40.8	0.9200kg	刃理	極弱	0	0	0	1	0			61-7	SX43-32	

第34図 SX43集石遺構 出土石器 (5)



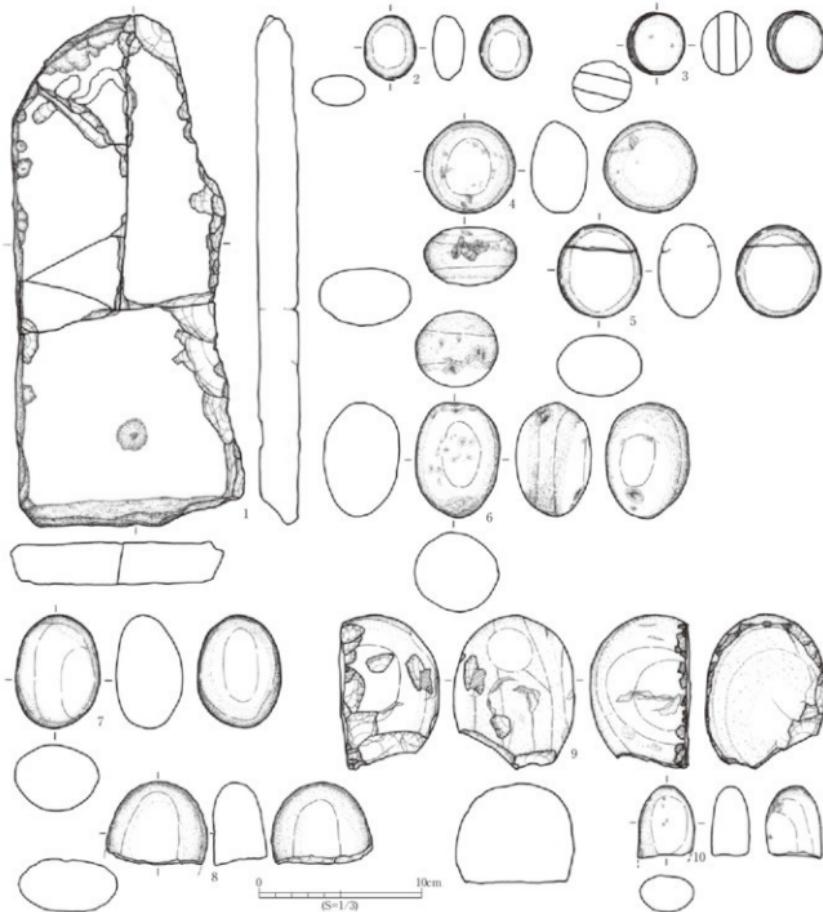
No.	種別	器種	形態	石材	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量(g)	凹面度 区分	風化 度	残存 部	破 損 修理	変形 度	自然 面	付着 物	接合	発 見	写真圖版	登録
1	砸石器	石核	-	安山岩	244.0	87.2	28.2	700.00	凹面	無	0	0	0	1	0		61-8	SX43-60	
2	砸石器	石核	-	麻风質泥岩	162.2	145.6	70.3	1,858.00	凹面	無	0	0	0	1	0		62-1	SX43-54	
3a	砸石器	石核	-	安山岩	182.9	111.4	30.7	853.00	超凹面	無	0	0	0	1	0	272+1316	62-2	SX43-272	
3b	砸石器	石核	-	安山岩	40.2	44.7	20.1	35.95	超凹面	無	0	0	0	1	0		62-2	SX43-1346	
4	砸石器	石核	-	安山岩質砂岩	184.0	142.8	63.9	1,308.00	超凹面	無	0	0	0	1	0		62-3	SX43-139	

第35図 SX43集石遺構 出土石器 (6)



No.	種別	器種	形態	石材	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	凹磨度 区分	風化度	残存	破壊 処理	変形	自然面	付着物	接合	備考	写真図版	登録
1	砸石器	石器	-	片岩	177.0	136.7	30.7	777.00	中円挫	-	部欠	0	0	0	1	0	凹面丸刃	62.4	SX43-239
2	砸石器	石器	-	粘板岩	164.0	144.0	31.5	1146.00	中円挫	-	部欠	0	0	0	1	0		63.1	SX43-48
3	砸石器	石器	-	粘板岩	229.0	142.0	31.0	1282.00	円挫	-	部欠	0	0	0	1	0		63.5	SX43-715

第36図 SX43集石遺構 出土石器 (7)



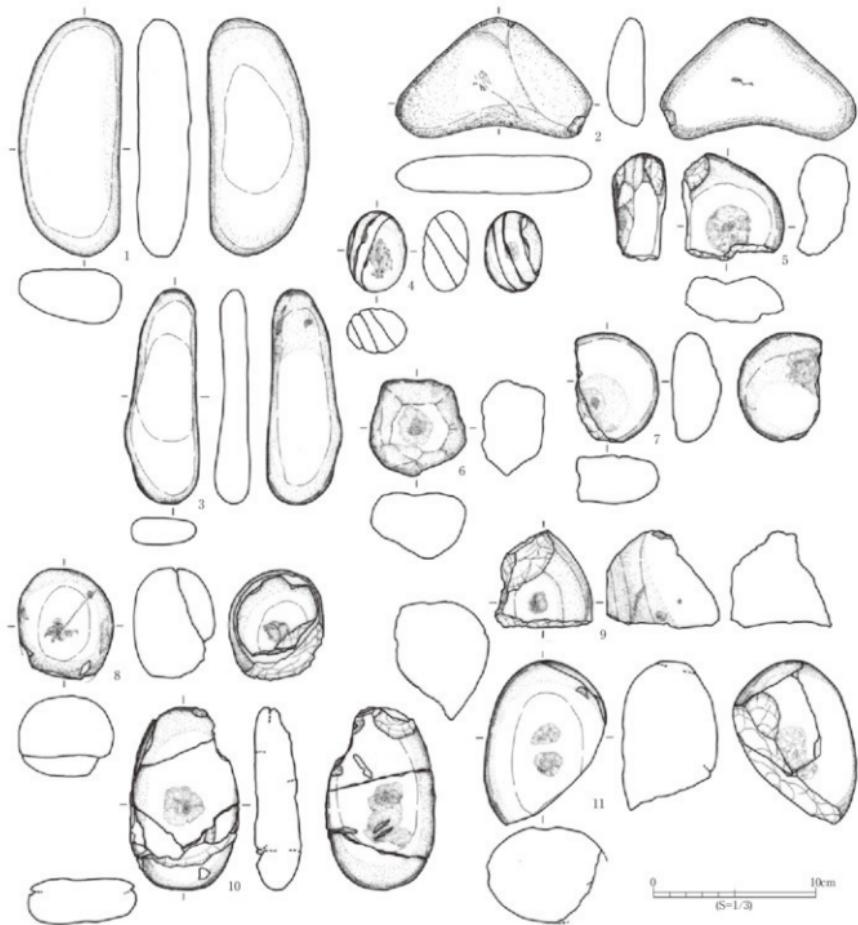
No.	種別	器種	盤型	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	円周度区分	圓周度	残存	被熱	加热処理	変形	自然面	有脊物	接合	参考	写真図版	登録
1a	磨石器	石器	砂岩	粘板岩	136.5	138.2	25.3	7900.00	Ⅲ円周	-	一部欠	0	0	0	1	0		63.6	SX43-111	
1b	磨石器	石器	石器	粘板岩	180.0	69.6	24.6	497.54	Ⅲ円周	-	破片	0	0	0	1	0		63.6	SX43-116	
1c	磨石器	石器	石器	粘板岩	192.0	64.4	25.1	439.02	Ⅲ円周	-	破片	0	0	0	1	0		63.6	SX43-117	
1d	磨石器	石器	石器	粘板岩	31.2	37.3	3.2	7.32	Ⅲ円周	-	破片	0	0	0	0	0	111+116+117+426 +431+432+53326	63.6	SX43-426	
1e	磨石器	石器	石器	粘板岩	78.8	54.8	22.6	81.76	Ⅲ円周	-	破片	0	0	0	1	0		63.6	SX43-431	
1f	磨石器	石器	石器	粘板岩	46.2	50.8	9.8	29.82	Ⅲ円周	-	破片	0	0	0	1	0		63.6	SX43-432	
1g	磨石器	石器	石器	粘板岩	46.0	58.9	9.1	36.77	Ⅲ円周	-	破片	0	0	0	1	0		63.6	S3326	
2	磨石器	磨石	磨石	粘板岩	39.3	31.6	19.4	22.44	組円周	-	完形	0	0	0	1	0		63.2	SX43-1308	
3a	磨石器	磨石	磨石	粘板岩	38.1	34.6	10.6	16.97	円周	-	一部欠	0	0	0	1	0		63.5	SX43-68	
3b	磨石器	磨石	磨石	粘板岩	35.4	31.5	9.7	8.24	組円周	-	破片	0	0	0	1	0		63.5	SX43-577	
3c	磨石器	磨石	磨石	粘板岩	35.9	32.4	11.5	10.17	組円周	-	破片	0	0	0	1	0		63.5	SX43-1402	
4	磨石器	磨石	安山岩	安山岩	57.2	57.2	36.1	176.74	組円周	-	完形	0	0	0	1	0		63.4	SX43-291	
5a	磨石器	磨石	安山岩	安山岩	126	42.2	29.4	18.23	組円周	-	破片	1	0	0	1	0		63.7	SX43-1151	
5b	磨石器	磨石	安山岩	安山岩	44.7	52.0	37.5	136.68	組円周	大	0	0	0	1	0		63.7	S3332		
6	磨石器	磨石	玄武岩	玄武岩	71.0	51.9	47.2	130.73	組円周	-	完形	0	0	0	1	0		63.8	SX43-659	
7	磨石器	磨石	安山岩	安山岩	70.8	52.5	41.2	255.07	組円周	-	完形	0	0	0	1	0		63.9	SX43-246	
8	磨石器	磨石	安山岩	安山岩	53.0	61.4	32.9	154.07	組円周	-	一部欠	0	0	0	1	0		63.10	SX43-271	
9	磨石器	磨石	粘板岩	粘板岩	94.7	73.0	66.0	665.00	円周	-	破片	0	0	0	1	0		63.11	SX43-34	
10	磨石器	磨石	粘板岩	粘板岩	45.2	35.0	43.56	43.56	組円周	-	破片	0	0	0	1	0		63.12	SX43-770	

第37図 SX43集石遺構 出土石器 (8)



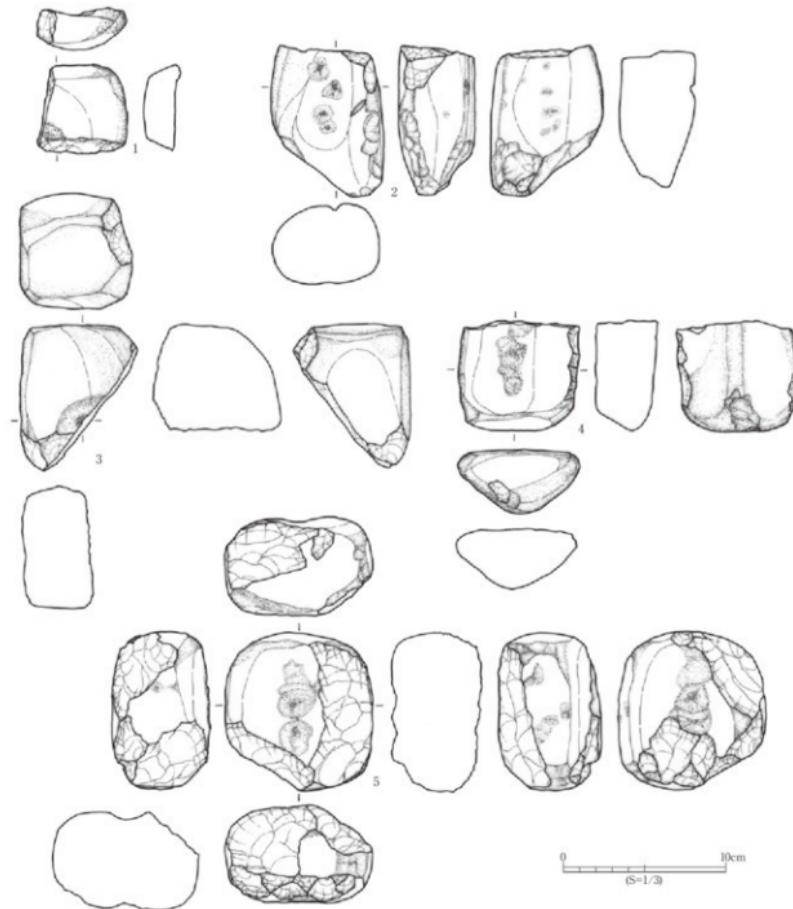
No.	標號	器種	類型	石材	長 (mm)	寬 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	凹面度 分級	風化度	殘存	範熱	加熱處理	形狀	自然面	用途物	接合	備考	寫真圖版	登錄
1	圓石器	帶石	-	安山岩	63.6	73.8	61.8	345.01	凹面	-	破片	0	0	0	1	0	64-1	SX43-207		
2a	圓石器	帶石	-	變火石	93.2	47.8	38.4	225.21	凹面	-	部分	0	0	0	1	0	64-2	SX43-3017		
2b	圓石器	帶石	-	變火石	29.0	33.8	9.7	92.5	凹面	-	破片	0	0	0	1	0	64-3	SX43-1403		
3	圓石器	帶石	-	安山岩	70.2	55.2	46.7	289.54	凹面	-	破片	0	0	0	1	0	64-2	SX43-39		
4	圓石器	帶石	-	安山岩	67.9	56.2	11.7	62.87	凹面	-	完形	0	0	0	1	0	64-3	SX43-369		
5	圓石器	帶石	-	鈣石	60.9	48.7	20.4	29.97	凹面	-	完形	0	0	0	1	0	64-5	SX43-379		
6	圓石器	帶石	-	鈣石	76.5	50.5	44.0	65.97	凹面	-	完形	0	0	0	0	0	64-6	SX43-331		
7	圓石器	帶石	-	安山岩	88.7	55.0	35.6	226.37	凹面	-	完形	0	0	0	1	0	64-7	SX43-324		
8	圓石器	帶石	-	安山岩	83.0	43.5	25.0	119.78	凹面	-	完形	0	0	0	1	0	64-8	SX43-153		
9	圓石器	帶石	-	安山岩	109.0	65.0	38.3	425.35	凹面	-	完形	0	0	0	1	0	64-9	SX43-206		
10	圓石器	帶石	-	安山岩	119.5	83.2	33.4	435.40	凹面	-	部分	0	0	0	1	0	64-10	SX43-43		

第38圖 SX43集石遺構 出土石器 (9)



No.	種類	器種	形態	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 g	円盤面 区分	風化度	残存 部	加热 処理	変形	自然面	骨壺物	破合	番号	写真図版	登録
1	磨石	磨石	安山岩	147.3	62.5	29.0	479.14	細円盤	完形	0	0	0	1	0		6441	SX43-763		
2	磨石	磨石	安山岩	65.0	119.3	24.4	278.96	細円盤	完形	0	0	0	1	0		6442	SX43-425		
3	磨石	磨石	安山岩	132.3	65.6	21.5	184.02	細円盤	完形	0	0	0	1	0		6443	SX43-641		
4a	磨石	磨石	湖灰岩	47.5	29.5	16.9	13.43	細円盤	破片	0	0	圓石→	1	0		6444	SX43-719		
4b	磨石	磨石	湖灰岩	47.9	36.9	8.0	9.48	細円盤	破片	0	0	圓石→	0	0	719+1150=	6444	SX43-1150		
4c	磨石	磨石	湖灰岩	34.6	21.9	7.0	6.26	細円盤	破片	0	0	圓石→	1	0	1155+1404	6444	SX43-1155		
4d	磨石	磨石	湖灰岩	44.7	28.7	9.4	8.24	細円盤	破片	0	0	圓石→	1	0		6444	SX43-1104		
5	磨石	磨石	安山岩	66.0	60.0	33.6	136.31	細円盤	部欠	0	0	圓石→	1	0		6445	SX43-85		
6	磨石	磨石	テラサイト	59.0	60.7	42.0	168.31	円盤	完形	0	0	圓石→	1	0		6446	SX43-446		
7	磨石	磨石	玄武岩/黄安山岩	67.4	51.5	30.6	101.40	細円盤	部欠	0	0	圓石→	1	0		6447	SX43-667		
8a	磨石	磨石	安山岩	72.2	59.1	41.0	200.22	細円盤	部欠	0	0	0	1	0		6448	SX43-386		
8b	磨石	磨石	安山岩	32.7	43.9	15.0	36.93	細円盤	破片	0	0	0	1	0	386+607	6448	SX43-607		
9	磨石	磨石	ホルツフェルス	58.2	37.2	71.7	213.41	細円盤	破片	0	0	0	1	0		6449	SX43-532		
10a	磨石	磨石	湖灰岩	42.6	61.0	13.1	237.77	細円盤	破片	0	0	圓石→	1	0		6420	SX43-53		
10b	磨石	磨石	湖灰岩	56.0	66.2	22.3	52.64	細円盤	破片	0	0	圓石→	1	0		6420	SX43-469		
10c	磨石	磨石	湖灰岩	32.0	61.0	26.5	31.49	細円盤	破片	0	0	圓石→	1	0	53+449+536	6420	SX43-526		
10d	磨石	磨石	湖灰岩	60.9	64.4	9.3	25.09	細円盤	破片	0	0	圓石→	1	0	+562+569+1	6420	SX43-562		
10e	磨石	磨石	湖灰岩	32.6	41.9	8.5	8.36	細円盤	破片	0	0	圓石→	1	0	169+127+7+5	6420	SX43-569		
10f	磨石	磨石	湖灰岩	41.9	38.7	7.3	3.03	細円盤	破片	0	0	圓石→	1	0	13772	6420	SX43-1169		
10g	磨石	磨石	湖灰岩	21.8	19.4	8.3	21.88	細円盤	破片	0	0	圓石→	1	0		6420	SX43-1277		
10h	磨石	磨石	湖灰岩	38.7	32.9	8.6	3.05	細円盤	破片	0	0	圓石→	1	0		6420	SX43-1277		
11	磨石	磨石	安山岩	194.0	291.1	58.9	59.78	細円盤	部欠	0	0	圓石→	1	0		6421	SX43-119		

第39図 SX43集石遺構 出土石器（10）



No.	種別	器種	形態	石材	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量(g)	可塑度 区分	風化度	残存	破 片	加熱 處理	変形	自然面	付着物	接合	備考	写真図版	登録
1	砸石器	削石	-	安山岩質凝灰岩	54.0	56.8	23.4	95.22	超円溝	-	破片	0	0	四右→	0	0		65-1	SX43-666	
2	砸石器	削石	-	安山岩	91.0	70.4	46.6	464.97	円溝	-	一部欠	0	0	四右→	1	0		65-2	SX43-74	
3	砸石器	削石	-	デイサイト	100.0	70.1	74.9	603.00	円溝	-	一部欠	0	0	0	1	0		65-3	SX43-754	
4	砸石器	削石	-	安山岩	67.0	73.7	38.0	300.03	超円溝	-	一部欠	0	0	最右→	1	0		65-4	SX43-330	
5	砸石器	削石	-	安山岩	96.8	90.8	59.0	719.00	超円溝	-	一部欠	0	0	四右→	1	0		65-7	SX43-429	

第40図 SX43集石遺構 出土石器 (11)



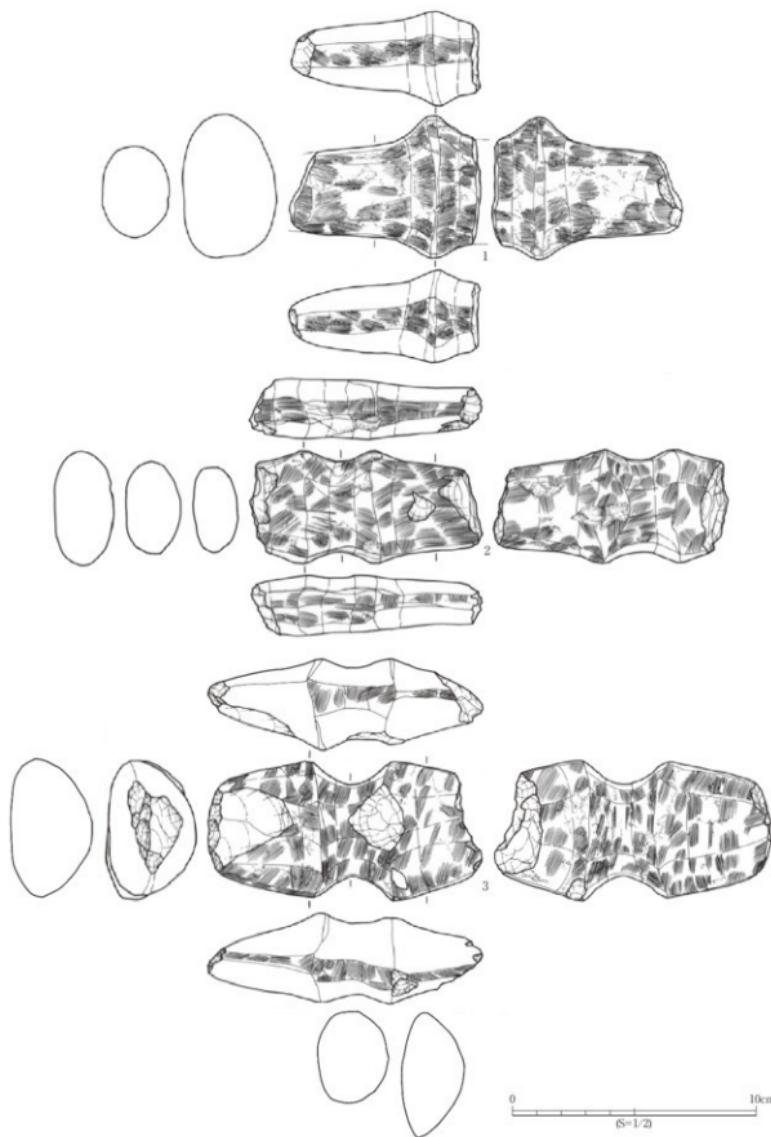
No.	種別	器種	類型	石材	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	円熟度 区分	風化 度	残存 状態	被熱 處理	変形 度	自然 面	付着 物	接合	備考	写真図版	登録
1	磨石器	凹石	-	安山岩	69.5	66.2	34.3	117.95	円筒	-	丸形	0	0	0	1	0	65-5	SX43-760	
2	磨石器	凹石	-	安山岩	106.2	29.0	38.0	432.15	円筒	被熱	0	0	石削	→	1	0	65-8	SX43-127	
3	磨石器	凹石	-	安山岩	83.0	63.9	61.5	393.87	被熱	被熱	0	0	石削	→	1	0	65-6	SX43-457	
4a	磨石器	凹石	-	ホルンフェルス	116.0	89.3	41.1	473.62	被熱	-	部分欠	0	0	石削	→	1	0	65-9	SX43-265
4b	磨石器	凹石	-	ホルンフェルス	55.6	84.1	35.7	180.35	被熱	被熱	0	0	石削	→	1	0	65-9	SX43-341	
5	磨石器	凹石	-	安山岩	95.5	41.4	48.4	158.46	円筒	被熱	0	0	石削	→	1	0	65-10	SX43-105	
6	磨石器	凹石	-	砂岩	49.1	39.2	17.0	40.53	円筒	-	部分欠	0	0	0	1	0	65-11	SX43-366	
7	磨石器	凹石	-	デイサイト	101.7	102.3	69.2	776.00	円筒	-	部分欠	0	0	石削	→	1	0	65-13	SX43-132

第41図 SX43集石遺構 出土石器 (12)



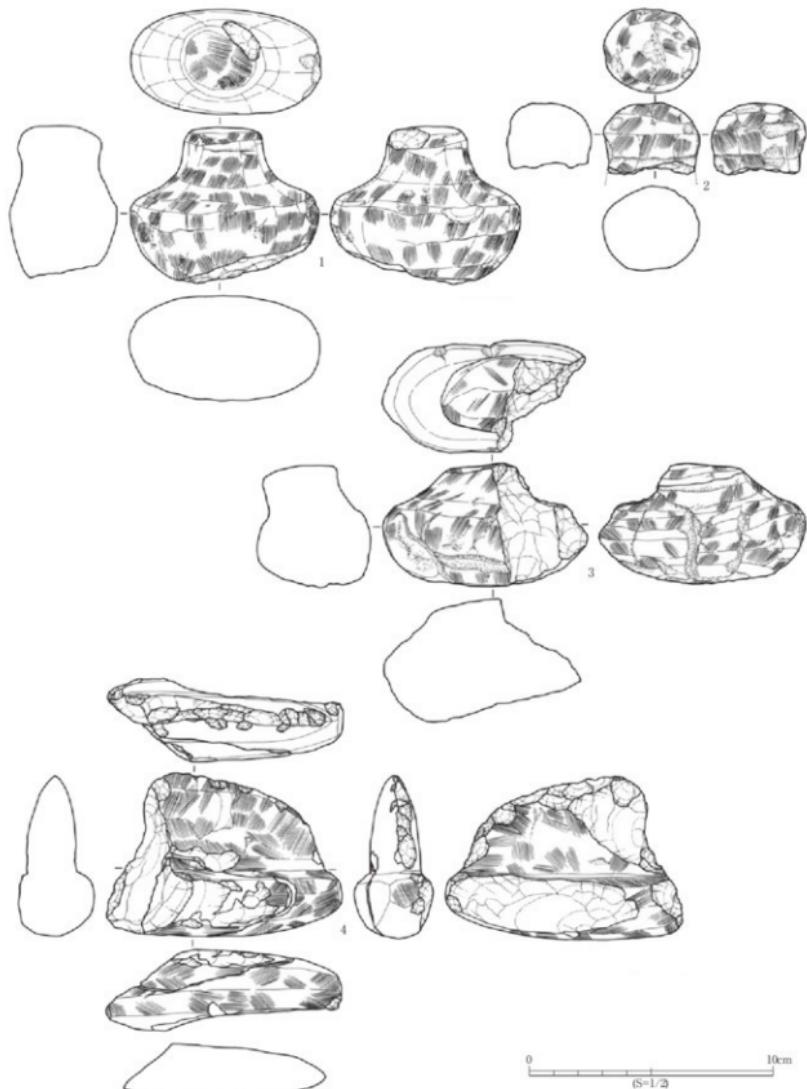
No.	类别	器形	类型	石材	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	円滑度区分	風化度	残存	破壊	加熱處理	変形	自然面	付着物	接合	発考	写真図版	登録
1	石製品	砾石	-	花崗岩	41.7	40.8	24.8	613.08	-	完形	0	0	0	0	1	0	-	65-12	SX43-700	
2	石製品	砾石	-	カルシウムチャルコイド	133.9	54.6	36.1	197.44	新角礫	完形	0	0	0	0	1	0	-	65-14	SX43-335	
3a	石製品	円盤状石製品	1-c	燧灰岩	69.4	36.8	15.5	30.70	-	部分	0	0	0	0	1	0	-	65-15	SX43-166	
3b	石製品	円盤状石製品	1-c	燧灰岩	56.1	25.0	17.9	26.53	-	細片	0	0	0	0	1	0	166-338	65-15	SX43-358	
4	石製品	円盤状石製品	-	燧灰岩	45.7	49.5	14.2	46.06	-	完形	0	0	0	0	1	0	-	65-16	SX43-325	
5	石製品	手研磨石製品	-	安山岩	75.5	33.0	14.5	498.4	-	部分	0	0	0	0	1	0	-	66-10	SX43-596	
6	石製品	圓盤塊	-	燧灰岩	44.0	32.8	32.1	21.18	-	破片	0	0	0	0	1	0	-	66-11	SX43-221	
7	石製品	圓盤石	-	安山岩	34.0	56.0	26.5	58.91	-	部分	0	0	0	0	0	0	-	66-1	SX43-642	
8	石製品	圓盤石	-	粘板岩	32.5	32.2	24.8	50.84	-	部分	0	0	0	0	0	0	-	66-2	SX43-739	

第42回 SX43集石遺構 出土石器 (13)・石製品 (1)



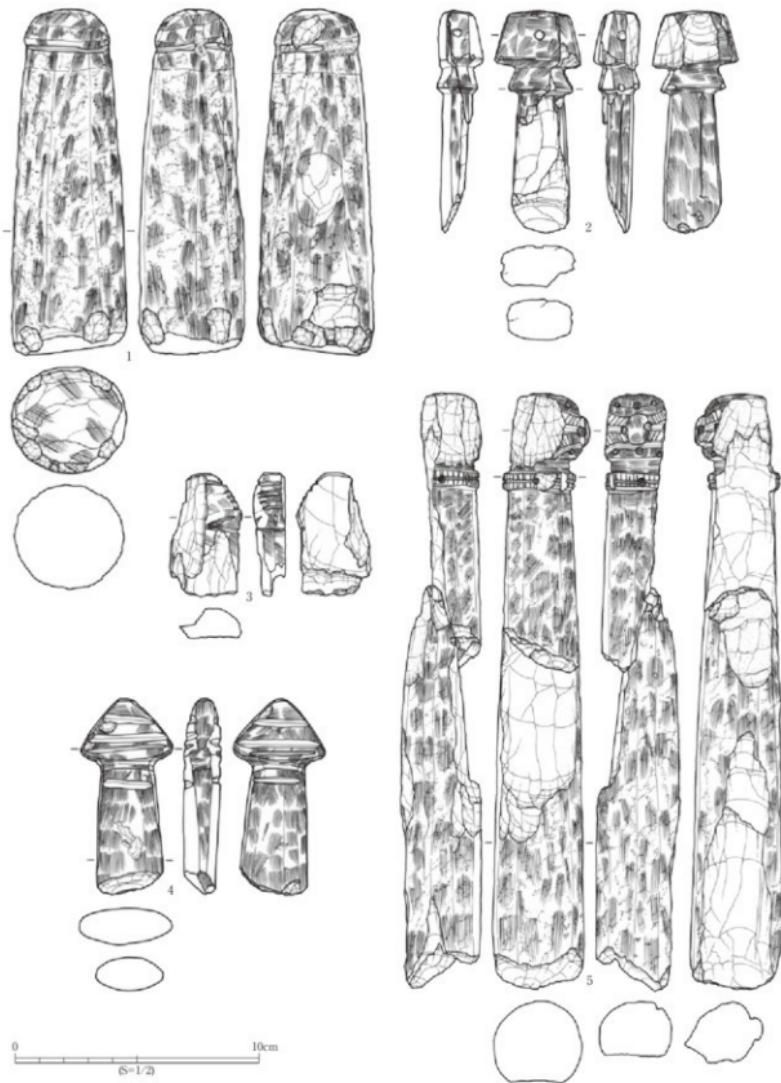
No.	種別	基材	類型	石材	長(mm)	幅(mm)	最大厚(mm)	重量(g)	内面或 区分	風化 度	残存	破壊 処理	変形	自然 洞	付着 物	複合	備考	写真図版	登録
1	石製品	無鉻石	-	安山岩	37.8	76.2	37.5	192.98	-	-	破片	0	0	0	0	0	66-3	SX43-202	
2	石製品	無鉻石	-	黏板岩	95.7	46.5	24.5	126.38	-	部大	0	0	0	0	0	66-4	SX43-144		
3	石製品	無鉻石	-	安山岩	111.1	56.6	36.3	265.72	-	部大	0	0	0	0	0	66-5	SX43-79		

第43図 SX43集石遺構 出土石製品 (2)



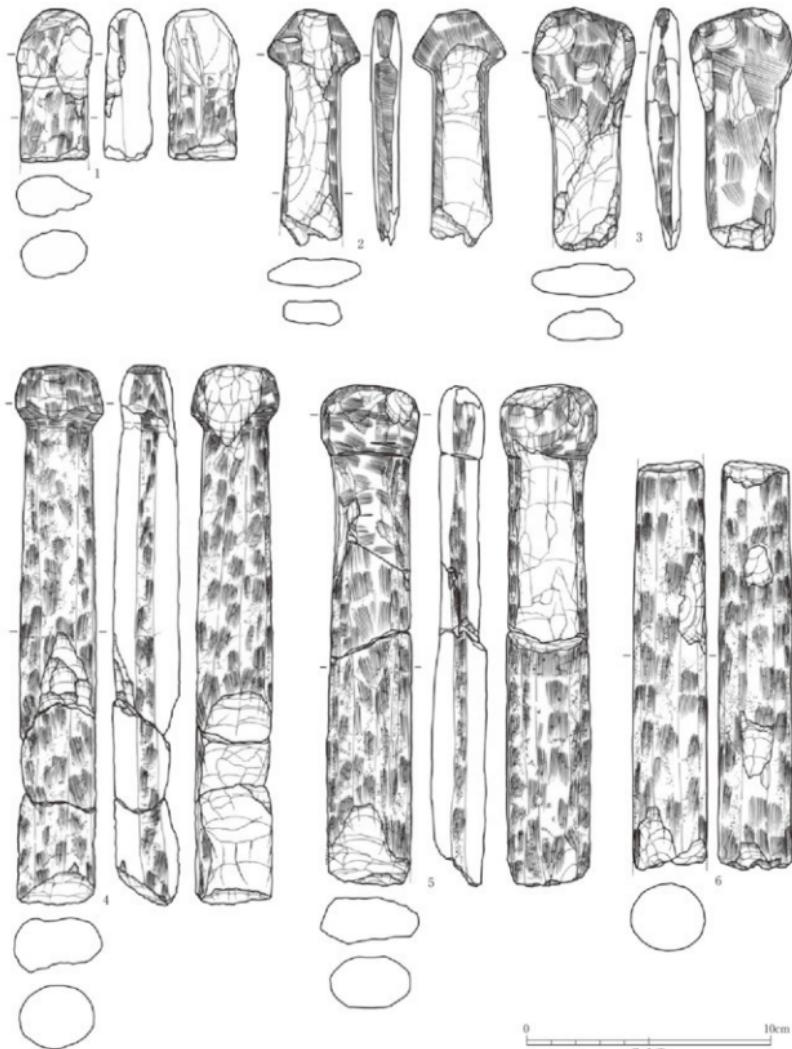
No.	種別	器種	類型	石材	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量(g)	円滑度 区分	風化 度	残存 状態	加熱 處理	変形 度	自然 裂 縫	付着 物	接合	備考	写真版	章籍
1	石製品	石冠	-	安山岩	637	76.6	62.5	254.06	-	-	部分欠	0	0	0	0	-	66.6	SX43-106	
2	石製品	石冠	-	粘板岩	27.9	28.3	33.6	47.19	-	-	風化	0	0	0	0	-	66.6	SX43-1147	
3	石製品	石冠	-	安山岩	842	50.1	46.5	199.11	-	-	部分欠	0	0	0	0	-	66.7	SX43-136	
4a	石製品	石冠	-	泥岩	633	95.2	20.9	146.11	-	-	部分欠	0	0	0	0	337+629	66.9	SX43-327	
4b	石製品	石冠	-	泥岩	329	61.9	12.7	17.02	-	-	礫片	0	0	0	0	-	66.9	SX43-629	

第44図 SX43集石構造 出土石製品(3)



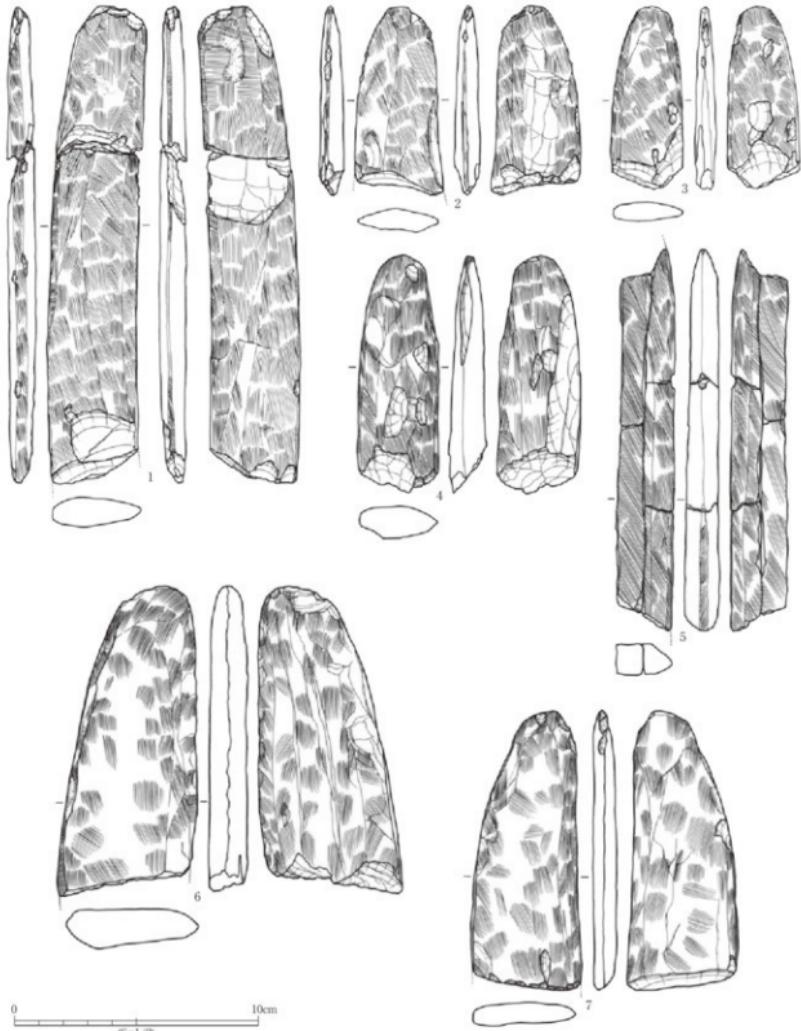
No.	種別	部種	形態	石材	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	内部斑 分	風化 度	残存 状態	加熱 處理	変形 状態	自然 面	付着 物	接合	備考	写真図版	登録
1	石製品	石核	-	燧灰岩	140.0	45.9	42.9	342.40	-	0	完形	0	0	0	0	0	67.1	SX43-288	
2a	石製品	石核	點核	燧灰岩	45.0	27.6	11.9	12.36	-	1	破片	0	0	0	0	0	67.2	SX43-1122	
2b	石製品	石核	點核	燧灰岩	90.1	33.9	14.7	38.41	-	1	破片	0	0	0	0	0	67.2	SX342	
3	石製品	石核	點核	燧灰岩	49.5	28.5	12.2	19.28	-	1	頭部	0	0	0	0	0	67.4	SX43-499	
4	石製品	石核	點核	燧灰岩	79.2	37.3	14.9	49.86	-	0	頭部	0	0	0	0	0	67.3	SX43-1007	
5a	石製品	石核	-	點核	166.0	35.6	32.1	289.55	-	1	一部欠	0	0	0	0	0	67.8	SX43-179	
5b	石製品	石核	-	點核	112.3	33.6	23.3	104.40	-	1	一部欠	0	0	0	0	0	67.8	SX43-236	
E79+236 大柄C2～A古の 文様に類似																			

第45図 SX43集石遺構 出土石製品（4）



No.	種別	器種	類型	石材	長 (mm)	幅 (mm)	最 大 厚 (mm)	重量 (g)	円 機 度 区分	風化度	残存	被熱	加热 處理	变形	自然面	付着物	接合	備考	写真図版	登録
1	石製品	石棒	-	粘板岩	62.0	30.2	19.4	36.08	-	2	頭部	0	0	0	0	0		67-5	SX43-1008	
2	石製品	石棒	-	粘板岩	96.1	38.5	12.0	44.39	-	0	基部欠	0	0	0	0	0		67-6	SX43-698	
3	石製品	石刀	未成品か 未完成品	粘板岩	99.4	41.8	13.0	33.20	1	0	部欠	0	0	0	0	0		67-7	SX43-130	
4a	石製品	石棒	-	粘板岩	155.0	35.4	25.8	192.67	-	2	部欠	0	0	0	0	0		67-9	SX43-57	
4b	石製品	石棒	-	粘板岩	46.1	30.8	16.8	25.57	-	2	破片	0	0	0	0	0	57+265 +202	67-9	SX43-282	
4c	石製品	石棒	-	粘板岩	48.9	31.1	20.4	40.01	-	2	破片	0	0	0	0	0		67-9	SX43-502	
5a	石製品	石棒	-	粘板岩	105.5	39.9	18.1	96.93	-	0	部欠	0	0	0	0	0		67-10	SX43-100	
5b	石製品	石棒	-	粘板岩	105.5	33.7	22.3	135.47	-	0	破片	0	0	0	0	0	106+660 +1109	67-10	SX43-660	
6	石製品	石棒	-	粘板岩	50.3	32.2	11.3	18.59	-	0	破片	0	0	0	0	0		67-10	SX43-1149	
6	石製品	石棒	-	粘板岩	167.4	30.3	27.3	217.80	-	2	部欠	0	0	0	0	0		68-1	SX43-249	

第46図 SX43集石遺構 出土石製品 (5)



No.	器別	器種	類型	石材	長 (mm)	幅 (mm)	厚大 (mm)	重量 (g)	円筒度 区分	風化度	残存	被熱	加热 處理	変形	自然 面	付着 物	撮合	備考	写真図版	登録
1a	石製品	石刀	-	粘板岩	63.9	32.3	9.2	28.99	-	0	基部	0	0	0	0	0	570+729	68-2	SX43-570	
1b	石製品	石刀	-	粘板岩	140.6	37.8	11.0	90.90	-	0	部欠	0	0	0	0	0		68-2	SX43-729	
2	石製品	石刀	-	粘板岩	78.8	36.2	10.0	35.52	-	0	先端部	0	0	0	0	0		68-3	SX43-638	
3	石製品	石刀	-	粘板岩	74.7	29.2	8.5	24.39	-	0	破片	0	0	0	0	0		68-4	SX43-438	
4	石製品	石刀	-	粘板岩	98.0	33.0	15.0	55.68	-	2	破片	0	0	0	0	0		68-6	SX43-563	
5a	石製品	石刀	-	粘板岩	52.1	14.0	13.1	12.93	-	1	破片	0	0	0	0	0		68-5	SX43-454	
5b	石製品	石刀	-	粘板岩	54.9	12.6	11.2	8.81	-	1	破片	0	0	0	0	0		68-5	SX43-1299	
5c	石製品	石刀	-	粘板岩	62.3	12.6	11.9	16.20	-	1	破片	0	0	0	0	0	454+1299+S3346 +S13741+S13771	68-5	S3346	
5d	石製品	石刀	-	粘板岩	55.1	13.9	12.2	12.16	-	1	破片	0	0	0	0	0		68-5	S13741	
6	石製品	石刀	-	粘板岩	79.4	10.9	13.6	22.65	-	1	破片	0	0	0	0	0		68-5	S13771	
7	石製品	石刀	-	粘板岩	126.7	54.5	15.5	163.05	-	0	部欠	0	0	0	0	0		68-7	SX43-329	
				粘板岩	114.4	45.0	10.0	59.67	-	1	破片	0	0	0	0	0		68-8	SX43-762	

第47図 SX43集石遺構 出土石製品 (6)



No.	種類	器種	重量(g)	厚さ(cm)	現存	特徴	参考	写真回数	登録
1	土器	深鉢	49.46	2	口縁部	沈縫文、内面沈縫文	69-1	SX43-1501	
2	土器	深鉢	16.89	2	口縁部	表面沈縫文	69-2	SX43-390	
3	土器	鉢	11.67	0	全体	背面の左右に溝状沈縫文	69-3	SX43-1510	
4	土器	深鉢	30.10	1	突起	側対の小突起。弧状沈縫文	69-4	SX43-1506	
5	土器	鉢	6.74	0	口縁部	平行+ハート形目(手曲状)。手曲状文	69-6	SX43-1507	
6	土器	鉢	7.07	1	口縁部+平	横縫縫。凹字文、平行沈縫文、純LR。外縫赤褐色付着	69-5	SX43-1503	
7	土器	鉢	22.07	1	体部下平	凹字文(彌り消し文)。純CLR	69-7	SX43-695	
8	土器	江口土器	30.78	1	体部下平+平	凹字文。平行沈縫文、ハート形目。平行沈縫文、雲彫文(彌り消し純文)。純CLR	69-8	SX43-1502	
9	土器	江口土器	18.27	2	体部下平+平	沈縫文。側対の點壓。平行沈縫文、斜帯+ハート形目。平行沈縫文。純CLR	69-9	SX43-1504	
10	土器	深鉢	30.18	0	口縁部	沈縫文。凹字文。平行沈縫文。口縫部内面沈縫	69-10	SX43-302	
11	土器	深鉢	17.56	0	口縁部+平	沈縫縫。沈縫文。平行沈縫文。口縫部内面沈縫	69-11	SX43-2	
12	土器	浅鉢	8.27	0	口縁部+平	平行沈縫文。凹字文+点突。平行沈縫文。口縫部内面沈縫	69-12	SX43-1506	
13	土器	鉢	29.51	1	口縫部	平行+斜縫縫。凹字文+二箇所突起。平行沈縫文。口縫部内面沈縫	69-13	SX43-224	
14	土器	台部	5.86	0	礫片	平行沈縫文。凹字文+二箇所突起。	69-15	SX43-474	
15	土器	鉢	8.10	0	口縫部	平行+二箇所+対の山形突起。沈縫文。突起+口縫部内面沈縫	69-17	SX43-685	
16	土器	浅鉢	30.71	1	口縫部	平行沈縫文。凹字文	69-16	SX43-478	
17	土器	施耐士器浅鉢	11.22	1	口縫部+底	口縫部(3.9mm)。平縫	69-18	SX43-547	
18	土器	深鉢	310.43	0	体部下平+底部	底径 4.2mm。網文LR。底部木葉痕。内面沈縫化物付着	69-14	SX43-175	
19	土器	四脚付鉢	11.81	1	体部下平+底部	底径(2.7mm)。沈縫文。底部十字状沈縫文。内面アスファルト状黑色物質付着	69-21	SX43-1509	
20	土器	四脚付鉢小	19.91	2	底+脚部	平行沈縫文。底部十字状平行沈縫文+隕帶	69-19	SX43-541	
21	土器	鉢	22.80	1	脚部	沈縫文。底部肥厚	69-22	SX43-620	
22	土器	江口土器	15.71	2	口縫部	先端肥厚。浮彫文	69-20	SX43-1506	
23	土器	江口土器	9.67	1	口縫部	先端肥厚。純縫文	69-23	SX43-407	
24	土器	江口土器	26.04	2	口縫部	残長 33.3mm。残存幅 39.3mm。最大厚 23.4mm。中実。(表)平行沈縫文。(背)円文。(内)浮彫文	69-24	SX43-742	
25	土製品	土鍋	37.38	2	左脇	残長 53.3mm。残存幅 39.3mm。最大厚 23.4mm。中実。(表)平行沈縫文。(背)円文。(内)浮彫文	69-25	SX43-661	
26	土製品	土鍋	21.66	2	足部	残長 30.2mm。残存幅 20.0mm。最大厚 19.3mm。中実。(表)網目沈縫文。平行沈縫文。施耐士器痕目。(裏)平行沈縫文。(裏)斜突	69-26	SX43-626	

第48図 SX43集石遺構 出土土器・土製品(1)



No.	種別	器種	重量(g)	厚径度	残存	特徴	写真版	登録
1	土製品	土偶	16363	2	頭部	残存長 55.2mm、残存幅 50.7mm、最大厚 25.9mm、中空。(左)貼面、平行沈綬文、斜尖列。(背)平行沈綬文、邊付沈綬文、鶴突列、首孔。(下)列突列、首孔。	69-27	SX43-1
2	土製品	土偶	3442	1	上半身(左)	残存長 79.5mm、残存幅 63.6mm、最大厚 31.9mm、中空。(左)隕帶+ヘラ彎目。沈綬文、貼面、薄意+鶴突L型、沈綬文。(内)鶴合孔。	69-29	SX43-696
3	土製品	土版	5929	2	破片	残存長 55.5mm、残存幅 48.3mm、最大厚 19.5mm、首孔+複数の沈綬文(正中縦)、低底の平行沈綬文。(右)	69-28	SX43-743
4	土製品	土版	5133	2	破片	残存長 56.5mm、残存幅 41.8mm、最大厚 18.7mm、低底の平行沈綬文	69-30	SX43-1552
5	土製品	布丸土製品	2118	2	破片	残存長 51.2mm、残存幅 36.4mm、最大厚 15.7mm、同心円文、鶴合孔。	69-31	SX43-100

第49図 SX43集石造構 出土土製品(2)

石棒類の石材となる良質の粘板岩や赤碧玉（碧玉B1・2類）が多く出土しているのが特徴である。また、形状が石製品に類似したり、表面の凹凸の起伏が大きいなど、珍しい形状・色調をもつ自然石（奇石）も一定量集積されている。また、土器・土製品もすべて破片であるが100点近く出土する。多くが縄文時代晩期の土器であるが、わずかに後期の土器などが見られる。

石材は、自然石や礫石器が主体となるため、安山岩や凝灰岩が多く見られる（第7表）。また、石棒類が多いため粘板岩も多い。なお、粘板岩は剥片や石器石材でもその割合が大きい。剥片石器の素材となる石材は、本遺跡で最も多く見られる珪質頁岩（A類）よりも赤碧玉が多く集積されている点が特徴的である。

【SX50集石遺構】

【位置】 D-56区東側（第50・53図）

【検出面】 Vib層（南2A層群）

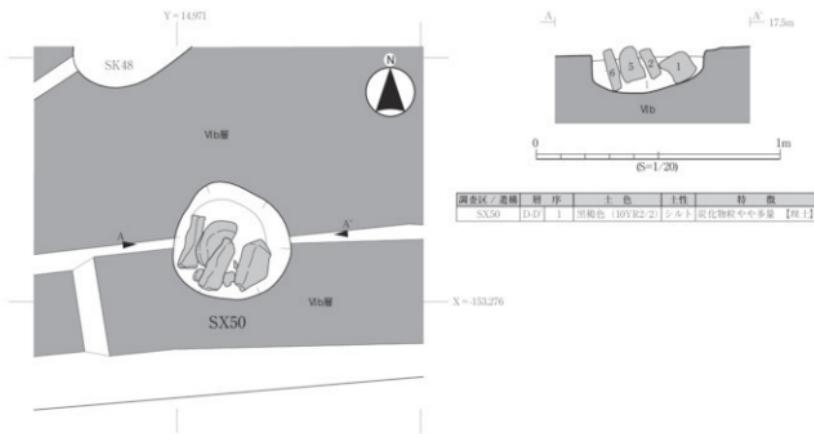
【重複】 なし。

【規模・構造】 直径0.5mの円形で、残存する深さが0.2mある。土坑状に掘り込まれており、底面は緩やかに窪む。壁は急に立ち上がり、断面逆台形を呈する。

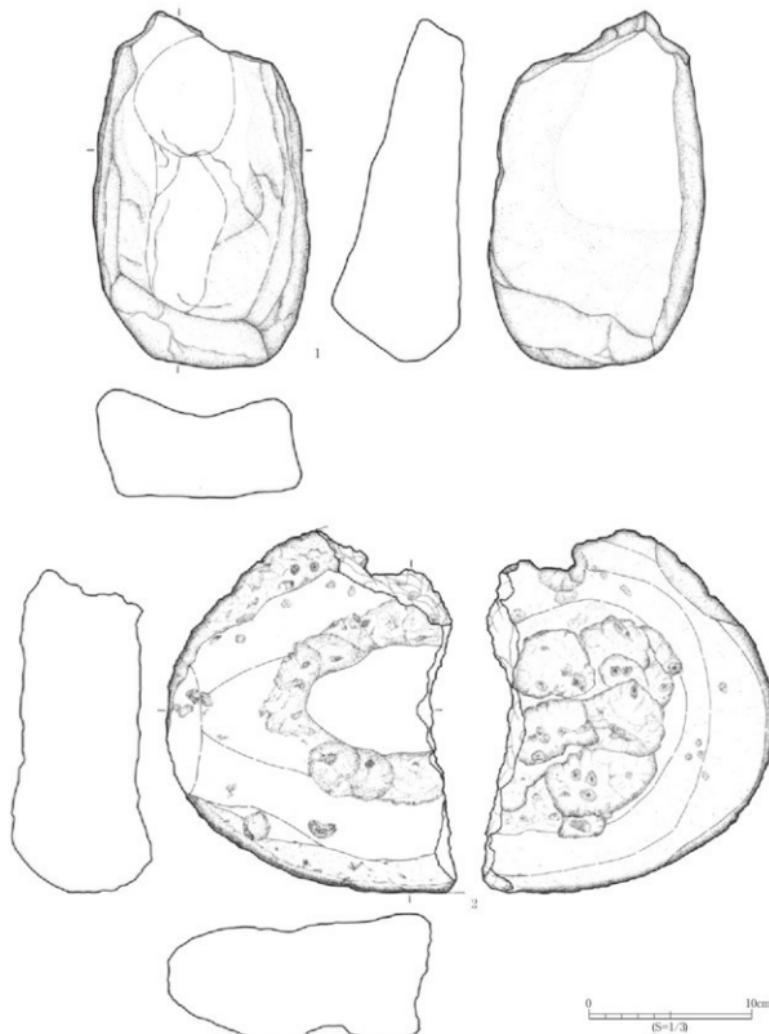
【埋土】 炭化物粒をやや多く含む黒褐色シルトである。

【遺物集積の状況】 石皿4点を立てて並べた状態で集積（埋納）されている。

【出土遺物】 埋納されているものは石皿4点であるが、うち2点が接合するため3個体分である（第51図、第52図1）。他に埋土から石皿2点、磨石1点（第52図2）、工字文と変形工字文の施された鉢（同図3）や、π字文の施された浅鉢（同図4）、円盤状土製品（同図5）が出土している。



第50図 SX50集石遺構 平面図・断面図



No.	種類	器種	石材	長(mm)	幅(mm)	最大厚(mm)	重量(g)	刃磨度	残存	被熱	加热處理	変形	自然面	付着物	備考	写真図版	登録
1	磨石器	石器	安山岩	2160	1300	840	2030.00	0.7	元形	0	0	0	1	0	71-1	SX50-3	
2	磨石器	石器	安山岩	2150	1610	760	2510.00	0.8	微欠	0	0	0	1	0	70-4	SX50-5	

第51図 SX50集石遺構 出土遺物（1）



No.	種別	器種	石材	長(mm)	幅(mm)	最大厚(mm)	重量(g)	円周度	残存	被熱	加热処理	変形	自然面	付着物	参考	写真図版	登録
1	理石器	石鏡	凝灰岩	160.0	245.0	48.1	2380.00	0.6	一部欠	0	0	0	1	0	2+3+6	79-3	SX50-2
2	理石器	磨石	ダイサイト	79.6	78.3	43.7	337.70	0.8	一部欠	0	0	1	0		71-2	SX50-4	

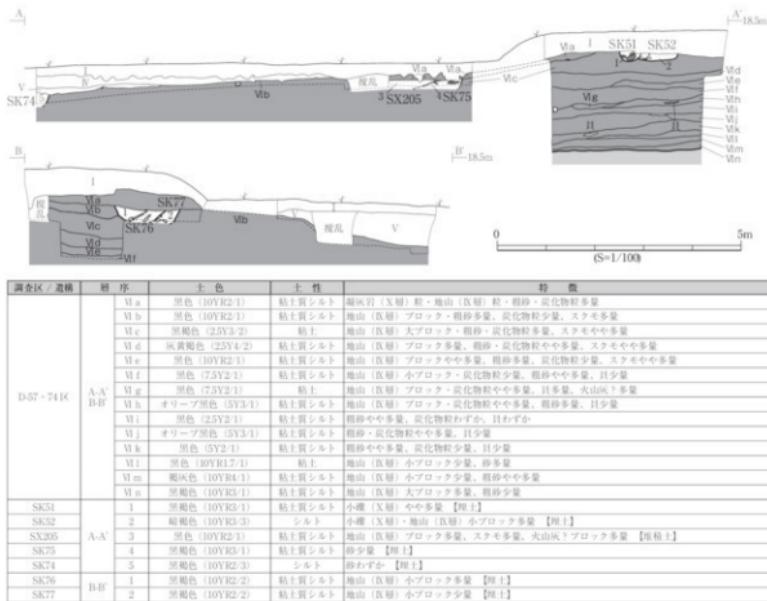
No.	器種	断面1	断面2	大別名	区・道種・明	特徴	写真図版	登録
3	鉢	Ale	X + X1	-	D-56 東・SX50 / 球土	平縁 + 1回周部沈面。洗面文、丁字文 + 钩类型。卷形丁字文。口縁部内面平行洗面文	71-3	Po620
4	浅鉢	Ale	B a	-	D-56 東・SX50 / 球土	平縁 + 1回周部沈面。E字文、洗面文。碗文七分	71-4	Po619

No.	器種	大別名	区・道種・明	特徴	写真図版	登録
5	門限状工具品	造形	D-56 東・SX50 / 地	長さ 280mm、幅 274mm、厚さ 70mm。鏡文 LR。洪都→鏡背	71-5	COR18

第52図 SX50集石遺構 出土遺物 (2)



第53图 D-56·57·74·75区 平面图



第54図 D-57・74区 断面図

(3) 土坑墓

ヒトを埋葬した土坑墓は、D-56区で6基、D-57区で12基、D-74区で9基の計27基を検出した。保存のため、27基中23基については検出のみにとどめた。また、検出状況を記録した後は地表面に露出した遺物（人骨や土器）を取り上げるのみにとどめ、埋め戻した。なお、SK44は完掘し、SK46・53・60は土壤ごと切り取りを行った。

【SK44土坑墓】

【位置】 D-56区東側（第53・55図）

【検出面】 VIb層（南2A層群）

【重複】 なし。

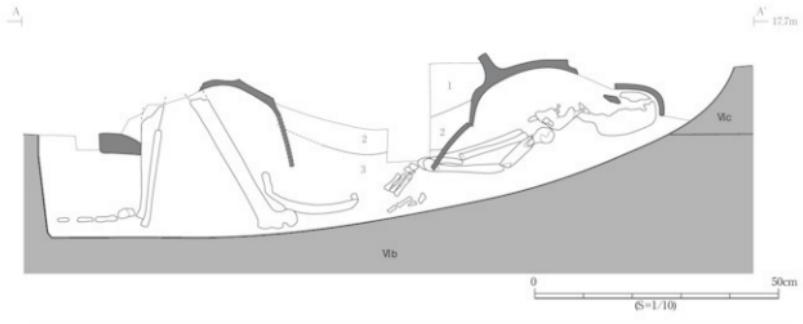
【規模】 長径133cm×短径55cmの長楕円形で、残存する深さが32cmある。

【壁・底面】 底面はほぼ平坦で、頭部側が緩やかに立ち上がり、脚部側が急に立ち上がる。断面は皿形～逆台形を呈する。

【埋土】 3層確認し、下部はⅣ層起源の地山粒を少量含む緑黒色砂質シルト、上部は地山ブロックを多く含む黒色や黒褐色を呈する粘土質シルトである（第56図）。



第55図 SK44土坑墓 平面図（上：検出時 下：埋設土器取り上げ後）



第56図 SK44土坑墓 断面図

【埋葬遺体】成年～熟年の男性が1体埋葬されている。頭部は北東に位置し、東で36°北に偏する。体幹骨は北東から南西に並ぶ。仰臥屈葬位で、上肢の左腕は胸部に手を当てるかたちで強く屈曲し、右腕は腹部に手を当てるかたちで屈曲している。下肢は左右両腕を揃えて膝を立てるかたちで屈曲する。胸部付近ではわずかに、足先では広範囲に赤色顔料が残存している。なお、埋葬骨の詳細については分析編第1章を参照のこと。

【埋設土器】頭部から胸部にかけて上下対向のπ字文が施された四脚付鉢（第57図1）、脚部にπ字文の施された鉢（第57図2）が伏せた状態で埋設されている（第55・56図）。

【出土遺物】羊歯状の突起をもつ深鉢（第58図1）や、円盤状土製品（同図2）、石錘（同図3）、石皿、磨石、石棒、剥片などが出土している。

【SK46土坑墓】

【位置】D-56区東側（第53・59図）

【検出面】Vib層（南2A層群）

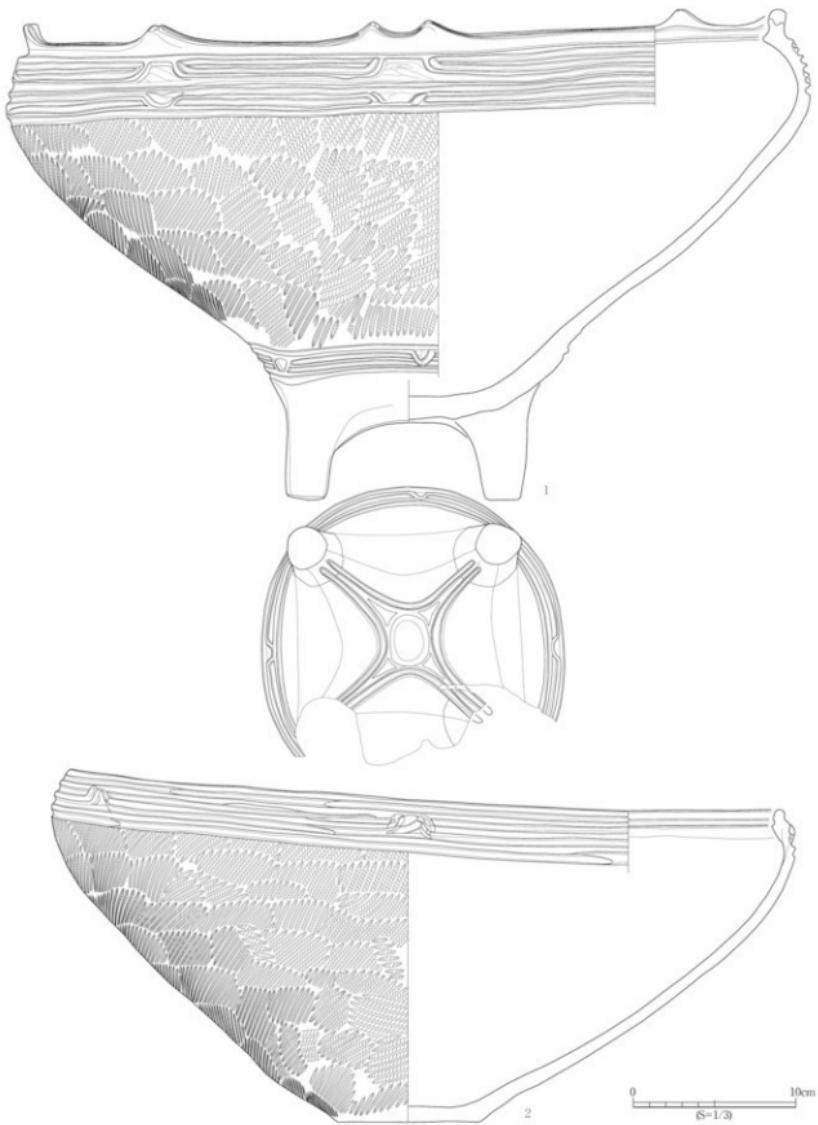
【重複】なし。

【規模】長径75cm×短径66cmの円形で、残存する深さが25cmある。

【壁・底面】底面は緩やかにくぼみ、壁は緩やかに立ち上がる。断面形は皿形である。

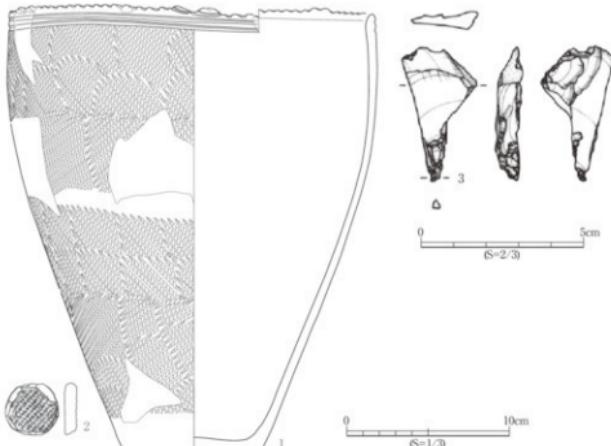
【埋土】4層確認し、下部はⅣ層起源の地山ブロックを多く含む黒青色や暗青灰色を呈する粘土質シルト、上部は地山ブロックをやや多く含む黒色やぶい黄褐色を呈する粘土質シルトである（第59図）。

【埋葬遺体】未成人が1体埋葬されている。土坑の北側に埋葬され、頭部は東に位置し、東で24°北に偏する。体幹骨は東から西に並ぶ。仰臥屈葬位で、上肢の左右両腕は胸部の前で交差させるかたちで強く屈曲している。下肢は左右両腕を揃えて膝を立てるかたちで体幹の右側に強く屈曲する。上肢の右腕の手首付近に赤色顔料が残存している。埋葬骨の詳細については分析編第1章を参照のこと。



No.	器種	類型1	類型2	区・造様・肩	特徴	写真図版	Q版
1	西脚付鉢	B1ee	K-a	D-56 東・SK44 / 埋設土器	口径 44.0cm、器高 28.5cm、底径 19.0cm。平縁 + 一側 口の山形突起 4 単位 + 山形突起 (底部削み) 4 単位 + 突起間沈溝 + 口沿部沈溝。π字文 (上下対向) 8 単位。底部付近に π字文 (逆さ表現) 8 単位。底部に彫り合った跡を軽く風呂状に彫文。調文上部。外周系縫	72-1	Po807
2	鉢	A1	K-a	D-56 東・SK44 / 埋設土器	口径 42.1cm、器高 20.8cm、底径 8.5cm。平縁。π字文 6 単位、沈溝文。底部くざき。調文 LR。口縁部内面沈溝、外周小切	72-2	Po808

第57図 SK44土坑墓 埋設土器



No.	器種	類型1	類型2	区・遺構／層	特徴	写真図版	登録
1	深鉢	A2f	XII x VII c + VII b + VIII b	D-56 東・SK44 / 地上・D-56 東	口径 22.3cm、底径 27.3cm、底深 8.6cm。薄底縁 + 一個の突起(下歯状)。平行汎文。底部付近にガリによる無文部。底辺丸ぎり。副底縁文 LR。LR 未端部強調	73-1	Pv772
2	円盤状土製品	D-56 東・SK44 / 地上		長 331.4mm、幅 31.5mm、厚さ 7.4mm。汎文 LR。剥離→焼成		73-2	CO809
3	石器	III	D-56 東・SK44 / 2	日賀百引 B	41.1 22.9 5.21 完形 0 1 0 1 0	73-3	S3763

第58図 SK44土坑墓 出土遺物

【埋設土器】なし。

【出土遺物】雲形文の施された皿(第60図3)や、π字文の施された深鉢(同図4)、円盤状土製品(同図5・6)、不定形石器、独鉛石(同図7)、剥片などが出土している。独鉛石はほぼ完形品であり、土坑の南東側に位置し埋葬遺体からやや離れているが、副葬品の可能性が考えられる。

【SK47土坑墓】

【位置】 D-56区東側 (第53・61図)

【検出面】 VIIb層 (南2A層群)

【重複】なし。

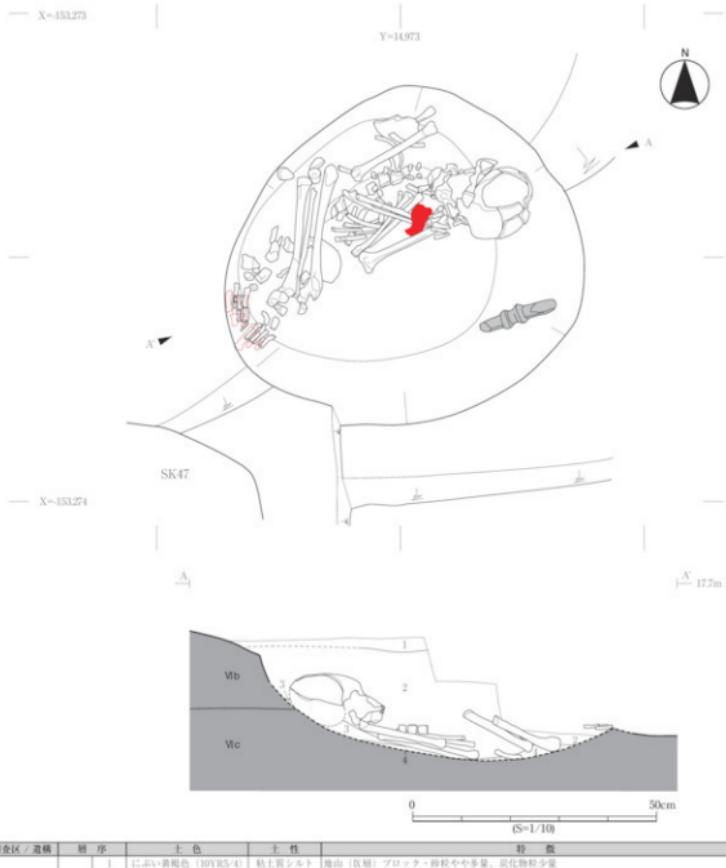
【規模】長径128cm×短径67cmの長楕円形で、残存する深さが26cmある。

【壁・底面】底面はほぼ平坦と推定され、壁は急に立ち上がる。断面形は逆台形である。

【埋土】1層確認し、X層起源の小砾や軽石を多く含む黒褐色粘土質シルトである(第62図)。

【埋葬遺体】遺構確認のみに止めたため、埋葬骨は確認できなかった。埋設土器が北東に位置していることから、頭部が北東に位置すると推定される。土坑の長軸は東で41°北に偏する。

【埋設土器】上下対向のπ字文が施され、方形突起に円盤状飾りの付く四脚付鉢(第63図1)が伏せた状態で埋設されている。



第59図 SK46土坑墓 平面図・断面図

〔出土遺物〕 繩文土器が出土している。

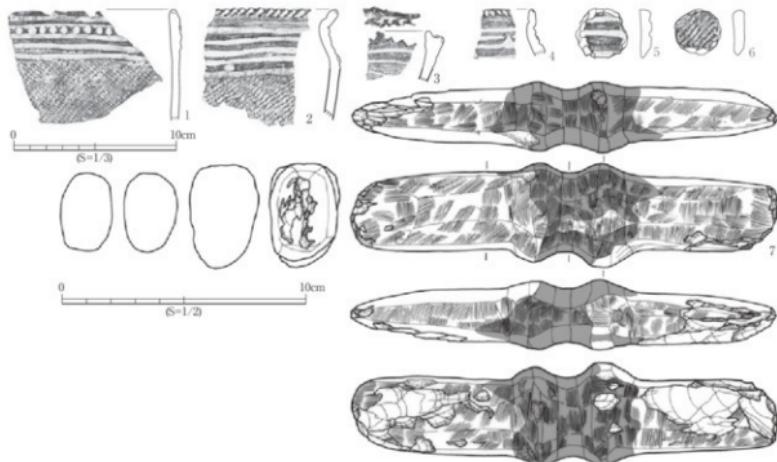
【SK48土坑墓】

〔位置〕 D-56区東側（第53・61図）

〔検出面〕 Vlb層（南2A層群）

〔重複〕 なし。

〔規模〕 長径125cm×短径55cmの長楕円形で、残存する深さが17cmある。



No.	器種	形態1	形態2	区・造構／層	特徴	写真図版	日誌										
1	深鉢	A1d	X II b	D-56東・SK46／附土	平縁+ヘラ剥目。平行沈縫文・網突回。平行沈縫文。純文LR	742	P0810										
2	深鉢	A1ed	X II c	D-56東・SK46／附土	平縁+ヘラ剥目+口縁部沈縫。平行沈縫文・網回。純文L	743	P0811										
3	瓶	A1bdf	質	D-56東・SK46／2	平縁+ヘラ剥目+山形突起。波状浮縫文。平行沈縫文。芸形支(崩り消し純文)。純文LR	744	P0814										
4	深鉢か	A1d	N.a	D-56東・SK46／附土	平縁+ヘラ剥目。π字文。沈縫文。口縁部内部沈縫	745	P0812										
No.	器種	区・造構／層	特徴	写真図版	日誌												
5	円錐底土製品	D-56東・SK46／2-3	長さ290mm、幅304mm、厚さ6.8mm。平行沈縫文。渦縫	746	C0815												
6	円錐底土製品	D-56東・SK46／附土	長さ270mm、幅266mm、厚さ6.8mm。純文LR。渦縫→一部研削	747	C0813												
No.	器種	形態	区・造構／層	石材	長(mm)	幅(mm)	最大厚(mm)	重量(g)	残存	麻熱	加熱焼青	変形	自然面	付着物	備考	写真図版	日誌
7	鉛鉢石	-	D-56東・SK46／附土	粘板岩	42.0	1756	26.0	204.68	元形	1	0	0	0	0	0	S300	

第60図 SK46土坑墓 出土遺物

【壁・底面】底面はほぼ平坦と推定され、壁は急に立ち上がる。断面形は逆台形である。

【埋土】1層確認し、X層起源の小礫や炭化物粒を多く含む黒褐色粘土質シルトである（第62図）。

【埋葬遺体】造構確認に止めたため、埋葬骨はほとんど確認できなかったが、大腿骨とみられる埋葬骨を検出している。仰臥屈葬位とみられ、下肢は膝を立てるかたちで屈曲する。埋設土器が北東に位置していることから、頭部が北東に位置すると推定される。土坑の長軸は北で38°東に偏する。

【埋設土器】π字文の施された鉢（第63図2）が伏せた状態で埋設されている。

【出土遺物】剥片が出土している。

【SK49土坑墓】

【位置】D-56区東側（第53・61図）

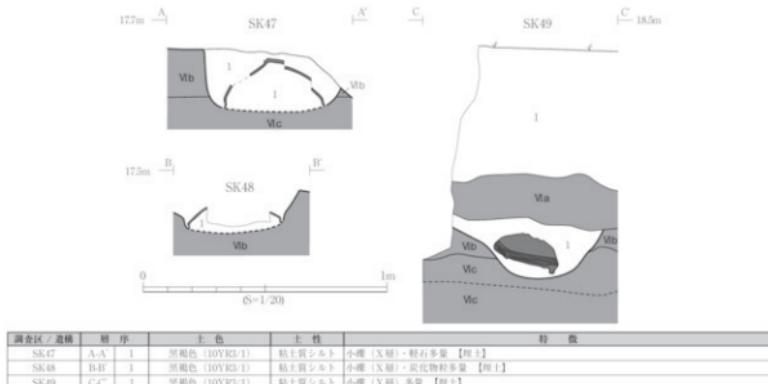
【造構掘込面】VIb層（南2A層群）

【重複】なし。

【規模】断面での検出のため不明であるが、残存する幅が57cm、深さが25cmある。



第61図 SK44・46・47・48・49土坑墓、SX50集石遺構 平面図



第62図 SK47・48・49土坑墓 断面図

【壁・底面】底面は緩やかにくぼみ、壁は緩やかに立ち上がる。断面形は逆台形である。

【埋土】1層確認し、X層起源の小礫を多く含む黒褐色粘土質シルトである（第62図）。

【埋葬遺体】断面での検出のため不明である。

【埋設土器】π字文の施された鉢が伏せた状態で埋設されている（第62図）。埋設土器は取り上げていない。

【出土遺物】出土していない。

【SK51土坑墓】

【位置】D-57区西側（第53・64図）

【検出面】Vlc層（南3層群）

【重複】SK52土坑墓と重複し、これより新しい。

【規模】断面での検出のため不明であるが、残存する幅が38cm、深さが22cmある。

【壁・底面】底面はほぼ平坦で、壁は急に立ち上がる。断面形は逆台形である。

【埋土】1層確認し、X層起源の小礫をやや多く含む黒褐色粘土質シルトである（第54図）。

【埋葬遺体】断面での検出のため不明である。

【埋設土器】π字文の施された鉢（第65図1）が伏せた状態で埋設されている（第54図）。

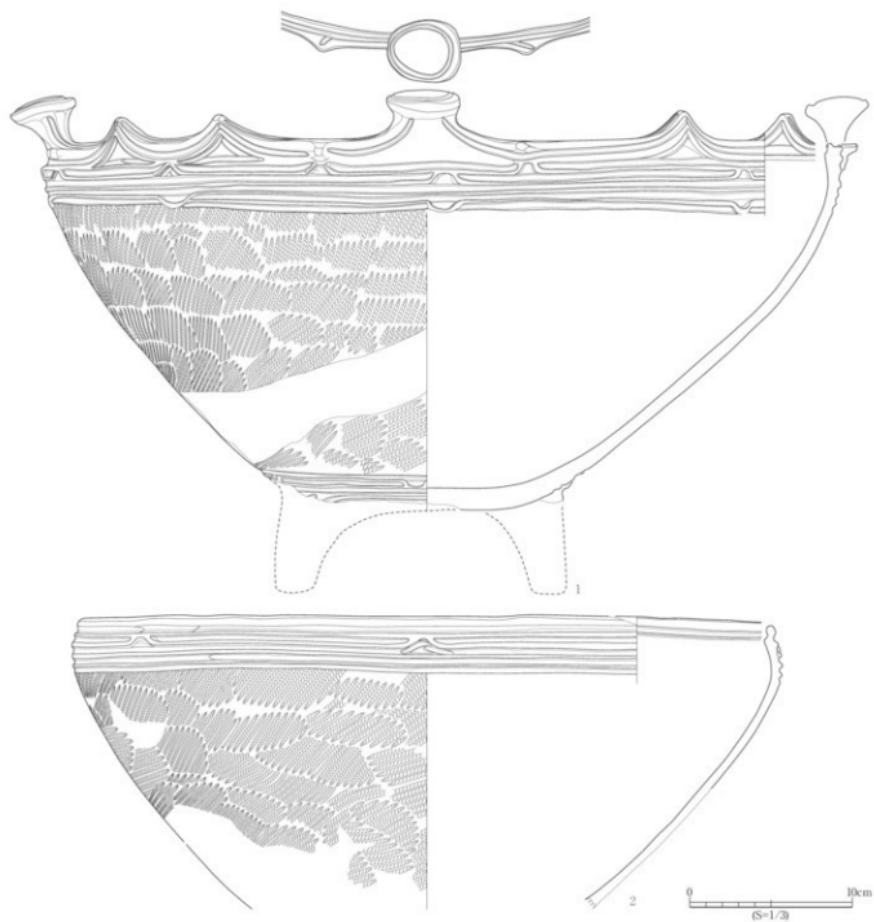
【出土遺物】出土していない。

【SK52土坑墓】

【位置】D-56区東側、D-57区西側（第53・64図）

【検出面】Vlb層（南2A層群）

【重複】SK51土坑墓と重複し、これよりも古い。



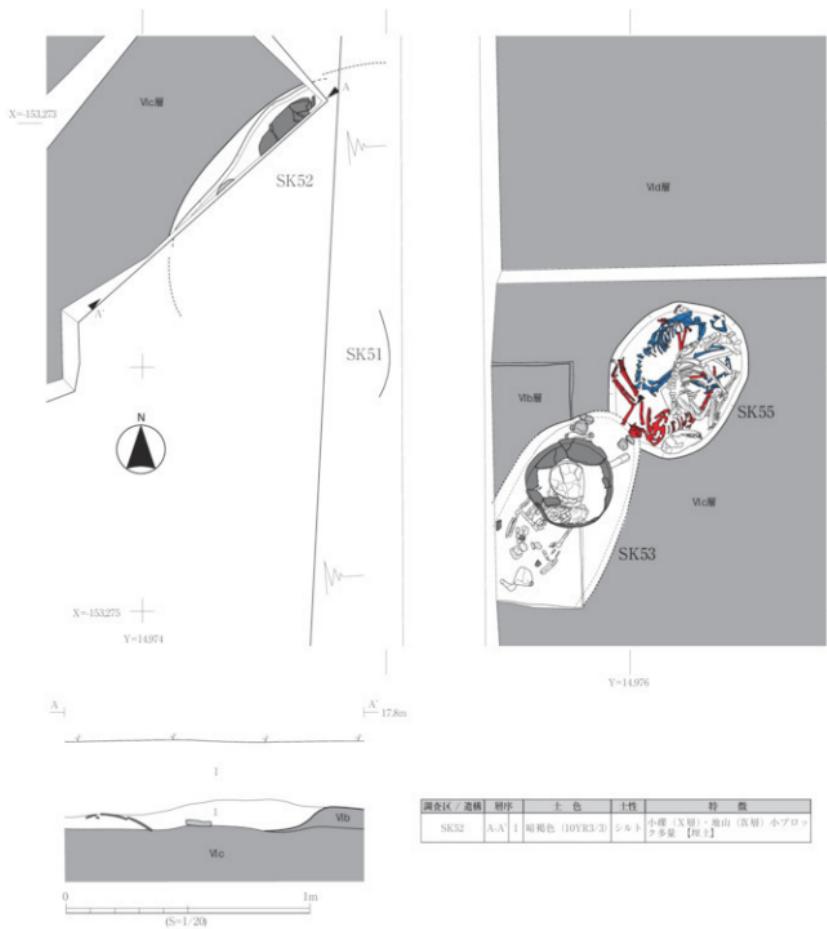
No.	基 標	型別 1	型別 2	区・造構 / 組	特 質	写真図版	Q版
1	四脚付鉢	Ale	B.a	D-56 東・SK47 / 斜設土器	口径 48.5cm、底径 (15.5cm)、平縁 + 方形容れ (内側底盛り) の両面に山形突起 4 単位 + 二箇所の山形突起 4 単位、二角形沈窓文、#字文 1 単位 + 下凹向 1 単位 + #字文 8 単位、底部付近に #字文 (迷き表現) 8 単位、鷹文 (Jy)、空軋・口縁部内部沈窓、外側水割	71-6	Po836
2	鉢	A1	B.a	D-56 東・SK48 / 斜設土器	口径 42.5cm、平縁、#字文 7 単位、平行沈窓文、圓文 LR、口縁部内部沈窓、外面赤彩	73-4	Po837

第63図 SK47・48土坑墓 出土遺物

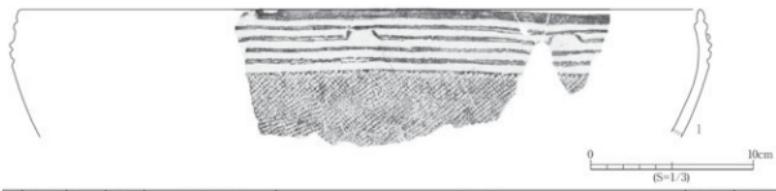
〔規模〕 造構確認に止めたため規模は不明であるが、残存する長さ108cm×幅19cmの楕円形で、深さが18cmある。

〔壁・底面〕 底面はほぼ平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。断面形は浅い皿形である。

〔埋土〕 1層確認し、X層起源の小礫やIX層起源の地山ブロックを多く含む暗褐色シルトである（第64図）。



第64図 SK51・52・53・55土坑墓 平面図・断面図



No	器種	形型1	形型2	区・棚構 / 附	特徴	写真図版	登録
1	甕	A1	B.a	D-57 西・SK51 / 陶器上部	口径 (42.0cm)、平底、π字文、平行汎施文、筒文上R、口縁部内面波線	74.10	P008

第65図 SK51土坑墓 出土遺物

【埋葬遺体】 D-57区西の西壁断面で人骨とみられる骨片を検出した。部位は不明である。

【埋設土器】 π字文とみられる文様が施された鉢が伏せた状態で埋設されている（第64図）。埋設土器は取り上げていない。

【出土遺物】 出土していない。

【SK53土坑墓】

【位置】 D-57区西側（第53・66図）

【検出面】 VIb層（南2A層群）

【重複】 SK55埋葬犬骨と重複し、これより新しい。

【規模】 長径91cm以上×幅53cm以上の長楕円形で、残存する深さが20cmある。

【壁・底面】 底面はほぼ平坦で、壁は急に立ち上がる。断面形は箱形である。

【埋土】 1層確認し、X層起源の小礫や炭化物粒を多く含む黒褐色粘土質シルトである（第66図）。

【埋葬遺体】 未成人の男性が1体埋葬されている。頭部は北東に位置し、東で43°北に偏する。体幹骨は北東から南西に並ぶ。仰臥屈葬位である。埋葬骨の遺存状態がきわめて不良であり、胸部付近や下半身は攪乱により壊されているため、上肢および下肢の姿勢は不明である。なお、埋葬骨の詳細については分析編第1章を参照のこと。

【埋設土器】 頭部から胸部にかけてπ字文の施された鉢（第67図1）が伏せた状態で埋設されている。

【出土遺物】 不定形石器や石皿、磨石（第67図2）、剥片などが出土している。

【SK54土坑墓】

【位置】 D-57区西側（第53・68図）

【検出面】 VIa層（南1層群）

【重複】 なし。

【規模】 長径141cm×短径61cmの平面長楕円形を呈する。遺構確認に止めたため深さは不明である。

【壁・底面】 遺構確認に止めたため不明である。

【埋土】 遺構確認面で、X層起源の小礫を多く含み炭化物粒を少量含む黒褐色シルトを確認した。

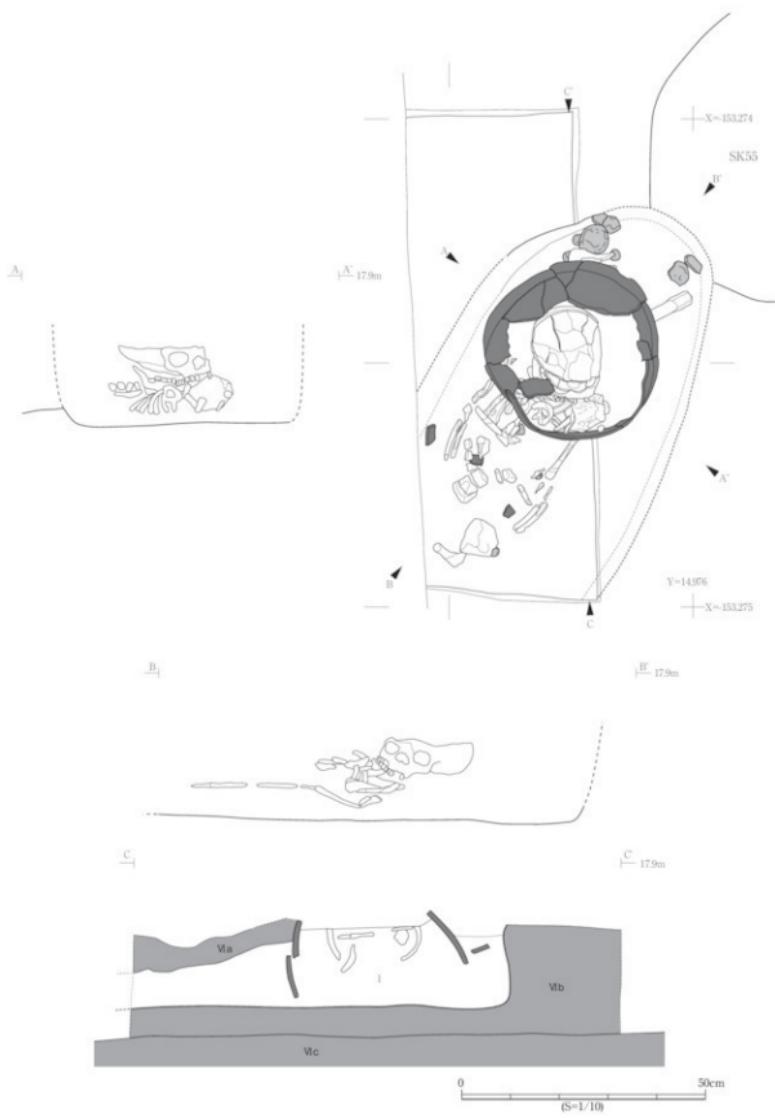
【埋葬遺体】 遺構確認面で、ヒトの肋骨と肩甲骨？、上腕骨？、尺骨・桡骨？、大腿骨、脛骨？を検出した。頭部は削平により失われているが、上肢や下肢骨の位置から西に位置すると推定される。右下側臥屈葬位とみられ、上肢は肘を曲げるかたちで強く屈曲し、下肢は膝を曲げるかたちで強く屈曲している。土坑の長軸は東で8°北に偏する。

【埋設土器】 なし。

【出土遺物】 雲形文の施された浅鉢（第68図1）や深鉢（同図2）、磨石などが出土している。

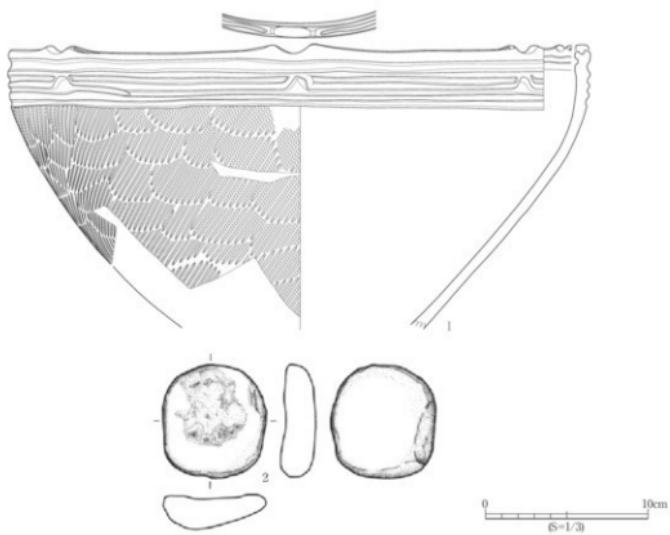
【SK56土坑墓】

【位置】 D-57区東側（第53・69図）

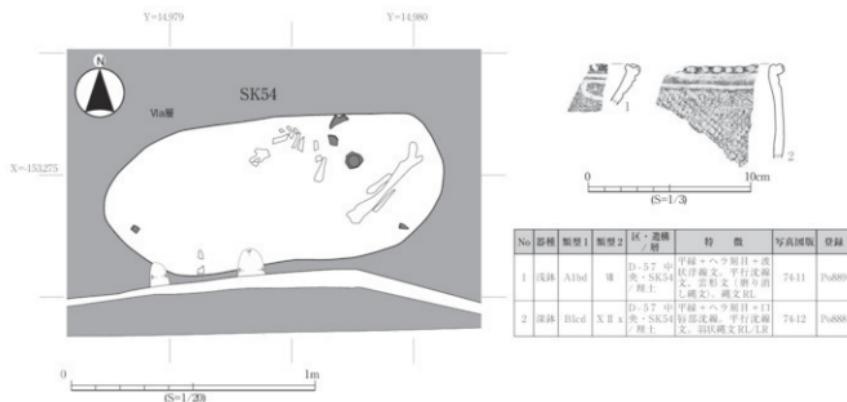


調查区 / 通稱	順序	土色	土性	特徵
SK53	A-A'	1 黑褐色 (10YR3/1)	粘土質シルト	小鹿 (兎型)・炭化物粒多量【H】

第66図 SK53土坑墓 平面図・断面図



第67図 SK53土坑墓 出土遺物



第68図 SK54土坑墓 平面図、出土遺物

〔検出面〕 VIa層（南1層群）

〔重複〕 SK57土坑墓と重複し、これより新しい。

〔規模〕 長径110cm×短径78cmの平面楕円形を呈する。遺構確認に止めたため深さは不明である。

〔壁・底面〕 遺構確認に止めたため不明である。

〔埋土〕 遺構確認面で、X層起源の小礫をやや多く含み炭化物粒をわずかに含む黒褐色砂質シルトを確認した。

〔埋葬遺体〕 遺構確認面で、ヒトの頭蓋骨と下頬骨、肩甲骨、寛骨、大腿骨を検出した。頭部は西に位置する。仰臥屈葬位とみられ、下肢は体幹の右（南）に位置し、膝を曲げるかたちで強く屈曲する。土坑の長軸は東で23°北に偏する。

〔埋設土器〕 なし。

〔出土遺物〕 繩文土器が出土している。

【SK57土坑墓】

〔位置〕 D-57区東側（第53・69図）

〔検出面〕 VIa層（南1層群）

〔重複〕 SK56・58土坑墓とそれぞれ重複し、これらよりも古い。

〔規模〕 長軸128cm×短軸61cm以上で平面隅丸長方形を呈する。遺構確認に止めたため深さは不明である。

〔壁・底面〕 遺構確認に止めたため不明である。

〔埋土〕 遺構確認面で、X層起源の小礫を多く含み炭化物粒を少量含む黒褐色シルトを確認した。

〔埋葬遺体〕 遺構確認面で、ヒトの肋骨と上腕骨？、脛骨？を検出した。上下肢骨の出土位置から頭部は西に位置するとみられる。埋葬姿勢は不明である。土坑の長軸は東で8°北に偏する。

〔埋設土器〕 なし。

〔出土遺物〕 雲形文の施された皿（第70図1）や鉢（同図2・3）などが出土している。

【SK58土坑墓】

〔位置〕 D-57区東側（第53・69図）

〔検出面〕 VIa層（南1層群）

〔重複〕 SK57土坑墓と重複し、これより新しい。

〔規模〕 長軸111cm×短軸66cmの平面隅丸長方形を呈する。遺構確認に止めたため深さは不明である。

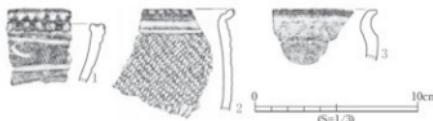
〔壁・底面〕 遺構確認に止めたため不明である。

〔埋土〕 遺構確認面で、X層起源の小礫を多く含む黒褐色砂質シルトを確認した。

〔埋葬遺体〕 遺構確認面で、ヒトの頭蓋骨と下頬骨、歯、椎骨、肋骨、上腕骨、尺骨？、桡骨？、大腿骨？、脛骨？を検出した。頭部は東に位置し、東で10°北に偏する。体幹骨が東から西へ並ぶ。仰臥屈葬位で、



第69図 SK56・57・58・59土坑墓 平面図



No.	器種	類型I	類型II	区・道場／割	特徴	写真図版	登録
1	器	AId	VII	D-57中央・SK57／埋上	平縞+△縦目。平行沈縞文。芸形文(乗り消し文)。純文回。	74-13	Pu691
2	器	Bled	X II x	D-57中央・SK57／埋上	平縞+△縦目+口沿部沈縞。平行沈縞文。羽状純文逆L/R	74-14	Pu690
3	器	BI	X V	D-57中央・SK57／埋上	平縞	74-15	Pu692

第70図 SK57土坑墓 出土遺物

右上肢は腹部に手を当てるかたちで屈曲している。下肢は膝を立てるかたちで屈曲するとみられる。

【埋設土器】なし。

【出土遺物】出土していない。

【SK59土坑墓】

【位置】 D-57区東側（第53・69図）

【検出面】 VIa層（南1層群）

【重複】 なし。

【規模】 長径103cm×短径61cmの平面長楕円形を呈する。遺構確認に止めたため深さは不明である。

【壁・底面】 遺構確認に止めたため不明である。

【埋土】 遺構確認面で、X層起源の小礫を多く含む黒褐色砂質シルトを確認した。

【埋葬遺体】 遺構確認面で、ヒトの頭蓋骨、上腕骨、尺骨・桡骨を検出した。頭部は南西に位置する。上肢は胸部に手を当てるようなかたちで強く屈曲するとみられる。下半身は不明である。土坑の長軸は北で32°東に偏する。

【埋設土器】 なし。

【出土遺物】 出土していない。

【SK60土坑墓】

【位置】 D-57区東側（第53・71図）

【検出面】 VIa層（南1層群）

【重複】 なし。

【規模】 長径127cm×短径71cmの長楕円形で、残存する深さが15cmある。

【壁・底面】 底面はほぼ平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。断面形は浅い皿形である。

【埋土】 1層確認し、X層起源の小礫やⅤ層起源のブロック、炭化物粒をやや多く含む黒褐色粘土質シルトである（第71図）。

【埋葬遺体】 成年の男性とみられる遺体が1体埋葬されている。頭部は西に位置し、東で18°北に偏する。体幹骨は西から東に並ぶ。仰臥屈葬位で、上肢の左右両肢は胸部に手を当てるかたちで強く屈曲している。下肢は左右両股を揃えて膝を立てるかたちで強く屈曲する。なお、埋葬骨の詳細については分析編第1章を参照のこと。

【埋設土器】 なし。

【出土遺物】 雲形文の施された鉢（第71図2）や注口土器（同図1）、深鉢（同図3・4）、石錐（同図5）、不定形石器（同図6・7）、磨石、凹石（同図8）、剥片などが出土している。

【SK61土坑墓】

【位置】 D-57区東側（第53・72図）

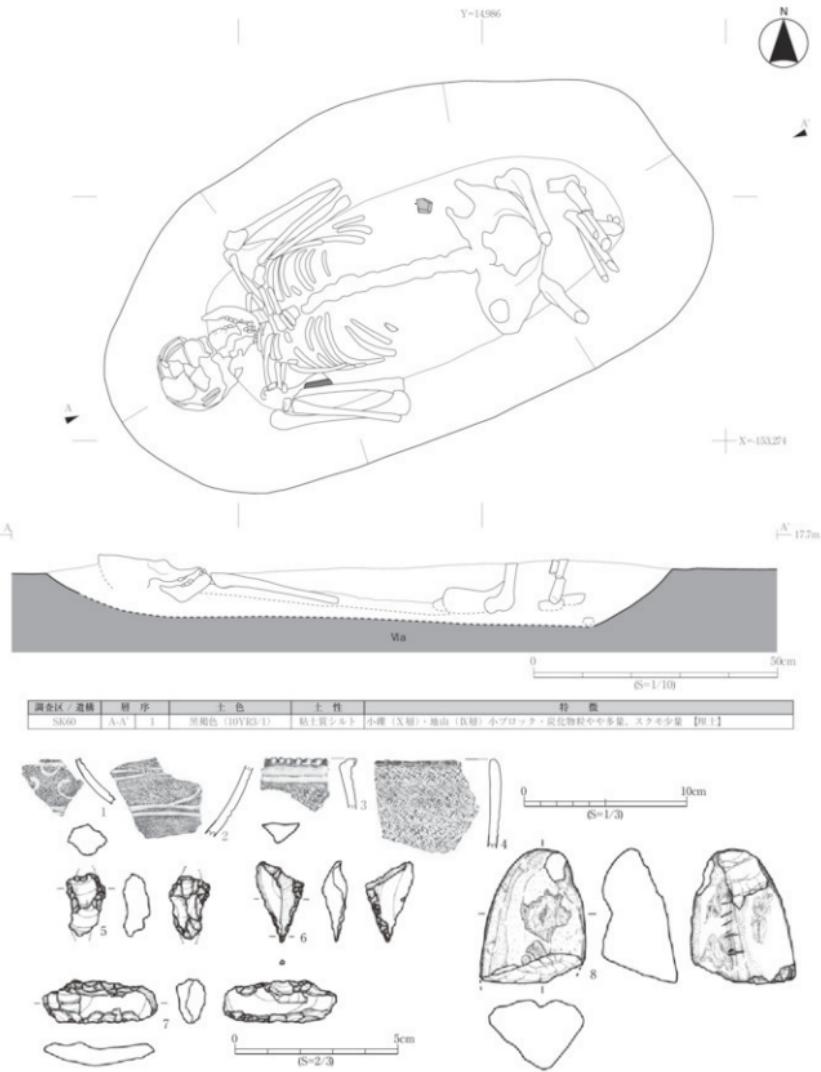
【検出面】 VIa層（南1層群）

【重複】 なし。

【規模】 長径114cm×短径58cmの平面長楕円形を呈する。遺構確認に止めたため深さは不明である。

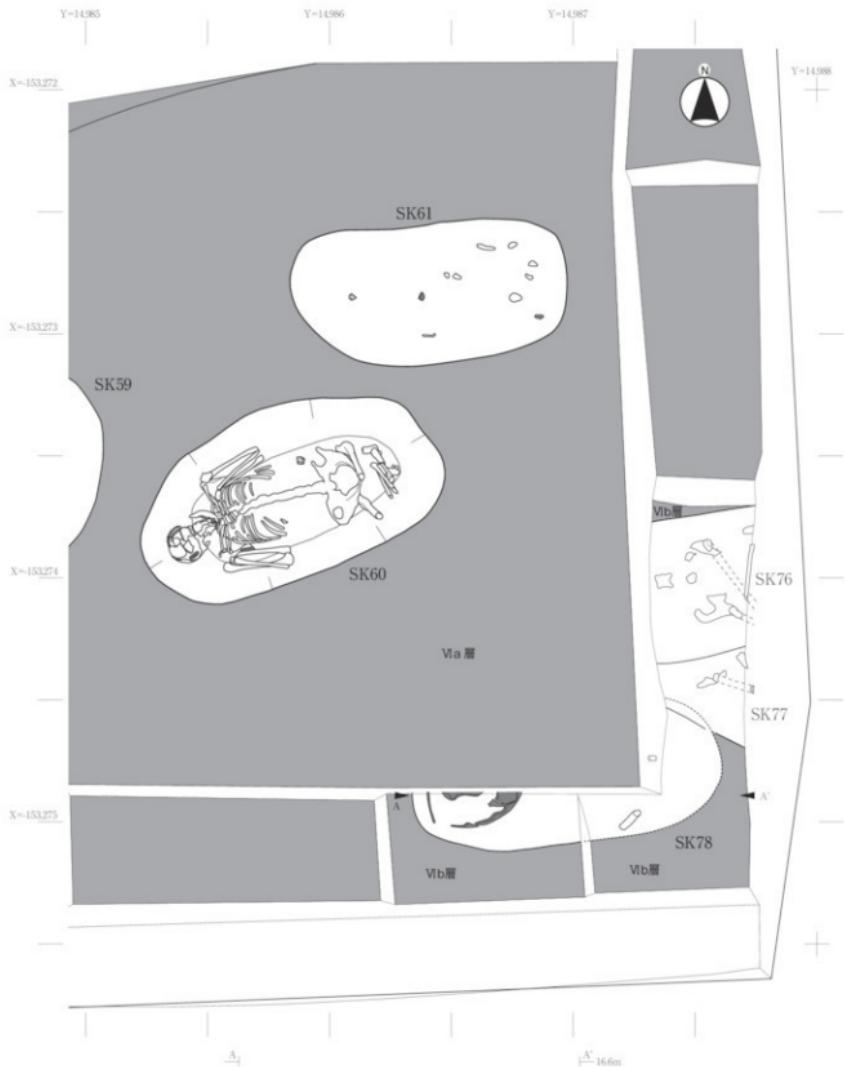
【壁・底面】 遺構確認に止めたため不明である。

【埋土】 遺構確認面で、X層起源の小礫をやや多く含む黒褐色シルトを確認した。



No.	器種	形態1	形態2	区・遺構・層	石材	長(mm)	幅(mm)	最大厚(mm)	重量(g)	残存	軋熱	加热処理	変形	自然面	付着物	備考	写真図版	登録
1	江口土器	-	鉢	D-57 東・SK60 / 球上	玄武岩(拂り消し鏡文)	18.6	11.1	8.2	141	済部	0	2	0	0	0	74.16	Po682	
2	鉢	-	鉢	D-57 東・SK60 / 球上	玄武岩(拂り消し鏡文)	18.6	11.1	8.2	141	済部	0	2	0	0	0	74.17	Po683	
3	深鉢	B1cd	X II x	D-57 東・SK60 / 球上	玄武岩	12.8	14.9	6.2	138	破片	0	0	1	0	0	74.18	Po680	
4	深鉢	A1	X IV a2	D-57 東・SK60 / 球上	玄武岩	12.8	14.9	6.8	338	完形	0	0	0	1	0	74.19	Po679	
No.	器種	形態1	形態2	区・遺構・層	石材	長(mm)	幅(mm)	最大厚(mm)	重量(g)	残存	軋熱	加热処理	変形	自然面	付着物	備考	写真図版	登録
5	石器	-	-	D-57 東・SK60 / 球上	玄武岩(A)	18.6	11.1	8.2	141	済部	0	2	0	0	0	74.20	S4196	
6	不定形石器	B1 d	-	D-57 東・SK60 / 球上	玄武岩(A)	24.1	14.9	6.2	138	破片	0	0	1	0	0	74.21	S4210	
7	不定形石器	B1 c	-	D-57 東・SK60 / 球上	玄武岩(A)	12.8	14.9	6.8	338	完形	0	0	0	1	0	74.22	S4197	
8	凹石	-	-	D-57 東・SK60 / 球上	凝灰岩	83.0	62.0	47.1	21970	一部欠	0	0	0	0	0	74.23	S4177	

第71図 SK60土坑墓 平面図、断面図、出土遺物



調査区/遺構	順序	上色	上性	特徴
SK78	A-A'	1	黒褐色 (10YR3/3)	粘土質シルト 砂中量、炭化物粒少量【灰土】

第72図 SK60・61・76・77・78土坑墓 平面図・断面図

【埋葬遺体】 遺構確認面で、ヒトの椎骨？、上腕骨？、寛骨、大腿骨、脛骨を検出した。上下肢骨の位置から頭部は西に位置するとみられる。仰臥屈葬位とみられる。土坑の長軸は東で2°北に偏する。

【埋設土器】 なし。

【出土遺物】 出土していない。

【SK76土坑墓】

【位置】 D-57区東側（第53・72図）

【遺構掘込面】 VIb層（南2A層群）

【重複】 SK77土坑墓と重複し、これより新しい。

【規模】 長軸44cm以上×短軸58cm、残存する深さが34cm以上ある。排水溝底面での遺構確認に止めたため平面形は不明である。

【壁・底面】 遺構確認に止めたため底面は不明である。壁はやや緩やかに立ち上がる。断面形は逆台形とみられる。

【埋土】 調査区断面で1層確認し、IX層起源の地山ブロック多く含む黒褐色粘土質シルトである（第54図）。

【埋葬遺体】 遺構確認面で、ヒトの椎骨、寛骨、大腿骨、脛骨、趾骨？を検出した。体幹骨や下肢骨の位置から頭部は西に位置するとみられ、体幹骨は西から東に並ぶ。仰臥屈葬位で、下肢は体幹のやや右（南）に位置し、膝を立てるかたちで強く屈曲する。上半身は不明である。

【埋設土器】 頭部付近を検出していないため、不明である。

【出土遺物】 出土していない。

【SK77土坑墓】

【位置】 D-57区東側（第53・72図）

【遺構掘込面】 VIb層（南2A層群）

【重複】 SK76・78土坑墓とそれぞれ重複し、これらよりも古い。

【規模】 長軸41cm以上×短軸37cm以上で、残存する深さが25cm以上ある。排水溝底面での遺構確認に止めたため平面形は不明である。

【壁・底面】 遺構確認に止めたため底面は不明である。壁は急に立ち上がる。断面形は逆台形とみられる。

【埋土】 調査区断面で1層確認し、IX層起源の地山ブロック少量含む黒褐色粘土質シルトである（第54図）。

【埋葬遺体】 遺構確認面で、ヒトの寛骨や大腿骨、脛骨？を検出した。下肢骨の位置から頭部は西に位置するとみられる。下肢は体幹のやや右（南）に位置し、膝を立てるかたちで強く屈曲する。埋葬姿勢や上半身は不明である。

【埋設土器】 頭部付近を検出していないため、不明である。

【出土遺物】 繩文土器が出土している。

【SK78土坑墓】

【位置】 D-57区東側（第53・72図）

【遺構掘込面】 VIb層（南2A層群）

【重複】 SK77土坑墓と重複し、これより新しい。

【規模】 長径68cm以上×短径44cm以上の長楕円形とみられ、残存する深さが27cm以上ある。

【壁・底面】 遺構確認に止めたため底面および断面形は不明である。壁は急に立ち上がる。

【埋土】 調査区断面で1層確認し、砂や炭化物粒を含む黒褐色粘土質シルトである（第72図）。

【埋葬遺体】 遺構確認面で、ヒトの大腿骨と脛骨？を検出した。下肢骨および埋設土器の位置から頭部は西に位置するとみられる。仰臥屈葬位とみられ、下肢は膝を立てるかたちで屈曲する。上半身は不明である。

【埋設土器】 頭部から胸部にかけて鉢が伏せた状態で埋設されている（第72図）。埋設土器は取り上げていない。

【出土遺物】 出土していない。

【SK67土坑墓】

【位置】 D-74区東側（第53・73図）

【検出面】 VIb層（南2A層群）

【重複】 なし。

【規模】 長径117cm×短径57cmの長楕円形で、残存する深さが16cm以上ある。

【壁・底面】 遺構確認に止めたため不明である。

【埋土】 遺構確認面で1層確認し、X層起源の小砾やIX層起源の地山ブロックをやや多く含む黒色粘土質シルトである（第73図）。

【埋葬遺体】 遺構確認のみに止めたため、埋葬骨は確認できなかった。埋設土器が東に位置していることから、頭部が東に位置すると推定される。土坑の長軸は東で14°北に偏する。

【埋設土器】 π字文の施された鉢が伏せた状態で埋設されている（第73図）。埋設土器は取り上げていない。

【出土遺物】 工字文の施された壺（第73図1）などが出土している。

【SK68土坑墓】

【位置】 D-74区東側（第53・73図）

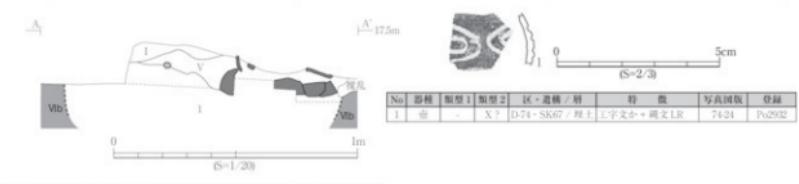
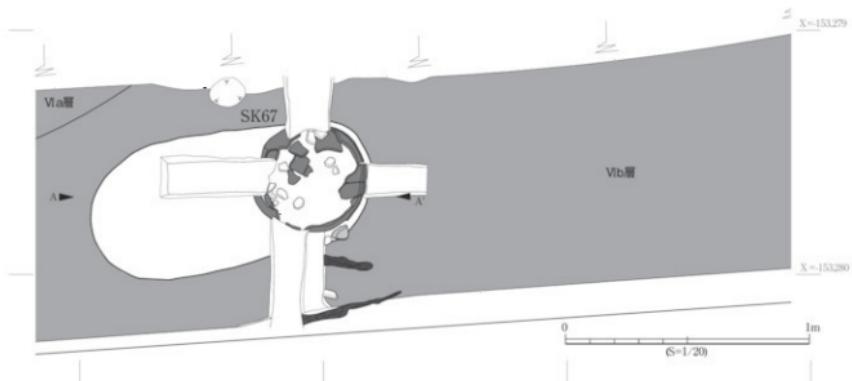
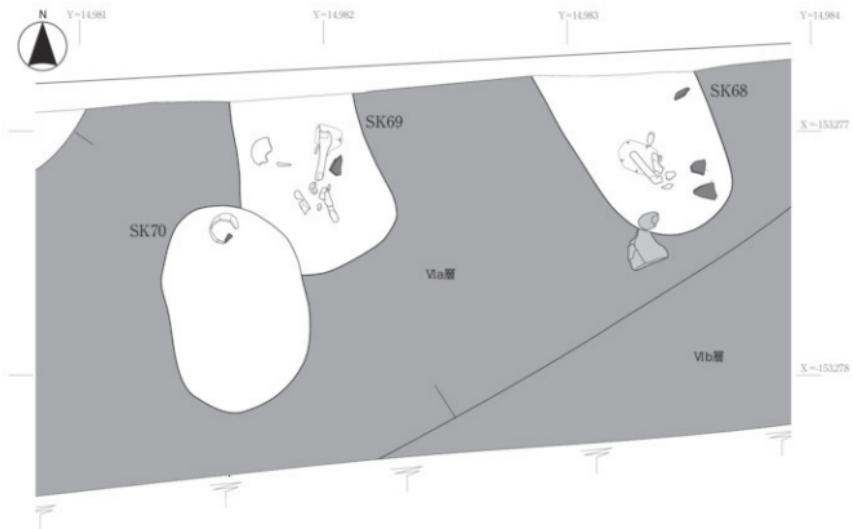
【検出面】 VIa層（南1層群）

【重複】 なし。

【規模】 長径89cm以上×短径59cm以上の平面長楕円形を呈する。遺構確認に止めたため深さは不明である。

【壁・底面】 遺構確認に止めたため不明である。

【埋土】 遺構確認面で、砂を少量含む黒褐色粘土質シルトを確認した。



No.	深幅	形状	形型1	形型2	区・遺構 / 墓	符 銘	写真図版	備註
1	中	-	X?	-	D-74・SK67・碑上	工字文小+闕文LR	74-24	Po292

調査区 / 遺構	番序	土 色	土 性	特 徴
SK67	A-A' 1	黒色 (H0YR2/1)	粘土質シルト	小窪(文契)多見、地山(瓦層)ブロックや砂量多【図1】

第73図 SK67・68・69・70土坑墓 平面図、SK67土坑墓 断面図、出土遺物

【埋葬遺体】 遺構確認面で、ヒトの大腿骨や膝蓋骨？、脛骨、腓骨を検出した。下肢骨の位置から頭部は北西に位置する。下肢は膝を立てるかたちで強く屈曲する。上半身および埋葬姿勢は不明である。土坑の長軸は北で27°西に偏する。

【埋設土器】 頭部付近は調査区外に位置するため不明である。

【出土遺物】 出土していない。

【SK69土坑墓】

【位置】 D-74区東側（第53・73図）

【検出面】 VIa層（南1層群）

【重複】 SK70土坑墓と重複し、これよりも古い。

【規模】 長軸74cm×短軸55cm以上の平面隅丸長方形を呈する。遺構確認に止めたため深さは不明である。

【壁・底面】 遺構確認に止めたため不明である。

【埋土】 遺構確認面で、X層起源の小砾を多く含み、火山灰？ブロックを少量含む黒褐色砂質シルトを確認した。

【埋葬遺体】 遺構確認面で、ヒトの寛骨や大腿骨、脛骨、腓骨を検出した。下肢骨の位置から頭部は北に位置する。下肢は膝を立てるかたちで強く屈曲している。上半身や埋葬姿勢は不明である。土坑の長軸は北で10°西に偏する。

【埋設土器】 頭部付近は調査区外に位置するため不明である。

【出土遺物】 出土していない。

【SK70土坑墓】

【位置】 D-74区東側（第53・73図）

【検出面】 VIa層（南1層群）

【重複】 SK69土坑墓と重複し、これより新しい。

【規模】 長径85cm×短径58cmの平面梢円形を呈する。遺構確認に止めたため深さは不明である。

【壁・底面】 遺構確認に止めたため不明である。

【埋土】 遺構確認面で、X層起源の小砾を多く含む黒褐色砂質シルトを確認した。

【埋葬遺体】 遺構確認面で、ヒトの頭蓋骨を検出した。頭部は北に位置し、土坑の長軸は北で11°西に偏する。上下半身や埋葬姿勢は不明である。

【埋設土器】 なし。

【出土遺物】 出土していない。

【SK71土坑墓】

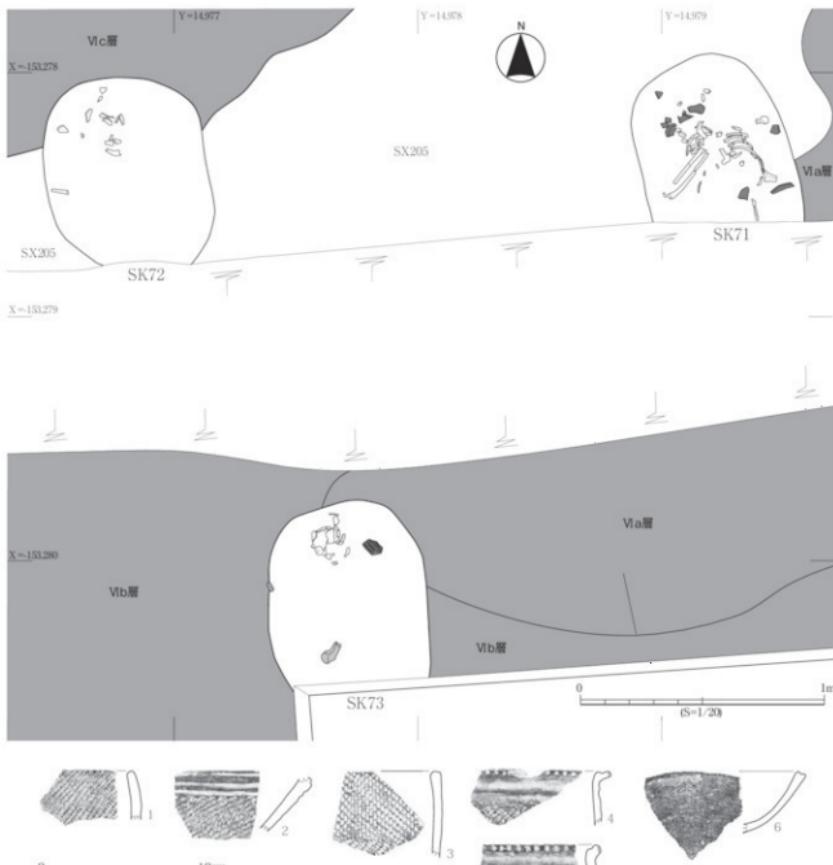
【位置】 D-74区西側（第53・74図）

〔検出面〕 Vla層（南1層群）

〔重複〕 SX205自然流路跡と重複し、これより新しい。

〔規模〕 長径77cm以上×短径63cmの平面長楕円形を呈する。遺構確認に止めたため深さは不明である。

〔壁・底面〕 遺構確認に止めたため不明である。



第74図 SK71・72・73土坑墓 平面図、出土遺物

No.	形 様	型 型 1	型 型 2	文・造 横 / 別	特 徴	写真図版	目録
1	溝路	A1	XB-a1	D74・SK71 / 理土	平緩。前△後多条彫文LR	74-25	Pu2925
2	浅路		XB-x	D74・SK72 / 理土	平行沈文。彫文L	74-26	Pu2926
3	溝路	A1	XB-a2	D74・SK72 / 理土	平緩。羽根彫文RL, LR	74-27	Pu2927
4	深路	B1cd	XB	D74・SK73 / 理土	平緩+△7周目+丁字部沈線。彫文RL	74-28	Pu2928
5	深路	B1cd	XB	D74・SK73 / 理土	平緩+△7周目+丁字部沈線。彫文RL	74-29	Pu2929
6	壁	A1d	XV	D74・SK73 / 理土	平緩+口沿部斜面彫	74-30	Pu2930

〔埋土〕 遺構確認面で、砂を少量含み、火山灰？ ブロックをやや多く含む黒褐色粘土質シルトを確認した。

〔埋葬遺体〕 遺構確認面で、ヒトの頭蓋骨や歯、椎骨、肋骨、上腕骨、尺骨・桡骨を検出した。頭部は北西に位置し、北で30°西に偏する。体幹骨が北西から南東へ並ぶ。仰臥屈葬位で、右上肢は胸部に手を当てるかたちで強く屈曲している。下半身は不明である。

〔埋設土器〕 なし。

〔出土遺物〕 繩文土器深鉢（第74図1）・浅鉢などが出土している。

【SK72土坑墓】

〔位置〕 D-74区西側（第53・74図）

〔検出面〕 SX205自然流路跡（V1b層とV1a層の間）

〔重複〕 SX205自然流路跡と重複し、これより新しい。

〔規模〕 長軸76cm以上×短径67cmの平面楕円形を呈する。遺構確認に止めたため深さは不明である。

〔壁・底面〕 遺構確認に止めたため不明である。

〔埋土〕 遺構確認面で、砂をやや多く含む黒褐色粘土質シルトを確認した。

〔埋葬遺体〕 遺構確認面で、ヒトの頭蓋骨や歯、鎖骨？、尺骨・桡骨？を検出した。頭部は北に位置する。土坑の長軸は北で7°西に偏する。上下半身および埋葬姿勢は不明である。

〔埋設土器〕 なし。

〔出土遺物〕 繩文土器深鉢（第74図3）・浅鉢（同図2）、磨石などが出土している。

【SK73土坑墓】

〔位置〕 D-74区西側（第53・74図）

〔検出面〕 V1a層（南1層群）

〔重複〕 なし。

〔規模〕 長径74cm以上×短径66cm以上の平面楕円形を呈する。遺構確認に止めたため深さは不明である。

〔壁・底面〕 遺構確認に止めたため不明である。

〔埋土〕 遺構確認面で、X層起源の小砾を少量含み、砂をやや多く含む黒褐色粘土質シルトを確認した。

〔埋葬遺体〕 遺構確認面で、ヒトの頭蓋骨と歯を検出した。頭部は北に位置する。土坑の長軸は北で3°西に偏する。上下半身および埋葬姿勢は不明である。

〔埋設土器〕 なし。

〔出土遺物〕 繩文土器深鉢（第74図4・5）や皿（同図6）、剥片などが出土している。

【SK74土坑墓】

〔位置〕 D-74区南側（第53・76図）



第75図 SK75土坑墓 平面図

【検出面】 Vlb層（南2A層群）

【重複】 なし。

【規模】 長さ約54cm以上×幅約53cmあり、残存する深さが24cm以上ある。部分的な検出に止めたため全体の形状は不明である。

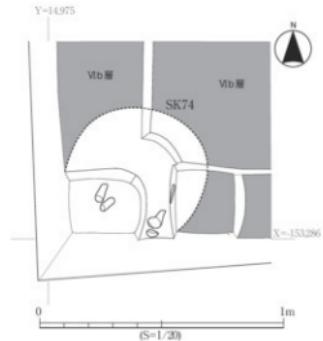
【壁・底面】 遺構確認に止めたため底面は不明である。壁は急に立ち上がり、断面逆台形を呈する

【埋土】 調査区断面で1層確認し、砂をわずかに含む黒褐色シルトである（第54図）。

【埋葬遺体】 遺構確認面で、ヒトの大腿骨や膝蓋骨、脛骨を検出した。下肢骨の位置から頭部は北東に位置するとみられる。土坑の長軸は北で44°東に偏する。下肢は膝を立てるかたちで屈曲する。上半身および埋葬姿勢は不明である。

【埋設土器】 なし。

【出土遺物】 出土していない。



第76図 SK74土坑墓 平面図

【SK75土坑墓】

【位置】 D-74区西側（第53・75図）

【検出面】 Vlc層（南3層群）

【重複】 SX205自然流路と重複し、これよりも古い。

【規模】 長径79cm以上×短径33cm以上の楕円形とみられ、残存する深さが16cm以上ある。

【壁・底面】 遺構確認に止めたため底面は不明である。壁は急に立ち上がり、断面逆台形を呈する。

【埋土】 調査区断面で1層確認し、砂を少量含む黒褐色粘土質シルトである（第54図）。

【埋葬遺体】 遺構確認面で、ヒトの頭蓋骨や歯、下頬骨

を検出した。頭部は北に位置する。上下半身および埋葬姿勢は不明である。

【埋設土器】 頭部にπ字文の施された鉢が伏せた状態で埋設されている（第75図）。埋設土器は取り上げていない。

【出土遺物】 遺物は出土していない。

(4) 埋葬犬骨

埋葬犬骨（土坑墓）はD-54区とD-55区で1基ずつ検出した。D-54区（SK80）では1体埋葬、D-55

区（SK55）では3体同時埋葬されている。SK55については土壤ごと切り取り、保存処理を東北歴史博物館に委託した。

【SK55埋葬犬骨】

【位置】 D-57区西側（第53・77図）

【検出面】 VLc層（南3層群）

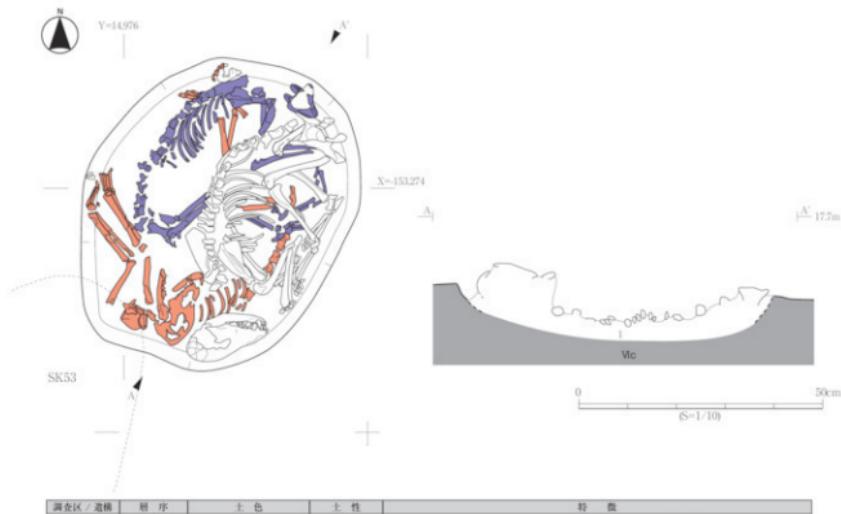
【重複】 SK53土坑墓と重複し、これよりも古い。

【規模・構造】 平面形は、長径67cm×短径53cmの楕円形である。残存する深さは13cmある。

【壁・底面】 底面はほぼ平坦になるとみられる。壁は緩やかに立ち上がり、断面形は浅い皿形である。

【埋土】 1層確認し、X層起源の小礫を多く含み、IX層起源の地山ブロックや炭化物粒を少量含む黒褐色粘土質シルトである（第77図）。

【埋葬遺体】 若犬1体（3、第77図青）、若～成犬1体（1、同図白）、成犬1体（2、同図赤）のあわせて3体埋葬されている。埋土の差異や掘削による遺体の人為的な破損が見られないことから、ほぼ同時に埋葬されたとみられる。埋葬の順序は2→3→1である。2は右側を上にした姿勢で、頭部は南に位置し、頭部を背側に反転させて胸部へ乗せている。椎骨は南西から北東へ並ぶ。前肢・後肢ともに伸展している。3は右側を上にした姿勢で、頭部は北東に位置し、椎骨が北東から南西へ並ぶ。前肢はやや屈曲し、後肢は前肢の先に向けて伸展している。1は左側を上にした姿勢で、頭部は南に位置し、椎骨が南から北東へ屈曲するように並ぶ。前肢は強く屈曲し、後肢を胸部へ伸ばしている。なお、それぞれの埋葬骨の詳細については分析編第2章を参照のこと。



第77図 SK55埋葬犬骨 平面図・断面図

〔出土遺物〕 繩文土器が出土している。

【SK80埋葬犬骨】

〔位置〕 D-54区北側（第78図）

〔検出面〕 VIb層（南2A層群）

〔重複〕 なし。

〔規模・構造〕 掘り方は不明である。埋葬骨は長軸48cm、短軸36cmの範囲に分布する。高さは12cmある。

〔壁・底面〕 底面はほぼ平坦である。

〔埋土〕 埋葬骨の周囲にIX層起源の地山粒や炭化物粒を少量含む黒褐色粘土質シルトが堆積しており、埋土とみられる（第78図）。

〔埋葬遺体〕 成～老犬が1体埋葬されている。左側を上にした姿勢で、頭部は北東に位置し、北で36°東へ偏する。椎骨が北東から南西へ並ぶ。前肢は強く屈曲し、後肢は軽く曲げた状態で前肢の方に向む。なお、埋葬骨の詳細については分析編第2章を参照のこと。

〔出土遺物〕 繩文土器深鉢や剥片が出土している。

(5) 土坑、ピット

土坑はD-68区で2基（SK41・93）検出した（第79図）。検出面はいずれも地山（IX層）である。平面形は円形や不整円形で、直径1.4m以上ある。断面形はいずれも深さ0.2mの浅い皿形で、堆積土はすべて自然堆積土である。遺物はSK41から縄文土器深鉢などが出土している。また、SK41の周囲で直径10～14cm、深さ8～22cmの小穴を6個検出した。なお、土坑の諸属性を第9表にまとめた。

(6) 自然流路跡

D-74区で1条検出した。

【SX205自然流路跡】

〔位置〕 D-74区北西側（第53図）

〔検出面〕 VIb層（南2A層群）

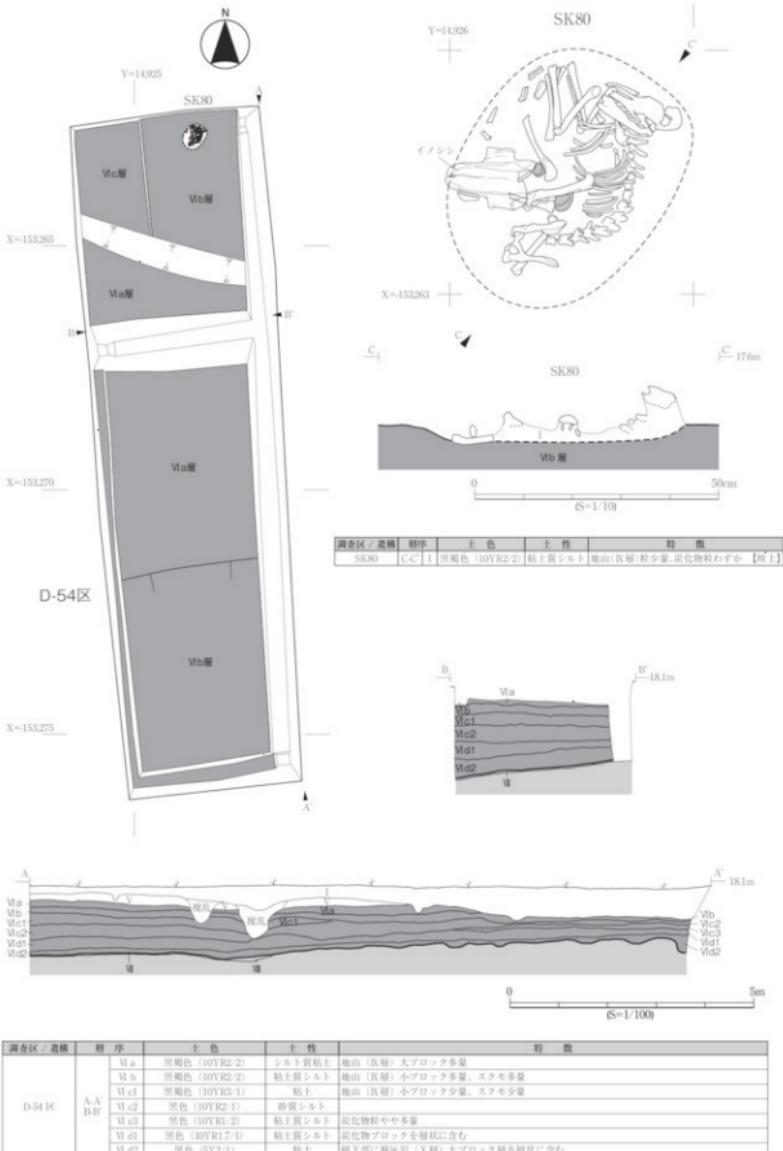
〔重複〕 SK71・72・75土坑墓と重複し、SK75より新しく、SK71・72よりも古い。

〔規模〕 検出長6.6m、上幅1.5m以上ある。遺構確認に止めたため、下幅や深さ、断面形は不明である。

〔方向〕 東で北に25°偏する。

〔堆積土〕 IX層起源の地山ブロックやスクモ、火山灰？ブロックを多く含む黒色粘土質シルトが自然堆積している。その後、SX205の窪みにVla層が堆積したものとみられる。

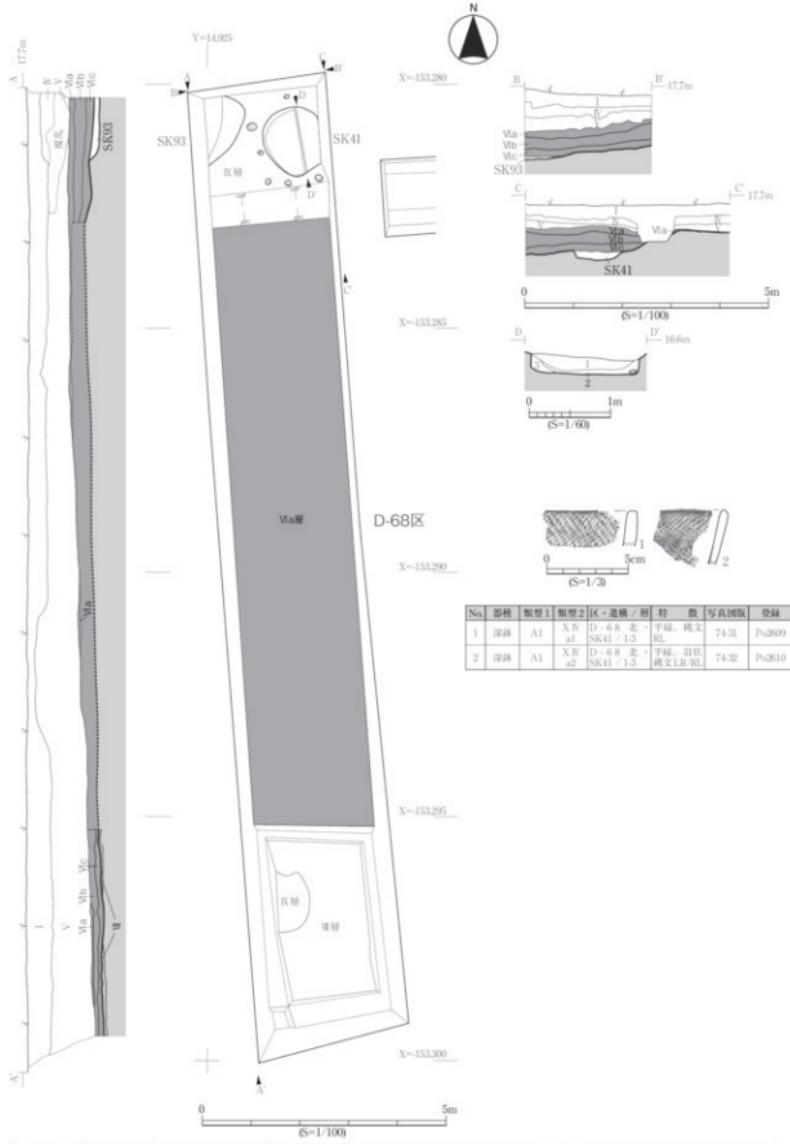
〔出土遺物〕 Vla層として認識して遺物を取り上げたため、SX205に帰属できる遺物は不明である。



第78図 D-54区 (SK80埋葬犬骨) 平面図・断面図

第8表 C丘陵頂部・南斜面 土坑墓一覧

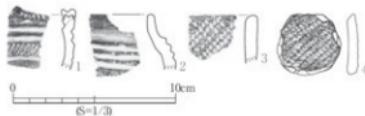
墓標名	検出品			埋葬遺体	埋葬歩幅(ヒトの位置)	埋設器物(位置)	平面形	断面形	大きさ(cm)	深さ(cm)	一土坑	墓體	頭部位置	出土遺物	備考	総面番号 平面 断面
	調査区	所位	大別別													
SK44 D-56 東 V1 b 南2A ヒト1 部臥屈曲 四脚付鉢 (頭部)、体(頭部) 長方形 亂形~ 亂形~ 亂形~ 133×55 32 N-45-E E-36-N NE 瓦文土器深鉢・浅鉢、円盤状土製品、不定形石器1、石器1、石器2、石器3、酒器1、酒器2、酒器3、酒器4 55 56																
SK46 D-56 東 V1 b 南2A ヒト1 部臥屈曲 なし 円形 亂形 75×66 25 E-30-N E-24-N E 瓦文土器深鉢・浅鉢、円盤状土製品、不定形石器1、石器1、石器2、石器3、酒器1、酒器4 59 59																
SK47 D-56 東 V1 b 南2A ヒト1か - 四脚付鉢 (頭部)、体(頭部) 長方形 亂形~ 亂形~ 128×67 36 E-41-N - NE 小 瓦文土器四脚付鉢 (埋設土器)、瓦文土器 61 62																
SK48 D-56 東 V1 b 南2A ヒト1 部臥屈曲 (頭部) 長方形 亂形~ 125×55 17 N-38-E - NE 瓦文土器鉢 (埋設土器)、酒器1 61 62																
SK49 D-56 東 V1 b 南2A ヒト1か - 錐(不明) - 亂形 40-57 L.L. 25 - - - 断面での検出 61 62																
SK51 D-57 西 V1 c 南3 ヒト1か - 錐(不明) - 亂形 40-58 L.L. 22 - - - 瓦文土器鉢 (埋設土器) SK52→SK54 断面での検出 64 54																
SK52 D-56 東 V1 b 南2A ヒト1か - 錐(不明) - 亂形 108以上× 19以上 18 - - - SK52→SK51 64 64																
SK53 D-57 西 V1 b 南2A ヒト1 部臥屈曲 (頭部) 長方形 亂形 91以上× 53以上 30 N-31-E E-43-N NE 瓦文土器鉢 (埋設土器)、不定形石器1、石器1、SK55→SK53 酒器1、酒器2 66 66																
SK54 D-57 西 V1 a 南1 ヒト1 右下側 肢屈曲 なし 長方形 141×61 - E-N-S - W 瓦文土器深鉢・浅鉢、酒器1 68 -																
SK55 D-57 西 V1 c 南3 イヌ3 - なし 矩円形 亂形 67×53 13 E-44-N (N-34-E) (N-27-E) S→N→S 瓦文土器 SK55→SK53 77 77																
SK56 D-57 東 V1 a 南1 ヒト1 部臥屈曲 なし 矩円形 - 110×78 - E-23-N - W 瓦文土器 SK57→SK56 69 -																
SK57 D-57 東 V1 a 南1 ヒト1 - なし 亂丸長方形 - 128×61 以上 - E-8-N - W 瓦文土器鉢・皿 SK57→SK56 SK57→SK58 69 -																
SK58 D-57 東 V1 a 南1 ヒト1 部臥屈曲 なし 亂丸長方形 - 111×66 - E-5-N E-10-N E なし SK57→SK58 69 -																
SK59 D-57 東 V1 a 南1 ヒト1 - なし 長方形 - 103×61 - E-32-E - SW なし 69 -																
SK60 D-57 東 V1 a 南1 ヒト1 部臥屈曲 なし 長方形 127×71 15 E-19-N E-18-N W 瓦文土器深鉢・浅鉢、注口土器、石器1、不定形石器2、酒器1、酒器2、酒器9 71 71																
SK61 D-57 東 V1 a 南1 ヒト1 部臥屈曲か なし 長方形 - 114×58 - E-2-N - W なし 72 -																
SK63 D-59 南 V1 d 南5 イヌ1 - なし 円形 亂形 50 8 E-29-N E-4-N S 瓦文土器深鉢、酒器1、石核1、酒器2 37 17																
SK67 D-74 東 V1 a 南1 ヒト1 - 錐(頭部) 長方形 - 117×57 16.13.L. E-14-N - E 小 瓦文土器鉢 73 73																
SK68 D-74 東 V1 a 南1 ヒト1 - 不明 長方形 - 89以上× 59以上 - N-27-W - NW なし 73 -																
SK69 D-74 東 V1 a 南1 ヒト1 - 不明 亂丸長方形 - 74以上× 55以上 - N-10-W - N なし SK69→SK70 73 -																
SK70 D-74 東 V1 a 南1 ヒト1 - なし 亂形 85×58 - N-11-W - N なし SK69→SK70 73 -																
SK71 D-74 西 V1 a 南1 ヒト1 部臥屈曲 なし 長方形 - 77以上× 63 - N-17-W N-30-W NW 瓦文土器深鉢・浅鉢 SX205→SK71 74 -																
SK72 D-74 西 SX205 堆積土 - ヒト1 - なし 亂形 76.13.L.× 67 - N-7-W - N 瓦文土器深鉢・浅鉢、酒器1 SX205→SK72 74 -																
SK73 D-74 東 V1 a 南1 ヒト1 - なし 亂形 74.13.L.× 66 - N-3-W - N 瓦文土器深鉢・皿、酒器1 74 -																
SK74 D-74 東 V1 b 南2A ヒト1 - なし - 亂形 54.13.L.× 53 24.13.L. N-44-E - NE なし 76 54																
SK75 D-74 西 V1 c 南3 ヒト1 - 錐(頭部) 亂形 79.13.L.× 35.13.L. 16.13.L. - - N SK75→SX205 75 54																
SK76 D-57 東 V1 b 南2A ヒト1 部臥屈曲 不明 - 亂形 44.13.L.× 38 34.13.L. E-19-N - W なし SK77→SK26 72 54																
SK77 D-57 東 V1 b 南2A ヒト1 - 不明 - 亂形 41.13.L.× 37.13.L. 25.13.L. - - W 瓦文土器 SK77→SK26 SK77→SK78 72 54																
SK78 D-57 東 V1 b 南2A ヒト1 部臥屈曲 (頭部) 長方形 亂形~ 68以上× 44以上 27.13.L. - - W なし SK77→SK78 72 72																
SK80 D-54 東 V1 b 南2A イヌ1 - なし - - - N-36-E NE 瓦文土器深鉢、酒器2 黒り方不明 78 78																



第79図 D-68区（SK41・93土坑） 平面図・断面図、SK41土坑 出土遺物

第9表 土坑一覧

遺構名	検出面	断面形	断面形	大きさ(m)	深さ(m)	堆積土	出土遺物	備考	辨別番号 平面 断面
SK41 D-68 北	Ⅲ a	円形	圓形	1.4 × 1.2 以上	0.2	自然	礎文土器深鉢、磨石1		79 79
SK64 D-59 南	Ⅲ d	曲5	橢円形	0.8 以上 × 0.6 以上	0.2	自然	礎文土器深鉢、磨石2、石核1	SK64 → SK65	17 17
SK65 D-59 南	Ⅲ d	曲5	圓形	0.8 × 0.7	0.3	自然	礎文土器深鉢、石削1	SK64 → SK65	17 17
SK66 D-59 南	Ⅲ d	曲5	圓形	0.9 × 0.8	0.2	自然	礎文土器深鉢、壺、不定形石器1、石核1、調片4		17 17
SK84 D-78 西	Ⅲ b	曲3	橢円形か	1.0 以上 × 0.7 以上	-	自然			11 11
SK92 D-62	Ⅲ a	北1A	不整円形	圓形	3.1 × 2.6 以上	0.4	自然 土製品、土偶、石鏡2、石鏡1、橢形石器1、不定形石器1、石削1、磨石5、調片38		183 183
SK93 D-68 北	Ⅲ c	-	不整円形か	圓形	1.5 以上 × 0.9 以上	0.2	自然		79 -
SK94 D-59 南	Ⅲ c	曲3	橢円形か	連合形	0.8 以上 × 0.8 以上	0.5	自然		17 17
SK95 D-53 北	Ⅲ a	曲1	圓形	-	0.4	-	自然		20 -
SK96 D-53 北	Ⅲ a	曲1	橢円形	-	0.8 × 0.4	-	自然	SK97 → SK98 → SK96	20 -
SK97 D-53 北	Ⅲ a	曲1	橢円形か	-	0.4 以上 × 0.3 以上	-	自然	SK97 → SK98 → SK96	20 -
SK98 D-53 北	Ⅲ a	曲1	圓形	-	0.3	-	自然	SK97 → SK98 → SK96	20 -
SK101 D-53 北	Ⅲ a	-	圓形か	-	0.3	-	自然		20 -
SK102 D-53 北	Ⅲ b	曲2A	不整円形か	-	0.4	-	自然	SK103 → SK102	20 20
SK103 D-53 北	Ⅲ b	-	不整円形か	-	0.4 以上	-	自然	SK103 → SK102	20 -
SK104 D-79 東	Ⅲ b	曲2B	圓形	0.7 × 0.6	0.2	自然	磨石1	SK104 → SK105	12 13
SK105 D-79 東	Ⅲ b	曲2B	円形	径0.7	0.2	自然	調片2	SK104 → SK105	12 13



第80図 C丘陵南斜面遺構群 遺構確認面 出土遺物

(7) その他の出土遺物

遺構確認面出土として取り上げた遺物を第80図にまとめて提示した。

No.	部種	類型1	類型2	区・遺構 / 種	特徴	写真図版	登録
1	浅鉢	Alcal	Ⅲ d	D-74 / 碓混面	平縁+ヘラ痕目+第一対の小突起+17行泥流線。平行沈縞文。茎部又（彫り消し縞文）有。前々段多条 縞文LR	74-33	Pu2604
2	鉢	C1	X H x	D-74 / 碓混面	平縁。平行沈縞文。縞文LR有。内外面赤彩	74-34	Pu2605
3	深鉢	A1	X N a1	D-74 / 碓混面	平縁。縞文LR	74-35	Pu2603

No.	部種	区・遺構 / 種	特徴	写真図版	登録
4	円盤状土製品	D-74 / 碓混面	長さ 37.7mm、幅 39.5mm、厚さ 6.5mm。縞文柄。調片	74-36	CO2907

B. 遺物包含層

C丘陵突端部付近では黒色～黒褐色を呈する粘土～粘土質シルトを主体とするVI層が堆積している。この層に縄文時代晩期を中心とした土器や石器などの遺物が多量に含まれており、丘陵の南北斜面に広がっている状況を確認した。丘陵突端をD-58区とD-59区との間で検出し、これを境界として地形の傾斜の方向が変換することから、これより南側をC丘陵南斜面遺物包含層、北側をC丘陵北斜面遺物包含層と呼称する（第5図）。

C丘陵南斜面で検出した遺物包含層は、平成22年度の発掘調査（未報告）で検出したものも含めると2箇所となる。便宜上、丘陵の先端部からa包含層、b包含層と呼称する（第5図）。本報告ではa包含層について記述する。

なお、本書に図を掲載した遺物の属性をすべて観察表に記しているため、本文中における遺物の個別の説明は原則として省略した。

（1）堆積状況と分布範囲

VI層をD-53・54・55・56・57・59・68・69・74・75区で検出し、縄文時代晩期を中心とした遺物が多量に含まれている状況を確認した。また、平成20年度の発掘調査ではこれらより西側のD-45区でも遺物包含層（VI層）を検出しており（宮城県教育委員会 2011）、その範囲は、東西約141m（D-45区とD-74区間の直線距離）、南北約91m（D-58区とD-69区間の直線距離）となる。なお、これらの南～西側に位置するD-44・70・73区では地表下約2.0mまでの深度でいずれもVI層を確認できなかった。また、D-78区東側およびD-80区北側は丘陵頂部にあたりVI層の堆積はなかった。

前章で記述したように、VI層は土色や土性、含有物などの特徴から各調査区で複数の層に細分され、また調査区によりVI層の堆積状況が異なる。これらの細分層の土性や土色、含有物などの特徴から、南斜面におけるVI層を南1～5層群まで7層に大別した（第3表）。さらに遺物が多く出土している範囲では、西側（D-53・54・55・59・68・69・78・79区）と東側（D-56・57・74・75・80区）でVI層の厚さや南4A・B層群の有無に差異が認められることから、東西2つに分けて記述する。

遺物包含層の西側では、D-78区からD-59区にかけて西に緩やかに傾斜する地形となっている。D-78区東側でVI層が確認される地点からD-59区南壁西端まで、直線距離で約16.0m、VI層上面での比高は約1.2m、勾配は約8%である。また、D-78区からD-69区にかけて南へ緩やかに傾斜する地形となっている。D-78区東側でVI層が確認される地点からD-69区西壁南端まで、直線距離で約76.6m、VI層上面での比高は約2.1m、勾配は約3%である。

各調査区で検出したVI層は多いところで7層に細分されるが、大別層群で見ると、南4層群を除く層が堆積している。南5層群は北西部にあたるD-59区とD-53区でのみ確認し、南3・2B・2A層群は広範囲で分布が認められる。南1層群はD-53区とD-54区でのみ確認した。

東側では、D-80区でVI層上部が削平を受けているが、D-80区からD-74区にかけて南へ緩やかに傾斜する地形となっている。D-80区南壁中央付近からD-74区西壁南端まで直線距離で約20.0m、

VI層上面での比高は約0.8m以上、勾配は約4%以上である。また、D-74区南側では東へ緩やかに傾斜する地形となっている。D-74区西壁中央付近から東壁南端まで、直線距離で約13.0m、VI層上面での比高は約0.6m、勾配は約5%である。

各調査区で検出したVI層は多いところで14層に細分されるが、大別層群で見ると、南2B層群を除く層が堆積している。

(2) 土器

遺物包含層から出土した縄文土器は遺物収納箱（長54×幅34×深15cm）換算で117箱に相当する量が出土している。遺物量が多いため、包含層を西側と東側に分けて記述する。

①遺物包含層西側における土器の層位別出土状況

遺物包含層西側から出土した縄文土器は遺物収納箱換算で84箱に相当する量が出土している（第81～119図）。以下に、各層ごとの出土状況および遺物の内容について述べる。

南5層群ではいずれの調査区も小破片が少量出土しているのみである。器種は深鉢や鉢がある。入組帶状文が施された瘤の付く土器（第81図5・6）が出土している。

南3層群ではいずれの調査区も中・小破片が主体であり、丘陵裾部にあたるD-59・53・54・68・55区では上層よりも出土量は少なくなる。器種は深鉢や鉢、四脚付鉢、浅鉢、台付浅鉢、皿、壺、注口土器、香炉形土器、蓋のほかに袖珍土器鉢・浅鉢・壺がある。装飾は、帯状文（第81図19・20）や入組帶状文（同図18・24）、三叉文（同図23・25～32・34、第82図5・7）、羊齒状文（第81図35、第82図1～6・8～10）、列点文（第81図14、第82図12・14・19・20・24）、雲形文（第82図21～25、第83図10～19、第84図1～10）、メガネ状浮文（第83図10・14、第84図7）、工字文（第85図13）、π字文（同図12・14）が見られる。なかでも雲形文が特に多く出土し、三叉文や羊齒状文も多く出土している。

南2B層群では、D-54区やD-55区で大破片が多く出土しているところもあるが、中・小破片が主体である。D-59区やD-68区では中・小破片が多く出土している。また、丘陵頂部に近いD-78区やD-79区では小破片が少量出土しているのみである。器種は深鉢や鉢、浅鉢、台付浅鉢、皿、壺、注口土器、香炉形土器のほかに袖珍土器鉢・皿がある。装飾は、帯状文に瘤の付くもの（第88図16・18）や三叉文（同図21～23）、羊齒状文（同図25・26、第89図1・2）、列点文（第89図4・5・8）、雲形文（同図2～6・12～18・21・24～27、第90図1～19・21）、メガネ状浮文（第89図3・13・15・19・20）、工字文（第93図1～3・12・13、第94図2）、π字文（第93図5～14、第94図1～5・7、第96図2・4～6）、変形工字文（第96図2・3・7）が見られる。なかでも、雲形文や工字文の施された土器が多く出土している。

南2A層群では、D-53区やD-68区北側で大破片が主体で、出土量も多い。D-54区やD-55区では中・小破片がやや多く出土し、丘陵頂部に近いD-79区でも中・小破片がやや多く出土している。丘陵裾部から離れたD-68区南側やD-69区では小破片が主体となり、丘陵から離れるにつれて出土量は少なくなる。器種は深鉢や台付深鉢、鉢、浅鉢、台付浅鉢、四脚付浅鉢、皿、壺、注口土器、蓋のほかに袖珍

土器深鉢・鉢・浅鉢がある。また、製塙土器（深鉢）（第108図8）や漆容器（鉢）（同図18）が出土している。装飾は、列点文（第99図5）や雲形文（同図3・8～17、第100図1～8・10・12・13）、メガネ状浮文（第99図6・7・10・11）、工字文（第102図11～16）、π字文（同図17・18、第103図1～3・6～19、第104図3、第106図7～19、第107図2・3・9・10・14）、変形工字文（第103図8・11、第106図17～19、第107図1～11・13・14・16）が見られる。雲形文や工字文、π字文、変形工字文の施された土器が多く出土しているが、雲形文の割合は南2B層群に比べて小さくなり、工字文やπ字文、変形工字文の割合が大きくなる。

南1層群では、いずれの調査区でも大破片が主体となり、出土量も非常に多い。器種は深鉢や鉢、浅鉢、台付浅鉢、四脚付浅鉢、皿、壺、注口土器、蓋のほかに袖珍土器鉢・浅鉢がある。また、製塙土器（深鉢）（第119図7）が出土している。装飾は、雲形文（第110図14、第111図1～18・20・21）やメガネ状浮文（第110図13、第111図2・14、第113図8～11）、工字文（第113図12～15、第114図1～10）、π字文（第114図8・11～19、第115図1～10、第117図7～12、第118図2）、変形工字文（第117図7～12、第118図1・2）が見られる。

②遺物包含層東側における土器の層位別出土状況

遺物包含層東側から出土した縄文土器は遺物収納箱換算で33箱に相当する量が出土している（第120～129図）。以下に、各層ごとの出土状況および遺物の内容について述べる。

南5層群および南4A・4B層群はD-57区でのみ検出した。調査区壁沿いに掘削した幅0.3～0.7m程度の幅の狭いトレンチ調査であったため、包含状況の詳細は不明である。ただし、Vlm層（南5層群）からは完形の土器が複数出土している。

南5層群からは、深鉢や鉢、壺、台付壺、注口土器が出土している。装飾は、瘤の付くもの（第120図3～5・7）や帯状文（同図3～5・7・15～17）、入組帯状文（同図6・8～11）が見られる。

南4B層群からは、深鉢や鉢、浅鉢、皿、台付皿、台部、注口土器が出土している。装飾は、帯状文（第121図15・16）や入組帯状文（同図9～11）、羊歯状文（同図23、第122図1）が見られる。

南4A層群からは、深鉢や鉢、浅鉢、皿、注口土器が出土している。装飾は、三叉文（第122図14・15）や列点文（同図16）が見られる。

南3層群～南1層群は、西側と比べていずれの調査区においても破片が小さく、出土量も少ない。

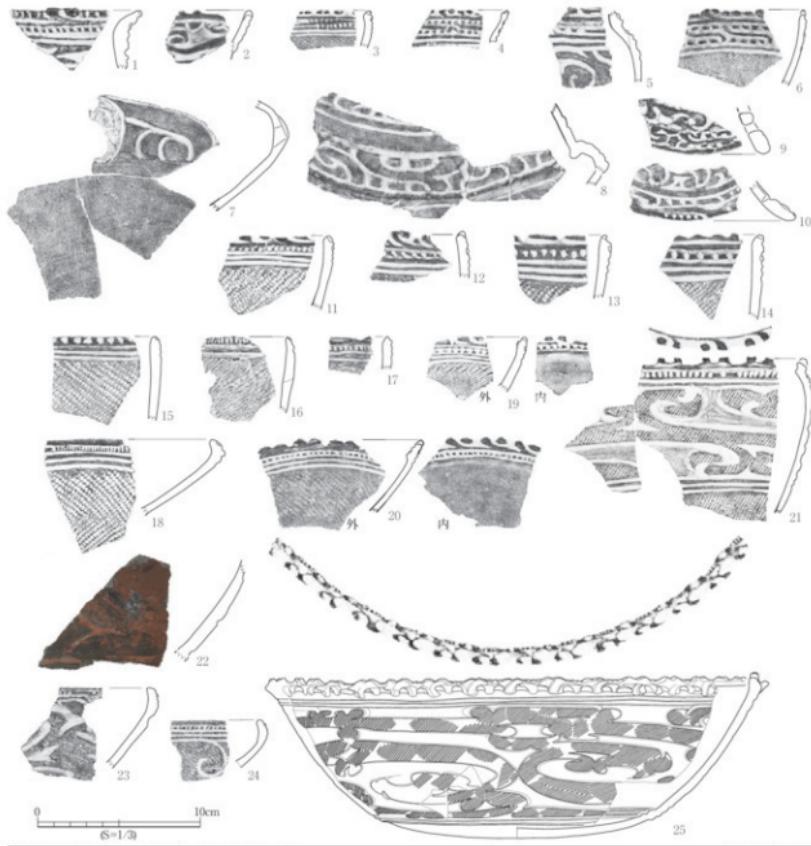
南3層群からは、深鉢や鉢、浅鉢、台付浅鉢、皿、壺、注口土器のほかに袖珍土器深鉢・鉢が出土している。装飾は、帯状文（第123図1）、羊歯状文（同図2・3・5・9）、列点文（同図4・6・8・10・13・14・17～20、第124図6・10）、雲形文（第123図21・22、第124図1～6・8・9、第125図3～9）が見られる。列点文や雲形文が多く出土するようになる。

南2A層群からは、深鉢や鉢、浅鉢、台付浅鉢、皿、壺、注口土器が出土している。装飾は、羊歯状文（第126図9）、雲形文（同図10、第127図2～12）、メガネ状浮文（第127図12）、工字文（同図16、第128図3・4）、π字文（第127図14～16、第128図1・2・7・8・10・11）、変形工字文（第128図8～10）が見られる。工字文やπ字文が多く出土するようになる。



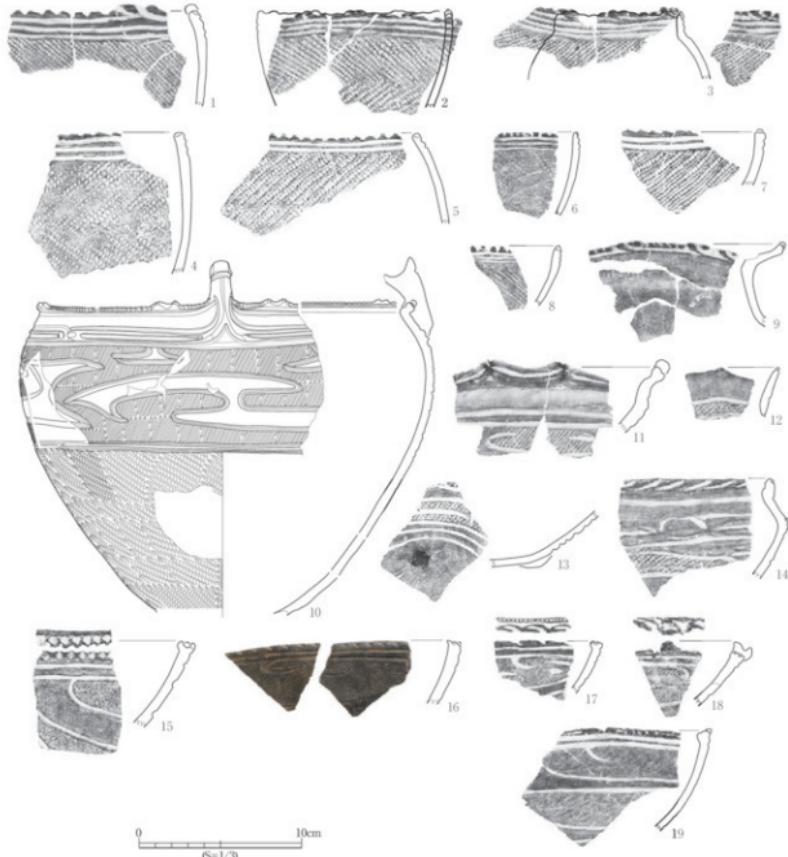
No.	器種	形態I	形態II	大別類	区・遺跡／期	特徴	写真図版	登録
1	深鉢	-	-	南5	D-59 / Vl g	粘土頸丸付+ヘラ刷目。縦縞文LR	75-1	Po1261
2	深鉢	A3	-	南5	D-53 / Vl d+e	直線縞。沈縞文。縦文LR	75-2	Po133
3	深鉢	A2d	-	南5	D-59 / Vl f	平縞+円点突起。沈縞文。縦文LR	75-3	Po1268
4	深鉢	-	-	南5	D-59 / Vl g	平行(横)縞文。平行沈縞文(縮り)+斜列型。縦文LR	75-4	Po1265
5	深鉢	-	B Ba	南5	D-59 / Vl g	人頭帶状文(縦文)+施縫(面部刻み)。縦文RL。内面從化物付有	75-5	Po1264
6	深鉢	-	B Ba	南5	D-59 / Vl g	人頭帶状文(縦文)+施縫(面部刻み)。縦文LR	75-6	Po1272
7	深鉢	A1	-	南5	D-59 / M d+e	平縞。沈縞文	75-7	Po1273
8	鉢	A1	X V	南5	D-59 / M d	平縞	75-8	Po1275
9	深鉢	A1	X 差	南5	D-59 / M e	平縞。沈縞文	75-9	Po1271
10	深鉢	A1c	X N al	南5	D-59 / M e	平縞+V口部沈縞。縦文LR	75-10	Po1270
11	深鉢	A1	X S al	南5	D-59 / M g	平縞。縦文RL	75-11	Po1261
12	鉢	A1	X N al	南5	D-59 / M d	平縞。縦文LR	75-12	Po1274
13	深鉢	A1	X N B	南5	D-59 / M d	平縞。弱供應文L+RL	75-13	Po1269
14	深鉢	A1	-	南3	D-54北 / M d	平縞。點交叉文	75-14	Po1178
15	深鉢	-	-	南3	D-54北 / Vl d+e	輪状の突起。圓文L	75-15	Po1180
16	深鉢	A3	-	南3	D-53 / Vl c+1-2	直線縞。斜交叉。沈縞文	75-16	Po39
17	施跡土器	F2	X V	南3	D-68北 / Vl c	10mm(3.2cm)。器高3.5cm。底径1.1cm。直線縞。底部ナサ	75-17	Po1268
18	深鉢	A1c	B a	南3	D-53 / Vl c	直線縞+山形突起(面部刻み)。人頭帶状文(崩れ消し縦文)。縦文LR	75-18	Po42
19	深鉢	A3e	E c	南3	D-59 / M c+e	直線縞+山形突起(面部刻み)。人頭帶状文(顎歯痕削目)	75-19	Po1308
20	鉢	A1H	E c	南3	D-54北 / Vl d+e	平縞+底部突起。底状文(櫛面状削目)	75-20	Po1189
21	鉢	A1d	X II	南3	D-59 / M c+e	平縞+V口部。平行沈縞文。縦文LR	75-21	Po1306
22	深鉢	-	-	南3	D-59 / Vl c+e	弧曲の突起+貫通孔。縦文LR	75-22	Po1296
23	鉢	-	X a	南3	D-53北 / Vl c	弧曲の突起。角張狀V文。縦文LR	75-23	Po26
24	深鉢	A2	E a?	南3	D-68北 / Vl c	直線縞。人頭帶状文(縦文)。縦文LR	75-24	Po1261
25	鉢	A3	-	南3	D-59 / Vl c+e+M h+c	直線縞。魚眼状V文。沈縞文。縦文LR	75-25	Po1309
26	深鉢	A3	Il o	南3	D-53北 / Vl c	直線縞。弧状沈縞文。V文。沈縞文。縦文LR	75-26	Po25
27	臼口土器	A	b	南3	D-59 / Vl c+e+M h+b	体部最大径14.6cm。玉ねぎV文。沈縞文。底部付有に環状沈縞文。底部にギザン状突起	75-29	Po1295
28	杏仁形土器	-	b	南3	D-53 / Vl c	沈縞文。玉ねぎV文	75-27	Po41
29	臼口土器	-	-	南3	D-54北 / Vl d+e	V文	75-28	Po1181
30	浅鉢	A1	C c	南3	D-68北 / Vl c	平縞。人頭帶状文。平行沈縞文	75-31	Po1262
31	深鉢	A1	b	南3	D-59 / M c+e	10mm(2.5cm)。平縞。玉ねぎV文。平行沈縞文	75-29	Po1289
32	蓋	-	a	南3	D-53 / Vl c+1-2	底2.9mm。底面に環状沈縞文。魚眼状V文。環状沈縞文	75-30	Po79
33	内部かぶ	-	-	南3	D-59 / Vl b	透光し、吸引を有する人頭帶状文	75-32	Po1317
34	深鉢	A1d	c	南3	D-48 / Vl c	平縞+斜列V。人頭帶状文。平行沈縞文。縦文LR	75-33	Po1278
35	鉢	A1df	c	南3	D-59 / M c+e	平縞+V口部+V割+対側の小突起(平面状)。沈縞文。平面状文。平行沈縞文。羽状縞文RL+LR	75-34	Po1300

第81図 C丘陵南斜面a包含層(西側) 出出土器(1)



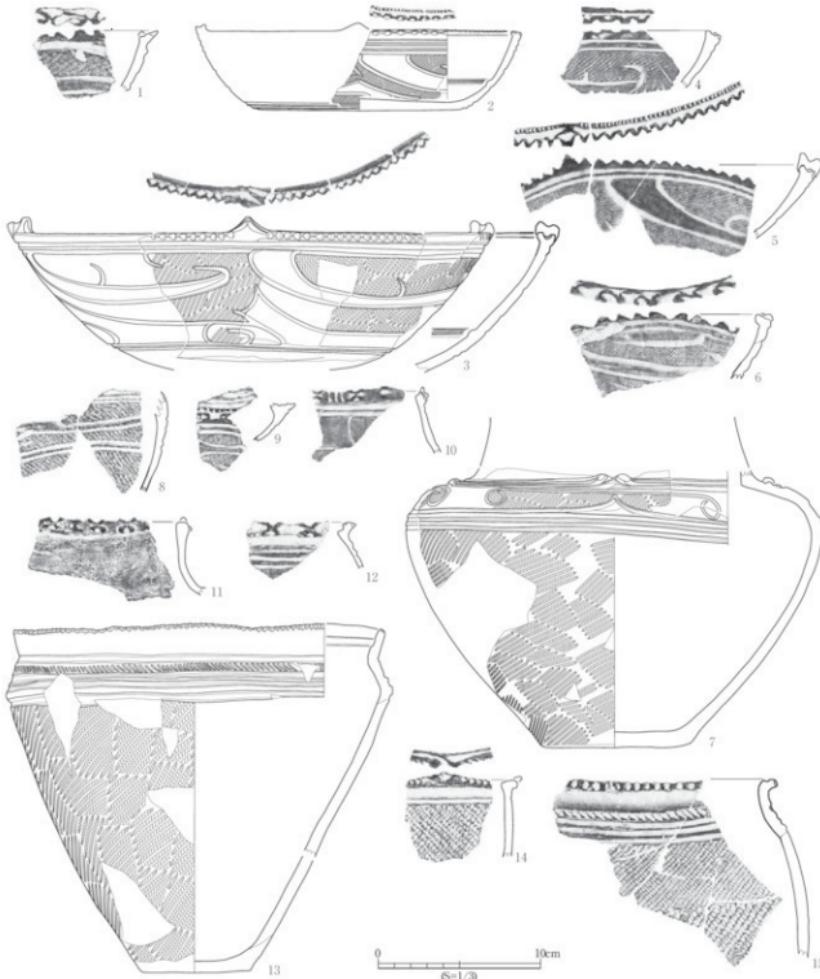
No.	形・様	型類①	型類②	大柄頭	区・造形・形	特徴		写真図版	登錄
						縁	内・外		
1	踏	Hlff	否	南3	D54 北、足 d 1-2	平縁+ヘラ削目+二対の小突起。平行沈縞文+ヘラ削目。平曲状文		75-35	Po100
2	浅鉢	AH	B	南3	D48 南、足 c	平縁+二側+対の小突起。平曲状文		75-36	Po2777
3	踏	Alef	否	南3	D48 北、足 c	平縁+ヘラ削目+連続状況模文。平曲状文。平行沈縞文。圓文 R		75-37	Po2013
4	踏	Ale	否	南3	D59、足 c	平縁+連続状況模文(平曲)。平曲状文。平行沈縞文		75-38	Po1313
5	踏	-	II+R	南3	D68 北、足 c	平曲状文。平行沈縞文。人組+文組か		75-39	Po2017
6	踏	Alef	B	南3	D59、足 c	平縁+ヘラ削目+二側の小突起+沈縞文(平曲)。平曲状文。沈縞文。羽状縞文 LR/RL		75-40	Po1299
7	凹口土器	-	B	南3	D59、足 c+耳 Ale	人組+文組		75-41	Po1291
8	凹口土器	-	B	南3	D54 北、足 c	平曲状文。平行沈縞文。平曲状文。平行沈縞文		75-43	Po1308
9	台部	-	B	南3	D54 北、足 d 1-2	透心+彫り+作人+人組文。平曲状文		75-42	Po1182
10	台部	-	B	南3	D59、足 b	透心+彫り+作人+人組文。背孔 2。平曲状文		75-45	Po1316
11	踏	Alef	X II+R	南3	D48 南、足 c	平縁+ヘラ削目+連続状況模文。刺突窓。平行沈縞文。圓文 LR		75-44	Po3324
12	踏	Alef	V	南3	D48 南、足 c	平縁+ヘラ削目+「鏡」対の小突起(平曲)。圓点文。平行沈縞文。圓文隔壁不明		75-46	Po2774
13	深鉢	Alef	X II+R	南3	D48 北、足 c	平縁+ヘラ削目+連続状況模文。刺突窓。平行沈縞文。圓文 LR		75-47	Po2014
14	深鉢	BI	V	南3	D48 北、足 c	底羽根+ヘラ削目。平行沈縞文。列点文。平行沈縞文。圓文 LR		75-48	Po2031
15	深鉢	Ald	X II+R	南3	D48 南、足 c	平縁+ヘラ削目。平行沈縞文。圓文 LR		75-49	Po2764
16	深鉢	Ald	X II+R	南3	D48 南、足 c	平縁+ヘラ削目。平行沈縞文。圓文 LR		75-50	Po2765
17	踏	Ald	X II+R	南3	D53 北、足 c	平縁+押印。ヘラ削目。平行沈縞文		75-51	Po28
18	皿	A1	X II+R	南3	D54 北、足 d 1-2	平縁。平行沈縞文。椭圆状模目。平行沈縞文。圓文 LR		75-53	Po1095
19	踏	Alef	V	南3	D48 南、足 c	平縁+底羽根。圓点文。平行沈縞文。圓文 LR。口縁部内面列点文		75-52	Po174
20	浅鉢	A1bd	V	南3	D68 南、足 c	平縁+ヘラ削目+二側+対の小突起+平曲状浮縞文。列点文。平行沈縞文。前々段多条文 RL。口縁部内面点文		75-54	Po2784
21	踏	A1f	達	南3	D53 北、足 c+bd 1-2	平縁+二側+対の小突起。圓文 LR。圓文 LR(削り消し彫文)。平行沈縞文。圓文 LR。内面沈縞		75-55	Po43
22	皿	-	S	南3	D59、足 c	圓文(削り消し彫文)。圓文 LR。内面浮縞文		75-56	Po1311
23	浅鉢	A1	-	南3	D54 北、足 d 1-2	平縁。平行沈縞文。椭圆状模目。平行沈縞文。圓文 LR		75-57	Po202
24	皿	A1	V+薄	南3	D68 南、足 c	平縁。平行沈縞文。圓点文。平行沈縞文。圓文 LR(削り消し彫文)。圓文 RL		75-58	Po2795
25	皿	A1bd	達	南3	D68 南、足 c	口縁部(26cm)。唇高 10.3cm。丸底。平縁+ヘラ削目。二側+対の小突起。平曲状浮縞文。椭圆状模目。平行沈縞文。圓文 LR(削り消し彫文)。圓文 RL 隔離。口縁部内面沈縞。体部下半内面平行沈縞文		75-60	Po2779

第82図 C丘陵南斜面a包含層(西侧) 出土器(2)



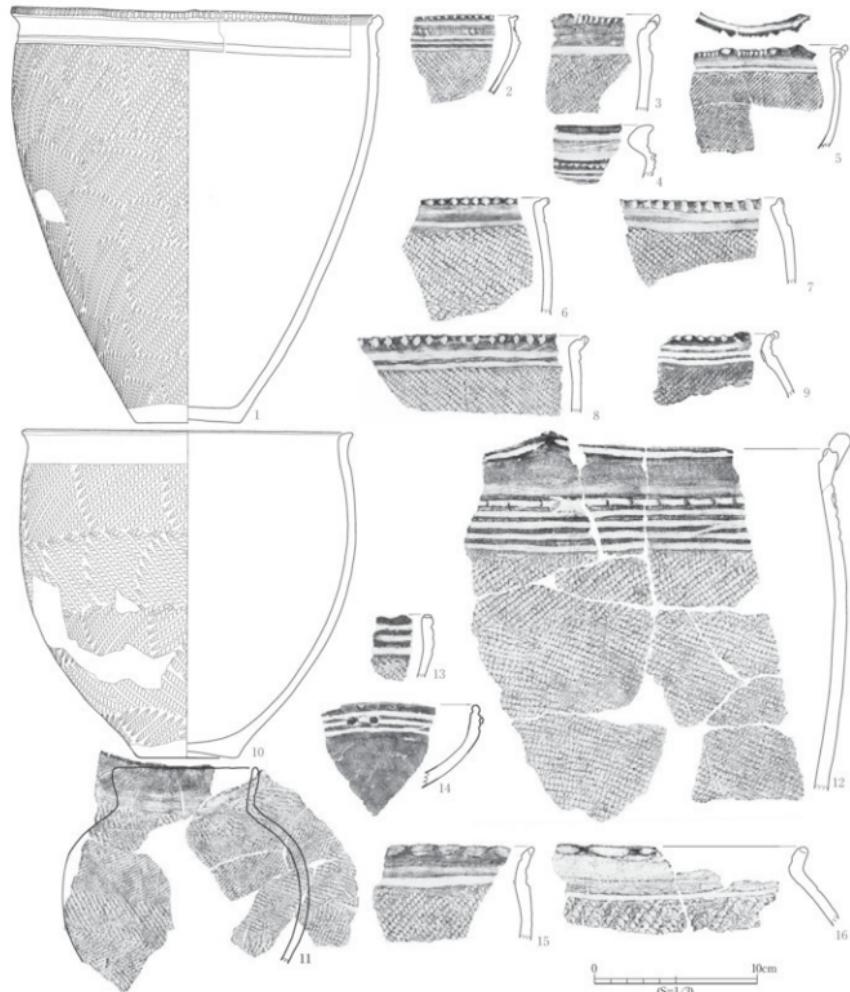
No.	器種	類型1	類型2	大別類	K+造形/刷	特徴	写真図版	参考
1	深鉢	A1df	X.II x	南3	D.68 北 / 貝 c	平縁+ヘラ彫且+二脚+対の空柱(手前柱)。平行沈面文。網文刷。	76.1	Po2032
2	鉢	A1df	X.II x	南3	D.68 南 / 貝 c+貝 b	口径120cm)。平縁+ヘラ彫且+二脚+対の小空柱。平行沈面文。羽状網文。貝LR.	76.2	Po2003
3	深鉢	A1df	X.II x	南3	D.68 南 / 貝 c	口径120cm)。平縁+ヘラ彫且+二脚+対の小空柱(手前柱)。平行沈面文。網文LR	76.3	Po2062
4	深鉢	A2	X.II x	南3	D.54 南 / 貝 d1~2	浅伏縁。平行沈面文。羽状網文LR/RL	76.4	Po2123
5	深鉢	A2	X.II x	南3	D.54 北 / 貝 d 1~2	浅伏縁。平行沈面文。網文LR	76.5	Po186
6	鉢	A2	X.II x	南3	D.68 北 / 貝 c	浅伏縁。平行沈面文。網文LR	76.6	Po2015
7	深鉢	A2	X.II x	南3	D.54 北 / 貝 c / M d 1~2+	浅伏縁。平行沈面文。網文LR+R刷加査	76.7	Po196
8	鉢	A2	X.II x	南3	D.53 北 / 貝 c	浅伏縁。平行沈面文。網文刷。	76.8	Po27
9	鉢	B1df	X.III	南3	D.68 北 / 貝 c	平縁+ヘラ彫且。側+対の小空柱。沈面文	76.9	Po2022
10	深鉢	B1def	蝶+蝶	南3	D.53 南 / 貝 c1~2+M bl 2~3 / M a	口径221cm)。平縁+ヘラ彫且+側+対の小空柱8箇所。貴飾の把手。口羽部内面沈面文。底部付音メガネ状浮文。平行沈面文。網文刷。	76.11	Po71
11	鉢	C2e	蝶	南3	D.68 南 / 貝 c+貝 a+b	浅伏縁。底羽部沈面文。平行沈面文。雲形文。網り消し網文。3単位。平行沈面文。底部付音メガネ状浮文。平行沈面文。網文刷。	76.12	Po2758
12	深鉢	Alf	蝶?	南3	D.59 / 貝 c	平縁+山形彫起。雲形文。網り消し網文。少。網文LR	76.10	Po1294
13	四脚付鉢	-	蝶	南3	D.54 北 / 貝 d 1~2	芸乳文。網り消し網文。平行沈面文。雲形文。網文LR+R刷加査	76.13	Po192
14	深鉢	B1d	蝶+蝶	南3	D.68 北 / 貝 c	平縁+ヘラ彫且。メガネ状浮文。平行沈面文。雲形文。網文刷。	76.14	Po2769
15	皿	A1bd	蝶	南3	D.54 北 / 貝 d 1~2	平縁+ヘラ彫且。浅伏浮面文。沈面文。雲形文。網り消し網文。	76.15	Po191
16	皿	A1bd	蝶	南3	D.54 北 / 貝 d 2	平縁+ヘラ彫且。浅伏浮面文。沈面文。雲形文。網り消し網文。	76.16	Po198
17	皿	A1cf	蝶	南3	D.68 南 / 貝 c	平縁+ヘラ彫且。浅伏浮面文。口部底不規。平行沈面文。雲形文。網り消し網文。	76.17	Po2796
18	皿	A1M	蝶	南3	D.55 東 / 貝 c	平縁+山形彫起。手前状浮面文。平行沈面文。雲形文。網り消し網文。網文LR。外面部小影。口羽部内部内影	76.22	Po665
19	皿	A1cf	蝶	南3	D.68 南 / 貝 c / 貝 b + c	平縁+二脚+対の小空柱+口羽部底不規。平行沈面文。雲形文。網り消し網文。網文LR	76.18	Po2780

第83図 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（3）



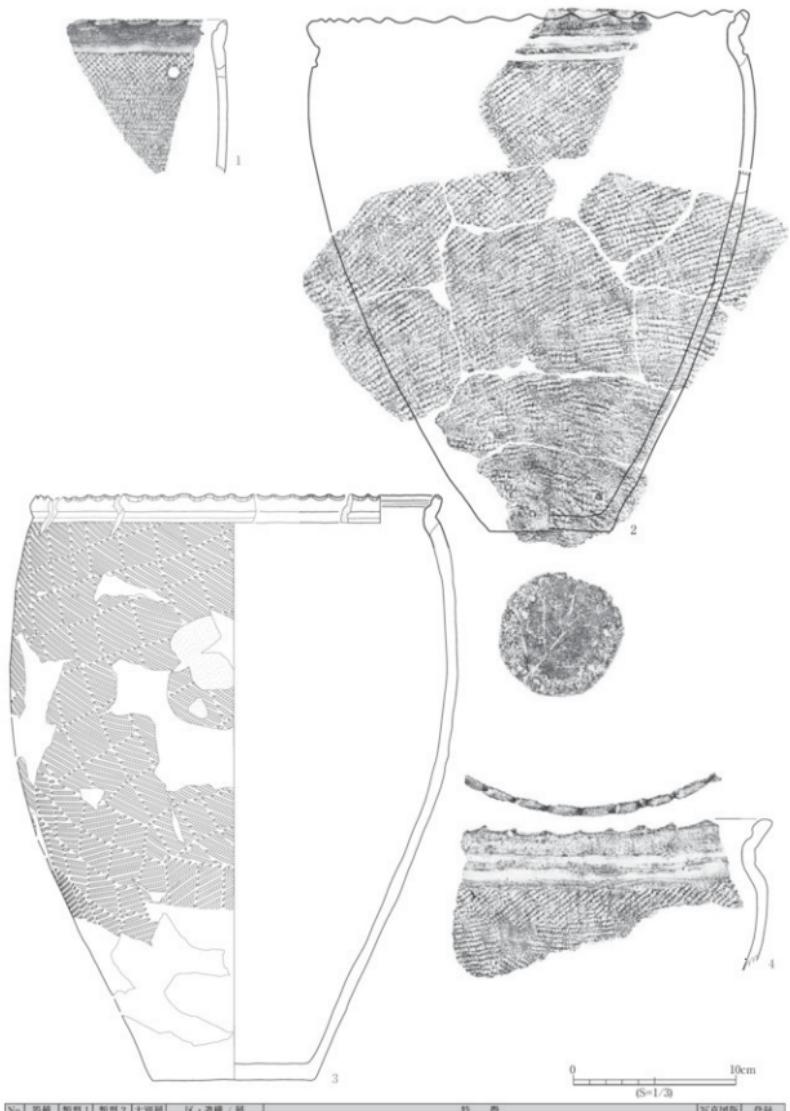
No.	器種	型別I	型別II	大柄斜	区・邊縁・切	特徴	写真図版	図版
1	盤	A1b	直	南3	D-54北 / 直42	平縁 + 扇面状浮雕文。雲形文(削り消し彫文)。縄文LR	26-19	Po275
2	盤	A1bd	直	南3	D-54北 / 直 d1 - 2	(H19.0cm)。器高(49cm)。底径12.6cm。平縁 + ハラ削目 + 扇面状浮雕文。平行沈綱文、雲形文(削り消し彫文)。平行沈綱文。縄文LR	26-21	Po284
3	盤	A1bdf	直	南3	D-68直 /	(H29.2cm)。平縁 + ハラ削目。山形突起4箇所 + 扇面状浮雕文。平行沈綱文、雲形文(削り消し彫文)4箇所、平行沈綱文。縄文LR	26-29	Po2783
4	盤	A1bd	直	南3	D-68北 / 直 d1	平縁 + ハラ削目 + 扇面状浮雕文。平行沈綱文、雲形文(削り消し彫文)。縄文LR。体部下内面沈綱文	26-20	Po287
5	盤	A1bdf	直	南3	D-68北 / 直 d1 - 2	平縁 + ハラ削目 + 扇面状浮雕文。平行沈綱文、雲形文(削り消し彫文)。縄文LR。体部下内面沈綱文	26-23	Po2770
6	盤	A1b	直	南3	D-53南 / 直 cl - 2	平縁 + 扇面状浮雕文。雲形文(削り消し彫文)。縄文LR。内面赤彩	26-25	Po26
7	盤	-	縦 + 傾	南3	D-68北 / 直 cl - 2	体部最大径(25.6cm)。底径9.3cm。メガリ状浮雕文。一対の始胎突起。雲形文(削り消し彫文)。平行沈綱文。縄文LR	26-24	Po269
8	器	-	直	南3	D-54北 / 直42	雲形文(削り消し彫文)。平行沈綱文。前・後多条横文LR	76-26	Po277
9	注入器	-	直	南3	D-54北 / 直 cl - 2	雲形文(削り消し彫文)。平行沈綱文。前・後多条横文LR	76-27	Po284
10	注入器	B1ac	直	南3	D-68直 / 貝1 - 2	平縁 + 山形起(底部削み) + X字浮文 + 突起の平行短沈綱文 + U字部沈綱。平行沈綱文、跡各状雲形文(削り消し彫文)。縄文LR	76-28	Po2797
11	注入器	Cla	XV	南3	D-54北 / 貝 d1 - 2	平縁 + X字浮文	77-1	Po188
12	注入器	B1ac	X II a	南3	D-54北 / 直 cl - 2	平縁 + ハラ削目 + X字状浮文 + U字部沈綱。平行沈綱文	77-2	Po183
13	深鉢	B1d	X II a	南3	D-68直 /	(D19.22cm)。器高21.4cm。底径6.7cm。平縁 + ハラ削目。平行沈綱文 + 縮面状削目 + 平行沈綱文。底部少 量。縄文LR。口縁部全面沈綱。内面赤化強付	77-12	Po2806
14	深鉢	B1df	X III	南3	D-54北 / 直 d1 - 2	平縁 + ハラ削目 + 二対の小突起。沈綱文。直段多条横文LR	77-3	Po199
15	深鉢	B1ed	X II a	南3	D-68直 / 貝1	平縁 + ハラ削目 + 口沿部沈綱。扇面状削目。平行沈綱文。縄文LR末端部強調	77-3	Po2760

第84図 C丘陵南斜面a包含層(西侧) 出土土器(4)



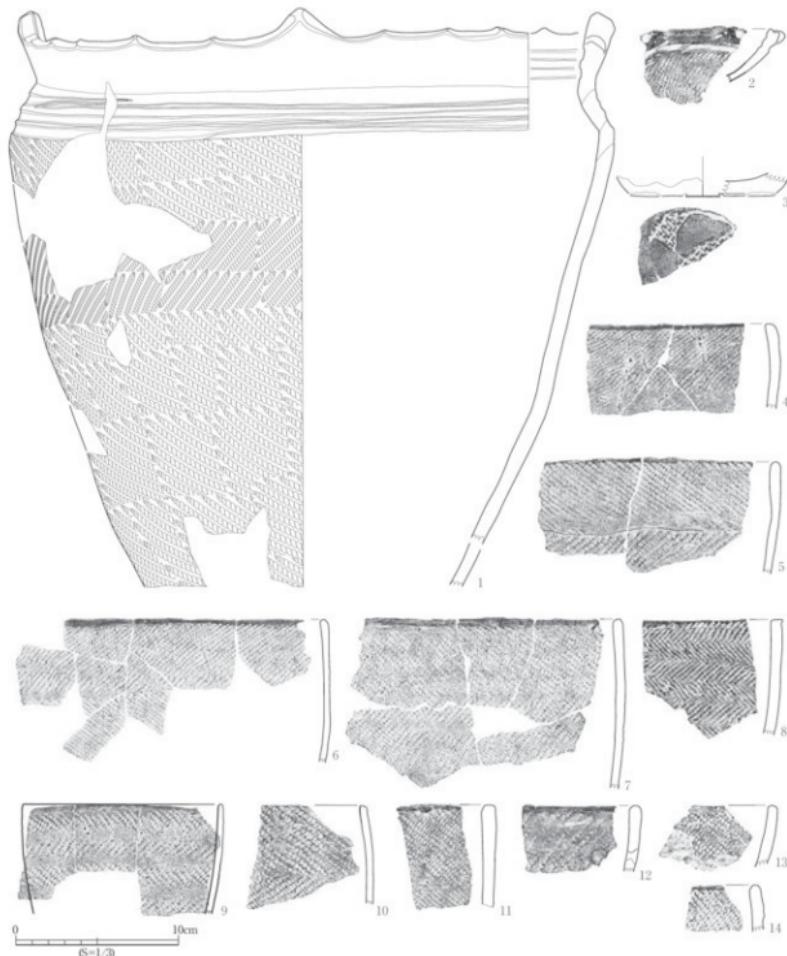
No.	器種	形態	大型別	区・道種・期	特徴	写真図版	出目
1	深鉢	Bled	XⅢ	南3 D54南・M d1・2+M c1・2	口径(22.5cm)、高さ25.3cm、底径6.4cm。平縁+ヘラ削刃+口沿部沈痕。沈痕文。直前段多条縦文LR	77.13	Pu205
2	鉢	Bled	XⅢa	曲3 D68南・M c	平縁+ヘラ削刃+口沿部沈痕。施画状況Ⅱ。平行沈痕文。羽状彫文LR-LR	77.8	Pu2793
3	深鉢	B1df	XⅢ	曲3 D68南・M c	平縁+ヘラ削刃+二箇 対の山形突起。平行沈痕文。縦文LR。口縁部内部沈痕	77.4	Pu2792
4	鉢	C1	XⅢ	曲3 D54北・M d1・2	平縁。平行沈痕文。網突列	77.9	Pu287
5	深鉢	B1cf	XⅢ	曲3 D54北・M d1・2	平縁+ヘラ削刃+二箇 対の山形突起。口沿部沈痕。平行沈痕文。縦文LR 末端部強調	77.6	Pu200
6	深鉢	Bled	XⅢ	曲3 D68南・M c	平縁+ヘラ削刃+口沿部沈痕。沈痕文。羽状彫文LR。口沿部強調	77.5	Pu2791
7	深鉢	A1ed	XⅢa	曲3 D54北・M d1	平縁+ヘラ削刃+口沿部沈痕。平行沈痕文。縦文LR	77.10	Pu201
8	深鉢	Bled	XⅢ	曲3 D68北・M c	平縁+ヘラ削刃+口沿部沈痕。平行沈痕文。縦文LR	77.11	Pu2824
9	深鉢	B1df	XⅢ	曲3 D54北・M d2	平縁+ヘラ削刃+二箇 対の小突起。平行沈痕文。縦文LR	77.16	Pu276
10	深鉢	C1	XⅢb	曲3 D68南・M c+M b	口径(20.1cm)。高さ20.2cm、底径5.9cm。平縁。底部ナゲ。あるいは上げ底。羽状彫文LR-RL 端部強調	78.1	Pu279
11	鉢	A1	XⅢb	曲3 D59・M c+c	口縁(8.8cm)。体部最大径(15.0cm)。平縁。羽状彫文(前段多条)LR-LR	77.18	Pu293
12	深鉢	B1ee	D d	曲3 D68南・M c+M b	平縁+山形突起+突起部沈痕。『文字+網突列』。平行沈痕文。縦文LR	77.14	Pu2801
13	鉢	A2	X?	曲3 D59・M b	波状縁。『文字+網突列』。平行沈痕文。縦文LR	77.19	Pu2887
14	鉢(台付少)	A1c	B b	曲3 D68南・M c	平縁+口沿部強調。『文字(透き表記)』。二箇 対の貼瘤	77.15	Pu287
15	深鉢	C2c	XⅢ	曲3 D68南・M c	波状縁。平行沈痕文。縦文LR。口縁部内部沈痕	77.17	Pu2790
16	深鉢	B2c	XⅢ	曲3 D54南・M d1・2+M c1・2	波状縁+口沿部沈痕。沈痕文。直前段多条縦文LR	77.20	Pu206

第85図 C丘陵南斜面a包含層(西侧) 出土器(5)



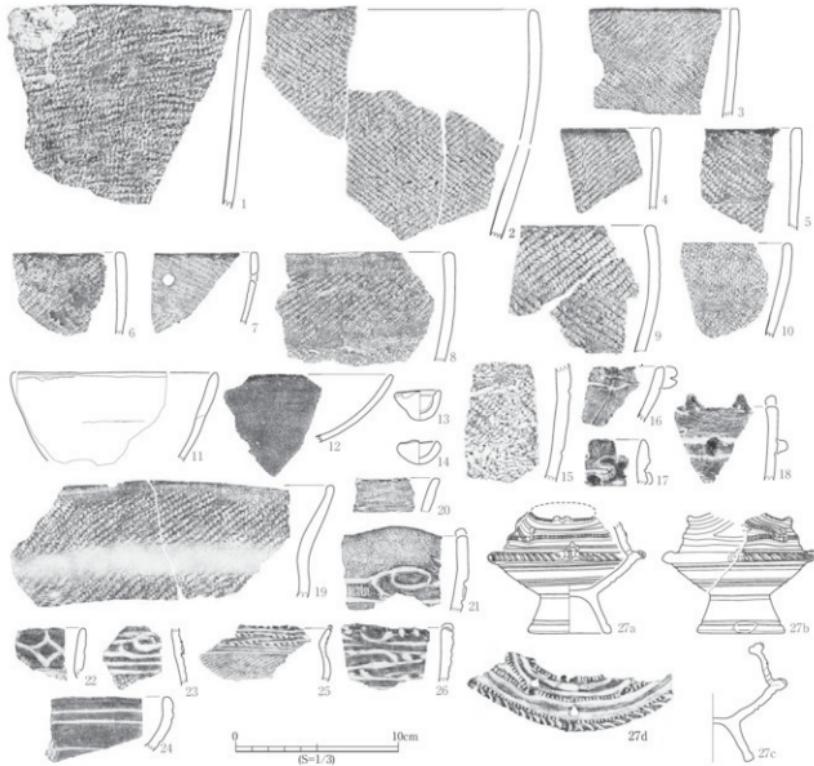
No.	器種	類型1	類型2	大綱別	K・道標・附	特徵	写真版面	登録
1	深鉢	H2	XⅢ	曲3	D-68 南 / M c	波状縁、沈縫文。縹文LR。口縁部内面沈縫。補修孔1。外面灰化物付着	78-2	Pu2789
2	深鉢	H2c	XⅢ	曲3	D-54 北 / M d1 · 29.1 d1-d2+ · M c2	口縫 (26.4cm)。器高 31.3cm。底径 7.3cm。波状縁 + 口縫部沈縫。沈縫文。縹文LR。底部木炭痕	78-8	Pu297
3	深鉢	H2c	XⅢ	曲3	D-68 北 / M c+ M b+	口縫 (24.6cm)。器高 36.1cm。底径 (9.9cm)。波状縁 + 口縫部沈縫。沈縫文。底部ナラ。縹文LR	79-1	Pu2993
4	深鉢	H2	XⅢ (b)	曲3	D-54 南 / M d1 - 2	波状縁、縹文LR。口縁部内面沈縫	78-3	Pu222

第86図 C丘陵南斜面a包含層(西侧) 出土土器 (6)



No.	器種	形態1	形態2	大きさ	記・造形・則	特徴	写真図版	目録
1	深鉢	B2ce	X II x	曲3	D46.8 高 直x 突b + c x 突b	111H 34.8cm。底状縁+山筋突起4単位+底筋部浅縫。平行沈縞文。羽状縞文 RL/LR。口縁部内面平行沈縞文。	80-1	Po2815
2	浅鉢	A1ef	X 突	曲3	D46.8 高 / Vt c	平縁+一個、対の小突起+口沿部浅縫。沈縞文。圓文 LR	78-4	Po2804
3	瓶部	-	-	曲3	D54 高 / Vt d - 2	底部細長の一筋土貼付→ミガキ	78-5	Po2809
4	深鉢	A1	X B' a1	曲3	D46.8 高 / Vt c	平縁。圓文 LR	78-6	Po2820
5	深鉢	A1	X B' a2	曲3	D46.8 高 / Vt c	平縁。羽状縞文 RL/LR 未端部強調。外面灰化物付着	78-7	Po2825
6	深鉢	A1	X B' a2	曲3	D59.9 直c + e	平縁。羽状縞文 LR+RL 未端部強調	79-2	Po3302
7	深鉢	A1	X B' a2	曲3	D59.9 直c + e	平縁。羽状縞文 RL/LR	79-3	Po3301
8	深鉢	A1	X B' a2	曲3	D53.8 直Vt c	平縁。羽状縞文 LR+RL	79-4	Po29
9	深鉢	A1	X B' a2	曲3	D59 直c + e	111H (12.2cm)。平縁。羽状縞文 RL/LR	79-5	Po297
10	深鉢	A1	X B' a2	曲3	D48.9 直Vt c	平縁。羽状縞文 RL/LR	79-6	Po2767
11	深鉢	A1	X B' a1	曲3	D46.8 高 / Vt c	平縁。圓文 RL 未端部強調	79-7	Po2826
12	深鉢	A1	X B' a1	曲3	D46.8 高 / Vt c	平縁。前2段多条縞文 LR。通称孔 I	79-8	Po2833
13	深鉢	A1	X B' a1	曲3	D55.4 直Vt c	平縁。圓文 RL	79-9	Po664
14	深鉢	A1	X B' a1	曲3	D59 / Vt b	平縁。圓文 RL	79-10	Po1315

第87図 C丘陵南斜面a包含層(西側) 出土土器 (7)



No.	器種	形態I	形態II	大きさ	K-遺構/剖	特徴	写真図版	母地
1	深鉢	A1	X'B' al	南3	D:54.北/V d 1-2	平縁。縄文LR	79-11	Pu179
2	深鉢	A1	X'B' al	南3	D:68.南/V c e-V b-c	平縁。表面縄文RL/LR	79-12	Pu2775
3	深鉢	A1	X'B' al	南3	D:59-V b	平縁。表面縄文LR/RL	79-13	Pu1314
4	深鉢	A1	X'B' al	南3	D:59-V c	平縁。表面縄文(前段多条)LR/RL	79-14	Pu1310
5	深鉢	A1	X'B' al	南3	D:68.北-V c	平縁。表面縄文RL/LR末端部斜面	79-15	Pu2616
6	深鉢	A1	X'B' al	南3	D:59-V c-e	平縁。縄文LR。外面焼化物付着	79-16	Pu1307
7	深鉢	A1	X'B' al	南3	D:59-V c-e	平縁。縄文LR。崩れ片	79-17	Pu1290
8	深鉢	A1	X'B' al	南3	D:68.南-V c	平縁。山形縄文LR/RL	80-2	Pu2776
9	深鉢	A1	X'B' al	南3	D:68.南-V c	平縁。表面縄文LR/RL	80-3	Pu2778
10	深鉢	A1	X'B' al	南3	D:68.南-V c	平縁。表面縄文RL-LR	80-4	Pu2782
11	浅鉢	A1	X'V	南3	D:68.南-V c	口径(126cm)。平縁	80-5	Pu2794
12	瓶	A1	XV	南3	D:59-V c-e	平縁	80-6	Pu1303
13	楕円土器鉢	A1	XV	南3	D:68.南-V c	口径2.5cm。器高1.8cm。丸底。平縁。底部ナデ	80-7	Pu2768
14	楕円土器浅鉢	A1	XV	南3	D:68.南-V c	口径2.2cm。器高1.5cm。丸底。平縁。底部ナデ	80-8	Pu2788
15	深鉢	-	-	南23	D:54.北-V cl-d2	前4段多条表面縄文RL	80-9	Pu221
16	鉢	A2	I B	南23	D:55.東-V b	波状縁。帯状文(縄文)・貼縫(底部横裂孔)。縄文LR	80-10	Pu674
17	鉢	A1	-	南23	D:54.北-V cl2	平縁か。メキキ底付文・贴縫。	80-11	Pu449
18	深鉢	A1	I Bb	南23	D:54.北-V cl-d2	平縁。山形起伏。帯状文(未調整)・貼縫	80-12	Pu215
19	深鉢	C1	X'B' al	南23	D:54.北-V cl-d2	平縁。縄文LR	80-13	Pu216
20	鉢か	A1	-	南23	D:59-V a2	平縁。垂直縦文	80-14	Pu1328
21	深鉢	A3	Il c	南23	D:54.南-V cl-3	波状縁。人面三叉文・椭圆状削目。沈縄文	80-15	Pu263
22	鉢	A1d	Il o	南23	D:59-V a2	平縁+へら削目。乙文	80-16	Pu1359
23	深鉢	-	Il c	南23	D:54.北-V cl	人面三叉文。平行沈縄文。縄文LR	80-17	Pu511
24	浅鉢	A1	X'B' x	南23	D:54.北-V cl-3	平縁。平行沈縄文	80-18	Pu269
25	鉢	Cldf	N	南23	D:59-V a2	平縁+へら削目+一個一对の小穴鉤。平面状文。平行沈縄文。縄文LR	80-19	Pu1344
26	鉢	A1df	N	南23	D:59-V a2	平縁+へら削目+突起(手形孔)。平面状文。平行沈縄文	80-20	Pu1322
27	杏型土器	-	X'B' a	南23	D:54.北-V cl	器高7.4cm。体積最大縦(9.4cm)、横径5.2cm。ヘラ削目+二個一对の小穴鉤+口沿花彫刻。平行沈縄文+ヘラ削目。削痕にある削目+山形突起(底部剥離)。台部平行沈縄文。貞孔4孔	80-21	Pu496

第88図 C丘陵南斜面a包含層(西侧) 出土土器(8)



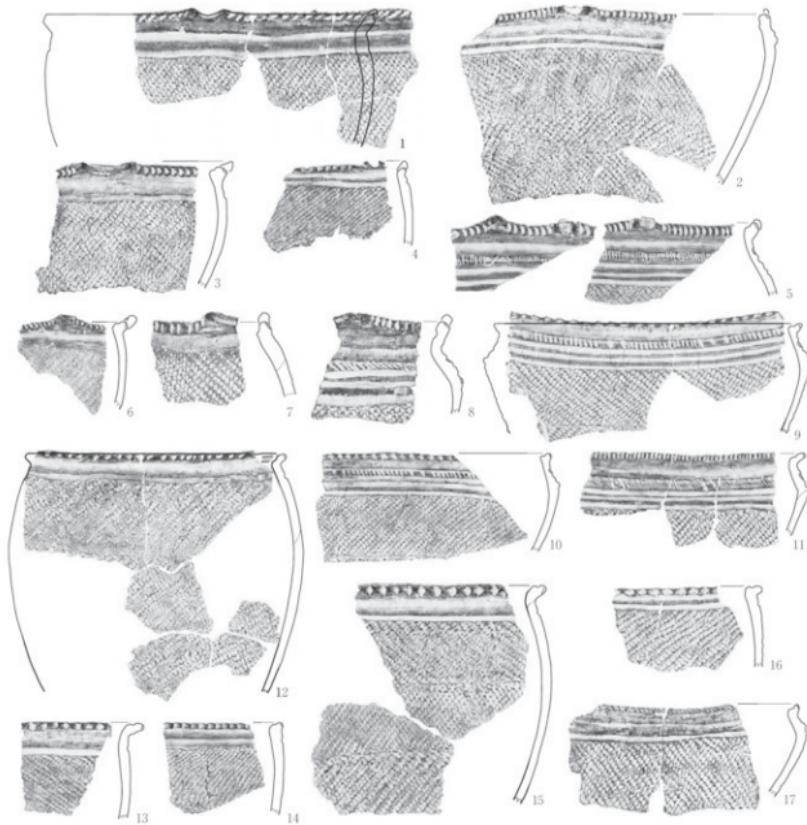
No.	形態	形態型	形態型2	大羽明	区・標	特徴	写真版	目録
1	鉢	-	B	直2B	D-59 / VI-a-d	浅く縦に走る凹凸状。沈文類。ヘラ削目	80-22	Pn397
2	鉢	DL	B+V	直2B	D-59 / VI-a2	平縁。平行沈文。雲形文。平面文。横段。雲形文	80-23	Pn1248
3	鉢	-	V	直2B	D-68 直 / VI-b	メガネ状浮文。一対の小突起。長い縦の貼付。平行沈文。雲形文。平行沈文	80-24	Pn2837
4	深鉢	Ald	V	直2B	D-68 北 / VI-b	平縁。ヘラ削目。到着。雲形文。雲形文(削り消し沈文)。圓文LR	80-25	Pn2668
5	鉢	Alef	V+V	直2B	D-59 / VI-a2	平縁。ヘラ削目。一個の小突起。風呂底沈文。圓文LR	80-26	Pn3118
6	浅鉢	Aldf	V	直2B	D-68 北 / VI-b	平縁。ヘラ削目。到着。雲形文。平行沈文。雲形文(削り消し沈文)。圓文RL	80-27	Pn2685
7	鉢	Alef	V	直2B	D-54 北 / VI-c1	平縁。二個の小突起。風呂底沈文。平行沈文。雲形文(削り消し沈文)。圓文LR	80-28	Pn301
8	鉢	Aldf	V	直2B	D-54 北 / VI-c2	平縁。ヘラ削目。一個の小突起。到着。平行沈文。圓文LR	80-29	Pn450
9	深鉢	Ale	XII x	直2B	D-68 北 / VI-b	平縁。通底風呂底沈文。圓文LR	80-30	Pn2690
10	鉢	Aldf	XII x	直2B	D-54 南 / VI-c1-3	平縁。一個の小突起。平行沈文。圓文LR	80-31	Pn267
11	深鉢	Blef	XII x	直2B	D-68 北 / VI-b	平縁。ヘラ削目。一個の小突起。平行沈文。圓文LR	81-5	Pn2642
12	鉢	Blef	V	直2B	D-68 北 / VI-b+V	平縁。ヘラ削目。山形状突起。平行沈文。圓文(削り消し沈文)。平行沈文。雲形文(削り消し沈文)。圓文LR	81-6	Pn2676
13	鉢	Bld	+V	直2B	D-59 / VI-a2+VI-a-e	平縁。ヘラ削目。平行沈文。メガネ状浮文。到着。地殻。さきい上火坑。圓文LR	81-4	Pn323
14	鉢	Blef	W	直2B	D-64 北 / VI-c1-2	平縁。ヘラ削目。山形突起。平行沈文。圓文(削り消し沈文)。圓文LR	81-6	Pn477
15	鉢	Blef	+V	直2B	D-54 北 / VI-c1	平縁。横筋状浮文。一個の小突起。平行沈文。圓文(削り消し沈文)。平行沈文。雲形文(削り消し沈文)。圓文LR	81-7	Pn497
16	鉢	Blef	V	直2B	D-54 北 / VI-c1	平縁。一個の小突起。平行沈文。平行沈文。雲形文(削り消し沈文)。平行沈文。圓文LR	81-15	Pn490
17	鉢	AH	V	直2B	D-54 北 / VI-c2	平縁。一個の小突起。平行沈文。雲形文(削り消し沈文)。圓文LR。口縁部内面沈文	81-8	Pn447
18	浅鉢	Blef	V	直2B	D-68 北 / VI-b	波状底。+V突起。波状底沈文。平行沈文。雲形文(削り消し沈文)。平行沈文。圓文LR	81-10	Pn2644
19	浅鉢	Bf2	V	直2B	D-68 北 / VI-b	波状底。+V突起。波状底沈文。平行沈文。雲形文(削り消し沈文)。平行沈文。圓文LR	81-9	Pn2653
20	鉢	Blef	V	直2B	D-54 北 / VI-c2	平縁。ヘラ削目。山形突起。メガネ状浮文。圓文(削り消し沈文)。圓文LR	81-11	Pn455
21	浅鉢	Clef	V	直2B	D-68 南 / VI-b	平縁。ヘラ削目。山形突起。平行沈文。圓文(削り消し沈文)。平行沈文。ヘラ削目。平行沈文。圓文(削り消し沈文)。圓文LR。口縁部内面	81-12	Pn2835
22	鉢	Ald	-	直2C	D-54 北 / VI-c2-2	平縁。ヘラ削目。平行沈文。尖状根状人相沈文。平行沈文。尖状根状人相沈文。平行沈文。圓文LR	81-13	Pn470
23	深鉢	A2	-	直2B	D-53 北 / VI-c2	直底。平行沈文。圓文(削り消し沈文)	81-14	Pn613
24	鉢	Alef	V	直2B	D-54 北 / VI-c1-2+VI	134×24.4cm、高さ6.3cm。底径(13.4cm)。平縁。+山形突起12箇所+口縁部沈文。平行沈文。雲形文(削り消し沈文)。圓文LR	81-15	Pn217
25	鉢	AH	V	直2B	D-59 / VI-a2	平縁。一個の小突起。平行沈文。雲形文(削り消し沈文)。圓文LR	81-19	Pn3273
26	鉢	Albef	V	直2B	D-54 南 / VI-c3	平縁。ヘラ削目。山形突起。平行沈文。雲形文(削り消し沈文)。平行沈文。圓文LR	81-18	Pn274
27	鉢	Alef	V	直2B	D-54 北 / VI-c1	平縁	81-16	Pn534

第89図 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土器（9）



No.	器種	類型	形態	大別別	區・遺構・期	特徴	写真図版	登録
1	盤	Albd	盤	南2D	D54北 / M1c	平縁+ヘラ刷目+山形突起+波状浮縁文。平行沈縁文。雲形文(削り消し縫文)、平行沈縁文。縫文LR。体部下半内面陳留目+光燒痕上付。	81-17	Po633
2	盤	Albd	盤	南2B	D58北 / M1b	平縁+ヘラ刷目+波状浮縁文。平行沈縁文。雲形文(削り消し縫文)、縫文LR。	81-21	Po2655
3	盤	Albdf	盤	南2B	D59 / M1a	平縁+ヘラ刷目+波状浮縁文。平行沈縁文。雲形文(削り消し縫文)、縫文LR。	81-22	Po1274
4	盤	Albd	盤	南2B	D59 / M1a	平縁+ヘラ刷目+波状浮縁文。平行沈縁文。雲形文(削り消し縫文)、縫文LR。	81-23	Po1247
5	盤	Albd	盤	南2B	D59 / M1a	平縁+ヘラ刷目+波状浮縁文。平行沈縁文。雲形文(削り消し縫文)、縫文LR。内外面部影	81-20	Po1289
6	盤	Alclf	盤	南2B	D59 / M1a~M1b~c	平縁+ヘラ刷目+波状浮縁文。平行沈縁文。雲形文(削り消し縫文)、平行沈縁文。縫文LR、縫文上付。縫文LR。	81-2	Po1371
7	盤	Albd	盤	南2B	D68曲 / M1b~c	平縁+ヘラ刷目+波状浮縁文。平行沈縁文。雲形文(削り消し縫文)。平行沈縁文。縫文LR。体部下半内面陳留目+光燒痕上付。	81-25	Po2830
8	盤	Ale	盤	南2B	D54北 / M1c	平縁+ヘラ刷目。沈縁文。雲形文(削り消し縫文)。縫文LR。	81-24	Po634
9	盤	Albd	盤	南2B	D59 / M1a2	平縁+ヘラ刷目+波状浮縁文。平行沈縁文。雲形文(削り消し縫文)。前二段多肉縫文LR。	81-26	Po1368
10	盤	Albd	盤	南2B	D54北 / M1a2	平縁+ヘラ刷目+波状浮縁文。平行沈縁文。雲形文(削り消し縫文)。平行沈縁文。縫文LR。体部下半内面沈縫目+光燒痕上付。	81-29	Po642
11	盤	Albd	盤	南2B	D59 / M1a2	平縁+ヘラ刷目+波状浮縁文。平行沈縁文。雲形文(削り消し縫文)。平行沈縁文。縫文LR。各部下半内面陳留目+光燒痕上付。	81-27	Po1362
12	盤	Albdf	盤	南2B	D54北 / M1c	平縁+ヘラ刷目+山形突起+波状浮縁文。平行沈縁文。雲形文(削り消し縫文)。縫文LR。体部下半内面陳留目+光燒痕上付。	81-30	Po695
13	盤	Alclf	盤	南2B	D68北 / M1b	平縁+ヘラ刷目+二脚の山形突起+突起四周沈。平行沈縁文。雲形文(削り消し縫文)。縫文LR+鋸切斜条。縫文上付。縫文上付内面沈縫。	81-31	Po2677
14	浅口盤	-	盤	南2B	D54北 / M1c	雲形文(削り消し縫文)。直縁目+波状浮縁文。	81-32	Po658
15	浅口盤	-	盤	南2B	D68北 / M1b	平行沈縁文。雲形文(削り消し縫文)。直縁目+波状浮縁文。	81-33	Po2606
16	浅口盤	-	盤	南2B	D54北 / M1c	雲形文(削り消し縫文)。平行沈縁文。縫物。ヘラ刷目+波状浮縁文。平行沈縁文。縫物。	81-28	Po697
17	浅口上器	-	盤	南2B	D50 / M1a2	雲形文(削り消し縫文)。平行沈縁文。縫物。ヘラ刷目。二脚の小突起(手前脚)。雲形文(削り消し縫文)。縫文上付。	81-34	Po1287
18	浅口上器	-	盤	南2B	D54北 / M1c~d2	雲形文(削り消し縫文)。小。縫帶+ヘラ刷目。通縫底+波状浮縁文。ヘラ刷目平行沈縁文。縫文上付。	81-35	Po2220
19	浅口上器	-	盤	南2B	D54北 / M1c	平行沈縁文。雲形文(削り消し縫文)。直縁目+平行沈縁文。縫物。	81-36	Po224
20	浅口上器	Blclf	X II x	南2B	D54北 / M1c	平縁+ヘラ刷目+通縫底+波状浮縁文。縫物。平行沈縁文。雲形文(削り消し縫文)。斜行する平行沈縁文+口沿部沈縫。平行沈縁文。	81-41	Po630
21	深钵	Cld	X II x	南2B	D54北 / M1c	平縁+ヘラ刷目+二脚一对的小突起。口沿部沈縫。沈縫文。雲形文。	81-37	Po2678
22	深钵	Cld	X II x	南2B	D54北 / M1c	平縁+ヘラ刷目。平行沈縁文。縫物。	81-38	Po265

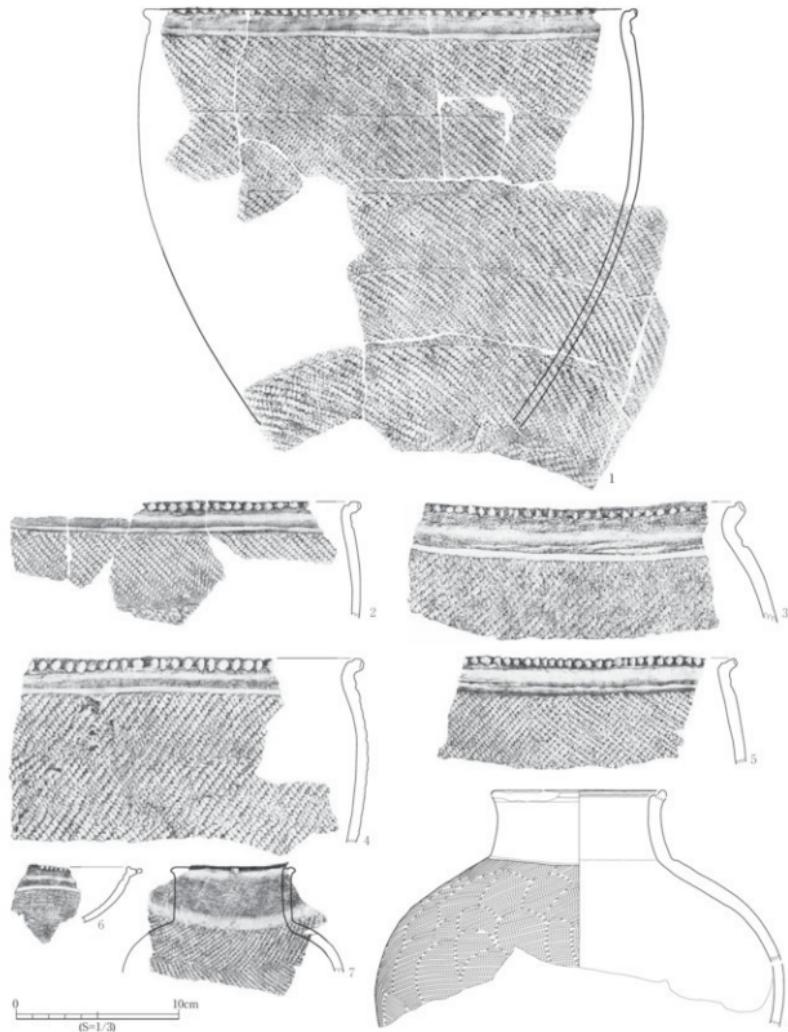
第90図 C丘陵南斜面a包含層(西側) 出土土器(10)



0 10cm
S=1/3

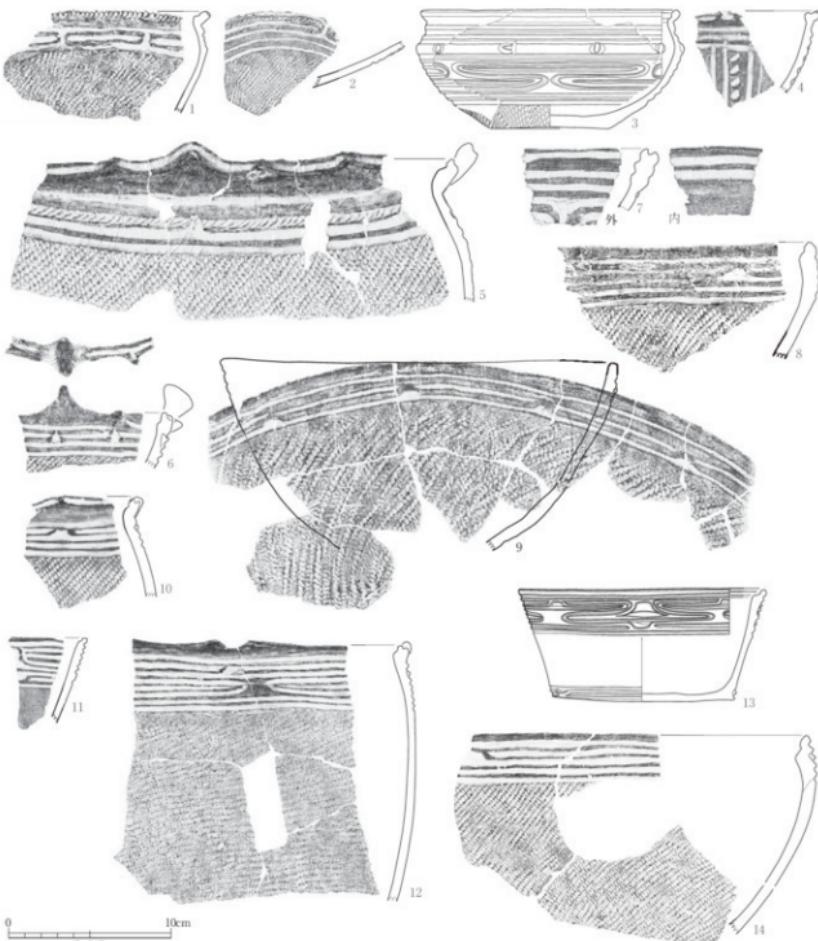
No.	器種	類型1	類型2	大別期	區・遺構・層	特徵	写真図版	登録
1	深鉢	Bldf	X II x	南2B	D68北 / 貝 h	口徑 (19.7cm)。平縁 + ヘラ縁目 + 二個の山形突起。平行沈織文。縄文LR。口縁部内面沈継。外面化物付着	81-42	Pn2682
2	鉢	Aldoff	X N h	南2B	D54南 / 貝 d	平縁 + ヘラ縁目 + 二個の山形突起 + 口沿部沈継。羽状横文SL+LR。炭化物付着 (口縁部外側・内面)	81-40	Pn261
3	深鉢	Bldff	X B	南2B	D54北 / M cl	平縁 + ヘラ縁目 + 二個の山形突起 + 口沿部沈継。縄文。羽状横文LR+RL	81-43	Pn2602
4	深鉢	Bldff	X B x	南2B	D46北, 目 h	平縁 + ヘラ縁目 + 二個の山形突起 + 口沿部沈継。縄文。羽状横文LR+RL	81-39	Pn2611
5	深鉢	Bldff	X B a	南2B	D68北, 目 h	平縁 + ヘラ縁目 + 二個の山形突起 + 口沿部沈継。縄文。羽状横文LR+RL	81-45	Pn2609
6	深鉢	Bldff	X B b	南2B	D68北, 目 h	平縁 + ヘラ縁目 + 二個の山形突起 + 口沿部沈継。縄文LR	81-44	Pn2671
7	深鉢	Aldoff	X B b	南2B	D68南, 貝 h	平縁 + 橢圓形刻目 + 二個の山形突起 + 口沿部沈継。縄文LR	82-2	Pn2616
8	深鉢	Bldff	X II a	南2B	D39, M ag	平縁 + ヘラ縁目 + 二個の山形突起 + 口沿部沈継。縄文LR	82-4	Pn1340
9	深鉢	Bldff	X II a	南2B	D34北, M cl + M ag	口径 (22.3cm)。平縁 + ヘラ縁目 + 口沿部沈継。平行沈織文 + 縱溝状刻目 + ヘラ縁目。縄文LR。口縁部内面沈継	82-3	Pn2638
10	深鉢	Bldff	X II a	南2B	D54北, M cl	平縁 + ヘラ縁目 + 口沿部沈継。平行沈織文 + 縱溝状刻目 + 口沿部沈継。縄文LR	82-5	Pn2618
11	深鉢	Bldff	X II a	南2B	D68北, M h + M a	平縁 + ヘラ縁目 + 口沿部沈継。平行沈織文 + 縱溝状刻目 + 口沿部沈継。縄文LR	82-6	Pn2670
12	深鉢	Bldf	X B	南2B	D68北 / M h	口径 (15.8cm)。平縁 + ヘラ縁目 + 口沿部沈継。縄文LR	82-1	Pn2688
13	深鉢	Bldf	X B	南2B	D59 / M a	平縁 + ヘラ縁目 + 口沿部沈継。縄文。縄文LR	82-7	Pn1346
14	深鉢	Bldf	X II x	南2B	D68南 / M h	平縁 + ヘラ縁目 + 口沿部沈継。平行沈織文。縄文LR	82-8	Pn2633
15	深鉢	Bldf	X B	南2B	D68北 / M h	平縁 + ヘラ縁目 + 口沿部沈継。平行沈織文。羽状横文LR+RL。縄文LR未端部強調	82-10	Pn2663
16	深鉢	Bldf	X B	南2B	D59 / M a	平縁 + ヘラ縁目 + 口沿部沈継。縄文LR	82-9	Pn1355
17	鉢	Bldc	X II x	南2B	D59 / M a	平縁 + 縦溝 + 口沿部沈継。平行沈織文。縄文RL	82-11	Pn1345

91図 C丘陵南斜面A包含層(西側) 出土土器 (11)



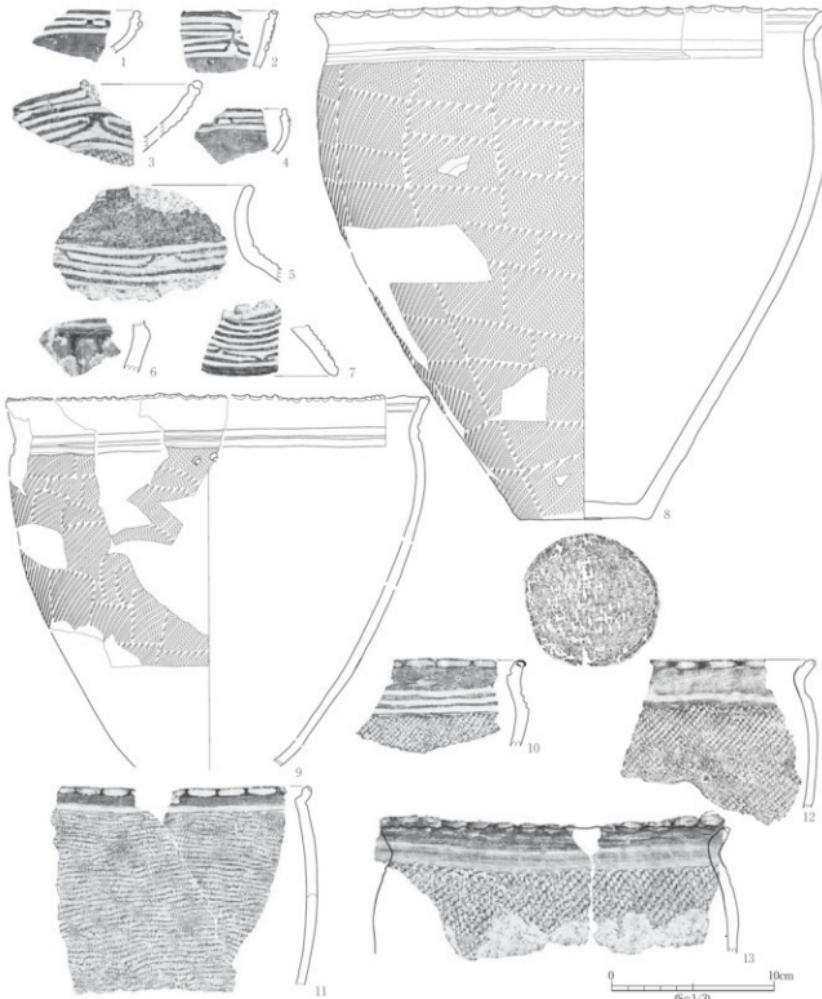
器種	類型	類型2	大寫符	區・邊緣 / 脊	特徵	寫真圖號	登錄
1 漆鉢	Bled	XⅡ	曲2B	D54 北 / 脊 cl + 脊 b	口徑 (29.0cm)。平緣 + 八卦規口 + 口沿部光面。沈海文。圓文 LR。末端部微溝	82-14	Po482
2 漆鉢	Bled	XⅡ	曲2B	D68 北 / 脊 b	平緣 + 八卦規口 + 口沿部光面。沈海文。圓文 LR。LR区末端部強調	82-12	Po2631
3 漆鉢	Bled	XⅡ	曲2B	D54 南 / 脊 cl	平緣 + 八卦規口 + 口沿部光面。沈海文。圓文 LR	82-13	Po30
4 漆鉢	Bled	XⅡ	曲2B	D54 北 / 脊 cl	平緣 + 八卦規口 + 口沿部光面。沈海文。圓文 LR 圓文	83-4	Po539
5 漆鉢	Bled	XⅡ	曲2B	D54 北 / 脊 cl-d2	平緣 + 八卦規口 + 口沿部光面。沈海文。圓文 LR 圓文	83-5	Po222
6 陶鉢	Bleff	XⅡ x	曲2B	D39 / VI a2	平緣 + 八卦規口 + 一個對小突起 + 口沿部光面。平行沈海文。口緣強、底部下方內面沈海文	83-6	Po363
7 鉢	Elc	XⅧ b2	曲2B	D68 南 / 脊 b + 脊 a + b	平緣 + 口沿部光面。前底強 LR / RL	83-7	Po286
8 鉢	Gle	XⅧ b1	曲2B	D54 南 / 脊 c2 + 脊 b	口徑 (10.8cm)。底部最大徑 (25.0cm)。平緣 + 口沿部沈海文。圓文 LR	83-1	Po380

第92圖 C丘陵南斜面a包含層(西側) 出土器物 (12)



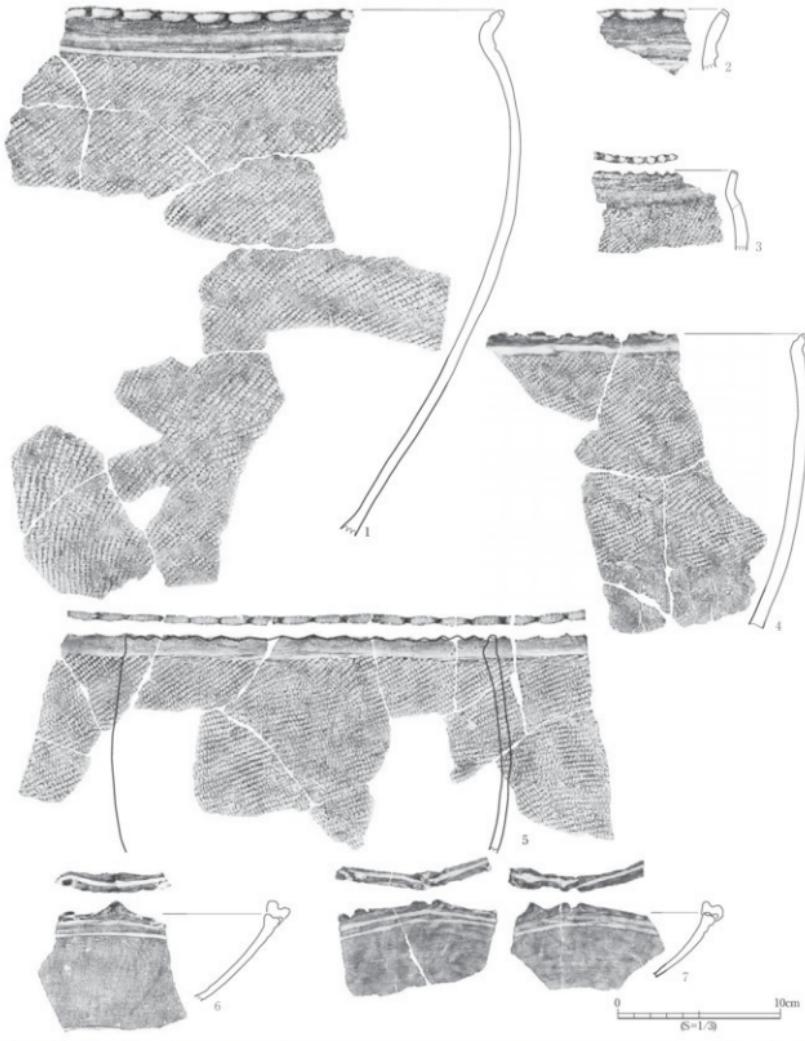
No.	器種	型別1	型別2	大形別	区・道場・相	特徴	写真版	登録
1	鉢	Bled	X	南2B	D-54 南・見cl.2	平縁+ヘラ別口+口唇部沈縫。工字文(メガネ状)。綱文LR	83-8 Po203	Po448
2	浅鉢	-	X	南2B	D-54 北・見cl.2	工字文(織り目消し彫文)。平行沈縫文。綱文LR	83-9 Po1330	Po233
3	浅鉢	Bl	X	南2B	D-54 南・見cl.2	口径(15.6cm)。器高7.3cm、瓶径7.2cm。平縁。平行沈縫文。流水工字文4単位。綱文LR。底部ミガキ。	83-3 Po233	Po233
4	鉢	Blef	-	南2B	D-68 南・見b+c	直状縫合+一組、対の山形突起+口唇部沈縫。平行沈縫文。縫合の平行沈縫文+ヘラ別口。綱文LR。	83-10 Po2813	Po544
5	深鉢	B2orf	X d	南2B	D-54 北・見cl.1 cl.2	直状縫合+山形突起(大)の両側に山形突起(小)+尖起部沈縫+口唇部沈縫。工字文。綱文LR。	83-11 Po1330	Po233
6	鉢	Aleef	I X a	南2B	D-54 南・見cl.3	平縁+直状突起+小尖起+口唇部沈縫。工字文。綱文LR。口縁部内面沈縫	83-14 Po264	Po264
7	鉢	Ale	I X a	南2B	D-59・VI a2	平縁+1層網目状沈縫。平行沈縫文。工字文(透き表現)。小・口縁部内面平行沈縫文	83-13 Po1330	Po265
8	鉢	A1	I X a	南2B	D-55 南・見 b	平縁。工字文。綱文LR。内外面沈縫物付着	83-12 Po669	Po669
9	鉢	A1	I X a	南2B	D-55 東・見 b	口径24.6cm。工字文8単位。綱文LR+R附加条	83-2 Po668	Po668
10	深鉢	Blef	I X a	南2B	D-68 南・見 b	平縁+山形突起+尖起部沈縫。工字文。平行沈縫文。綱文LR。口縁部内面沈縫。外面沈縫物付着	83-15 Po2825	Po2825
11	鉢	Ale	I X a	南2B	D-68 南・見 b	平縁+1層網目状沈縫。工字文。透き表現	83-16 Po2843	Po2843
12	深鉢	Blef	I X a+X	南2B	D-68 南・見 b	平縁+1組山形突起。尖起部沈縫。工字文。平行沈縫文。綱文LR。口縁部内面沈縫	84-2 Po2828	Po2828
13	浅鉢	Ale	I X a+X	南2B	D-68 南・見 b	口径(15.0cm)。器高7.0cm、瓶径(11.1cm)。平縁+口唇部沈縫。工字文4単位+工字文1単位+工字文(透き表現)4単位。瓶部付着云々工字文(透き表現)4単位。底部ミガキ	84-1 Po2829	Po2829
14	鉢	A1	I X a	南2B	D-68 南・見 b	平縁。工字文。平行沈縫文。綱文LR	84-3 Po2830	Po2830

図93C 丘陵南斜面a包含層(西側) 出土器(13)



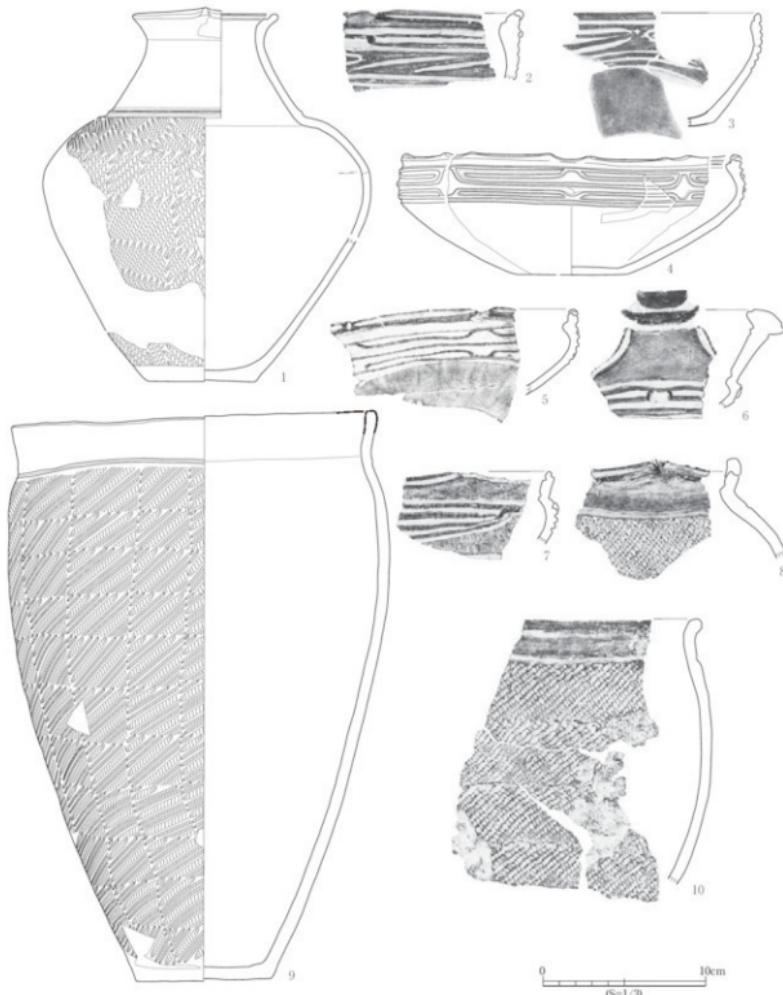
No.	器種	形態1	形態2	大きさ	区・基層・層	特徴	写真図版	登錄
1	深鉢	A1	B.c	南201	D-68 南 / M.b+c	平縁。#字文+二割一対の貼縫。口縁部内面沈縫。	844 Po283	
2	鉢	A1ef	B.a+N	南201	D-68 南 / M.b	平縁+押出し+1割部沈縫。#字文(透き表現)。工字文。#字文。口縁部内面沈縫。	845 Po287	
3	深鉢	A1ef	B.a	南201	D-59 / M.a2	平縁。二割一対の小贴縫+口付部沈縫。平行沈縫文。#字文。調文LR。口縁部内面沈縫。	846 Po1342	
4	鉢	A1c	B.c	南201	D-59 / M.a2	平縁+1割部沈縫。#字文。	847 Po1329	
5	鉢	G1	B.a	南201	D-59 / M.a2	平縁か。#字文。平行沈縫文。	848 Po1343	
6	鉢	-	-	南201	D-68 北 / M.b	沈縫文。縦凹の隠窓	849 Po266	
7	竹節	-	B.a	南201	D-54 南 / M.c2	平行沈縫文。#字文。#字文(透き表現)	850 Po40	
8	深鉢	B2	X.B	南201	D-68 北 / M.b+c	口縁(31.3cm)。器高35.5cm。灰丸80cm。波状縫。沈縫文。底部網代瓦。調文LR。外面部化物付	8413 Po2660	
9	深鉢	C2	X.B x	南201	D-68 北 / M.b+c+a	口縁(25.7cm)。波状縫。平行沈縫文。調文LR。口縁部内面沈縫。補修孔1。外面部化物付	851 Po2661	
10	深鉢	C2	X.B x	南201	D-55 南 / M.b	波状縫。平行沈縫文。調文LR。口縁部内面沈縫。	8412 Po675	
11	鉢	X.B	南201	D-68 南 / M.b+c+V	波状縫。沈縫文。調文LR。口縁部内面沈縫。	8414 Po2808		
12	深鉢	B2c	X.N.b1	南201	D-34 南 / M.c1	波状縫+口付部沈縫。調文LR。	8415 Po467	
13	深鉢	B2	X.N.b1	南201	D-68 南 / M.b+c+V	口縁(23.6cm)。波状縫。調文LR。口縁部内面沈縫。	8411 Po289	

第94図 C丘陵南斜面a包含層(西側) 出土器(14)



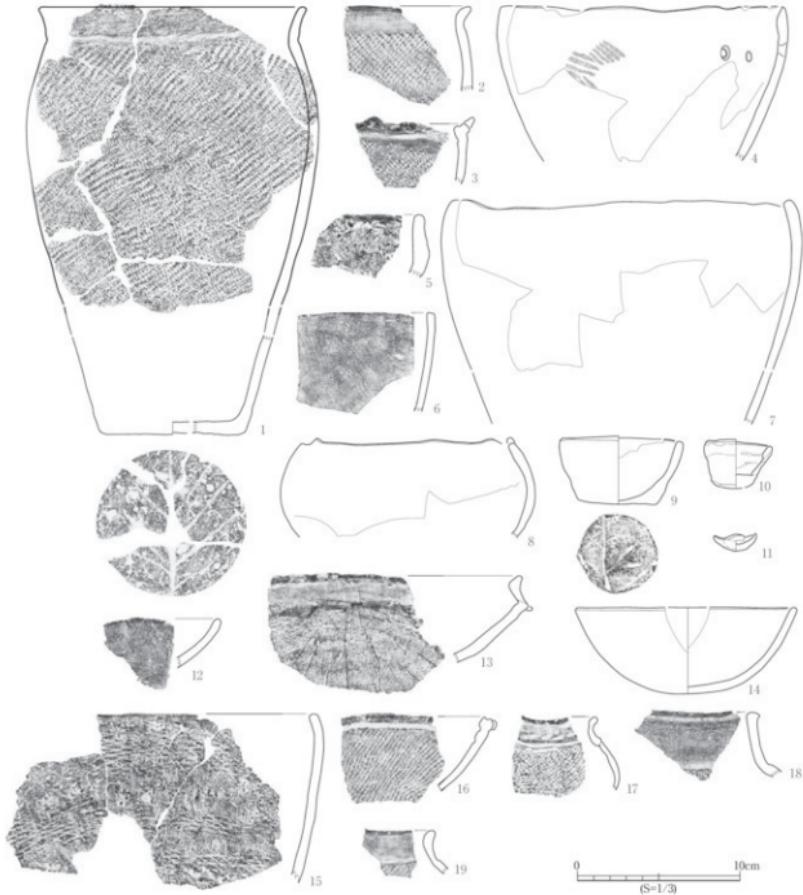
No.	器種	類型1	類型2	大きさ	特徴	写真図版	登錄
1	深鉢	B2	XⅢ	南2B	D48-北 / M5+貝 a+貝 底板縁。沈縫文。縫文LR。口縁部内面沈縫	85-2	Po2662
2	深鉢	C2	XⅢ x	南2B	D55東 / M5 底板縁。平行沈縫文	85-3	Po6713
3	深鉢	B2	XⅨ b1	南2B	D49-貝 / M4 底板縁。縫文LR	85-4	Po1339
4	深鉢	B2c	XⅨ b1	南2B	D48南 / M5+貝 a+貝 底板縁+口縁部沈縫。縫文LR	85-5	Po2828
5	深鉢	A2c	XⅢ	南2B	D46南 縫文 + M5+貝 a 口縫 (22.2cm)。底板縁 + 口縁部沈縫。沈縫文。縫文LR	85-6	Po2846
6	骨	A1cf	XⅢ x	南2B	D54北 / M1 平縁 + 一對の小突起 + 口縁部沈縫	86-6	Po541
7	骨	A1cf	XⅢ x	南2B	D59 / 貝 a2 平縁 + 山形突起 + 一對の小突起 + 口縁部沈縫	86-7	Po1369

第95図 C丘陵南斜面a包含層(西側) 出土器(15)



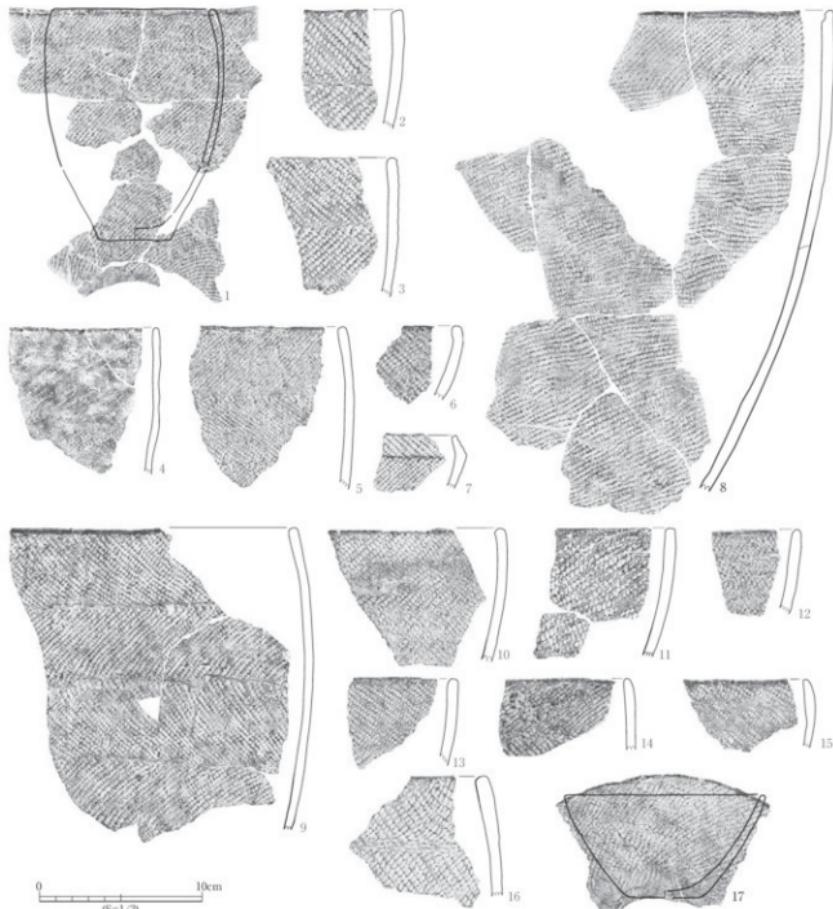
No.	器種	類型1	類型2	大別群	区・道群 / 種	特徴	写真図版	登録
1	壺	H1ef	X II x	曲B	D34 西 VI cl.2+3 D34 西 VI cl.3	口縁 (8.7cm), 頂高 (23.1cm), 成様 (6.6cm), 平縁 + 山形突起 + 口沿部沈縫, 平行沈縫文, 回状織文 R1-LR 未端部斜縫, 水筋付邊土ガキによる無文部, 水筋とサギ	86.3	Po665
2	説	A1ef	B 3+ X	曲B	D68 西 VI b	平縁 + 小穴縫 + 水筋付邊土ガキによる無文部, 水筋とサギ	86.11	Po2818
3	説	A1	X I	曲B	D48 西 VI b-c	平縁, 斜點丁字文, 变形丁字文, 口縁部内面沈縫	86.8	Po2809
4	浅鉢	A1ef	Bx a	曲B	D34 西 VI cl.2+3 VI b	口縁 (20.1cm), 頂高 (7.5cm), 成様 (7.3cm), 平縁 + 積R, + 帽状開孔縫, 上下対向の△字文2種類各4単位, 亂部 + 積R, + 口沿部内面沈縫	86.1	Po662
5	浅鉢	A1ef	Bx a	曲B	D55 西 VI b	平縁, 山形突起 (頂部斜縫), 宽横凹沈縫 + 口沿部斜縫, 上下対向の△字文, 外面本筋	86.12	Po6670
6	台付浅鉢	B3ee	Bx a	曲B	D59 - 足 al	底状突起 + 方形突起 (円錐状施手) + 帽状開孔縫, △字文, 積R + 口縁部内面沈縫	86.13	Po1377
7	台付浅鉢	B3ee	X I	曲B	D59 - 足 a2	底状突起 + 方形突起 (円錐状施手) + 帽状開孔縫, 变形丁字文 + 二割一对の點縫, 沈縫文, 積R, + 口縁部内面沈縫	86.14	Po1347
8	壺	C1ee	X B	曲B	D59 - 足 a2	底状突起 + 山形突起 + 帽状開孔縫, 沈縫文, 積R, + 口縁部内面沈縫	86.17	Po1338
9	深鉢	C1	X B	曲B	D55 西 VI cl.2	口縁 (22.0cm), 頂高 (35.1cm), 成様 (8.4cm), 平縁, 沈縫文, 積R 未端部強縫	87.1	Po667
10	深鉢	C1	X B	曲B	D54 西 VI cl.1	平縁, 沈縫文, 積R 未端部強縫	86.16	Po6532

第96図 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（16）



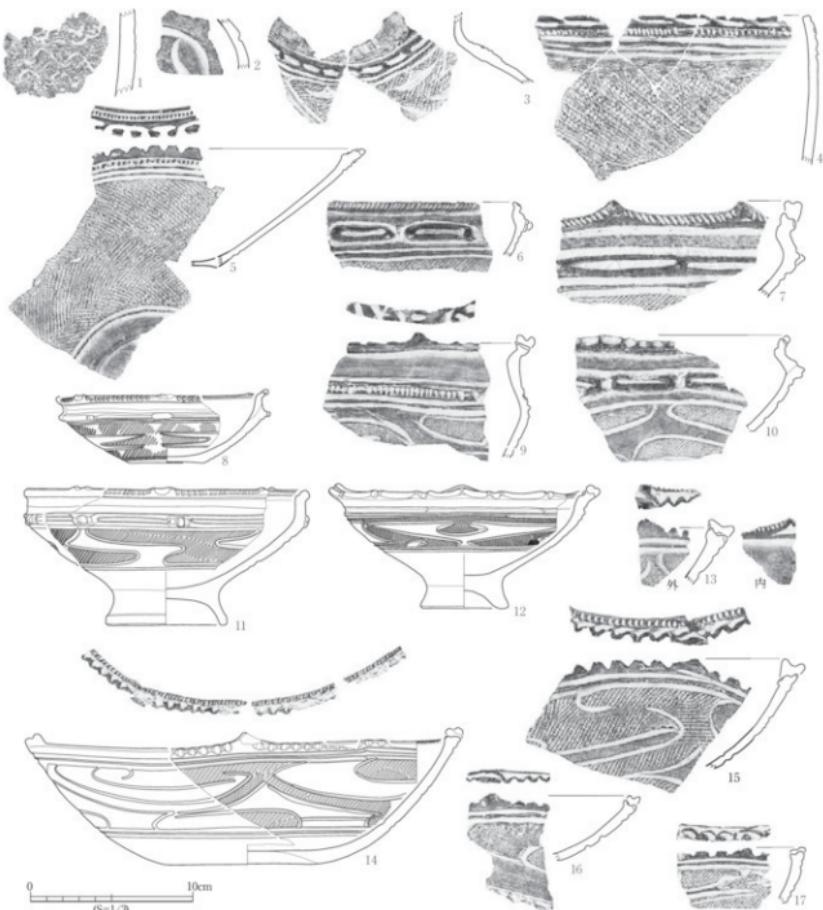
No.	器種	型態1	型態2	大質特	区・造形・附	特 質	写真図版	量尺	
1	斧鉗	II	XⅢ	曲2B	D-54直 / VI b+VI a	II形(16.5cm), 器高(27.1cm), 截径9.0cm, 平縁, 沈梅文, 穴文LR, 底部木葉痕	87-2 P0201		
2	斧鉗	II	XⅢ b1	曲2B	D-59	平縁, 沈文R	86-18 P0341		
3	斧鉗	Alcf	XⅢ	曲2B	D-68直	VI b	平縁+二側の山形突起, 口部切欠, 沈梅文, 穴文LR, 口縁部内面沈擦	86-19 P02672	
4	鉗	A1	XV	曲2B	D-69	VI a2	II形(17.3cm), 平縁, 沈文R, 鋸跡孔2(貯乳孔1, 首孔1)	86-21 P02336	
5	鉗	A1	XV	曲2B	D-64直	VI c1-3	平縁	86-15 P0298	
6	深鉗	A1	XV	曲2B	D-54直	VI c1	平縁, 外面灰化物付着	86-20 P0603	
7	深鉗	A1	XV	曲2B	D-68直	VI b+VI a	II形(20.8cm), 平縁	86-2 P02659	
8	鉗	AM	XV	曲2B	D-54直	VI c2+VI c1-2	II形(12.7cm), 平縁+山形突起	86-23 P0469	
9	浅鉗	A1	XV	曲2B	D-59	VI a2	II形(7.5cm), 器高4.3cm, 截径4.8cm, 平縁, 底部木葉痕→ナデ	86-4 P0324	
10	槌形土器鉗	A1	XV	曲2B	D-54直	VI c2	II形3.7cm, 器高2.9cm, 截径(1.8cm), 平縁, 底部ミサキ	86-9 P0459	
11	槌形土器鉗	A2	XV	曲2B	D-64直	VI b	II形2.5cm, 器高1.8cm, 丸底, 表面緑, 底部ナデ	86-10 P02649	
12	鉗	A1	XV	曲2B	D-68直	VI b	平縁	86-22 P02819	
13	浅鉗	A1	XV	曲2B	D-54直	VI c2	平縁, 二側の小突起	86-24 P0454	
14	浅鉗	A1	XV	曲2B	D-51直	VI c2	II形13.7cm, 器高5.3cm, 截径1.8cm, 平縁, 底部ミサキ	86-5 P0453	
15	深鉗	A1	-	-	D-54直	VI c1	平縁, 単輪鉗状体か	87-4 P0259	
16	鉗	Alcf	XII	曲2B	D-68直	VI b+c	平縁+二側の小突起+口縁部切欠, 沈梅文, 穴文LR, 口縁部内面平行沈擦	87-5 P02811	
17	鉗	GI	XII	曲2B	D-53直	VI c1	平縁, 沈梅文, 穴文LR	87-6 P0252	
18	鉗	E1	XII	曲2B	D-68直	VI b	平縁, 沈梅文, 穴文LR	87-7 P02866	
19	鉗	C1	XIV b1	曲2B	D-59	VI a2	平縁, 穴文LR	87-8 P0264	

第97図 C丘陵南斜面a包含層（西侧） 出土土器（17）



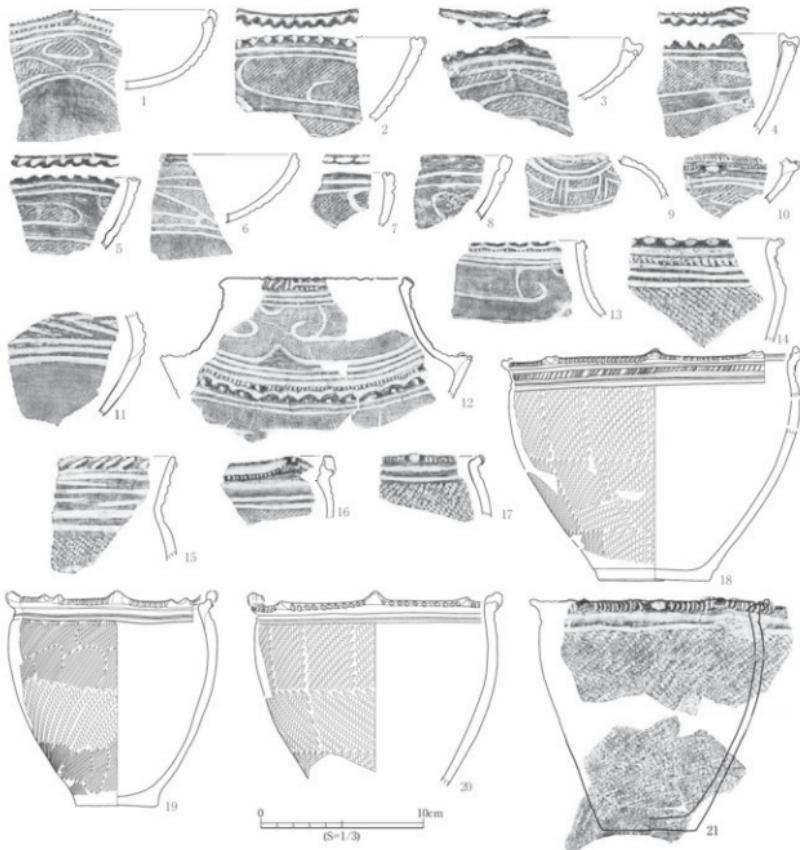
No.	器種	型態 1	型態 2	大きさ	説明 / 別	特徴	写真図版	登録
1	深鉢	A1	XN ^b a1	曲 23	D-54 北 / VI c1	口径 9.8cm, 器高 14.4cm, 底径 4.5cm。平縁。直前段多分割文 LR	87-3	Po283
2	深鉢	A1	XN ^b a2	曲 23	D-68 北 / VI b	平縁。羽状横文 RL-LR 末端部強調	87-9	Po2681
3	深鉢	A1	XN ^b a2	曲 23	D-54 北 / VI c1	平縁。羽状横文 RL-LR	87-10	Po493
4	深鉢	A1	XN ^b a1	曲 23	D-54 北 / VI c1	平縁。繩文 LRL 少	87-11	Po512
5	深鉢	A1	XN ^b a2	曲 23	D-54 北 / VI c1	平縁。羽状横文 LR-RL 未端部強調	87-12	Po520
6	深鉢	A1	XN ^b a1	曲 23	D-68 北 / VI b	平縁。繩文 RL	87-13	Po2043
7	鉢	A1	XN ^b a2	曲 23	D-39 / VI a2	平縁。羽状横文 RL-LR	87-14	Po1375
8	深鉢	A1	XN ^b a1	曲 23	D-68 南 / VI b+VI b+c	平縁。繩文 LR, 口縁部内面沈縮	88-1	Po2841
9	深鉢	A1	XN ^b a2	曲 23	D-54 北 / VI c2	平縁。羽状横文 RL-LR	88-2	Po531
10	深鉢	A1	XN ^b a1	曲 23	D-54 北 / VI c1	平縁。繩文 LR	87-15	Po519
11	深鉢	A1	XN ^b a2	曲 23	D-39 / VI a2	平縁。繩文 LR	87-16	Po1337
12	深鉢	A1	XN ^b a1	曲 23	D-68 北 / VI b	平縁。繩文 LR	88-3	Po2089
13	深鉢	A1	XN ^b a2	曲 23	D-68 北 / VI b	平縁。羽状横文 RL-LR	88-4	Po2073
14	深鉢	A1	XN ^b a2	曲 23	D-39 / VI a2	平縁。羽状横文 LR-RL, 内外面陶化物付着	88-5	Po1361
15	深鉢	A1	XN ^b a1	曲 23	D-68 南 / VI b	平縁。繩文 RL	88-6	Po2823
16	深鉢	A1	XN ^b a1	曲 23	D-54 北 / VI c1-3	平縁。繩文 RL	88-7	Po506
17	鉢	A1	XN ^b a1	曲 23	D-39 / VI a2	(口径 14.2cm), 器高 6.2cm, 底径 (5.0cm)。平縁。繩文 LR	88-8	Po1567

第98図 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（18）



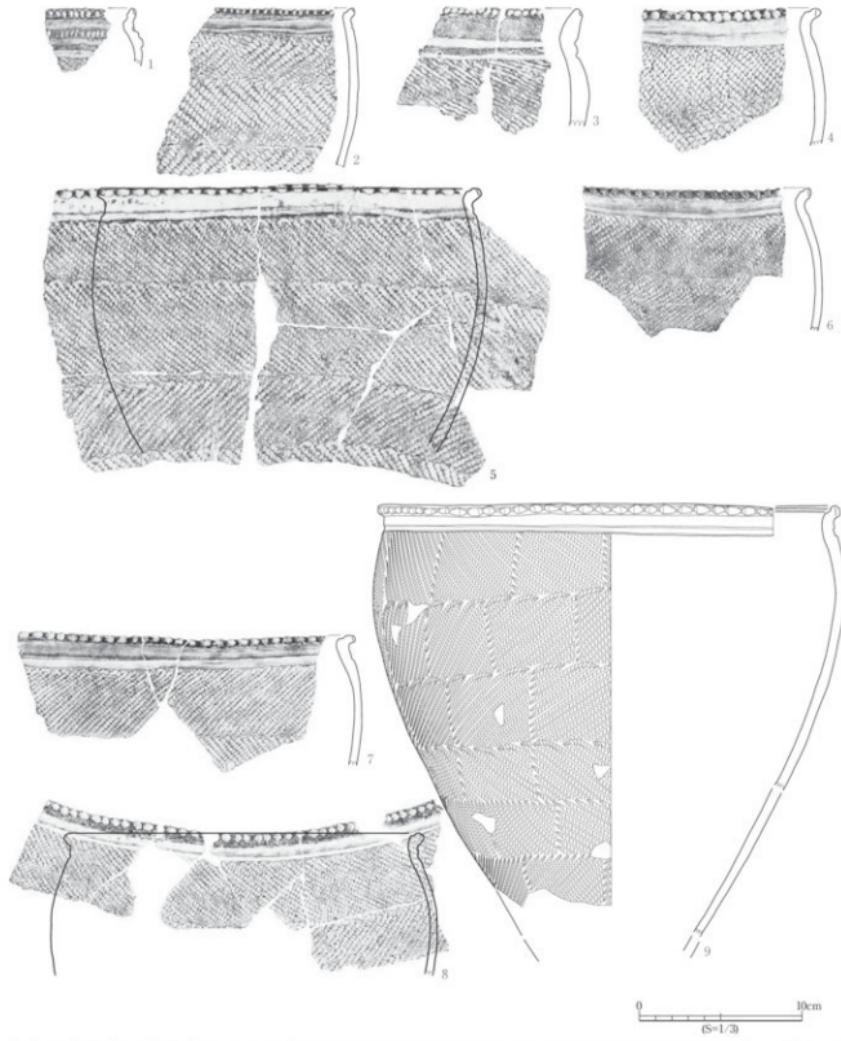
No.	器種	形態	大きさ	区・遺構・層	特徴	写真図版	登録
1	深鉢	-	直径20cm、高さ15cm	乙字扶手沿文、楕円上唇		88-9	Po626
2	盤	盤	直径20cm、高さ15cm	乙字扶手文、楕円上唇		88-10	Po311
3	盤	V+環	直径20cm、高さ15cm	内六方、直形文、側面刷毛縫目、楕円上唇		88-11	Po72
4	深鉢	Alef	X字	直径20cm、高さ15cm	丁字扶手沿文+ハラ刷目、ヘラ刷目、平行沈彫文、面部段多横文、内	88-12	Po68
5	浅鉢	A1bd	V	直径20cm、高さ15cm	丁字扶手沿文+ハラ刷目、平行沈彫文、直形文、羽状彫文RL+LR、内面平行沈彫文+内文	88-13	Po63
6	鉢	Alef	盤	直径20cm、高さ15cm	平縁+乙字扶手+丁字扶手、メガネ浮彫文+側一对の肋突目、平行沈彫文、椭圆上唇	88-14	Po85
7	鉢	A1edf	盤	直径20cm、高さ15cm	平縁+丁字扶手+山形突起+山形底突起、メガネ浮彫文、平行沈彫文、椭圆上唇、口縁部内面沈彫	88-15	Po548
8	浅鉢	Alef	盤	直径20cm、高さ15cm	平行沈彫文、直形文4單位、平行沈彫文、椭圆上唇、底面+内文	88-16	Po49
9	鉢	A1bd	盤	直径20cm、高さ15cm	平縁+ヘラ刷目+山形突起+丁字扶手沿文+椭圆上唇、直形文(削り落し彫文)、椭圆上唇	88-17	Po742
10	浅鉢	A1edf	盤	直径20cm、高さ15cm	平縁+ヘラ刷目+二側一对の小突起+丁字扶手沿文+メガネ浮彫文、平行沈彫文、直形文(光彫刻文)、椭圆上唇	88-18	Po552
11	台付浅鉢	A1df	盤+環	直径20cm、高さ15cm	D形(16.4cm)、高さ8.1cm、底直径6.0cm、口縁径6.0cm、底面+椭圆上唇、丁字扶手沿文+メガネ浮彫文+直形文、直形文+削り落し彫文、椭圆上唇	88-19	Po52
12	台付浅鉢	B1edf	盤	直径20cm、高さ15cm	D形(15.5cm)、高さ7.3cm、底直径5.5cm、口縁径5.5cm、底面+椭圆上唇、丁字扶手沿文+直形文+削り落し彫文、直形文+削り落し彫文、椭圆上唇	88-20	Po48
13	盤	A1bd	盤	直径20cm、高さ15cm	平縁+ヘラ刷目+浅鉢の底文+山形突起、平行沈彫文、直形文(削り落し彫文)、椭圆上唇、底面+口縁部内面沈彫	89-1	Po302
14	盤	A1bd	盤	直径20cm、高さ15cm	口縫(24.2cm)、高さ8.1cm、底径9.8cm、平縁+ヘラ刷目+山形突起+直形文+削り落し彫文+椭圆上唇、直形文(削り落し彫文)、椭圆上唇、底面+手内面沈彫	89-3	Po45
15	盤	A1bd	盤	直径20cm、高さ15cm	平縁+浅鉢底文+山形突起+内面+ヘラ刷目、平行沈彫文、直形文(削り落し彫文)、椭圆上唇、底面+内面沈彫	89-2	Po60
16	盤	A1bd	盤	直径20cm、高さ15cm	平縁+ヘラ刷目+山形突起+浅鉢底文、平行沈彫文、直形文(削り落し彫文)、椭圆上唇、底面+下手内面+背筋+光彫刻文LR	89-4	Po286
17	盤	A1bd	盤	直径20cm、高さ15cm	平縁+ヘラ刷目+山形突起+浅鉢底文、平行沈彫文、直形文(削り落し彫文)、椭圆上唇、外側+口縁部内面沈彫	89-5	Po551

第99図 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（19）



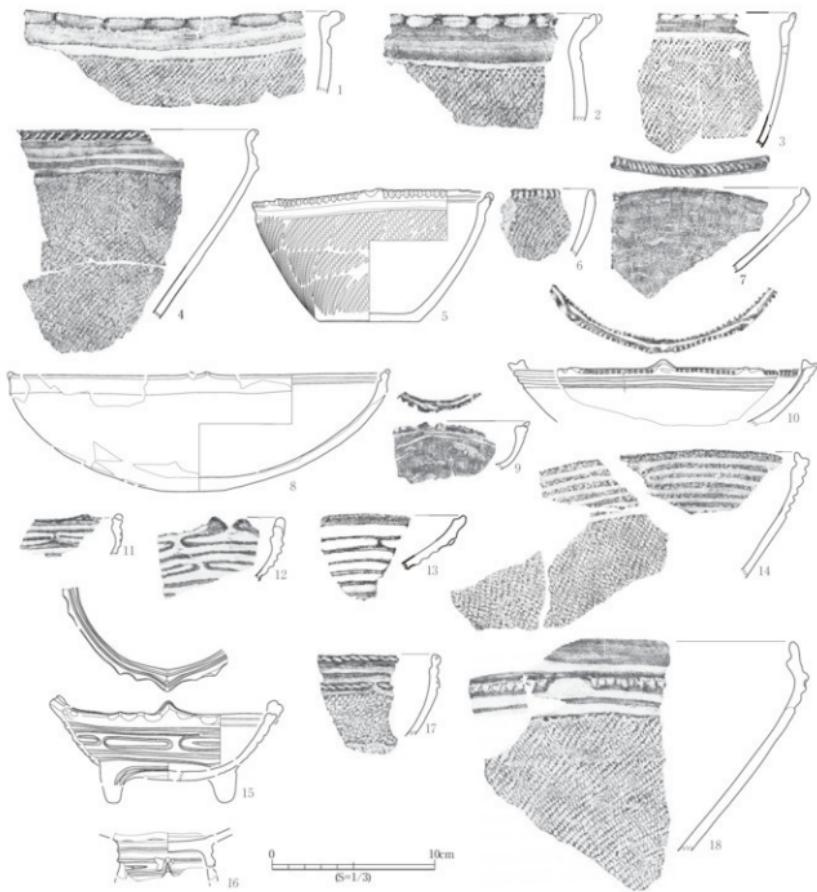
No.	器種	形態	大きさ	大別名	区・遺構・期	特徴	写真図版	登録
1	皿	A1cell	直	南2A	D54北 / 第1層	平縁+ハラ削目・山形突起+口縁部沈縮+口部外沈縮。平行沈縮文、雲形文(削り消し彫文)、平行波彫文。	89-6	Po555
2	皿	A1bd	直	南2A	D54北 / 第1層	平縁+ハラ削目・波状浮彫文。波状浮彫文。平行沈縮文、雲形文(削り消し彫文)、彫文LR。体部下内面波状浮彫文。	89-7	Po564
3	皿	A1eff	直	南2A	D54北 / 第1層	平縁+ハラ削目・山形突起。山形突起+山形突起。平行沈縮文、雲形文(削り消し彫文)、彫文LR。	89-8	Po572
4	皿	A1bdff	直	南2A	D55西 / 第1層	平縁+ハラ削目・山形突起。波状浮彫文。平行沈縮文、雲形文(削り消し彫文)、彫文LR。	89-9	Po573
5	皿	A1br	直	南2A	D68北 / 第1層	平縁+ハラ削目。平行沈縮文。平行沈縮文、雲形文(削り消し彫文)、彫文LR。体部下内面波带(彫文LR)。外面部波状浮彫文。	89-10	Po578
6	皿	A1	直	南2A	D54北 / 第1層	平縁+沈縮文。芸文(削り消し彫文)。平行沈縮文。彫文LR。外面部彩	89-11	Po574
7	皿	A1c	直	南2A	D54南 / 第1層	平縁+口縁部沈縮。沈縮文、芸文(削り消し彫文)。彫文LR。体部下内面波带。光燒彫文LR	89-12	Po577
8	壺	A1c	直	南2A	D68南 / 第1層	平縁+口縁部沈縮。芸文(削り消し彫文)。平行沈縮文。彫文LR。平行沈縮文、芸文(削り消し彫文)。平行沈縮文。	89-13	Po590
9	壺	-	直	南2A	D54北 / 第1層	平縁+沈縮文(削り消し彫文)。継ぎの平行沈縮文。彫文LR	89-14	Po557
10	HII-1型	-	直	南2A	D68北 / 第1層	横縁削目。横縁削目+「一個」対の小突起。平行沈縮文。芸形文(削り消し彫文)。彫文LR	89-15	Po572
11	壺	-	直	南2A	D68北 / 第1層	入羽根状波彫文。平行沈縮文	89-16	Po570
12	HII-1型	B1ed	直	南2A	D55西 / 第1層	口縁(12cm)。沈縮大径(19cm)。平縁+ハラ削目+沈縮文。口縁部沈縮。平行沈縮文、斜巻状芸形文(削り消し彫文)。平行沈縮文+横縁削目。彫文(削り消し彫文)。平行沈縮文、彫文LR。平行沈縮文、彫文LR	89-17	Po745
13	HII-1型	C1bed	直	南2A	D53南 / 第1層	平縁+波状浮彫文+ハラ削目+口縁部沈縮。平行沈縮文、斜巻状芸形文(削り消し彫文)、彫文LR	89-18	Po568
14	深鉢	A1ed	XE x	南2A	D54北 / 第1層	平縁+ハラ削目+口縁部沈縮。平行沈縮文+横縁削目。前→段多条彫文。简化物文(外面・口縁部・内部)	89-19	Po545
15	深鉢	A1ed	XE x	南2A	D54北 / 第1層	平縁+ハラ削目+口縁部沈縮。平行沈縮文、彫文LR。後→口縁部内面沈縮	89-20	Po560
16	深鉢	A1ed	XE x	南2A	D68北 / 第1層	平縁+ハラ削目+口縁部沈縮。平行沈縮文。彫文LR。後→口縁部内面沈縮	89-21	Po599
17	深鉢	A1ed	XB x	南2A	D68北 / 第1層	口縁(17cm)、底高(12.7cm)。底径 6.6cm。平縁+横縁削目。一側・対の山形突起(11.1cm)。山形突起1単位+口縁部沈縮。平行沈縮文。彫文LR。底部付近1カギによる無文帶、底部ミガキ。空軸+口縁部内面沈縮	89-22	Po710
18	深鉢	A1ed	XB x	南2A	D53南 / M14	口縁部沈縮。橢圓状削目。平行沈縮文。彫文LR。底部付近1カギによる無文帶、底部ミガキ。空軸+口縁部内面沈縮	89-23	Po56
19	深鉢	A1ed	XB x	南2A	D68北 / 第1層	口縁(12.4cm)、底高(13.2cm)、底径 5.0cm。平行+橢圓状削目。一側・対の小突起4単位+山形突起4単位+口縁部沈縮。平行沈縮文。彫文LR。底部付近部薄張	89-24	Po2749
20	深鉢	A1ed	XB x	南2A	D53南 / M14	口縁(14.5cm)、底高(14.5cm)、底径 5.5cm。平縁+ハラ削目+山形突起(小)4対+山形突起4単位+口縁部沈縮。平行沈縮文。彫文LR	89-25	Po57
21	深鉢	A1ed	XB	南2A	D53南 / M14-2	口縁(14.5cm)、底高(14.5cm)、底径 5.5cm。平縁+ハラ削目+山形突起(小)4対+口縁部沈縮。彫文LR	89-26	Po67

第100図 C丘陵南斜面A包含層(西侧) 出土器物(20)



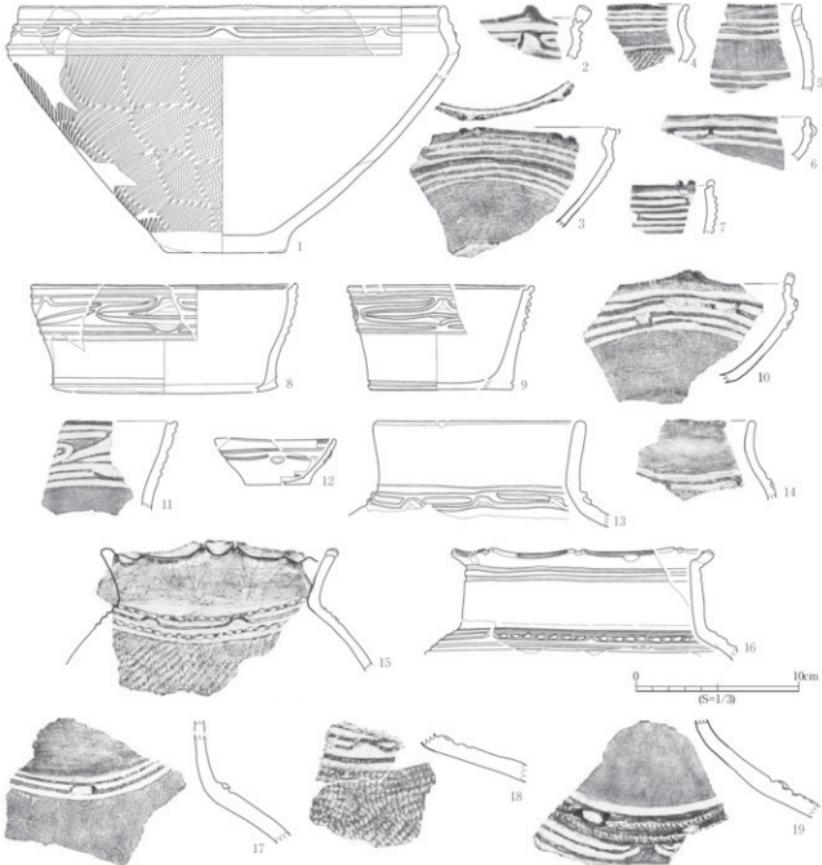
No.	器種	型別I	型別II	大別種	區・遺構 / 番	特徵	写真図版	登錄
1	深鉢	Aled	X II a	南2A	D-55 東 / 貝塚	平縁 + ハラ削目 + 口沿部彫刻。平行沈痕文。鶴嘴状削目。圓文貝	90.1	Po498
2	深鉢	Aled	X II	南2A	D-68 北 / 貝塚	平縁 + ハラ削目 + 口沿部彫刻。沈痕文。羽根彫文 LR RL 末端部強調	90.2	Po2743
3	深鉢	Ald	X II x	南2A	D-55 東 / 貝塚	平縁 + 刻划線。平行沈痕文。圓文貝。外面灰化物付着	90.3	Po676
4	深鉢	Aled	X II x	南2A	D-54 東 / 貝塚	平縁 + ハラ削目 + 口沿部彫刻。平行沈痕文。圓文貝。	90.4	Po316
5	深鉢	Aled	X II	南2A	D-53 南 / 貝塚	平縁 + ハラ削目 + 口沿部彫刻。沈痕文。羽根彫文 RL-LR	90.5	Po51
6	深鉢	Aled	X II	南2A	D-54 北 / 貝塚	平縁 + ハラ削目 + 口沿部彫刻。沈痕文。圓文貝 末端部強調	90.5	Po669
7	深鉢	Aled	X II	南2A	D-53 南 / 貝塚	平縁 + ハラ削目 + 口沿部彫刻。沈痕文。羽根彫文 LR-RL	90.7	Po126
8	深鉢	Ald	X II	南2A	D-54 北 / 貝塚	平縁 + ハラ削目 + 口沿部彫刻。沈痕文。圓文貝 RL-LR	90.8	Po647
9	深鉢	Aled	X II	南2A	D-53 南 / 貝塚+貝塚	平縁 + ハラ削目 + 口沿部彫刻。外面灰化物付着	90.12	Po63

第101図 C丘陵南斜面a包含層(西侧) 出土土器(21)



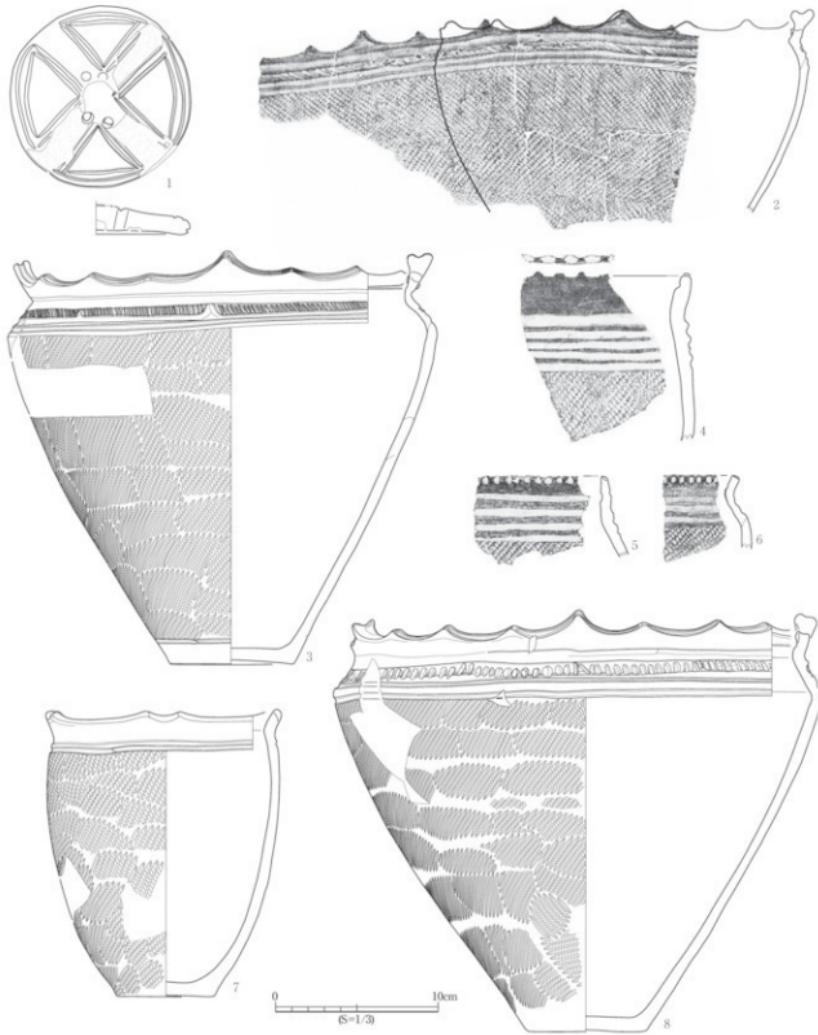
No.	部	種	類型1	類型2	大別材	区	遺構／層	特徴		写真図版	位置
								記述	参考文献		
1	深鉢	Blef	XⅢ	南ZA	D-34北 / V1b			平縁 + ハラ削目 + 口沿部沈縫。沈縄文。綱文LR。	90.9	Po323	
2	深鉢	Blef	XⅢ	南ZA	D-34北 / V1b			平縁 + ハラ削目 + 口沿部沈縫。沈縄文。綱文LR。	90.10	Po315	
3	深鉢	Blef	X新 b1	南ZA	D-34南 / V1b			平縁 + ハラ削目 + 口沿部沈縫。綱文LR。補修孔1	90.11	Po314	
4	鉢	Bld	XⅢ	南ZA	D-34北 / V1b			平縁 + ハラ削目。平行沈縫文。綱文LR。	91.6	Po567	
5	鉢	Blef	X新 b1	南ZA	D-33南 / V1b			D径146cm。器高82cm。底径(61cm)。平縁 + ハラ削目 + 二割一对の小突起6單位 + 口沿部沈縫。綱文LR。底部1ヶ所	91.1	Po47	
6	鉢	Ald	X新 a1	南ZA	D-68北 / V1a			平縁 + 横面削目形。綱文LR	91.8	Po298	
7	鉢	Ald	XV	南ZA	D-34北 / V1b			平縁 + 横面削目 + 口沿部沈縫	91.7	Po566	
8	鉢	Ald	XV	南ZA	D-33南 / V1b			D径(232cm)。器高72cm。丸足。平縁 + 山形突起か。底部ケズリ。口沿部内面沈縫	91.2	Po40	
9	鉢	Alcf	XⅢ	南ZA	D-34北 / V1b			平縁 + ハラ削目 + 二割一对の小突起4單位 + 山形突起4單位 + 口沿部沈縫。平行沈縫文。	91.9	Po577	
10	鉢	Alcf	XⅢ	南ZA	D-33南 / V1b + 2			D径(163cm)。平縁 + ハラ削目 + 二割一对の山形突起4單位 + 山形突起4單位 + 口沿部沈縫。工字文。平行沈縫文。外面部彩	91.10	Po64	
11	鉢	Ale	X	南ZA	D-68北 / V1a			平縁 + 二割一对の山形突起か + 口沿部沈縫。工字文	91.11	Po273	
12	浅鉢	Alef	X	南ZA	D-79 - V1a			平縁 + 二割一对の突起 + 突起間凹縫。流水加工文。口沿部内面沈縫	91.13	Po305	
13	鉢	Ale	X	南ZA	D-34南 / V1b			平縁 + 二割一对の突起。工字文。(オサト状)。平行沈縫文	91.12	Po287	
14	浅鉢	Ale	X	南ZA	D-54南 / V1b			平縁 + 山形突起。工字文。綱文LR。口沿部内面沈縫	91.14	Po288	
15	西斜井 浅鉢	Alef	X	南ZA	D-54北 / V1b + V1a			D径(143cm)。器高63cm。底径83cm。平縁 + 山形突起の両側に二割一对の小突起 + 口沿部沈縫。平行沈縫文。工字文6位付。表面沈縫文。突出した縁部内面沈縫	91.14	Po554	
16	台部	-	X	南ZA	D-54南 / V1b			平行沈縫文。透かし彫りを含む流水工字文。外面部彩	91.24	Po309	
17	鉢	Ald	Rd	南ZA	D-54北 / V1b			平縁 + 横面削目形。平行沈縫文。工字文 + 横面削目形。綱縫文(オサコ)。口沿部内面沈縫	91.19	Po546	
18	鉢	Af	F	南ZA	D-55南 / V1a			平縁 + X文字 + 斜切突。沈縫文。直線状多条縫文。口沿部内面沈縫	91.15	Po721	

第102図 C丘陵南斜面a包含層(西侧) 出土器(22)



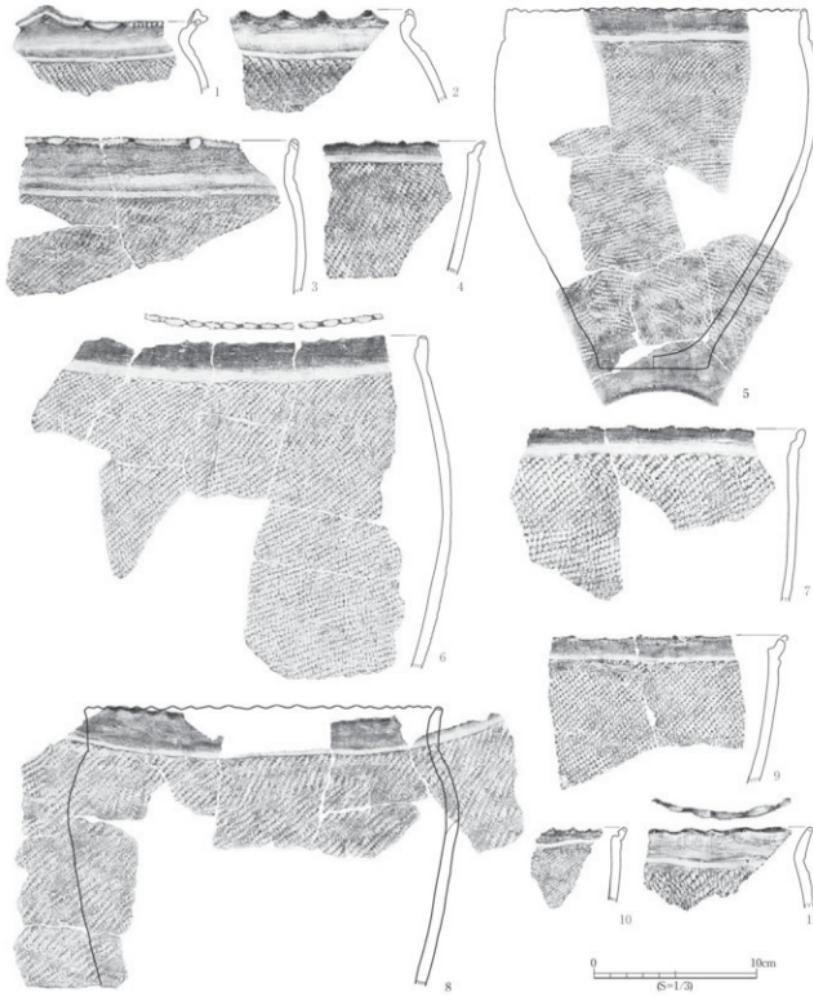
No.	部種	類型1	類型2	大別期	EC・遺構・相	特徴	写真図版	位置
1	器	A1	B.a	南2A	D-55 東 / VI a	口径 (26.1cm)、器高 15.0cm、底径 7.0cm。平縁。#字文 8 単位か。縄文 LR、底部 #ギザ。口縁部内面波打。	91-3	Po680
2	器	Blef	B.c	南2A	D-48 東 / VI a	平縁 + 山形突起 (底部削減) + 斜起部削減。#字文。沈綬文。口縁部内面波打。	91-17	Po7247
3	器	Blef	B.c	南2A	D-54 東 / VI b	平縁 + 一側の小穴起 + 口唇部削減。#字文。平行双縁文。口縁部内面波打。	91-16	Po549
4	器	C1	X 8 x	南2A	D-68 東 / VI a	平縁。平行双縁文。沈綬文。縄文 LR。口縁部内面波打。	91-18	Po7276
5	器	A1	X 8 x	南2A	D-55 東 / VI a	平縁。平行双縁文。#ギザ孔 1。	91-20	Po682
6	器	A1	B.c	南2A	D-68 東 / VI a	平縁。#字文。口縁部内面波打。	91-26	Po7272
7	器	A1ef	B.a	南2A	D-68 東 / VI a	平縁 + 一側の小穴起 + 口唇部削減。斜尖。#字文 (透き表現)。#字文。平行双縁文。	91-27	Po7246
8	器	A1c	B.a #+ XI	南2A	D-54 東 / VI b+VI a	口径 (16.2cm)、器高 (6.6cm)、底径 (13.9cm)。平縁 + 口唇部削減。上下対向の#字文。変形工字文。底部 #波打文。底部 #ギザ。	91-5	Po292
9	器	A1c	B.a	南2A	D-54 東 / VI b	口径 (11.4cm)、器高 6.4cm、底径 (8.7cm)。平縁 + 口唇部削減。上下対向の#字文。変形工字文。底部 #波打文。底部 #ギザ。	91-21	Po306
10	器	A1ef	B.a	南2A	D-55 西 / VI a	波状縁 + 二側の山形突起 (底部削減) + 口縁部削減。#字文。#字文 (透き表現)。内外面赤絵。	91-22	Po7279
11	器	A1c	B.a #+ XI	南2A	D-68 東 / VI a	平縁 + 1側の山形突起。変形工字文。#字文 (透き表現)。	91-23	Po7216
12	地中土器	A1	B.o	南2A	D-54 西 / VI b	口径 (7.3cm)、器高 2.9cm、底径 (4.0cm)。平縁。#字文。底部 #ギザ。口縁部、底部付近内面波打。	91-25	Po345
13	壺	F1	B.a	南2A	D-55 西 / VI a	口径 (13.0cm)。平縁。#字文 8 単位。	92-1	Po714
14	壺	C1	B.a	南2A	D-55 東 / VI a	平縁。沈綬文。縄文 LR。底部 #ギザ。	92-5	Po696
15	壺	H2df	B.a1	南2A	D-55 西 / VI a	口径 (14.1cm)。波状縁 + 一側の小穴起 + 二側の山形突起 (底部削み)。#字文 + 刺突尖。平行双縁文。#字文 + 刺突尖。	92-6	Po724
16	壺	H2df	B.a2	南2A	D-54 東 / VI b+VI a	口径 (15.6cm)。波状縁 + 山形突起 (底部削み) + 斜起部削減 + 口縁部削減。平行双縁文。#字文 + 刺突尖。	92-2	Po330
17	壺	-	B.a	南2A	D-54 東 / VI b	#字文 + 二側の対の貼附。	92-7	Po310
18	壺	-	B.o	南2A	D-55 東 / VI a	#字文。沈綬文。縄文 LR。	92-8	Po693
19	壺	-	B.o	南2A	D-68 東 / VI a	上字文 + 椎面状削り。椎面状削り。#字文。外外面赤絵。	92-10	Po852

第103図 C丘陵南斜面a包含層(西侧) 出土器 (23)



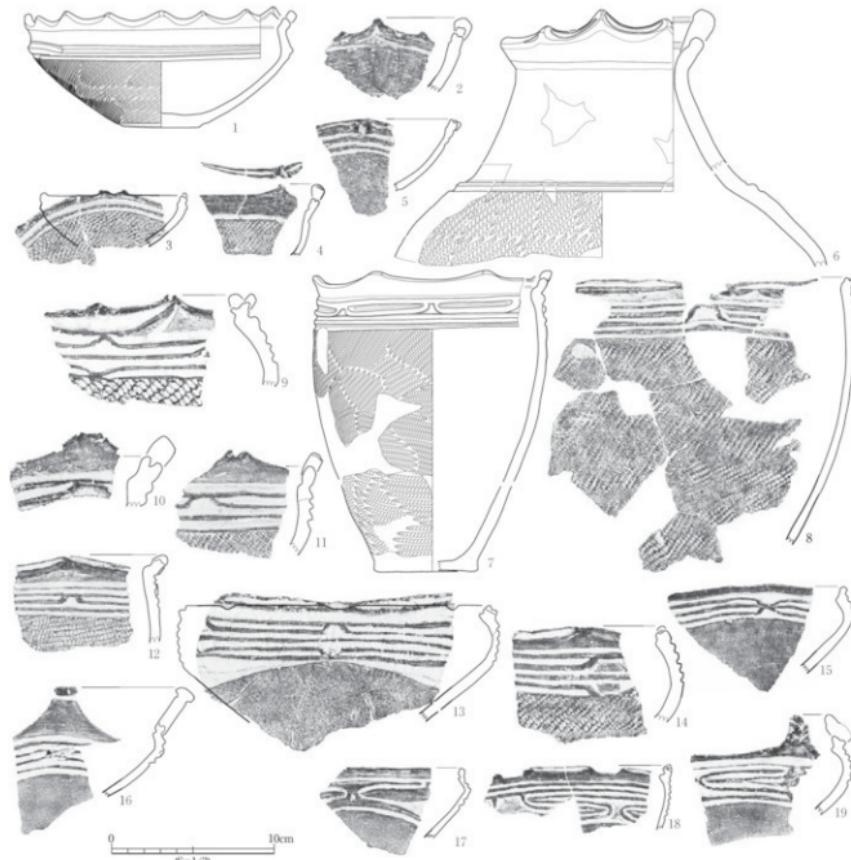
No.	器種	型態 1	型態 2	大きさ	区・遺構・期	写真図版	立場
1	釜			直径30cm / 高さ11.6cm	平行沈縞文 (底部)、一對の凹溝孔 2組か	92-11	Po607
2	深鉢	B3cef	X II a	直径22cm	底状縞 + 山形突起 + 口縁端部沈縞。口部凹溝。平行沈縞文 RL/LR、横曲縞目	92-9	Po561
3	深鉢	B3cef	X II a	直径23.8cm、底高2.5cm、底径7.4cm	底状縞 + 山形突起 4単位。底底凹溝。横曲縦目、x文字、平行沈縞文。底部付近に沈縞文、上部による無文帶、底部1ギリ、かるい上げ底。縫文 LR、突起 + 口縁部内面沈縞。外面淡化物付着	92-3	Po543
4	深鉢	C2c	X II x	直径24cm / 高さ11.6cm	底状縞 + 口部凹溝。平行沈縞文。縫文 LR	92-12	Po362
5	深鉢	C1d	X II x	直径24cm / 高さ11.6cm	平縞 + ハラ割目。平行沈縞文。縫文 LR。口縁部内面沈縞	92-13	Po322
6	深鉢	C1d	X II x	直径24cm / 高さ11.6cm	平縞 + ハラ割目。平行沈縞文。縫文 LR。口縁部内面沈縞	92-14	Po274
7	深鉢	H3f	X II x	直径13.3cm、高さ16.8cm、底径5.8cm	底状縞 + 一対の山形突起。平行沈縞文。縫文 LR。底部1ギリ	92-4	Po678
8	深鉢	B3cef	X II a	直径26.4cm、底高7.1cm、底底縞 + 山形突起 (大) 5単位 + 山形突起 (小) 5単位 + 深底部沈縞。横曲縦目、平行沈縞文、底部1ギリ、縫文 LR、突起 + 口縁部内面沈縞	93-1	Po2725	

第104図 C丘陵南斜面a包含層(西侧) 出土土器 (24)



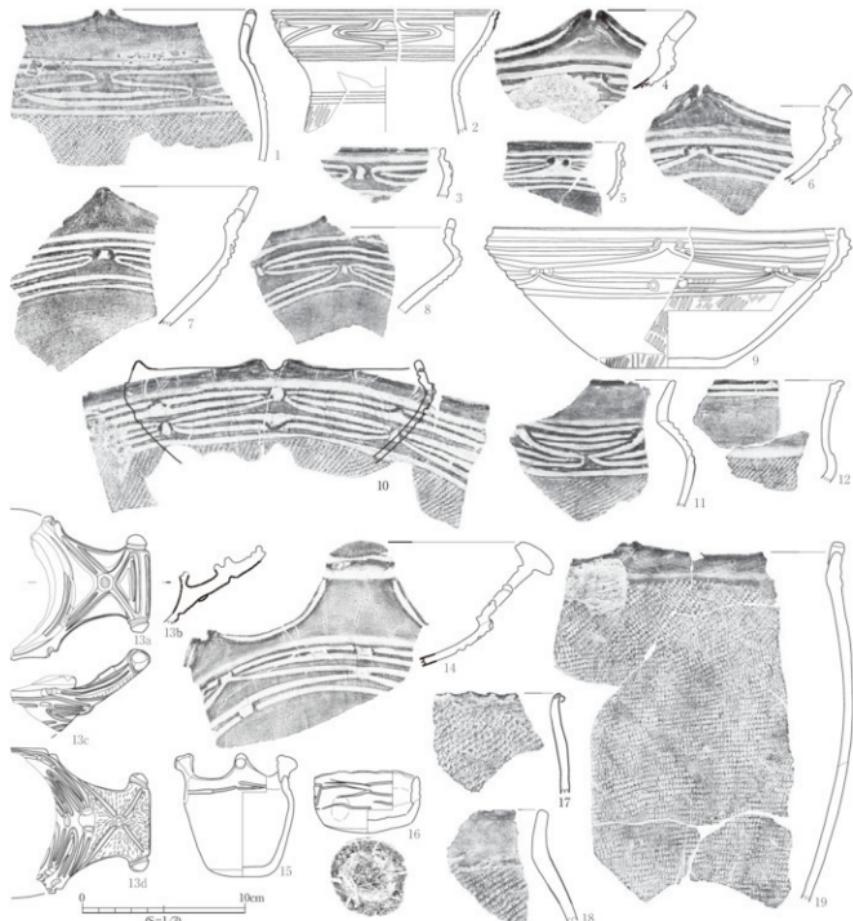
No.	器種	類型1	類型2	大別別	区・遺物・層	特徴	写真図版	登録
1	深鉗	B3cf	X II	南2A	D-68 北 / 足 a	塊状縫 + 山形突起(大)の両側に二個・対の山形突起(小) + 突起部沈縫。沈縫文、縫文 LR。突起・口縫部内面沈縫	93-2	Po2728
2	深鉗	B3cf	X II	南2A	D-54 南 / 足 b	塊状縫 + 小突起 + 口縫部沈縫。沈縫文、縫文 RL	93-3	Po324
3	深鉗	C2f	X II x	南2A	D-68 北 / 足 a	塊状縫 + 二個・対の小突起。平行沈縫文、縫文 LR。口縫部内面沈縫。外面炭化付着	93-6	Po2720
4	深鉗	B3c	X II	南2A	D-54 南 / 足 b	塊状縫 + 口縫部沈縫。沈縫文、縫文 LR。炭化物付着(外面、内面)	93-4	Po350
5	深鉗	A2c	X II	南2A	D-54 南 / 足 b+3a+1	口縫(3.5cm)。凹凸 22.1cm、底径 6.8cm。底从縫 + 口縫部沈縫。沈縫文、縫文 LR	93-5	Po349
6	深鉗	B3c	X II	南2A	D-54 南 / 足 b	塊状縫 + 口縫部沈縫。縫文 LR	93-7	Po361
7	深鉗	B3c	X II	南2A	D-54 南 / 足 b	塊状縫 + 口縫部沈縫。沈縫文、縫文 LR	93-8	Po354
8	深鉗	B2	X II	南2A	D-68 中央 / 足 a+b+	口縫(2.7cm)。底从縫。沈縫文。前ヶ段多条縫文 LR	94-4	Po2741
9	深鉗	B3c	X V bl	南2A	D-54 南 / 足 b	塊状縫 + 口縫部沈縫。縫文 LR	93-9	Po313
10	深鉗	B3c	X II	南2A	D-54 南 / 足 b	塊状縫 + 口縫部沈縫。沈縫文。縫文 LR+B附加条	93-10	Po280
11	深鉗	B2	X II	南2A	D-54 南 / 足 b	塊状縫。沈縫文。縫文 LR	93-11	Po359

第105図 C丘陵南斜面a包含層(西侧) 出土土器 (25)



No.	岩性	模型1	模型2	大別種	区・層・場所	特徴	参考図版	登録
1	浅海	H3	X II x	南2A	D54北 / 茎 a	11件 16.1cm、高さ7.4cm、横径4.7cm。薄灰岩。平行沈積文、底部付近斜面文。縦文LR。底部ナガキ。突起。	94.3	Po671
2	浅海	AM	X II x	南2B	D55東 / 茎 a	平面か・山形突起の左右に小突起。沈積文、口縫部内面沈積。	94.5	Po684
3	浅海	AM	X II x	南2B	D56北 / 茎 a	11件 21.4cm。平緩。+ 斜面の小突起。平行沈積文、縦文LR。口縫部内面沈積。	94.6	Po700
4	鉱	Blef	X II	南2A	D54南 / 茎 b	平緩。山形突起(底部のみ)。口縫部内面沈積。沈積文。縦文LR。口縫部内面沈積。	94.7	Po20
5	鉱	Alef	X II x	南2A	D48北 / 茎 a	平緩。+ 剥離の小突起。口縫部内面沈積。平行沈積文。縦文LR。口縫部内面沈積。	94.8	Po899
6	金	Hlcer	X II x	南2A	D53南 / 茎 b	11件 (12.0cm)。平緩。+山形突起(大)の周間に山形突起(小)。アラカリ沈積。平行沈積文。縦文LR。口縫部内面沈積。	94.1	Po64
7	深海	H3	X a	南2A	D54南 / 茎 b	11件 (14.5cm)。薄灰岩。#字文と半葉文。沈積文。縦文LR。底部ナガキ。口縫部内面沈積。内外面沈積物付着。	94.2	Po670
8	深海	Alef	X a	南2B	D55東 / 茎 b	平緩。+骨柱 + 17.1cm巻状沈積。#字文。沈積文。縦文LR。外表面沈積物付着。	94.13	Po688
9	鉱	Alef	X a	南2A	D54南 / 茎 b	平緩。山形突起。小突起。山形突起内面沈積。17.1cm巻状沈積。上下対向の#字文、#字文。縦文LR。	94.9	Po807
10	鉱	Hlce	X a	南2A	D48北 / 茎 a	透視鏡。山形突起。空洞面沈積。#字文。	94.10	Po235
11	鉱	Hlce	X a	南2A	D46北 / 茎 a	透視鏡。山形突起(巻状み)。#字文。#字文。段多条純縞文LR。口縫部内面沈積。外表面沈積物付着。	94.11	Po234
12	深海	H3c	X a	南2A	D53西 / 茎 a	透視鏡。口縫部内面沈積。口縫部内面沈積。平行沈積文。#字文。沈積文。縦文LR。	94.12	Po708
13	浅海	Alef	X a	南2A	D54南 / 茎 b	11件 (16.6cm)。平緩。剥離。アラカリ沈積。17.1cm巻状沈積。上下対向の#字文。	94.14	Po711
14	鉱	ASc	X a	南2A	D54南 / 茎 b	透視鏡。#字文。口縫部内面沈積。上下対向の#字文。沈積文。口縫部内面沈積。外表面沈積物付着。	94.15	Po712
15	浅海	Ale	X a	南2A	D54南 / 茎 b	平緩。+17.1cm巻状沈積。(#字文)(ガガホ)	94.17	Po746
16	台付浅海	H3c	X b	南2B	D79. 11.4+ / 茎 b	透視鏡。山形突起(山形状振り)。透視部沈積。平行沈積文。#字文と二側一对の筋瘤。口縫部内面沈積。	94.16	Po807
17	鉱	AI	X B+X 1	南2A	D54南 / 茎 b	平緩。#字文。変形沈積文。斜面文。沈積文。口縫部内面沈積。	94.18	Po331
18	鉱	Alef	X B+X 1	南2A	D54南 / 茎 b	平緩。+ 剥離の小突起。アラカリ沈積。口縫部沈積。#字文。変形工学文。	94.19	Po293
19	浅海	Alef	X B+X 1	南2A	D54南 / 茎 b	平緩。#字文。変形沈積文。口縫部内面沈積。	94.20	Po344

第106図 C丘陵南斜面a包含層(西侧) 出土土器(26)



No.	器種	型別	型別2	大別別	区・遺物	特徴	写真図版	登錄
1	深鉗	B3M	X I	面2A	D55西 / 31 a	底状縁 + 山形突起(底部削み)。変形工字文。縫合LR。内外面化物付着	94-21	Po220
2	鉗	B	X a + X I	面2A	D54南 / 31 b	口径(13.5cm)。平縁。変形工字文。#字文(透き表現)。平行沈継文。縫合LR。口縫部内面沈継	94-22	Po276
3	鉗	A1	X a + X I	面2A	D79 / 31 a	平縁。変形工字文 + 齿孔。#字文(透き表現)。合。口縫部内面沈継	95-3	Po3060
4	台背浅鉗	B3e	X I	面2A	D68北 / 31 a	底状縁 + 山形突起(底部削み)。変形工字文 + 鋼突。突起。平行沈継文。縫合LR。口縫部内面沈継	95-4	Po2744
5	浅鉗	A1c	X I	面2A	D54南 / 31 b	平縁 + 3列筋突起。#字文 + 二列 + 一列の筋突。縫合LR。口縫部内面沈継	95-5	Po281
6	浅鉗	B3e	X I	面2A	D54南 / 31 b	底状縁 + 山形突起(底部削み) + 透底筋沈継。変形工字文 + 一列 + 一列の筋突。縫合LR	95-6	Po258
7	浅鉗	B3e	X I	面2A	D54南 / 31 b	底状縁 + 山形突起(底部削み) + 透底筋沈継。#字文(透き表現)。平行沈継文。口縫部内面沈継	95-7	Po248
8	台背浅鉗	B3e	X I	面2A	D68 / 31	底状縁 + 山形突起(底部削み)。変形工字文 + 齿孔2段。沈継文。口縫部内面沈継	95-8	Po2853
9	浅鉗	A1	B a + X I	面2A	D55東 / 31 a	口縫(20cm)。底状縁 + 山形突起(底部削み)。#字文(透き表現) + 一列 + 一列の筋突。縫合LR。口縫部内面沈継	95-1	Po681
10	浅鉗	A1H	B a + X I	面2A	D55西 / Ma	口縫(17.5cm)。平縁 + 一列 + 二列の筋突起 + 変形工字文 + 下4各単位 + #字文4単位 + #字文(透き表現) + 4単位。縫合LR。口縫部内面沈継	95-2	Po233
11	鉗	C1	X I	面2A	D68北 / Ma	平縁。変形工字文 + 齿孔。前 + 后2段多束文字LR	95-9	Po240
12	鉗	D1e	X II s	面2A	D54南 / Ma	平縁 + 1列筋沈継。平行沈継文。沈継文LR。外面部彩	95-10	Po255
13	浅鉗	A1cc	X I	面2A	D54南 / Ma	底状縁 + 山形突起 + 筋突の把手。変形工字文 + 齿孔2段。平行沈継文。#字文(透き表現)。突起。口縫部内面沈継	95-12	Po257
14	台背浅鉗	B3e	X a + X I	面2A	D55西 / Ma	底状縁 + 山形突起(底部削み)。方形容突起(底部削み) + 透底筋沈継。#字文(透き表現)。突起。口縫部内面沈継	95-11	Po226
15	筋跡上部深鉗	B1e	X III	面2A	D54南 / Ma	口縫(5.5cm)。高さ7.3cm。底径3.8cm。平縁 + 山形突起(底部削み)。沈継文。底部ミガキ	95-19	Po256
16	筋跡上部深鉗	A1	X I 3	面2A	D54南 / Ma + Ma	口縫(6.0cm)。高さ7.3cm。底径5.0cm。平縁。変形工字文。底部木葉痕	95-18	Po228
17	深鉗	A2	X B al	面2A	D54南 / Ma	底状縁。縫合LR	95-16	Po218
18	浅鉗	C1	X B al	面2A	D55東 / Ma	平縁。縫合LR	95-17	Po694
19	深鉗	C3M	X III	面2A	D55東 / 31 a	底状縁 + 山形突起(底部削み)。沈継文。縫合LR。外面前化物付着	95-13	Po691

第107図 C丘陵南斜面a包含層(西侧) 出土土器(27)



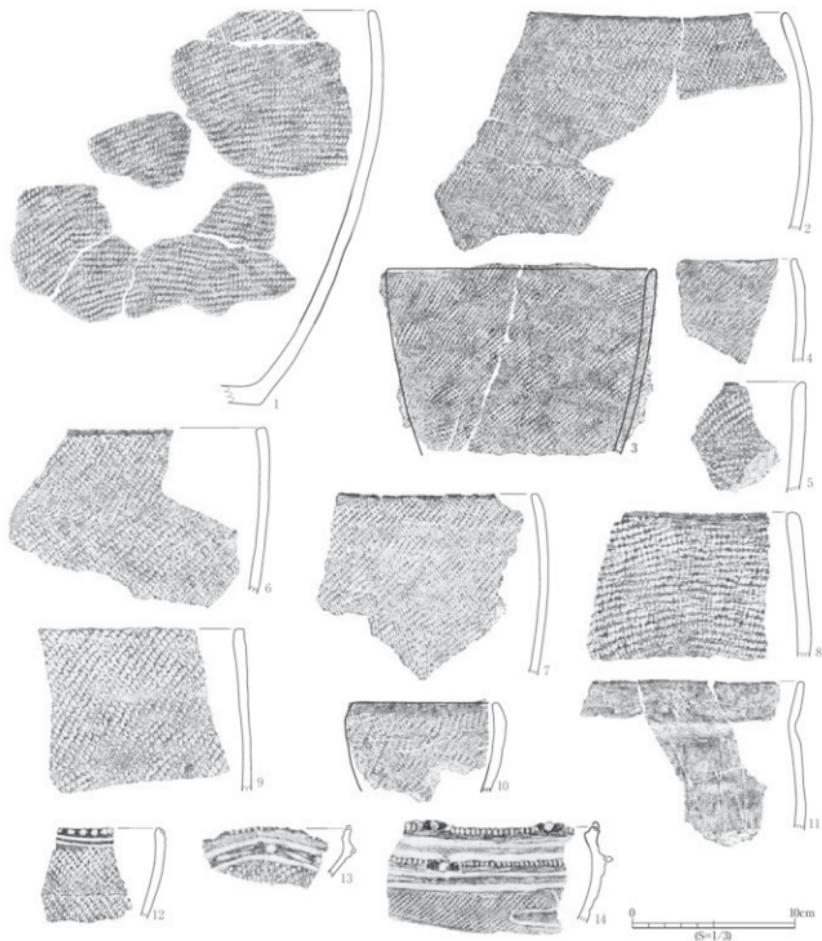
No.	器種	断面 I	断面 II	大柄附	区・造形	特徴	写真図版	登録	
1	深鉢	C1 XⅧ b2	南2A	D54北	V1 b	平縁、羽状模文 RL+LR	95-15	Po553	
2	深鉢	C1 XⅧ b2	南2A	D53東	V1 b1+2	口縁(22.0cm)、平縁、羽状模文 RL+LR	95-14	Po69	
3	台付深鉢	C1 XⅧ b1	南2A	D55東	V1 a	口縁(10.7cm)、高さ13.5cm、体部高12cm、底径5.6cm、平縁、模文 LR。台部との境に沈模文	95-21	Po685	
4	鉢	B1 XⅧ	南2A	D54北	V1 b+V1 a	口縁(15.0cm)、高さ8.1cm、底径7.6cm。平縁、沈模文、模文 LR。底部ミギキ。口縁部内面沈模	95-20	Po401	
5	浅鉢	Ala XⅪ x	南2A	D54北	V1 b	平縁+粘土筋付、平行沈模文。口縁部内面平行沈模	96-1	Po559	
6	施唇上部浅鉢	B1H	XⅪ x	南2A	D66北	V1 a	平縁+山形突起か、平行沈模文	96-2	Po771
7	深鉢	A1 XⅤ	南2A	D68北	V1 a	平縁	96-3	Po770	
8	施唇上部浅鉢	A1 XⅤ	南2A	D54北	V1 b	平縁	96-4	Po779	
9	鉢	A1 X V	南2A	D68北	V1 a	平縁	96-5	Po717	
10	施唇上部鉢	A1 XⅨ a1	南2A	D54南	V1 b	口縁4.8cm、高さ4.5cm、底径3.1cm。平縁、模文 LR+葉形附加条	96-18	Po282	
11	施唇上部鉢	C2 X V	南2A	D68北	V1	口縁3.3cm、高さ2.4cm、丸底。直縁。底部ナメ	96-19	Po752	
12	鉢	Gl XⅨ x	南2A	D68北	V1 a	口縁3.6cm)、平縁、平行沈模文、模文 LR。口縁部内面沈模	96-6	Po721	
13	鉢	A1 X V	南2A	D53東	V1 b1+2	口縁(13.3cm)、平縁	96-20	Po73	
14	曲か	-	南2A	D55東	V1 a	縦肋の平行沈模文、斜行する平行沈模文	96-7	Po699	
15	曲か	-	南2A	D68北	V1 a	縦肋の平行沈模文	96-9	Po705	
16	台部	-	南2A	D54南	V1 b	山形沈模文	96-8	Po291	
17	蓋	-	XⅨ a1	南2A	D68北	V1 a	口縁(11.2cm)、蓋部高3.7cm。平縁+口縁部沈模。模文 LR。つまみ紐との境に沈模文	96-21	Po715
18	鉢(骨器)	A1 XⅨ a1	南2A	D54南	V1 b	平縁、模文 LR。連付着(外面口縁部・内面全体)	96-10	Po363	
19	深鉢	A1 XⅨ a1	南2A	D55東	V1 a	平縁、模文 LR	96-11	Po689	
20	深鉢	A1 XⅨ a1	南2A	D54南	V1 b	平縁、模文 LR	96-13	Po364	

第108図 Cui Ling Nan斜面a包含層(西侧) 出土土器 (28)



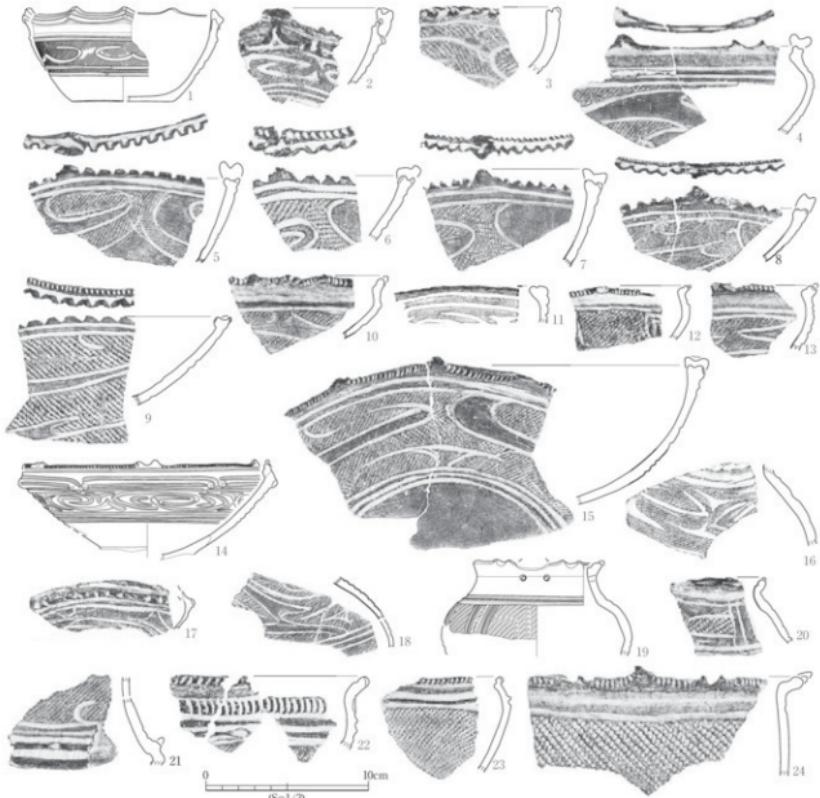
No.	器種	組型 1	組型 2	大形別	区・遺構・附	特徴	写真図版	目録
1	深鉢	A1	XB a1	南2A	D-54南・Ⅴb	口3径(26.9cm)、器高41.1cm、平縁、底部1サギ。網文LR	96-23	Pv662
2	深鉢	A1	XP a1	南2A	D-53南・Ⅴb 2	口3径(8.7cm)、器高10.3cm、底径4.4cm、平縁、底部1サギ。かぶい上口底。網文LR	96-22	Pv66
3	深鉢	A1	XP a1	南2A	D-68北・Ⅴa	平縁。網文RL	96-16	Pv2997
4	深鉢	A1	XP a1	南2A	D-54南・Ⅴb+Ⅴa	平縁。前段多条網文LR	96-15	Pv3775
5	深鉢	A1	XP a1	南2A	D-68北・Ⅴa	平縁。網文LR	96-17	Pv2712
6	深鉢	A1	XP a2	南2A	D-55東・Ⅴa	平縁。羽状網文RL-LR末端強調	96-14	Pv692
7	深鉢	A1	XP a2	南2A	D-54南・Ⅴb	平縁。網文RL	96-12	Pv390
8	深鉢	A1c	XP a3	南2A	D-68南・Ⅴa	平縁+口3部北縫。網文LR	97-1	Pv2850
9	深鉢	A1	XP a3	南2A	D-54南・Ⅴb	平縁。網文LR	97-2	Pv321
10	深鉢	A1	XP a3	南2A	D-68北・Ⅴa	平縁。網文LR	97-3	Pv2722
11	深鉢	A1	XP a3	南2A	D-55東・Ⅴa	平縁。網文LR	97-4	Pv693
12	深鉢	A1	XP a2	南2A	D-53南・Ⅴb 2	口3径(26.8cm)、平縁。羽状網文RL-LR末端強調。外面灰化物付有	97-5	Pv60

第109図 C丘陵南斜面a包含層（西侧）出土土器（29）



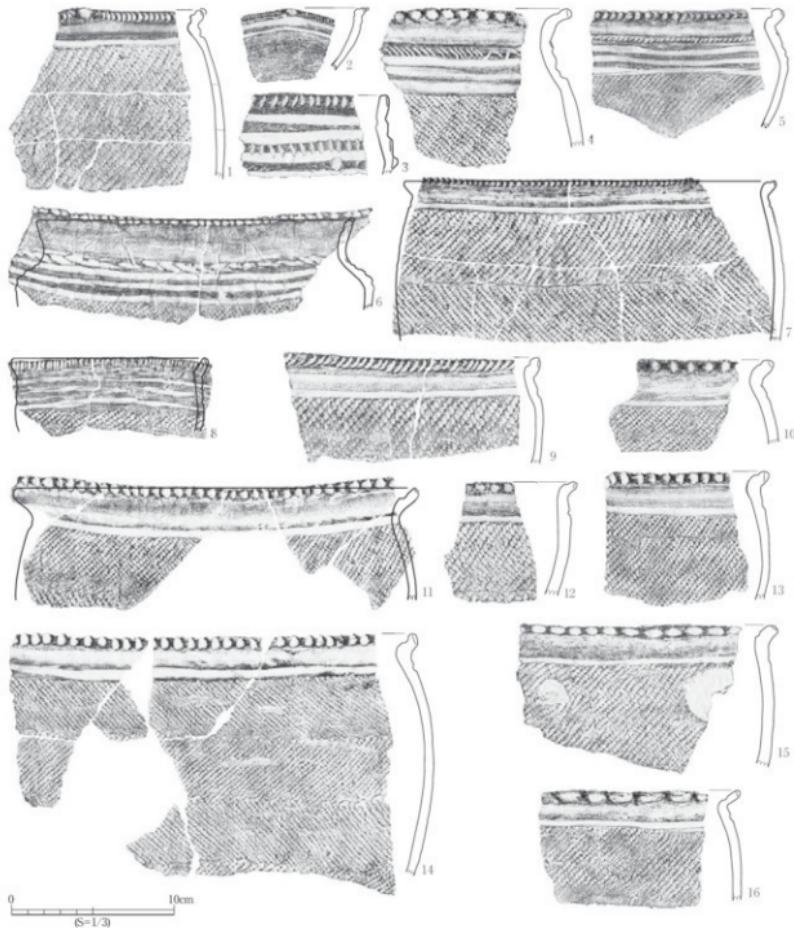
No.	形種	型番1	型番2	大判別	区・造精・組	特徴	写真図版	登録
1	漆跡	A1	XN a1	南2A	D-55束・Vla・b+Vla	平縞、織文LR	97-7	Po679
2	漆跡	A1	XN a1	南2A	D-54束・Vla	平縞、織文LR	97-6	Po289
3	漆跡	A1	XN a1	南2A	D-54束・Vla	丁口(16.6cm)、平縞、織文LR	97-8	Po304
4	漆跡	A1	XN a1	南2A	D-68北・Vla	平縞、織文LR、外面炭化物付着	97-9	Po776
5	漆跡	A1	XN a1	南2A	D-68北・Vla	平縞、織文LR	97-10	Po713
6	漆跡	A1	XN a1	南2A	D-54束・Vla	平縞、直面段多条縞文LR	97-12	Po568
7	漆跡	A1	XN a1	南2A	D-54束・Vla	平縞、織文LR	97-14	Po351
8	漆跡	A1	XN a1	南2A	D-54束・Vla	平縞、織文LR	97-11	Po352
9	漆跡	A1	XN a1	南2A	D-54束・Vla	平縞、織文LR	97-13	Po353
10	漆	A1	XN a1	南2A	D-55束・Vla	丁口(8.8cm)、平縞、織文LR	97-16	Po700
11	漆跡	C1	XV	南2A	D-55束・Vla	平縞	97-15	Po677
12	漆	A1	XII x	南1	D-53束・Vla	平縞+ヘラ剥片。平行沈面文、織文LR	97-17	Po311
13	漆跡	A1edf	■	南1	D-53束・Vla	平縞+ヘラ剥片+一側対の小突起+丁口部沈面、メガネ状浮文+一側対の貼瘤。織文LR	97-18	Po113
14	漆	B1cdf	■	南1	D-53束・Vla	平縞+ヘラ剥片+一側対の小突起+丁口部沈面、メガネ状浮文+一側対の小突起。平行沈面文、織文LR	97-19	Po143

第110図 C丘陵南斜面a包含層(西侧) 出土土器 (30)



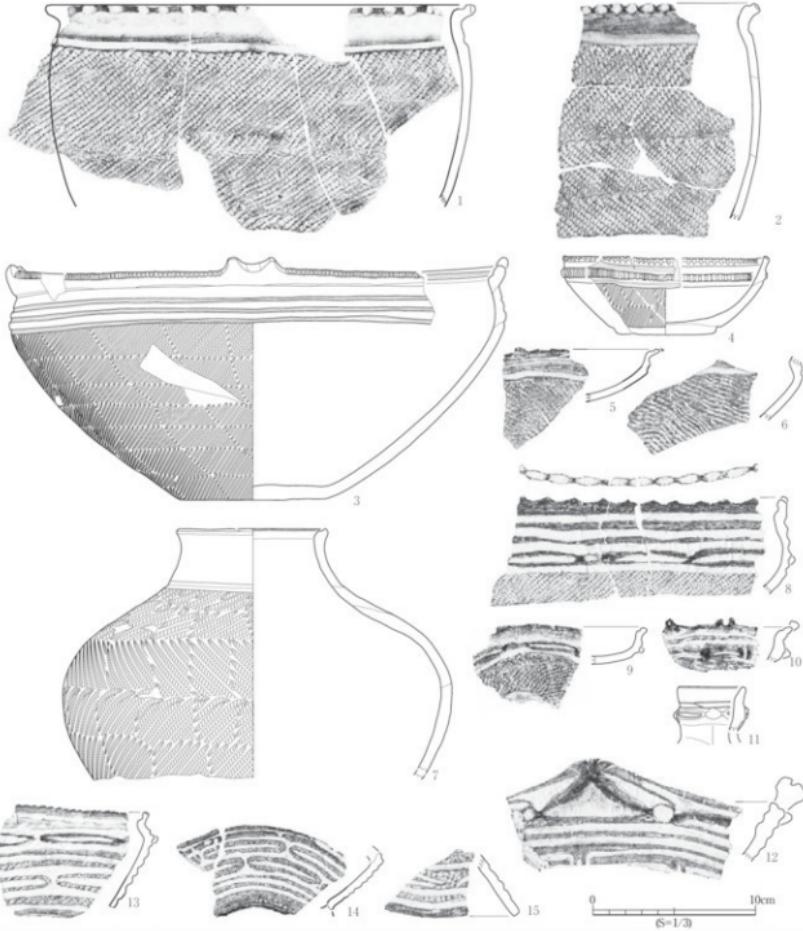
No.	器種	類型I	類型II	大別期	区・遺構・附	特徴	写真図版	登録
1	鉢	Alef	Ⅲ	南I	D-53南・Ⅲa	口幅(12.5cm)、底径(5.5cm)、底深(6.5cm)。底反張+山形突起+口縁端部凹線。平行沈継文。雲形文(脇引消し綱文)。平行沈継文。底面ケリ。薄文LR	9-6	Po24
2	鉢	Aleiff	Ⅲ	南I	D-53北・Ⅲa	平縁+ハラ削目。一側一对の小突起+口縁部凹線。メガネ状浮文。二個一对の貼輪。高巻き状雲形文(脇引消し綱文)。平行沈継文。底反張+山形突起。薄文LR	9-5	Po26
3	浅鉢	Albe	Ⅲ	南I	D-53南・Ⅲa	平縁+底反張+口縁部凹線。薄文LR	9-6	Po10
4	浅鉢	Blef	Ⅲ	南I	D-53南・Ⅲa	平縁+山形突起+一側一对の小突起+口縁部凹線。平行沈継文。底反張+山形突起。薄文LR	9-3	Po28
5	鉢	Albf	Ⅲ	南I	D-53南・Ⅲa	平縁+底反張+山形突起。平行沈継文。薄文LR。外周赤鉄	9-7	Po25
6	鉢	Albiff	Ⅲ	南I	D-53南・Ⅲa	平縁+底反張+山形突起。平行沈継文。薄文(脇引消し綱文)。薄文LR。外周赤鉄	9-8	Po20
7	鉢	Albiff	Ⅲ	南I	D-54北・Ⅲa	平縁+ハラ削目。山形突起。底反張浮継文。平行沈継文。雲形文(脇引消し綱文)。薄文LR	9-6	Po29
8	鉢	Albiff	Ⅲ	南I	D-53南・Ⅲa	平縁+底反張+山形突起。内側ハラ削目。平行沈継文。雲形文(脇引消し綱文)。薄文LR	9-11	Po26
9	鉢	Albf	Ⅲ	南I	D-53南・Ⅲa+b	平縁+底反張+山形突起。内側ハラ削目。平行沈継文。雲形文(脇引消し綱文)。薄文LR。内側沈継文	9-10	Po22
10	浅鉢	C20	Ⅲ	南I	D-53南・Ⅲa	底反張+ハラ削目。薄文(脇引消し綱文)。薄文LR。内側沈継文	9-12	Po22
11	浅鉢	Ale	Ⅲ	南I	D-53南・Ⅲa	平縁+口縁部凹線。平行沈継文。薄文LR	9-13	Po23
12	浅鉢	Bleff	Ⅲ	南I	D-53南・Ⅲa	平縁+ハラ削目。一側一对の小突起+口縁部凹線。雲形文(脇引消し綱文)。小。薄文LR	9-14	Po32
13	浅鉢	Bleff	Ⅲ	南I	D-53南・Ⅲa	平縁+ハラ削目。小突起+口縁部凹線。子口沈継文。薄文(脇引消し綱文)。薄文LR	9-15	Po27
14	台形浅鉢	Alff	Ⅲ	南I	D-53北・Ⅲa	口幅(15.5cm)。平縁+側面ハラ削目。一側一对の小突起+5單位孔。薄文。メガネ状浮文。二個一对の貼輪。单孔にか。舌型状物形文+単孔。平行沈継文。口沿部側面平行沈継文	9-1	Po22
15	鉢	Aleiff	Ⅲ	南I	D-53南・Ⅲa	平縁+ハラ削目。山形突起。口沿部沈継文。雲形文(脇引消し綱文)。平行沈継文。薄文LR。RL	9-19	Po29
16	盃	-	Ⅲ	南I	D-53南・Ⅲa	平行沈継文。薄文(脇引消し綱文)。薄文。薄文LR	9-16	Po32
17	注口上器	-	Ⅲ	南I	D-53南・Ⅲa	雲形文(脇引消し綱文)。子口沈継文。直筒式多条縫文。薄文LR	9-17	Po29
18	盃	-	Ⅲ	南I	D-53南・Ⅲa	口形文(脇引消し綱文)。子口沈継文。直筒式多条縫文。薄文LR	9-18	Po28
19	盃	Blef	Ⅲ	南I	D-53南・Ⅲa	口幅(7.6cm)。底反張+山形突起(11.3cm)。平縁+ハラ削目。一側一对の小突起+口沿部沈継文。平行沈継文。環状の平行沈継文	9-2	Po64
20	盃	Blef	Ⅲ	南I	D-54南・Ⅲa+b	平縁+小突起+口沿部沈継文。口沿部凹線。平行沈継文。底反張+山形突起。薄文(脇引消し綱文)。薄文LR	9-20	Po20
21	深鉢	-	Ⅲ	南I	D-53南・Ⅲa	口形文(脇引消し綱文)。子口沈継文。二側一对の貼輪。薄文LR	9-21	Po11
22	深鉢	Bld	ⅢB	南I	D-53南・Ⅲa+b	口形文(脇引消し綱文)。子口沈継文。薄面削目。平行沈継文。押印。薄文LR	9-22	Po64
23	鉢	Bld	ⅢC	南I	D-53南・Ⅲa	平縁+ハラ削目。山形突起+二個一对の小突起+口縁部凹線。薄文。薄文LR	9-23	Po15
24	深鉢	Bleff	ⅢC	南I	D-53南・Ⅲa	平縁+ハラ削目。山形突起+二個一对の小突起+口縁部凹線。薄文。薄文LR	9-24	Po21

第1111図 C丘陵南斜面a包含層(西側) 出土土器(31)



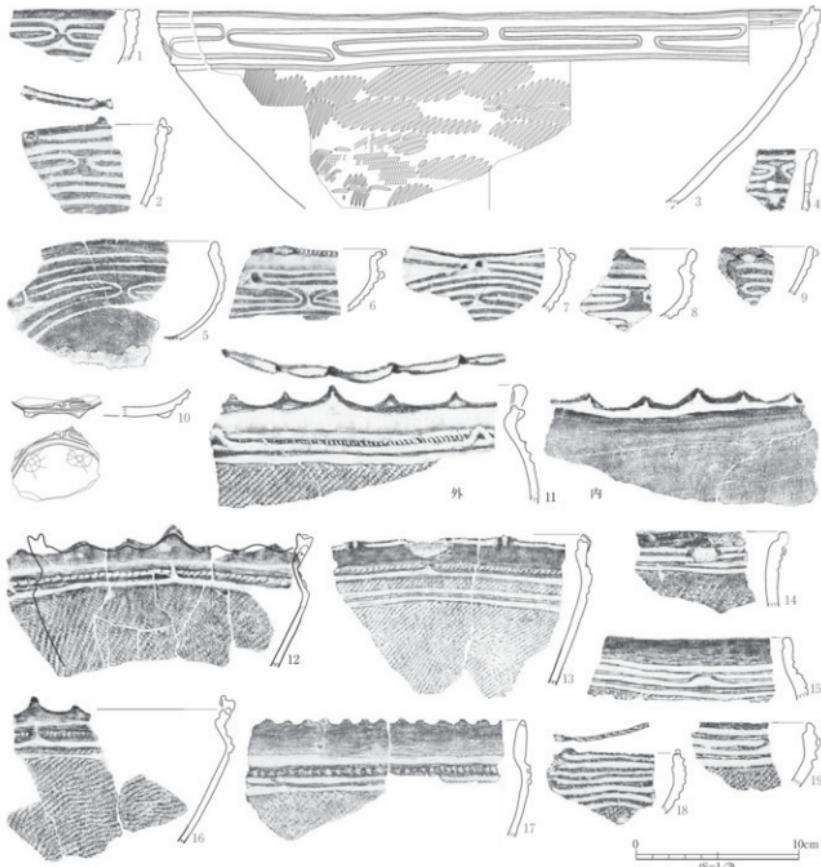
No.	形	種	型	型	大	大	區・道	區・道	類	特	寫真圖版	分類
1	深	Blod	XⅢ	面I	D-53	南	/M	平縫+△彎縫+二層 片の小突起+口部沈縮。沈縮文。縫文LR。内面沈縮		98-25	Po181	
2	直	Blod	XⅡ±x	面I	D-53	南	/M	平縫+△彎縫+二層 片の小突起+口部沈縮。平行沈縮文。内面沈縮		98-26	Po138	
3	深	Cled	XⅢ±x	面I	D-54	南	/M	平縫+側面柱状縫+口部沈縮。平行沈縮文+側面柱状縫。口部内面沈縮		98-27	Po407	
4	深	Blod	XⅡ±x	面I	D-53	南	/M	平縫+△彎縫+口部沈縮。側面柱状縫。△彎縫。平行沈縮文。縫文LR		98-28	Po129	
5	深	Blod	XⅡ±x	面I	D-53	南	/M	平縫+△彎縫+口部沈縮。側面柱状縫。△彎縫。平行沈縮文。縫文LR		98-29	Po122	
6	深	Blod	XⅡ±x	面I	D-54	北	/M	口縫(29.6cm)。平縫+△彎縫。病弱。平行沈縮文。縫文LR。口縫部内面沈縮		98-30	Po623	
7	深	Blod	XⅢ	面I	D-53	南	/M	口縫(32.1cm)。平縫+△彎縫+口部沈縮。沈縮文。前後側文LR。BL		98-31	Po155	
8	深	Blod	XⅢ	面I	D-54	北	/M	口縫(32.2cm)。平縫+側面柱状縫。平行沈縮文。縫文LR。口縫部内面沈縮		98-32	Po997	
9	深	Blod	XⅢ	面I	D-53	南	/M	平縫+側面柱状縫+口部沈縮。沈縮文。縫文LR		98-33	Po124	
10	深	Blod	XⅢ	面I	D-54	南	/M	平縫+△彎縫+口部沈縮。沈縮文。縫文LR		98-34	Po122	
11	深	Blod	XⅢ	面I	D-53	南	/M	口縫(26.0cm)。平縫+△彎縫+口部沈縮。沈縮文。前後側文LR		98-35	Po139	
12	深	Blod	XⅢ	面I	D-54	南	/M	平縫+△彎縫+口部沈縮。沈縮文。前後側文LR		98-36	Po110	
13	深	Blod	XⅢ	面I	D-53	南	/M	平縫+△彎縫+口部沈縮。沈縮文。前後側文LR		98-37	Po126	
14	深	Blod	XⅢ	面I	D-53	南	/M	平縫+△彎縫+口部沈縮。沈縮文。前後側文LR		99-7	Po117	
15	深	Blod	XⅢ	面I	D-54	南	/M	平縫+△彎縫+口部沈縮。沈縮文。縫文LR		99-5	Po416	
16	深	Blod	XⅢ	面I	D-53	南	/M	平縫+△彎縫+口部沈縮。沈縮文。縫文LR		99-6	Po125	

第112図 C丘陵南斜面a包含層(西侧) 出土器 (32)



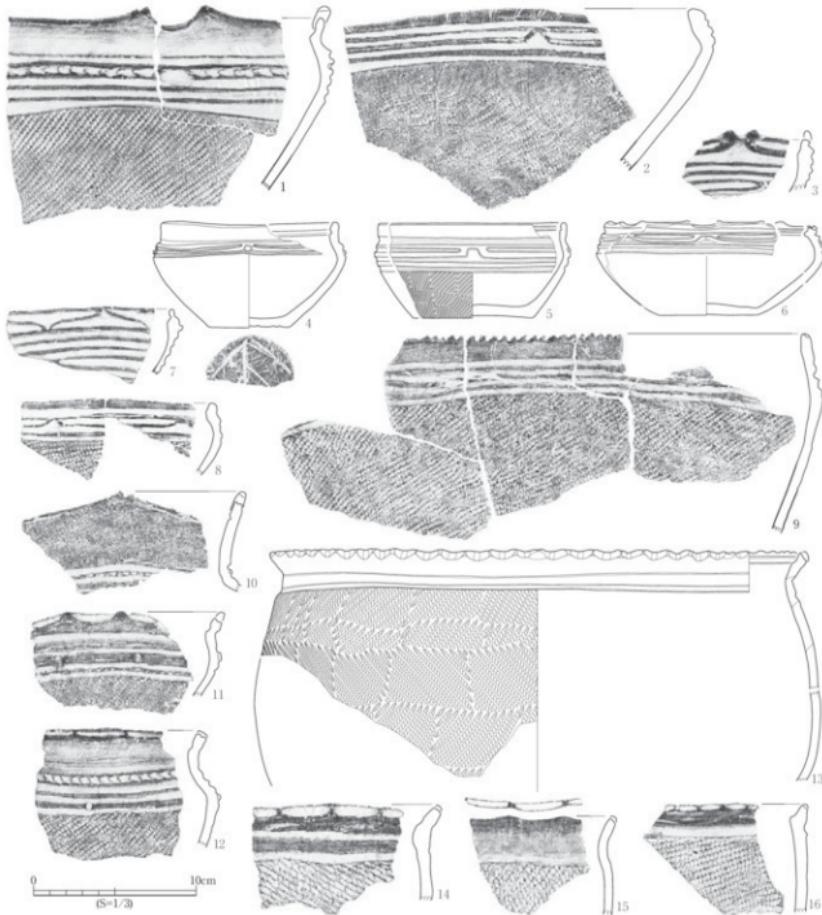
No.	器種	類型1	類型2	大別期	区・遺構 / 標	特徴	写真図版	登録
1	深鉢	Blef	X型	南 I	D-S3 南 / Vla	口徑 (24.4cm)、平縁 + ハラ刻目 + 口部斜彫。沈文文。圓文LR	99.8	Po18
2	深鉢	Blef	X-B-h2	南 I	D-S3 南 / Vla	平縁 + ハラ刻目 + 口部斜彫。羽状彫文LR。圓文	99.9	Po26
3	浅鉢	Blef	X-B-x	南 I	D-S3 南 / Vla	口徑30.1cm、器高14.9cm、底径4.0cm、平縁 + 斜彎斜彫目 + 二箇一対の山形突起 + 口部斜彫。平行沈文文	99.1	Po134
4	浅鉢	Ald	X-B-a	南 I	D-S3 南 / Vla	口徑 (12.5cm)、器高4.0cm、底径 (6.0cm)。平縁 + 橢圓状彫目。平行沈文文 + 橢圓状彫目。底部付近ミガキによる無文帯。底部ミガキ。圓文LR	99.2	Po08
5	瓶	Blef	X型	南 I	D-S3 南 / Vla	平縁 + 一箇一対の小穴縦 + 口部斜彫。沈文文。圓文LR	99.10	Po114
6	浅鉢	-	X型	南 I	D-S3 北 / Vla	沈文文。前段自然焼成文	99.11	Po21
7	壺	Cle	X型	南 I	D-S3 南 / Vla	口徑9.1cm、体部最大径23.9cm、平縁 + 口部斜彫。沈文文。羽状彫文LR。BL未端部強調	99.4	Po92
8	深鉢	C2	壠	南 I	D-S1 北 / Vla	透状縫。平行沈文文。メガネ状浮文 + 二箇一対の點彫。圓文LR。口縁部内面斜彫	99.12	Po603
9	瓶	Ble	壠	南 I	D-S3 南 / Vla	平縁 + 1箇部斜彫。メガネ状浮文 + 二箇一対の點彫。圓文LR	99.13	Po56
10	鉢	BH	壠	南 I	D-S3 南 / Vla	平縁 + 山形突起 + 一箇一対の小穴縦。平行沈文文、メガネ状浮文 + 点彫 + 斜彫 (直縫部彫み)	99.14	Po46
11	壺	-	壠	南 I	D-S3 南 / Vla	口徑4.0cm、平縁。沈文文。メガネ状浮文	99.3	Po161
12	鉢	Alice	X	南 I	D-S1 北 / Vla	平縁 + 山形突起の両側に一箇一対の小穴縦 + 口部斜彫。平行沈文文。工字文。突起 + 口縁部内面平行沈文文	99.16	Po601
13	鉢	H2	X	南 I	D-S1 北 / Vla	透状縫。沈文文。メガネ状浮文 + 二箇一対の點彫。流水工字文 (振り消し沈文)。圓文LR。口縁部内面沈文	99.15	Po595
14	鉢少	-	X	南 I	D-S3 南 / Vla	工字文 (振り消し沈文)。沈文文。圓文LR	100.6	Po335
15	台部	-	X	南 I	D-S4 南 / Vla	工字文か。平行沈文文。圓文LRか。	100.9	Po405

第113図 C丘陵南斜面a包含層(西侧) 出土器 (33)



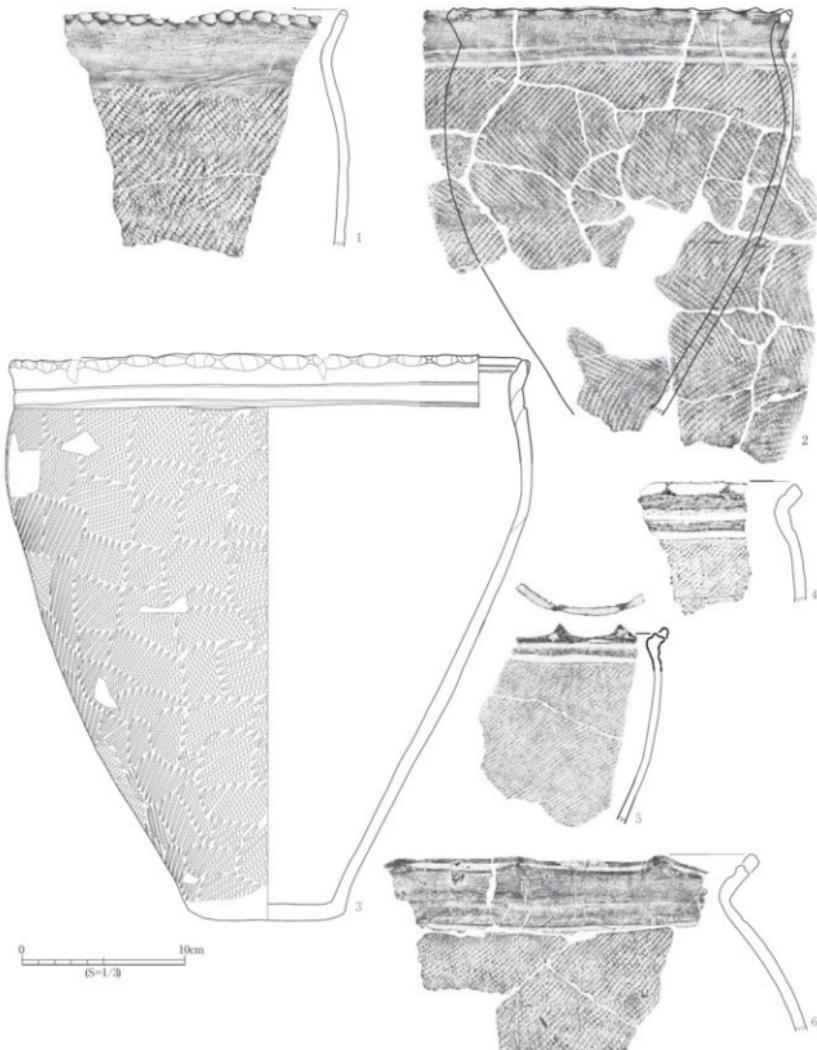
No.	形態	類型1	類型2	大別群	区・層級／帶	特徴	写真版	壁版
1	(泥鉢)	A1c	X	曲	曲1	D-03曲／見	平縫 + ド円部沈縮。工字文（メガネ状）。内面沈縮	100-2 P0600
2	鉢	Alef	X	曲	曲1	D-04曲／見	平縫 + 一側の小突起 + 1ド円部沈縮。平行沈縮文 + 二側一对の船縫。工字文。平行沈縮文。口縫部内面平行沈縮	100-10 P0612
3	浅鉢	A1c	X	曲	曲1	D-04曲／見	D縫（約2cm）。平縫 + 1ド円部沈縮。工字文6単位。圓文LR。口縫部内面平行沈縮文	100-4 P0602
4	鉢	A1c	X	曲	曲1	D-04曲／見	平縫 + 口縫部沈縮。工字文。斜彌孔1	100-11 P0418
5	四脚付浅鉢	A1c	X	曲	曲1	D-03曲／見	平縫 + 口縫部沈縮。平行沈縮文。工字文	100-8 P0433
6	浅鉢	B1df	X	曲	曲1	D-04曲／見	平縫 + ハラ目縫 + 二側一对の小突起。平行沈縮文	100-13 P0480
7	浅鉢	A1	X	曲	曲1	D-03曲／見	平縫。工字文 + 二側一对の船縫。口縫部内面平行沈縮	100-12 P06
8	浅鉢	B1cf	X a + X	曲	曲1	D-04曲／見	平縫 + 山形突起 + 口縫部沈縮。工字文。#文字文（透き表現）	100-14 P0419
9	鉢	A1f	X	曲	曲1	D-03曲／見	平縫 + 一側一对の小突起。工字文 + 跡帶	100-15 P0445
10	四脚付鉢	-	X ?	曲	曲1	D-04曲／見	底径（約1cm）。漢文工字文か	100-18 P0402
11	深鉢	B2ef	B_d	曲	曲1	D-03曲／見	直底縫 + 二側一对の山形小突起 + 山形突起。直底部内側縫。#文字文 + ハラ目縫（崩り消し）。圓文LR。内面沈縮	100-17 P05
12	深鉢	B2cef	B_d	曲	曲1	D-03曲／見	D縫（16.3cm）。直底縫 + 山形突起の左右に小突起 + 小突起間に沈縮。#文字文 + 斜突起。圓文LR。口縫部内面沈縮	100-5 P049
13	深鉢	C1ef	B_d	曲	曲1	D-04曲／見	直底縫 + 小突起 + 直底部丸み + 山形突起か。變軸四攢縫。#文字文 + 刺突起。平行沈縮文。圓文LR。口縫部内面沈縮	100-19 P0607
14	鉢	A1_b	B_a	曲	曲1	D-04曲／見	直底縫 + 直底部丸み。#文字文 + 一側一对の船縫。沈縮文。圓文LR	100-16 P0414
15	深鉢	A1	B_a	曲	曲1	D-04曲／見	直縫。#文字文。圓文LR。口縫部内面沈縮	100-20 P0611
16	深鉢	B2cef	B_d	曲	曲1	D-03曲／見	直底縫 + 山形突起の外縫間に小突起2+ 小突起間に1ド円部沈縮。#文字文 + 刺突起。沈縮文。圓文LR	100-21 P0448
17	深鉢	B2	B_a	曲	曲1	D-04曲／見	直底縫。平行沈縮文。斜突起。#文字文。圓文LR	100-22 P0609
18	鉢	A1d	B_a?	曲	曲1	D-03曲／見	直縫 + 刃み + 一側一对の小突起。椭圓状底口。#文字文。圓文LR。口縫部内面沈縮	100-24 P0412
19	鉢	A1	B_a	曲	曲1	D-03曲／見	直縫。#文字文。平行沈縮文。圓文LR。口縫部内面沈縮	100-25 P0411

第114図 C丘陵南斜面a包含層（西侧）出土土器（34）



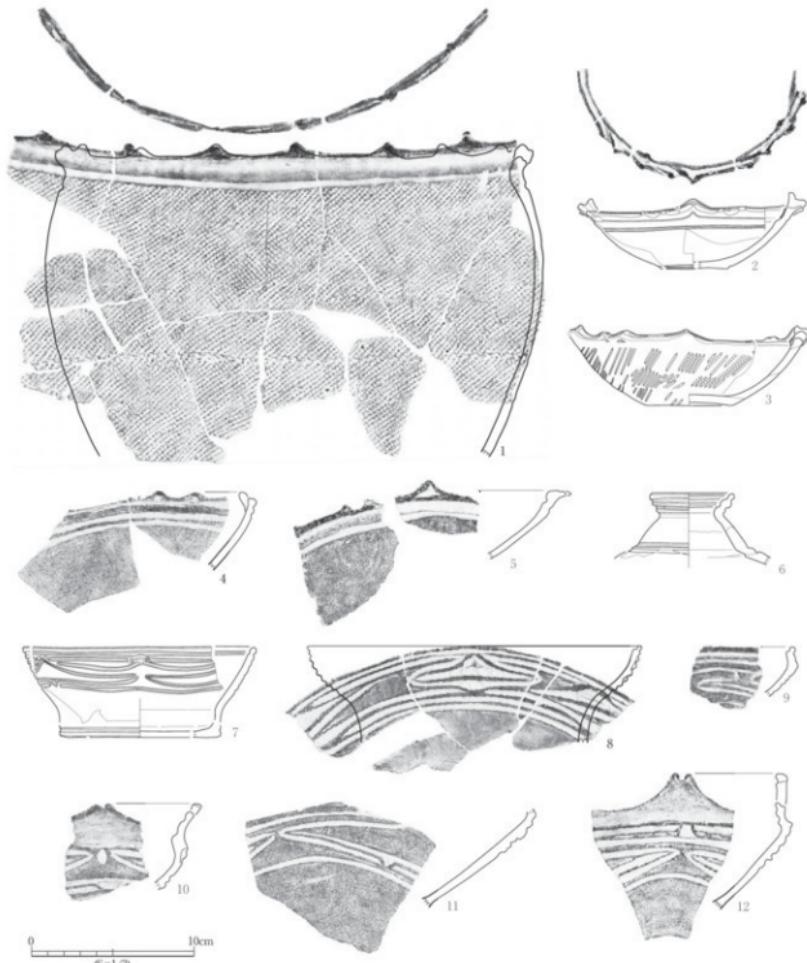
No.	器種	型別I	型別II	大別別	区・道標・附	特徴	写真版	目録
1	鉢	B1cf	B a2	南 I	D-54 南 / 足 a	平縁 + 一側の山形突起(底部彫み) + 口縁沈窪。π字文 + 鋸尖列。縄文LR。外面赤彩	100-23	Po381
2	鉢	A1	B a	南 I	D-54 南 / 足 a	平縁。π字文。縄文LR。外輪里彩	100-27	Po382
3	浅鉢	A1cf	B a	南 I	D-53 南 / 足 a	平縁 + 一側の突起 + 口縁周辺沈窪。π字文。口縁部内面沈窪	100-26	Po106
4	鉢	C1	B o	南 I	D-54 南 / 足 a	口縁 (10.6cm)。器高 6.5cm。底径 5.0cm。平縁。π字文 5單元。底部木輪痕。口縁部内面沈窪	100-3	Po426
5	浅鉢	C1	B a	南 I	D-53 北 / 足 a	口縁 (11.0cm)。平縁。π字文。沈窪文。縄文LR。底部ミガキ。口縁部内面沈窪	100-4	Po23
6	浅鉢	A1cf	B a	南 I	D-54 南 / 足 a	口縁 (12.6cm)。器高 6.0cm。底径 6.0cm。平縁 + 神往 + 神往沈窪。π字文 8 単位。沈窪文。底部ミガキ。	100-2	Po425
7	浅鉢	A1c	B a	南 I	D-54 北 / 足 a	平縁 + (1)部沈窪。π字文。π字文 (迷き表現)。平行沈窪文	101-3	Po641
8	鉢	A1	B a	南 I	D-54 南 / 足 a+b	平縁 + (1)部沈窪。π字文。縄文LR	101-2	Po278
9	深鉢	A2	B a	南 I	D-54 北 / 足 a	口縁 (21.2cm)。底部沈窪。π字文。縄文LR。口縁部内面沈窪	101-10	Po601
10	壺	F3f	B d?	南 I	D-54 南 / 足 a	底伏線 + 山形突起 (底部彫み)。π字文 + 平行沈窪文 + 斜尖列。口縁部内面沈窪	101-4	Po431
11	鉢	B2c	X II c	南 I	D-54 北 / 足 a	底伏線 + 一側の山形突起。平行沈窪文 + 斜尖列。縄文LR。口縁部内面沈窪	101-5	Po582
12	深鉢	C2c	X II b*	南 I	D-54 北 / 足 a	底伏線 + 深底部沈窪。平行沈窪文 + 斜尖列 + 神往。縄文LR。口縁部内面沈窪	101-6	Po615
13	深鉢	B2c	X II c	南 I	D-53 南 / 足 a	口縁 (32.4cm)。底伏線 + 口縁部沈窪。平行沈窪文。羽状沈窪文LR/RI	101-1	Po127
14	深鉢	B2	X II c	南 I	D-54 南 / 足 a	底伏線。平行沈窪文。縄文LR。口縁部内面沈窪	101-7	Po415
15	深鉢	C2c	X II	南 I	D-54 南 / 足 a	底伏線 + (1)部沈窪。沈窪文。前段多孔縄文LR	101-8	Po408
16	深鉢	B2	X II	南 I	D-54 南 / 足 a	底伏線。沈窪文。縄文LR。外面炭化物付	101-9	Po411

第115図 C丘陵南斜面a包含層(西侧) 出土土器 (35)



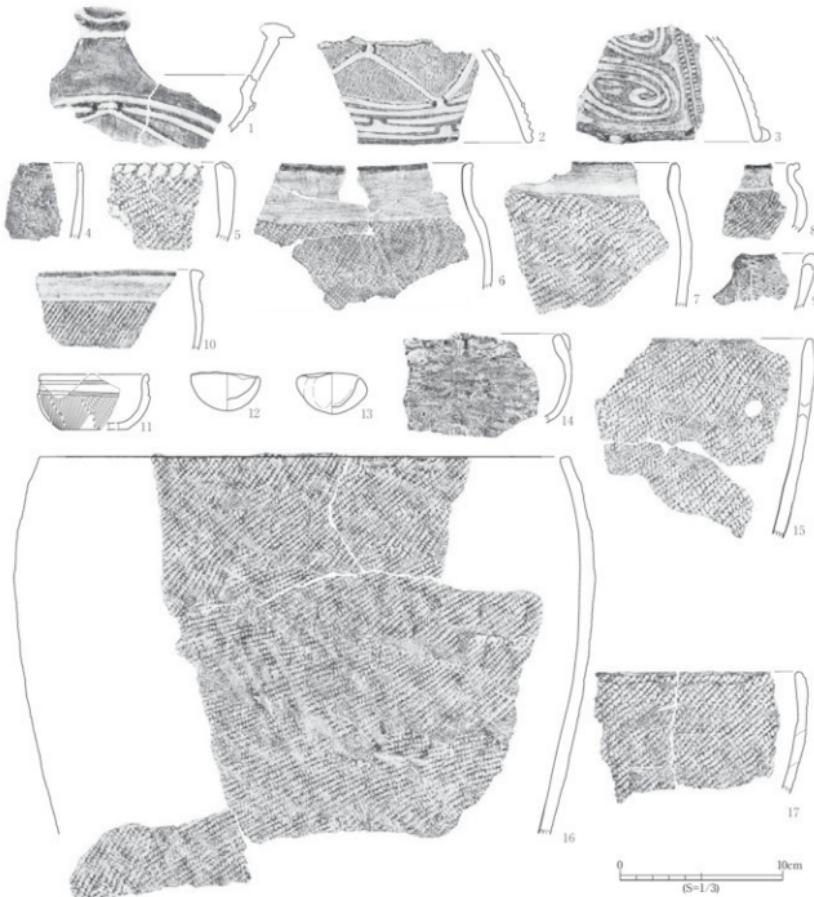
No.	器種	類型1	類型2	大別類	區・遺構／層	特徵	寫真圖版	登錄
1.	漆鉢	C.2	X. B. br.	南 I	D-54 南・Ⅵa + Ⅶa	波狀緣、網文 LR	101-12	Po43
2.	漆鉢	B2	X. B. x	南 I	D-54 北・Ⅵa	口沿 22.2cm。波狀緣、平行橫線文。波狀緣文 LR / RL	101-13	Po99
3.	漆鉢	B2	X. B. x	南 I	D-53 北・Ⅵa	口沿 21.5cm。波狀緣、平行橫線文。波狀緣文 LR。口沿部內凹化、外緣凸化物有垂	102-1	Po24
4.	漆鉢	B2c	X. B.	南 I	D-54 南・Ⅵa	波狀緣 + 口沿部波緣。沈海文。網文 LR	101-11	Po47
5.	漆鉢	B2c-f	X. B.	南 I	D-53 南・Ⅵa	波狀緣 + 山形突起。波狀緣波緣 + 口沿部波緣。沈海文。網文 LR	102-2	Po54
6.	漆鉢	B2c-f	X. B.	南 I	D-54 北・Ⅵa + Ⅶ	波狀緣 + 山形突起。空腔頂波緣 + 口沿部波緣。沈海文。網文 LR 未確認波調	102-3	Po625

第116図 C丘陵南斜面a包含層(西侧) 出土土器 (36)



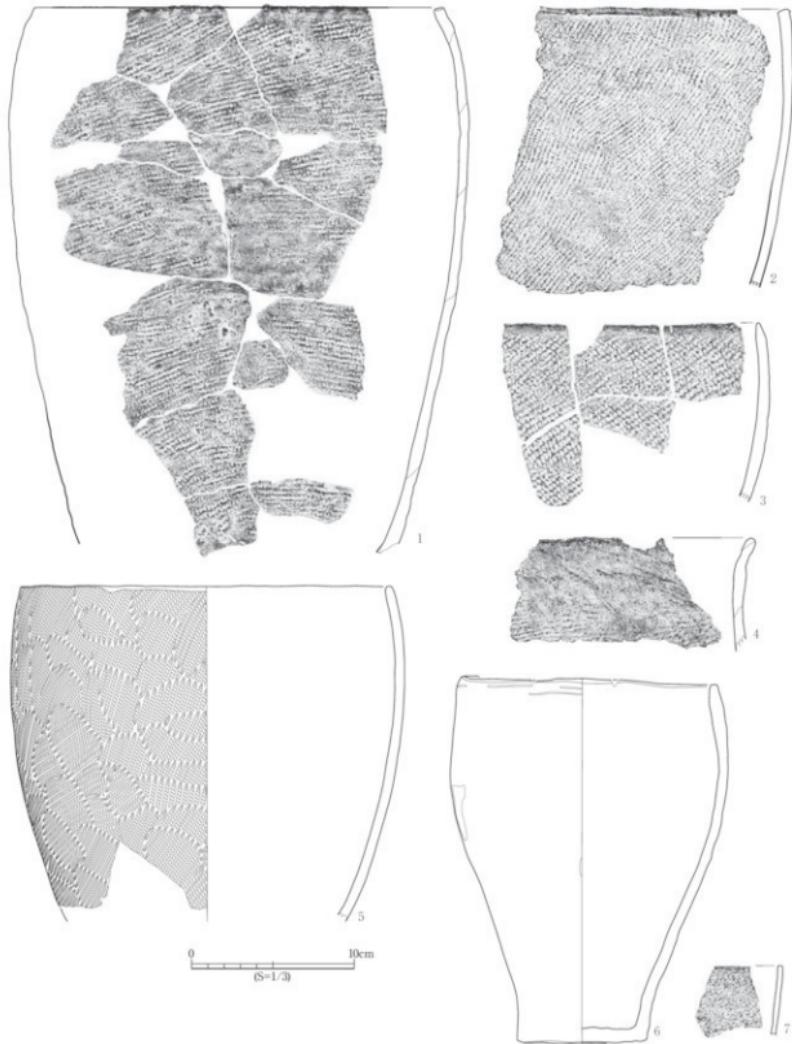
No.	器種	型別	形態2	大別期	区・邊機／層	特徵	写真図版	登録
1	深鉢	B1cf	X III	漁 I	D53 南 / Ma	口口 (28.0cm)。平縁 + 小突起 + 口唇部沈縮。沈縮文。圓文 L 帯 (底部強調)。内面沈縮	1024	Po120
2	瓶	A1cf	X II x	漁 I	D53 南 / Ma	口口 (12.3cm)。最高 4.3cm、底径 4.0cm)。平縁 + 山形突起の両側に二個一対の山形突起 4 単位 + 口唇部沈縮。平行沈縮文。底部付左 1 キリに「る」字文。底部 1 キリ、かまく 1 フレ。口縁部内面沈縮	1025	Po09
3	瓶	A1f	X V ad	漁 I	D53 南 / Ma	口口 (13.4cm)。最高 9.6cm、底径 5.3cm)。平縁 + 二個一対の山形突起 4 単位 + 山形突起 4 単位。圓文 L	1031	Po140
4	瓶	A1cf	X II x	漁 I	D54 北 / Ma	平縁 + 二個一対の山形突起 + 口縫周囲沈縮。平行沈縮文	1035	Po088
5	浅鉢	A1cf	X III	漁 I	D53 南 / Ma	平縁 + 山形突起 + 二個一対の小突起 + 口唇部沈縮。沈縮文	1034	Po153
6	壺	H1	X II x	漁 I	D54 北 / Ma	口口 (5.5cm)。平縁 + 平口沈縮。口縫部内面平行沈縮	1032	Po610
7	浅鉢	A1	X o-X I	漁 I	D53 南 / Ma	口口 (14.2cm)。最高 5.5cm、底径 9.9cm)。平縁。変形文字文 + 二個一対の船腹 6 単位。変形文字文 4 単位。口縫部内面沈縮	1033	Po166
8	鉢	A1c	B o+X I	漁 I	D54 北 / Ma	口口 (20.0cm)。平縁 + 口縫部沈縮。上口対内の x 文字。変形文字文。平行沈縮文	1036	Po393
9	浅鉢	B1c	K o+X I	漁 I	D54 北 / Ma	平縁 + 口縫部沈縮。平行沈縮文。# 文字。変形文字文	1037	Po599
10	浅鉢	B3c	B o+X I	漁 I	D54 北 / Ma	浅伏縁 + 山形突起 (底部弱化)。変形文字文 + 孔乳。# 文字 (透き表模)。突起 + 口縫部内面沈縮	1038	Po590
11	浅鉢	-	B o+X I	漁 I	D54 南 / Ma	変形文字文。# 文字。透き表模	1039	Po120
12	平行浅鉢	B1cc	B o+X I	漁 I	D54 北 / Ma	浅伏縁 + 山形突起 (底部強調)。突起間沈縮。# 文字。変形文字文。沈縮文。突起 + 口縫部内面沈縮	10310	Po608

第117図 C丘陵南斜面a包含層(西侧) 出土土器 (37)



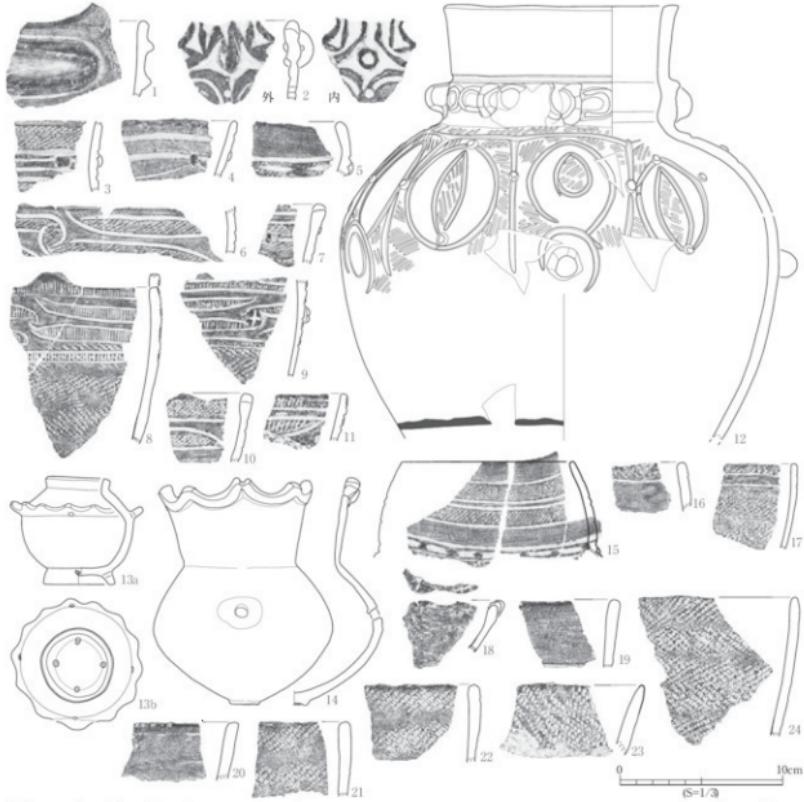
No.	器種	型態1	型態2	大判別	区・遺構 / 脊	特徴	写真図版	登録
1	台付浅碗	RIce	X I	D-54	老 / M a	浅底盤+内側突起(円錐状突起)+尖端部沈痕。施文工字文+一個+対の船形。突起+口縁部内側沈痕	103-11	Po642
2	台部	-	B. 2× X I	D-54	高 / M a	変形工字文+二個+対の船形。Ω字文、網文LR	103-12	Po27
3	壺	-	-	D-54	高 / M a	字縞+二個+対の小突起。面巻き文か。縦位の隠存+底部沈痕文+横曲状突起	103-13	Po294
4	深鉢	A1	X B	D-54	高 / M a	平縞。沈痕文	103-14	Po29
5	深鉢	A1d	X B a	D-53	高 / M a	平縞+へり削目。網文LR	103-15	Po123
6	深鉢	C1	X B b	D-54	老 / M a	平縞。肩付網文LR/RL	103-16	Po266
7	深鉢	C1	X B b	D-54	高 / M a	浅底盤。網文LR	103-17	Po421
8	壺	Cfc	X B b	D-53	高 / M a	平縞+口縁部沈痕。網文LR	103-18	Po101
9	鉢	A2f	-	D-54	高 / M a	浅底盤+小突起。条痕?	103-19	Po279
10	鉢	A1	X B b	D-53	高 / M a	平縞。網文LR	103-20	Po130
11	袖形上唇浅鉢	C1	X B x	D-53	高 / M a	11時。6.7cm)。器高 3.4cm。底径 (4.2cm)。平縞。平行施縞文。底部ミガキ。網文LR	103-22	Po237
12	袖形上唇鉢	A1	X V	D-54	高 / M a	11時 3.9cm)。器高 2.7cm。丸底。平縞。底部ミガキ	103-23	Po298
13	袖形上唇鉢	A1	X V	D-54	老 / M a	11時 3.7cm)。器高 2.4cm。丸底。平縞。底部ミガキ	103-24	Po265
14	鉢	A1	X V	D-53	高 / M a	平縞。小突起	103-25	Po67
15	深鉢	A1	X B al	D-54	高 / M a	平縞。直縫段多余網文LR。補修孔1	103-25	Po33
16	深鉢	A1	X B al	D-54	高 / M a	平縞。網文LR 末端部強調	103-27	Po452
17	深鉢	A1	X B al	D-54	老 / M a	平縞。網文LR	103-26	Po618

第1118図 C丘陵南斜面a包含層(西侧) 出土土器 (38)



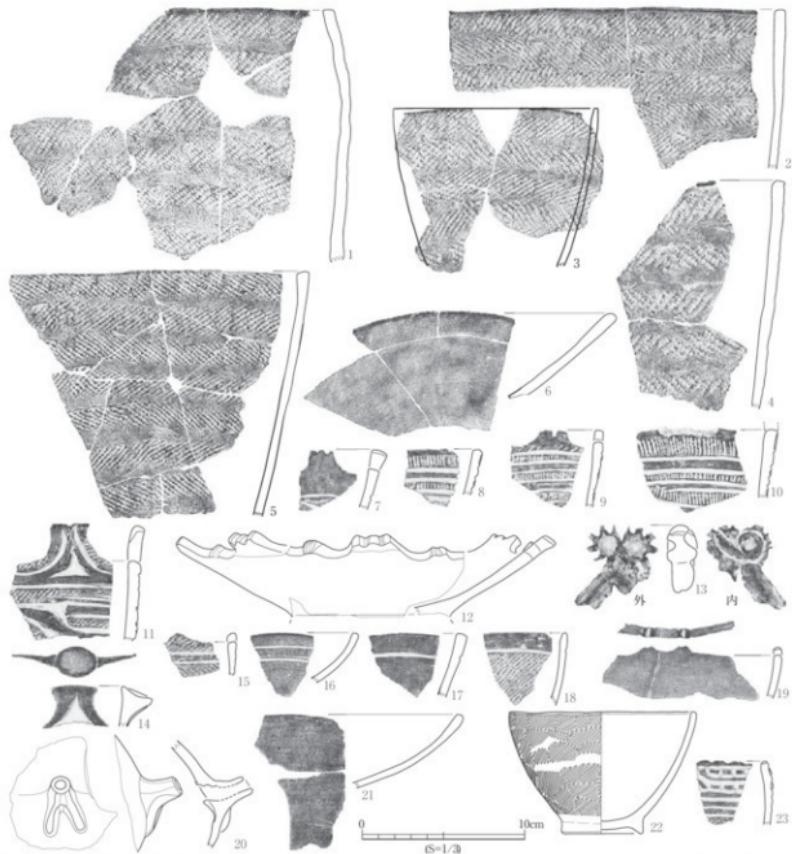
No.	器種	型別1	型別2	大別別	区・造形・形	特徴	写真図版	登録
1	深鉢	A1d	XN a1	南I	D-54北 / VI a	口縁 (25.2cm)、平縁+ハラ網目、網文LR	104.3	Po614
2	深鉢	A1	XN a1	南I	D-54南 / VI a	平縁、直前段多条網文LR	104.4	Po606
3	深鉢	A1	XN a1	南I	D-53南 / VI a	平縁、網文LR	104.5	Po616
4	深鉢	A1	XN a1	南I	D-54南 / VI a	平縁、網文R	104.7	Po683
5	深鉢	A1	XN a1	南I	D-54南 / VI a	口径 22.5cm、平縁、網文LR、外面炭化物付着	104.2	Po609
6	深鉢	A1	XN a1	南I	D-54北 + 另I - D-54南 / VI a	口径 15.4cm、器高 22.6cm、底径 7.9cm、平縁、底部ナリ	104.1	Po692
7	深鉢(削邊土器)	A1	XV	南I	D-54南 / VI a - b	平縁	104.6	Po373

第119図 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土土器（39）



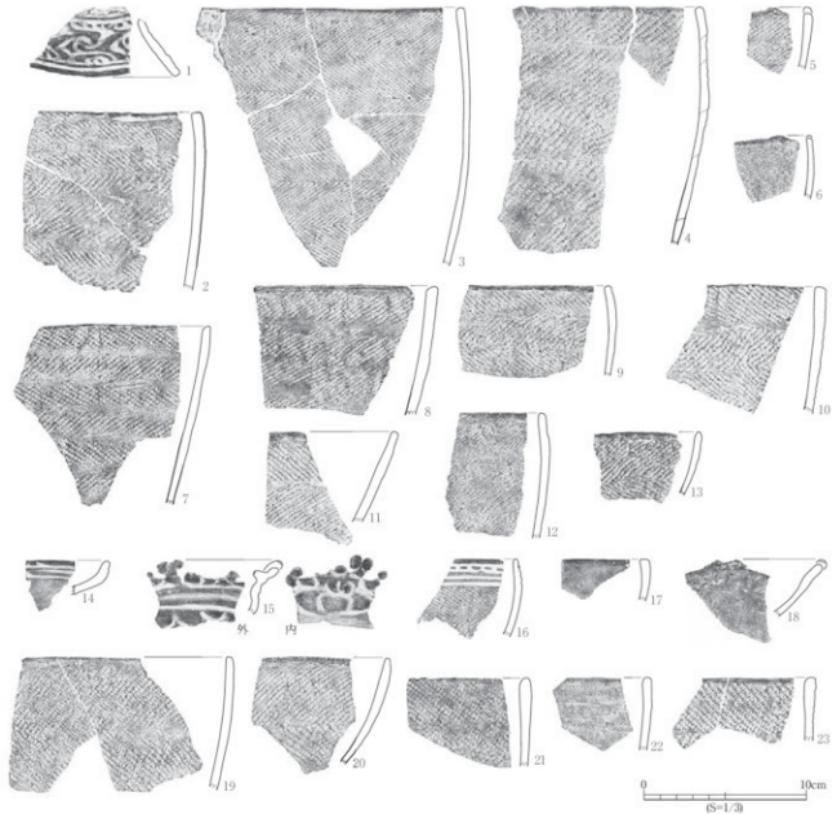
No.	形種	類型1	類型2	大別別	区・造跡・期	特徴	写真図版	登録	
1	深鉢	-	-	南5	D-57西 / VI 1m	波紋縁。乳頭の降帶	105-4	Po651	
2	深鉢	-	-	南5	D-57西 / VI 1m	直縁を有する乳頭の把手 + 三叉文 + 沈綱文。貫通孔上、内面三叉文、沈綱文、乳孔	105-5	Po6005	
3	深鉢	-	-	南5	D-57西 / VI 1m	直状孔（鍔文）、平行沈綱文+點綴。純文LR	105-6	Po6964	
4	鉢	A1	-	1Bb	南5	D-57西 / VI 1m	平縁。帶狀文（沈綱文）+點綴	105-7	Po1011
5	鉢	A1	-	1Ba	南5	D-57西 / VI 1m	平縁。帶狀文（鍔文、メキテ状）+點綴。純文LR	105-10	Po678
6	深鉢	-	IIa	南5	D-57西 / VI 1m	人面帶狀文（純文）。純文LR	105-11	Po6975	
7	深鉢	A1H	1Ba	南5	D-57西 / VI 1m	平縁 + 山形把手。带狀文（純文）+點綴。純文LR	105-12	Po6973	
8	深鉢	A1H	3c	南5	D-57西 / VI 1m	平縁 + 山形把手（屈屈首形）。人面帶狀文（輪狀刻刷目）。羽状綱文LR / IIc。内外面简化物付着	105-9	Po6950	
9	深鉢	-	3c	南5	D-57西 / VI 1m	人面帶狀文（輪齒刻刷目）+點綴（頭部十字刻み）。純文RL	105-8	Po6976	
10	深鉢	A2	3a	南5	D-57西 / VI 1m	波紋縁。人面帶狀文（純文）。純文LR	105-13	Po6972	
11	鉢	A1	3c	南5	D-57西 / VI 1m	平縁。人面帶狀文（輪齒刻刷目）	105-14	Po6970	
12	壺	E1	-	南5	D-57西 / VI 1m+ VI 1.5m	口縁14.0cm。体部最大径26.0cm。平縁。沈綱文。脚つまり出し状の點綴。左右対称の花弁状の彫跡。区別沈綱文 + 楠円形沈綱文 + 点綴（小）。環状沈綱文 + 点綴（大）。純文LR。体部下半ミギキによる削り落し。	105-1	Po1000	
13	台付壺	F1	X.V	南5	D-57西 / VI 1m	口縁3.4cm。器高6.7cm。体部最大径9.6cm。体部高5.7cm。台部径4.4cm。平縁。山形突起 + 直透孔4。台と壺の境界付近に丸透孔4	105-2	Po6954	
14	口付上器	B2F	X.V	南5	D-57西 / VI 1m	口縁10.0cm。器高11.0cm。体部最大径12.7cm。波紋縁 + 山形突起4単位 + 山形突起（頭部刻み）4単位。底盤無台付。口縁内側色調異性（上部）。	105-3	Po6959	
15	口付上器	C1	I.a	南5	D-57西 / VI 1m+ VI 1.5m	口縁10.2cm。平縁。带狀文（純文）。平行沈綱文 + 点綴。純文LR	105-15	Po6955	
16	口付上器	A1	I.a	南5	D-57西 / VI 1m	平縁。带狀文（純文）。純文LR	105-16	Po6952	
17	深鉢	A1	1.B	南5	D-57西 / VI 1m	平縁。帶狀文（くろひげ）。純文LR	105-17	Po6974	
18	鉢	A2H	1.B	南5	D-57西 / VI 1m	波紋縁 + 突起（頭部刻み）+ 穴突（頭部十字刻み）	105-18	Po6962	
19	深鉢	A1	3.B	南5	D-57西 / VI 1m	平縁。沈綱文	105-19	Po6977	
20	深鉢	A1	X.V	南5	D-57西 / VI 1m	平縁	105-21	Po6953	
21	深鉢	A1 X.B al	南5	D-57西 / VI 1m	平縁。純文LR	105-22	Po1010		
22	深鉢	A1 X.B al	南5	D-57西 / VI 1m	平縁。純文LR	105-23	Po6961		
23	深鉢	A1 X.B al	南5	D-57西 / VI 1m	平縁。純文LR	105-24	Po1009		
24	深鉢	A1 X.B al	南5	D-57西 / VI 1m	平縁。羽状綱文LR / RL。外面部简化物付着	105-25	Po1004		

第120図 C丘陵南斜面a包含層（東側）出土土器（1）



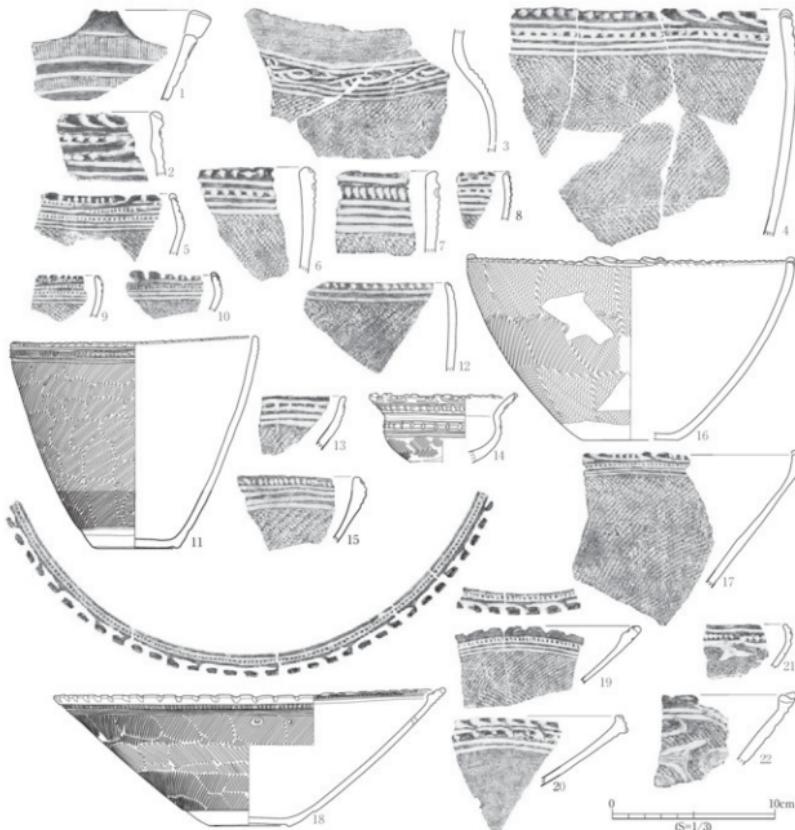
No.	器種	類型1	類型2	大別群	区・標本	特徴	写真版	登録
1	石斧	A1	XV-a1	南5	D57西 / V1m	平縁、縞文LR	105-27	Po100
2	石斧	A1	XV-a1	南5	D57西 / V1m+V1m	平縁、前か後多段状縞文LR/RL、外面灰化物付	105-26	Po109
3	石斧	A1	XV-a2	南5	D57西 / V1m	11件(12.6cm)、平縁、羽状縞文LR/RL	105-25	Po108
4	石斧	A1	XR-a2	南5	D57西 / V1m+V1m	平縁、羽状縞文LR/RL	106-1	Po1008
5	石斧	A1	XR-a2	南5	D57西 / V1m	平縁、羽状縞文RL/LR	106-2	Po1003
6	石斧	A1	XV	南5	D57西 / V1m	平縁	106-3	Po1063
7	石斧	Ale	XIII	南4B	D57西 / V1m	平縁 + 方形突起(平行斜波綱)、縞文	106-4	Po1020
8	石斧	A1	XII-a	南4B	D57西 / V1m	平縁、横面斜削刃、平行斜波綱 + 橫面斜削刃	106-5	Po1036
9	石斧	AII	XI-c	南4B	D57西 / V1m	平縁 + 二割(対の窄縫)、入部帶状文(横面斜削刃)	106-6	Po1071
10	石斧	Ale	XII-c	南4B	D57西 / V1m	平縁 + 窄縫、入部帶状文(横面斜削刃)	106-7	Po1014
11	石斧	Ale	XII-c	南4B	D57西 / V1m	渡状縫 + 窄縫(面部 - 内面削み)、入部帶状文(縞文)、縞文L	106-8	Po1063
12	台付器	Alef	XV	南4B	D57西 / V1m	口縁(22.2cm)、渡状縫 + 山形突起(小 - 頭部鋸歯縫) + 山形次起(大 - 頭部平行波綱)、台部との接続に沈縫文	106-9	Po1015
13	石斧	-	-	南4B	D57西 / V1m	透し削りを伴う山形把手 + 外縁にハラ削刃のある渡状焼起(内面勾玉状浮縫文)	106-10	Po1077
14	渡状縫	-	-	南4B	D57西 / V1m	渡状縫か - 窪起(頭部ボタン状突起)、羽状文	106-11	Po1034
15	渡状縫	I-b	-	南4B	D57西 / V1m	平縁、山形把手、带状文(縞文)、縞文LR/RL	106-12	Po1035
16	浅鉢	A1	I-a	南4B	D57西 / V1m	平縁、平行波綱、帶状文(縞文)、縞文LR	106-13	Po1023
17	鉢	A1	XIII	南4B	D57西 / V1m	平縁、波綱文	106-14	Po1002
18	浅鉢	A1	XIII	南4B	D57西 / V1m	平縁、波綱文、縞文LR + 带附加条	106-15	Po1021
19	浅鉢	AII	XV	南4B	D57西 / V1m+V1m	平縁 + 三割(頭部斜削起(頭部削み))	106-16	Po1066
20	注口土器	-	XV	南4B	D57西 / V1m	口縁下に男性器を模した貼瘤	106-17	Po1039
21	皿	A1	XV	南4B	D57西 / V1m	平縁	106-18	Po1061
22	鉢	A1	XN-a1	南4B	D57西 / V1m+V1m	11件(11.4cm)、高7.5cm、体部高6.6cm、台部厚4.7cm、平縁、縞文LR、底部高台付	106-19	Po1072
23	鉢	A1	XI	南4B	D57西 / V1m	平縁 + ハラ削刃、手面状文、平行波綱文、縞文LR	106-20	Po1075

第121図 C丘陵南斜面a包含層(東側) 出土土器(2)



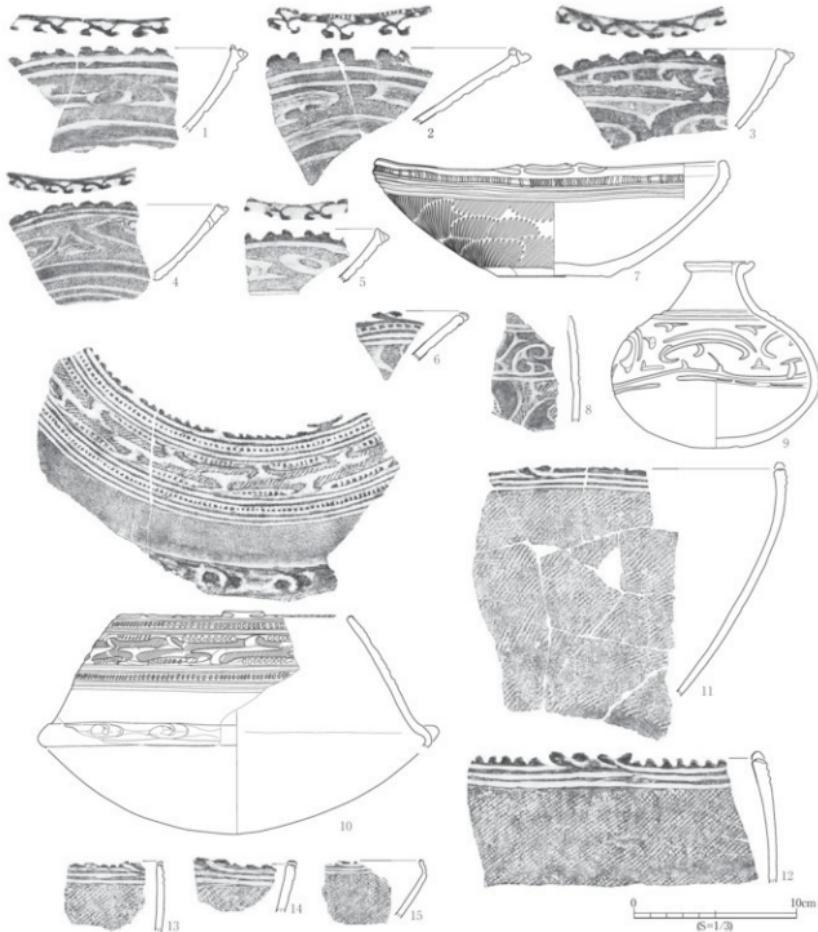
No.	器種	形型 1	形型 2	大別群	区・遺構 / 直	特徴	写真図版	登録
1	陶器	-	B	南AB	D57西 / 異i-n	平行沈縞文、半面状文、平行沈縞文	106-21	Po107
2	深鉢	A1	XB a2	南AB	D57西 / 異i-n+異ik	平縞、羽状縞文 RL/LR	106-24	Po1071
3	深鉢	A1	XB a2	南AB	D57西 / 異i-k	平縞、羽状縞文 RL/RL	106-25	Po1069
4	深鉢	A1	XB a2	南AB	D57西 / 異i-k	平縞、縞文 LR	106-26	Po1070
5	深鉢	AH	XB a2	南AB	D57西 / 異i-k	平縞 + 小空軸、縞文 LR	106-22	Po1077
6	鉢	AH	XB a2	南AB	D57西 / 異i-k	平縞 + 小空軸、縞文 L	106-23	Po1065
7	深鉢	A1	XB a2	南AB	D57西 / 異i-n	平縞、羽状縞文 RL/LR	106-27	Po1083
8	深鉢	A1	XB a2	南AB	D57西 / 異i-k	平縞、縞文 LR	106-28	Po1069
9	深鉢	A1	XB a2	南AB	D57西 / 異i-k	平縞、羽状縞文 RL/LR	106-29	Po1064
10	深鉢	A1	XB a2	南AB	D57西 / 異i-k	平縞、羽状縞文 RL/LR	106-30	Po1038
11	深鉢	A1	XB a2	南AB	D57西 / 異i-n	平縞、縞文 RL/LR	106-31	Po1022
12	深鉢	A1	XB a2	南AB	D57西 / 異i-k	平縞、縞文 LR+R 附加条	106-32	Po1056
13	鉢	A1	XB a2	南AB	D57西 / 異i-k	平縞、羽状縞文 LR/RL	106-33	Po1060
14	浅鉢	A1	II?	南AA	D57西 / 異g-h	平縞、三叉文	106-34	Po1082
15	江口土器	CH	III e	南AA	D57西 / 異g-h	平縞 + 内面沈縞文をもつ装飾の小突起 + 内面に二個一对の小突起。平行沈縞文、入組三叉文、内面入組三叉文	106-35	Po1081
16	鉢	A1	V	南AA	D57西 / 異g-h	平縞、列点文、平行沈縞文、羽状縞文 RL/LR	106-36	Po1083
17	鉢	A1	XV	南AA	D57西 / 異f	平縞	106-37	Po1088
18	皿	AH	XV	南AA	D57西 / 異g-h	平縞 + 山形突起(酒器類)	106-41	Po1084
19	深鉢	A1	XB a2	南AA	D57西 / 異g-h+he	平縞、羽状縞文 LR/RL	106-42	Po1078
20	深鉢	A1	XB a2	南AA	D57西 / 異g-h	平縞、羽状縞文 LR/RL	106-43	Po1089
21	深鉢	A1	XB a2	南AA	D57西 / 異f	平縞、縞文 RL	106-38	Po1087
22	深鉢	A1	XB a2	南AA	D57西 / 異g-h	平縞、縞文 RL 末端部強調	106-39	Po1080
23	深鉢	A1	XB a2	南AA	D57西 / 異g-h	平縞、縞文 RL	106-40	Po1079

第122図 C丘陵南斜面a包含層(東側) 出土土器 (3)



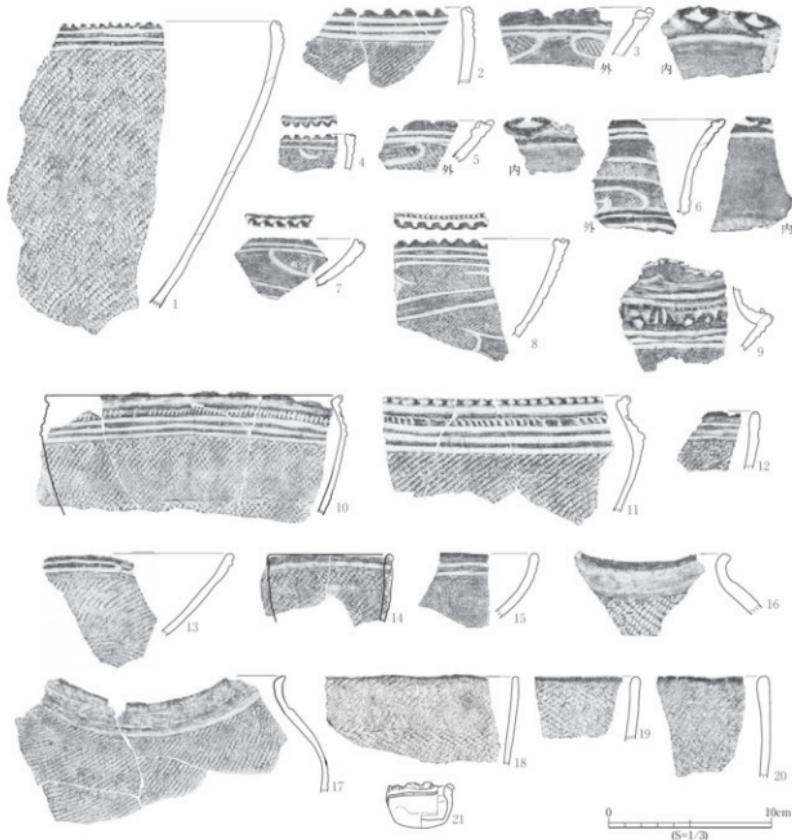
No.	器種	類型I	類型II	大型羽	区・道標	特徴	写真図版	目録
1	深鉢	AII	I c	南3	D-56東/V1c	波状縁+山形突起(底部直線)。帶状文(細面状横目)	107-5	Po824
2	深鉢	AId	五	南3	D-57西/V1c	平縁+刻花線による筋み(手面状)。手面状文。平行沈面文	107-6	Po806
3	鉢	-	五	南3	D-57東/V1c	手面状文。平行沈面文。前段多条縦文LR	107-7	Po836
4	深鉢	AIdf	V	南3	D-57西/V1c	平縁+ヘラ削目+。対の小突起2個。立点文。平行沈面文。羽状網文RL/LR未端部強調	107-11	Po835
5	鉢	AIdf	五	南3	D-57西/V1c	平縁+ヘラ削目+二列の小突起。手面状文。平行沈面文。ヘラ削目。網文RL	107-8	Po896
6	深鉢	AId	V	南3	D-57西/V1c	平縁+ヘラ削目。平行沈面文。網文RL-LR附加条	107-9	Po804
7	深鉢	AII	XII b	南3	D-57西/V1c	平縁。平行沈面文。斜尖列。平行沈面文。網文LR	107-14	Po911
8	鉢	Alef	V	南3	D-57西/V1c	平縁+二列の小突起。連續弧状沈面文。立点文。平行沈面文。網文RL。外面赤彩	107-10	Po1008
9	鉢	AId	五	南3	D-57西/V1c	平縁+ヘラ削目。手面状文。平行沈面文。網文RL。外面赤彩	107-12	Po1102
10	鉢	AIdf	V	南3	D-57西/V1c	平縁+ヘラ削目+二列の小突起(手面状)。立点文。平行沈面文。網文RL	107-13	Po810
11	深鉢	AId	XII b	南3	D-57西/V1c	口径14.9cm。高さ13.1cm。底径30mm。平縁+ヘラ削目。平行沈面文。斜尖列。直前段多条縦文LR。底部付近ガラスによる無文部。底部ミガラ。かるい土上げ	107-1	Po816
12	鉢	AId	XII x	南3	D-57西/V1c	平縁+ヘラ削目。平行沈面文。網文LR	107-15	Po897
13	鉢	AII	V	南3	D-57西/V1c	平縁。立点文。平行沈面文。網文LR	107-17	Po1000
14	浅鉢(台付合)	CIdf	V	南3	D-57西/V1c-f	口径18.7cm。平縁+ヘラ削目+。一列の小突起(手面状)。立点文2段。沈面文。羽状網文RL/LR	107-16	Po1006
15	鉢	AII	XII b	南3	D-57西/V1c	平縁。斜尖列。平行沈面文。網文LR	107-19	Po820
16	鉢	AIdf	五	南3	D-56東/V1c	口径19.8cm。高さ11.5cm。底径30mm。平縁+ヘラ削目。一列の小突起(手面状)2列。斜尖列。底部付近ガラスによる無文部。底部ミガラ。底部内側立点文。	107-3	Po773
17	鉢	AIdf	V	南3	D-57西/V1c	平縁+ヘラ削目+一列の小突起(手面状)。内部立点文。立点文。平行沈面文。網文LR。内面底化物付着	107-18	Po805
18	浅鉢	AIdf	V	南3	D-57西/V1c	口径24.4cm。高さ8.0cm。底径50mm。平縁+ヘラ削目。手面状沈面文。立点文。平行沈面文。羽状網文RL/LR未端部強調。底部付近ミガラによる無文部。底部ミガラ。かるい土上げ。口縁部内側立点文。網文RL	107-2	Po899
19	浅鉢	AIdf	V	南3	D-57西/V1c	平縁+ヘラ削目+手面状浮縫文。内部立点文。立点文。平行沈面文。羽状網文LR/RL	107-21	Po837
20	皿	A1b	V	南3	D-57西/V1c	手面状浮縫文。立点文。平行沈面文	107-20	Po822
21	浅鉢	A1	皿	南3	D-57西/V1c	手面状浮縫文+斜尖列。雲形文(崩れし酒)。網文RL	107-22	Po898
22	浅鉢	A1b	皿	南3	D-57西/V1c	手面状浮縫文。平行沈面文。雲形文(崩れし酒)。網文RL	107-23	Po828

第123図 C丘陵南斜面a包含層(東側) 出土土器 (4)



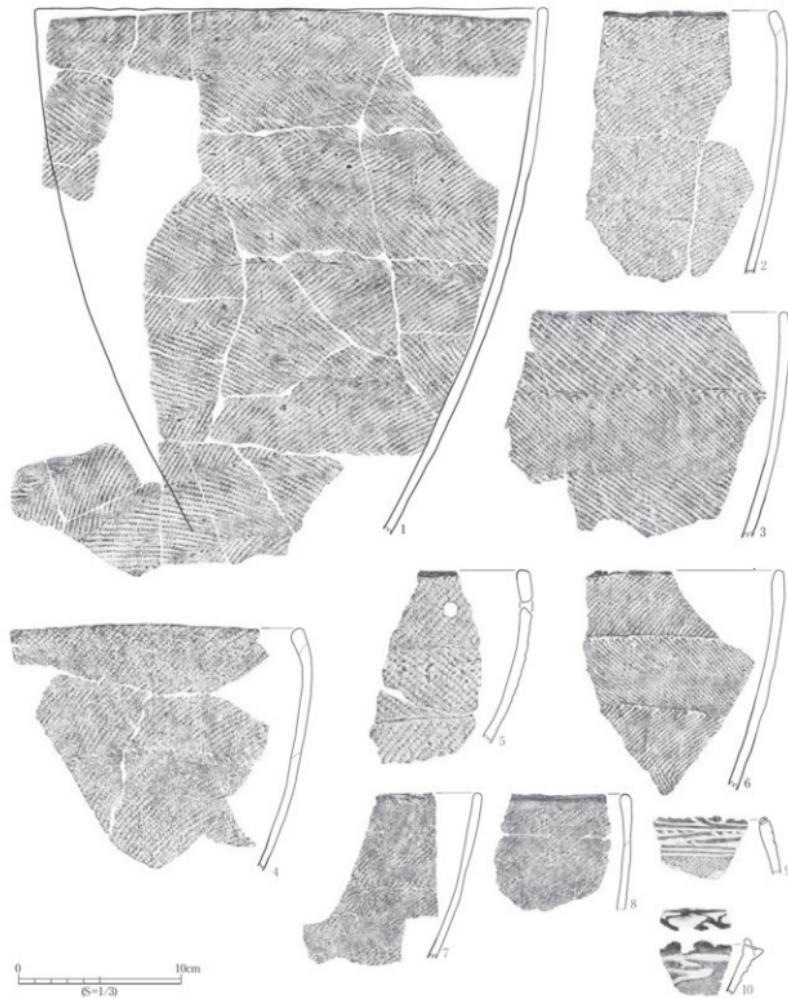
No.	器種	形態	大別	区・遺構・相	特徴	写真図版	目録
1	瓶	A1bd	罐	酒3	D-74 / M-1 貝	平縁+ヘラ削目+手ぬけ浮彫文。平行沈彫文、雲形文(削り落し彫文)、圓文LR	107-25 Pn2673
2	瓶	A1bdff	罐	南3	D-57 東 / M-1	平縁+一側の尖起。手ぬけ浮彫文+へら削目。雲彫文、雲形文(削り落し彫文)、圓文LR	107-24 Pn035
3	瓶	A1bf	罐	南3	D-57 西 / M-1	平縁+一側の尖起。手ぬけ浮彫文。雲形文(削り落し彫文)、圓文LR	107-26 Pn024
4	瓶	A1bf	罐	南3	D-74 / M-1	平縁+別次彫文の尖起。一側の尖起。手ぬけ浮彫文。平行沈彫文、雲形文(削り落し彫文)、平行沈彫文。圓文LR。口縁部+底部半円沈彫。補修孔。	107-27 Pn0879
5	瓶	A1bf	罐	南3	D-57 西 / M-1	平縁+二側の尖起。手ぬけ浮彫文。雲形文(削り落し彫文)、圓文LR。内外面赤彩	107-28 Pn013
6	瓶	A1bf	V+錐	南3	D-57 西 / M-1	平縁+二側の尖起。手ぬけ浮彫文。雲形文(削り落し彫文)、圓文LR	107-29 Pn106
7	瓶	AH-XII-a	罐	南3	D-57 西 / M-1	口径 21.3cm、器高 7.2cm、底径 7.0cm。平縁+一側の尖起2組1単位。横ぬけ彫目。平行沈彫文。雲文LR。底部付元とガリによる鉛文留、底部王字。からい上げ。	107-4 Pn006
8	壺	-	罐	南3	D-57 西 / M-1	平行沈彫文、雲形文、雲形文(削り落し彫文)、圓文LR	108-5 Pn003
9	壺	II	罐	南3	D-57 西 / M-1	口径 4.2cm、器高 11.5cm、体盤最大径 12.8cm、底径 3.6cm。平縁。平行沈彫文、雲形文5単位。平行沈彫文。外部部口沿沈彫。内部部口沿沈彫。	108-1 Pn094
10	汎用土器	C1df	V+錐	南3	D-57 西 / M-1	口径 14.2cm、体部最大径 12.5cm、平縁+ヘラ削目+平面状の突起。平行沈彫文+同点文、Z字彫文(削り落し彫文)、平行沈彫文、V字彫文、平面沈彫文。二側の尖起(手ぬけ)。底部上半内面沈彫。	108-2 Pn034
11	深鉢	A1df	X-II-a	酒3	D-57 西 / M-1	平縁+ヘラ削目+二側の尖起。平行沈彫文。圓文LR	108-3 Pn002
12	深鉢	A1df	X-II-a	酒3	D-57 西 / M-1	平縁+ヘラ削目+二側の尖起。平行沈彫文。圓文LR	108-4 Pn032
13	鉢	A1df	X-II-a	酒3	D-57 東 / M-1	平縁+ヘラ削目+二側の尖起。平行沈彫文。圓文LR	108-7 Pn041
14	鉢	A1df	X-II-a	酒3	D-57 西 / M-1	平縁+ヘラ削目+二側の尖起。平行沈彫文。圓文LR	108-8 Pn103
15	鉢	A1d	X-II-a	酒3	D-57 西 / M-1	平縁+ヘラ削目。平行沈彫文。圓文LR+R削加工。	108-9 Pn014

第124図 C丘陵南斜面a包含層(東側) 出土土器(5)



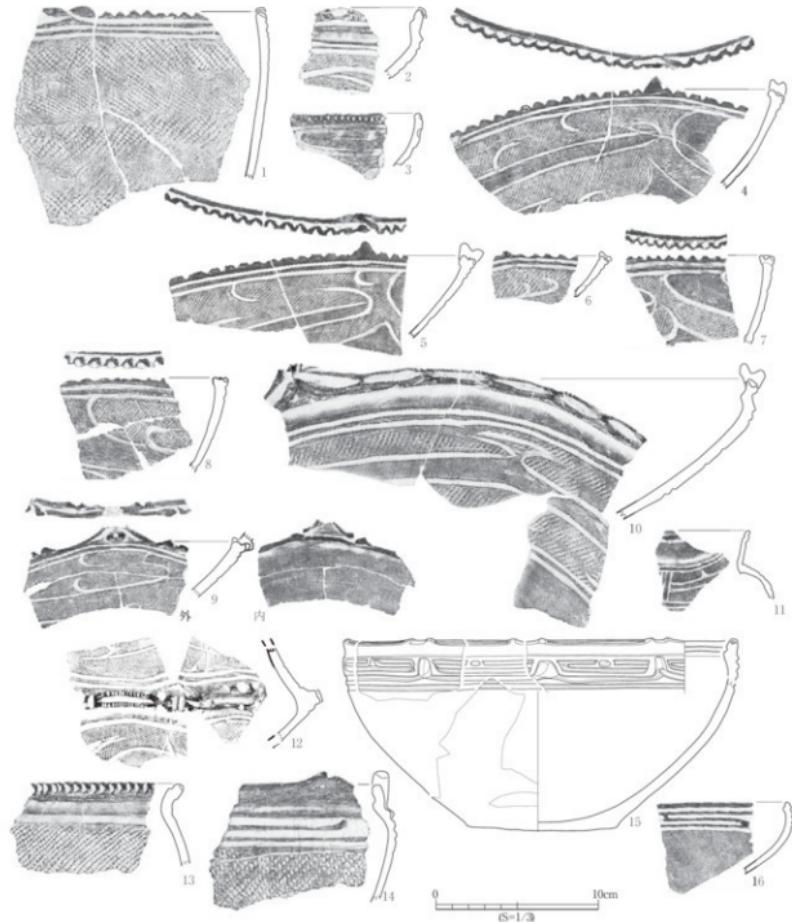
No.	器種	形態1	形態2	大きさ	区・断面	特徴	写真図版	登録
1	深鉢	A1d	X.II.x	南3	D-57西 / VI.c	平縁 + ヘラ削目。平行沈縫文。縄文LR。	108-10	Pn008
2	深鉢	A1d	X.II.x	南3	D-57西 / VI.c	平縁 + ヘラ削目。平行沈縫文。縄文LR。	108-11	Pn026
3	深鉢	A1f	縦	南3	D-57西 / VI.c	平縁 + 二輪・対の小突起 + 横浜状縫文。沈縫文、雲形文(削り消し縄文)。縄文LR。	108-11	Pn027
4	鉢	A1hd	縦	南3	D-57西 / VI.c	平縁 + ヘラ削目。波打刃縫文。平行沈縫文、雲形文(削り消し縄文)。縄文LR。口縁部内面沈縫	108-12	Pn030
5	鉢	A1b	縦	南3	D-57西 / VI.c	平縁 + 平面浮縫文。平行沈縫文、雲形文(削り消し縄文)。縄文LR。	108-13	Pn021
6	鉢	A1b	縦	南3	D-57西 / VI.c	平縁 + 平面浮縫文。平行沈縫文、雲形文(削り消し縄文)。縄文LR。口縁部内面沈縫	108-14	Pn023
7	鉢	A1hd	縦	南3	D-74 / VI.c	平縁 + ヘラ削目 + 波打刃縫文。平行沈縫文、雲形文(削り消し縄文)。縄文LR。口縁部・部体下半面沈縫	108-15	Pn280
8	鉢	A1hd	縦	南3	D-57東 / VI.c	平縁 + ヘラ削目 + 深状浮縫文。平行沈縫文、雲形文(削り消し縄文)。縄文LR。部体下手縫目・劣切縫	108-16	Pn846
9	注口上器	-	縦	南3	D-57西 / VI.c	芸文文(削り消し縄文)。平行沈縫文・ヘラ削目。二個・対の小突起、ヘラ削目 + 連續弧状沈縫文、平行沈縫文。縄文LR。	108-17	Pn031
10	深鉢	B1c	X.II.a	南3	D-57西 / VI.c	(13件 / 18.2cm)。平縁 + 連續弧状沈縫文。横浜状縫目 + 平行沈縫文。縄文LR。末端部強溝	108-18	Pn009
11	鉢	B1d	X.II.a	南3	D-57西 / VI.c	平縁 + ヘラ削目 + 口沿部強溝。平行沈縫文 + 横浜状縫目。平行沈縫文。縄文LR。内由田化物付着	108-19	Pn009
12	鉢	B1d	X.II.x	南3	D-57西 / VI.d	平縁 + ヘラ削目。平行沈縫文。縄文LR。	108-20	Pn110
13	浅鉢	A1	X.II.b	南3	D-57西 / VI.c	平縁。平行沈縫文 - 一箇・対の弱突。縄文LR。	108-21	Pn019
14	施跡下唇深鉢	A1	瓦型	南3	D-57西 / VI.c	(1件 / 7.6cm)。平縁。沈縫文。縄文LR。	108-22	Pn012
15	浅鉢	A1	X.II.b	南3	D-57西 / VI.e	平縁。平行沈縫文。	108-23	Pn106
16	鉢	C1	X.IB.b1	南3	D-57西 / VI.c	平縁。純文LR。	108-24	Pn015
17	鉢	C1	X.IB.b1	南3	D-57西 / VI.c	(1件 / 10.8cm)。体部最大径 (36.2cm)。平縁。純文LR。	108-27	Pn033
18	深鉢	A1	X.IB.a2	南3	D-57西 / VI.d	平縁。羽根状縫文LR-RL。	108-25	Pn104
19	深鉢	A1	X.IB.a2	南3	D-57西 / VI.e	平縁。羽根状縫文LR-RL。	108-26	Pn109
20	深鉢	A1	X.IB.a2	南3	D-57西 / VI.d	平縁。羽根状縫文LR-RL。	108-28	Pn105
21	施跡下唇鉢	A1f	X.II	南3	D-57西 / VI.c	(1件 / 37.0cm)。器高 28cm、底径 26cm。平縁 + ヘラ削目 + 二箇・対の小突起 4 單位。沈縫文。底部ナゲ	108-29	Pn001

第125図 C丘陵南斜面a包含層(東側) 出土土器 (6)



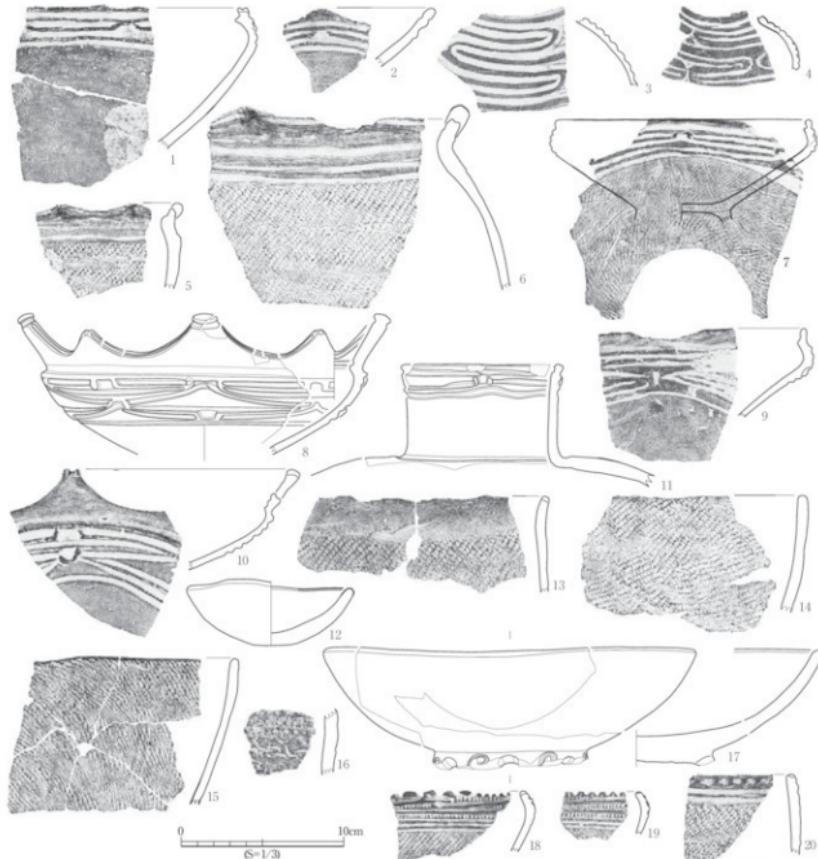
No.	器種	型別1	型別2	大別種	K・遺構・附	特徴	写真図版	位置
1	深鉢	A1	XB a2	南3	D-57 西 / 第e + f - VI e + VI d	口縁。羽状網文LR/RL, 末端部強調	109.1	Pu100
2	深鉢	A1	XB a2	南3	D-57 西 / 第c	平縁。幾文LR	109.2	Pu097
3	深鉢	A1	XB a2	南3	D-57 西 / 第e + f	平縁。幾文RL, 末端部強調	109.3	Pu092
4	深鉢	A1	XB a2	南3	D-57 西 / 第c	平縁。幾文LR	109.4	Pu095
5	深鉢	A1	XB a2	南3	D-57 西 / 第e + f	平縁。羽状網文LR/RL, 末端部強調。補修孔1	109.5	Pu098
6	深鉢	A1	XB a2	南3	D-57 西 / 第e + f	平縁。羽状網文LR/RL, 末端部強調	109.6	Pu093
7	深鉢	A1	XB a3	南3	D-57 西 / 第e + f	平縁。羽状網文LR, 内面炭化物付着	109.7	Pu094
8	深鉢	A1	XB a3	南3	D-57 西 / 第c	平縁。幾文LR+記附加条	109.8	Pu097
9	鉢	A1df	B	南2A	D-56 東 / 第b	平縁 + ハテ形目 + 二個一対の小突起。手縫状文、平行沈縞文。網文LR	109.9	Pu295
10	皿	A1bf	B	南2A	D-74 / VI b	平縁 + 刃式縞による刻目 + 二個一対の小突起。平面状浮縞文。正方形（削り消し網文）。網文LR, 内外面赤彩	109.11	Pu288

第126図 C丘陵南斜面a包含層(東側) 出土土器(7)



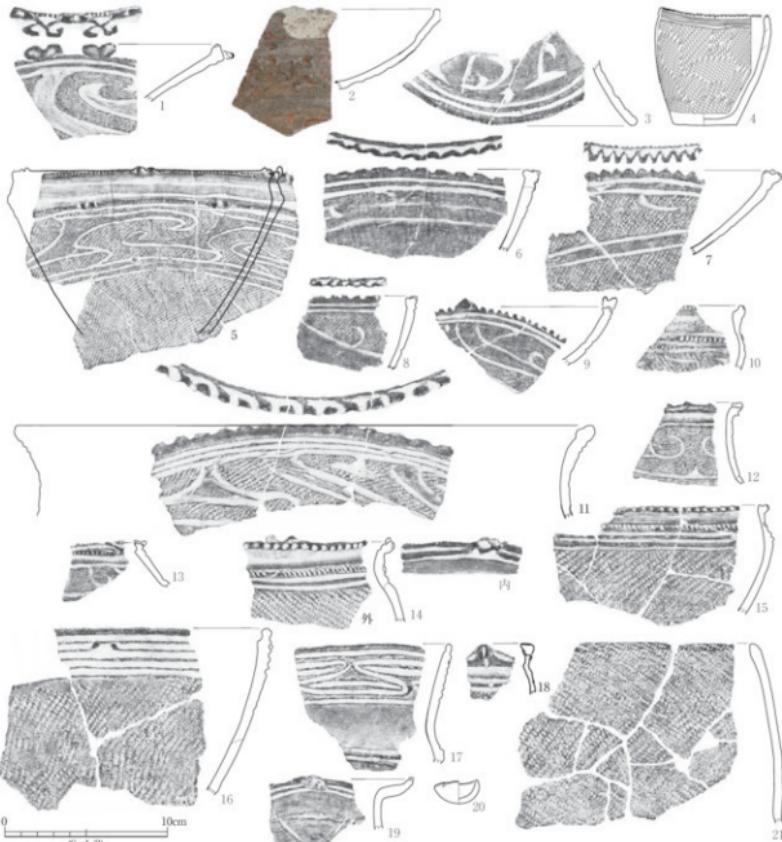
No.	器種	型別Ⅰ	型別Ⅱ	大きさ	区・遺構・附	特徴	写真版	目録
1	浅鉢	Alef	X 8	南2A	D-56 東 / Vl b	平縁+ヘア刻目 + 二個一对の突起。平行沈縫文。凹状波文。IRL-LR	109-9	Pu798
2	浅鉢	Clef	8	南2A	D-56 東 / Vl b	平縁+櫛状波刻目 + 一側一对の小突起。平行沈縫文。芸形文(削り落し彫文)。純文LR	109-12	Pu783
3	浅鉢	A1d	8	南2A	D-56 東 / Vl b	平縁+櫛状波刻目。沈縫文。芸形文(削り落し彫文)。純文LR	109-13	Pu790
4	皿	A1bf	8	南2A	D-74 東/9 / Vl b	平縁+ヘア刻目 + 山形突起 + 凹状波縫文。平行沈縫文。芸形文(削り落し彫文)。純文LR	109-15	Pu284
5	皿	A1bf	8	南2A	D-74 東/9 / Vl b	平縁+ヘア刻目 + 山形突起 + 深状波縫文。平行沈縫文。芸形文(削り落し彫文)。純文LR	109-16	Pu287
6	皿	A1bf	8	南2A	D-74 東 / Vl b	平縁+ヘア刻目 + 山形突起 + 深状波縫文。平行沈縫文。芸形文(削り落し彫文)。純文LR。口縁部・体部下内面に凹縫文	109-14	Pu292
7	皿	A1b	8	南2A	D-74 東 / Vl b	平縁+ヘア刻目 + 深状波縫文。平行沈縫文。芸形文(削り落し彫文)。純文LR。口縁部内面沈縫。体部下内面隆起 + 浅状波縫文LR	109-17	Pu293
8	皿	A1bf	8	南2A	D-57 東 / Vl b	平縁+ヘア刻目 + 深状波縫文。平行沈縫文。芸形文(削り落し彫文)。純文LR。体部下内面隆起 + 光筋縫文LR。外縁に凹	109-18	Pu480
9	皿	Alef	8	南2A	D-74 東/9 / Vl b	平縁 + 二個一对の突起 + 山形突起 + (二個一对の突起 + 山形突起)の凸縫 (背面側) に二個一对の小突起。平行沈縫文。芸形文(削り落し彫文)。純文LR。突起・V字形縫文	109-19	Pu297
10	皿	B2df	8	南2A	D-74 東/9 / Vl b	深状波縫 + 山形突起 + 深状波縫。平行沈縫文。芸形文(削り落し彫文)。平行沈縫文。純文LR。突起・V字形縫文	110-3	Pu297
11	盃	F1	8	南2A	D-74 東/9 / Vl b	平縁 + 平行沈縫文。芸形文(削り落し彫文)。楕円の平行沈縫文。平行沈縫文。純文LR。口縁部内面沈縫	110-4	Pu293
12	臼上層	-	鍬+鏟	南2A	D-74 / Vl b + c	平縁 + 平行沈縫文。平行沈縫文。V字形縫文。マゼル状浮突 + 楕圓状浮突。口縫部付近ハラ刻目 + 楕圓の平行沈縫文。平行沈縫文。芸形文(削り落し彫文)。純文LR	110-6	Pu286
13	深鉢	B1ed	X III	南2A	D-74 東/9 / Vl b	平縁+ハラ刻目 + L型浮突。沈縫文。純文LR	110-7	Pu297
14	鉢	BH	8	南2A	D-56 東 / Vl b	平縁 + 山形突起 (底部斜入)。V字形縫文。純文LR。口縁部内面沈縫	110-8	Pu780
15	鉢	A1ef	8	南2A	D-74 / Vl b + VI a + Vl b	口縫 (23.6mm)、器底 11.8cm、底径 9.2cm。平縁 + 鋼柱 8 単位 + 鋼江間沈縫。π文字 8 単位 + π文字 8 単位。純文。底部ミミキ。口縫部内面沈縫	110-1	Pu289
16	浅鉢	A1c	Bx + X	南2A	D-74 / Vl b	平縁 + 口縫部沈縫。π文字。π文字 + 二個一对の點縫	110-9	Pu292

第127図 C丘陵南斜面a包含層(東側) 出出土器(8)



No.	器種	類型1	類型2	大きさ	区・遺構・層	特徴	写真版	登録
1	台形灰陶	A1cf	D-a	南2A D74 東張 Vb	平縁+押出し縦隔壁。π字文。口縁部内面沈痕。	110-11 Po293		
2	瓶	A2cf	D-a	南2A D56 西 Vb	底状突起+山形突起+底部沈痕。π字文。口縁部内面沈痕。外面部炭化物付着。	110-10 Po280		
3	壺	-	X	南2A D75 / Vb	流水式上文字。	110-12 Po309		
4	壺	-	X	南2A D74 / Vb+c	流水式上文字。圓文上文字。	110-13 Po288		
5	罐	B2c	X II s	南2A D56 東 Vb	底状突起+底部沈痕+口部沈痕。平行沈痕文。圓文LR。	110-14 Po796		
6	罐	E2cf	X II	南2A D56 東 Vb+a+b	底状突起+山形突起+底部沈痕+口部沈痕。平行沈痕文。圓文LR。末端部強調。	110-15 Po799		
7	台形灰陶	A1	D-a	南2A D56 東 Vb	口縁(15.3cm)。平縁。π字文(2段)。底部LR。口縁部内面沈痕。	110-5 Po781		
8	台形灰陶	B3ce	B-a+X	南2A D75 / Vb	口縁(21.5cm)。底部LR。口縁部内面沈痕。底部強調。π字文。口縁部内面沈痕。π字文。対の點刻4単位。流水式上文字。圓文上文字。対の點刻2段4単位。π字文(通き表現)。π字文(対の點刻4単位)。沈痕文。尖鋸。口縁部内面沈痕。	110-17 Po3047		
9	浅鉢	A1	X I	南2A D56 西 Vb	平縁。平行沈痕文。並形π字文+利型。口縁部内面沈痕。	110-15 Po828		
10	台形灰陶	B3ce	B-a+X I	南2A D75 / Vb	底状突起+山形突起(底部強調)+底部沈痕。π字文。並形π字文。突起。口縁部内面沈痕。	110-18 Po3014		
11	壺	E1	B-b	南2A D75 / Vb+a+b	口縁(9.5cm)。平縁。π字文。底面文。口縁部内面沈痕。	110-2 Po3003		
12	壺	A1	X Y	南2A D56 東 Vb	口縁10.3cm。器高4.1cm。底径3.9cm。平縁。	111-1 Po798		
13	罐	C1	X II b	南2A D56 西 Vb	底状突起。圓文上文字。外面部炭化物付着。	111-4 Po827		
14	罐	A1	X II a	南2A D56 東 Vb+a+b	平縁。圓文上文字。	111-5 Po800		
15	罐	A1	X II	南2A D56 東 Vb	平縁。圓文上文字。	111-6 Po828		
16	罐	-	-	南2A D56 東 Vb+a+b	S字形沈文か。鐵鍔土器。	111-7 Po801		
17	台形灰陶	A1	-	南1 D80 / Vb	口縁(20cm)。体部高(96cm)。平縁。台部邊かし彫りの人頭文。	111-3 Po3100		
18	罐	A1df	B+V	南1 D57 西 Vb+a+c	平縁+ヘラ削目。底部強調。対の点刻2単位。圓文上文字。圓文上文字。平行沈痕文。圓文LR。	111-8 Po709		
19	罐	A1d	B+V	南1 D56 東 Vb	平縁+ヘラ削目。底部強調。圓文上文字。圓文上文字。平行沈痕文。圓文LR。	111-9 Po803		
20	罐	A1d	X II	南1 D57 西 Vb	平縁+ヘラ削目。平行沈痕文。圓文LR。	111-10 Po946		

第128図 C丘陵南斜面a包含層(東側) 出出土器(9)



No.	器種	形態1	形態2	大項別	区・遺物	特徴	写真図版	分類
1	瓶	A1bf	壺	曲1	D57 西 / Ma-c ノリ口(縦文)	平縁。一個の小突起。平面沈縫文。内面。一個の小突起+ヘラ削目。平行沈縫文。三形文(内面)	111-42	Po942
2	瓶	A1b	壺	曲1	D57 西 / Ma-c ノリ口(縦文)	平縁。平面沈縫文。内面赤彩	111-11	Po941
3	台形	-	壺	曲1	D56 東 / Ma-c 雲形文、平行沈縫文	平縁。二対の小突起。平面沈縫文。内面赤彩	111-17	Po896
4	深鉢	A1d	X B x	曲1	D57 西 / Ma-c 口径(66cm)、高さ7.3cm、底径3.9cm	口径(66cm)、高さ7.3cm、底径3.9cm。平縁。椭圓状剖面。平行沈縫文。内面赤彩(ノリ口(縦文))。二個の	111-2	Po940
5	器	B1cf	壺	曲1	D57 東 / Ma 口径(46cm)、高さ6.5cm、底径3.5cm	二対の小突起。志文形。ノリ口(縦文)。平行沈縫文。内面灰化付赤	111-13	Po890
6	瓶	A1bd	壺	曲1	D24 / Ma-a-b ノリ口(縦文)	平縁。二対の小突起。波状切削痕。平行沈縫文。志文形。ノリ口(縦文)。内面赤彩	111-14	Po299
7	瓶	A1bd	壺	曲1	D57 東 / Ma ノリ口(縦文)	平縁。二対の小突起。波状切削痕。平行沈縫文。志文形。ノリ口(縦文)。内面赤彩	111-15	Po874
8	瓶	A1bd	壺	曲1	D24 / Ma-a ノリ口(縦文)	平縁。二対の小突起。波状切削痕。平行沈縫文。志文形。ノリ口(縦文)。内面赤彩	111-16	Po299
9	瓶	A1cf	壺	曲1	D24 / Ma-a-b ノリ口(縦文)	平縁。二対の小突起。山形状起伏。口唇部波状。平行沈縫文。志文形。ノリ口(縦文)。体部若干の内面沈縫	111-18	Po294
10	器	C1cf	壺	曲1	D57 東 / Ma 口唇部波状	平縁。二対の小突起。口唇部波状。平行沈縫文。ヘラ削目(2段)。志文形(ノリ口(縦文))。内面 RL、外面赤彩	111-19	Po871
11	瓶	A1b	壺	曲1	D57 西 / Ma-c 口径(35.5cm)、高さ	平縁。平面沈縫文。平行沈縫文。志文形(ノリ口(縦文))。内面 RL	111-20	Po943
12	口口上部	B1ef	壺	曲1	D57 中央 - Ma ノリ口(縦文)	平縁。山形空型の内側に小突起。口唇部波状。抹毛状凹凸(ノリ口(縦文))。内面 RL	111-21	Po896
13	口口上部	B1ef	壺	曲1	D24 / Ma-a-b ノリ口(縦文)	平縁。ヘラ削目。二対の小突起+1縫隙状凹凸。口唇部波状。抹毛+ヘラ削目。平行沈縫文。抹毛状凹凸(ノリ口(縦文))。内面 RL	111-22	Po2908
14	深鉢	B1df	X B a	曲1	D24 / Ma ノリ口(縦文)	平縁。二対の小突起。平行沈縫文。平行沈縫文。椭圓状剖面。内面 RL、内面若干の沈縫	111-23	Po2956
15	深鉢	B1df	X B a	曲1	D57 中央 - Ma-c ノリ口(縦文)	平縁。二対の小突起。平行沈縫文。椭圓状剖面。平行沈縫文。内面 RL	111-24	Po895
16	器	A3c	壺	曲1	D57 東 / Ma ノリ口(縦文)	平縁。二対の小突起。ノリ口(縦文)。内面赤彩。内面 RL	111-25	Po876
17	器	A1	X I	曲1	D56 東 / Ma ノリ口(縦文)	平縁。三形工字形。平行沈縫文。内面赤彩	111-26	Po891
18	深鉢	B2df	X B x	曲1	D56 東 / Ma 波状切削(波部削み)	波状切削(波部削み)。波状切削痕。平行沈縫文。内面赤彩	111-27	Po892
19	口口上部凹	B1	X V	曲1	D57 東 / Ma-c ノリ口(縦文)	平縁。二対の小突起。平行沈縫文	111-28	Po944
20	施彩土器残片	A1	X V	曲1	D57 東 / Ma-c ノリ口(縦文)	口径(6.6cm)、高さ1.4cm。底丸。平縁。底部ナメ	111-29	Po948
21	深鉢	A1	X B a2	曲1	D57 西 / Ma ノリ口(縦文)	平縁。羽状網文 RL	111-30	Po945

第129図 C丘陵南斜面a含層(東側) 出土土器(10)

南1層群からは、深鉢や鉢、台付浅鉢、台部、皿、注口土器のほかに袖珍土器浅鉢が出土している。装飾は、羊齒状文（第128図18・19）や列点文（同図18・19）、雲形文（第129図1～3・5～13）、π字文（同図16）、変形工字文（同図17）が見られる。

（3）土製品

土製品は南4A層群を除く大別層群から出土している。土器や石器・石製品に比べて少なく、南斜面の東西で遺物の出土状況や内容等に大きな差異は認められないため、東西に分けずに記述する。

南5層群からは、土偶（胴部+両脚や下半身）（第130図2・3）、環状の耳飾り（同図4・5、第131図1～6）、円盤状土製品（第130図1）などが出土している。環状の耳飾りはそのほとんどが東側の遺物包含層からの出土である。

南4B層群からは、三角形を呈する土版（第132図1）や環状の耳飾り（同図2～5）などが出土している。

南3層群からは、土偶頭（第132図6）、土偶頭部（同図7、第133図1）や環状の耳飾り（第133図2）、円盤状土製品（同図3～7）が出土している。

南2B層群からは、土偶（第134図1～4、第135図1）や土面（第133図8）、土版（第135図3・4）、円盤状土製品（同図5～15）などが出土している。出土した土偶には頭部や上半身、胴部がある。また、円盤状土製品のうち15は破損した土版を再加工している。なお、第135図2は環状土製品の可能性が考えられる。

南2A層群からは、土偶（第135図16、第136図1～4）や動物形土製品（クマ顔）（第137図1）、土版（同図2）、環状土製品（同図3）、ボタン状土製品（同図4・5）、キノコ状の耳飾り（同図6）、円盤状土製品（同図7～11）などが出土している。土偶には上半身、頭部、胸部、腹部がある。また、円盤状土製品の一部には赤～黒色物質が付着している（分析編第7章）。

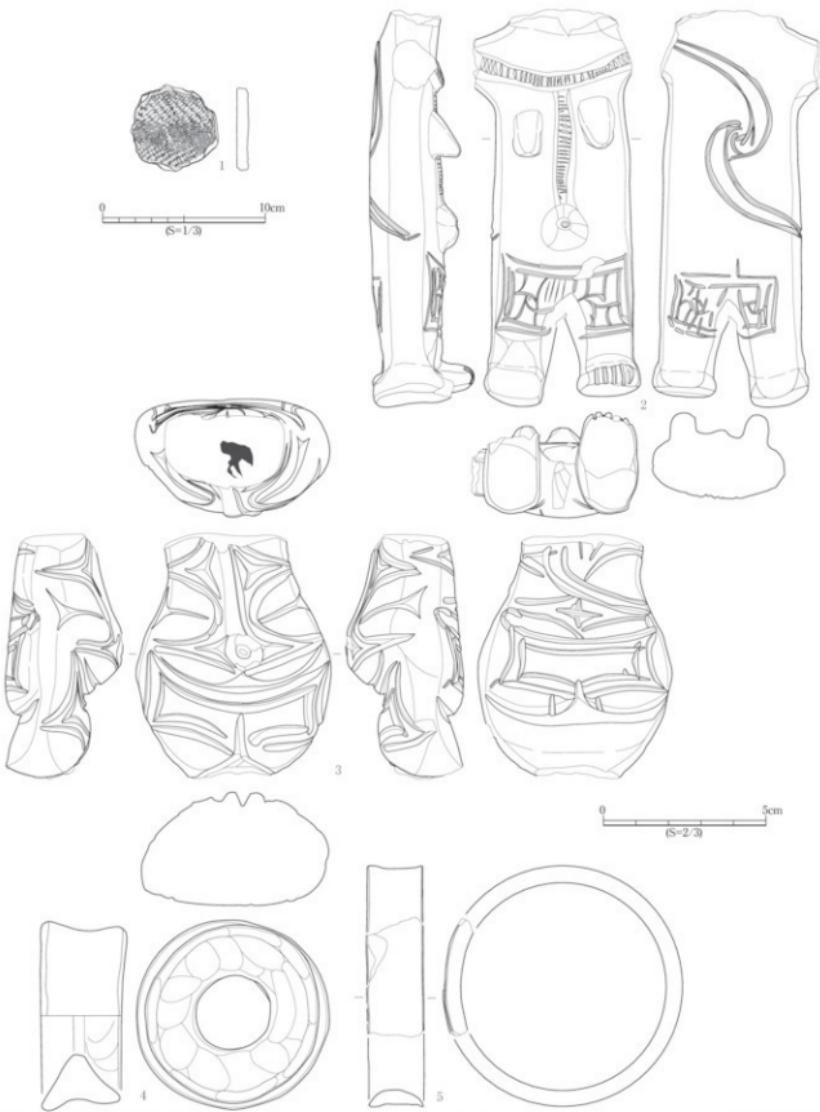
南1層群からは、土偶右脚（第137図12）や動物形土製品（クマ顔）（同図13）、土版（同図1・2）、環状の耳飾り（第138図3）、円盤状土製品（同図4～10）などが出土している。

（4）石器・石製品

C丘陵南斜面a包含層からは、石鎚105点、尖頭器13点、石錐38点、石匙9点、石鏃15点、打製石斧1点、磨製石斧32点、板状石器1点、楔形石器111点、不定形石器326点、石皿139点、磨石462点、四石14点、砥石6点、敲石2点といったトゥール類や剥片2,801点、石核232点、また、円盤状石製品19点、石錘2点、独鉛石2点、石棒43点、石刀48点、異形石器1点、小玉1点、イモガイ形石製品1点、岩版4点、線刻縹2点、有孔石製品3点、不明石製品15点といった石製品、あわせて4,458点が出土している。遺物量が多いため、包含層を西側と東側に分けて記述する。

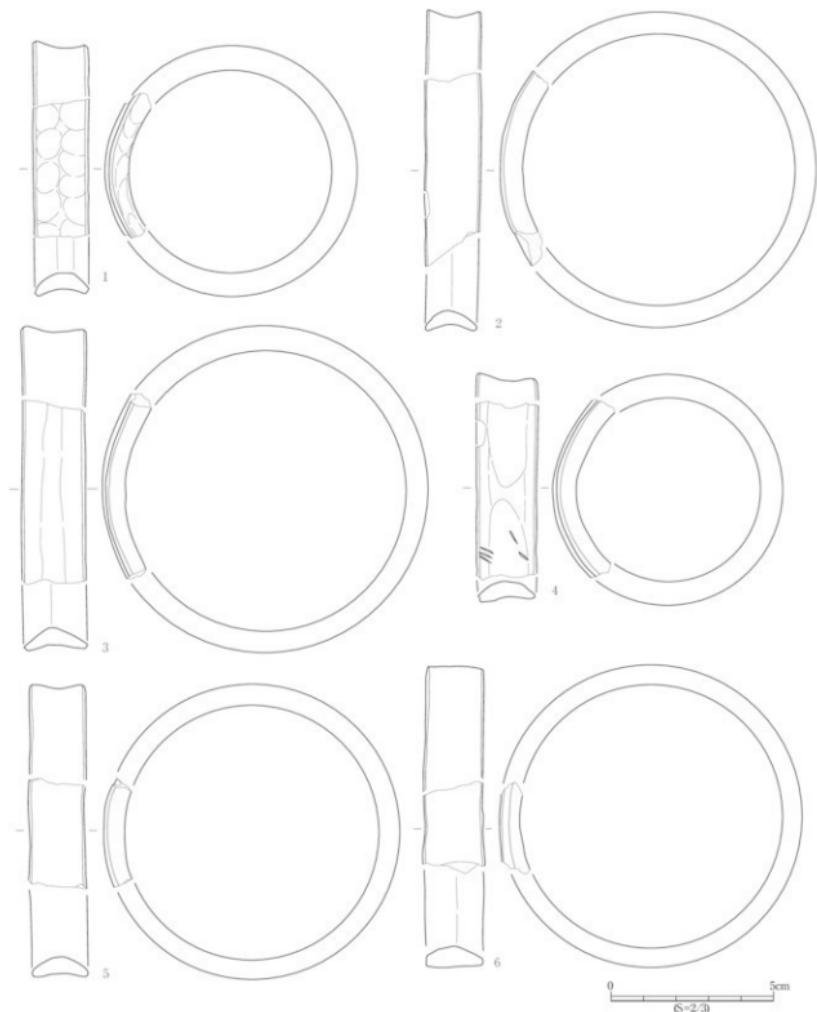
①遺物包含層西側における石器の層位別出土状況

包含層西側では石器・石製品が3,235点出土している。うち、トゥール953点、剥片2,007点、石核



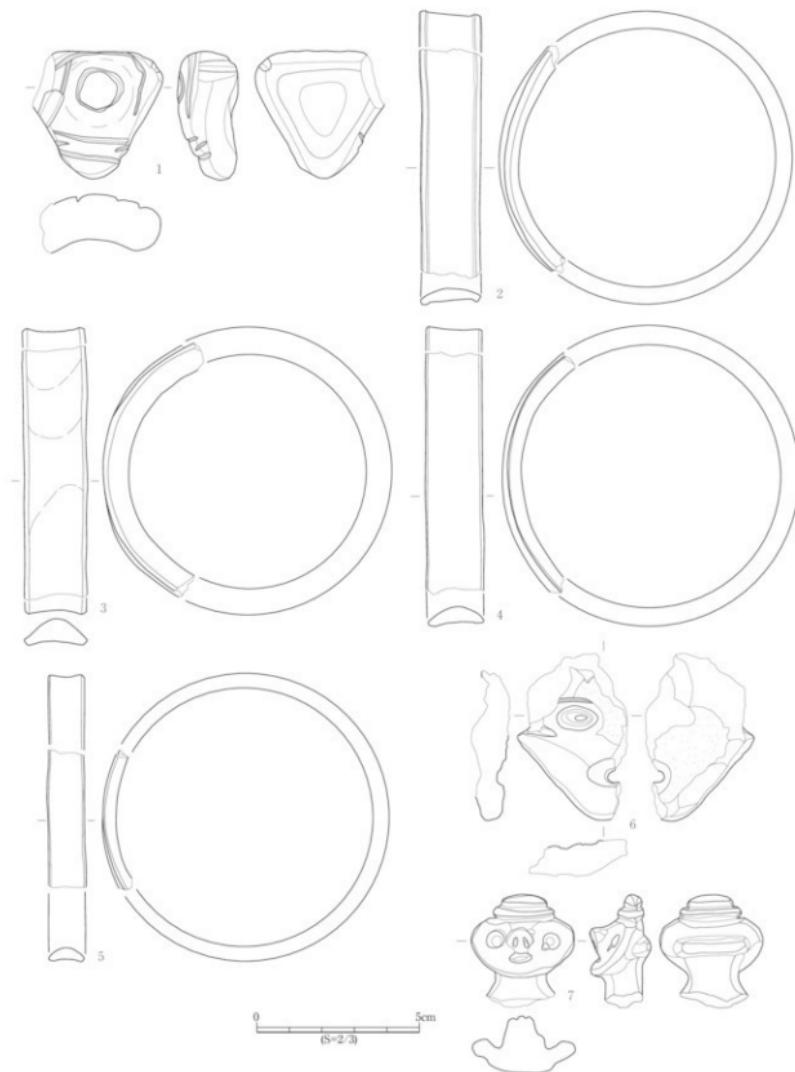
No.	形 種	大別類	国・走模／型	特 装		写真版	登録
				現存長	現存幅		
1	円盤状上器品	南5	D-57 西 / 11cm	現存長 51.5mm、幅 32.7mm、厚さ 7.1mm。斜状溝文様。L形。背面 現存長 120mm。側面に點縫（腹部刺繡）、點縫2（腹部）、腰部から両脚上手にかけて形態の平行沈溝文・形態の沈溝文・脚形の沈溝文（腰合）。		112.2	C0968
2	土偶胸部・両脚	南5	D-57 西 / 11cm	現存長 48.7mm、幅 30.2mm。L形。背面に點縫（腹部刺繡）、腰部から両脚上手にかけて形態の平行沈溝文・形態の沈溝文・脚形の沈溝文（腰合）。		112.3	C0965
3	上偶下半身	南5	D-57 西 / 11cm	現存長 75.0mm、現存幅 59.2mm。最大厚 35.0mm。L形。脚部・脇部・沈溝（正面中央）、左右対称の三叉文・弧状沈溝文、脚先：二叉文、脇部：平行沈溝文、沈溝：三叉文、弧状の平行沈溝文、沈溝文、四角形の平行沈溝文、沈溝文、脚形の沈溝文。		112.1	C0979
4	耳飾	南5	D-57 西 / 11cm	現存長 98.5mm、幅 25.8mm。環状。		112.4	C0960
5	耳飾	南5	D-57 西 / 11cm	現存長 36.4mm、現存幅 17.4mm、最大厚 1.0mm。環状。		112.0	C0966

第130図 C丘陵南斜面a包含層 出土土製品 (1)



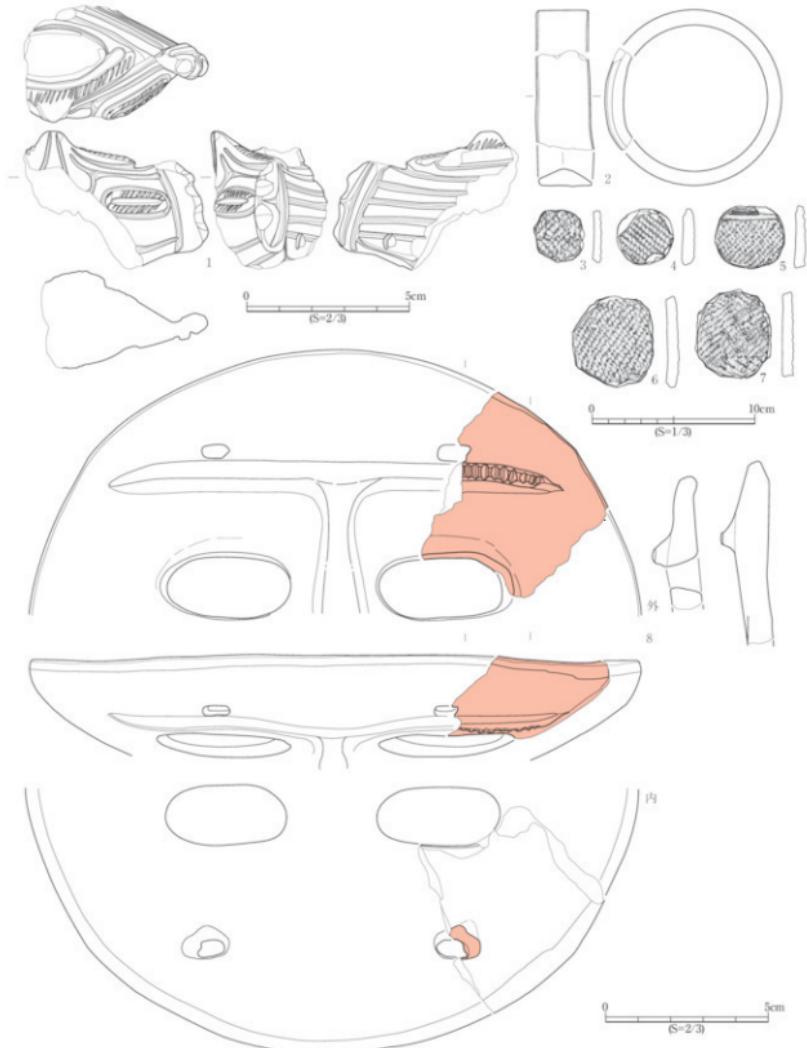
No.	器種	大別類	区・邊様 / 型	特徴	写真図版	登錄
1	圓盤	南5	D-57 西 / M1a	残存長 43.1mm、残存幅 17.5mm、最大厚 5.0mm、外径 (7.8cm)、環状。	112-11	CO1006
2	圓盤	南5	D-57 西 / M1a	残存長 39.6mm、残存幅 17.1mm、最大厚 4.5mm、外径 (9.7cm)、環状。	112-5	CO096
3	圓盤	南5	D-57 西 / M1a	残存長 36.9mm、残存幅 19.4mm、最大厚 5.4mm、外径 (10.0cm)、環状。	112-6	CO0112
4	圓盤	南5	D-57 西 / M1a	残存長 34.5mm、残存幅 18.9mm、最大厚 5.2mm、外径 (7.0cm)、環状。	112-7	CO097
5	圓盤	南5	D-57 西 / M1a	残存長 34.5mm、残存幅 17.2mm、最大厚 4.9mm、環状。	112-8	CO097
6	圓盤	南5	D-59 / M1g	残存長 36.7mm、残存幅 18.7mm、最大厚 7.0mm、環状。	112-9	CO1266

第131図 C丘陵南斜面a包含層 出土土製品 (2)



No.	器種	大きさ	区・造形	特徴	写真図版	分類
1	上版	南4B	D-57 西 / 直1a	長さ39.7mm、残存幅39.4mm、最大厚14.5mm。平行沈面文、環状の沈面文、環状沈面文。表面に押印。底部(1箇所)に削り痕。	11212	COH99
2	耳瓶	南4B	D-57 西 / 直1a	残存長70.5mm、残存幅18.4mm、最大厚5.1mm、外径(9.0cm)。環状	11213	COH921
3	耳瓶	南4B	D-57 西 / 直1a	残存長75.9mm、残存幅20.0mm、最大厚6.0mm、外径(8.8cm)。環状	11214	COH941
4	耳瓶	南4B	D-57 西 / 直1a	残存長72.8mm、残存幅17.6mm、最大厚4.1mm、外径(8.2cm)。環状	11215	COH925
5	耳瓶	南4B	D-57 西 / 直1a	残存長43.8mm、残存幅11.2mm、最大厚3.5mm。環状	11216	COH951
6	上鉢	南3	D-57 西 / 直e-f	残存長50.7mm、残存幅34.0mm、最大厚10.3mm。中実。環状沈面文(目)、貫通孔(13)、周沈面による剥み(耳瓶9)、鉢底・鼻孔落	11217	COH991
7	上鉢	南3	D-68 北 / 直c	残存長34.0mm、残存幅21.4mm、最大厚18.0mm。中実。平行沈面文(粘突)、貫孔2(目)、ヘラによる剥空(13)、粘突+ヘラ剥み(直)、背面:低平沈面文+隆起	11218	COH609

第132図 C丘陵南斜面a包含層 出土土製品(3)



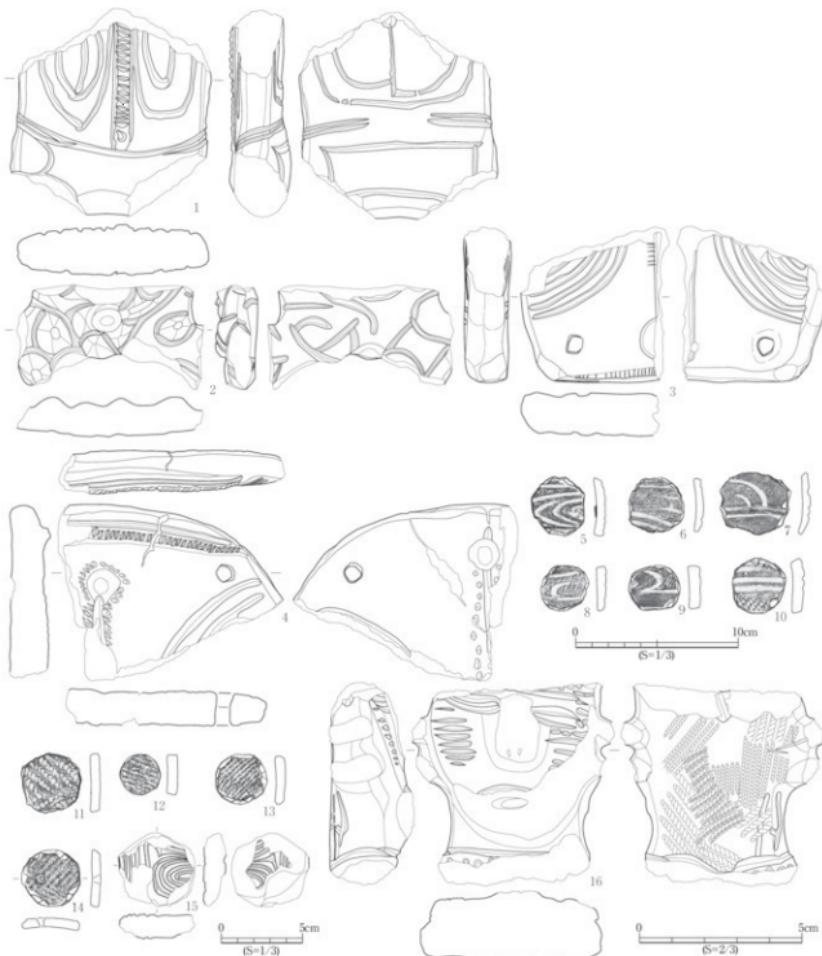
No.	器種	大別群	区・遺構 / 断	特徴	写真図版	登録
1	土偶頭部	南3	D-54 南 / Vl d1 - 2	残存長 44.2mm、残存幅 36.3mm、最大厚 35.4mm。中空。平行沈綱文。橢圓状肩口。角状の突起。突起部から残る浅い溝文。埋状沈綱文。橢圓状肩口。斜沈綱(目)。平行沈綱文。耳にヘラ削目。背面：平行沈綱文。耳に縦線の平行沈綱文。	112.19	C0204
2	耳飾	南3	D-56 西 / Vl d	残存長 31.1mm、幅 20.9mm、厚さ 5.2mm。斜沈綱文 LB RL。縦状	112.20	C0855
3	円盤状土製品	南3	D-59 南 / Vl c	長さ 31.7mm、幅 52.6mm。斜沈綱文 LB RL。縦状	112.21	C01298
4	円盤状土製品	南3	D-68 南 / Vl c	長さ 34.1mm、幅 35.0mm、厚さ 7.2mm。純 LB RL。渦巻→縦状	112.22	C02773
5	円盤状土製品	南3	D-69 北 / Vl c	長さ 34.1mm、幅 35.0mm、厚さ 7.2mm。純 LB RL。渦巻→縦状	112.23	C00305
6	円盤状土製品	南3	D-55 西 / Vl d	長さ 38.2mm、幅 43.2mm、厚さ 6.0mm。平行沈綱文。純 LB RL。渦巻→縦状	112.24	C0663
7	円盤状土製品	南3	D-57 西 / Vl e - 手造き	長さ 55.2mm、幅 48.1mm、厚さ 7.1mm。純文立。渦巻	112.25	C01097
8	上面	南2B	D-54 北 / Vl cl	残存長 65.7mm、残存幅 60.1mm、最大厚 13.7mm。残さへ少部分目。貫通孔上。外側・内側ふれ	112.26	C0484

第133図 C丘陵南斜面a包含層 出土土製品 (4)



No.	器種	大別期	区・遺構／附	特徴	写真図版	登録
1	上鉢部、 側部	南2B	D-59 / V1 a2	内径長 62.4mm、底内径 63.5mm、最大厚 27.5mm。中央、頭部へ向日（頭出）、腰部へハラ刻目、肩邊2（肩跡）、背孔（頭部）に平行沈文、斜削、輪郭2（乳頭）、右肩付部の半円形の平行沈文、背面：腰部に平行花瓶文、肩部に平行沈文、胸部に平行沈文、平行花瓶文。	1131	CO1358
2	上鉢部	南2B	D-68 南 / V1 b	残存長 27.0mm、残存幅 38.0mm、最大厚 13.2mm。中央、隆脊（乳頭）に十字状の沈文（頭・鼻梁）、側空（目）、目の間にヘラ刻目、斜削（耳飾）、背面：弧状花瓶文、平行沈文。	1132	CO2844
3	上鉢部、 両側	南2B	D-68 北 / V1 b	残存長 27.0mm、残存幅 38.0mm、最大厚 27.4mm。中央、百官（沈文）、乳頭から腹部にかけて平行沈文。腰部に平行沈文、背面：二字文、腰部に平行花瓶文、平行沈文。	1135	CO2691
4	上鉢部	南2B	D-68 南 / V1 b	残存長 27.0mm、残存幅 60.0mm、最大厚 29.0mm。中央、點輪2（鼻梁）、平行花瓶文、残空、横文LR（正面軸）、復部から背中にかけて波浪状沈文、左肩付部に平行花瓶文、右肩付部に斜削、背面：側部に平行沈文、腰部に平行沈文、腰部から背中にかけて波浪状沈文、左肩付部に平行花瓶文、右肩付部に斜削、背面：側部に平行沈文、腰部に平行沈文、腰部から背中にかけて波浪状沈文。	1133	CO2845

第134図 C丘陵南斜面a包含層 出土土製品（5）



特征

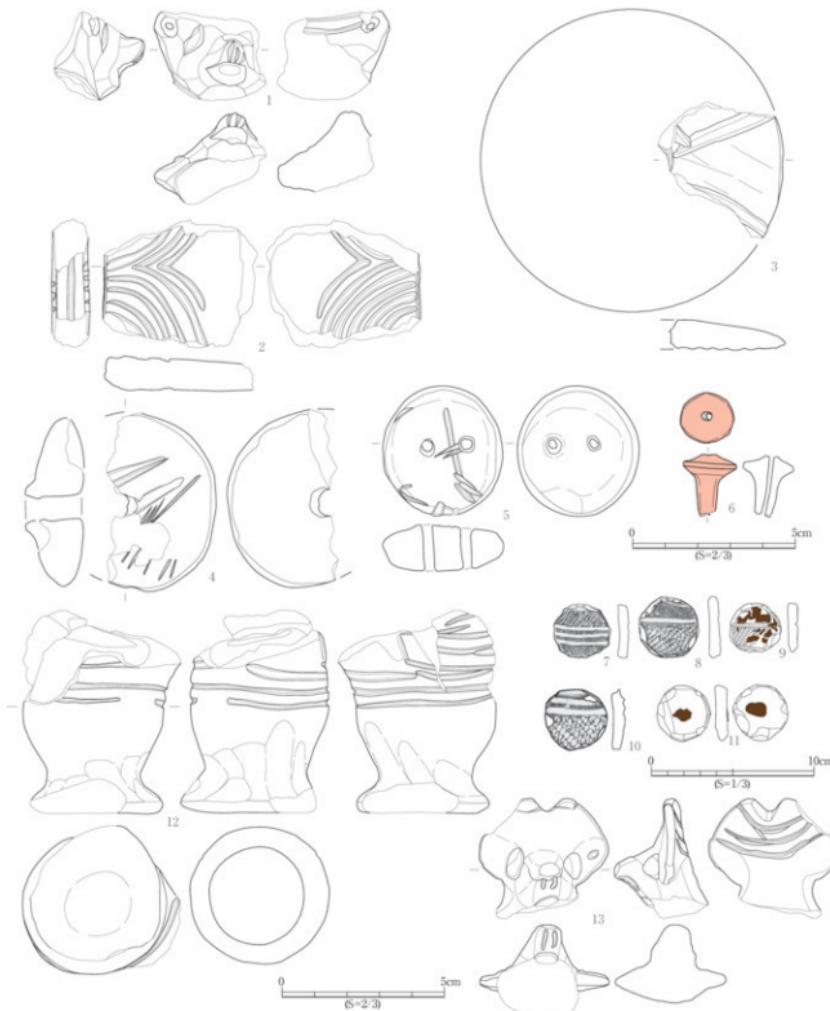
番号	岩相	大岩相	区・道相 / 层	写真図版	寸法	
1	下部鋼部	南2B	D-6B 南 / M1 b	残存長 626mm、残存幅 59.4mm、最大厚 17.9mm。中葉・平行沈積文・陰帶・横面状層目(下層に斜突)、弧状の平行沈積文、鈍2.5波高文、弧状の沈積文、円文+層状の沈積文(正中輪)、弧状の平行沈積文、形態の沈積文。	113-4 C02824	
2	礁様上部相	南2B	D-39 北 / M1 a2	残存長 320mm、残存幅 56.2mm、最大厚 12.5mm。人組二叉文+點帶。表面：人組二叉文	113-6 C01227	
3	上部	南2B	D-39 東 / M1 b	残存長 46.9mm、残存幅 56.2mm、最大厚 13.6mm。円文+層状の沈積文(正中輪)、弧状の平行沈積文、直角丸1	113-7 C0671	
4	上部	南2B	D-39 / M1 a2	残存長 54.9mm、残存幅 50.5mm、最大厚 12.3mm。円文+層状の沈積文(正中輪)、周囲に斜交河・橋面状層目、沈積文+層帶・橋面状層目、弧状の平行沈積文、裏面：円文+層状の沈積文(正中輪)、正中輪の両側に病巣列、弧状の平行沈積文、直角丸1、前面に斜河	113-8 C01234	
5	内輪状上部相	南2B	D-34 北 / M1 c1-d2	長さ 36.6mm、幅 32.0mm、厚さ 5.9mm。平行沈積文、左羽根状沈積文、浜層、内外面風化物付帯	113-9 C0219	
6	内輪状上部相	南2B	D-34 北 / M1 c1-2	長さ 32.9mm、幅 34.0mm、厚さ 4.5mm。芸形文(勝手口押し彫文)、平行沈積文、縦文LR、浜層	113-10 C0493	
7	内輪状上部相	南2B	D-34 北 / M1 c1	長さ 37.8mm、幅 35.6mm、厚さ 5.6mm。芸形文(勝手口押し彫文)、平行沈積文、底底ミサキ、縦文LR、浜層	113-11 C0492	
8	内輪状上部相	南2B	D-34 北 / M1 c	長さ 27.4mm、幅 29.0mm、厚さ 5.8mm。芸形文(勝手口押し彫文)、縦文LR、浜層→一部研磨	113-12 C0337	
9	内輪状上部相	南2B	D-39 / M1 a2	長さ 35.6mm、幅 31.0mm、厚さ 7.2mm。芸形文(勝手口押し彫文)、縦文LR、浜層→研磨	113-13 C01252	
10	内輪状上部相	南2B	D-34 北 / M1 c1	長さ 33.7mm、幅 30.0mm、厚さ 7.2mm。平行沈積文、縦文LR、浜層→研磨	113-14 C0498	
11	内輪状上部相	南2B	D-08 北 / M1 b	長さ 35.5mm、幅 35.8mm、厚さ 5.8mm。羽状沈積文LR RL、浜層	113-15 C0247	
12	内輪状上部相	南2B	D-39 / M1 a2	長さ 21.3mm、幅 24.1mm、厚さ 6.1mm。縦文LR(頭と尾を含む)、浜層→研磨	113-16 C01335	
13	内輪状上部相	南2B	D-35 東 / M1 b	長さ 29.6mm、幅 30.9mm、厚さ 5.9mm。縦文LR、浜層→一部研磨	113-17 C0672	
14	内輪状上部相	南2B	D-34 北 / M1 c2	長さ 35.3mm、幅 36.6mm、厚さ 5.9mm。羽状沈積文LR RL、鈍移1.1°、削れ口1.0°未満?付着、浜層→一部研磨	113-18 C0460	
15	内輪状上部相	南2B	D-34 北 / M1 c1	長さ 45.2mm、幅 47.7mm、厚さ 14.2mm。平行沈積文、弧状の平行沈積文2段目、平行層状文(背脊か)、鈍移1.1°、削れ口1.0°未満?付着、浜層→一部研磨	113-19 C0517	
16	上部相層	南2A	D-73 / M1 b	残存長 59.8mm、残存幅 61.0mm、最大厚 25.4mm。中葉、沈積文(弱)、疊状沈積文2層目、平行層状文(背脊か)、鈍移1.1°、削れ口1.0°未満?付着、浜層→一部研磨	113-20 C0299	

第135図 C丘陵南斜面a包含層 出土土製品(6)



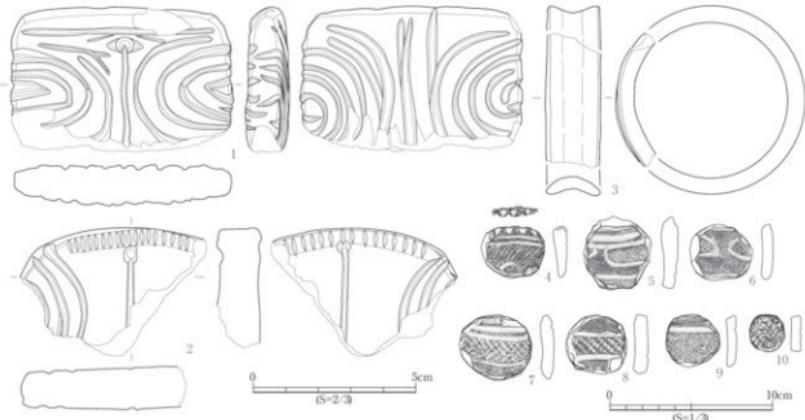
No.	器種	大遺物	区・遺構 / 別	特征	写真図版	登録
1	土偶頭部	南2A	D-56 南 / VI b	残存長 22mm、残存幅 62.1mm、最大厚 37.9mm、中空。平行沈縫文+捺帯+横ぬけ状肩口(前)、弧状沈縫文(後-右)、平行沈縫文(左)、弧状沈縫文(右)。側面弧状文。側縁に沈縫文。背面一面に弧状沈縫文。側縁に沈縫文。	114-1	C0298
2	土偶胸部 右腕	南2A	D-74 扁張 / VI b	残存長 35.5mm、残存幅 82.9mm、最大厚 36.4mm、中空。腕が強く張り出す。貼瘤2(乳房)、乳用から腕・背中にかけで平行沈縫文+捺帯+横ぬけ状肩口(背中にのみ確認なし)。	114-2	C0297
3	土偶上半身	南2A	D-55 西 / VI a	残存長 48.4mm、残存幅 76.1mm、最大厚 27.7mm、中空。首孔2(前・心臓か)、贴瘤(乳房)、胸突起。胸上に織縫を含む。	114-5	C0748
4	土偶腹部	南2A	D-74 扁張 / VI b	残存長 58.8mm、残存幅 47.5mm、中空。両脚間に棒状工具による穿孔1。	114-3	C0294

第136図 C丘陵南斜面a包含層 出土土製品 (7)



No.	器種	大きさ	区・遺物	特徴	写真図版	位置
1	石斧打土器	面2A D54北・V1b	残存長37mm、残存幅290mm、最大厚216mm、中丸、ヘラ削み(目)、粘結+ヘラ削り(轍)、肩孔(口)、貫通孔(口)		114-4	C0562
2	石版	面2A D54南・V1b	残存長304mm、残存幅47mm、最大厚109mm、縦びの沈漫文(正中轍)、両面に弧状の平行沈漫文、縦縞に沈漫文		114-6	C0301
3	環狀土器	面2A D74北側・V1b	残存長449mm、残存幅380mm、最大厚94mm、斜軸に文がする沈漫文、表面に網代痕、貫通孔1		114-7	C02947
4	ボタン状土器	面2A D55東・V1	残存長538mm、残存幅341mm、最大厚172mm、貫通孔1		114-8	C0703
5	ボタン状土器	面2A D68北・V1a	残長398mm、幅371mm、厚さ137mm、貫通孔2		114-9	C02718
6	石器	面2A D75・V3b	最大長358mm、残存長185mm、ノコ目跡、貫通孔1、表面全体に赤鉄		114-10	C03032
7	円錐状土器	面2A D54北・V1b	残長326mm、幅340mm、厚さ65mm、平行沈漫文、横文LR、調滑		114-11	C0580
8	円錐状土器	面2A D68北・V1a	残長375mm、幅368mm、厚さ71mm、雲形文(側面消し横文)小、横文LR、調滑→一部研磨		114-12	C02719
9	円錐状土器	面2A D54北・V1b	残長295mm、幅207mm、厚さ59mm、雲形文(側面消し横文)、横文LR、外側赤~黒色物質付着、調滑→研磨		114-13	C0360
10	円錐状土器	面2A D33南・V1b1・2	残長365mm、幅379mm、厚さ72mm、平行沈漫文、横文LR、調滑→一部研磨		114-14	C070
11	円錐状土器	面2A D33南・V1b1	残長357mm、幅331mm、厚さ77mm、調滑→研磨、表面に黑色物質付着		114-15	C086
12	石斧	面2A D54北・V1a	残存長616mm、残存幅410mm、最大厚118mm、中丸、頭部に平行沈漫文		114-16	C0621
13	動物骨	面1 D53南・V1a	残存長364mm、幅359mm、厚さ27mm、頭部に平行沈漫文、頭部部頭孔、表面に平行沈漫文		114-17	C0162

第137図 C丘陵南斜面a包含層 出土土製品 (8)



第138図 C丘陵南斜面a包含層 出土土製品（9）

162点、石製品113点ある。層位別の器種および石材組成を第15・17~20表に示した。

南5層群からは44点出土し、石錐22点（第139図1・2）、楔形石器1点、不定形石器2点、石皿3点、磨石10点、砥石1点（同図3）、剥片18点、石核5点、石棒1点、小玉1点（同図4）がある。石材は珪質頁岩（A類）や凝灰岩、珪質凝灰岩（A・B類）、安山岩、碧玉（A・B1類）などが多く見られる。

南3層群からは525点出土し、石錐11点（第139図5~12）、尖頭器2点、石錐3点（同図13・15・16）、石匙1点（同図14）、石鑿2点（同図17）、磨製石斧2点、楔形石器12点（同図18・19、第140図1~3）、不定形石器31点（第140図4~8）、石皿11点（同図9）、磨石70点（同図10・11、第141図1~4）、凹石1点（第141図5）、剥片334点、石核35点、円盤状石製品1点（同図6）、石棒5点、石刀1点（同図8）、岩版1点（同図9）、有孔石製品1点（同図7）、不明石製品1点がある。石材は珪質頁岩（A・B類）や凝灰岩、珪質凝灰岩（A・B類）、安山岩質凝灰岩、黒曜石、安山岩、粘板岩、玉髓、碧玉（A・B1・B2・C・D類）などが多く見られる。

南2B層群からは803点出土し、石錐11点（第142図1~6）、尖頭器2点（同図7）、石錐8点（同図8~12）、石匙2点（同図13・14）、石鑿2点（同図15）、打製石斧1点（第144図1）、磨製石斧12点（第142図16、第143図1~5）、楔形石器18点（第144図2・3）、不定形石器62点（同図4~11）、石皿40点（第145図1・9）、磨石109点（同図2~8・10）、凹石3点、砥石1点、剥片456点、石核

No.	部	性	大別名	区・遺構・層	特	写真版	登録
1		上	曲1	D-54 南 / M a	残存長 34.0mm、幅 67.8mm、厚さ 12.2mm。波彌文、磨突・縫合の波彌文（正中面）。左右対称の平刃形の平行波彌文。	11-18	C0097
2		上	曲1	D-54 北 / M a	残存長 34.0mm、波彌文（正中面）。左右対称の平行波彌文。	11-19	C0052
3		可	曲1	D-53 北 / M a	残存長 39.9mm、残存幅 56.8mm、最大幅 13.0mm。両面：円文+縫合の波彌文（正中面）。縫合状目、弧状の平行波彌文。	11-20	C032
4	円盤状土製品	曲1	D-53 南 / M a	長さ 38.5mm、幅 31.2mm、厚さ 7.6mm。平鋸+ヘラ削目+波状波彌文。平行波彌文、雲彌文（勝り消し波彌文）。波彌文	11-21	C087	
5	円盤状土製品	曲1	D-53 南 / M a	長さ 44.5mm、幅 39.9mm、厚さ 10.4mm。メガネ状浮文か、雲彌文（勝り消し波彌文）。波彌文 RL。波彌+縫合	11-22	C0102	
6	円盤状土製品	曲1	D-53 南 / M a	長さ 32.9mm、幅 38.2mm、厚さ 6.8mm。雲彌文（勝り消し波彌文）。波彌文 RL。波彌+縫合	11-23	C0104	
7	円盤状土製品	曲1	D-53 南 / M a	長さ 44.2mm、幅 44.2mm、厚さ 7.7mm。平行波彌文、雲彌文（勝り消し波彌文）。波彌文 RL。波彌+縫合	11-24	C0132	
8	円盤状土製品	曲1	D-57 西 / M a	長さ 35.0mm、幅 36.4mm、厚さ 8.5mm。雲彌文（勝り消し波彌文）。か、圓文 RL。波彌+縫合	11-25	C0097	
9	円盤状土製品	曲1	D-53 南 / M a	長さ 31.9mm、幅 32.9mm、厚さ 5.8mm。平行波彌文。波彌文 RL。波彌+縫合	11-26	C0103	
10	円盤状土製品	曲1	D-54 南 / M a	長さ 21.6mm、幅 21.1mm、厚さ 6.7mm。波彌文 RL。波彌+縫合	11-27	C0087	

39点、円盤状石製品7点（第146図1～3）、石棒10点（第146図5、第147図1）、石刀16点（第147図2）、線刻縦1点、不明石製品3点（第146図4）がある。石材は珪質頁岩（A・B類）や凝灰岩、珪質凝灰岩（A・B類）、安山岩質凝灰岩、黒曜石、安山岩、デイサイト、粘板岩、玉髓、碧玉（A・B1・B2・C・D類）などが多く見られる。

南2A層群からは852点出土し、石鎚32点（第148図1～17）、尖頭器4点（同図19・20）、石錐4点（同図18・21・22）、石匙1点（同図23）、石箆2点（第149図1・2）、磨製石斧6点（同図3・4）、楔形石器23点（同図5～9）、不定形石器55点（同図10～12）、石皿32点、磨石99点（第150図1～10）、四石3点（同図11、第151図1・2）、剥片516点、石核35点、円盤状石製品5点（第151図3～5）、独鉛石1点（同図6）、石棒16点（同図7・8）、石刀15点（同図9）、岩版1点（第152図1）、不明石製品2点がある。石材は珪質頁岩（A・B類）や珪化木、凝灰岩、珪質凝灰岩（A・B類）、安山岩質凝灰岩、安山岩、デイサイト、粘板岩、玉髓、碧玉（A・B1・B2・C・D類）などが多く見られる。

南1層群からは1,011点出土し、石鎚20点（第152図2～9）、尖頭器1点（同図10）、石錐13点（同図11～19）、石匙2点（第153図1・2）、石箆4点（同図3・4）、磨製石斧4点、板状石器1点（同図5）、楔形石器22点（同図6～10）、不定形石器91点（同図11～13、第154図1～10）、石皿20点（第154図11）、磨石72点（第155図1～8）、四石3点（同図9）、砥石1点（第156図1）、敲石2点（同図2）、剥片683点、石核48点、円盤状石製品2点（同図3・4）、石錐1点（同図7）、石棒4点、石刀8点、異形石器1点（同図6）、岩版1点（同図8）、有孔石製品1点（同図9）、不明石製品6点（同図5）がある。石材は珪質頁岩（A・B類）や凝灰岩、珪質凝灰岩（A・B類）、黒曜石、安山岩、デイサイト、粘板岩、玉髓、碧玉（A・B1・B2・C・D類）などが多く見られる。

②遺物包含層東側における石器の層位別出土状況

包含層東側では石器・石製品が1,223点出土している。うち、トゥール321点、剥片794点、石核80点、石製品28点ある。層位別の器種および石材組成を第15・17～20表に示した。

南5層群からは76点出土し、楔形石器2点、不定形石器6点、石皿2点、磨石6点（第157図1）、四石1点、剥片55点、石核3点、有孔石製品1点（同図2）がある。石材は珪質頁岩（A・B類）や珪質凝灰岩（A・B類）、安山岩、碧玉（A・B1類）などが多く見られる。

南4B層群からは119点出土し、石鎚1点（第157図3）、尖頭器3点（同図4・5）、楔形石器3点（同図6・7）、不定形石器12点（同図8）、石皿3点（同図9）、磨石9点（同図10）、剥片83点、石核4点、線刻縦1点（同図11）がある。石材は珪質頁岩（A・B類）や珪質凝灰岩（A・B類）、安山岩、玉髓、碧玉（A・B1・B2・C・D類）などが多く見られる。

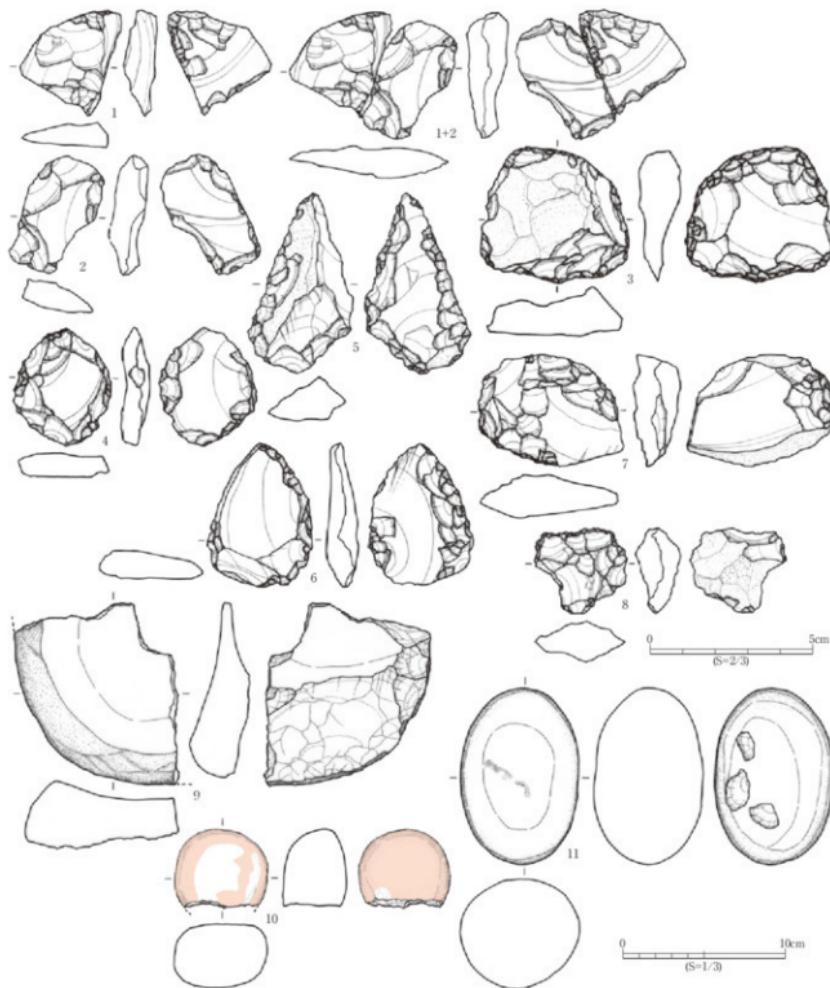
南4A層群からは5点出土し、石鎚1点（第157図12）、不定形石器1点、石皿1点、剥片2点がある。石材は珪質頁岩（A・B類）やデイサイト、碧玉（B1類）が見られる。

南3層群からは198点出土し、石鎚2点（第158図1・2）、石錐3点（同図3・4）、石匙1点（同図5）、石箆1点（同図6）、楔形石器3点、不定形石器12点（同図7）、石皿3点（同図8）、磨石24点（同図9）、砥石1点、剥片131点、石核11点、独鉛石1点（第159図1）、石棒2点、イモガイ形石



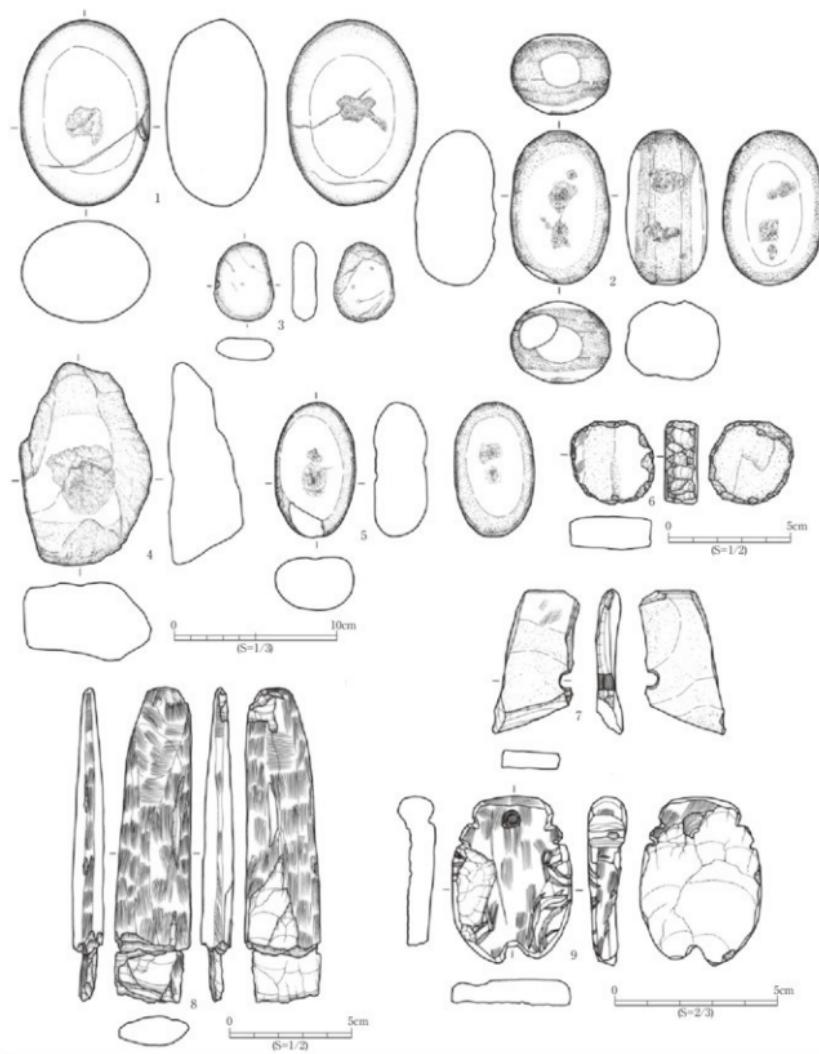
No.	器種	形態	大別種	区・遺構・層	石材	長(mm)	幅(mm)	最大厚(mm)	重量(g)	残存	被熱	加热処理	変形	自然面	着生物	発考	写真図版	位置
1	石器	II a2C	石器	D-59 / VI g	硅質頁岩B	24.5	15.8	3.0	669	完形	0	0	0	0	0	mm鏡	115-1	S13435
2	石器	II b2A	石器	D-59 / VI g	硅質頁岩B	26.3	10.5	3.5	755	完形	0	2	0	0	0	mm鏡	115-2	S13434
3	石器	-	石器	D-59 / VI f	安山岩	44.1	54.7	50.4	9422	破片	0	0	0	1	0			S6215
4	小E	-	石器	D-59 / VI g	硅質頁岩B	9.3	7.2	3.8	33	完形	0	0	0	1	0	mm鏡	115-4	S13441
5	石器	I a2A	石器	D-54 南 / VI e1.2	安山岩	13.5	9.6	2.3	31	完形	0	1	0	0	0			S6269
6	石器	I a2B	石器	D-53 南 / VI e1.2	硅質頁岩A	19.4	11.9	3.7	664	某欠	0	0	0	0	0	B		S13756
7	石器	I a2B	石器	D-53 南 / VI e1.2	硅質頁岩A	25.3	12.8	4.2	106	某欠	0	2	0	0	0	B		S6755
8	石器	II a2C	石器	D-54 北 / VI	硅質頁岩A	19.1	14.5	3.6	554	完形	0	2	0	0	0			S1917
9	石器	II A	石器	D-54 南 / VI e1.2	硅質頁岩A	23.0	16.6	4.7	154	完形	0	0	0	0	0	B		S2668
10	石器	II B	石器	D-59 / VI c-e	硅質頁岩A	23.1	16.6	6.5	173	完形	0	2	0	0	0			S16093
11	石器	II A	石器	D-55 東 / VI e1	剪石A	26.0	21.5	6.6	428	完形	0	1	0	0	0			S3207
12	石器	II aB	石器	D-68 北 / VI e	硅質頁岩A	24.3	18.2	3.0	673	逆側欠	0	0	0	0	0			S18189
13	石器	II a2	石器	D-54 北 / VI e1.2	硅質頁岩A	22.8	18.0	3.8	180	完形	0	0	0	0	0			S13133
14	石器	II b	石器	D-55 東 / VI e1	硅質頁岩A	46.9	60.6	13.3	2874	刃部欠	0	0	0	不定形石器→	1	B		S1314
15	石器	II c2	石器	D-68 北 / VI e	剪石C	36.6	23.8	4.7	390	完形	0	0	0	0	0	鉢形摩滅	115-5	S11837
16	石器	II b2	石器	D-54 北 / VI e2	硅質頁岩A	18.8	12.9	3.7	667	完形	1	0	0	0	0			S2116
17	石器	I a1	石器	D-53 南 / VI e2	硅質頁岩A	62.0	30.5	14.9	2541	完形	0	0	0	0	0			S6754
18	楔形石器	II b5	石器	D-59 / VI c	剪石E	26.6	32.9	10.5	1030	完形	0	1	0	0	0			S6062
19	楔形石器	I a	石器	D-68 南 / VI e	剪石	17.1	45.6	8.0	675	完形	0	0	1	0	0			S13712

第139図 C丘陵南斜面a包含層(西側) 出土石器・石製品(1)



No.	器種	類型	大別種	区・遺構・層	石材	長(mm)	幅(mm)	最大厚(mm)	重量(g)	保存	被熱	加熱処理	変形	自然面	付着物	備考	写真図版	位置
1	規整石器	I b	南3	D48 南 / V1c	剪 E.02	32.6	31.7	9.2	7.56	部欠	0	1	0	0	0	12159-60 集合	115-20	S12159
2	規整石器	I b	南3	D48 南 / V1c	剪 E.02	36.3	26.4	9.3	7.96	部欠	0	1	0	0	0	12159-60 集合	115-21	S12160
3	規整石器	II a	南3	D53 北 / V1c	桂賀百石 A	40.1	46.5	15.1	22.16	完形	0	0	0	1	0		115-22	S0086
4	不定形石器	I	南3	D53 南 / V1c-2	桂賀百石 A	36.1	29.9	7.2	9.61	完形	0	0	0	0	0		115-23	S0738
5	不定形石器	I	南3	D68 北 / V1c	玉髓	55.4	32.8	13.3	18.39	完形	0	0	0	1	0		115-24	S11823
6	不定形石器	I	南3	D53 南 / V1c-2	桂賀百石 A	44.3	32.1	8.1	12.40	完形	0	0	0	1	0		115-25	S0808
7	不定形石器	II d	南3	D53 南 / V1c-2	頁岩	34.8	45.2	13.3	21.03	完形	0	0	0	1	0		115-26	S0752
8	不定形石器	II e	南3	D53 南 / V1c-2	黑曜石	25.6	28.9	13.0	7.45	完形	0	0	0	1	0		115-27	S0807
9	石核	-	南3	D54 北 / V1d	安山岩	107.0	95.0	41.0	405.90	破片	0	0	0	1	0		115-28	S1919
10	砾石	-	南3	D53 北 / V1c	安山岩質凝灰岩	47.1	56.2	38.3	144.59	部欠	0	0	0	1	R		115-29	S0081
11	砾石	-	南3	D68 北 / V1c	安山岩	107.1	72.6	65.0	728.00	完形	0	0	0	1	0		116-1	S11909

第140図 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土石器・石製品（2）



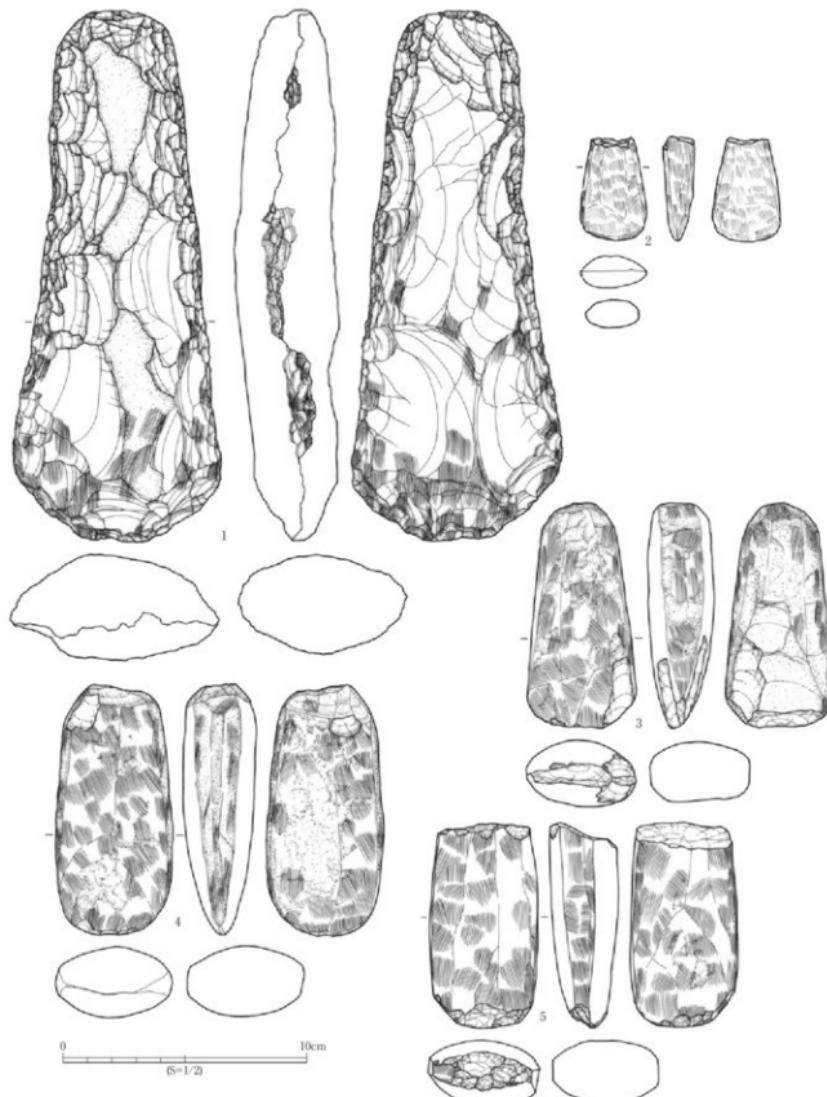
第141图 C丘陵南斜面a包含层(西侧) 出土石器·石制品(3)

No.	器 种	形 型	大 项 别	区·道 桥 / 省	石 材	长 (mm)	幅 (mm)	最 大 厚 (mm)	重 量 (g)	残 存	被 热	加 热 处 理	变 形	自 然 面	伴 生 物	编 号	写 真 图 版	存 放
1	磨 石	-	南 3	D-08 北 / 省 c	安山岩	113.0	79.5	61.3	630.00	完形	0	0	磨石→	1	0	116-2	S11908	
2	磨 石	-	南 3	D-04 南 / 省 c1.2	安山岩	94.7	62.0	50.3	464.00	完形	0	0	磨石→	1	0	116-3	S2693	
3	磨 石	-	南 3	D-04 北 / 省 c1.2	安山岩	47.8	36.4	16.0	46.38	完形	0	0	0	1	0	116-4	S1969	
4	磨 石	-	南 3	D-59 / 省 b,c	安山岩	125.9	80.0	50.7	589.76	完形	0	0	磨石→	1	0	116-5	S6080	
5	石 斧	-	南 3	D-53 南 / 省 c2	凝灰岩	85.5	50.4	34.5	193.90	完形	0	0	磨石→	1	0	116-6	S0753	
6	凹 鞍 状 制 品	1 a	南 3	D-54 北 / 省 d2	凝灰岩/安山岩	33.5	33.3	13.2	25.29	完形	0	0	0	1	0	116-7	S2119	
7	有 孔 石 制 品	-	南 3	D-59 / 省 c	凝灰岩	44.5	23.0	7.2	5.24	破片	0	0	0	1	0	116-8	S6084	
8	石 刀	-	南 3	D-55 东 / 省 c1	粘板岩	128.9	30.7	12.1	57.15	头部	1	0	0	0	0	116-9	S3215	
9	石 刀	-	南 3	D-52 南 / 省 c1.2	凝灰岩	50.5	36.3	11.3	106.65	部欠	0	0	0	0	0	116-10	S0764	



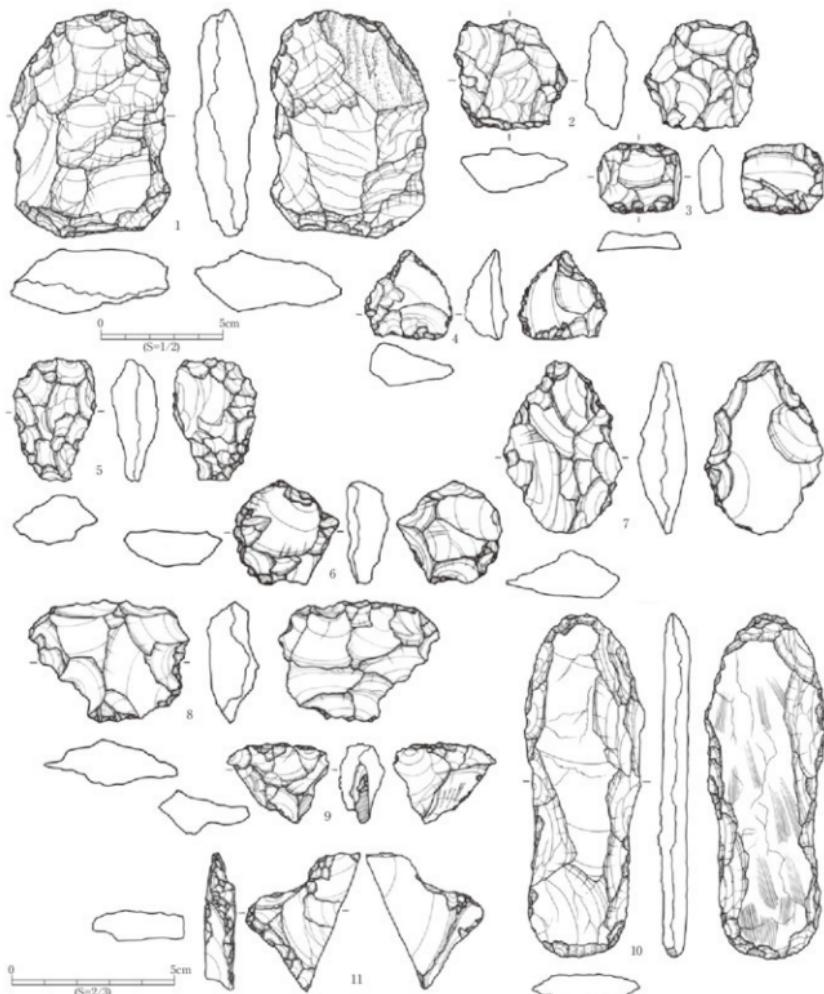
号	器種	形態	大別類	区・遺構 / 種	石材	長(mm)	幅(mm)	最大厚(mm)	重量(g)	残存	被熱	加热処理	変形	自然面	打削物	備考	写真図版	登録
1	石核	I a2D	角2B	D54北 / VI c1	珪質頁岩 A	21.9	12.0	6.0	131	残欠	0	1	0	0	0	116-11	S1667	
2	石核	I a2C	角2B	D54北 / VI c2	玉髓	25.6	15.0	6.4	131	残欠	0	2	0	0	0	116-32	S1769	
3	石核	I a2D	角2B	D54北 / VI c2	碧玉 B1	21.6	12.6	3.8	666	残欠	0	0	0	0	0	116-33	S1770	
4	石核	I a2D	角2B	D59 / VI a2	碧玉 A	29.3	16.7	9.0	341	完形	0	0	0	0	0	116-14	S5808	
5	石核	I a2A	角2B	D54北 / VI c1	碧玉 A	30.4	10.7	3.2	105	尖頭部・残欠	0	2	0	0	B	116-15	S12871	
6	石核	I b2A	角2B	D54南 / VI c3	珪質頁岩 A	29.9	23.3	7.7	431	完形	0	0	0	1	0	116-36	S2893	
7	大型器	II B	角2B	D59 / VI a2	珪質頁岩 A	38.4	26.4	9.2	746	完形	0	0	0	0	0	116-17	S5813	
8	石核	I a	角2B	D54北 / VI c1	珪質頁岩 A	27.6	7.0	5.0	994	完形	0	2	0	0	0	116-18	S12872	
9	石核	I a1	角2B	D54北 / VI c2	珪質頁岩 A	30.6	18.0	6.2	263	完形	0	1	0	1	0	116-19	S1771	
10	石核	I a1	角2B	D54北 / VI c2	珪質頁岩 A	39.5	17.1	10.2	475	完形	0	0	0	0	0	116-20	S1880	
11	石核	I b2	角2B	D68南 / V b	碧玉 C	31.6	27.1	6.9	496	完形	0	1	0	0	0	116-21	S12025	
12	石核	I c1	角2B	D54南 / VI c3	碧玉 A2	32.7	31.9	11.9	10.86	完形	0	0	0	1	0	116-22	S2608	
13	石核	I b	角2B	D59 / VI a2	珪質頁岩 A	44.3	26.3	5.1	463	完形	0	0	0	碧玉丙	1	0	116-23	S5880
14	石核	I a2	角2B	D68北 / V b	珪質頁岩 A	65.1	34.2	9.3	15.86	完形	0	0	0	1	0	116-24	S11671	
15	石核	I a1	角2B	D59 / VI a2	珪質頁岩 A	45.1	29.5	11.5	11.71	完形	0	0	0	碧玉丙	0	0	116-25	S5810
16	磨制石斧	I a2	角2B	D68北 / V b	砂岩	98.7	46.9	24.2	171.00	刃部欠	0	0	0	0	0	116-26	S11803	

第142図 C丘陵南斜面a包含層(西侧) 出土石器・石製品(4)



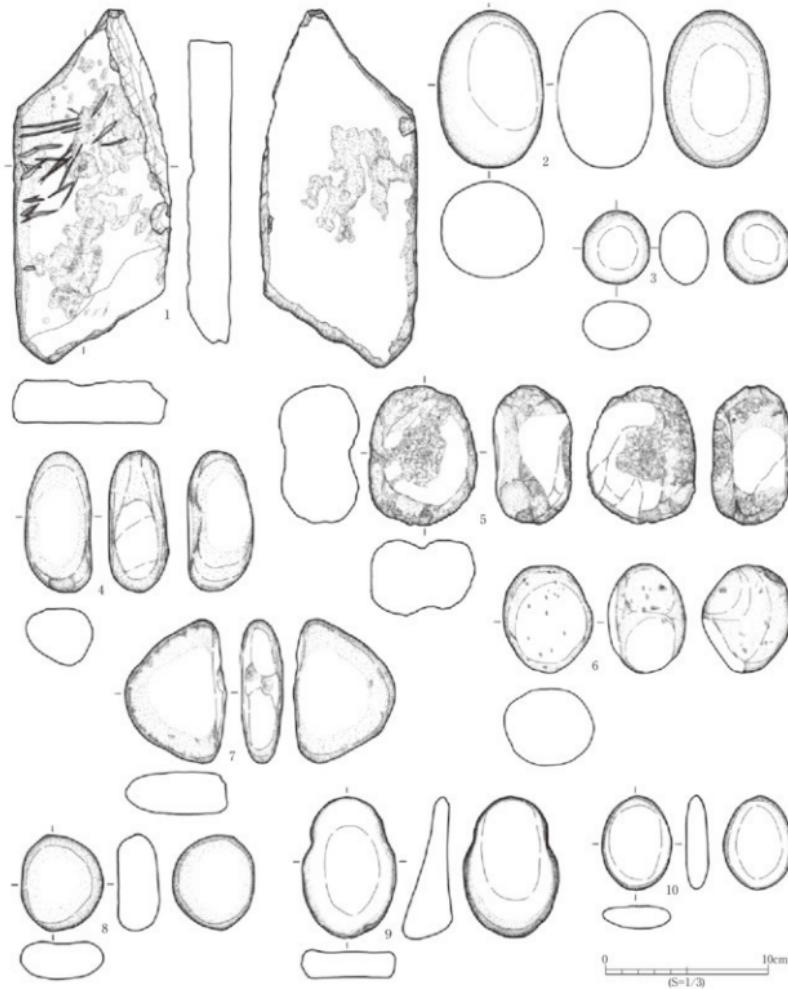
No.	形 檐	類別	大別名	区・遺跡 / 種	石材	長(mm)	幅(mm)	最大厚(mm)	重量(g)	残存	破壊	加熱退理	変形	自然崩	付着物	施考	写真斑塊	台紙
1	磨制石斧	石	面	210/D54 南 / VI c1-d2	安山岩	2367	84.8	40.7	931.00	完形	0	0	0	1	0	117.1	S266	
2	磨制石斧	石	面	210/D48 北 / VI b	安山岩	41.8	28.5	12.4	20.99	黑墨灰	0	0	0	0	0	117.2	S11804	
3	磨制石斧	石	面	210/D79 / VI b	安山岩	91.8	44.8	26.7	169.49	黑墨灰	0	0	0	0	0	117.3	S13144	
4	磨制石斧	石	面	210/D79 / VI b	安山岩	103.0	47.8	29.5	232.59	完形	0	0	0	0	0	117.4	S13143	
5	磨制石斧	石	面	210/D54 南 / VI c1-3	碧玉砂岩	83.6	44.1	26.9	150.16	黑墨灰	0	0	0	0	0	117.5	S2584	

第143図 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土石器・石製品（5）



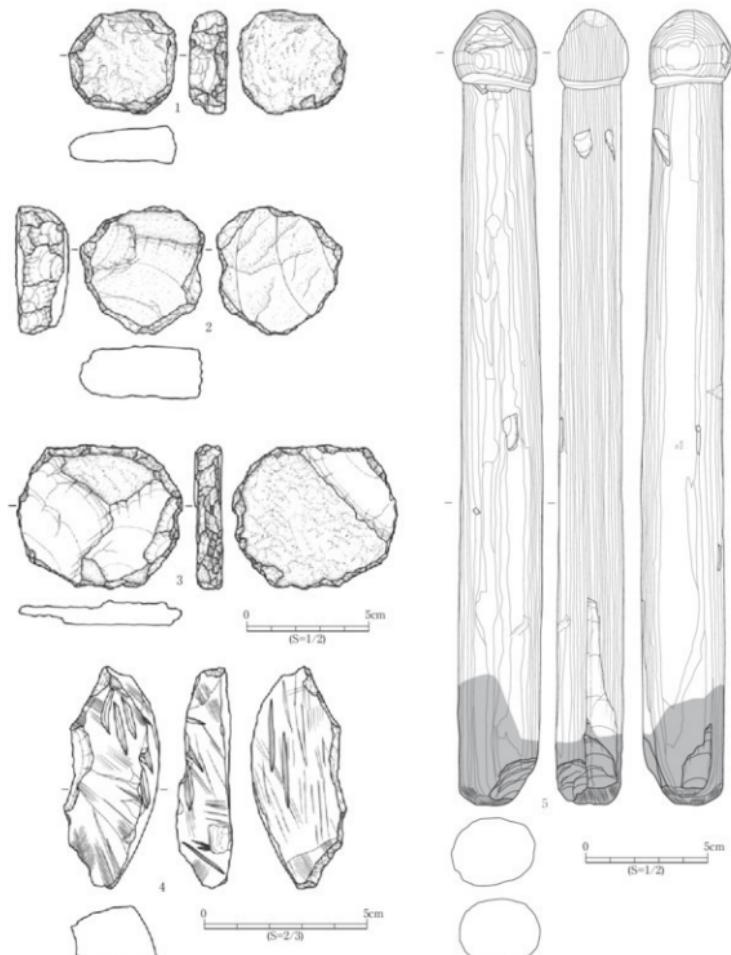
No.	器種	形態	大きさ	区・遺構	石材	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	残存	被熱	加熱処理	変形	自然面	人造物	参考	写真図版	位置
1	打撲石器	-	南2B	D48北 / V1 b	粘板岩	365	634	25.0	136.64	完形	0	0	0	1	0	117-6	S1813	
2	柳葉石器	II a	南2B	D54北 / V1 c	砂岩	346	35.6	16.2	15.31	完形	0	1	0	1	0	117-7	S1659	
3	柳葉石器	I a	南2B	D59 - V1 ave	珪質砂岩 B	212	25.6	7.5	5.50	完形	0	0	0	1	0	117-8	S6679	
4	不定形石器	I	南2B	D48南 / V1 b	珪質砂岩 A	369	25.2	12.1	6.33	完形	0	0	0	1	0	117-9	S12020	
5	不定形石器	II a	南2B	D59 - V1 a2	砂岩	378	25.6	13.4	11.31	完形	0	0	0	0	0	117-10	S5882	
6	不定形石器	II a	南2B	D34南 / V1 c2	碧玉質石	308	294	11.0	11.48	完形	0	0	0	0	0	117-11	S2066	
7	不定形石器	I	南2B	D54北 / V1 c2	珪質砂岩 A	326	364	14.1	22.10	完形	0	0	0	0	0	117-12	S1881	
8	不定形石器	II b	南2B	D55東 / V1 b	珪質砂岩 A	364	499	14.6	19.44	完形	0	0	0	0	0	117-13	S3123	
9	不定形石器	II c	南2B	D59 - V1 a2	珪質砂岩 A	242	321	11.9	6.46	完形	0	0	0	0	0	117-14	S5928	
10	不定形石器	II c	南2B	D48南 / V1 b	粘板岩	1051	372	7.4	34.59	完形	0	0	不明石製品→	1	0	118-1	S12139	
11	不定形石器	II b	南2B	D54南 / V1 c3	珪質砂岩 A	414	374	9.1	9.50	部欠	0	0	0	0	0	118-3	S2594	

第144図 C丘陵南斜面a包含層(西侧) 出土石器・石製品(6)



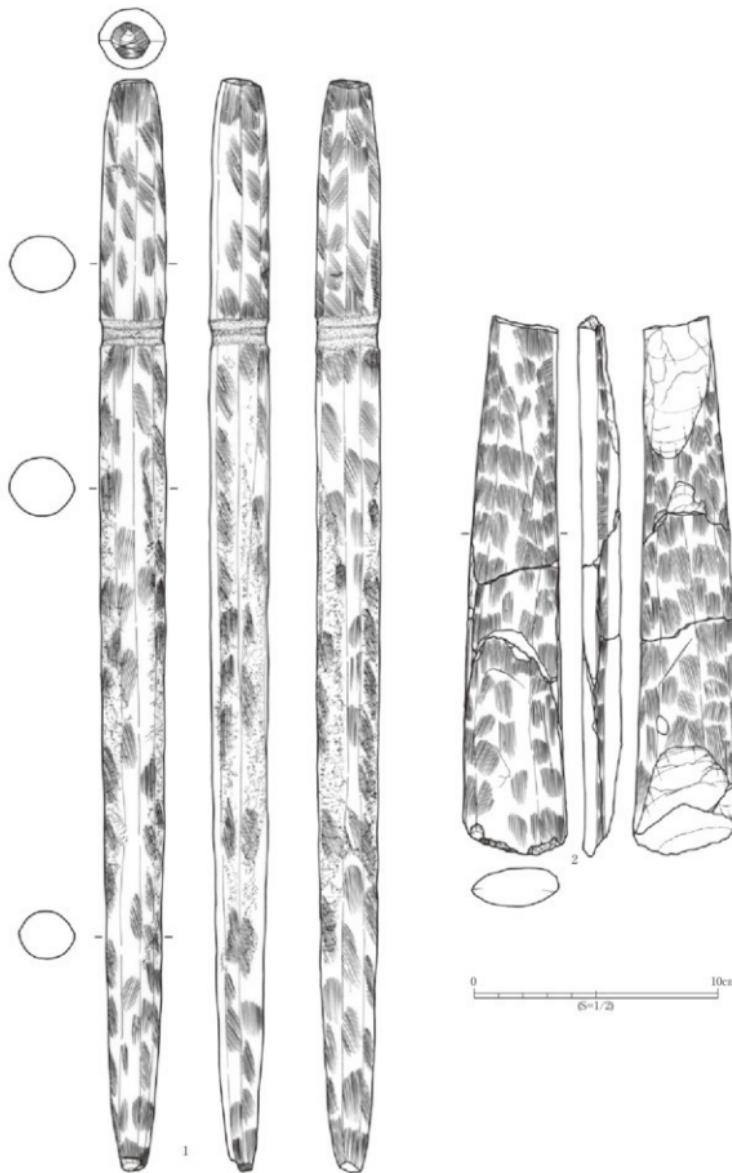
No.	器種	形態	大別別	区・遺構・層	石材	長(mm)	幅(mm)	最大厚(mm)	重量(g)	残存	破壊	加热処理	変形	自然面	付着物	備考	写真図版	登録
1	石器	-	曲2B	D-59 / VI-a1-2	粘板岩	199.0	97.6	27.0	885.00	部分欠	0	0	0	1	0	凹削あり	118-2	S3679
2	磨石	-	曲2B	D-59 / VI-a1-2	安山岩	96.4	65.1	58.0	519.94	完形	0	0	0	1	0			118-4 S5878
3	磨石	-	曲2B	D-59 / VI-a1-e	安山岩	45.0	40.7	30.1	82.41	完形	0	0	0	1	0			118-9 S5966
4	磨石	-	曲2B	D-54 北 / VI-c1-d2	麻灰岩	87.5	40.2	37.2	108.75	完形	0	0	0	1	0			118-5 S1867
5	磨石	-	曲2B	D-54 北 / VI-c2	流紋岩(直角岩)	87.1	67.4	48.1	402.56	完形	0	0	西削→	1	0			118-6 S1867
6	磨石	-	曲2B	D-29 / VI-b	麻灰岩	65.8	54.2	48.0	103.97	完形	0	0	0	1	0			118-7 S3142
7	磨石	-	曲2B	D-54 南 / VI-c1-d2	安山岩	88.6	62.8	25.7	167.55	完形	0	0	0	1	0			118-8 S2660
8	磨石	-	曲2B	D-59 / VI-a2	デイサイト	57.6	49.6	22.3	89.40	完形	0	0	0	1	0			118-10 S5818
9	石器	-	曲2B	D-29 / VI-b	麻灰岩	87.9	58.5	27.5	88.44	完形	0	0	0	1	0			118-11 S3145
10	磨石	-	曲2B	D-59 / VI-a2	安山岩	57.2	41.9	12.5	418.81	完形	0	0	0	1	0			118-12 S5900

第145図 C丘陵南斜面a包含層（西侧）出土石器・石製品（7）



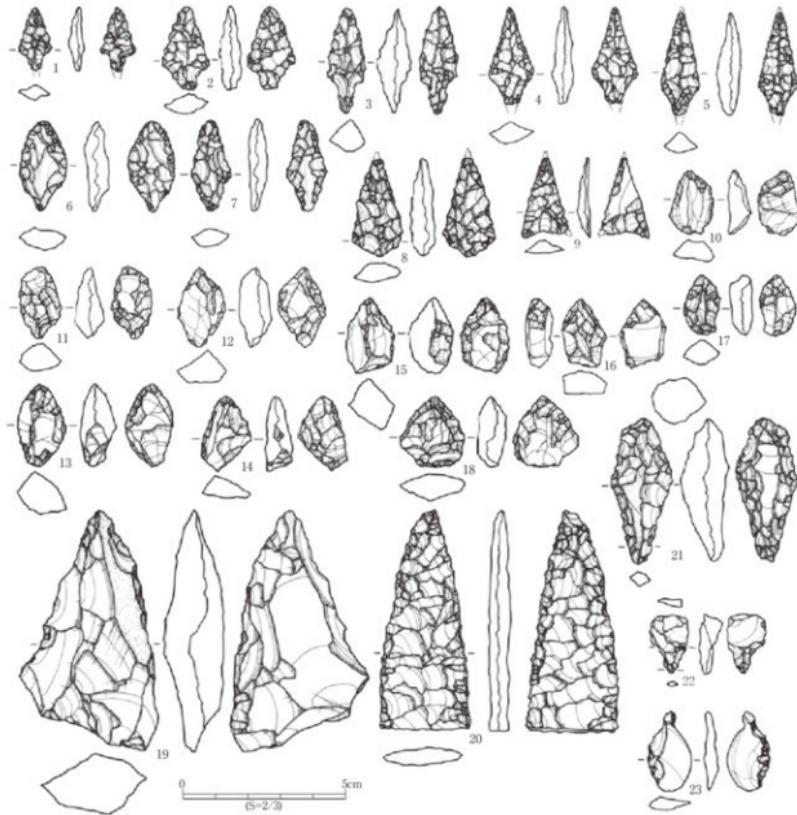
No.	器種	類型	入群別	区・遺構 / 構	石材	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	現存	破熱	加熱処理	変形	自然面	付着物	備考	写真図版	位置
1	円盤状石製品	I a	南 2B	D-59 / VI a	安山岩	41.5	43.6	15.4	41.07	完形	0	0	0	1	0	118-13	S5889	
2	円盤状石製品	I a	南 2B	D-78 長張 / VI a	安山岩質凝灰岩	51.7	50.8	21.4	76.92	完形	0	0	0	1	0	118-14	S13086	
3	円盤状石製品	II	南 2B	D-54 南 / VI c1-c2	凝灰岩	58.2	67.4	10.1	36.64	一部欠	0	0	0	1	0	118-15	S2666	
4	不明石製品	-	南 2B	D-54 北 / VI c1	安山岩	27.8	68.5	17.1	21.40	一部欠	0	0	0	0	0	118-16	S1672	
5	石棒	-	南 2B	D-59 / VI a2	珪化木	326.7	34.4	27.2	380.67	完形	0	0	0	0	0	119-2	S5829	

第146図 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土石器・石製品（8）



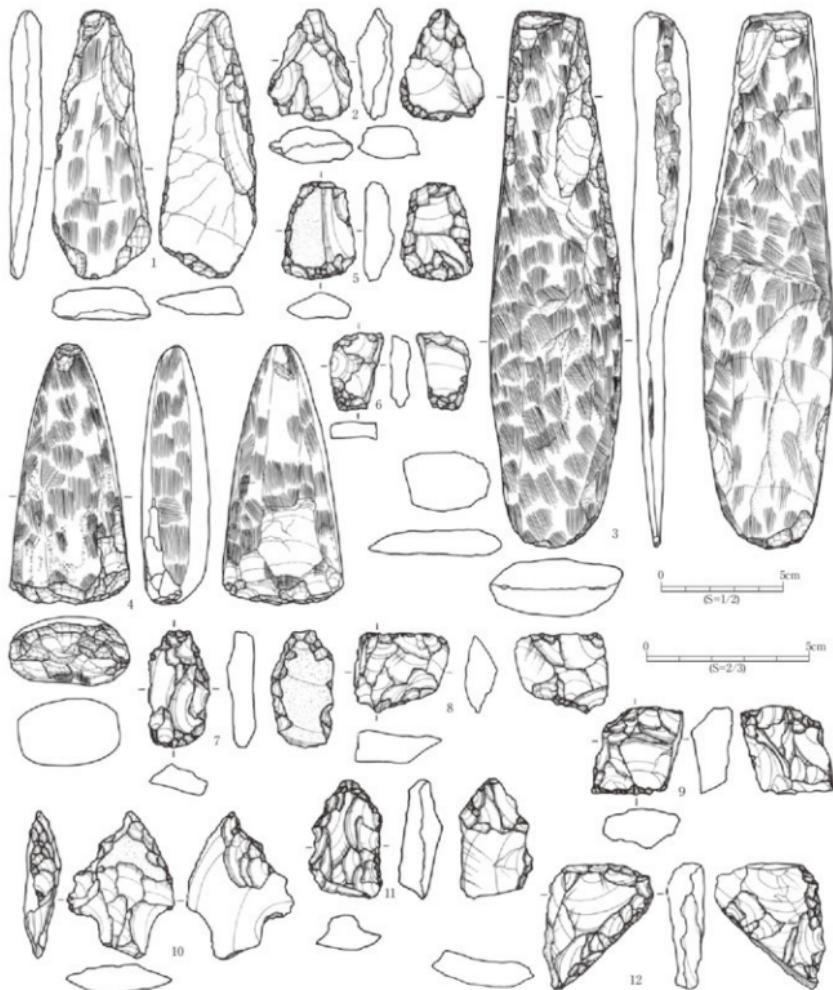
No.	器種	類型	大別期	区・遺構 / 標	石材	長(mm)	幅(mm)	最大厚(mm)	重量(g)	残存	被熱	加热處理	变形	自然面	付着物	参考	写真図版	登録
1	石棒		唐2B	D-54 北 / M-1	粘板岩	447.6	26.5	235	469.30	完形	0	0	0	0	0	119-1	S1620	
2	石刀		唐2B	D-55 東 / M-5	粘板岩	227.3	42.0	156	394.13	一部欠	0	0	0	0	0	119-3	S3127	

第147図 C丘陵南斜面α包含層（西側）出土石器・石製品（9）



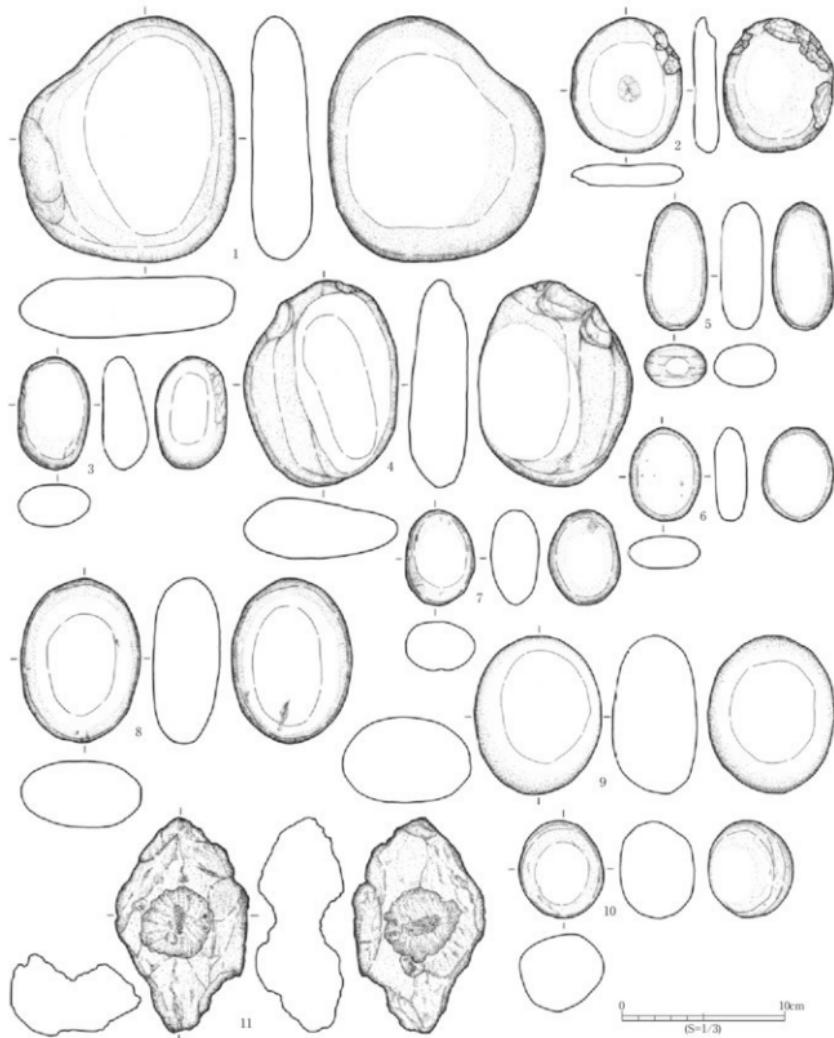
No.	形態	類型	大別種	区・遺構・層	石材	長(mm)	幅(mm)	最大厚(mm)	重量(g)	残存	被熱	加熱処理	変形	自然面	有孔物	参考	写真図版	資料
1	石頭	I a2b	曲2A	D-54 東 / VI b	玉髓	18.6	10.1	4.0	0.50	尖頭部欠	0	2	0	0	0	119-4	S1444	
2	石頭	I a2b	曲2A	D-68 東 / VI b	絆貫石岩 A	25.6	14.0	6.2	1.75	尖頭部欠	0	0	0	0	0	119-5	S13093	
3	石頭	I a2a	曲2A	D-51 東 / VI b	絆貫石岩 A	31.6	11.2	10.0	2.38	完形	0	0	0	0	0	119-6	S1443	
4	石頭	I a2c	曲2A	D-79 - VI	流紋岩	29.8	13.7	6.3	1.56	完形	0	0	0	0	0	119-7	S13120	
5	石頭	I b2b	曲2A	D-55 西 / VI a	碧玉 B	30.9	11.7	6.5	1.78	丸頭	0	2	0	0	B	119-8	S1326	
6	石頭	I b2a	曲2A	D-69 東 / VI a	絆貫石岩 A	27.4	14.4	6.4	2.43	完形	0	0	0	0	0	119-9	S13556	
7	石頭	I b2b	曲2A	D-68 東 / VI a	碧玉 B	27.7	12.0	5.2	1.44	完形	0	2	0	1	0	119-10	S13561	
8	石頭	I c1b	曲2A	D-53 東 / VI b2	碧玉 B	29.5	15.4	6.9	2.98	尖頭部欠	0	1	0	0	0	119-11	S13748	
9	石頭	杏 bB	曲2A	D-53 東 / VI b2	絆貫石岩 A	23.7	14.2	3.5	0.82	尖頭部欠	0	1	0	0	0	119-12	S13747	
10	石頭	V	曲2A	D-53 東 / VI b2	玉髓	12.3	10.0	16.2	1.51	完形	0	0	0	0	0	119-13	S13679	
11	石頭	V	曲2A	D-53 東 / VI b2	玉髓	21.7	12.6	8.8	2.05	完形	0	0	0	0	0	119-14	S13634	
12	石頭	V	曲2A	D-53 東 / VI b2	玉髓	24.1	14.5	9.5	2.89	完形	0	0	0	0	0	119-15	S13674	
13	石頭	V	曲2A	D-53 東 / VI b2	玉髓	24.8	13.7	10.1	3.74	完形	0	0	0	0	0	119-16	S13669	
14	石頭	V	曲2A	D-53 東 / VI b2	玉髓	22.0	13.1	7.2	2.41	完形	0	0	0	0	0	119-17	S13672	
15	石頭	V	曲2A	D-53 東 / VI b2	玉髓	22.8	14.1	10.6	3.97	完形	0	0	0	0	0	119-20	S13630	
16	石頭	V	曲2A	D-53 東 / VI b2	玉髓	10.5	13.8	7.4	2.52	完形	0	0	0	0	0	119-19	S13662	
17	石頭	V	曲2A	D-53 東 / VI b2	玉髓	18.3	10.7	6.8	1.52	完形	0	0	0	0	0	119-21	S13665	
18	石頭	杏 b2	曲2A	D-53 東 / VI b2	玉髓	21.7	20.0	8.3	3.65	基部欠	0	0	0	0	0	119-18	S13669	
19	完形器	B	曲2A	D-53 東 / VI b	絆貫石岩 A	75.1	42.9	18.5	39.19	完形	0	0	0	1	0	119-22	S10002	
20	完形器	B	曲2A	D-35 西 / VI a	絆貫石岩 A	67.8	27.5	5.4	10.99	基部欠	0	0	0	0	0	119-23	S13207	
21	石頭	I b	曲2A	D-54 東 / VI a	碧玉 B	43.1	18.6	12.8	9.52	圓頭部	0	1	0	1	0	120-1	S2273	
22	石頭	I a1	曲2A	D-68 東 / VI a	絆貫石岩 A	17.8	11.8	5.2	0.98	完形	0	0	1	0	0	120-2	S13614	
23	石頭	I a2	曲2A	D-55 東 / VI a	碧玉 B	24.3	13.4	3.4	0.88	完形	0	1	0	0	B	120-3	S13669	

第148図 C丘陵南斜面a包含層(西側) 出土石器・石製品(10)



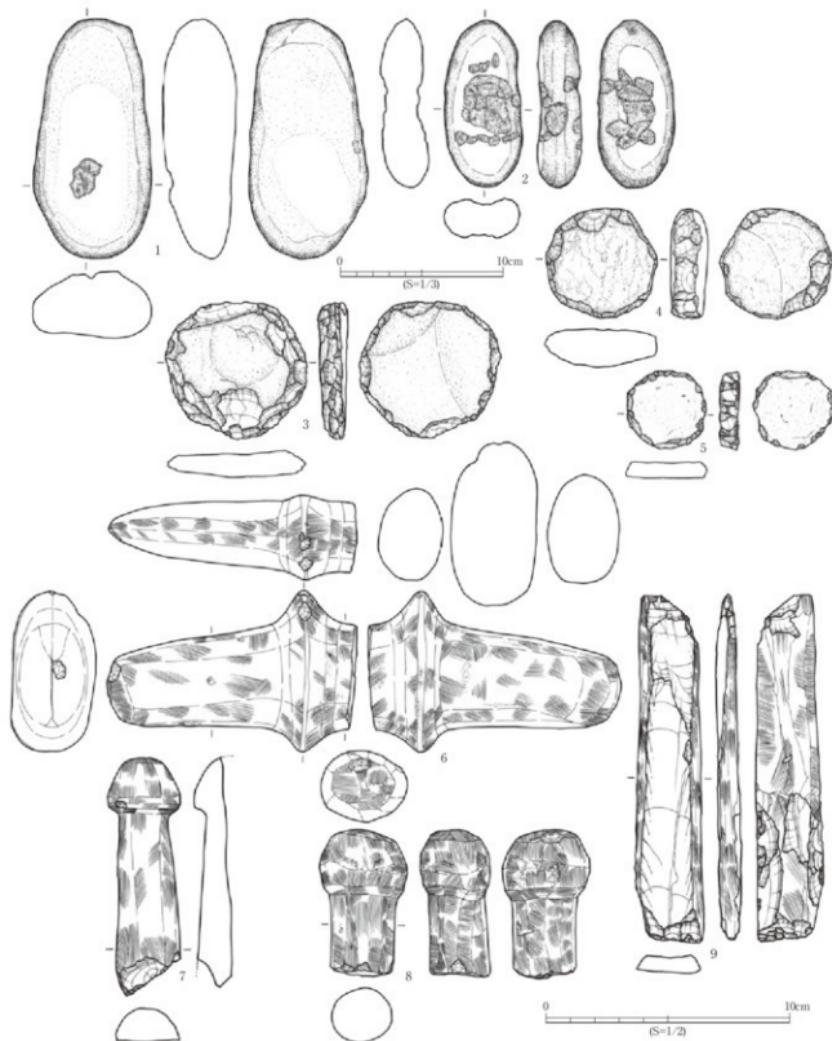
No.	器種	類型	大別種	区・遺構／層	石材	長(mm)	幅(mm)	最大厚(mm)	重量(g)	既存	搬入	加热効用	変形	自然面	付着物	備考	写真図版	章節
1	石器	II	曲2A	D.55西／M.a	粘板岩	82.0	30.0	8.7	21.42	完形	0	0	石刀→	1	0	全体半減	120-4	S13836
2	石器	I a2	曲2A	D.68北／M.a	粘質白石	34.2	26.1	10.1	7.44	完形	0	0	0	0	0		120-5	S11742
3	剥製石器	I b2	曲2A	D.55東／M.a	粘板岩	221.0	54.8	22.7	268.01	完形	0	0	0	1	0		120-6	S2962
4	剥製石器	I a1	曲2A	D.53南／M.bl	褐灰質砂岩	106.9	49.0	27.5	211.70	完形	0	0	刀部再	0	0		120-7	S0603
5	剥製石器	I a3	曲2A	D.55西／M.a	粘玉	29.6	21.9	9.2	6.88	完形	0	0	0	0	0		120-8	S3329
6	剥製石器	I b	曲2A	D.68北／M.a	砂玉 D	25.6	15.7	6.6	3.15	完形	0	1	0	0	0		120-9	S14651
7	剥製石器	I b	曲2A	D.55西／M.a	粘質白岩	35.4	19.0	8.6	6.34	完形	0	0	0	1	0		120-10	S3373
8	剥製石器	I a	曲2A	D.54南／M.a	粘質白岩	24.5	29.1	10.1	6.55	完形	0	0	0	0	0		120-11	S2461
9	剥製石器	I b	曲2A	D.55東／M.a	粘質白岩	27.5	25.6	12.8	8.64	完形	0	0	0	1	0		120-12	S3007
10	不定形石器	I	曲2A	D.55東／M.a	白石	44.8	32.9	10.2	12.11	完形	0	0	0	1	0		120-13	S2909
11	不定形石器	II a	曲2A	D.53南／M.bl2	粘質白岩	22.3	35.4	11.2	8.22	完形	0	0	0	0	0		120-14	S0627
12	不定形石器	III c	曲2A	D.54北／M.b	粘質白岩	36.8	35.4	8.5	11.95	完形	0	0	0	1	0		120-15	S1594

第149図 C丘陵南斜面a包含層（西侧）出土石器・石製品（11）



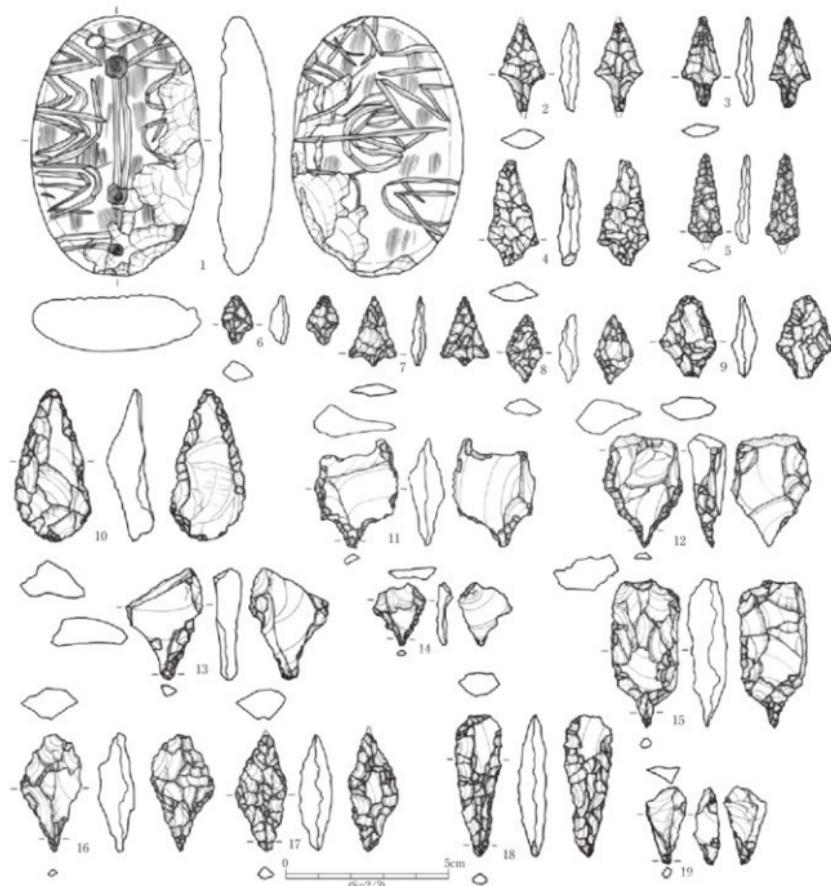
No.	器種	形態	大きさ	区・遺構／層	石材	長(mm)	幅(mm)	最大厚(mm)	重量(g)	残存	被熱	加热処理	変形	自然面	付着物	参考	写真図版	O編
1	磨石	-	曲2A-D-53南-VI b1	安山岩	130.5	133.3	38.3	1260.00	完形	0	0	0	0	1	0	120.16	S0607	
2	磨石	-	曲2A-D-54-VI b	安山岩質凝灰岩	83.0	68.0	13.7	115.47	部分欠	0	0	四面→	1	1	0	120.17	S2803	
3	磨石	-	曲2A-D-55東-VI a	安山岩	70.0	43.7	28.8	113.04	完形	0	0	0	0	1	0	120.18	S2968	
4	磨石	-	曲2A-D-53南-VI b1-2	安山岩	127.4	95.4	37.6	557.34	完形	0	0	0	0	1	0	120.19	S0625	
5	磨石	-	曲2A-D-53南-VI b1	安山岩質凝灰岩	77.8	38.5	26.2	74.40	完形	0	0	0	0	1	0	121.1	S0608	
6	磨石	-	曲2A-D-55東-VI a	安山岩	57.4	43.3	19.3	79.37	完形	0	0	0	0	1	0	121.2	S2966	
7	磨石	-	曲2A-D-55東-VI a	安山岩	59.0	43.8	30.5	70.44	完形	0	0	0	0	1	0	121.3	S2979	
8	磨石	-	曲2A-D-29-VI	安山岩	101.0	74.0	41.3	518.80	完形	0	0	0	0	1	0	121.4	S13124	
9	磨石	-	曲2A-D-55東-VI	安山岩	96.4	78.7	50.7	488.02	完形	0	0	0	0	1	0	121.5	S2901	
10	磨石	-	曲2A-D-55西-VI a	安山岩	59.2	52.1	46.0	186.31	完形	0	0	0	0	0	0	121.7	S3331	
11	磨石	-	曲2A-D-55東-VI a	石英岩	132.0	80.0	52.0	164.18	部分欠	0	0	0	0	1	0	121.6	S3091	

第150図 C丘陵南斜面a包含層（西侧） 出土石器・石製品（12）



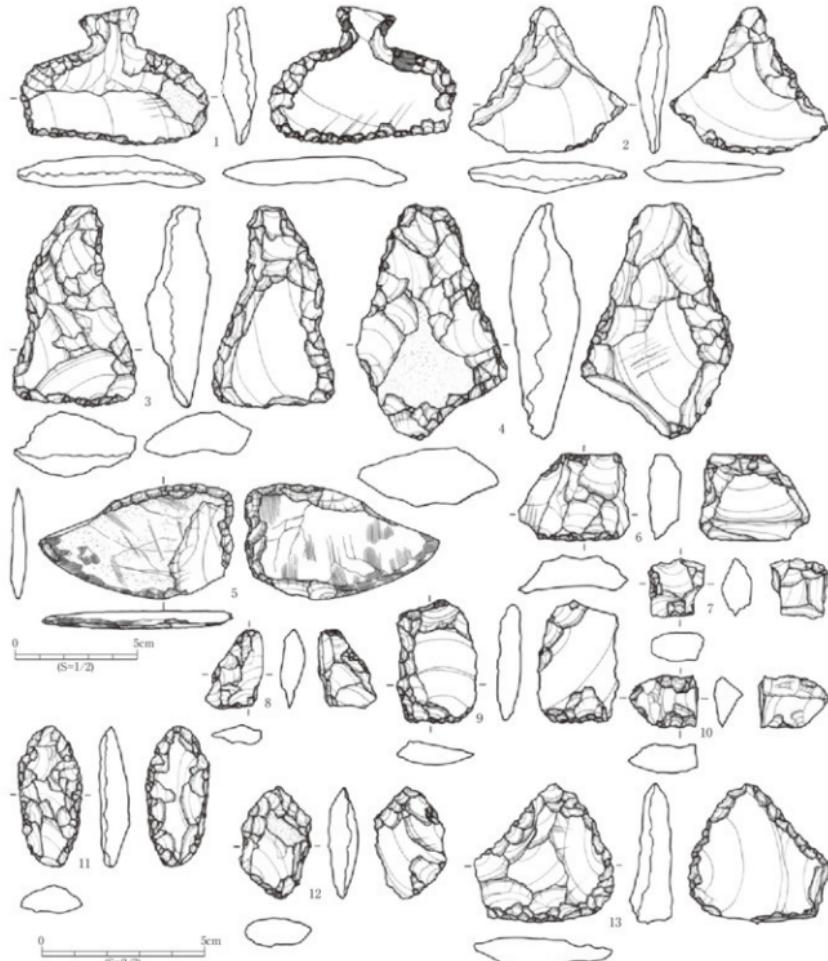
No.	形 様	類型	大約期	区・遺構	石材	長(mm)	幅(mm)	最大厚(mm)	重量(g)	残存	破壊	加熱處理	変形	自然面	打若面	備考	写真図版	目録
1	石核		南2A	D-55 扇張 / 月 a	安山岩	148.0	74.0	45.5	616.00	完形	0	0	磨石→	1	0		121-8	S3562
2	石核		南2A	D-55 / 月 a	輝绿岩	102.4	46.7	25.0	86.04	完形	0	0	磨石→	1	0		121-9	S3516
3	内側砍砸器	B	南2A	D-55 東 / 月 a	安山岩	56.5	53.5	10.6	43.37	完形	0	0	0	0	1	0	121-10	S2961
4	内側砍砸器	I-a	南2A	D-55 東 / 月 a	安山岩	44.0	44.5	15.1	43.36	完形	0	0	0	0	1	0	121-12	S2963
5	内側砍砸器	I-a	南2A	D-48 北 / 月 a	安山岩	30.8	32.7	7.2	12.95	完形	0	0	0	0	1	0	121-11	S11656
6	刮削器		南2A	D-55 西 / 月 a	安山岩	65.9	103.5	34.1	236.14	加工	0	0	0	0	0	0	121-13	S3350
7	石椎		南2A	D-54 北 / 月 a	玢板岩	97.9	30.7	13.4	436.61	破片	0	0	0	0	0	0	121-14	S1479
8	石椎		南2A	D-55 西 / 月 a	玢板岩	57.7	35.8	27.8	80.12	剥面	0	0	0	0	0	0	121-15	S3345
9	石刀		南2A	D-55 西 / 月 a	玢板岩	140.9	27.3	8.9	48.58	鉋狀	0	0	石棒→	0	0		121-16	S3348

第151図 C丘陵南斜面a包含層(西侧) 出土石器・石製品(13)



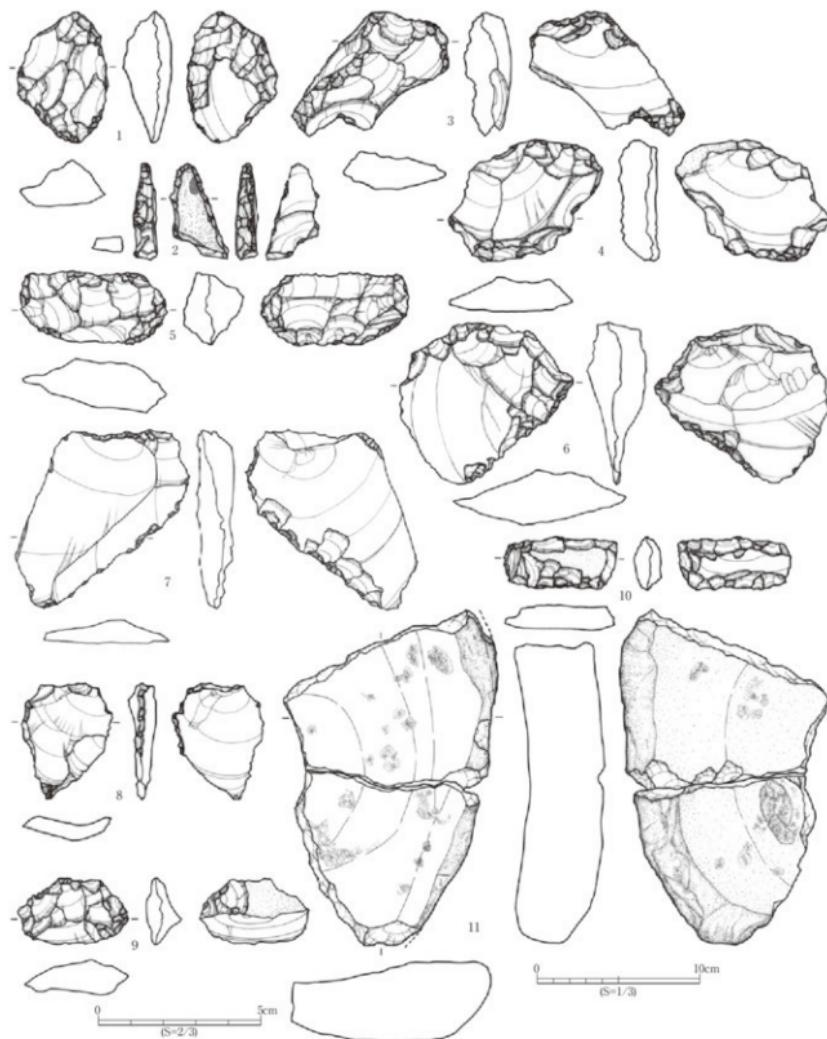
No.	器種	形態	大きさ	区・遺構 / 種	石材	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	残存	熱熱	加热処理	変形	自然面	付着物	備考	写真図版	位置
1	石核	-	曲2A	D54北 / V1b	輝石岩	79.4	52.4	167	560.1	一部欠	0	0	0	0	0	121-17	S1471	
2	石核	I-aSC	曲1	D53南 / V1a	輝石質岩 A	26.6	14.3	56	1.36	全面崩壊	0	0	0	0	0	122-1	S0632	
3	石核	I-a2B	曲1	D54北 / V1a	輝玉 B1	27.0	12.0	42	0.91	完形	0	0	0	0	B	122-2	S1388	
4	石核	I-a2B	曲1	D54北 / V1a	輝質質岩 A	31.8	15.4	55	1.97	全面崩壊、 欠失	0	0	0	0	B	122-3	S0007	
5	石核	I-aSC	曲1	D53南 / V1a	玉髓	9.9	29	0.58	0.58	欠失	0	2	0	0	0	122-4	S0530	
6	石核	I-a2B	曲1	D54北 / V1a	碧玉 A	149	9.4	54	0.43	完形	0	2	0	0	0	122-5	S1389	
7	石核	I-a2B	曲1	D54北 / V1a	輝質質岩 A	207	15.2	29	0.65	完形	0	2	0	0	0	122-6	S0938	
8	石核	I-a2B	曲1	D54北 / V1a	碧玉 B2	21.0	11.4	57	1.07	完形	0	1	0	0	0	122-7	S1387	
9	石核	I-a2B	曲1	D53南 / V1	輝質質岩 A	24.6	16.9	59	1.95	全面崩壊	0	1	0	0	0	122-8	S0006	
10	尖状器	杏	曲1	D54北 / V1a	輝質質岩 A	46.2	23.3	106	9.23	完形	0	0	0	0	0	122-9	S1393	
11	石器	E-a2	曲1	D53北 / V1a	輝灰岩	31.9	25.3	98	4.70	完形	0	0	0	0	0	122-10	S0055	
12	石器	E-a2	曲1	D53南 / V1a	輝質質岩 A	33.6	23.9	102	7.46	完形	0	0	0	0	0	122-11	S0634	
13	石器	E-a2	曲1	D54北 / V1a	輝質質岩 A	43.3	23.1	74	4.72	完形	0	0	0	0	0	122-12	S1274	
14	石器	E-a2	曲1	D54北 / V1a	玉髓	18.4	16.1	32	0.75	完形	0	0	0	0	0	122-13	S1090	
15	石器	E-a2	曲1	D53南 / V1a	輝質質岩 A	45.1	20.1	110	10.78	完形	0	0	0	1	0	122-14	S0635	
16	石器	E-a2	曲1	D53南 / V1a	碧玉 B1	35.4	18.4	108	4.83	完形	0	1	0	0	0	122-15	S0629	
17	石器	I-b	曲1	D53南 / V1a	輝質質岩 A	35.5	15.3	98	4.32	完形	0	0	0	0	0	122-16	S0428	
18	石器	I-b1	曲1	D54北 / V1a	輝質質岩 A	42.8	13.7	83	4.62	完形	0	0	0	0	0	122-17	S0637	
19	石器	I-b1	曲1	D54北 / V1a	玉髓	23.3	12.5	70	1.45	完形	0	0	0	0	0	122-18	S1367	

第152図 C丘陵南斜面a包含層(西側) 出土石器・石製品(14)



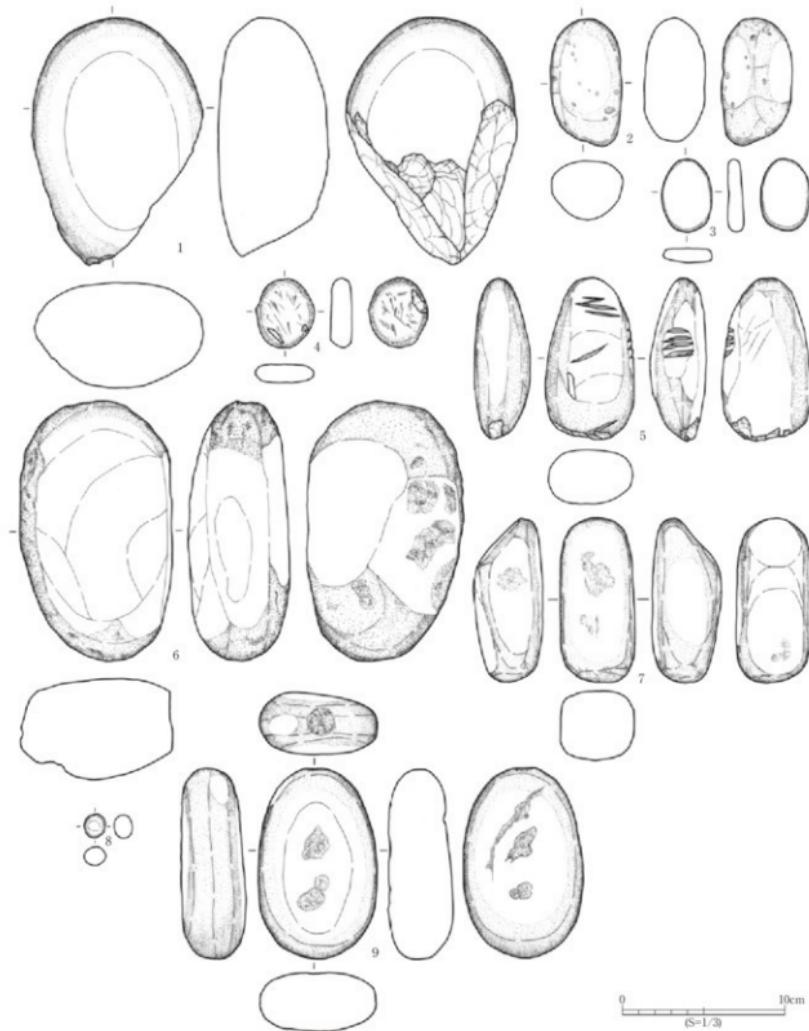
No.	器種	形態	大遺物	區・遺構・層	石材	長(mm)	幅(mm)	最大厚(mm)	重量(g)	完形	崩	加热退火	变形	自然崩	伴存物	備考	写真圖號	登錄
1	石砍	I b2	南I	D-54北	貝 A	精質白岩 A	61.9	57.3	8.5	18.39	完形	0	0	0	1	B	122.19	S0942
2	石砍	I	南I	D-53南	貝 A	精質白岩 A	44.8	49.3	9.1	12.15	完形	0	0	0	0	0	122.20	S0429
3	石砸	II	南I	D-54北	貝 A	精質白岩 A	61.2	38.0	19.3	20.92	完形	0	0	0	0	0	122.21	S0943
4	石砸	III	南I	D-54北	貝 A	贝 I A	71.8	46.9	21.4	58.17	完形	0	0	0	1	0	122.22	S1394
5	板狀石器	-	南I	D-54北	貝 A	板狀岩	28.8	47.2	5.0	20.44	破片	0	0	0	0	0	122.23	S1415
6	柳葉石器	I b	南I	D-54北	貝 A	精質白岩 A	26.5	34.2	10.9	11.35	完形	0	0	0	0	0	122.24	S1060
7	柳葉石器	I c	南I	D-53南	貝 A	精質白岩 A	38.1	36.8	7.5	2.75	完形	0	0	0	0	0	122.26	S0302
8	柳葉石器	I c	南I	D-53北	貝 A	精質白岩 A	23.7	17.6	6.4	2.35	完形	0	0	0	0	0	122.25	S0053
9	柳葉石器	I b	南I	D-54北	貝 A	贝 I A	37.7	24.8	8.0	8.66	完形	0	0	0	0	0	122.27	S1289
10	柳葉石器	I a	南I	D-53南	貝 A	贝 I	15.8	20.5	8.5	3.14	完形	0	0	0	0	0	122.28	S0415
11	不定形石器	I	南I	D-54北	貝 A	贝 I A	43.1	19.6	8.5	7.98	完形	0	1	0	0	0	123.1	S1395
12	不定形石器	I	南I	D-54北	貝 A	贝 I A	34.5	21.5	8.9	6.64	完形	0	0	0	1	0	123.2	S1396
13	不定形石器	I	南I	D-54北	貝 A	精質白岩 A	42.0	42.7	11.9	20.40	完形	0	0	0	0	0	123.3	S1298

第153圖 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土石器・石製品（15）



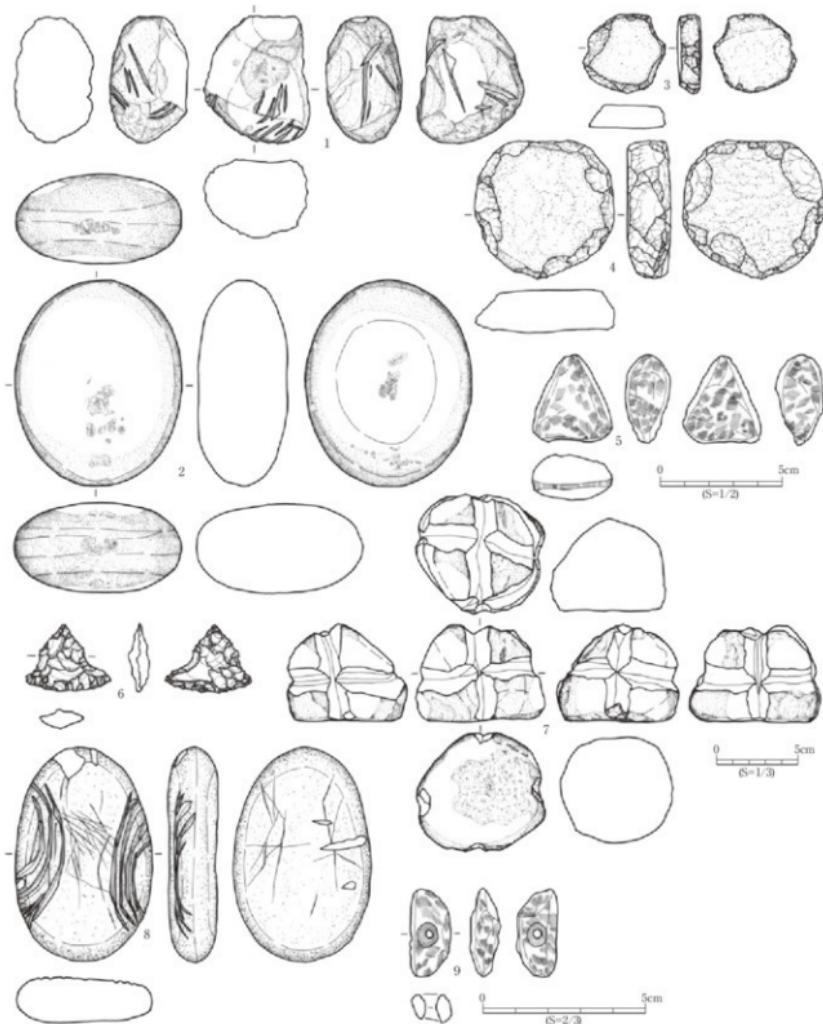
No.	器種	型別	大頭別	區・遺構 / 層	石材	長(mm)	幅(mm)	最大厚(mm)	重量(g)	残存	被熱	加热処理	变形	自然面	付着物	施考	写真図版	位置
1	不定形石器	Ⅰ	南1	D-53 南 / Ⅵa	貝貝白岩 A	28.2	30.6	14.0	1321	完形	0	1	0	0	0	1234	S0541	
2	不定形石器	Ⅰ	南1	D-53 南 / Ⅵa	貝貝白岩 A	30.2	15.7	6.8	340	完形	0	0	多	0	B	1235	S0485	
3	不定形石器	Ⅱa	南1	D-54 北 / Ⅵa	貝貝白岩 A	39.7	47.8	13.2	3619	部分	0	0	1	0		1236	S0889	
4	不定形石器	Ⅱa	南1	D-54 北 / Ⅵa	貝貝白岩 A	37.5	48.2	10.7	2054	完形	0	0	0	1	0	1237	S1307	
5	不定形石器	Ⅱa	南1	D-54 北 / Ⅵa	貝貝白岩 A	45.5	22.4	17.0	3645	完形	0	0	0	0	0	1238	S1054	
6	不定形石器	Ⅱa	南1	D-54 北 / Ⅵ	貝貝白岩 B	686	52.9	16.8	3111	完形	0	0	0	0	0	1239	S0850	
7	不定形石器	Ⅱa	南1	D-54 北 / Ⅵa	貝貝白岩 B	51.6	53.3	9.7	2294	完形	0	0	0	1	0	12310	S1400	
8	不定形石器	Ⅱc	南1	D-53 南 / Ⅵa	貝貝白岩 A	36.0	23.3	6.8	450	完形	0	0	0	0		12311	S0212	
9	不定形石器	Ⅱc	南1	D-54 北 / Ⅵa	貝貝白岩 A	19.9	33.8	10.4	374	完形	0	0	0	1	0	12312	S1288	
10	不定形石器	-	南1	D-53 南 / Ⅵa	粘板岩	34.5	16.1	7.7	545	部分	0	0	0	1	0	12313	S0539	
11	石器	-	南1	D-53 / Ⅵa	玄武岩質火成岩	205.0	122.1	49.2	503.34	砾石	0	0	0	1	0	12314	S0831	

第154図 C丘陵南斜面a包含層（西側） 出土石器・石製品（16）



No.	形種	類型	大別群	区・遺跡 / 現	石材	長(mm)	幅(mm)	最厚(mm)	重量(g)	残存	被熱	加热處理	变形	自然面	有磨物	備考	写真図版	登録
1	磨石	-	曲I	D-53 南 / Vla	安山岩	133.5	107.0	65.6	1389.00	部欠	1	0	0	1	0	123-15	S048	
2	磨石	-	曲I	D-53 南 / Vla	安山岩	77.8	43.8	36.7	126.47	完形	0	0	0	1	0	124-1	S0072	
3	磨石	-	曲I	D-53 南 / Vla	安山岩質凝灰岩	45.1	30.8	8.8	94.30	完形	0	0	0	1	0	124-2	S0029	
4	磨石	-	曲I	D-53 南 / Vla	凝灰岩	62.7	35.5	12.5	15.82	完形	0	0	0	1	0	124-3	S0549	
5	磨石	-	曲I	D-54 / Vla	凝灰岩	100.0	54.5	33.8	176.64	完形	0	0	0	1	0	124-4	S0799	
6	磨石	-	曲I	D-54 南 / Vla	安山岩	152.0	97.1	60.7	1287.00	完形	0	0	0	1	0	124-5	S2258	
7	磨石	-	曲I	D-54 北 / Vla	安山岩	100.9	46.1	42.2	332.40	完形	0	0	四面→	1	0	124-6	S1140	
8	磨石	-	曲I	D-54 北 / Vla	凝灰岩	13.3	13.1	11.1	1.56	完形	0	0	0	1	0	124-7	S1417	
9	凹石	-	曲I	D-54 北 / Vla	安山岩	118.5	75.2	39.6	593.00	完形	0	0	磨石→・縫石→	1	0	124-8	S0055	

第155図 C丘陵南斜面a包含層（西側）出土石器・石製品（17）



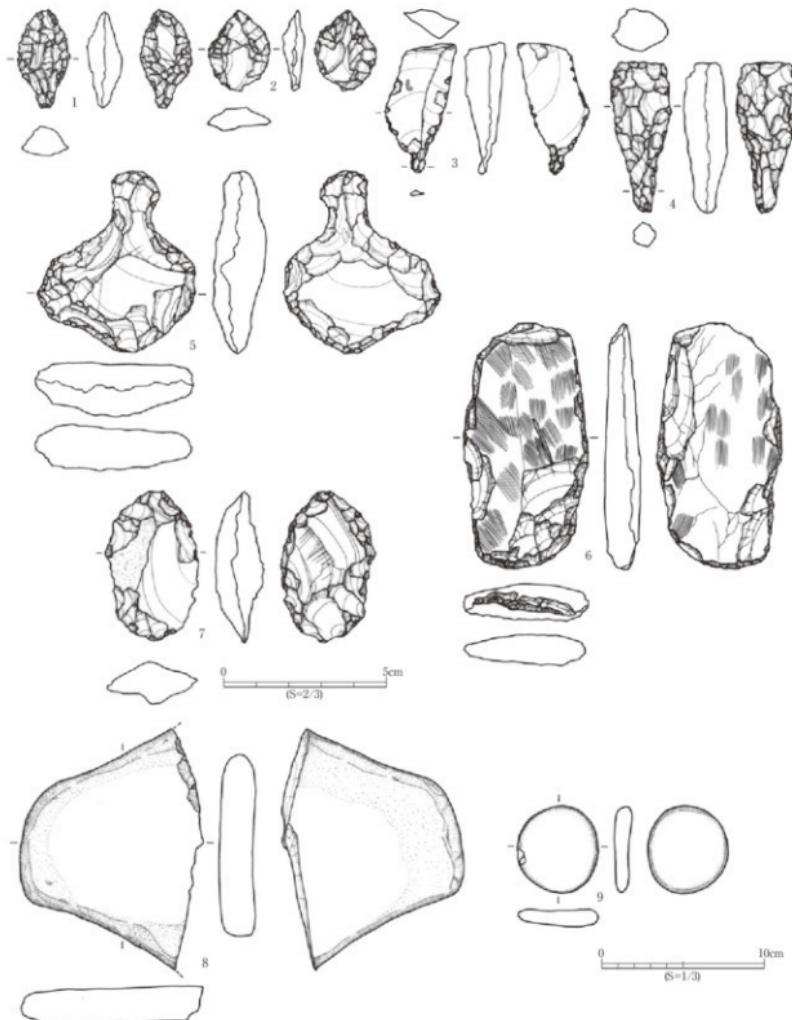
No.	器種	形態	大別別	区・遺構 / 種	石材	長(mm)	幅(mm)	最大厚(mm)	重量(g)	残存	装熱	加热焼肉	変形	自然面	有毛物	参考	写真図版	登録
1	砾石	-	南I	D-54北 / V1a	砾石	82.5	64.5	47.6	61.80	部分	0	0	0	1	0	124.9	S0949	
2	砾石	-	南I	D-54北 / V1a	安山岩	128.0	102.7	54.5	1091.00	完形	0	0	磨石→	1	0	124.10	S0956	
3	円盤状石製品	I a	南I	D-54北 / V1a	凝灰質砂岩	32.5	31.1	9.2	11.88	部分	0	0	0	0	0	124.12	S0947	
4	円盤状石製品	I a	南I	D-54南 / V1a	凝灰岩	55.9	56.4	16.8	72.74	完形	0	0	0	1	0	124.11	S2282	
5	不明石製品	-	南I	D-53南 / V1a-b2	石灰岩	36.8	31.7	18.0	26.63	完形	0	0	0	1	0	124.13	S0599	
6	圓形石器	-	南I	D-54北 / V1a	斜玉珪	20.4	26.6	5.8	20.01	完形	0	1	0	0	0	124.14	S0940	
7	石鏟	-	南I	D-53南 / V1a	珊瑚	58.9	79.9	71.6	363.00	完形	0	0	0	1	0	124.15	S0556	
8	云版	-	南I	D-53南 / V1a	凝灰岩	65.0	42.0	15.1	31.89	完形	0	0	0	1	0	124.16	S0555	
9	有孔石製品	-	南I	D-54北 / V1a	凝灰岩	26.9	12.5	8.3	2.91	完形	0	0	0	0	0	124.17	S1367	

第156図 C丘陵南斜面a包含層(西侧) 出土石器・石製品(18)



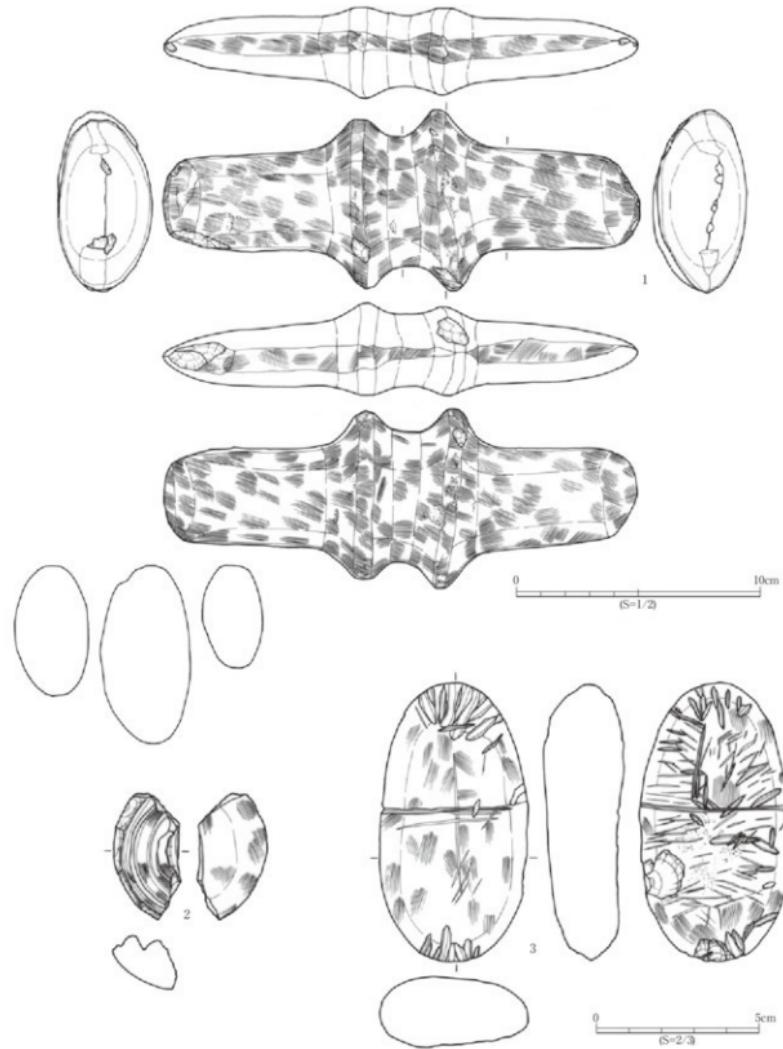
No.	器種	類型	大別名	区・遺構 / 聲	石材	長(mm)	幅(mm)	最大厚(mm)	重量(g)	残存	被熱	加热處理	形態	自然面	付着物	備考	写真図版	Q編
1	磨石	-	南5	D-57西 / 異E	燧石岩	132.3	85.5	60.0	674.00	完形	0	0	凹凸→	1	0	125-1	S4798	
2	有孔石製品	-	南5	D-57西 / 異E	燧石岩	33.4	52.7	9.2	8.33	破片	0	0	0	1	0	125-2	S4710	
3	石鏟	■大	南4B	D-57西 / 異E	燧質白岩 A	194.4	121.1	20	0.50	基部欠	0	2	0	0	0	125-3	S4686	
4	尖頭器	B	南4B	D-57西 / 異E	燧質白岩 A	304.4	24.5	13.7	10.43	完形	0	0	0	1	0	125-4	S4643	
5	尖頭器	1.3hA	南4B	D-57西 / 異E	燧質白岩 A	45.7	25.3	10.4	9.08	完形	0	0	0	0	0	125-5	S4513	
6	柳葉石器	1 g	南4B	D-57西 / 異E	燧質白岩 A	80.5	17.0	15.1	10.78	完形	0	0	0	0	0	125-6	S4601	
7	柳葉石器	1 a	南4B	D-57西 / 異E	燧質白岩 B	25.5	26.7	7.4	5.35	完形	0	0	0	1	0	125-7	S4600	
8	不定形石器	■中	南4B	D-57西 / 異E	燧質白岩 A	300	26.0	6.3	5.59	完形	0	0	0	0	0	125-8	S4586	
9	石頭	-	南4B	D-57西 / 異E	燧質白岩	305	54.6	23.5	61.25	完形	0	0	0	1	0	125-9	S4709	
10	磨石	-	南4B	D-57西 / 異E	燧質白岩	33.4	45.3	31.2	65.44	完形	0	0	0	1	0	125-10	S4553	
11	圓頭器	-	南4B	D-57西 / 異E	燧質白岩	36.4	43.2	21.7	58.43	完形	0	0	0	0	0	125-11	S4676	
12	石鏟	杏 bA	南4A	D-57西 / 異E	燧質白岩	27.0	18.7	8.8	5.82	完形	0	1	0	0	0	125-12	S4544	

第157図 C丘陵南斜面a包含層(東側) 出土石器・石製品(1)



No.	器種	形態	大頭別	区・造形・刷	石材	長(mm)	幅(mm)	最大厚(mm)	重量(g)	残存	被熱	加热処理	変形	自然面	付着物	備考	写真図版	登録
1	石器	1 b2A	曲3	D37東／M4d	前玉 A	300	15.7	107	387	尖頭端欠	0	0	0	0	0	125-13	S4123	
2	石器	V	曲3	D37東／M4c	桂賀頁岩 A	238	18.8	61	196	完形	0	1	0	1	0	125-14	S4035	
3	石器	B c1	曲3	D37西／M4e	桂賀頁岩 A	405	21.0	137	637	完形	0	0	0	1	B	125-15	S4723	
4	石器	B b2	曲3	D37西／M4c	桂賀頁岩 B	456	18.5	130	10.13	端部欠	0	1	0	0	0	125-16	S4332	
5	石器	B a2	曲3	D36東／M4c	桂賀頁岩 A	55.7	47.5	160	35.39	完形	0	0	0	0	B	125-17	S3742	
6	石器	1 b	曲3	D37東／M4e	船板岩	749	38.2	102	37.04	完形	0	0	0	0	0	125-18	S4078	
7	不定形石器	1	曲3	D37東／M4c	桂賀頁岩 A	290	46.0	147	14.73	完形	0	0	0	1	0	125-19	S4336	
8	石器	-	曲3	D37東／M4c	安山岩質凝灰岩	112.0	148.0	232	495.02	破片	0	0	0	1	0	125-20	S4337	
9	磨石	-	曲3	D37東／M4d	湖底岩	524	49.2	106	18.59	完形	0	0	0	1	0	125-21	S4515	

第158図 C丘陵南斜面a包含層(東側)出土石器・石製品(2)



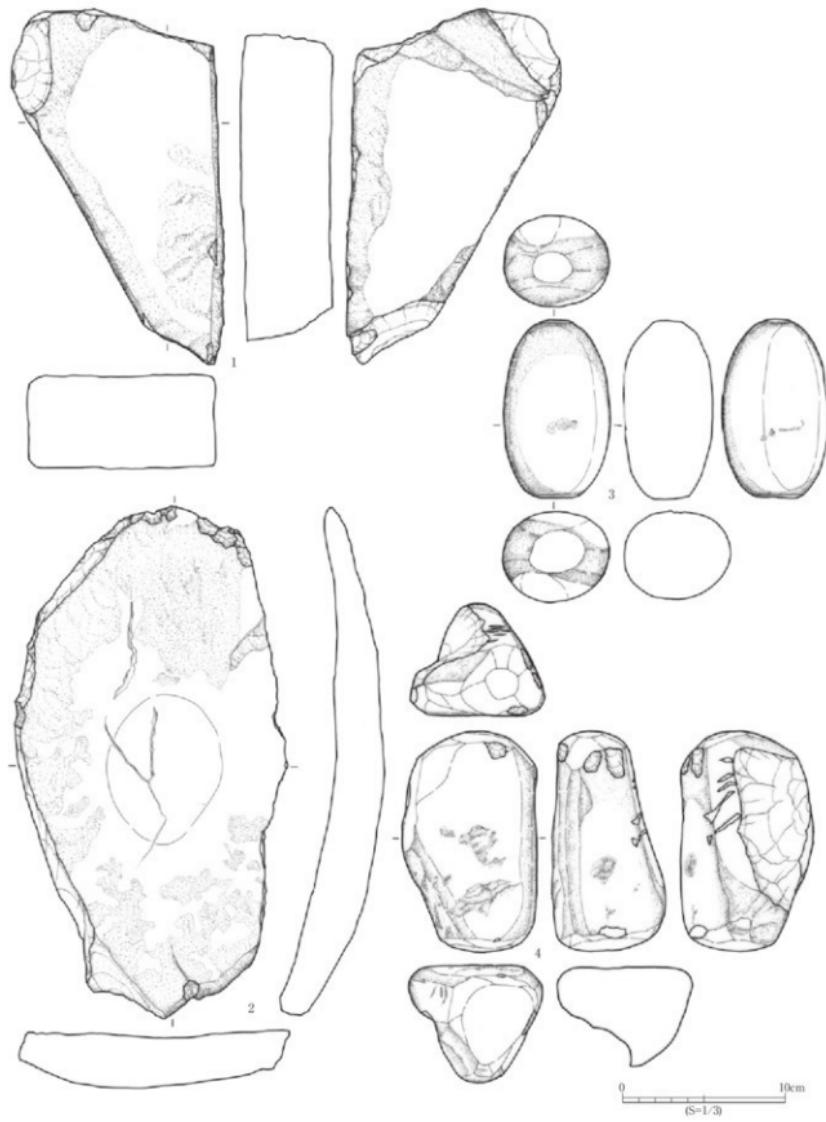
No.	器種	類型	大別類	区・遺構 / 号	石材	長(mm)	幅(mm)	最大厚(mm)	重量(g)	残存	破壊	加热処理	変形	自然面	付着物	参考	写真図版	登録
1	他石	-	南3	D36西 / 遺2	安山岩	73.2	199.0	37.4	29934	完形	0	0	0	0	0	126-1	S2003	
2	子毛ガ子形石製品	-	南3	D37東 / 遺2-1	砾状岩	22.8	38.9	12.9	7.18	破片	0	0	0	0	0	125-22	S13306	
3	刮削	-	南3	D37東 / 遺2-1	砾状岩	84.7	45.5	25.1	60.30	完形	0	0	0	0	0	125-23	S6496	

第159図 C丘陵南斜面α包含層（東側） 出土石器・石製品（3）



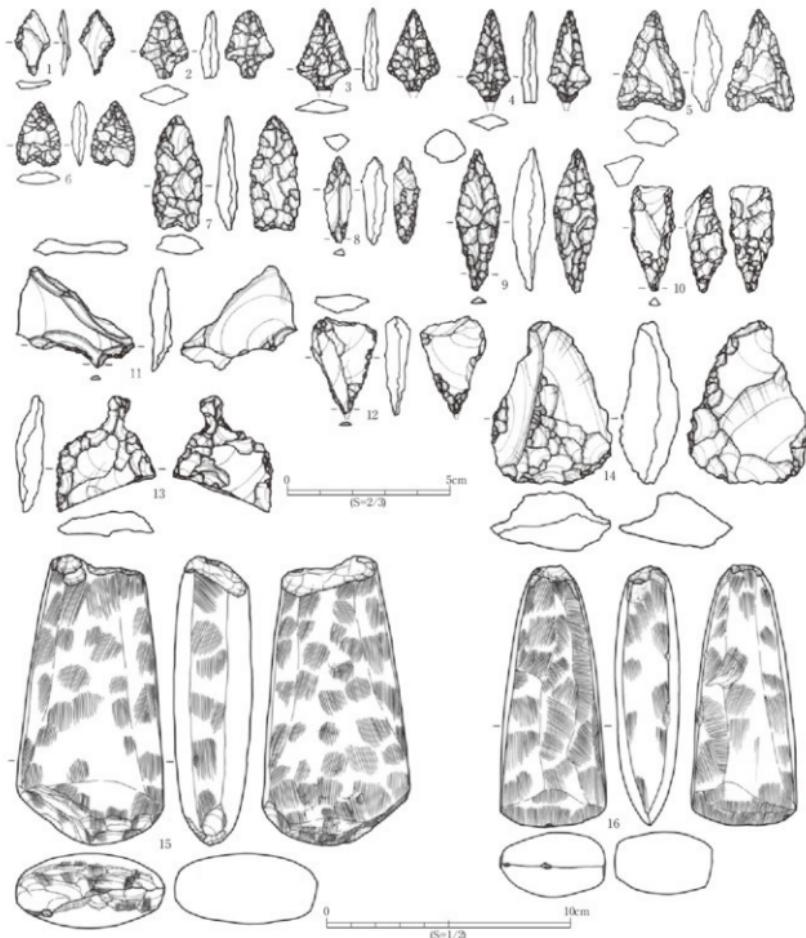
No.	形態	類型	大別別	区・道種 / 別	石材	長(mm)	幅(mm)	最大厚(mm)	重さ(g)	残存	被熱	加熱処理	変形	自然面	付着物	著者	写真版	登録
1	石器	I a2B	南2A	D-25 / Vb	碧玉 B1	204	9.7	4.3	0.66	完形	0	0	0	0	0	126-2	S12968	
2	石器	I a2B	南2A	D-74 扇葉 / Vb	碧玉 A	229	12.0	3.8	0.82	完形	0	2	0	0	0	126-3	S12658	
3	石器	I a1A	南2A	D-74 扇葉 / Vb	碧玉 B1	22.3	12.1	2.7	0.55	基部欠	0	2	0	0	0	126-4	S12659	
4	石器	I a2B	南2A	D-74 / Vb	碧玉 B1	26.7	9.8	3.7	0.90	基欠	0	2	0	0	0	126-5	S12544	
5	石器	I a2B	南2A	D-25 / Vb	碧玉 B1	34.7	21.6	4.6	2.81	尖端部欠	0	1	0	0	0	126-6	S12969	
6	石器	I b1B	南2A	D-74 / Vb	碧玉 C	24.2	18.6	10.0	2.97	尖端部欠	0	2	0	0	0	126-8	S12545	
7	尖頭器	II A	南2A	D-74 扇葉 / Vb	碧玉 B1	34.3	22.5	8.9	6.12	完形	0	0	0	0	0	126-7	S12715	
8	石器	II b2	南2A	D-74 扇葉 / Vb	碧玉 B1	24.8	17.9	3.9	1.34	完形	0	0	0	1	0	126-9	S12763	
9	石器	II a	南2A	D-74 / Vb	碧玉 B1	47.4	51.5	11.3	18.13	完形	0	0	0	0	0	126-10	S12546	
10	側翼石器	III	南2A	D-74 / Vb	碧玉 B1	262	20.9	7.1	7.15	基部欠	0	0	0	0	0	126-11	S12547	
11	側翼石器	II aa	南2A	D-75 / Vb	碧玉 B1	297	35.5	7.5	9.51	完形	0	0	0	1	0	126-12	S12985	
12	側翼石器	II c	南2A	D-75 / Vb	碧玉 C	296	21.9	11.1	6.22	完形	0	0	0	0	0	126-13	S12981	
13	不定形石器	III c	南2A	D-74 扇葉 / Vb	碧玉 B1	352	37.0	13.7	19.25	完形	0	0	0	1	0	126-14	S12783	
14	石碑	-	南2A	D-74 扇葉 / Vb	玉武岩	735	32.8	35.2	157.22	完形	0	0	0	1	0	126-15	S12832	

第160図 C丘陵南斜面a包含層(東側) 出土石器・石製品(4)



第161図 C丘陵南斜面α包含層(東側) 出土石器・石製品(5)

No.	器種	類型	大きさ	区・遺構／層	石材	長(mm)	幅(mm)	最大厚(mm)	重量(g)	残存	破壊	加热処理	変形	自然面	付着物	備考	写真図版	位置
1	石器	-	直2.75×V1b	宝山岩	2200	1265	55.0	1987.00	一部欠	0	0	0	1	0		126-16	S13007	
2	石器	-	直2.56×V1b	宝山岩	3149	1660	30.0	2420.00	破片	0	0	0	1	0		126-18	S3706	
3	磨石	-	直2.56×V1b	宝山岩	1116	667	56.4	645.00	完形	0	0	0	1	0		126-17	S3709	
4	磨石	-	直2.74×V1b	宝山岩	1348	825	70.1	966.00	一部欠	0	0	凹凸→	1	0		127-1	S12838	



No.	器種	形態	大きさ	区・遺構	性	石材	長(mm)	幅(mm)	最大厚(mm)	重量(g)	残存	被熱	加热處理	変形	自然面	付着物	備考	写真図版	登録
1	石核	I-shA	曲I	D-74 / VI	見	珪質頁岩A	19.8	10.3	2.0	0.42	完形	0	1	0	0	0	127-2	S1288	
2	石核	I-shB	曲II	D-74 / VI	見	同上B	20.3	14.7	5.6	1.24	完形	0	2	表面内部	0	B	127-3	S1249	
3	石核	I-shC	曲III	D-74 / VI	見	同上B	24.5	15.7	4.0	1.12	完形	0	1	0	0	0	127-4	S1245	
4	石核	I-shC'	曲III	D-56東 / VI-a	見	珪質頁岩A	28.0	13.2	4.1	0.81	未欠	0	1	0	0	0	127-5	S3881	
5	石核	IV-hB	曲III	D-57東 / VI-a	見	珪質頁岩A	31.3	20.6	8.3	4.32	完形	0	0	0	0	0	127-6	S3947	
6	石核	V-hA	曲III	D-74 / VI	見	珪質頁岩A	19.7	12.9	3.7	0.92	完形	1	2	0	0	0	127-7	S12248	
7	石核	V-hA	曲III	D-57 / VI-a	見	珪質頁岩A	35.2	15.2	6.3	2.84	完形	0	0	0	0	0	127-8	S4865	
8	石器	I-h	曲III	D-74 / VI	見	珪質頁岩A	26.2	7.9	7.0	1.21	完形	0	0	0	0	0	127-10	S12359	
9	石器	I-h	曲III	D-74 / VI	見	珪質頁岩A	43.6	13.2	10.2	4.39	完形	0	0	0	0	0	127-11	S12247	
10	石器	II-h2	曲III	D-74 / VI	見	珪質頁岩A	31.7	12.8	10.7	4.10	完形	0	2	0	0	0	127-12	S12517	
11	石器	II-c2	曲III	D-57西 / VI	見	珪質頁岩A	22.4	37.2	5.4	3.80	完形	0	0	0	0	0	127-9	S4272	
12	石器	II-c2	曲III	D-54 / VI	見	同上	29.4	19.5	7.3	3.58	完形	0	0	0	0	0	127-13	S12360	
13	石器	-	曲III	D-57西 / VI	見	珪質頁岩A	28.0	31.7	8.2	6.20	完形	0	1	刀刃部	0	0	127-14	S12355	
14	石器	I-a2	曲III	D-56東 / VI	見	珪質頁岩A	30.2	37.3	16.0	23.77	完形	0	0	0	1	0	127-15	S3554	
15	磨製石斧	I	曲III	D-80 / VI	見	安山岩	118.7	60.4	31.3	371.16	黑部欠	0	0	0	0	0	127-16	S12189	
16	磨製石斧	I-a1	曲III	D-57東 / VI	見	安山岩	106.5	43.0	26.6	196.59	完形	0	0	0	0	0	127-17	S3935	

第162図 C丘陵南斜面層包含層(東側) 出土石器・石製品(6)



No.	器種	形態	大きさ	石材	長(mm)	幅(mm)	最大厚(mm)	重量(g)	残存	加热處理	変形	自然面	付着物	備考	写真図版	
1	細石器	1a	面I	柱状石質A	120	91	29	0.33	完形	0	0	0	0	0	S12473	
2	不定形石器	葉e	面I	柱状石質A	425	236	63	6.89	完形	0	0	0	0	0	S12719 S12948	
3	石器	-	面I	D-37 岩 / 葉a	782	600	306	203.61	破片	0	0	0	1	0	S12730 S13194	
4	石器	-	面I	D-74 / 葉a	安山岩	456	407	24.2	70.62	完形	0	0	0	1	0	S12731 S12669
5	石器	-	面I	D-37 西 / 葉a	解石	517	448	32.4	26.45	完形	0	0	0	1	0	S12732 S13030
6	石器	-	面I	D-37 西 / 葉a	湖灰質安山岩	645	515	18.2	90.36	完形	0	0	0	1	0	S12733 S12277
7	石器	-	面I	D-37 西 / 葉a	解石	391	368	33.9	83.54	完形	0	0	0	1	0	S12734 S13030
8	円石	-	面I	D-74 / 月n-b	安山岩	943	535	261	135.63	完形	0	0	0	1	0	S12735 S13012
9	石器	-	面I	D-37 西 / 葉	流紋岩 / 真珠岩	942	625	262	225.15	部欠	0	0	0	0	0	S12736 S12429
10	円盤状石製品	1a	面I	D-74 / 葉n-b	安山岩	472	518	15.4	52.39	完形	0	0	0	1	0	S12737 S12536
11	円盤状石製品	1a	面I	D-37 西 / 葉	解石	359	415	12.3	25.84	完形	0	0	0	1	0	S12738 S12446
12	不明石製品	-	面I	D-37 西 / 葉	湖灰質シルト岩	290	129	15.2	7.65	破片	0	0	0	0	0	S12739 S12065

第163図 C丘陵南斜面a包含層(東側) 出土石器・石製品(7)

製品1点（同図2）、岩版1点（同図3）、不明石製品1点がある。石材は珪質頁岩（A・B類）や凝灰岩、安山岩、玉髓、碧玉（A・B1・B2・C類）などが多く見られる。

南2A層群からは311点出土し、石鎚11点（第160図1～6）、尖頭器1点（同図7）、石錐1点（同図8）、石匙1点（同図9）、石箆2点、磨製石斧4点（同図10）、楔形石器14点（同図11・12）、不定形石器15点（同図13）、石皿9点（第161図1・2）、磨石23点（同図3・4）、凹石1点、砥石1点、剥片199点、石核22点、石錐1点（第160図14）、石棒2点、石刀4点がある。石材は珪質頁岩（A・B類）や凝灰岩、珪質凝灰岩（A・B類）、安山岩、粘板岩、玉髓、碧玉（A・B1・B2・C・D類）などが多く見られる。

南1層群からは514点出土し、石鎚14点（第162図1～7）、石錐6点（同図8～12）、石匙1点（同図13）、石箆2点（同図14）、磨製石斧4点（同図15・16）、楔形石器13点（第163図1）、不定形石器39点（同図2）、石皿15点（同図3）、磨石40点（同図4～7）、凹石2点（同図8）、砥石1点（同図9）、剥片325点、石核39点、円盤状石製品4点（同図10・11）、石棒3点、石刀4点、不明石製品2点（同図12）がある。石材は珪質頁岩（A・B類）や凝灰岩、珪質凝灰岩（A・B類）、安山岩、粘板岩、玉髓、碧玉（A・B1・B2・C・D類）などが多く見られる。

（5）骨角牙製品

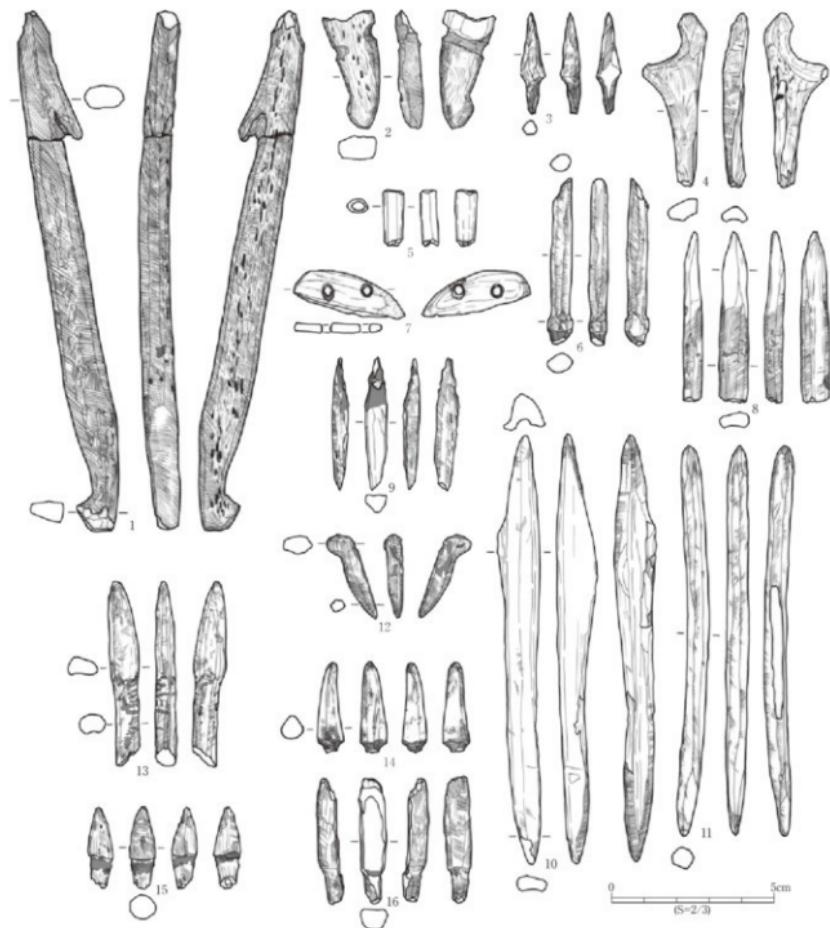
骨角牙製品はすべての大別層群から出土している。土器や石器・石製品に比べて少なく、南斜面の東西で遺物の出土状況や内容等に大きな差異は認められないため、東西に分けずに記述する。

南5層群からは、ヤス（第164図1・2）や鍼（同図3）、刺突具（同図4）、管玉（同図5）が出土している。ヤスは2点とも鹿角を素材とし、組み合わせ式である。鍼は哺乳綱骨製で、わずかにアスファルト状の黒色物質が残る。刺突具はいずれも鹿角を素材としている。

南4B層群からは、鉛頭（第164図6）や刺突具（同図8・10・11）、垂飾（同図7）が出土している。鉛頭は哺乳綱骨製で、基部にアスファルト状の黒色物質が残る。刺突具は鹿角を素材とするものとシカ骨を素材とするものがある。垂飾は2点とも哺乳綱骨製で、7は孔にアスファルト状の黒色物質が残る。

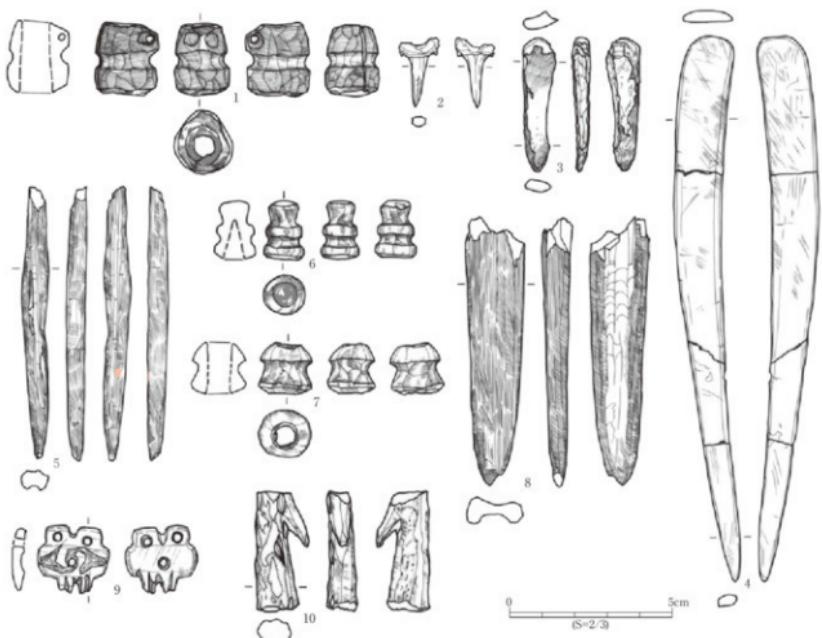
南4A層群からは、根挾（第164図9）が出土している。鹿角を素材とし、縦に破損しているが、根挾み部にアスファルト状の黒色物質が付着し、珪質頁岩（A類）製石器（石鎚か）の破片が残されている。

南3層群からは、ヤス（第164図12）やヤスまたは鉤先（同図13）、鍼（同図14）、根挾（同図15・16）、刺突具、弭（第165図1）、垂飾（同図2）、加工痕ある骨片（同図3）などが出土している。ヤスは鹿角を素材とし、「狹み込み式」（金子・牛沢 1979）のカエシとみられる。ヤスまたは鉤先は鹿角を素材とし、基部にアスファルト状の黒色物質が縦状に残る。鍼や根挾はいずれも鹿角を素材としている。第164図15は縦に大きく破損した後に再加工を施し、尖頭状に成形している。弭はいずれも鹿角を素材としている。垂飾はアオザメ類の歯を素材としているが、加工はほとんど見られない。



No.	器種	大別群	区・遺物 / 別	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	残存	素材 (部位)	特徴	写真図版	登録
1	やす (組み合せ式)	南5	D-57西 / 見1a	180.4	14.7	8.5	12.5	はば完形	シカ (角)	大頭部に衝撃剥離。上部に通孔。基部に黒色付着物	128-1	I0033
2	やす (組み合せ式)	南5	D-57西 / 見1b	36.2	15.7	7.3	2.8	基部	シカ (角)		128-2	I0035
3	諷	南5	D-57西 / 見1c	30.9	6.9	5.5	0.7	はば完形	鰐乳歯 (長骨管)	自然面一部生存。基部に黒色付着物わずか	128-3	I0032
4	諷突具	南5	D-57西 / 見1d	33.4	18.2	6.8	3.2	先端部欠	シカ (角)		128-4	I0134
5	碧玉	南5	D-57西 / 見1e	17.4	6.8	5.1	0.4	はば完形	鰐歯 or 鳄乳歯 (長骨管)		128-5	I0036
6	諷頭	南4b	D-57西 / 見1f	51.0	7.5	5.3	2.3	先端部欠	鰐乳歯 (長骨管)	基部に黒色付着物	128-6	I0040
7	垂直かく	南4b	D-57西 / 見1g	15.8	34.3	21	0.9	一部欠	鰐乳歯 (不明)	鈎状孔2。孔に黒色付着物	128-7	I0063
8	諷突具	南4b	D-57西 / 見1h	32.3	8.8	4.2	2.5	先端部	シカ角 (不明)	(組み合せ)。黒色跡。(?)	127-8	I0039
9	諷頭	南4A	D-57西 / 見1i	40.8	6.8	4.5	0.7	先端部欠	シカ (肉部)	組み合せ部に黒色付着物 + 桂賀貝岩質石器 (石諷か) の痕跡	128-9	I0051
10	諷突具	南4b	D-57西 / 見1j	131.8	11.4	4.3	10	先端部	シカ (中骨管)	内面に尖頭部。表面によく凹凸形。尖頭部のみ研磨	128-10	I0044
11	諷突具	南4b	D-57西 / 見1k	120.0	6.4	6.1	6.1	先端	シカ (角)	内面に尖頭部。研磨によく凹凸形	128-11	I0045
12	やす (組み合せ式)	南3	D-54北 / VI d1-2	26.7	7.9	4.3	0.7	完形	シカ (角)	込み込み式ヤケの逆剥離。黒色付着物	128-12	I0004
13	やすor飼頭	南3	D-57東 / 見1e	56.8	9.4	55	2.1	先端部	シカ (角)	黒色付着物。鍼状の固定具の痕跡	128-13	I0025
14	諷	南3	D-57西 / 見e	27.4	7.8	8.1	0.9	基部欠	シカ (角)	表面によく白色化	128-14	I0060
15	諷頭	南3	D-57西 / 見f	25.2	8.3	7.7	0.8	先端部	シカ (角)	組み合せ部の破壊面に研磨による凹凸。基部に黒色付着物	128-15	I0061
16	諷頭	南3	D-59 VI e-e	38.5	8.1	5.7	1.3	複数個	シカ (角)	組み合せ部が平削に加工。器体に衝撃剥離痕。基部に黒色付着物	128-16	I0068

第164図 C丘陵南斜面a包含層 出土骨角牙製品 (1)



No.	器種	大別群	区・遺構・層	長さ (mm)	幅 (mm)	最大厚さ (mm)	重量 (g)	残部	素材 (部材)	特徴	写真図版	位置
1	骨	南3	D-57 西 / VI c	21.3	16.9	19.1	4.1	完形	シカ (角)	側面に貫通孔のある突起。内面に黒色付着物	128-17	B002
2	垂直	南3	D-54 北 / VI d-2	21.7	11.9	4.8	0.4	完形	オオゼミ蟹 (角)	加工痕はほとんどみられない。エナメル質の歯冠表面に7条の細かいギザマーあり	128-18	B005
3	加工痕ある骨片	南3	D-57 東 / VI c-2	41.1	9.9	3.9	1.2	ほぼ完形	鹿乳柄 (不明)		128-19	B028
4	刺突具	南2B	D-54 北 / VI c-1	168.0	15.4	32	8.6	完形	鹿乳柄 (不明)		128-20	B009
5	刺突具	南2B	D-54 北 / VI c-1	84.8	8.3	4.5	3.7	基部欠	シカ (中足骨)	漆 (赤跡) 状の模倣材付着	128-21	B008
6	骨	南2B	D-54 北 / VI c-2	17.7	12.5	11.5	1.3	完形	シカ (角)	内面に黒色付着物	128-22	B006
7	骨	南2B	D-54 北 / VI c-2	151.1	15.7	14.2	1.8	先端部欠	シカ (角)	貫通孔。内面に黒色付着物	128-23	B012
8	匙	南2A	D-74 正張 / VI b	82.8	18.2	8.8	8.8	先端部	シカ (中足骨)		128-24	B120
9	垂直or骨	南2A	D-74 / VI b	20.7	22.0	3.6	1.9	14(F形)	イノシシ (牙)	玉抱き三叉文。貫通孔3	128-25	B123
10	鉛頭	南1	D-74 / VI a-b	33.3	13.4	7.5	2.7	両端欠	シカ (角)	被熱による白色化	128-26	B127

第165図 C丘陵南斜面a包含層 出土骨角牙製品 (2)

南2B層群からは、鍼や刺突具(第165図4・5)、匙、彌(同図6・7)、垂直などが出土している。刺突具は2点とも骨製で、5には塗装材とみられる漆状の赤色顔料が残されている。彌はいずれも鹿角製である。

南2A層群からは、ヤスや刺突具、匙(第165図8)、垂直または簪(同図9)などが出土している。垂直または簪は猪牙製で、器体中央に穿たれた貫通孔を利用して「玉抱き三叉文」が施されている。

南1層群からは、鉛頭(第165図10)や彌などが出土している。鉛頭は鹿角を素材としており、被熱による白色化が見られる。

(6) 木製品

木製品は、遺物包含層の南3層群（D-54区南VId層）と南1層群（D-57区東VIIa層）からそれぞれ、籠胎漆器が1点ずつ出土したのみである。いずれも小破片であったため図化しなかった。なお、南3層群出土のものについては写真図版10-6に出土状況を掲載している。

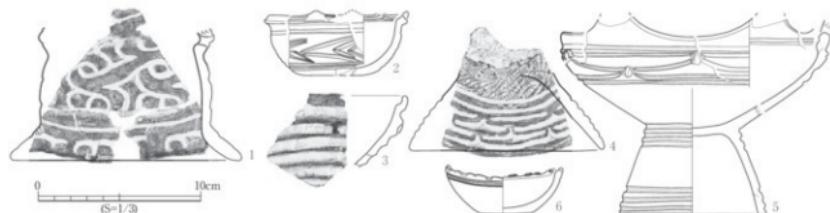
C. V層～I層はかから出土した縄文時代の遺物

C丘陵南斜面a包含層が検出された調査区で、V層～I層はかで出土した土器を第166図、土製品を第167図、石器・石製品を第168・169図に示した。

土器は、透かし彫りを伴う羊齒状文の施された台部（第166図1）やπ字文の施された台部（同図4）、変形工字文の施された台付浅鉢（同図5）などが出土している。

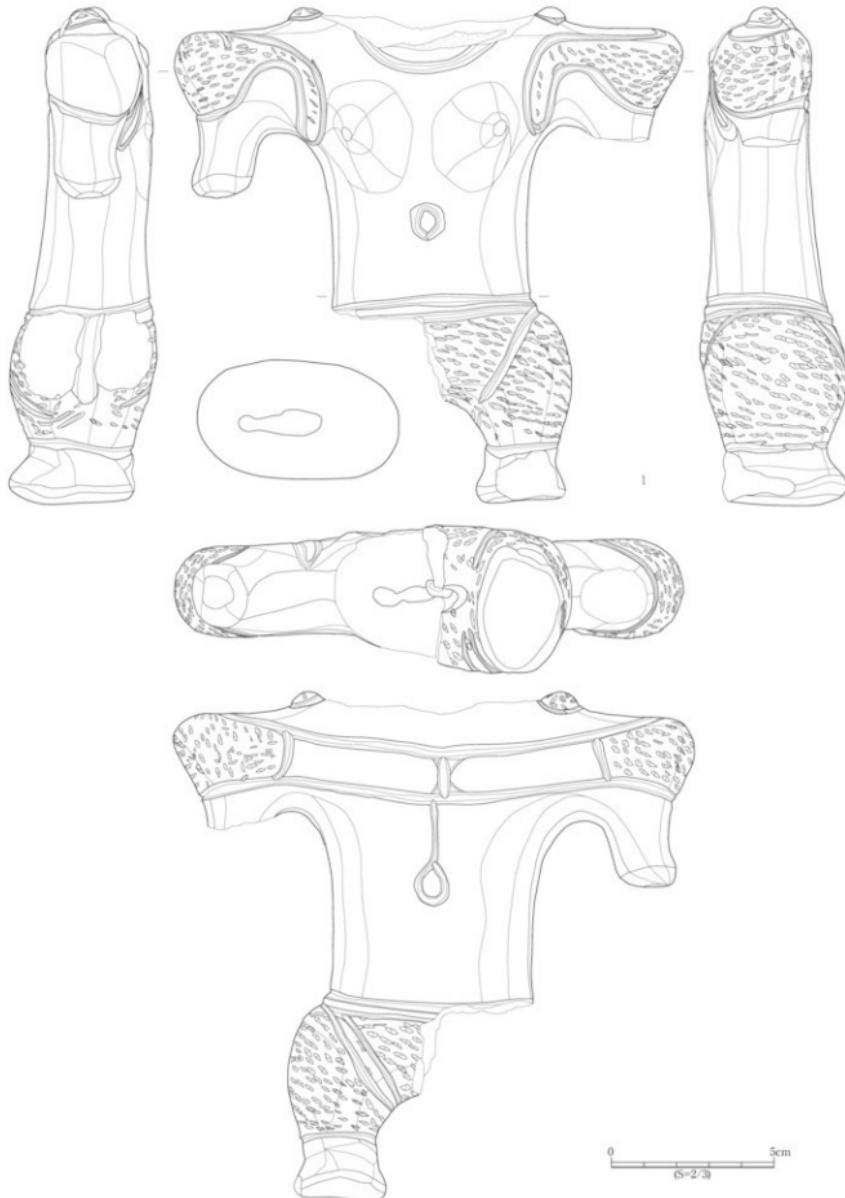
土製品は、大型の中空土偶（第167図1）などが出土している。肩部と脚が横に張り出す形状で、両肩や下半身に多数の刺突が施される。頭部と右脚が欠損している。

石器・石製品は、粘板岩製の環状石斧（第168図5）や粘板岩製の独鈔石（第169図2）、異形石器（同図3）、岩版（同図4）などが出土している。環状石斧は、貫通孔を剥離後に回転穿孔、平坦面を研磨、周縁を剥離により成形している。独鈔石は良質の粘板岩を素材としており、敲打後に研磨により成形が見られる。異形石器は碧玉B1類似で、石鏃と大きさや加工が類似する。線刻繩は凝灰岩製で、穿孔や沈線による擬人化の表現が見られる。



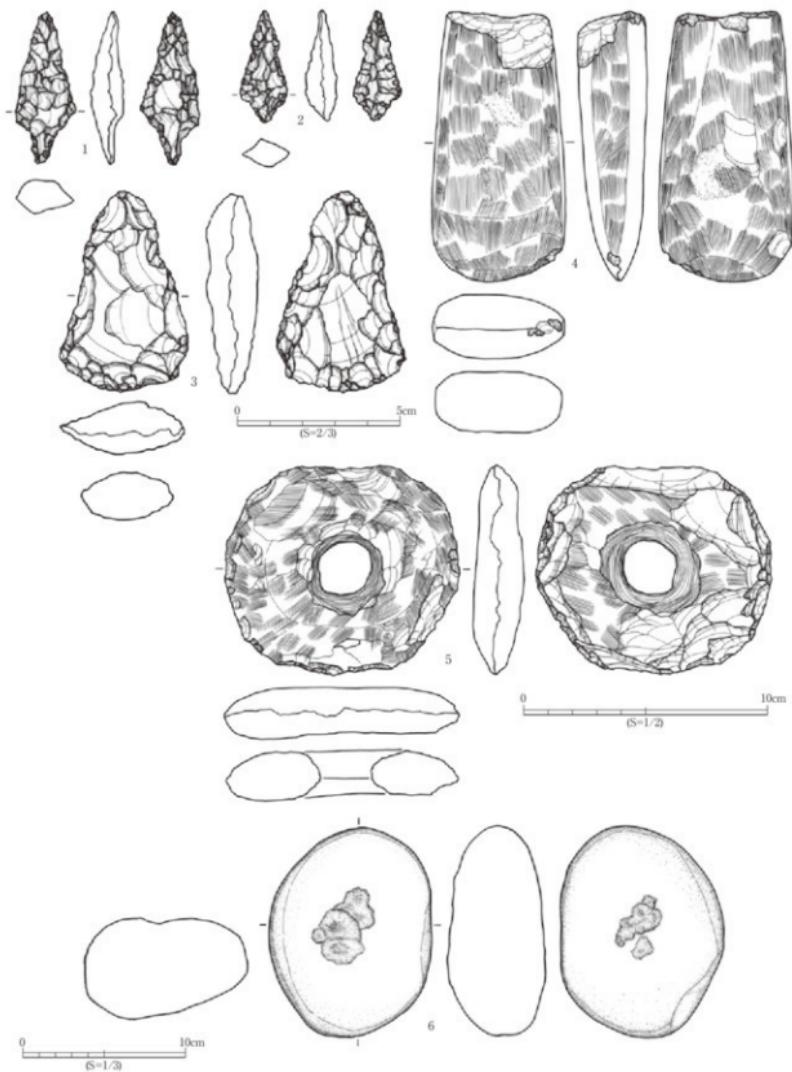
No.	器種	型別1	型別2	区・造様 / 繩	特徴	写真図版	登録
1	台部	-	B	D-55 西 / 極亂	台部径(14.3cm)、透かし彫りを伴う羊齒状文、沈線文、平曲状文	129-1	Po764
2	浅鉢	B1cf	-	D-54 北 / 極亂	口径(8.5cm)、器高3.9cm、底径4.3cm、平縁+口縁部沈線+口沿部沈線+山形突起、沈線文、矢前根模沈線文、平行沈線文	129-2	Po633
3	浅鉢	A1c	W	D-68 - I	平縁+口縁部沈線、矢前根模文、平行沈線文、内外面本物	129-3	Po280
4	台部	-	B1a	D-68 - V	口径(11.9cm)、器高3.7cm、底径4.6cm、π字文3段、圓文1	129-4	Po284
5	台付浅鉢	A3e	X.1	D-54 北 / I	口径(16.0cm)、器高12.1cm、底径6.6cm、台部径9.1cm、沈線縁+山形突起5単位か、変形工字文+刺突2段	129-5	Po657
6	袖付土器浅鉢	A1ff	X.II x	D-59 - I	口径(7.0cm)、器高3.0cm、底径(3.2cm)、平縁+二個一对の小突起+連続沈線文(平曲状)、平行沈線文、底部チダ、圓文1段	129-6	Po1396

第166図 C丘陵突端部南斜面V層、I層はか 出土土器



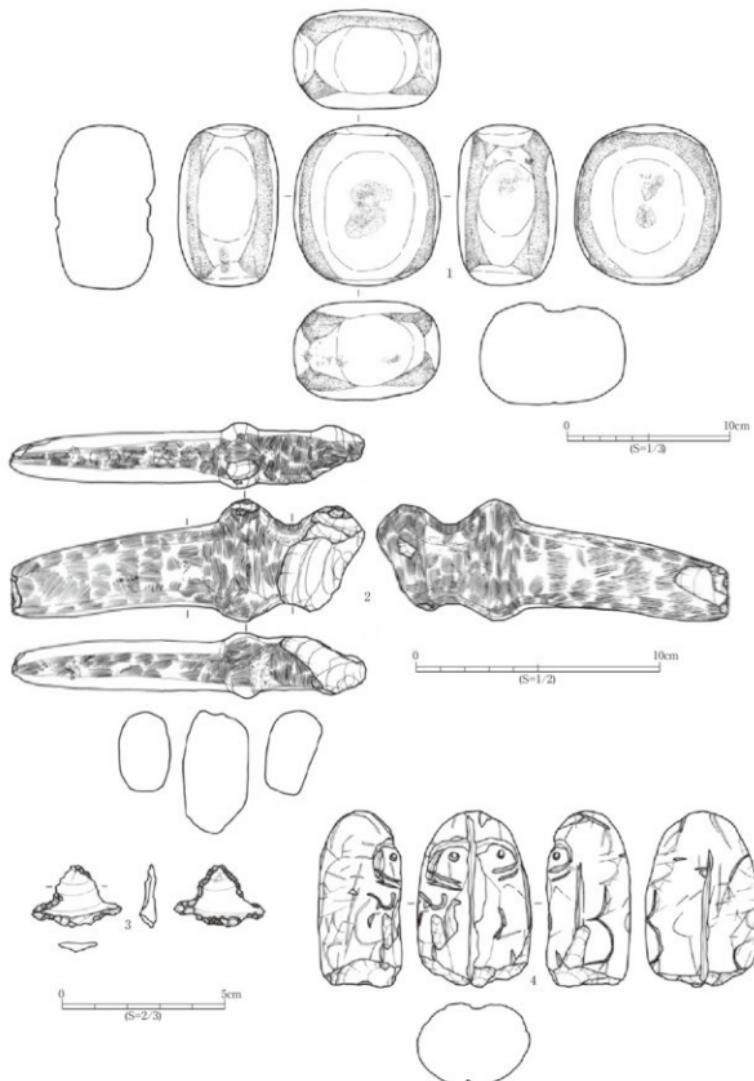
No.	器種	区・遺構 / 解	特徴	写真図版	出目
1	上臈 (頭部 - 右胸矢)	D-36 東 / 1	残存長 140.0mm、残存幅 153.5mm、最大幅 43.6mm。中央、脇品、首部に波状沈織文、袖端 2(乳頭)、堤状沈織文(鶴)、腰部に平行沈織文、刺突列。腕部・腋から肘・背中にかけて風状の平行沈織文、両肩に刺突列、背の左右に點突・刺突。脇部・胸の付け根に沈織文、沈織文(足首)。背面：両肩を結ぶ平行沈織文 + 腰部の沈織文。而垂れ状の沈織文、腰部に平行沈織文、腰部から胸にかけて刺突列、胸の付け根に平行沈織文、沈織文(足首)	129-7	C021

第167図 C丘陵突端部南斜面Ⅰ層 出土土製品



No.	器種	形態	区・遺構・層	石材	長(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	残存	破壊	加熱処理	変形	自然面	付着物	備考	写真図版	登録
1	石鏟	I b2B/D-54 北 / 表土	鈍頭灰岩	46.7	17.1	8.7	5.46	完形	0	1	0	0	0		130-1	S2122	
2	石鏟	I b2B/D-56 東 / 表土	鈍頭灰岩 B	34.3	14.2	9.0	2.51	完形	0	0	0	0	0	兩側面に抉りが入る	130-2	S3869	
3	石鏟	II D-56 東 / 段瓦	玉髓	61.5	37.6	15.5	31.37	完形	0	0	0	0	0		130-3	S3813	
4	磨製石斧	I D-54 北 / 段瓦	綠泥片岩	109.6	53.5	28.1	278.61	完形欠	0	0	0	0	0		130-4	S2197	
5	磨製石斧	- D-55 / 脊土	粘板岩	95.6	84.8	20.2	194.34	完形	0	0	0	1	0		130-5	S3544	
6	凹石	-	D-59 / 崩落土	安山岩質礫岩	101.4	62.2	978.00	完形	0	0	0	0	0	鉛石→	130-6	S601	

第168図 C丘陵突端部南斜面I層ほか 出土石器・石製品(1)



No.	形種	類型	区・遺構 / 刃	石材	長(mm)	幅(mm)	最大厚(mm)	重量(g)	残存	加热處理	変形	自然面	有字面	発考	写真複数	登録
1	円石	-	D-24 北・表土	安山岩	99.0	90.7	61.3	933.00	完形	0	0	削打→	1	0	S2107	130-7
2	熱隕石	-	D-36 東・表土	粘板岩	48.1	144.0	26.6	198.31	部分欠	0	0	0	0	0	S3876	130-8
3	圓形石器	-	D-39・第3土	野玉目	18.2	27.1	3.6	1.21	完形	0	2	0	0	0	S6300	130-9
4	石板	-	D-55・表土	凝灰岩	53.6	24.7	25.9	25.30	部分欠	0	0	0	1	0	S13737	130-10

第169図 C丘陵突端部南斜面Ⅰ層ほか 出土石器・石製品(2)

3. C丘陵北斜面の遺構と遺物包含層

C丘陵突端部付近の北斜面は、南斜面と同様に遺物包含層（VI層）が広がっており、丘陵裾部には微高地が形成される。周囲に広がる溝沼の水位の上昇・下降に伴い、この微高地上に遺構が形成される時期が存在する。微高地上の遺構は、D-58区とD-62区で検出し、柱列跡1条、集石遺構1基、土器埋設遺構5基、土坑1基の他に、ピットが7個ある（第170図）。これらは、遺構検出面の層準や堆積土の特徴および出土遺物から、すべて縄文時代晩期の遺構とみられる。

ここでは、C丘陵北斜面で検出した遺構と、これらの遺構が形成される遺物包含層について記述する。

A. 遺構

(1) 柱列跡

柱列跡はD-58区の1箇所で確認した。

【SA206柱列跡】

【位置】 D-58区北側（第173図）

【検出面】 VIb層（北4層群）

【重複】 なし。

【規模・構造】 南北3間以上の柱列跡である。総長4.0mあり、柱間寸法は南から1.4m、1.3m、1.3mである。

【方向】 北で18°東に偏する。

【柱穴】 4箇所で確認した。直径17~38cmの円形や楕円形で、残存する深さが19~63cmある。埋土はX層起源の凝灰岩小礫を含む黒色~褐灰色シルト質粘土や粘土質シルトで（第173図）、柱痕跡を4箇所で確認した。柱痕跡は直径7~15cmの円形を呈し、1箇所（P2）で柱材が残存する。

【出土遺物】 縄文土器深鉢やπ字文の施された浅鉢、石錠などが出土している（第173図）。

(2) 集石遺構

集石遺構はD-58区で1基確認した。

【SX91集石遺構】

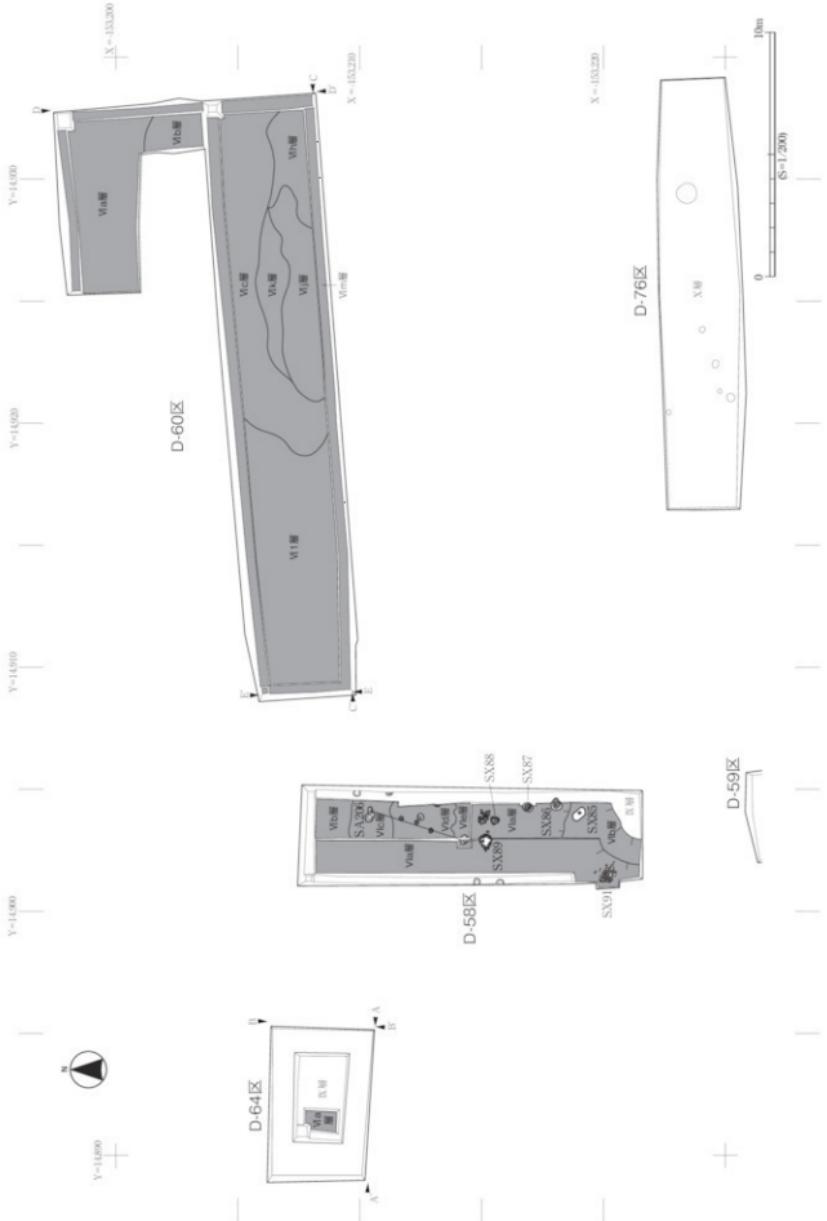
【位置】 D-58区南側（第173図）

【検出面】 VIa層（北1A層群）

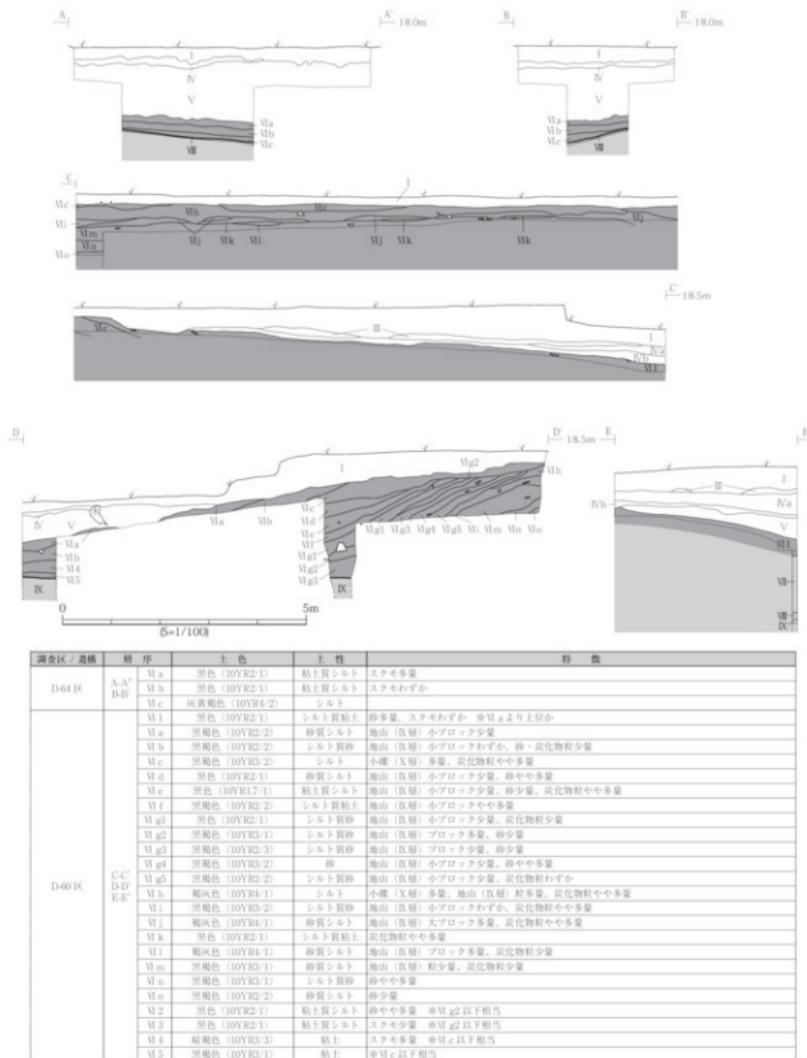
【重複】 なし。

【規模・構造】 掘り込みはない。遺物の分布は、長径約0.8m、短径約0.7mの円形を呈する。後世の洪水等の影響により一部の遺物が原位置から移動しているため、本来の範囲よりもやや広がっているものと推定される。

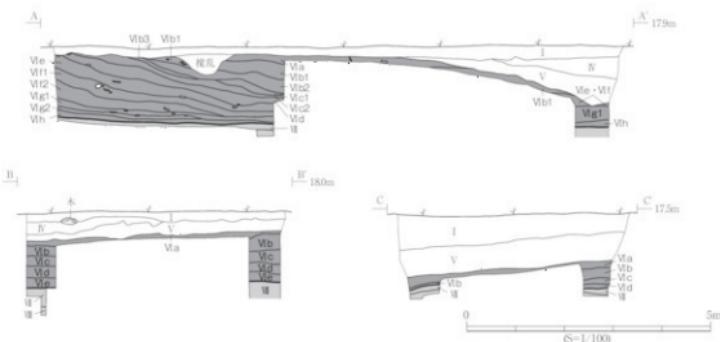
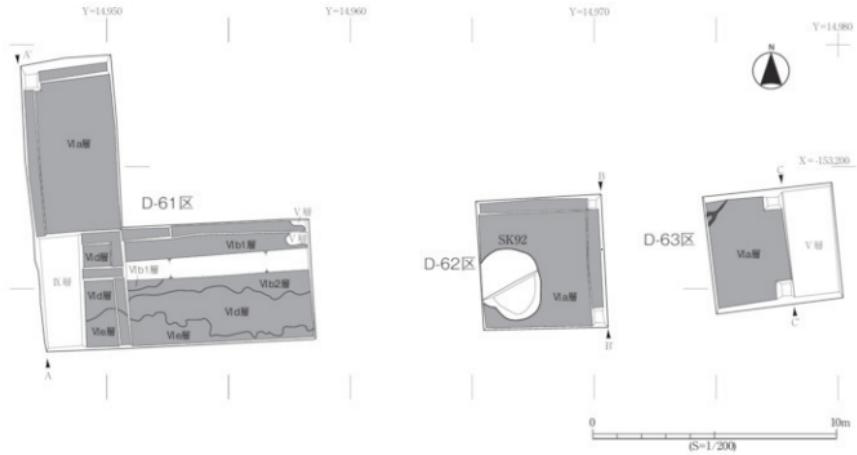
【遺物集積の特徴】 遺物はVIa層上部（北1A層群）に分布する。大形の礫石器や自然石が主体であり、



第170図 C丘陵北斜面調査区（西侧）平面図

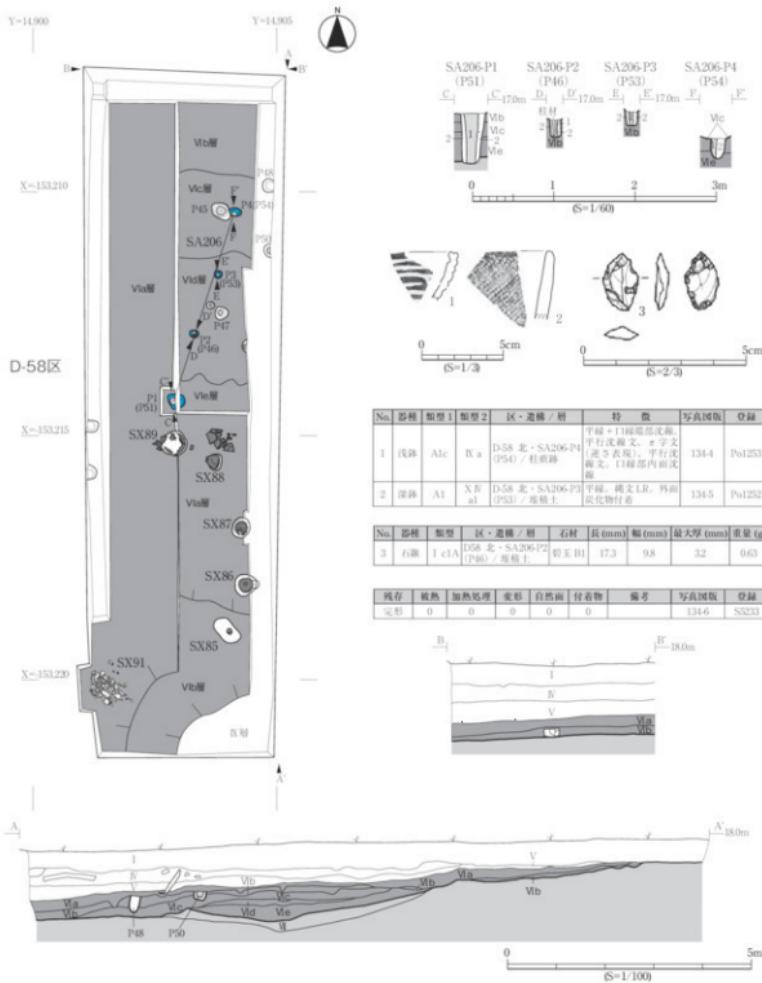


第171図 C丘陵北斜面調査区(西側)断面図



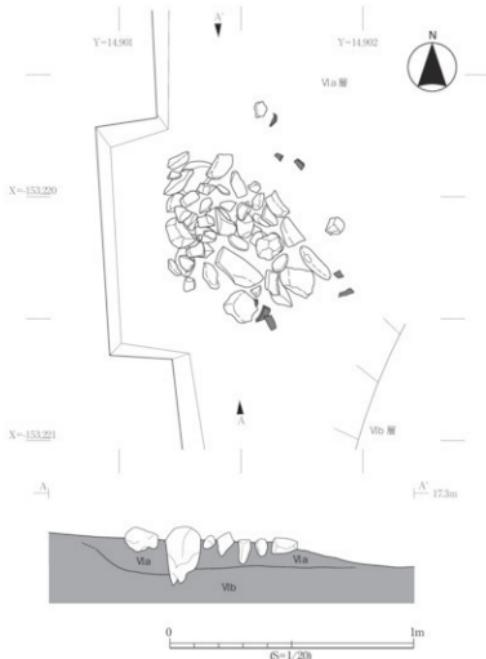
調査区/地塊	格	序	主色	主性	特徴
D-61 [K]	A-A'	Vl a	黒褐色 (10YR2-3)	枯土質シルト	地山(医崩): 腐多量、スクモ少量
		Vl b1	黒色 (10YR2-1)	枯土質シルト	地山(医崩): 腐多量、スクモや多量、炭化物質や多量
		Vl b2	黒色 (10YR2-1)	枯土質シルト	地山(医崩): 小プロックわらび、砂や多量、スクモや多量、炭化物質少量
		Vl b3	黒褐色 (10YR3-1)	砂質シルト	地山(医崩): 人ブリックや多量、砂質少量、スクモわずか
		Vl c1	黒色 (10YR2-1)	枯土質シルト	スクモや多量、炭化物質や多量
		Vl c2	黒褐色 (10YR2-1)	枯土質シルト	地山(医崩): 小プロックわらび、炭化物質や多量
		Vl d	黒色 (10YR2-1)	枯土質シルト	地山(医崩): 小プロックわらび、砂や多量
		Vl e	黒褐色 (10YR2-2)	枯土質シルト	地山(医崩): 大プロックや多量、砂わらび、植物や多量
		Vl f	黒褐色 (10YR2-2)	枯土質シルト	地山(医崩): 大プロック少量、スクモや多量
		Vl g2	黒褐色 (10YR2-2)	枯土質シルト	粗砂や多量
D-62 [K]	B-B'	Vl g1	黒褐色 (10YR2-2)	シルト質粘土	地山(医崩): 大プロック少量、スクモ、粗砂少量
		Vl g2	黒褐色 (10YR2-2)	シルト質粘土	スクモ多量、且多量
		Vl h	黒色 (10YR2-1)	粘土	
		Vl i	黒褐色 (10YR3-1)	粘土質シルト	スクモや多量、炭化物質や多量
		Vl j	黒色 (10YR2-1)	粘土質シルト	砂、炭化物質少量
D-63 [K]	C-C'	Vl k	黒褐色 (10YR3-1)	粘土質シルト	砂わらび、炭化物質少量
		Vl l	黒褐色 (10YR2-1)	粘土質シルト	粗砂量、炭化物質少量
		Vl m	黒褐色 (10YR2-3)	シルト質粘土	スクモ少量
		Vl n	黒褐色 (10YR2-2)	粘土質シルト	地山(医崩): プロック少量、スクモ多量
		Vl o	黒褐色 (10YR2-2)	粘土	スクモ少量
		Vl p	黒褐色 (10YR2-2)	粘土	スクモ多量
		Vl q	黒褐色 (10YR2-3)	粘土	スクモわずか
		Vl r	黒褐色 (10YR2-2)	粘土	

第172図 C丘陵北斜面調査区（東側） 平面図・断面図



調査区 / 道標	層序	土色	土性	特徴
D-58 北	M-a	黒褐色 (10YR3-1)	粘土質シルト	地山 (E層) 粘・砂少量
	M-b	灰黃褐色 (10YR4-2)	シルト	砂や多量
	M-c	灰黃褐色 (10YR3-2)	砂質シルト	砂や多量
	M-d	灰黃褐色 (10YR4-2)	砂質シルト	砂や多量
	M-e	黒褐色 (10YR3-2)	粘土	砂少量、炭化物粒少
P48	1	黒褐色 (10YR2-3)	粘土質シルト	砂や多量
P50	2	黒色 (10YR2-1)	シルト質粘土	砂や少【E層】
	3	黒褐色 (10YR3-1)	粘土質シルト	地わ (E層) 小・ワックわずか、砂や多量 【E層】
SA206-P1 (P51)	C-a'	黑色 (2GY2-1)	粘土質シルト	小窪 (X層) 少量、砂や多量 【E層】
	C-b'	黑色 (2GY2-1)	粘土質シルト	小窪 (X層) 少量、砂や多量 【E層】
SA206-P2 (P46)	D-d'	黒褐色 (10YR3-1)	シルト	柱材あり 【E層】
	D-e'	黒褐色 (10YR2-2)	シルト	小窪 (X層) 少量 【E層】
SA206-P3 (P53)	E-e'	黒褐色 (10YR2-2)	シルト質粘土	小窪 (X層) 多量 【E層】
	F-f'	黒褐色 (10YR2-2)	シルト質粘土	小窪 (X層) 少量 【E層】
SA206-P4 (P54)	G-g'	黒褐色 (10YR2-2)	粘土質シルト	小窪 (X層) 多量 【E層】
	H-h'	黒褐色 (10YR2-2)	粘土質シルト	小窪 (X層) 多量 【E層】

第173図 D-58区 (SA206柱跡はか) 平面図・断面図、出土遺物



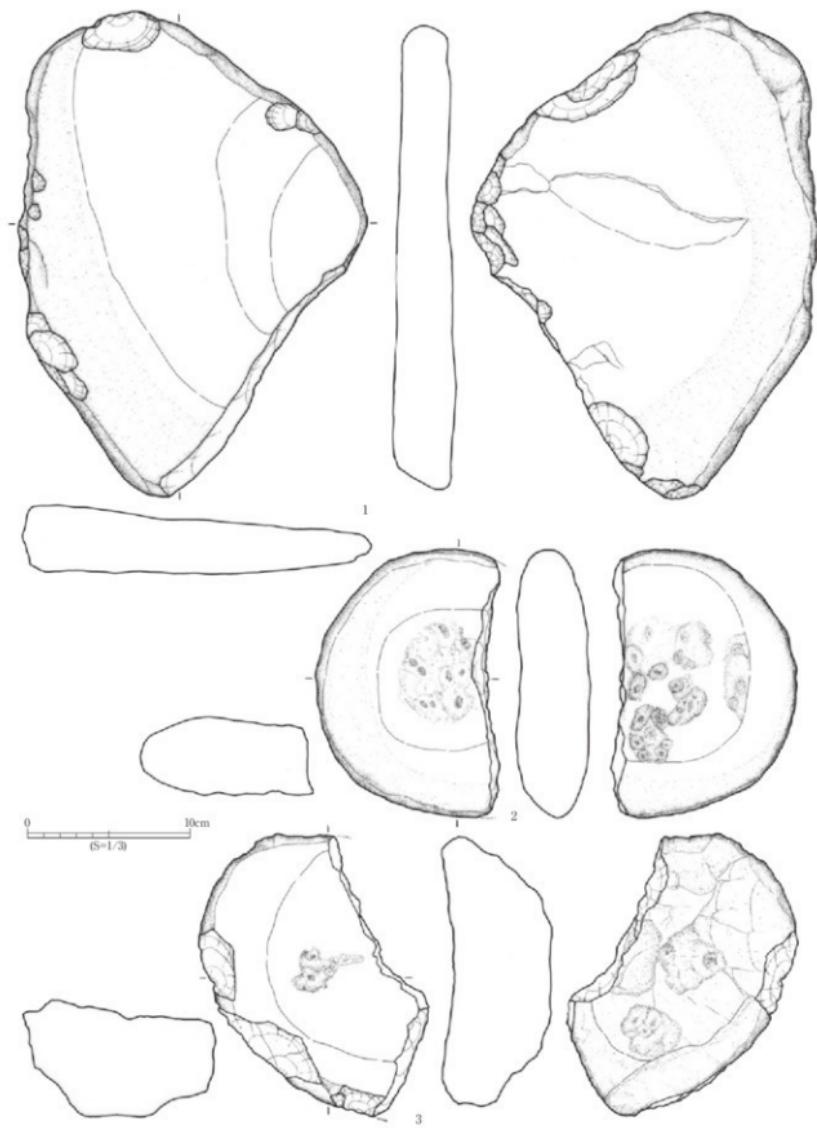
樹種	器種	珪質頁岩B	頁岩	珪質礫灰岩B	礫灰岩	安山岩質 礫灰岩	ダイサイト 質礫灰岩	粘板岩	安山岩	玄武岩質 安山岩	ダイサイト	ホルン フェルス	軽石	難認
石器	剥片	1						1					2	
	計	1						1					2	
礫石器	石頭				2		1		23	2	3		31	
	磨石				2				7		1		10	
	凹石								1			1	1	
	砾石								1			1	1	
	計				4		1		31	2	4	1	43	
石製品	円盤状石製品								1				1	
	計								1				1	
石材								1					1	
自然石	礫		1	1		4			4		3		3	16
	計		1	1		4		1	4		3		3	17
	總計	1	1	1	4	4	1	2	36	2	7	1	3	63

第174図 SX91集石遺構 平面図・断面図、遺物組成表

北西側では遺物が重なり合うように集積されているが、南西側になると重なりが見られなくなる。

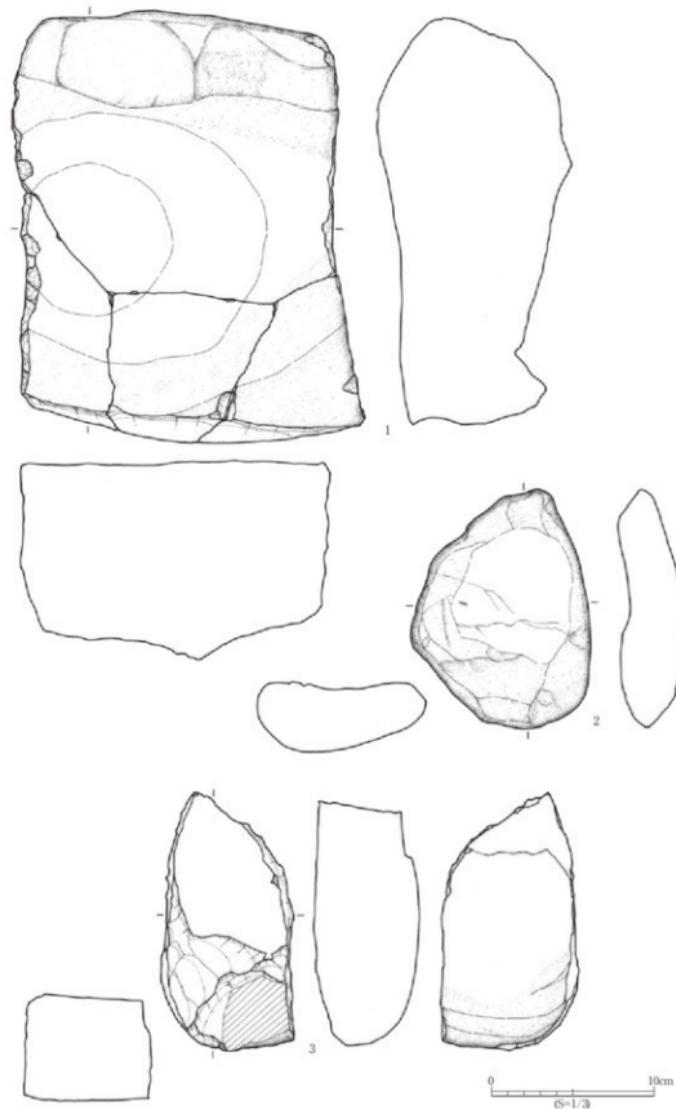
【出土遺物】出土した位置を三次元で記録して取り上げた遺物は、No.1～62（うち欠番10点）の52点あり、その他に、V層中に包含され原位置を移動しとみられる遺物が11点ある。

集積された遺物には、石器、礫石器、石製品、自然石がある（第175～178図）。これらの内訳を第174図に示した。全体の約2/3が礫石器で構成され、なかでも石皿が31点と大部分を占める。次いで磨石が10点と多く出土している。自然石も17点あり、一定量が集積されている。剥片石器や石製



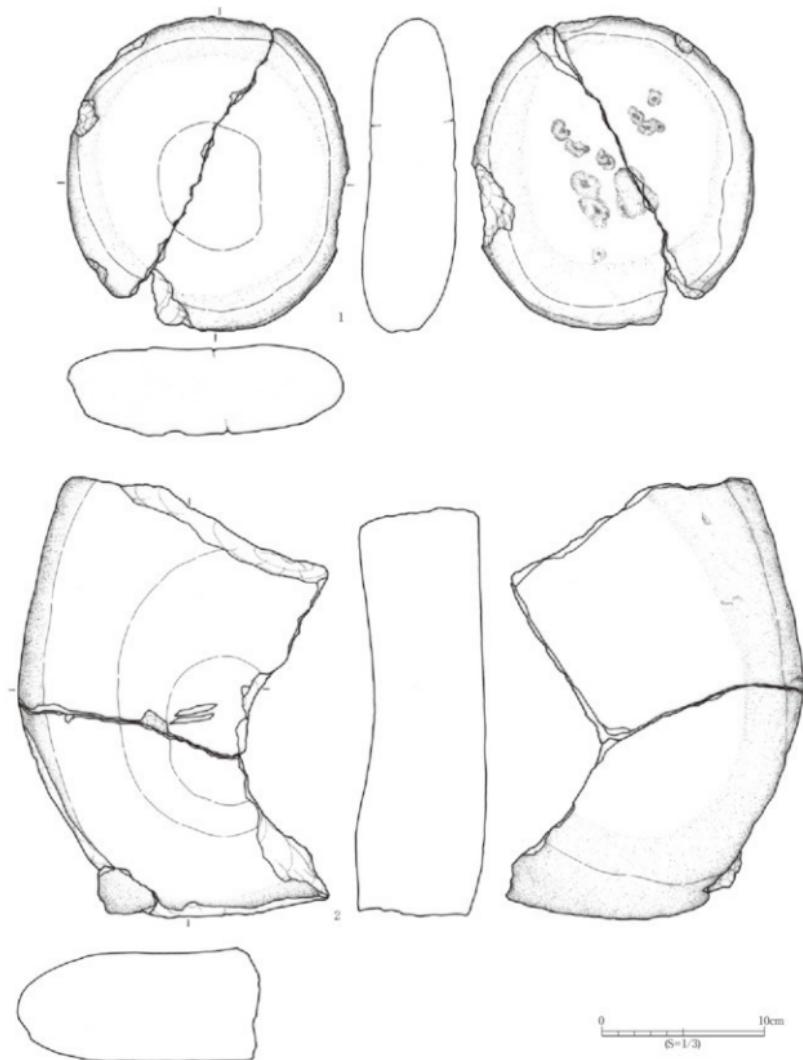
No.	性別	器種	石材	長(mm)	幅(mm)	最大厚(mm)	重量(g)	円熟度	残存	被熱	加熱処理	変形	自然面	付着物	備考	写真図版	登録
1	理石器	石核	安山岩	285.0	214.0	39.0	312000	0.7	完整	0	0	0	1	0	131-1	SX91-108	
2	理石器	石核	安山岩	166.0	106.0	48.1	129600	0.9	部欠	0	0	0	1	0	131-2	SX91-8	
3	理石器	石核	玄武岩(黄安山岩)	181.0	102.0	62.0	157900	0.7	部欠	0	0	0	1	0	131-4	SX91-7	

第175図 SX91集石遺構 出土石器 (1)



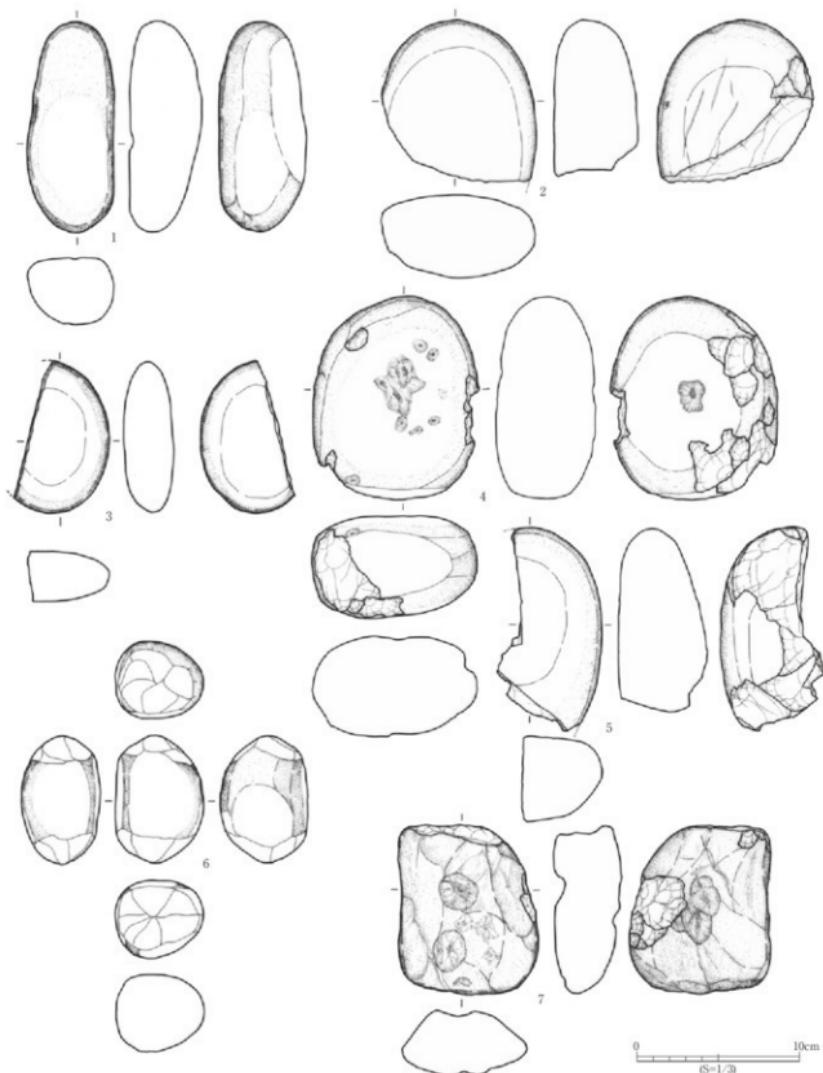
No.	種別	認種	石材	長(mm)	幅(mm)	最大厚(mm)	重量(g)	円周度	残存	被熱	加热処理	変形	自然面	着物	備考	写真図版	登録
1a	理石器	石器	安山岩	102.6	94.2	71.6	297.00	不明	破片	1	0	0	1	0	20+22+27+32	131-3	SX91-20
1b	理石器	石器	安山岩	90.0	99.9	79.1	761.00	不明	破片	0	0	0	1	0	20+22+27+32	131-3	SX91-22
1c	理石器	石器	安山岩	131.2	58.0	91.2	871.00	06	破片	0	0	0	1	0	20+22+27+32	131-3	SX91-27
1d	理石器	石器	安山岩	257.0	203.0	137.0	9600.00	07	破片	0	0	0	1	0	20+22+27+32	131-3	SX91-32
2	理石器	石器	安山岩	147.0	110.0	41.0	783.00	07	変形	1	0	0	1	0		132-1	SX91-10
2	理石器	石器	安山岩	156.5	81.2	65.3	1331.00	不明	破片	1	0	0	1	0		132-2	SX91-12

第176回 SX91集石遺構 出土石器 (2)



No.	種別	器種	石材	長(mm)	幅(mm)	最大厚(mm)	重量(g)	円周度	残存	破壊	加熱処理	変形	自然面	付着物	備考	写真図版	登録
1a	砸石器	石器	安山岩	178.0	131.2	56.3	1437.00	0.8	一部欠	1	0	0	1	0	凹痕あり。3+60	132.3	SX91-3
1b	砸石器	石器	安山岩	174.0	111.7	55.2	1151.00	0.8	一部欠	1	0	0	1	0	3+60	132.3	SX91-60
2a	砸石器	石器	安山岩	155.0	172.0	85.3	2640.00	不明	破片	0	0	0	1	0	28+110	132.4	SX91-28
2b	砸石器	石器	安山岩	177.0	188.0	84.7	3190.00	不明	破片	0	0	0	1	0	28+110	132.4	SX91-110

第177図 SX91集石遺構 出土石器（3）



No.	種別	器種	石材	長(mm)	幅(mm)	最大厚(mm)	重量(g)	円滑度	残存	剥離	加热処理	変形	自然面	付着物	備考	写真図版	登録
1	礫石器	砾石	ディサイト	129.9	30.8	41.9	370.83	0.9	完形	0	0	0	0	1		SX91-23	
2	礫石器	砾石	安山岩	99.0	90.0	51.0	671.00	0.9	部欠	0	0	0	1	0		SX91-51	
3	礫石器	砾石	安山岩	93.2	54.0	32.0	248.05	0.9	部欠	1	0	0	1	0		SX91-25	
4	礫石器	砾石	安山岩	124.0	100.0	62.0	1156.00	0.9	部欠	0	0	0	1	0		SX91-58	
5	礫石器	砾石	凝灰岩	125.0	60.0	55.6	522.25	0.9	部欠	1	0	0	1	0		SX91-39	
6	礫石器	砾石	安山岩	79.5	54.7	47.8	300.28	0.9	完形	0	0	0	1	0		SX91-104	
7	礫石器	砾石	カルシフュライト	105.1	86.0	43.6	488.53	0.7	部欠	0	0	0	1	0	全体削減	SX91-106	

第178図 SX91集石遺構 出土石器（4）

品はそれぞれ剥片2点、円盤状石製品1点と少ない。本来は包含層中にあった遺物が埋没後に移動した可能性もある。石材は礫石器が多いため、安山岩が最も多く出土している。自然石では安山岩や安山岩質凝灰岩、ディサイト、軽石が多く見られ、礫石器の素材となりうる石材が主体となる。

(3) 土器埋設遺構

土器埋設遺構は、D-58区で5基確認した。うち4基は、出土状況を記録した後に完掘し、遺物を取り上げた。1基（SX85）は検出状況のみの記録にとどめ、保存のため埋め戻した。

【SX85土器埋設遺構】

【位置】 D-58区南側（第173・179図）

【検出面】 VIb層（北4層群）

【重複】 なし。

【規模・構造】 長径59cm×短径34cmの平面長楕円形を呈する。遺構確認に止めたため深さは不明である。

【壁・底面】 遺構確認に止めたため不明である。

【埋土】 遺構確認面で、地山（IX層）小ブロックを多く含む褐灰色シルト質粘土を確認した。

【埋設土器】 遺構確認にとどめたため底部のみの確認であるが、縄文土器が伏せた状態で埋設されている（第179図）。埋設土器は取り上げていない。

【出土遺物】 埋設土器以外の遺物は出土していない。

【SX86土器埋設遺構】

【位置】 D-58区南側（第173・179図）

【検出面】 VIa層（北1A層群）

【重複】 P300と重複し、これよりも新しい。

【規模・構造】 長径46cm×短径44cmの円形で、残存する深さが29cmある。

【壁・底面】 底面はほぼ平坦で、壁は急に立ち上がる。断面形は逆台形である。

【埋土】 1層確認し、地山（IX層）粒を少量含む黒色粘土質シルトである。また、土器内の土壤はX層起源の凝灰岩小礫をやや多く含む黒褐色粘土質シルトで、埋没後に自然に流入したものとみられる（第180図）。

【埋設土器】 π字文の施された鉢（第181図1）が伏せた状態で埋設されている（第179・180図）。

【出土遺物】 埋設土器以外の遺物は出土していない。

【SX87土器埋設遺構】

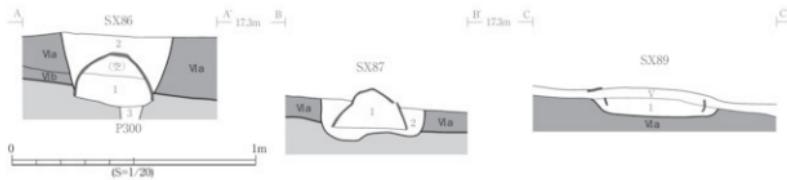
【位置】 D-58区南側（第173・179図）

【検出面】 VIa層（北1A層群）

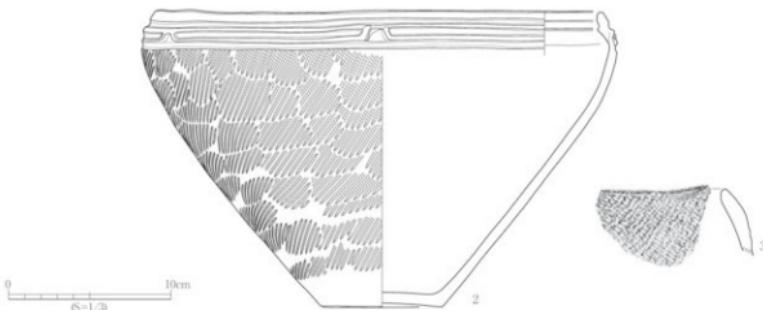
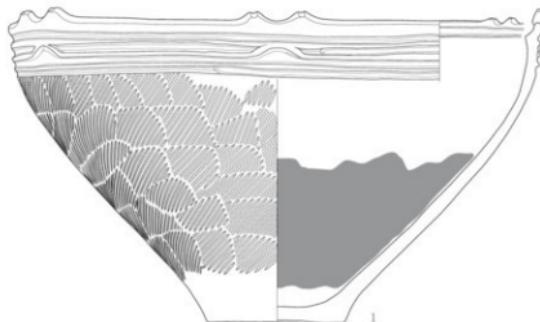
【重複】 なし。



第179図 SX85・86・87・88・89土器埋設遺構 平面図

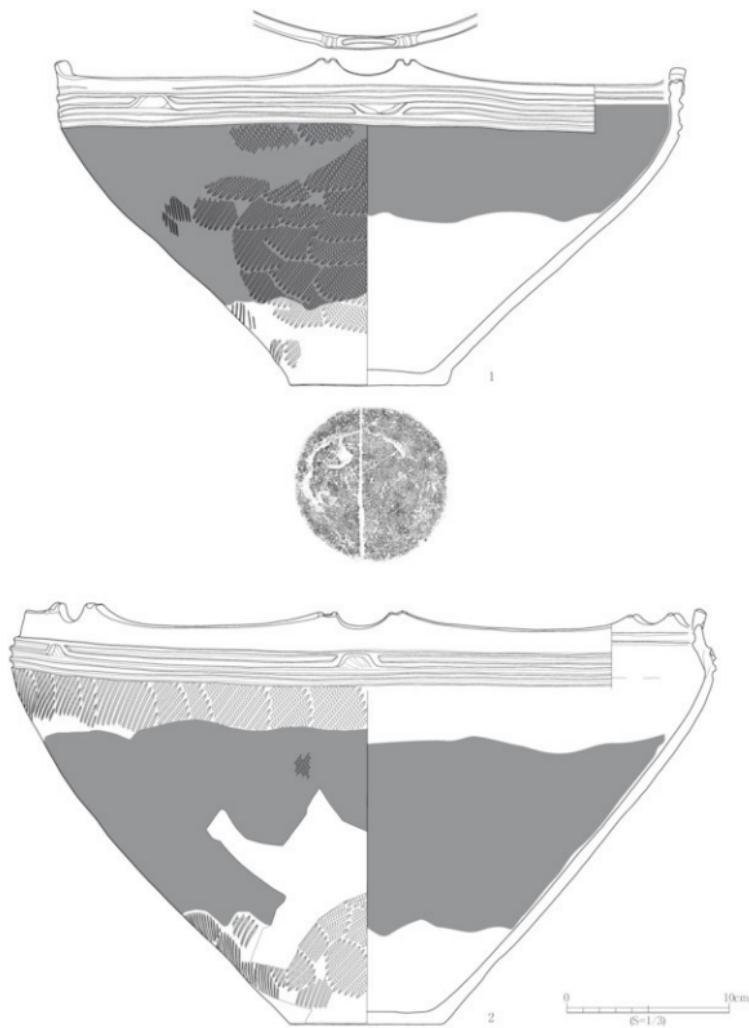


第180図 SX86・87・89土器埋設構造断面図



No.	形種	型式 1	型式 2	区・遺構 / 別	特徴	写真図版	図版
1	鉢	BII	N.a	D-58南・SX86・埋設土器	口径 32.6cm、底高 14cm、底径 8.2cm。平縁 + 二箇一対の山形突起（法部組み）6段目。π字文6単元。内面文、柄文LR。既出木葉文→ナメ。工縫加内面沈着。内面炭化物付着	134-1	Pl1242
2	鉢	A1	N.a	D-58南・SX87・埋設土器	口径 30.3cm、底高 18.3cm、底径 7.8cm。平縁。π字文6単元。柄文LR。底部ナメ、かるい上17%。	134-2	Pl1244
3	深鉢	A1	X.N.a	D-58南・SX87・掘力堆土	平縁。柄文LR。	134-3	Pl1243

第181図 SX86・87土器埋設構造 埋設土器、出土遺物



No.	器種	類型1	類型2	区・邊構 / 砂	特徴	写真図版	登録
1	鉢	A1ce	B2a	D58南・SX88 / 埋設上部	口径 37.5cm、高さ 20.1cm、底径 9.4cm。手縫 + 二輪、片の山形突起（頭部刻み）+ 突起周洗面（一部）、#字文4単位。通き共窓、有茎足、内外面化物付着。	135-1	Po1245
2	鉢	B1le	B2a	D58南・SX89 / 埋設上部	口径 41.5cm、高さ 20.1cm、底径 9.4cm。手縫 + 一輪、片の山形突起（頭部刻み36単位）、#字文6単位、内外面化物付着。	135-2	Po1246

第182図 SX88・89土器埋設遺構 埋設土器

【規模・構造】長径42cm×短径36cmの楕円形で、残存する深さが17cmある。

【壁・底面】底面は南側がやや深く掘りくぼめられており、壁は急に立ち上がる。断面形は不整な逆台形である。

【埋土】1層確認し、X層起源の凝灰岩小礫を多く含む黒色粘土質シルトである。また、土器内の土壤はX層起源の凝灰岩小礫を少量含む黒褐色粘土質シルトで、埋没後に自然に流入したものとみられる（第180図）。

【埋設土器】π字文の施された鉢（第181図2）が伏せた状態で埋設されている（第179・180図）。

【出土遺物】埋土から粗製の縄文土器深鉢（第181図3）が出土している。

【SX88土器埋設遺構】

【位置】D-58区南側（第173・179図）

【検出面】V1a層（北1A層群）

【重複】なし。

【規模・構造】長径34cm×短径27cm以上の楕円形である。

【埋設土器】π字文の施された鉢（第182図1）が横に倒れた形で出土している（第179図）。斜面部に位置するため、後世の土壤堆積の影響により倒れたものとみられる。

【出土遺物】埋設土器内堆積土から人骨（臼歯歯冠部、指骨（手）末節骨）が出土している（分析編第2章）。

【SX89土器埋設遺構】

【位置】D-58区南側（第173・179図）

【検出面】V1a層（北1A層群）

【重複】なし。

【規模・構造】長径54cm×短径50cmの円形で、残存する深さが8cmある。

【壁・底面】底面はほぼ平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。断面形は皿形である。

【埋土】1層確認し、X層起源の凝灰岩小礫を多く含み、地山（IX層）粒を少量含む黒褐色粘土である（第180図）。

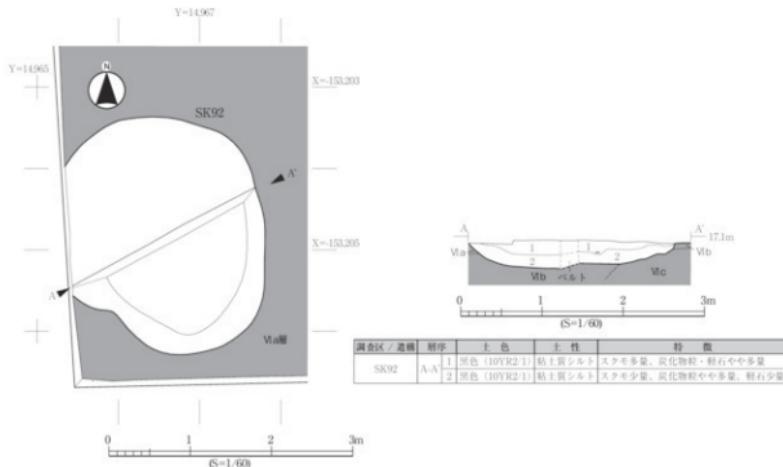
【埋設土器】π字文の施された鉢（第182図2）が伏せた状態で埋設されている（第179図）。遺構上部が後世の洪水の影響により搅乱を受けており、体部下半から底部の破片が東側に散布した状況で出土した。

【出土遺物】埋設土器以外の遺物は出土していない。

(4) 土坑

土坑はD-62区で1基検出した。

【SK92土坑】



第183図 SK92土坑 平面図・断面図

〔位置〕 D-62区（第172・183図）

〔検出面〕 Vla層（北1A層群）

〔重複〕 なし。

〔規模・構造〕 長径3.1m、短径2.6m以上の不整な円形で、残存する深さが0.4mある。

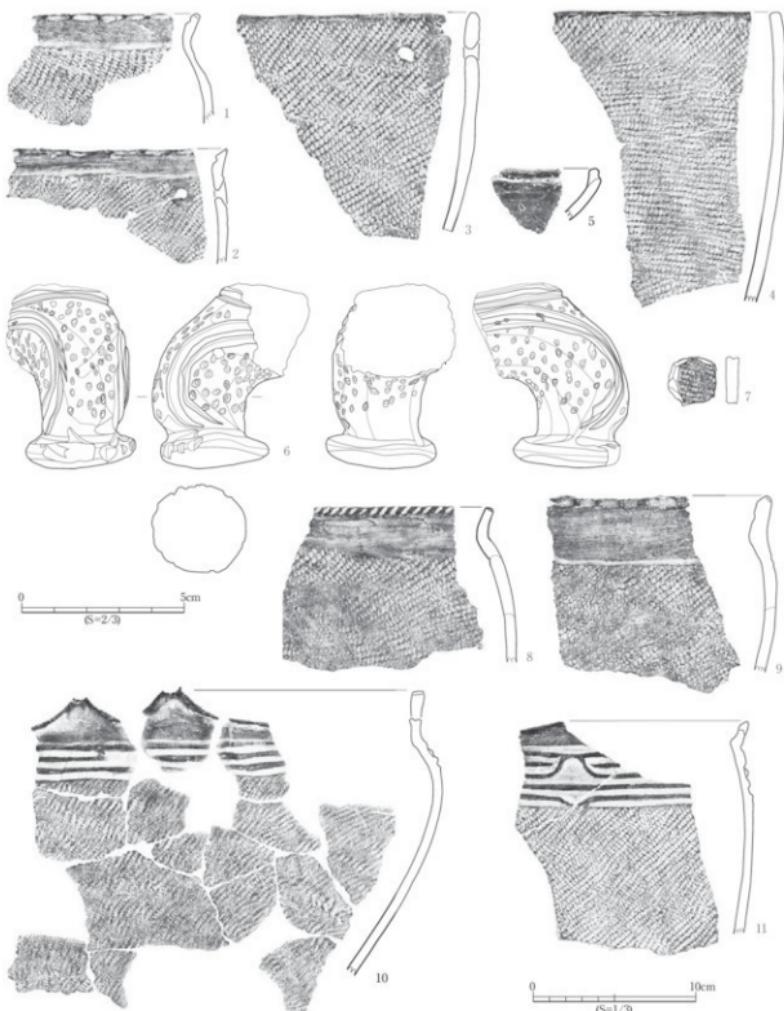
〔壁・底面〕 底面は南西側がやや深く掘りくぼめられ、北東側は若干の凹凸を有する。壁は緩やかに立ち上がる。断面形は浅い皿形である。

〔堆積土〕 2層確認し、スクモや炭化物粒、軽石を含む黒色粘土質シルトが自然堆積している（第183図）。

〔出土遺物〕 下層から、繩文土器深鉢（第184図1・2）や粗製深鉢（同図3・4）、浅鉢（同図5）、全体に刺突が施された土偶右脚（同図6）、円盤状土製品（同図7）、楔形石器、剥片などが出土している。上層からは、π字文の施された深鉢・鉢・浅鉢・台付浅鉢・壺（第184図10・11、第185図1～7）、変形工字文の施された浅鉢・台付浅鉢（第185図1・3・5～8）、石鏃（同図18・19）、石範（同図20）、不定形石器、石皿、磨石、剥片などが出土している。

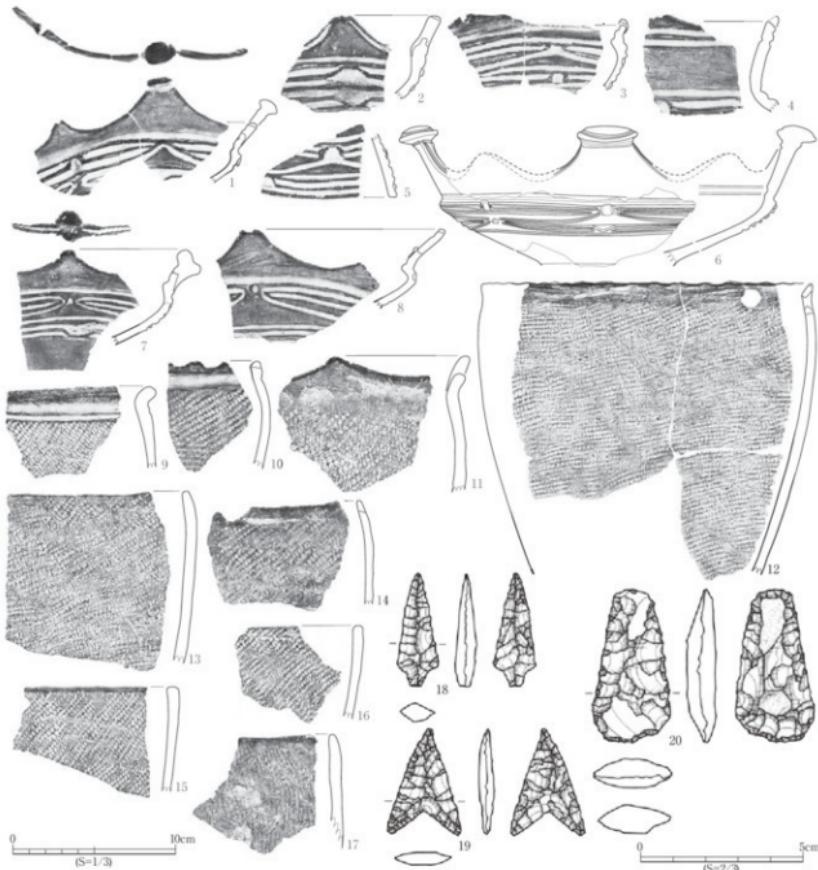
(5) その他の遺構等から出土した遺物

C丘陵突端部北斜面で確認したピットで、建物や柱列の柱穴として捉えられなかったものから出土した遺物を第186図にまとめて提示した。遺物が出土したピットの位置については第173図に示している。おもなものを取り上げると、P45の柱痕跡からπ字文の施された鉢が、P47の掘方埋土から平行沈線文の施された浅鉢が出土している。



No.	器種	類型1	類型2	区・遺構・番	特徴	写真図版	登録
1	漆鉢	C2	X b bl	D462・SK92 / 2	底伏線、縞文LR、口縁部内面沈縞	136-2	Pn2447
2	漆鉢	C2	X b bl	D462・SK92 / 2	底伏線、縞文LR、具通孔1、内外面炭化物付着	136-1	Pn2448
3	漆鉢	A1	X b a1	D462・SK92 / 2	平縞、縞文LR	136-3	Pn2445
4	漆鉢	A1	X b a1	D462・SK92 / 2	平縞、縦縞縞文LR、内外面炭化物付着	136-4	Pn2444
5	漆鉢	A1	X III	D462・SK92 / 2	平縞、沈縞文	136-6	Pn2442
8	漆鉢	BII	X b bl	D462・SK92 / 1	平縞+側面仄肩、縞文LR、外面炭化物付着	136-8	Pn2472
9	漆鉢	C2	X III	D462・SK92 / 1	底伏線、沈縞文、縞文LR、口縁部内面沈縞	136-9	Pn2455
10	鉢	CIVe	X n	D462・SK92 / 1	平縞+二個の対の横突起(直部前部)・突出部附着、π字文、沈縞文、前ヶ段多条縞文LR	136-10	Pn2453
11	漆鉢	BIC	X n	D462・SK92 / 1	底伏縞少+口縁部沈縞、π字文(上下対称)、縞文LR、外面炭化物付着	136-11	Pn2459
No.	器種	類型1	類型2	区・遺構・番	特徴	写真図版	登録
6	上質右脚	D62・SK92 / 2	残存幅 27.0mm、残存高 45.0mm、最大厚 27.7mm、中実、脚部との境界に平行沈縞文、弧状の平行沈縞文、刻夷印、足先が4文字以上に分かれ	136-5	C02432		
7	円錐吸上製品	D62・SK92 / 2	長さ 30.1mm、幅 29.9mm、厚さ 7.6mm、縞文LR、済部	136-7	C02443		

第184図 SK92土坑 出土遺物 1



No. 器種 類型 I 類型 II 区・遺物／期

特徴

写真図版

登録

1	台形浅鋸	B3e	X a+ X1	D-62・SK92 / 1	波状縫・山形突起(底部削み)・山形突起(円錐状彫り)。π文字、変形工字文2段、π文字(逆さ表現)。突起・口縁部内面沈縫	136-12	Pu2478
2	台形浅鋸	A3ee	X a	D-62・SK92 / 1	波状縫・山形突起(底部削み)・突起と沈縫・口縫部彫刻。π文字(上下対向)	136-13	Pu2463
3	浅鋸	B1cf	X a+ X1	D-62・SK92 / 1	平縫・山形突起(底部削み)・口縫部彫刻。変形工字文・斜夷・π文字	136-14	Pu2456
4	▲	F2?	X a	D-62・SK92 / 1	波状縫・平行沈縫文。π文字。口縫部内面沈縫	136-15	Pu2467
5	石器	-	X a+ X1	D-62・SK92 / 1	変形工字文。π文字	136-16	Pu2464
6	台形浅鋸	B3ee	X b+ X1	D-62・SK92 / 1	口縫(25mm)。波状縫・方形突起(円錐状彫り)・突出部彫刻。π文字・二割一対の貼彫4單位。変形工字文・側一対の貼彫4單位。変形工字文・刺突4單位。π文字(逆さ表現)4單位。突起・口縫部内面沈縫	136-17	Pu2457
7	台形浅鋸	B1ce	X a+ X1	D-62・SK92 / 1	平縫・山形突起(底部削み)・突起と沈縫・変形工字文。π文字。突起・口縫部内面沈縫	136-18	Pu2474
8	台形浅鋸	B3ee	X 1	D-62・SK92 / 1	波状縫・山形突起(底部削み)・突起と沈縫。変形工字文・刺突。平行沈縫文。変形工字文か。突起・口縫部内面沈縫	136-19	Pu2466
9	深鋸	II	X III	D-62・SK92 / 1	平縫・沈縫文。圓文LR	136-20	Pu2462
10	深鋸	I2	X III	D-62・SK92 / 1	波状縫・沈縫文。圓文LR	136-21	Pu2468
11	深鋸	I3	X IV b1	D-62・SK92 / 1	波状縫・山形突起。圓文LR	136-24	Pu2460
12	深鋸	A2	X V b1	D-62・SK92 / 1	口縫(20.4cm)。波状縫・圓文LR。通髪孔L。外面化物付着	136-22	Pu2454
13	深鋸	A1	X V b1	D-62・SK92 / 1	平縫・直前段多条彫文LR。外表面化物付着	136-23	Pu2479
14	深鋸	A1df	X 1	D-62・SK92 / 1	平縫・口縫・二割一対の小突起か。沈縫文。圓文LR。外表面化物付着	136-25	Pu2480
15	深鋸	A1	X V b1	D-62・SK92 / 1	平縫・直前段多条彫文LR	137-1	Pu2473
16	深鋸	A1	X V b1	D-62・SK92 / 1	平縫・圓文LR	137-2	Pu2456
17	深鋸	A1	X V b1	D-62・SK92 / 1	平縫・圓文LR	137-3	Pu2465

No.	器種	類型	区・遺物／期	石材	長(mm)	幅(mm)	最大厚(mm)	重量(g)	残存	破壊	加热焼失	变形	自然面	切削面	備考	写真図版	登録
18	石刀	I acB	D-62・SK92 / 1	珪質頁岩	34.8	12.9	6.1	180	完形	0	0	0	0	B	137-4	S1227	
19	石刀	N' al	D-62・SK92 / 1	珪質頁岩	32.4	22.6	4.4	208	完形	0	0	0	0	0	137-5	S1222	
20	石刀	I al	D-62・SK92 / 1	珪質頁岩	46.7	24.2	8.7	10.39	完形	0	0	0	1	0	137-6	S1223	



No.	器種	類型1	類型2	区・邊縁 / 刃	特徴	写真図版	登録
1	鉢	-	B a	D-58 正・P45 / 杜痕跡 + M a+ N b	π字文(波S表現)。前+段多角圓文LR。外面赤彩	1378	Pol250
2	浅鉢	Ald	X II a	D-58 正・P47 / 極力埋土	平縁+ヘラ痕。平行沈縁文	1377	Pol251

第186図 C丘陵突端部北斜面 ピット出土遺物

B. 遺物包含層

C丘陵北斜面における遺物包含層は、今回の発掘調査で3箇所検出した。便宜上、丘陵の先端部からa包含層、b包含層、c包含層と呼称する（第5図）。本項ではa包含層について記述する。

なお、本書に図を掲載した遺物の属性や特徴はすべて観察表に記しているため、本文中における遺物の個別の説明は原則として省略した。

（1）堆積状況と分布範囲

VI層をD-58・60・61・62・63・64区で検出し、縄文時代晩期を中心とした遺物が多量に含まれている状況を確認した。また、平成20年度の発掘調査ではこれらより西側のD-50区でも遺物包含層（VI層）を検出しており（宮城県教育委員会 2011）、その範囲は、東西約123m（D-50区とD-63区間の直線距離）、南北約23m（D-58区南西隅から、D-58区西壁の北延長線とD-61区北壁の西延長線の交点までの距離）となる。また、平成16年度に宮城県教育委員会が実施した確認調査（宮城県教育委員会 2005）では、D-60区の約50m北側で遺物包含層を検出しているため、南北は70m程度の長さである。なお、これらの北～東に位置するD-43・67区およびG-5・6区では地表下約2.0mまでの深度でいずれもVI層を確認できなかった。また、D-58区南東隅部およびD-76・77区は丘陵頂部にあたり、VI層の堆積はなかった。

前章で記述したように、VI層は土色や土性、含有物などの特徴から各調査区で複数の層に細分され、また調査区によりVI層の堆積状況が異なる。これらの細分層の土性や土色、含有物などの特徴から、北斜面におけるVI層を北1A～6層群まで8層に大別した（第3表）。さらに遺物が多く出土している範囲では、西側（D-58・60西側・64区）と東側（D-60東側・61・62・63区）でVI層の層厚や大別層群の有無に明瞭な差異が認められることから、2つに分けて記述する。

遺物包含層の西側では、D-60区からD-64区にかけて西に緩やかに傾斜する地形になっている。D-60区西側でVI層の傾斜が始まる地点からD-64区南壁西端まで、直線距離で約26.0m、VI層上面での比高は約1.9m、勾配は約7%である。南北の傾斜については、D-58区東壁で見ると北へ緩やかに傾斜する地形となっている。南側でVI層の傾斜が確認される地点から北壁まで、直線距離で約11.8m、VI層上面での比高は約0.8m、勾配は約8%である。また、D-60区西側では北西へ急傾斜する地形となっており、南壁から北壁まで直線距離で約3.8m、VI層上面での比高は約0.8m、勾配は約22%である。

西側各調査区で検出したVI層は多いところで5層に細分されるが、大別層群で見ると、北6層群と北4層群、北1A層群が堆積している。北6層群は西側のD-64区とD-58区でのみ確認し、北1A層群は広範囲に分布が認められる。

東側では、D-60区東側やD-61区ではVI層上部が削平されているため当時の地形は不明であるが、D-62区からD-63区にかけて東へ緩やかに傾斜する地形となっており、D-62区東壁南端からD-63区東壁南端まで、直線距離で約9.8m、VI層上面での比高は約0.5m、勾配は約5%である。南北の傾斜

については、D-60・61区の丘陵頂部に近い部分でVI層上部が削平されているため当時の地形は不明であるが、D-60・61区の北側では北に急傾斜する地形となっている。D-60区東壁で見ると、VI層直上のV層の堆積が確認される地点から北壁まで、直線距離で約4.0m、VI層上面での比高は約0.8m、勾配は20%である。

東側各調査区で検出したVI層は最大で15層に細分されるが、大別層群で見ると、北6層群を除く層が堆積している。北5～2A層群は西側のD-60区およびD-61区のみで検出し、北1B・1A層群は東側のD-62区およびD-63区のみで検出した。

(2) 土器

遺物包含層から出土した縄文土器は遺物収納箱（長54×幅34×深15cm）換算で95箱に相当する量が出土している。遺物量が多いため、包含層を西側と東側に分けて記述する。

① 遺物包含層西側における土器の層位別出土状況

遺物包含層西側から出土した縄文土器は遺物収納箱換算で25箱に相当する量が出土している。以下に、各層ごとの出土状況および遺物の内容について述べる。

北6層群ではいずれの調査区でも小破片が少量出土しているのみである。器種は深鉢や鉢、注口土器がある。装飾は、三叉文（第187図3）、羊歯状文（同図4～6・8～11）が見られる。なかでも羊歯状文が多く出土している。

北4層群ではいずれの調査区でも中・小破片が主体で、出土量は少ない。器種は深鉢や鉢、浅鉢、皿、壺がある。装飾は、雲形文（第188図2～6）やメガネ状浮文（同図7）、工字文（同図12・13）、π字文（同図14）が見られる。

北1A層群では、丘陵裾部にあたるD-58区では中・小破片が多く出土し、大破片も出土する。D-64区では丘陵頂部から離れるにつれて遺物の出土は少なくなる傾向が見られる。器種は深鉢や鉢、浅鉢、台付浅鉢、皿、壺、注口土器、香炉形土器、蓋のほかに袖珍土器鉢・皿がある。装飾は、帯状文（第189図5）や列点文（同図6）、雲形文（同図7～14）、メガネ状浮文（同図9、第194図7）、工字文（第190図6）、π字文（同図7・9～13、第191図7～12、第192図1～4、第193図1～7、第194図1）、変形工字文（第193図3・5～7、第194図1～4）が見られる。なかでも、π字文や変形工字文が多く出土するようになる。

② 遺物包含層東側における土器の層位別出土状況

遺物包含層東側から出土した縄文土器は遺物収納箱換算で70箱に相当する量が出土している。以下に、各層ごとの出土状況および遺物の内容について述べる。

北5層群では大破片が多く出土し、ほぼ完形の個体も出土している。層下部では小破片が多く見られる。器種は深鉢や鉢、四脚付鉢、浅鉢、台付浅鉢、皿、壺、注口土器、香炉形土器のほかに袖珍土器鉢・皿がある。装飾は、三叉文（第195図1～3・10）や羊歯状文（同図5～10）、列点文（同

図6・7・12・13・16)、雲形文(同図15~17、第196図1~3、第197図9~18、第198図1~2・4~18、第199図1~11、第200図1~10、第201図1・4~10、第202図1)、メガネ状浮文(第197図12・13・18、第198図1・2)、π字文(第206図1・2)が見られる。なかでも、雲形文が多く出土している。

北4層群では中・小破片が非常に多く出土し、大破片の出土は少なくなる。器種は深鉢や鉢、浅鉢、四脚付浅鉢、皿、壺、台部、袖珍土器壺がある。装飾は、雲形文(第210図12~14・16・17・19~21、第211図3・4)やメガネ状浮文(第210図12・14~16)、工字文(第212図7)、π字文(第211図4、第212図6・8・9)が見られる。なかでも、雲形文が多く出土している。

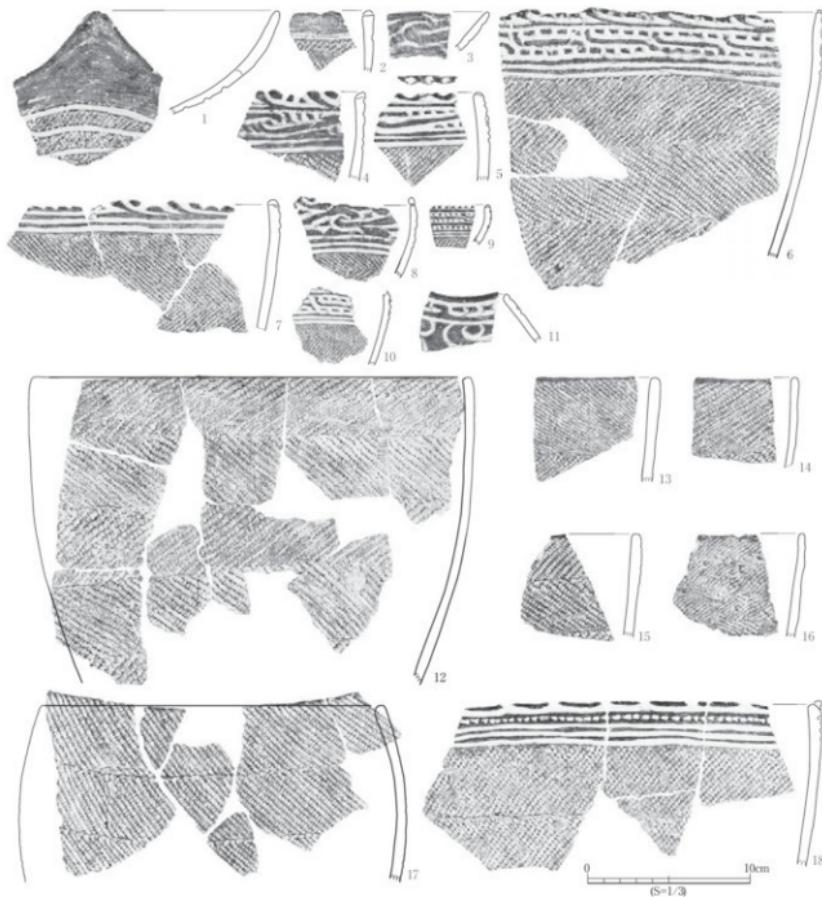
北3層群では大~小破片が多く出土している。器種は深鉢や鉢、四脚付鉢、浅鉢、四脚付浅鉢、皿、壺、四脚付壺、注口土器のほかに袖珍土器鉢・台付浅鉢・皿がある。また製塙土器(深鉢)が出土している。装飾は、帯状文(第214図1)、雲形文(同図2~6・9~11)やメガネ状浮文(同図2~4)、工字文(第216図1~3・9~11)、π字文(第215図7~10、第216図1・4~7・10・11・14)、変形工字文(第216図8・11)が見られる。なかでも、工字文やπ字文が多く出土するようになる。

北2B層群では小破片が主体で、大破片は少量見られる程度である。器種は深鉢や鉢、台付鉢、浅鉢、台付浅鉢、皿、壺、注口土器、香炉形土器のほかに袖珍土器深鉢・鉢・浅鉢・皿がある。また製塙土器(深鉢・鉢)が出土している。装飾は、羊齒状文(第220図1)や雲形文(同図3~9)、メガネ状浮文(同図2・3・5、第221図7)、工字文(第221図5・6、第222図6・8・12、第223図1)、π字文(第221図4、第222図1~11・13・17・18、第223図1)、変形工字文(第222図17・18、第223図1)が見られる。なかでも、工字文やπ字文、変形工字文が多く出土するようになる。

北2A層群では小破片が主体で、大破片は少量出土する程度である。器種は深鉢や鉢、台付鉢、浅鉢、台付浅鉢、皿、四脚付皿、壺、注口土器、蓋のほかに袖珍土器鉢・浅鉢がある。装飾は、雲形文(第224図4・8)やメガネ状浮文(同図2・3・15、第225図19)、工字文(第224図12・16~18、第225図5)、π字文(第224図19・20、第225図1~18、第226図3・6)、変形工字文(第225図12・18~21、第226図1~6)が見られる。なかでも、π字文や変形工字文が多く出土するようになる。

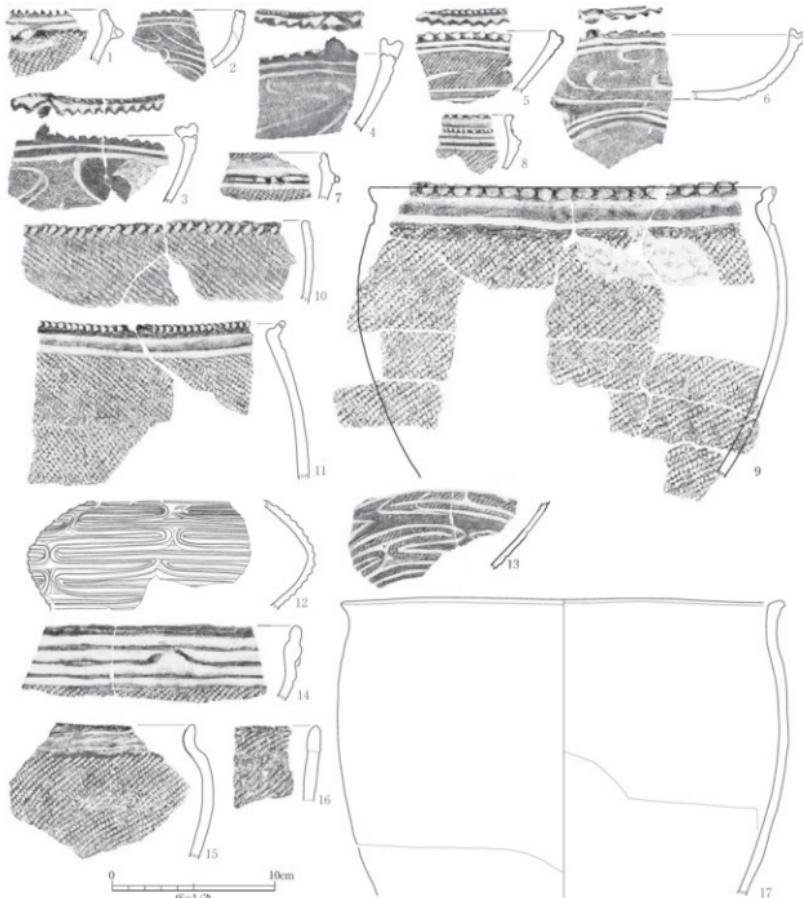
北1B層群では中・小破片がやや多く出土している。器種は深鉢や鉢、浅鉢、壺のほかに袖珍土器四脚付鉢がある。装飾は、メガネ状浮文(第228図8)や工字文(同図9)、π字文(同図9・10)、変形工字文(同図10・11)が見られる。

北1A層群は、D-62区では大・中破片が主体であるが、丘陵頂部からやや離れたD-63区では小破片が主体となる。器種は深鉢や鉢、浅鉢、台付浅鉢、壺のほかに袖珍土器浅鉢・皿がある。また製塙土器(深鉢)が出土している。装飾は、工字文(第229図1)やπ字文(同図1~21、第230図1・2・6・7・9~11、第231図3)、変形工字文(第229図10・16~19・21、第230図1~13、第231図1~4)が見られる。なかでも変形工字文が多く出土するようになる。



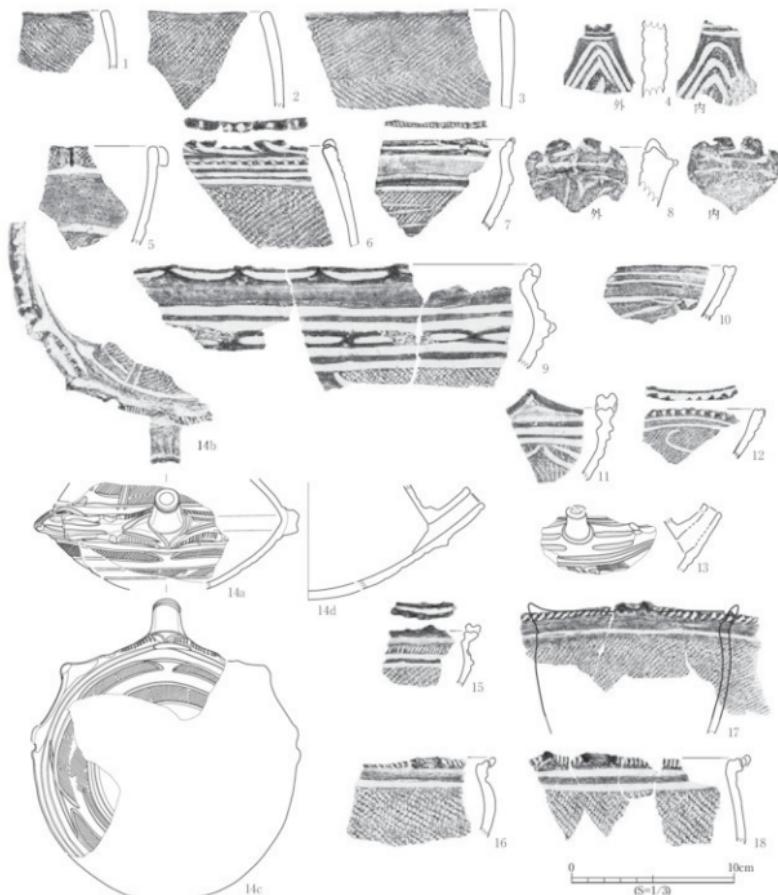
No.	器種	類型1	類型2	大別名	区・邊機・層	特徴	写真図版	登録
1	浅鉢	-	-	北6	D58北/V1e	平底。沈文。縦文LR	138-1	Po1120
2	深鉢	A1cdff	XII B	北6	D58北/V1d,e	平縁。押圧+内突起+口唇部沈文。縦状縞文LR/RL	138-2	Po1119
3	鉢	A1	III c	北6	D58北/V1e	平縁。人相・交叉文	138-3	Po1110
4	深鉢	A1df	B'	北6	D64/V1e	平縁+ハラ削目+二個一对の小突起(平面状)。手曲状文。平行沈文。縦文RL	138-4	Po1256
5	深鉢	A1cd	B'	北6	D58北/V1c	平縁+ハラ削目+連続弧状沈文。手曲状文。平行沈文。縦文LR	138-5	Po1126
6	深鉢	A1df	B'	北6	D58北/V1e	平縁+ハラ削目+一側一对の小突起(平面状)。手曲状文。平行沈文。縦状縞文LR/RL。内面炭化物付着	138-12	Po1106
7	深鉢	A1df	XII x	北6	D58北/V1c,V1b	平縁+ハラ削目+一側一对の小突起(平面状)。手曲状文。平行沈文。縦状縞文RL/LR	138-8	Po1123
8	鉢	AH	B'	北6	D58北/V1d	平縁+突起(平面状)。手曲状文。平行沈文。縦状縞文RL/LR	138-6	Po1113
9	鉢	A1df	B'	北6	D58北/V1c	平縁+ハラ削目+一側一对の小突起。手曲状文。平行沈文。縦文LR	138-7	Po1122
10	鉢	B'	-	北6	D58北/V1d	手曲状文。平行沈文。縦状縞文RL/LR	138-9	Po1114
11	鉢付口器	C1	B'	北6	D58北/V1c	平縁。手曲状文	138-10	Po1117
12	深鉢	A1	XIV a2	北6	D58北/V1c,V1b	手縁。羽状縞文LR/RL。内面炭化物付着	138-13	Po1125
13	深鉢	A1	XIV a2	北6	D58北/V1d	手縁。羽状縞文RL/LR。外面炭化物付着	138-11	Po1113
14	深鉢	A1	XIV a2	北6	D58北/V1c	手縁。羽状縞文LR/RL	138-14	Po1109
15	深鉢	A1	XIV a2	北6	D58北/V1d	手縁。羽状縞文LR/RL。末端部強調	138-15	Po1126
16	深鉢	A1	XIV a2	北6	D58北/V1c	手縁。羽状縞文LR/RL	138-16	Po1115
17	深鉢	A1	XIV a2	北6	D58北/V1c,V1b	手縁。縦文RL。末端部強調	138-17	Po1127
18	鉢	A1c	XII b	北4	D58北/V1b	手縁。連続弧状沈文。鈎突円。平行沈文。縦文RL末端部強調	138-18	Po1102

第187図 C丘陵北斜面a包含層(西侧) 出土土器 (1)



No.	器種	類型 I	類型 II	大別別	區・邊緣 / 刻	特徵	写真図版	登錄
1	鉢	Ald	X II a	北4	D-58 北 / V1 b	平縁 + ハラ削目。平行沈縞文。二個一对の小突起。彌文LR	138-19	Po1154
2	浅鉢	Albd	須	北4	D-58 / V1 b	平縁 + ハラ削目。波状浮縞文。平行沈縞文。若文L。内外面小刻	138-20	Po2564
3	皿	Albd	須	北4	D-58 北 / V1 b	平縁 + ハラ削目 + 山形突起 + 波状浮縞文。平行沈縞文。彌文F(勝り消し縞文)。彌文LR	138-21	Po1170
4	皿	Albd	須	北4	D-64 / V1 b	平縁 + ハラ削目 + 山形突起 + 波状浮縞文。平行沈縞文。彌文F(勝り消し縞文)。彌文LR。口縁部内面沈縞	138-22	Po2561
5	皿	Albd	須	北4	D-58 北 / V1 b	平縁 + ハラ削目 + 波状浮縞文。平行沈縞文。若文F(勝り消し縞文)。平行沈縞文。直前段多条彌文	138-23	Po1160
6	皿	Albd	須	北4	D-58 北 / V1 b	平縁 + ハラ削目 + 山形突起 + 平衡状浮縞文(彌文)。平行沈縞文。若彌文(勝り消し縞文)。平行沈縞文。彌文LR	138-24	Po1128
7	鉢	Ald	須	北4	D-58 北 / V1 b	平縁 + ハラ削目。メガネ状浮縞文 + 二個一对の點刻。彌文LR	138-25	Po1153
8	鉢	Bld	X II a	北4	D-58 北 / V1 b	平縁 + ハラ削目 + 口沿肥厚彌。橢圓状突起。平行沈縞文。彌文LR	138-26	Po1152
9	深鉢	Bld	X III	北4	D-58 北 / V1 b+V3 a	口徑(25.0cm)。平縁 + ハラ削目。沈縞文。彌文LR。口縁部内面沈縞	138-29	Po1161
10	深鉢	Ald	X IV al	北4	D-64 / V1 b+V1 a	平縁 + ハラ削目。彌文F。外周部化物付有	138-27	Po2559
11	深鉢	Bldff	X III	北4	D-58 北 / V1 b+V2 a	平縁 + ハラ削目 + 二個一对の小突起 + 口沿肥厚彌。沈縞文。羽状彌文LR。外周部化物付有	138-28	Po1163
12	鉢	-	X	北4	D-58 北 / V1 b	体部最高径(17.6cm)。流水上字文	139-3	Po1157
13	深鉢	-	X	北4	D-58 北 / V1 b+V2 a	流水上字文(勝り消し縞文)。彌文LR	139-4	Po1167
14	鉢	A3	X a	北4	D-58 北 / V1 b+V1 + 直	平行縫。#字文。彌文LR。口縁部内面沈縞	139-5	Po1155
15	深鉢	C1	XIV bl	北4	D-58 北 / V1 b	平縁。彌文LR。口縁部強調	139-6	Po1156
16	深鉢	A3	XV bl	北4	D-58 北 / V1 b	平縁。彌文L	139-7	Po1149
17	深鉢	C1	XV	北4	D-58 北 / V1 b	口徑 26.9cm。平縫	139-1	Po1129

第188図 C丘陵北斜面a包含層(西側) 出土土器(2)



No.	器種	形態1	形態2	大きさ	区・造形・層	特徴	写真図版	登錄
1	鉢	XVII al	北4 D:38 cm V1 b			平縁。斜面2段多条縦文RL。	139.4	Po1150
2	深鉢	XII al	北4 D:38 cm V1 b			平縁。圓文LR。	139.9	Po1151
3	深鉢	XIV al	北4 D:64 cm V1 b			平縁。羽状縦文LR/RL。	139.10	Po2558
4	深鉢	-	北1A D:38 cm V1 a			波状縦筋+山形突起。旁點陶沈縞。平行沈縞文。平行沈縞文(山形・削り消し縞文)。圓文LR。史跡内側面と外側面とで位置が異なる。	139.11	Po1213
5	鉢	XI al	北1A D:38 cm V1			平縁。直状突起。圓文+施釉。圓文LR。	139.12	Po1266
6	鉢	XII off	北1A D:38 cm V1 a			平縁+ハラ削り+直状突起。平行沈縞文。圓文LR。	139.13	Po1179
7	鉢	XI off	北1A D:38 cm V1 a			平縁+ハラ削り+口部沈縞。沈縞文。圓文。削り消し縞文。直筋2段多条縦文LR。	139.14	Po1132
8	深鉢小	-	北1A D:38 cm V1			直筋の突起。圓文。	139.15	Po1208
9	鉢	XII	北1A D:38 cm V1 a+N b			波状縫+波状陶沈縞。平行沈縞文。マガネ状浮文。平行沈縞文。圓文(削り消し縞文)。圓文	139.16	Po1227
10	浅鉢	XIc	北1A D:38 cm V1 a			平縁+口部沈縞。平行沈縞文。圓文(削り消し縞文)。圓文LR+直筋加筋帶。外筋赤彩。	139.21	Po1194
11	浅鉢	XIIc	北1A D:38 cm V1 a			直筋縫+山形突起。平行沈縞文。平行沈縞文。圓文(削り消し縞文)。圓文LR。口縫部内側沈縞。	139.22	Po1136
12	皿	XIcd	北1A D:38 cm V1 a			平縁+ハラ削り+波状沈縞。平行沈縞文。圓文(削り消し縞文)。圓文LR。口縫部内側沈縞。	139.17	Po1181
13	(注)土器上	-	北1A D:38 cm V1 a			口1筋先端削り。山形突起。平行沈縞文。平行沈縞文。圓文(削り消し縞文)。圓文LR。	139.18	Po1175
14	(注)土器上	-	北1A D:38 cm V1 a			体部大筋(16cm)。口部部分肥厚。縫合の平行沈縞文。平行沈縞文。圓文(削り消し縞文)。圓文LR。	139.2	Po1190
15	鉢	XIIa	北1A D:38 cm V1 a			平縁+山形突起+口部沈縞。圓文(削り消し縞文)。圓文LR。	139.19	Po1224
16	深鉢	XIIa	北1A D:38 cm V1 a			平縁+ハラ削り+直状の突起。沈縞文。圓文LR。	139.22	Po1231
17	深鉢	XIIa	北1A D:38 cm V1 a			口1筋(32cm)。平縁+ハラ削り+直状の突起。沈縞文。圓文LR。口縫部内側沈縞。	139.29	Po1237
18	深鉢	XIIc	北1A D:38 cm V1 a			平縁+ハラ削り。山形突起の両側に一個の突起。平行沈縞文。沈縞文。前ノ段多条縦文RL。	139.24	Po1218

第189図 C丘陵北斜面a包含層(西侧) 出土土器(3)